

# *The Japan Foundation*

平成 21 年度（2009 年度）事業実績



国際交流基金

平成 21 年度（2009 年度）事業実績



国際交流基金

平成 21 年度（2009 年度）国際交流基金 事業実績 目次

平成 21 年度（2009 年度）国際交流基金事業実績

目次	ii
注	vi
地域分類・国名表記一覧	vii
<b>&lt;文化芸術交流事業に必要な経費&gt;</b>	1
文化協力事業費	1
1. 催し等事業費	2
(1) 文化協力（主催）	2
(2) 文化協力（助成）	3
文化事業費	5
1. 人物交流事業費	6
(1) 文化人招へい	6
2. 催し等事業費	9
(1) 日本文化紹介派遣（主催）	9
(2) 日本文化紹介派遣（助成）	14
市民青少年交流事業費	21
1. 人物交流事業費	22
(1) 受託事業（アセアン）	22
(2) 中学高校教員交流（招へい）	26
(3) 中学高校教員交流（派遣）	29
(4) 開高健記念アジア作家招へい	29
2. 催し等事業費	29
(1) 市民青少年交流（主催/派遣）	29
(2) 市民青少年交流（主催/招へい）	30
(3) 市民青少年交流（助成）〔生活文化〕	31
企画開発費	41
1. 催し等事業費	42
(1) 事業開発（催し）	42
2. 文化資料事業費	43
(1) 事業開発（文化資料）	43
造形美術事業費	44
1. 人物交流事業費	45
(1) 受託事業（アセアン）	45
(2) 造形美術情報交流（招へい）	47

2. 催し等事業費	47
(1) 国際展（国際展参加）	47
(2) 海外展（企画展）	47
(3) 海外展（巡回展）	49
(4) 国内展（企画展）	57
(5) 海外展（助成）	58
(6) 造形美術情報交流（催し）	64
(7) 市民青少年交流（助成）〔造形美術〕	66
舞台芸術事業費	68
1. 人物交流事業費	69
(1) 内田奨学金フェローシップ（招へい）	69
2. 催し等事業費	70
(1) 海外公演（主催）	70
(2) 海外公演（助成）	78
(3) 海外公演（PAJ 北米・助成）	104
(4) 海外公演（PAJ 欧州・助成）	108
(5) 国際舞台芸術共同制作	111
(6) 国内公演（主催）	112
(7) 舞台芸術情報交流（催し）	112
(8) 市民青少年交流（助成）〔舞台芸術〕	115
映像出版事業費	117
1. 催し等事業費	118
(1) 海外日本映画祭（主催）	118
(2) 海外日本映画祭（助成）	123
(3) 外国理解促進国内映画祭（主催）	129
(4) 映像出版情報交流（催し）	130
2. 催し等事業費（ポップカルチャー）	130
(1) 国際漫画賞	130
(2) アニメ文化大使	131
3. 文化資料事業費	131
(1) テレビ番組交流促進	131
(2) フィルムライブラリー充実（本部）	134
(3) フィルムライブラリー充実（海外）	135
(4) 国際図書展参加	136
(5) 映像出版情報交流（文化資料）	138
4. 日本研究事業費	139
(1) 日本理解促進映画・テレビ番組制作（助成）	139
(2) 日本理解促進出版・翻訳（助成）	140

<b>&lt;日本語普及事業に必要な経費&gt;</b> .....	145	(5) 日本語学習者訪日研修 (各国成績優秀者) .....	204
日本語事業費 .....	145	(6) 日本語学習者訪日研修 (大学生) .....	206
1. 日本語企画調整費 .....	146	(7) 日本語学習者訪日研修 (高校生) .....	209
(1) 海外日本語教育機関等調査 .....	146	(8) アジア・ユースフェローシップ高等教育奨学金訪日研修 .....	210
(2) 日本語教育情報交流 .....	146	(9) 地域交流研修 (関西国際センター) .....	210
2. 日本語派遣・助成費 .....	147	(10) 在日外交官日本語研修 .....	212
(1) 受託事業 (アセアン 第一期) .....	147	(11) 受託研修 (関西国際センター) .....	213
(2) 受託事業 (アセアン 第二期) .....	149	(12) 受託研修 (関西国際センター) [アセアン] .....	213
(3) 日本語教育専門家派遣 (専門家) .....	153	(13) 受託研修 (関西国際センター) [サーク] .....	215
(4) 日本語教育専門家派遣 (ジュニア専門家) .....	160	(14) 国内大学連携 (関西国際センター) .....	215
(5) 国内大学連携 (派遣・助成) .....	164	(15) Eラーニング開発事業 .....	217
(6) 日本語教育企画連携型事業 .....	168		
(7) 日本語教育機関支援 (現地講師謝金助成) .....	170	<b>&lt;日本研究・知的交流事業に必要な経費&gt;</b> .....	218
(8) 日本語教育プロジェクト支援 (弁論大会助成) .....	171	企画開発費 .....	218
(9) 日本語教育プロジェクト支援 (ネットワーク形成助成) .....	176	1. 文化資料事業費 .....	219
(10) 日本語教育専門家派遣 (JF ボランティア・指導助手) .....	179	(1) 図書寄贈 [企画調整] .....	219
3. 日本語能力試験費 .....	180		
(1) 日本語能力試験実施 .....	180	<b>日中交流センター事業費</b> .....	220
(2) 評価開発 .....	181	1. 人物交流事業費 .....	221
		(1) 受託事業 (日中交流センター) .....	221
<b>附属機関日本語国際センター事業費</b> .....	182	(2) 高校生等招へい事業 .....	221
1. 研修事業費 .....	183	2. 催し等事業費 .....	221
(1) 指導的日本語教師の養成 (日本語教育指導者) .....	183	(1) 中国「ふれあいの場」事業 (主催) .....	221
(2) 指導的日本語教師の養成 (海外日本語教師上級研修) .....	184	(2) 中国「ふれあいの場」事業 (助成) .....	222
(3) 海外日本語教師研修 (長期) .....	185	3. 文化資料事業費 .....	223
(4) 海外日本語教師研修 (短期) .....	186	(1) ネットワーク整備事業 (文化資料) .....	223
(5) 海外日本語教師研修 (国別) .....	189		
(6) 受託研修 (日本語国際センター) .....	189	<b>カルコン事務局運営費</b> .....	224
(7) 受託研修 (日本語国際センター) [アセアン] .....	191	1. 調査研究費 .....	225
(8) 受託研修 (日本語国際センター) [サーク] .....	191	(1) カルコン事業費 .....	225
(9) 地域交流研修 (日本語国際センター) .....	192		
2. 制作事業費 .....	193	<b>米州交流事業費</b> .....	226
(1) 日本語教材・教授用等開発・普及 .....	193	1. 日本研究事業費 .....	227
(2) 日本語教材寄贈 .....	194	(1) 日本研究ネットワーク強化 (主催) [米州] .....	227
3. 制作事業費 (教師研修) .....	195	(2) 日本研究ネットワーク強化 (助成) [米州] .....	228
(1) 図書館運営 (日本語国際センター) .....	195	(3) 日本研究機関支援 [米州] .....	228
		(4) 日本研究巡回セミナー [米州] .....	230
<b>附属機関関西国際センター事業費</b> .....	196	2. 人物交流事業費 .....	231
1. 研修事業費 .....	197	(1) 日本研究フェローシップ (学者・研究者) [米州] .....	231
(1) 図書館運営 (関西国際センター) .....	197	(2) 日本研究フェローシップ (論文執筆) [米州] .....	232
(2) 専門日本語研修 (外交官) .....	198	(3) 日本研究フェローシップ (短期) [米州] .....	235
(3) 専門日本語研修 (公務員) .....	200	(4) 知的リーダー交流 (派遣) [米州] .....	237
(4) 専門日本語研修 (文化・学術専門家) .....	201		

3. 催し等事業費	237
(1) 知的交流会議（主催）〔米州〕	237
(2) 知的交流会議（助成）〔米州〕	237
<b>アジア・大洋州交流事業費</b>	239
1. 日本研究事業費	240
(1) 日本研究ネットワーク強化（主催）〔アジア・大洋州〕	240
(2) 北京日本学研究中心派遣（北京外国語大学）	242
(3) 北京日本学研究中心派遣（北京大学）	243
(4) 北京日本学研究中心招へい（北京外国語大学）	244
(5) 北京日本学研究中心招へい（北京大学）	245
(6) 北京日本学研究中心研究支援（北京外国語大学）	245
(7) 北京日本学研究中心研究支援（北京大学）	245
(8) 日本研究機関支援〔アジア・大洋州〕	246
(9) 日本研究ネットワーク強化（助成）〔アジア・大洋州〕	249
2. 人物交流事業費	251
(1) 受託事業（アセアン）	251
(2) 日本研究フェロシップ（学者・研究者）〔アジア・大洋州〕	257
(3) 日本研究フェロシップ（論文執筆者）〔アジア・大洋州〕	259
(4) 日本研究フェロシップ（短期）〔アジア・大洋州〕	262
(5) 日本研究フェロシップ（高砂熟学工業）	263
(6) 知的リーダー交流（招へい）〔アジア・大洋州〕	264
(7) 知的リーダー交流（派遣）〔アジア・大洋州〕	265
3. 催し等事業費	265
(1) 知的交流会議（助成）〔アジア・大洋州〕	265
(2) 知的交流会議（企画企画助成）〔アジア・大洋州〕	274
(3) 知的交流会議（主催）〔アジア・大洋州〕	277
(4) 市民青少年交流（助成）〔アジア・大洋州〕	279
4. 文化資料事業費	281
(1) 図書寄贈〔アジア・大洋州〕	281
<b>欧州・中東・アフリカ交流事業費</b>	282
1. 日本研究事業費	283
(1) 日本研究ネットワーク強化（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕	283
(2) 日本研究ネットワーク強化（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕	284
(3) 日本研究機関支援〔欧州・中東・アフリカ〕	284
2. 人物交流事業費	287
(1) 日本研究フェロシップ（学者・研究者）〔欧州・中東・アフリカ〕	287
(2) 日本研究フェロシップ（論文執筆）〔欧州・中東・アフリカ〕	288
(3) 日本研究フェロシップ（短期）〔欧州・中東・アフリカ〕	290
(4) 知的リーダー交流（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕	291
(5) 知的リーダー交流（派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕	295

3. 催し等事業費	296
(1) 知的交流会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕	296
(2) 知的交流会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕	298
(3) 市民青少年交流（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕	304

<b>日米センター運営管理費</b>	305
1. ニューヨーク日米センター事業費	306
(1) 知的交流小規模助成	306
(2) 地域草の根交流小規模助成	306
(3) 教育アウトリーチ支援小規模助成	307
(4) 在米日米協会支援	311

<b>日米交流推進費</b>	313
1. 人物交流事業費	314
(1) 安倍フェロシップ	314
(2) 市民交流支援（日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI）	315
2. 催し等事業費	316
(1) 日米交流支援（助成）	316
(2) 日米交流支援（主催）	321
(3) 市民青少年交流（助成）〔日米センター〕	323

<b>&lt;調査研究及び情報提供事業等に必要経費&gt;</b>	324
<b>情報センター事業費</b>	324
1. 催し等事業費	325
(1) 国内連携促進	325
2. 文化資料事業費	326
(1) 定期刊行物	326
(2) 年次報告	326
(3) ウェブサイト・メールマガジン	326
(4) JF サポーターズクラブ	327
3. 調査研究費	327
(1) JFIC 事業	327
(2) 国際交流顕彰事業（基金賞）	328
(3) 国際交流顕彰事業（地球市民賞）	328
4. その他	329
(1) 後援名義の付与	329

<b>企画・評価費</b>	342
1. 調査研究費	343
(1) 調査研究	343
(2) 事業評価（企画評価）	343

文化事情調査費	344	(5) 文化紹介特定寄附	564
1. 調査研究費	345	(6) 文化交流施設等特定寄附	564
(1) 文化事情調査	345		
国際文化交流研究センター事業費	346		
1. 調査研究費	347		
(1) 機関連携事業	347		
(2) 調査研究	348		
<b>&lt;在外事業に必要な経費&gt;</b>	349		
京都支部	350		
1. 京都支部	350		
海外事務所	354		
1. ローマ日本文化会館	354		
2. ケルン日本文化会館	363		
3. パリ日本文化会館	368		
4. ソウル日本文化センター	379		
5. 北京日本文化センター	391		
6. ジャカルタ日本文化センター	400		
7. バンコク日本文化センター	413		
8. マニラ日本文化センター	424		
9. クアラルンプール日本文化センター	438		
10. ニューデリー日本文化センター	452		
11. シドニー日本文化センター	461		
12. トロント日本文化センター	469		
13. ニューヨーク日本文化センター	484		
14. ロサンゼルス日本文化センター	491		
15. メキシコ日本文化センター	502		
16. サンパウロ日本文化センター	507		
17. ロンドン日本文化センター	515		
18. マドリード日本文化センター	527		
19. ブダペスト日本文化センター	530		
20. モスクワ日本文化センター	535		
21. カイロ日本文化センター	545		
22. ベトナム日本文化交流センター	550		
<b>&lt;文化交流施設等協力事業に必要な経費&gt;</b>	561		
文化交流施設等協力事業費	561		
1. 文化交流施設等協力事業費	562		
(1) 人物交流特定寄附	562		
(2) 日本研究特定寄附	562		
(3) 日本語特定寄附	563		
(4) 催し等特定寄附	563		
		プログラム名索引 (五十音順)	566

(注)

## 1. 期 間

- (1) 本書で扱う事業実績は、事業の実施期間が平成 21 事業年度（2009 年 4 月 1 日～2010 年 3 月 31 日）内のもの、および実施期間の一部がこの年度にかかっているものを対象としている。
- (2) 各事業の実施期間は次による。
  - ・人物の派遣・招へい：派遣期間または招へい期間
  - ・展覧会／公演／映画祭／会議・セミナー等の実施：開催期間（開催日、公演日、実施日）または総巡回期間
  - ・上記を除く助成事業：助成対象期間
  - ・調査：調査実施期間
  - ・出版物の刊行：発行日

## 2. 地域・国

- (1) 地域分類および国名表記は別表のとおりである。
- (2) 各事業の実施対象国は次による。
  - ・人物の派遣：派遣先国
  - ・人物の招へい：被招へい者の所属国
  - ・展覧会／公演／映画祭等の実施
    - 海外で実施される場合：実施国
    - 国内で実施される場合：参加国またはテーマ国、対象者（機関）所在国
  - ・リサーチ／会議・セミナー等の実施
    - 主催事業の場合：参加国またはテーマ国
    - 助成事業の場合：助成対象者（機関）所在国
  - ・図書／フィルム等の寄贈・配布：寄贈・配布先国
  - ・出版物の刊行：配布先国
  - ・上記を除く助成事業：助成対象者（機関）所在国

## 3. 海外事務所の事業

海外事務所の経費は、年平均のレートで円換算し、小数点以下は切り捨て。

※ 2001年度より、本書で扱う事業実績額は、プロジェクトごとにまとめている。

## (別表) 地域分類・国名表記一覧

(2010年8月現在)

大地域区分	小地域区分	国／地域（通称、五十音順）
アジア地域	東アジア地域	韓国、中国、日本、モンゴル /台湾
	東南アジア地域	インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、東ティモール、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス
	南アジア地域	インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ
大洋州地域	大洋州地域	オーストラリア、キリバス、サモア、ソロモン、ツバル、トンガ、ナウル、ニュージーランド、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、フィジー、マーシャル諸島、ミクロネシア
米州地域	北米地域	カナダ、米国
	中米地域	アンティグア・バーブーダ、エルサルバドル、キューバ、グアテマラ、グレナダ、コスタリカ、ジャマイカ、セントクリストファー・ネイビス、セントビンセント、セントルシア、ドミニカ、ドミニカ共和国、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、ハイチ、パナマ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、ホンジュラス、メキシコ
	南米地域	アルゼンチン、ウルグアイ、エクアドル、ガイアナ、コロンビア、スリナム、チリ、パラグアイ、ブラジル、ベネズエラ、ペルー、ボリビア
欧州地域	西欧地域	アイスランド、アイルランド、アンドラ、イタリア、英国、オーストリア、オランダ、キプロス、ギリシャ、サンマリノ、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、バチカン、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、マルタ、モナコ、リヒテンシュタイン、ルクセンブルグ
	東欧地域	アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、ウクライナ、ウズベキスタン、エストニア、カザフスタン、キルギス、グルジア、クロアチア、コソボ、スロバキア、スロベニア、セルビア、タジキスタン、チェコ、トルクメニスタン、ハンガリー、ブルガリア、ベラルーシ、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、モルドバ、モンテネグロ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ロシア
中東地域	中東地域	アフガニスタン、アラブ首長国連邦、イエメン、イスラエル、イラク、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、シリア、トルコ、バーレーン、パレスチナ、ヨルダン、レバノン
	北アフリカ地域	アルジェリア、エジプト、スーダン、チュニジア、モロッコ、リビア
アフリカ地域	アフリカ地域	アンゴラ、ウガンダ、エチオピア、エリトリア、ガーナ、カーボヴェルデ、ガボン、カメルーン、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、コートジボワール、コモロ、コンゴ、コンゴ民主共和国、サントメ・プリンシペ、ザンビア、シエラレオネ、ジブチ、ジンバブエ、スワジランド、セーシェル、赤道ギニア、セネガル、ソマリア、タンザニア、チャド、中央アフリカ、トーゴ、ナイジェリア、ナミビア、ニジェール、ブルキナファソ、ブルンジ、ベナン、ボツワナ、マダガスカル、マラウイ、マリ、南アフリカ、モーリシャス、モーリタニア、モザンビーク、リベリア、ルワンダ、レソト



# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 文化協力事業費

### 1. 催し等事業費

(1) 文化協力 (主催)

(2) 文化協力 (助成)

## 文化協力事業費

## 1. 催し等事業費 / (1) 文化協力（主催）

海外の無形及び有形の文化財保存に協力するため、専門家の派遣・招へい、国際共同研究、専門家会議、セミナー、ワークショップ等を実施する。

合計額 16,878,542 円

	事業名	氏名	現職	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	美術館運営支援	山領 まり	山領絵画修復工房 絵画修復家	ルーマニア	ルーマニア国立美術館  在ルーマニア大使館	2010.03.07 ～ 2010.03.21	ルーマニア国立美術館の修復専門家への日本絵画・浮世絵等の修復方法指導を通じて、美術館運営に必要な人材育成、美術館の運営支援を図る目的で、日本から絵画修復の専門家を派遣
2	樺太時代文化遺産保存・修復支援（招へい）	イゴール・サマリ  イリーナ・ゴニコ コーヴァ  エレナ・サヴェ リエヴァ	サハリン州行政 文化局顧問  サハリン州行政 文化局長  サハリン州行政 文化局顧問	ロシア	サハリン州行政文 化局	2009.10.03 ～ 2009.10.10	平成20年度事業のフォローアップとして、サハリン州より州行政文化局幹部（文化財保存担当）3名を日本に招へいし、特に①北海道における歴史的建造物の保存・活用の現状視察、②樺太時代の史跡保存に関する日本側専門家とのシンポジウム開催、③歴史的建造物の保存・活用に関する政策立案当局の訪問及び意見交換等を実施
3	「デジタルアニメを通じた人材育成」フォローアップ（招へい）	Muhammad Hamze  TARIK M. S. EL- KHATEEB	ゲームデザイナー ／コミック・アー ティスト  オーガニック・ビ ジュアルアーツ社 グラフィック・デ ザイナー	シリア  ヨルダン	王立フィルム・コ ミッション	2010.02.22 ～ 2010.03.19	平成19年度文化協力（派遣）「デジタルアニメ人材育成」派遣事業のワークショップ参加優秀者（シリア、ヨルダンから各1名、計2名）を日本に招へいし、日本のアニメ事情に関する視察及びデジタルアニメ制作に関する指導を実施
4	カマン遺跡文化財展示・保存支援	永金 宏文	株式会社ディグ 社長／展示ディレ クター	トルコ	カマン・カレホ ユック考古学博物 館  文化観光省文化財 博物館局  在トルコ大使館  中近東文化セン ター附属アナトリ ア考古学研究所	2009.05.19 ～ 2010.04.13	永金宏文（博物館展示会社・株式会社ディグ社長）を5月19～29日、2月28日～4月13日の2回にわたりカマン・カレホユック考古学博物館に派遣し、同博物館におけるカマン遺跡からの出土品の展示・陳列計画の策定方法を指導し、将来的な現地主導での博物館運営のために現地専門家を指導・育成
5	柔道人材育成	横山 喬之	柔道家	レバノン	レバノン柔道連盟  在レバノン大使館	2009.07.30 ～ 2009.10.03	日本人柔道専門家をレバノン柔道連盟に派遣し、各種柔道競技会、国際レベルの競技会への参加を目指すレバノン柔道競技者に対して技術指導を実施

文化協力事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
6	音楽人材育成	マリー・ロレンツ ＝岡部  橋爪 恵一  村上 準一郎	フルート奏者  クラリネット奏者  トロンボーン奏者	ザンビア	エブリフォンカ レッジ教育学部	2009.07.22 ～ 2009.08.21	マリー・ロレンツ＝岡部（フルート奏者）、村上準一郎（トロンボーン奏者）、橋爪恵一（クラリネット奏者）をエブリフォンカレッジに派遣し、音楽家の指導教官・学生に対して楽器（平成13年度日本政府が文化無償協力で供与した機材）の演奏法を指導

1. 催し等事業費 / (2) 文化協力（助成）

海外の無形及び有形の文化財保存に協力する日本の機関が実施する国際共同事業に対し経費の一部を助成する。

合計額 9,948,913 円

	事業名	氏名	現職	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
1	柔道人材育成／招へい			特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー	中国	2009.10.07 ～ 2010.04.30	青島日中友好柔道館（平成20年度草の根文化無償支援）及び南京市・柔道館（平成21年度草の根文化無償支援）より、中国の柔道指導者候補3名を招へいし、選手の育成を通じて中国における柔道分野の指導者及び選手の人材育成を行う事業に対し経費の一部を助成
2	東アジアにおける日本画・岩彩画の教育と展開／派遣			岩彩画研究実行委員会	中国	2009.11.05 ～ 2009.11.14	中国の国画である水墨中心の技法が大勢の中国美術界の中で、日本で学んだ岩絵具を使う日本画の表現は岩彩画とよばれ美術展でも少数派に属し、帰国留学生の活躍の場は少ない。今回の交流展を通じて中国における岩彩画の周知と留学生に対する研究室単位でのサポートを実施。国際交流基金は、実施経費の一部を助成
3	日本伎楽とチベット仏教チャムの比較研究シンポジウム／招へい	細井 尚子	立教大学異文化コミュニケーション教授		モンゴル ブータン	2010.01.13 ～ 2010.01.20	日本伎楽とチベット仏教チャムについて、モンゴル、ブータン、米国より専門家及び舞手・演奏者を招へい。ブータンのチャム、モンゴルのチャムが国家との関係性などの点で、伎楽と背景や属性に共通点をもつことに焦点をあて、比較研究するシンポジウムを日本で開催する事業に対し経費の一部を助成
4	ホイアン町並み保存	友田 博通	昭和女子大学国際文化研究所 教授		ベトナム	2009.08.09 ～ 2010.09.07	急激な観光発展を遂げた「世界遺産ホイアン」が、遺跡保存の観点からは危機的状況にあるとユネスコから警告を受けている。ホイアン遺跡管理事務所の保存計画の見直しと能力強化のための支援事業に対し経費の一部を助成

## 文化協力事業費

	事業名	氏名	現職	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
5	オーケストラ演奏技術の向上のための育成ワークショップ／派遣	小林 恵子	指揮者	スリランカ交響楽団	スリランカ	2009.09.25 ～ 2009.10.11	スリランカ交響楽団員に対して、過去に交流実績がある小林恵子（指揮者）及び木村淳（フレンチホルン奏者）が指導を行う事業に対し経費の一部を助成
6	ネパール児童絵画教育プロジェクト第3回	金 斗鉉	画家（イラストレーター）		ネパール	2010.03.13 ～ 2010.03.23	ネパール・ポカラ地区の女子師範学校の教員及び師範学校生、ムスタン地区の公立学校（2校）の教員を対象に、児童美術教育及び日本文化紹介の指導法や手法に関する助言・指導及びワークショップを実施。国際交流基金は、実施経費の一部を助成
7	文化遺産保存修復支援	古庄 浩明	駒澤大学文学部歴史学科 非常勤講師		ウズベキスタン	2009.10.02 ～ 2009.10.24	ウズベキスタン芸術アカデミーの要請を受け、現地のニーズを踏まえた専門家チームを編成し、文化遺産保存修復に関する実技講習や講義の他、テキストの作成を実施。国際交流基金は実施経費の一部を助成
8	日本・ルーマニア「遺跡と環境を通じた創造」ワークショップ／派遣			特定非営利活動法人N・C・S	ルーマニア	2009.10.01 ～ 2009.10.07	日本・ルーマニアにおける文化交流の強化、とりわけ美術、建築、遺産を介した持続的交流の推進を目的にワークショップを実施。また世界遺産を含めた両国の遺産の保護や地域再生の方法論について、両国の専門家間でこれまでの成果を検証し、新たな方向を議論し、具体的なプログラムを構築する事業に対し経費の一部を助成
9	リビアにおける世界遺産教育の実践と文化遺産保護意識向上プロジェクト／派遣	日高 健一郎	筑波大学大学院人間総合科学研究科世界文化遺産学専攻長・教授		リビア	2009.08.01 ～ 2010.04.30	リビアの世界遺産及びそれに準じる遺跡を対象として、周辺に住む青少年・住民に世界遺産教育を行い、地域の文化遺産保護意識向上を図るための事業を実施。国際交流基金は、実施経費の一部を助成
10	ケニア、ガンビア・スポーツ協力事業／派遣			財団法人日本ソフトボール協会	ガンビア ケニア	2009.08.06 ～ 2009.08.20	ソフトボールが未だ一般的には普及していないアフリカ地域に、宇津木妙子（元日本代表監督）他専門家計4名を派遣。ガンビア、ケニアを中心としたアフリカ地域におけるソフトボールの普及活動に対し経費の一部を助成

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 文化事業費

### 1. 人物交流事業費

(1) 文化人招へい

### 2. 催し等事業費

(1) 日本文化紹介派遣 (主催)

(2) 日本文化紹介派遣 (助成)

## 文化事業費

## 1. 人物交流事業費 / (1) 文化人招へい

海外の文化の諸分野において指導的立場にある者、日本と当該国の文化交流の上で貢献が期待できる者を招へいし、日本の実情視察、日本側文化人、関係分野の専門家等との意見交換等の機会を提供する。

合計額 62,540,208 円

	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	Y00, Jin Ryong	乙支大学校余暇デザイン学科 教授	韓国	2010.01.15 ~ 2010.01.29	文化・芸術による地域コミュニティ振興の状況、文化施設（博物館、アートセンター、テーマパーク等）の運営状況視察、芸術文化振興基金の助成金による芸術活動振興についての理解促進及び日本文化・社会事情視察。招へい者が副会長を務める韓国余暇文化学会と同分野の学会である「日本余暇学会」も訪問し、ネットワーク構築を図った
2	MARIA LOURDES, Leviste Jacob	国家文化芸術委員会 (NCCA) 事務局長	フィリピン	2009.09.10 ~ 2009.09.20	日本の文化行政関係者との面談、ネットワークの構築及び日本文化・社会事情視察
3	ベトナム中央文学芸術協会 連合会グループ (11名)  Cao Viet Dung  Do Thi Thu Ha  Huynh Vinh Son  Luong Viet Dung  Nguyen Nhu Huy  Nguyen Quang Dung  Nguyen Thanh Loc  Nguyen Vinh Tien  Pham Khanh Linh  Tran Huyen Sam  Truong Duc Tri	ニャ・ナム出版・コミュニケーション株式会社 翻訳家  若者新聞 記者  解放映画社 アニメ監督  ニャ・ナム出版・コミュニケーション株式会社 通訳・翻訳家  キュレーター  映画監督  タイズオン舞台芸術有限会社  T&T越仏建築TM株式会社 (Tグループ) 会長/建築家  歌手  フエ教育大学、文学評論家  ミュージック・フェイス社 副社長/作曲家	ベトナム	2010.03.28 ~ 2010.04.07	ベトナム中央文学芸術協会連合を形成する作家協会、舞台協会、美術協会、映画協会、音楽協会、舞踊協会、建築協会、写真協会、民間文化協会、少数民族文学協会の代表団一行が、日本の当該分野の関係団体と交流しネットワークを構築
4	MOHAMED GHOUSE, Nasruddin	国立芸術文化遺産大学 (ASWARA) 会長	マレーシア	2009.06.28 ~ 2009.07.12	芸術系大学、文化関係機関の視察及びネットワークの構築及び日本文化・社会事情視察

## 文化事業費

	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
5	MUSTAFA, Ghulam	パンジャブ芸術評議会 会長	パキスタン	2009.11.08 ~ 2009.11.21	美術を中心とした日本の芸術の現状視察、関係者とのネットワークの構築及び日本文化・社会事情視察
6	MILLS, Richard	西オーストラリア・オペラ芸術監督	オーストラリア	2009.09.05 ~ 2009.09.14	日本の音楽・舞台芸術、音楽教育の現状視察及び関係団体とのネットワークの構築、日本の伝統芸術を基にした作曲のヒントを得るための公演鑑賞及び日本文化・社会事情視察
7	ALO, Allan	南太平洋大学オセアニア芸術・文化センター 振付師／演出家	フィジー	2010.02.27 ~ 2010.03.12	日本の舞踊関係者、青少年の社会問題関係者との面談、ネットワークの構築及び日本文化・社会事情視察
8	PRICE, Janice	LUMINATO (ルミナート) 会長兼CEO	カナダ	2010.01.17 ~ 2010.01.30	舞台芸術を中心に、日本の現代文化と地方の伝統的文化への理解を深め、日本の芸術プロデューサーとのネットワークの構築及び日本文化・社会事情視察
9	DYNAK, David	コロラド大学デンバー校芸術メディア学部 学部長	米国	2009.10.06 ~ 2009.10.15	日本のメディア・映画技術に関する視察、関係者とのネットワーク構築及び日本文化・社会事情視察
10	HERRERA, Hayden	美術研究者／伝記作家	米国	2009.10.20 ~ 2009.11.03	日系人彫刻家イサム・ノグチに関する伝記執筆のための取材及び日本文化・社会事情視察
11	GARCIA LUNA, Margarita	ルイス・ニシザワ美術館 館長	メキシコ	2010.03.06 ~ 2010.03.20	日本の文化及び美術の視察、日本の歴史、特に西洋／キリスト教文明との接触とその影響についての理解促進、今後の日本・メキシコ文化交流発展に向けたネットワーク構築。また、ルイス・ニシザワの日本での活動に関わる人物として故岡本太郎や故利根山光人の関連施設も訪問
12	LACASA, Jaqueline	国立造形美術視覚博物館 館長	ウルグアイ	2009.10.13 ~ 2009.10.22	現代視覚芸術の学校、現代芸術の画廊、美術史及び現代芸術の博物館、前衛演劇、近・現代建築の視察及び学芸員・批評家・芸術家との面談、ネットワークの構築及び日本文化・社会事情視察
13	NEGME ECHEVERRIA, Veronica Iris	ガブリエラ・ミストラル大学アジア太平洋研究所 副所長	チリ	2009.10.05 ~ 2009.10.19	教育・学術機関、シンクタンク、メディアを訪問・意見交換、ネットワークの構築及び日本文化・社会事情視察
14	MARANHAO, Carlos	アブリル出版社 編集ディレクター	ブラジル	2009.11.15 ~ 2009.11.27	日本の出版業界視察（日本主要都市のタウン情報誌の仕組み見学。講談社（アブリル出版社と同規模・同出版方針の出版社）と出版交流について意見交換）、日本のテレビ界の仕組み（特に教育番組、文科系テレビ番組の編成）視察及び日本文化・社会事情視察
15	HOLDEN, John	シティ大学 客員教授	英国	2010.02.28 ~ 2010.03.14	日本の文化政策実施機関、文化の諸分野の実務家指導者、及び文化政策分野の研究者等と交流を行うことにより日本社会への理解を深め、文化的視点からの英国及び文化政策分野での日本理解・日本紹介に資する。併せて日本の文化・社会事情視察
16	STADLER, Eva Maria	ベルベデーレ（宮殿美術館、博物館） 学芸員	オーストリア	2010.03.16 ~ 2010.03.23	日本の近・現代美術館、ギャラリーとのネットワークの構築及び日本文化・社会事情視察

## 文化事業費

	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
17	HOFFMANN, Philippe	国立高等研究院宗教学部 教授／学部長	フランス	2010.02.14 ～ 2010.02.27	哲学・宗教専門家との意見交換のため、高等教育・研究機関の訪問、日本における史料保存の現状視察のため図書館等関係機関の訪問及び日本文化・社会事情視察
18	MRADOVA, Dilora	ウズベキスタン国立音楽院 院長	ウズベキスタン	2010.02.10 ～ 2010.02.24	日本の高等音楽教育機関関係者との意見交換（東京藝術大学との国際交流協定の活性化を含む）、ネットワークの構築及び日本文化・社会事情視察
19	BUDAY, Peter	リストランテマッテオ 料理長／カフェピカルド 料理長	ハンガリー	2010.03.08 ～ 2010.03.22	日本各地の料理店、市場、調理器具専門店（合羽橋等）の視察、日本の食文化（精進料理等）体験、日本の料理人、食文化専門家、料理雑誌編集者との面談及び日本文化・社会事情視察
20	PTKAUSKAS, Kestutis	リトアニア盆栽連盟 会長	リトアニア	2009.10.05 ～ 2009.10.19	日本庭園・寺社等の視察及び日本文化・社会事情視察
21	SLAVNIKOVA, Olga	ロシア作家同盟 作家／文 芸評論家	ロシア	2009.10.16 ～ 2009.10.30	現代文学研究者との交流、ネットワークの構築及び日本文化・社会事情視察
22	GULZAMAN	アフガニスタン・シンガー ズ・ユニオン 代表代行/ 音楽家	アフガニスタン	2010.03.24 ～ 2010.04.04	アフガニスタン伝統音楽の紹介（演奏・歌唱披露）、日本の伝統音楽関係者との交流及び日本文化・社会事情視察
23	AL-KHALIFA, Mubarak	文化・芸術省 事務局長	カタール	2009.11.09 ～ 2009.11.17	日本の文化・芸術・芸能等の視察、関係者とのネットワークの構築及び日本文化・社会事情視察
24	GOKMEN, Rengim	トルコ文化観光省 国立オ ペラ・バレエ総局局長	トルコ	2009.09.20 ～ 2009.09.30	日本の伝統文化、芸術、サブカルチャーに関する理解を深めるため関係者との意見交換、ネットワークの構築及び日本文化・社会事情視察
25	EL MOALLEM, Ibrahim	ダール・シュルーク出版社 会長	エジプト	2010.02.14 ～ 2010.02.20	印刷、出版・新聞関係者との意見交換、ネットワークの構築及び日本文化・社会事情視察
26	MIKALA, Gyno-Noel	オマール・ボンゴ大学 准 教授	ガボン	2009.12.03 ～ 2009.12.17	日本文学研究者との意見交換、ネットワークの構築及び日本文化・社会事情視察
27	SALL, Abdou Salam	ダカール大学 学長	セネガル	2009.09.28 ～ 2009.10.12	日本の主要な学術・研究機関訪問、今後の協力関係構築及び日本文化・社会事情視察



## 文化事業費

## 2. 催し等事業費 / (1) 日本文化紹介派遣 (主催)

海外に日本の文化人やスポーツ専門家を派遣し、日本文化紹介のための講演、デモンストレーション、指導、セミナー、ワークショップ等を行う (音楽・演劇・舞踊・民俗芸能など公演事業は除く)。

合計額 94,741,214 円

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1	アニメ	小島 正幸	演出・監督/株式会社マッドハウス	中国	2009.11.14 ~ 2009.11.19	小島正幸 (アニメ映画監督) によるレクチャーの実施。北京においては <i>Anime Festa 2009</i> 日中アニメ交流の一環として実施
2	落語	桂 かい枝 梅田 英実	社団法人上方落語協会 落語家 プロデューサー	シンガポール フィリピン ブルネイ	2009.09.21 ~ 2009.10.01	桂かい枝 (落語家) と梅田英実 (プロデューサー) をシンガポール、フィリピン、ブルネイに巡回派遣し、英語による落語について講演と実演を実施
3	ファッション	コシノ ジュンコ 鈴木 弘之	ファッションデザイナー JUNKO KOSHINO株式会社 役員	タイ ミャンマー	2009.08.20 ~ 2009.08.28	コシノジュンコ (ファッションデザイナー) をミャンマー (ヤンゴン)、タイ (バンコク) に巡回派遣し、日本ファッションに関するレクチャー・デモンストレーションを実施
4	織物	吉本 忍	国立民族学博物館教授	タイ ベトナム ラオス	2009.11.02 ~ 2009.11.16	伝統工芸 (織物) 専門家をラオス (ビエンチャン)、ベトナム (ホーチミン、ハノイ)、タイ (チェンマイ) に巡回派遣し、日本の織物について講演を実施
5	落語・演芸	桂 あさ吉	噺家/株式会社米朝事務所	オーストラリア	2010.03.20 ~ 2010.04.03	桂あさ吉 (落語家) をキャンベラ、シドニー、メルボルン、ブリスベン、パースに巡回派遣し、英語による落語について講演と実演を実施
6	建築	坂 茂	建築家/坂茂建築事務所	ニュージーランド	2009.09.15 ~ 2009.09.18	坂茂 (建築家) をニュージーランド (ウェリントン、オークランド) に巡回派遣し、日本の建築に関する講演会を実施
7	食	藤田 千恵子 伊藤 宏子	フリーライター 編集者	カナダ	2010.03.04 ~ 2010.03.12	藤田千恵子 (フリーライター) 他をカナダ (トロント、バンクーバー) に派遣し、トロント大学でのシンポジウム及びトロント日本文化センター、バンクーバー総領事公邸にて日本酒についての講演を実施

## 文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
8	デザイン	川崎 和男 船山 俊克 川崎 浩子 大島 創	工業デザイナー／ 大阪大学大学院 教授／オーザック デザイン／川崎和 男先端デザイン研 究室 大阪大学大学院工 学研究科 オーザックデザイ ン 会社役員 オーザックデザイ ン デザイナー	米国	2009.06.02 ～ 2009.06.13	日本の現代文化発信と幅広い有識者の対日関心惹起・対日理解促進のため、日本を代表する工業デザイナーによる文化講演会とワークショップを実施。川崎和男の「いのちと向き合うデザイン」「デザインが世界の平和を創る」といった日本のデザインの最先端のコンセプトを始め、「Made in Japan」の底力を多面的に紹介
9	漫画・アニメ	西野 つぐみ 西野 公平	マンガ家 京都精華大学 准 教授	米国	2009.10.31 ～ 2009.11.15	漫画家ユニット「木ノ花さくや」（西野つぐみ、西野公平）を派遣。日本の漫画について、その歴史・文化的背景を含めて講演したほか、実際の漫画製作の技術（ペン入れ、スクリーントーン）の実技やデモンストレーションをワークショップ形式で実施
10	高速鉄道	阿川 尚之 福田 哲夫	慶應義塾大学 常 任理事 産業技術大学院大 学 教授	米国	2010.02.28 ～ 2010.03.05	阿川尚之及び福田哲夫を講師に、鉄道ファンの視点から日本の鉄道旅行の魅力を伝えると同時に、高速鉄道をデザインした工業デザイナーの視点から日本の高速鉄道の形状や内装及び自然を意識したデザインについて解説
11	ファッション	深井 晃子	公益財団法人京都 服飾文化研究財団 理事	米国	2010.03.10 ～ 2010.03.20	世界のファッションに影響を与えた日本のファッションデザイン（デザイナー）について、歴史・文化的側面も交えて講演（米国主要都市向け集中発信事業）
12	書道	濱崎 道子 宮川 佳代子	書道家 書道専門誌 編集	エルサルバドル ホンジュラス メキシコ	2010.02.20 ～ 2010.03.06	書道のレクチャー・デモンストレーションを通じ、日本への関心をより高め、日本文化の理解を促進
13	食	奥村 彪夫 石毛 直道	伝承料理研究家 国立民族学博物館 名誉教授	キューバ コスタリカ パナマ エクアドル	2009.10.18 ～ 2009.11.03	食に関する専門家をコスタリカ（サン・ホセ）、キューバ（ハバナ）、パナマ（パナマ）、エクアドル（キト）に巡回派遣し、日本の食文化に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
14	建築	西沢 大良	建築家／西沢大良 建築設計	グアテマラ メキシコ コロンビア	2009.09.06 ～ 2010.09.14	西沢大良（建築家）をグアテマラ（グアテマラシティ）、メキシコ（メキシコシティ）、コロンビア（ボゴタ）に巡回派遣し、建築に関する講演会を実施

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
15	書道	紫舟（ししゅう） 久保田 規子	書道家 紫舟アトリエ マネージャー	アルゼンチン ウルグアイ チリ	2009. 11. 01 ～ 2009. 11. 16	紫舟（書家）によるレクチャー・デモンストレーションの実施
16	アニメ	堀江 美都子 澤尻 克美	アニメソング歌手 マネージャー	ブラジル	2009. 10. 15 ～ 2009. 10. 28	アニメソングの専門家である堀江美都子とマネージャーをブラジル（サンパウロ、マナウス、ベレン）に巡回派遣し、アニメソングに関するレクチャー・デモンストレーションを実施
17	ポップカルチャー調査	青木 美紗子 櫻井 孝昌	モデル/外務省 ポップカルチャー 発信使（カワイイ大使）  コンテンツ・メディア・プロ デューサー/㈱コ ンテンツストリー ト代表取締役	ブラジル	2009. 11. 22 ～ 2009. 12. 06	ポップカルチャー関連事業の方向性や手法に関する調査を実施するため、ポップカルチャーの専門家をブラジルに派遣。また同調査の一環として、外務省が委嘱する「ポップカルチャー発信使（カワイイ大使）」1名を併せて派遣し、現代日本のアニメ・マンガやファッションに関するレクチャー・デモンストレーションを実施
18	食	吉田 健作 風戸 正義	すし健 代表取締役 さかえ寿司 代表	ベネズエラ ペルー ボリビア	2010. 02. 25 ～ 2010. 03. 12	寿司専門家をベネズエラ（カラカス）、ボリビア（ラパス）、ペルー（リマ）に巡回派遣し、レクチャー・デモンストレーションを実施
19	生け花	大木 敏幸 倉田 康治	草月流師範/財団 法人草月会理事  草月流師範	アイスランド ノルウェー ロシア	2009. 09. 09 ～ 2009. 09. 22	草月流いけばな師範2名によるレクチャー・デモンストレーションの実施
20	アニメ	諏訪 道彦 櫻井 孝昌	読売テレビ放送株 式会社  コンテンツ・メディア・プロ デューサー/株式 会社コンテンツス トリート 代表取 締役	イタリア スイス フランス	2009. 05. 10 ～ 2009. 05. 22	アニメ専門家をスイス（ジュネーブ）、フランス（エクサンプロバンス）、イタリア（ミラノ）に巡回派遣し、日本アニメの歴史・日本文化とアニメについての講演及びデモンストレーションを実施

## 文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
21	ポップカルチャー調査	上原 久美子 青木 美紗子 木村 優 櫻井 孝昌	ファッションデザイナー モデル/外務省 ポップカルチャー 発信使 (カワイイ 大使) 外務省ポップカル チャー発信使 (カ ワイイ大使) コンテンツ・メ ディア・プロ デューサー/株式 会社コンテンツス トリート 代表取 締役	イタリア フランス	2009.06.28 ~ 2009.07.09	ポップカルチャー関連事業の方向性や手法に関する調査を実施するため、ポップカルチャーの専門家をフランス及びイタリアに派遣。また同調査の一環として、外務省が委嘱する「ポップカルチャー発信使 (カワイイ大使)」2名及び現代日本の若者の間で人気の高いファッションデザイナーを併せて派遣し、現代日本のアニメ・マンガやファッションに関するレクチャー・デモンストレーションを実施
22	和菓子	山口 研二 山口 正人 山口 朋子	株式会社彩雲堂 会長 彩雲堂 彩雲堂	イタリア ギリシャ ドイツ	2009.11.14 ~ 2009.11.28	和菓子専門家をドイツ、ギリシャ、イタリアに巡回派遣し、和菓子に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
23	路上文化	伊藤 佑介 仙若 (せんわか)	けん玉師 江戸太神楽士	英国 デンマーク	2009.08.25 ~ 2009.09.08	伊藤佑介 (けん玉師)、仙若 (江戸太神楽士) をデンマーク (コペンハーゲン)、英国 (グラスゴー、マンチェスター、カーディフ、ロンドン) に巡回派遣し、けん玉や神楽を中心に路上文化 (路上で発達した子どもの遊び、大道芸) についてレクチャー・デモンストレーションを実施
24	茶道	小堀 宗実 (そう じつ) 高橋 宗満 (そう まん)	遠州茶道宗家 13 世家元 遠州流上席師範/ 遠州茶道宗家事務 局	オーストリア スロバキア	2009.09.09 ~ 2009.09.16	小堀宗実 (茶道遠州流宗家家元) をオーストリア及びスロバキアに巡回派遣し、茶道について講演と実演を実施
25	剣道	近藤 勁助 松永 政美 梯 正治 東 一良	剣道師範 玉川大学 教授/ 剣道指導者 剣道師範 剣道専門家/愛知 県警察	スペイン ポルトガル	2010.01.14 ~ 2010.01.27	全日本剣道連盟所属の剣道専門家をポルトガル、スペインに巡回派遣し、デモンストレーション、指導、昇段審査等を実施

## 文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
26	現代建築	塚本 由晴	建築家／東京工業大学大学院 准教授	ドイツ	2010.03.15 ～ 2010.03.25	塚本由晴（建築家）をドイツ（ベルリン、デュッセルドルフ、ミュンヘン、ブラウンシュヴァイク）に巡回派遣し、日本の現代建築について講演
27	切り紙	矢口 加奈子 矢口 美奈子		ウズベキスタン キルギス ロシア	2009.10.10 ～ 2009.10.21	「切り紙」という表現手法を使って様々なアート活動を展開する日本人アーティスト、矢口加奈子による繊細かつ独特な模様の世界をレクチャー・デモンストレーション形式で紹介するとともに、現地の工芸アーティスト、芸術系の学生、一般市民や児童などを対象としたワークショップを実施
28	浮世絵版画	安達 以乍牟 京増 与志夫	アダチ伝統木版画技術保存財団 理事長 アダチ版画研究所 摺り師	クロアチア セルビア ボスニア・ヘルツェゴビナ ルーマニア	2009.10.27 ～ 2009.11.10	浮世絵の専門家をクロアチア、セルビア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ルーマニアに巡回派遣し、浮世絵に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
29	和菓子	小林 紀夫 神田 さとみ 村田 崇徳	東京製菓学校 教師 お菓子の青柳 マイシー丸富 和菓子職人	スロベニア チェコ ハンガリー ブルガリア ポーランド	2009.10.25 ～ 2009.11.09	和菓子専門家をチェコ、ブルガリア、スロベニア、ハンガリー、ポーランドに巡回派遣し、和菓子に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
30	アニメ	ツジ シンヤ	アニメーション作家	ロシア	2009.11.08 ～ 2009.11.17	ツジシンヤ（アニメーション作家）をロシア（ウラジオストック、ハバロフスク、ユジノサハリンスク）に派遣し、アニメに関するレクチャーを実施
31	空手	清原 今朝勝 村松 真孝 奈須 和光 奈須 和夫	財団法人全日本空手道連盟 理事 空手指導者（剛柔流） 空手指導者（松涛館流） 三重県空手道連盟 副会長	イラン サウジアラビア	2009.05.18 ～ 2009.06.02	空手の専門家4名（剛柔流、松涛館流）をシーラーズ、テヘラン、ジッダ、リヤドに巡回派遣し、一般市民向けデモンストレーション及び現地練習生向け指導を実施
32	アニメ	亀垣 一	アニメーター	オマーン トルコ モロッコ	2010.02.22 ～ 2010.03.09	アニメ専門家をオマーン、トルコ、モロッコに巡回派遣し、日本のアニメに関する講演、ワークショップを実施

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
33	アニメ	永井 豪  永井 淳子	漫画家／ダイナミックプロダクション  ダイナミックプロダクション	クウェート  ヨルダン  エジプト	2009.10.05 ～ 2009.10.17	永井豪（漫画家）をヨルダン、クウェート、エジプトに巡回派遣し、日本アニメの歴史、日本文化とアニメについての講演及びデモンストレーションを実施
34	茶道	弘田 佳代子  村内 倫子	茶道裏千家・淡交会  茶道裏千家・淡交会	エチオピア  ケニア  タンザニア  モザンビーク	2009.09.28 ～ 2009.10.11	茶道の専門家をエチオピア、ケニア、タンザニア、モザンビークに巡回派遣し、茶道に関するレクチャー・デモンストレーションを実施

2. 催し等事業費 / (2) 日本文化紹介派遣（助成）

海外において日本の文化人やスポーツ専門家が日本文化紹介のための講演、デモンストレーション、指導、セミナー、ワークショップ等を行う事業に対し、助成を行う（音楽・演劇・舞踊・民俗芸能など公演事業は除く）。

合計額 21,283,817 円

	氏名	現職	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
1	石川 泰久	株式会社三河屋奥右衛門 代表取締役		韓国	2010.01.18 ～ 2010.01.24	ソウルにて、日本が海外で評価されている漫画やアニメ文化を科学的にどうしたらアニメが動くのか、漫画を描く道具やコツはどんなことなのか等のワークショップを実施。同事業の実施経費の一部を助成
2	ストーン 睦美	科学翻訳・編集・科学記事の執筆者		中国	2009.05.15 ～ 2009.05.18	北京で小倉百人一首の歴史や短歌・かるたを紹介するとともに、日本語学習者（初級～上級）には平仮名で書かれている取り札を用いるゲームを体験してもらうことで、かるたを通じて日本、日本文化への親しみを深めてもらう企画を実施。同事業の実施経費の一部を助成
3	大橋 皓也	日本折紙協会		インドネシア	2009.09.28 ～ 2009.10.05	日本の最高水準の折紙技術をジオラマ作品により紹介し、ワークショップを実施。同事業の実施経費の一部を助成
4	船坂 芳助	版画家		タイ	2009.08.02 ～ 2009.08.15	チェンマイ大学にて、水性木版画で使用する道具、バレンの制作、水性で摺る木版画の技法全般についての指導を実施。同事業の実施経費の一部を助成
5	横井 久美子	シンガーソングライター		ベトナム	2009.12.17 ～ 2009.12.28	フエにて、日本の「童謡」を教材にして、歌詞を通してベトナム人と一緒に歌い、日本語を覚え、その歌詞に潜む日本人の心を伝えるための事業を実施。同事業の実施経費の一部を助成

## 文化事業費

	氏名	現職	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
6			からくり文化実行委員会	ミャンマー	2009.09.02 ~ 2009.09.06	ヤンゴンの日本語学校生徒及び一般市民を対象に「からくり文化」を紹介。参加型のイベントをより多くして体験する事で、その興味や関心の度を深めてもらうための事業を実施。同事業の実施経費の一部を助成
7	谷山 卓也	空手師範		ミャンマー	2009.09.08 ~ 2009.10.09	日本・メコン交流年事業の一環として、ミャンマー空手道連盟ヤンゴン、マンダレーにて、空手指導とデモンストレーションを実施。また現地空手指導者に対するワークショップも実施。同事業の実施経費の一部を助成
8	椎名 勝利	日本空手協会 総本部指導員		パキスタン	2009.12.16 ~ 2009.12.26	カラチ、ラホール2都市において空手指導を実施し、技術の向上と演武、審判講習会、昇段試験を実施。同事業の実施経費の一部を助成
9	吉岡 幸雄	染織史家		オーストラリア	2009.09.25 ~ 2009.10.07	オーストラリア色彩学会 (Colour Society of Australia) の行なう第11回国際色彩学会 (シドニー) にて、日本の色、色の歴史、古代染めの再現に関する講演を実施。同事業の実施経費の一部を助成
10			五行歌の会	米国	2009.04.08 ~ 2009.06.02	「五行歌」は、日本の短詩の精神を伝え、世界の文芸の新しい基軸とすべく奮闘している日本文化の新しいジャンルのひとつ。米国内での「五行歌」普及のための事業を実施。同事業の実施経費の一部を助成
11	山下 好彦	漆芸修復師		米国	2009.05.20 ~ 2009.05.25	J・ポール・ゲティ美術館 (ロサンゼルス) で開催された「漆器の輸出：黒と金の蒔絵による西洋の反映」展覧会 (南カリフォルニア日米協会共催) を支援し、同展覧会に初めて出展されたマゼランチェストを修復した山下好彦が「日本の漆器の世界とマゼランチェストの修復」と題する講演会を実施。同事業の実施経費の一部を助成
12			子どもミュージアムをつくる会	米国	2009.07.31 ~ 2009.08.06	日本の伝承遊びのエキスパートの技から、遊びの楽しさや奥深さに触れて驚きを感じ、自ら体験し、能動的に楽しむことで、日本文化について知識だけでは得られない、実体験に基づいた深い理解を得てもらう事業をボストンで実施。同事業の実施経費の一部を助成
13	高橋 久志	大学教員		米国	2009.09.11 ~ 2009.09.17	薬丸野太刀自顕流の演武と体験指導を行なう。また「西郷隆盛」と「薩摩郷中教育と自顕流」と題する二つの講演を実施。同事業の実施経費の一部を助成
14	土居 秀彰	財団法人煎茶道東阿部流 理事長		米国	2009.09.13 ~ 2009.09.19	日本文化である煎茶道を、道具の美しさ、日本茶独特の香り等、デモンストレーションと道具に実際に触れる体験会を通じて紹介。同事業の実施経費の一部を助成
15	とくだ あきら	版画家		米国	2009.09.25 ~ 2009.10.08	現代版画の展示及び制作に関する講演と実演を実施。同事業の実施経費の一部を助成

## 文化事業費

	氏名	現職	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
16			千麗舞アメリカ公演実行委員会	米国	2009.10.04 ~ 2009.10.15	日本の伝承説話「道成寺」を題材とした「能」「踊」「舞」「千麗」による創作舞踊をVTRにより比較、鑑賞。日本舞踊を通じ日本文化の本質への理解を深めたいとする協力団体・協力者からの要請を受けて、サンフランシスコ、ロサンゼルス、ポーランドでレクチャー・デモンストレーションを実施。同事業の実施経費の一部を助成
17	阿辻 哲次	京都大学大学院人間・環境学研究科教授		米国	2009.11.08 ~ 2009.11.16	漢字の文化史、漢字の変遷と分析についてクレムソン大学、コロラド大学ボルダー校、ユタ州立大学で講演会を実施。象形や指事文字、会意文字などの漢字にあらわれる人間の自然や生活、哲学、宗教観、世界観について語る事業を実施。同事業の実施経費の一部を助成
18	飯村 隆彦	ビデオアーティスト		米国	2009.12.01 ~ 2009.12.29	ニューヨーク、フィラデルフィア、ニューブランズウィックの3都市でニューヨークのビデオアート組織エレクトロニック・アート・インターミックス (EAI) と在日米国大使館、横浜美術館などが協力し、日米の1960~70年代初期のビデオアートを、日米の美術館・教育機関などで上映・展示すると共に講演会を実施。同事業の実施経費の一部を助成
19	幻一	書家		エルサルバドル コスタリカ	2009.09.01 ~ 2009.09.15	書道デモンストレーション及び作品の展示を実施。同事業の実施経費の一部を助成
20	田村 さと子	帝京大学文学部国際文化学科 教授		ニカラグア	2010.02.13 ~ 2010.02.24	第6回クアナダ国際詩フェスティバルに招待を受けた世界各国の詩人たちによる朗読会で、自作詩を母語で朗読し、スペイン語を母語とする詩人がスペイン語訳を朗読。また、スペイン語圏ではHaikaiとして親しまれている俳句について、「俳句の精神」をスペイン語で講演。同事業の実施経費の一部を助成
21	鈴木 誠	東京農業大学地域環境科学部 教授		メキシコ	2009.07.18 ~ 2009.07.24	140年以上の歴史をもつアメリカニスト国際会議第53回メキシコ大会において、19世紀末~21世紀初頭までに日本と海外に造られた近代の日本庭園に関して講演。国際社会における日本庭園の意義と日本文化の特質を紹介。同事業の実施経費の一部を助成
22	森下 隆	大学講師		ブラジル	2009.08.01 ~ 2009.08.07	20世紀ブラジル美術の代表的アーティストであるリジア・クラークとエリオ・オイティシカルに触発されたパフォーマンスやインスタレーションを、日本の舞踏の創始者、土方巽をめぐる展示とともに実施。同事業の実施経費の一部を助成
23	狩野 猛	民族歌舞団員		ブラジル	2009.09.02 ~ 2009.09.30	日本の芸能・音楽の講義と和太鼓演奏の指導を実施。同事業の実施経費の一部を助成
24	棚橋 俊夫	精進料理人		ブラジル	2010.03.21 ~ 2010.03.31	日本の伝統料理である精進料理をブラジルで紹介し、その健康的で精神的な世界を体験してもらう事業を実施。同事業の実施経費の一部を助成
25	長坂 有希	芸術家		アイスランド	2009.12.11 ~ 2010.01.07	日本庭園における空間の仕切り方、作り方について講演し、日本の庭園文化を紹介。またワークショップを行い、地元の人達や芸術大学学生との共同作業を通して、日本庭園を起点とした新しい空間作品を製作。同事業の実施経費の一部を助成



## 文化事業費

	氏名	現職	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
26	野上 照代	映画プロデューサー		イタリア	2009.09.05 ～ 2009.09.14	黒澤明の右腕として製作に協力してきた野上照代と日本人評論家に先駆けていち早く黒澤明論を著したドナルド・リチーの講演とセミナーをヴェネチア国際映画祭において実施。同事業の実施経費の一部を助成
27	尾形 希和子	沖縄県立芸術大学美術工芸学部 教授		イタリア	2009.09.22 ～ 2009.09.30	視覚文化についてイタリアと沖縄も含めた日本・東洋の比較研究を行っている尾形希和子が第33回イタリア日本研究学会(AISTUGIA)で、自然の表象についての日伊比較に関して講演。同事業の実施経費の一部を助成
28	萩尾 望都	漫画家		イタリア	2009.09.30 ～ 2009.10.10	日本の少女漫画の特質、その現状と未来についての講演を実施。同事業の実施経費の一部を助成
29	三遊亭 竜楽	落語家		イタリア フランス	2009.10.23 ～ 2009.11.14	ミラノ、フィレンツェ、ローマ、ナポリ、パリ、リヨンにて、古典落語を題材とする講演会を実施。また語り芸の古い伝統を有するヨーロッパにおいて世界に類を見ない日本固有の話芸を紹介。同事業の実施経費の一部を助成
30			特定非営利活動法人文化の扉	オーストリア	2009.05.10 ～ 2009.05.17	ウィーン国立音楽大学、プロテスタント学校、ヨハン・セバスチャン・バッハ音楽学校にて和楽器と民謡、日本歌曲、わらべ歌、童謡 唱歌等の日本の音楽を聞いた後、ワークショップを行い、日本の楽器を体験してもらう事業を実施。同事業の実施経費の一部を助成
31	橋 右之吉	書家		オーストリア	2009.12.05 ～ 2009.12.21	ウィーンにて、江戸文化に関する講演と江戸文字の実演、ワークショップを実施。同事業の実施経費の一部を助成
32	壇上 謙治	臨済宗萬照山西東禅寺 住職		オランダ	2009.05.19 ～ 2009.05.31	Expansionist Art Empire Gallery (ライデン)にてお茶、染色、書道、精進料理、浮世絵版画、庭園造り、着物、邦楽、座禅など、日本の衣・食をメインとした伝統的生活習慣を紹介し、その中にあるより良い環境生活を見直してもらう事業を実施。同事業の実施経費の一部を助成
33	佐佐木 幸綱	早稲田大学政経学部 教授		スイス ドイツ	2009.05.20 ～ 2009.06.12	スイス(チューリッヒ、バーゼル)、ドイツ(ベルリン、フランクフルト・アム・マイン、ケルン、ベルギッシュ・グラートバッハ)で短歌史1300年の伝統の中の現代短歌に関し、講演とワークショップ、ドイツの創造芸術家とのコラボレーションを実施。同事業の実施経費の一部を助成
34	嶋貫 祐一	日本バスク友好会 会長	日本バスク友好会	スペイン	2009.04.19 ～ 2009.05.01	嶋貫祐一(日本バスク友好会 会長)を派遣し「純・日本伝統文化」を生で紹介しながらDVDで今日の日本も紹介。①寿司職人による寿司作り実演と試食会②日本茶の紹介と試飲③書道家による実演④盆栽の紹介⑤武道の実演⑥現代日本の紹介⑦日本食の提供などの事業を実施。同事業の実施経費の一部を助成
35	岡田 理絵	国立王妃ソフィア芸術センター教育普及部 研修員		スペイン	2009.07.13 ～ 2009.07.23	国立王妃ソフィア芸術センター(マドリッド)にて映像作家によるフィクション、アニメーション、ドキュメンタリーの鑑賞を目的とした青少年映画上映会及び映像ワークショップを実施。同事業の実施経費の一部を助成

## 文化事業費

	氏名	現職	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
36	村木 享子	書家		ドイツ	2009.08.05 ~ 2009.09.05	ハンブルクにて書の歴史、文化、書法等についての講義及び漢字と仮名文字を受講者と共に書し、指導を行うレクチャー・デモンストレーションを実施。同事業の実施経費の一部を助成
37	甲野 義紀	松聲館 館主		フランス	2009.05.09 ~ 2009.05.20	パリ、コルマル、ストラスブールで、古の武術から現在に生きる古武術について講義し、武道の精神や構造に関する理解を深めてもらうため、古武術に関するレクチャー・デモンストレーション及びワークショップを実施。同事業の実施経費の一部を助成
38	山本 待平	学校法人東京製菓学校 理事長		フランス	2009.11.18 ~ 2009.11.26	パリ、ストラスブールにて、日本が誇る「和菓子」を紹介し、和菓子の講義と模範演技、実技講習を実施。同事業の実施経費の一部を助成
39	川村 湊	法政大学国際文化学部 教授		フランス	2009.12.10 ~ 2009.12.21	日本の近・現代文学の範囲で植民主義との関わり、いわゆる日本の「外地」の文学の動向とその作家・作品についてパリ、ボルドー、トゥールーズの3都市で講演。同事業の実施経費の一部を助成
40	十 一 (トヲ ハジム)	日本画家/映像作家		ベルギー ブルガリア	2009.10.22 ~ 2009.11.11	日本の映像、グラフィックアート分野の潮流、学会の動向、今後の展望についての講演会やワークショップ、デモンストレーションを実施。同事業の実施経費の一部を助成
41	高橋 慎一郎	建築家		ポルトガル	2010.02.15 ~ 2010.02.28	第9回土の建築セミナーに建築家として参加し、世界的に見ても技術レベルの非常に高い日本の左官技術を用いた「土の建築」文化について講演。同事業の実施経費の一部を助成
42	斎藤 美奈子	美術作家/写真家		マルタ	2009.10.10 ~ 2009.10.25	ゴゾにて、日本の現代写真や現代美術の動向を通じて、幅広く文化交流を深めることを目的とするレクチャーとワークショップを実施。同事業の実施経費の一部を助成
43	時友 尚子	染色家		ウズベキスタン	2009.09.23 ~ 2009.10.02	タシケント、サマルカンドでローケツ染、草木染、辻ヶ花染、糸日本友禅染、型染、絞り染等「日本の染」について時代を追って実物、道具と共に解説。各技法のポイントを実演。デモンストレーション、ワークショップ、技術指導を実施。同事業の実施経費の一部を助成
44	渡邊 守利	埼玉県剣道連盟 居合道部越谷支部		キルギス	2009.09.02 ~ 2009.09.18	ビシュケクにて、初心者を受講者を対象に、居合道の歴史、刀の構造、名称、取り扱いの注意等を説明した後に指導を実施。同事業の実施経費の一部を助成
45			キルギス展プロジェクト実行委員会	キルギス	2009.09.30 ~ 2009.10.16	キルギス国立美術館（ビシュケク）で着物地を使って作られた「和キルト」の大作とフェルト作品、合わせて50点の展示会「糸・針・布暮らしの芸術」を開催。大槻 洋子（和キルト専門家）の講演と講座を実施。同事業の実施経費の一部を助成
46			特定非営利活動法人日本てまり文化振興協会	クロアチア	2009.11.01 ~ 2009.11.11	クロアチア（ザグレブ、リエカ）の青少年・一般市民に日本文化に対する関心を深めてもらい、日本とクロアチアの親交を深めて相互の理解につながる様に、日本の伝統文化「てまり」の展示及び講習を実施。同事業の実施経費の一部を助成

## 文化事業費

	氏名	現職	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
47	茂山 眞吾	大蔵流狂言師		チェコ	2009.08.10 ~ 2009.08.24	プラハ、ブルノにて、大蔵流の名作狂言『棒縛』と関連する小舞を日本語で大蔵流狂言師が直接指導し、ワークショップ開催期間中にその成果を発表する事業を実施。同事業の実施経費の一部を助成
48	Sandor Finta	ハンガリー現代建築センター 代表		ハンガリー	2009.11.09 ~ 2009.11.16	ブタペストにて、藤本壮介（建築家）の講演 <i>Primitive Future</i> を実施。自らの設計理念や建築作品のコンセプトについて、日本の伝統文化や日本人の思考様式を絡めて解説を実施。同事業の実施経費の一部を助成
49			フジの会	ポーランド	2009.05.20 ~ 2009.05.31	クラクフ、ワルシャワ、トルニの3都市できもの着付けとマナー・プレゼンテーション、きもの着付けワークショップ及び生花ワークショップを中心として、ポーランドにおける日本文化に対する理解と知識の普及を図るための事業を実施。同事業の実施経費の一部を助成
50	乾 昌幸	世界俳句協会 代表		リトアニア	2009.09.30 ~ 2009.10.07	1989年よりリトアニアで開催されている詩歌祭「ドルスキニンカイ 詩の秋」及び「第5回世界俳句協会大会」において、俳句の朗読の他、シンポジウムや俳句講座を実施。同事業の実施経費の一部を助成
51	沢 則行	チェコ国立芸術アカデミー演劇・人形劇学部 教諭		ロシア	2009.04.02 ~ 2009.04.05	ロシア文化省後援による国際人形劇フェスティバル「コフチェグ」に招請され、大会のメイン・プログラムとしてデモンストレーション公演、及び観客体験型ワークショップ等を実施。同事業の実施経費の一部を助成
52	西川 宗篤	茶道教授者		ロシア	2009.06.16 ~ 2009.07.08	NP茶の湯（モスクワ）の会員に茶道の要点を指導徹底するとともに、ロシアでの安定した茶道継続、発展の環境作りを進める事業を実施。同事業の実施経費の一部を助成
53			日本・ウラジオストク協会	ロシア	2009.09.23 ~ 2009.10.01	民族間における相互理解の深化を目的として、日本の祭祀文化（伝統芸能など）やサブ・カルチャーのマスタークラス（レクチャー及びデモンストレーション）に、狂言、日本舞踊、書道、漫画、お茶と着付けの5つのクラス開催のための講師を派遣。同事業の実施経費の一部を助成
54	有馬 朗人	日ロ交流協会 会長		ロシア	2009.09.28 ~ 2009.10.05	サンクトペテルブルグにて、きもの、いけばな、茶道、風呂敷などの日本文化紹介事業を実施。茶道、風呂敷、いけばな講習は参加型で交流会も実施。同事業の実施経費の一部を助成
55	鹿島田 真希	作家		ロシア	2009.12.02 ~ 2009.12.06	第11回国際知的図書展non/fictionのイベントとして、ロシア・ブッカー賞受賞国際交流基金作家オリガ・スラヴニコワと「日本とロシアの現代文学」をテーマに対談。同事業の実施経費の一部を助成。なお、スラヴニコワは平成21年度国際交流基金文化人招へいプログラムで来日
56	萩原 義雄	大学職員		イスラエル	2009.12.22 ~ 2010.01.06	日本伝統に基づく「墨書」の文化的な歴史をテルアビブ大学、シェンカール大学にて講義。江戸時代、寺子屋で実際に使用していた往来物資料による文字絵や筆文字遣いを実践し、「墨書」を通して日本文化を紹介。同事業の実施経費の一部を助成

## 文化事業費

	氏名	現職	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
57	阿部 悦子	特定非営利活動法人アジア文化交流協会 理事長		トルコ	2009.05.15 ～ 2009.05.22	書道、いけばな、茶道のデモンストレーション及びワークショップと邦楽の演奏、太鼓演奏、また地元の人たちと一緒にトルコの音楽で盆踊りを実施。同事業の実施経費の一部を助成
58	徳富 健雄	特定非営利活動法人きもの文化交流協会 理事長		トルコ	2009.12.01 ～ 2009.12.09	十二単衣・花魁・舞妓・振袖等の伝統的衣装と小道具を紹介する「きものパフォーマンス」を実施。同事業の実施経費の一部を助成
59	上村 春樹	全日本柔道連盟 会長		カメルーン ギニア	2009.09.08 ～ 2009.09.23	柔道デモンストレーション、ワークショップを開催し、ギニア&カメルーン両国における柔道の質的、技術的向上を図るとともに、「精力善用」「自他共栄」の精神と日本伝統武道の真の道を教示する事業を実施。同事業の実施経費の一部を助成
60	上村 春樹	全日本柔道連盟 会長		コンゴ民主共和国 マリ	2009.09.16 ～ 2009.10.01	柔道デモンストレーション、ワークショップを開催し、マリ&コンゴ民主共和国両国における柔道の質的、技術的向上を図るとともに、「精力善用」「自他共栄」の精神と日本伝統武道の真の道を教示する事業を実施。同事業の実施経費の一部を助成
61	松原 慈	建築家・芸術家		ナイジェリア	2009.12.12 ～ 2009.12.29	クリエイティブ教育に関連するプロジェクトを通して、日本の美術館や芸術関連施設で行われている子どもから大人までを対象とした創造的な教育普及活動を紹介。同事業の実施経費の一部を助成
62	天童 大人	詩人		ベナン	2010.02.27 ～ 2010.03.08	ベナンで開催される国際詩祭に招へいを受け、日本語による詩を朗読。同事業の実施経費の一部を助成
63	平間 充子	聖徳大学音楽学部 講師		ボツワナ 南アフリカ	2010.02.22 ～ 2010.03.10	日本を代表する伝統芸能である雅楽、能楽、文楽、歌舞伎についてDVDを上映しつつ講演。同事業の実施経費の一部を助成

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 市民青少年交流事業費

### 1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（アセアン）
- (2) 中学高校教員交流（招へい）
- (3) 中学高校教員交流（派遣）
- (4) 開高健記念アジア作家招へい

### 2. 催し等事業費

- (1) 市民青少年交流（主催/派遣）
- (2) 市民青少年交流（主催/招へい）
- (3) 市民青少年交流（助成）〔生活文化〕

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 受託事業 (アセアン)

国際交流基金の業務趣旨に合致する市民青少年交流事業を、外部から受託し実施する。

合計額 27,551,391 円

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	JENESYS次世代リーダープログラム	HWANG Yu Kyeng	Puhung高校 教師	韓国	2009.06.01 ~ 2009.06.14	アジアコミュニティの将来を担う各国の次世代リーダー候補者を対象に、対日理解の促進及び親日感情の醸成を図ると共に、アジアにおける重要なテーマについての議論等を通じて長期的に社会各層・分野にわたる知日派次世代リーダーを育成し、アジアにおける人的ネットワークを構築することを目的として実施。今回は、「自然との共生と持続可能な循環社会 (Symbiosis with Nature and a Sustainable Society)」をテーマに、NGO/NPO関係者及び初中等教育関係者40名を招へい。一行は、東京、京都、三重、愛知を訪問して環境問題・環境教育に取り組む自治体、NGOや学校を訪問し視察や意見交換を実施
		LIM Sun A	Citizens' Movement for Environmental Justice環境活動家	韓国		
		MOH Youngdawng	湿地教育院 (Wetlands Korea) 国際協力コンサルタント	韓国		
		YU Yin	水生環境とレジリエンスに関するメコンプログラム (Mekong Program on Water Environment and Resilience(M-POWER)) 研究員	中国		
		ZHONG Zhenxi	ジェーン・グドール・インスティテュート・上海 ルーツ&シューツ (Jane Goodall Institute-Shanghai Roots & Shoots) 職員	中国		
		Astri Wahyuni	ボゴール農科大学付属コルニタ高校 (SMA Kornita) 教師	インドネシア		
		LAODE Yahya	インドネシア環境フォーラム北スラウェシ支部 (The Indonesian Forum for Environment North Sulawesi) 職員	インドネシア		
		Sri Wedarni	国立第4デンパサール高校 (SMAN 4 Denpasar) 教師	インドネシア		
		Suprianto	東カリマンタン環境教育ネットワーク (East Kalimantan Environmental Education Network) 職員	インドネシア		
		PRUM Navuth	ルシナ・コミュニティ協同組合ネットワーク (LEUCAENA / Community Cooperative Network) 職員	カンボジア		
		SAY Bora	特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター (Japan International Volunteer Center) 職員	カンボジア		
		LIM Yoong Hwee	シンガポール環境評議会 (Singapore Environment Council)	シンガポール		

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Mooksuwan Walaiporn	チュラロンコン大学環境・汚染廃棄物 管理センター (Center of Excellence for Environmental and Hazardous Waste Management) 研究員	タイ		
	SALAEMAE Akamal Aikmal	タムビッティヤ学校 (Tham Vitya Foundation School) 教師	タイ		
	Songthammawat Pooncharat	タイ環境研究所 (Thailand Environment Institute (TEI)) 研究員	タイ		
	ALIPIO Arthur Joseph Paul Datu	環境教育者／冒険ガイド	フィリピン		
	EDRIAL Michael Jardiniano	Haribon自然保護財団 (Haribon Foundation for the Conservation of Nature) 環境専門家／生物学者	フィリピン		
	EGUALAN Jasmin Gallano	Dep Ed., Gov. Julio V. Macuja Mem. Comp. 高校	フィリピン		
	FLORES Allan Abroguena	首都大学基礎教育学科 (Capital University Basic Education Department) 教師	フィリピン		
	Marzlizayati Binti Johari	ブルネイ ダルサラーム大学 (University of Brunei Darussalam) 講師	ブルネイ		
	Mohammad Azmye Bin Haji Alamin	開発省 (Ministry of Development) 公務員	ブルネイ		
	Mohammad Shari Bin Hj Abd Kahar	ダトー・マーサル小学校 (Dato Marsal Primary School) 教官	ブルネイ		
	Pg Hajah Mashayu Binti Pg Haji Yusof	ドゥリ・ペンギラン・ムダ・アル・ム ハタディー・ピラ・カレッジ (Duli Pengiran Muda Al-Muhtadee Billah College) 教官	ブルネイ		
	LE Tuan Ngoc	天然資源・環境省 (Ministry of Natural Resources and Environment) 副大臣秘書	ベトナム		
	NGUYEN Giang Huong	ハノイ市における3R活動の実施支援プ ロジェクト (The Project for Implementation Support for 3R Initiative in Hanoi City)	ベトナム		

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	NGUYEN Tung Thanh	農業・農村開発省森林局 (Department of Forestry, Ministry of Agriculture and Rural Development)	ベトナム		
	Vo Cong Huu	ハノイ農業大学農業調査・生態学研究センター天然資源管理・環境学科 (Dept. of Natural Resources Management & Environment, Center for Agricultural Research and Ecological Studies Hanoi University of Agriculture)	ベトナム		
	ABDUL RAHMAN Umi A' Zuhrah	世界自然保護基金マレーシアWWF Malaysiaプログラム・オフィサー	マレーシア		
	ADMAN Mohammad Adam	セランゴール産業大学 (University of Industry Selangor) 講師	マレーシア		
	Johari Sofia	世界自然保護基金マレーシア (WWF Malaysia) プログラム・オフィサー	マレーシア		
	Gum Sha Aung	メッタ開発基金 (Metta Development Foundation) プログラム・コーディネーター	ミャンマー		
	San Zwa Li	トータル・ラーニング・アカデミー (Total Learning Academy) 数学科長	ミャンマー		
	Sang Za Nuam	国際言語・ビジネスセンター (International Language & Business Center) 教師	ミャンマー		
	Thiha Kyaw	マングローブ・サービス・ネットワーク (Mangrove Service Network) / Youth Coordinator	ミャンマー		
	KUKREJA SHWETA	スプリングデールズ・スクール (Springdales School)	インド		
	RANI Ranjeeta	ギャン・マンディル・パブリック・スクール (Gyan Mandir Public School) 教師	インド		
	STAMATIOU John Emmanuel	シンクレア・ナイト・メルツ (Sinclair Knight Merz) 環境科学者	オーストラリア		
	van Erp Sarah Jane	総合環境センター (Total Environmental Centre) 廃棄物極小化プロジェクト・オフィサー	オーストラリア		



市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	BOULD Nicola Louise	ダニーデン市議会 (Dunedin City Council) コミュニティボード・メンバー／オタゴ大学 (University of Otago) 博士課程	ニュージーランド		
	ROBERTS Tracy Anne	カンタベリー大学 (University of Canterbury Education Plus) スクール・アドバイザー	ニュージーランド		

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 / (2) 中学高校教員交流 (招へい)

諸外国の中学・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わる者をグループで招へいし、研修、視察の機会を提供する。

合計額 131,752,478 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	中高教員グループ (第1)	韓国	4	2009.10.01 ~ 2009.10.14	各国の中等教育に携わる教員 (主として社会科、国際理解教育) 等76名をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者と意見交換を行なう機会を提供。彼ら青少年教育指導者が日本理解を深めることを通じて、自国の青少年の日本理解促進につなげる
		タイ	1		
		フィリピン	3		
		ベトナム	3		
		マレーシア	3		
		ミャンマー	10		
		インド	3		
		オーストラリア	3		
		カナダ	3		
		ブラジル	3		
		イタリア	3		
		英国	3		
		ドイツ	3		
		フランス	5		
		ポルトガル	3		
		イラク	3		
		シリア	3		
		エジプト	3		
		カーボヴェルデ	1		
		ガボン	1		
		カメルーン	1		
		コートジボワール	2		
		コンゴ民主共和国	2		
		セネガル	3		

市民青少年交流事業費

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
	ブルキナファソ	2		
	マリ	2		
2 中高教員グループ（第2）	カンボジア	3	2009. 12. 03 ～ 2009. 12. 16	各国の中等教育に携わる教員（主として社会科、国際理解教育）等75名をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者と意見交換を行なう機会を提供。彼ら青少年教育指導者が日本理解を深めることを通じて、自国の青少年の日本理解促進につなげる
	ブルネイ	3		
	ラオス	1		
	ネパール	3		
	パキスタン	3		
	メキシコ	3		
	ペルー	3		
	オーストリア	3		
	オランダ	3		
	アゼルバイジャン	3		
	ウクライナ	3		
	ウズベキスタン	3		
	キルギス	3		
	グルジア	3		
	タジキスタン	3		
	トルクメニスタン	3		
	ハンガリー	3		
	ブルガリア	1		
	ルーマニア	3		
	ロシア	3		
	アフガニスタン	3		
	イラン	10		
	セーシェル	2		
	ナイジェリア	2		
	南アフリカ	2		

市民青少年交流事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
3	インドネシア中高教員グループ	インドネシア	15	2009. 11. 05 ～ 2009. 11. 16	インドネシアにおける青少年教育指導者が日本理解を深めることを通じて同国青少年の日本理解促進につなげる目的で、中等教育に携わる教員（主として社会科、国際理解教育）等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者と意見交換を行なう機会を提供
4	米国教育関係者グループ	米国	24	2009. 07. 01 ～ 2009. 07. 09	米国における初・中等レベルの日本語教育の拡充を主な目的として、米国の当該機関の校長及び州教育行政担当官等を招へいし、日本の教育・文化・社会の現状視察や日本の教員、教育行政の責任者との意見交換を実施。東京のほか、埼玉県内の学校、日本語国際センターも訪問

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 / (3) 中学高校教員交流 (派遣)

諸外国の中学・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わる者をグループで派遣する。

合計額 546,236 円

	事業名	対象国	対象機関	人数	期間	事業内容
1	韓日教育者交流事業	韓国	韓国国際交流財団	18	2009.10.18 ~ 2009.11.01	韓国国際交流財団が実施する韓日教育者交流事業（日本の社会科教員の韓国派遣）の①参加者公募協力、②事前オリエンテーション実施協力、③報告書作成協力を行う

1. 人物交流事業費 / (4) 開高健記念アジア作家招へい

日本では紹介されることの少ないアジアの文学を一般市民へ紹介するとともに、文学関係者間の交流を促進するため、アジアから作家を招へいし、日本各地で講演会等を実施する。

合計額 5,547,578 円

	事業名	氏名	所属国	会場	期間	事業内容
1	第19回開高健記念アジア作家招へい	ウティット・ヘー マムーン	タイ	国際交流基金 アクロス福岡 大阪国際交流センター 函館市勤労者総合福祉センター	2010.03.16 ~ 2010.03.29	平成元年に逝去した作家・開高健の遺族から寄せられた寄附をもとに、平成2年から実施しているアジア作家の講演会シリーズ。平成21年度は「日本・メコン交流年」対象国であるタイから、東南アジア文学賞（2009年）受賞者、ウティット・ヘーマムーンを招へいし、東京、福岡、大阪、函館にて講演会を実施したほか、津島佑子（作家）と会談、交流。コーディネーターは宇戸清治（東京外国語大学教授）

2. 催し等事業費 / (1) 市民青少年交流 (主催/派遣)

諸外国の市民青少年レベルでの相互理解と友好親善を促進するため、市民青少年を日本から派遣し、視察・意見交換に加えシンポジウムや講演会などの機会を提供する。

合計額 3,161,861 円

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1	環境教育ふろしき	村田 静枝 半田 博子 尾崎 聡子	ふろしき研究会講師 セレモニーライター、ふろしき研究家 ラッピング工房OZ ラッピングコーディネーター	インドネシア ベトナム	2010.03.01 ~ 2010.03.13	インドネシア（ジャカルタ）で開催される「第6回エコプロダクツ国際展」会場において、日本文化として、また日本人の環境に優しい取り組みを紹介するという観点から、ふろしきの結び方、包み方のワークショップを実施。派遣専門家のうち1名がベトナム（ハノイ、ホーチミン）にも巡回し、日本文化交流センター、大学及び民間国際交流団体においてワークショップ、レクチャーを実施

市民青少年交流事業費

2. 催し等事業費 / (2) 市民青少年交流 (主催/招へい)

諸外国の市民青少年レベルでの相互理解と友好親善を促進するため、市民青少年交流活動を幅広く展開する機関の関係者や、指導的立場にある専門家を日本に招へいし、視察・意見交換に加えシンポジウムや講演会などの機会を提供する。

合計額 2,284,045 円

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	日米学芸員交流 (カルコン)	HUBERMAN, Anthony  ELLEGOOD, Anne  GIONI, Massimiliano  HOFFMANN, Jens  ELEEY, Peter  RAYMOND, Yasmil	Curator, St. Louis Contemporary Art Centre  Senior Curator, Hammer Museum, UCLA  Director of Special Exhibitions, New Museum of Contemporary Art, New York  Director, CCA Wattis Institute of Contemporary Arts, San Francisco  Curator, Walker art centre, Minneapolis  Curator, Dia Foundation, New York	米国	2010.02.11 ~ 2010.03.17	2008年6月に開催された日米文化教育交流会議 (CULCON) の提言を受け、米国の現代美術の キュレーター6名を招へい。東京及び地方の美 術館など関連機関を訪問し、日本の学芸員と の意見交換を行なったほか、都内において美 術関係者を対象としたシンポジウムを開催

市民青少年交流事業費

2. 催し等事業費 / (3) 市民青少年交流（助成）〔生活文化〕

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業、または国際交流基金海外事務所所在国の機関が実施する訪日事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 46,581,467 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	日韓青年社会的企業家のメッセージ ～社会的企業、ここから楽しんでます～	韓国	ノリダン	2009.04.15 ～ 2009.04.19	韓国における文化芸術分野の社会的企業が、日本で同様の活動を行う団体（CANVAS、育て上げネット、ASOBOT、ピースボート、ETIC等）とともに「やりたい仕事で社会の役に立つ」等をモットーに社会問題の新しい解決方法を示し、ネットワークを形成することを目的として、日本の協力団体とともに産業資材・生活用品を使った楽器制作ワークショップ、公演、路上パフォーマンス、講演等を実施。同事業の実施経費の一部を助成
2	'09日韓空飛ぶ車いすプロジェクト	韓国 タイ	空飛ぶ車いすを応援する会	2009.05.01 ～ 2009.12.29	日韓大学生がタイの障害者に車いすを寄贈し、同時に将来タイを拠点にして車いすをインドシナ諸国にプレゼントするためのルートと現地修理工房の立ち上げ準備を行った。タイ・ロップリ地区のお寺で修理作業を実施したほか、利用者との交流としてタイ障害児財団（FCD）を訪問。タイ近隣諸国への寄贈ルート開拓についても議論した。同事業の実施経費の一部を助成
3	日中韓共同制作映画の地域上映による異文化交流	韓国 中国	特定非営利活動法人横浜アートプロジェクト	2009.05.01 ～ 2010.02.28	新作日中韓共同制作映画『3つの港の物語』の上映イベントを各地で実施。併行して地域振興を目的とした地域情報ポータルサイトを活用して、上述の映画製作で培われたネットワークを通じ各地の情報を配信し、3カ国の文化交流を実施。また、新しい時代に即した市民コンテンツプロデューサー養成のための講座も併設。同事業の実施経費の一部を助成
4	2009日韓青少年写真交流	韓国	明るい青少年支援センター	2009.06.01 ～ 2009.11.26	写真公募展で選考された日韓両国の高校生が、両国を相互訪問し、写真に関するワークショップ、交流会等のアクティビティを通じて相互理解を促進。同事業の実施経費の一部を助成
5	第5回日韓文学交流「詩の祝祭」	韓国	日韓詩人文学交流協会	2009.07.26	日韓の詩人による詩の朗読会を開催するとともに日韓合同詩集を発行。同事業の実施経費の一部を助成
6	Kids' AU Camp in Korea	韓国 中国 モンゴル ロシア	Kids' AU・子どもたちのアジア連合	2009.08.01 ～ 2009.12.31	北東アジア5カ国（韓国、モンゴル、ロシア、中国、日本）の青少年約100名が、国境を越えて韓国で出会い、「食べる・寝る・遊ぶ・働く」という暮らしの原点を組み込んだ共同生活を体験。互いの違いと同じを学ぶ場を提供し、平和を機軸とした「アジア連合」実現の土台作りを行った。同事業の実施経費の一部を助成
7	日韓ユースボランティアキャンプ	韓国	財団法人福岡YWCA	2009.08.03 ～ 2009.08.07	晋州（チンジュ）市の青少年と福岡近郊の青少年が、福岡県の福祉施設でボランティア活動を行い、共に他者のために働くことを通じて、協力することを学び相互理解を促進。同事業の実施経費の一部を助成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
8	日韓青年環境教育ワーク キャンプ	韓国	特定非営利活動法人環境 ネットワークくまもと	2009.08.06 ～ 2009.08.09	環境ネットワークくまもとと韓国の環境ネットワーク団体・機関 (緑の忠南21推進協議会、忠南環境ネットワークなど)による、青 少年を対象とした環境をテーマとするエコナレッジ・エクステン ジ(環境知識・知見交流)型のワークキャンプを韓国忠清南道にて 実施。同事業の実施経費の一部を助成
9	日韓友好交流ボランティア ワークキャンプ2009	韓国	特定非営利活動法人グッド	2009.08.16 ～ 2009.08.28	江原道原州市の農村にて、日本人と韓国人の若者が協力して農作業 や村のモニュメント作りなどの村の仕事を手伝い、韓国の伝統音楽 ムンブルを地域の人から教わるなど村での共同生活、共同作業を通 じて日韓の若者の成長と相互理解を促進。同事業の実施経費の一部 を助成
10	環境交流韓日未来フォーラ ム	韓国	釜山韓日文化交流協会	2009.08.18 ～ 2009.08.27	慶南大学、蔚山大学、仁済大学、昌原大学の日本語関連学科から各 5名を一般公募し、環境専門家(釜慶大学環境システム工学部教 授、釜山環境運動連合活動家)とともに来日、山口にて日本側大学 生と「環境保全」を主題としたフォーラムを開催したほか、海岸清 掃、ホームステイ等を実施。同事業の実施経費の一部を助成
11	韓日新老年文化運動の発展 のための老人福祉交流事業	韓国	老人総合福祉館協会	2009.09.08 ～ 2009.09.11	「新老人文化運動」の展開を目的に、日本の同分野の関係団体、全 国老人クラブ連合会、東京都老人総合研究所、新老人の会を訪問、 交流を通じて、老人福祉問題、高齢化社会問題等について相互の状 況と情報を共有、交流を行った。同事業の実施経費の一部を助成
12	韓日交流おまつり in Tokyo	韓国	アートコムパン	2009.09.19 ～ 2009.09.21	2005年より毎年ソウルで行なわれ、定着しつつある市民レベルの日 韓共同、最大規模の交流事業である「韓日交流おまつり」。5年目 を迎え、初めて日韓同時開催とすることにあたり、韓国を代表する伝統 及び現代舞台芸術を紹介する複数の公演団が訪日し、市民との交流 を図った。同事業の実施経費の一部を助成
13	日韓現代演劇交流セミナー	韓国	財団法人北海道演劇財団	2009.11.12 ～ 2009.11.13	2007年にソウル演劇祭大賞を受賞し、同年に札幌でも公演を行った 劇団青羽(チョンウ)の演出家、俳優を招き、一般市民を対象に体 験ワークショップ及びシンポジウムを開催。同事業の実施経費の一 部を助成
14	日韓友好ろうあ者卓球交流 会	韓国	日本ろうあ者卓球協会	2010.02.19 ～ 2010.02.22	韓国の聴覚障害を持つ卓球選手とコーチを日本ろうあ者卓球協会主 催の第6回全国ろうあ者親善卓球大会に招へい。卓球を通して日韓 の聴覚障害者のスポーツ交流を実施。大会前には招へい選手が日本 国内の聴覚障害者関連機関を訪問。同事業の実施経費の一部を助成
15	TETSUSON Korea	韓国	TETSUSON Korea	2010.03.02 ～ 2010.03.09	「てつそん」とは、日本全国のデザイン・芸術系大学学生のイニシ アチブによる合同卒業制作展(「卒展-そつてん」の文字を並び替 えた造語)。横浜のBankART Studioで開催される同展2010に対し、 韓国の「TETSUSON Korea」が展示参加し、両国デザイン・芸術系学 生の交流を実施。同事業の実施経費の一部を助成
16	日韓文化交流「日本の歴史と 詩の叙情を探る」	韓国	前橋朗読研究会「BREATH」	2010.03.27	日韓併合百年目となる年に、過去の日韓の歴史を語り合い、両国の 文化を詩を通じて理解し合う事業を実施。同事業の実施経費の一部 を助成



市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
17	越後妻有・香港アート交流プロジェクト	中国	大地の芸術祭実行委員会東京事務局	2009.04.01 ～ 2009.07.28	「大地の芸術祭－越後妻有アートトリエンナーレ2009」の一環として、過疎高齢化が進む新潟県津南町・足滝集落に香港アートセンターの学生及びアーティスト延べ20名が滞在、住民と協働でアート作品を制作することを通して、集落の活性化を図り、ネットワークを構築。同事業の実施経費の一部を助成
18	「D-Suita」～あなたのDを探してみない?～	中国	社団法人吹田青年会議所	2009.05.31 ～ 2009.08.03	吹田市内の商店街（空き店舗）を利用し、吹田と香港の学生が店舗を共同運営する事を通じて交流する機会を設け、情報交流・意見交換を行なった。同事業の実施経費の一部を助成
19	テキスタイルアートの伝統から未来を考える	中国	布の記憶／糸の時間 日中交流展 実行委員会	2009.07.02 ～ 2009.07.13	日本と中国の出品作家5名ずつ計10名が「記憶と時間」をテーマに繊維素材を使用した作品を制作し、双方の国で発表。両国の作品発表者と鑑賞者が、展覧会と会期中開催するシンポジウムで直接交流した。日本では京都で開催し、中国側の出品作家を2名招いて、日本の関係者や教育機関と対話し交流した。同事業の実施経費の一部を助成
20	日中友好障害者セーリング交流	中国	特定非営利活動法人ヨットエイドジャパン	2009.09.26 ～ 2009.09.29	日中の障害者セーラー、介助者、ボランティアが集いパラリンピック・ヨットで交流レースを行い、両国障害者セーリングのレベル・アップとそれを支える市民ボランティアの交流を行い、障害者スポーツへの理解を深めた。同事業の実施経費の一部を助成
21	日中子ども水環境交流会	中国	東アジア環境情報発信所	2010.03.26 ～ 2010.03.30	中国天津において、環境汚染現場の見学と現地の子どもたちとの交流を通じ、未来を担う子どもたちに水汚染問題について考えると同時に、次世代のネットワーク構築を図った。日本の小学生が新潟水俣病安田患者会の会員とともに訪中し、フィールドトリップ、現地小学生との交流会に参加した。同事業の実施経費の一部を助成
22	地球家族のきずな求めてモンゴル訪問－草の根市民交流の深化・発展に向けて－	モンゴル	いっくら国際文化交流会	2009.09.16 ～ 2009.09.21	「いっくら・アジア隣人ネットワーク会」のネットワーク会「ウランバートルいっくら」との協働により、「国際フォーラムinウランバートル」ワークショップ「大学生・高校生との対話」、「日本文化紹介－茶道・着物着付・折紙・書道」、琴の演奏会を実施。同事業の実施経費の一部を助成
23	日本カンボジア学生合同ボランティア活動	カンボジア	特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会	2009.08.03 ～ 2009.08.14	「教育」をテーマに日本語を学ぶカンボジアの青年と日本の青年たちが中学校建設活動を通じ、寝食を共にしながら汗を流し交流を深めることで、次世代リーダーたちの交流を図ると共に、カンボジア王国における未来志向のアジアネットワーク構築を図った。同事業の実施経費の一部を助成
24	世界の子どもをつなぐ教室	カンボジア インド	「世界の子どもをつなぐ教室」実行委員会	2009.08.08 ～ 2009.08.23	札幌市内の大学生・大学院生5名が中心となり、国際交流の機会に乏しい道内の中高生約70名を対象に国際理解教育イベントを開講。途上国の子ども問題に関する講演、途上国NGO（カンボジア、インド）の高校生約70名との手紙の交換、自分たちができる国際協力を考えるワークショップを実施。同事業の実施経費の一部を助成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
25	グローバル・ピースメーカー・キャンプ	カンボジア	サービスフォーピース	2009.09.03 ~ 2009.09.13	日本とカンボジアの大学生・青年を対象とした文化交流と地域問題解決のプログラム。プノンペン市内や農村部で保健センターの修繕作業や子どもたちに対する衛生教育を2カ国の若者が力を合わせて行うとともに、文化交流会、異文化ワークショップ、ホームステイ等を通して相互理解を促進。同事業の実施経費の一部を助成
26	国際こどもアート・フェスティバル イン シンガポール 2009	シンガポール	特定非営利活動法人リトル・クリエイターズ	2009.12.18 ~ 2009.12.21	日本の子どもたちが、ダンス、美術、歌など様々な創作活動を通じて、シンガポールの子どもたちと文化交流を図るプログラム。BTバディング・アーティスト・ファンド(BTBAF)が2005年から開催している「アートキャンプ」と連動し、日本から児童10名がシンガポールを訪問した。同事業の実施経費の一部を助成
27	日本タイ青少年空手道交流相互理解促進事業	タイ	特定非営利活動法人一橋空手道一空会	2009.04.29 ~ 2009.08.17	日本・タイ青少年の相互訪問により、日本の伝統的武道である空手道の共同研鑽を通じ、心技体に亘る人格形成と礼節を重んじ相手を尊重する精神の育成を図った。日本文化の普及促進、異文化体験、両国産業経済への理解、さらにこれらをテーマとするワークショップを実施。同事業の実施経費の一部を助成
28	食文化を通じたタイ児童健康キャンペーン	タイ	地球市民ACTかながわ/TPAK	2009.08.08 ~ 2009.09.03	横浜の国際協力NGO、地球市民ACTかながわ/TPAKの大学生グループが、タイの貧困地域の子ども達約1,000名が入寮している巨大孤児院と山岳部の少数民族350名の学校寮に1カ月間滞在し、日本の食文化を素材にした栄養教育キャンペーンを中心に、衛生環境・健康改善や文化交流活動を実施。横浜の子ども達と共に、健康について学んだ。同事業の実施経費の一部を助成
29	日タイこどもの絵展	タイ	特定非営利活動法人国際教育情報交流協会	2009.09.01 ~ 2009.12.31	タイ南部、インドネシア・スマトラ沖地震被災地、アンダマン地方のこども達と地震被災15周年を迎える神戸市のこども達の絵を中心とした展示会を神戸市で開催。また国際フォーラムのパネラーとしてタイ美術教育指導者2名を招へいし、あわせて学校訪問等を通じて日本の美術教育の現場見学・交流を実施。同事業の実施経費の一部を助成
30	2009青梅アートジャム	タイ	特定非営利活動法人文化交流機構 円座	2009.09.20 ~ 2009.10.03	「自然への共存を通して創造する力を育む」をメインコンセプトに、4人のタイ人作家によるワークショップ「紡ぎと染めの手作り体験」を中心に、市民や小・中学校で20余名の表現者が各種ワークショップやパフォーマンスを展開。両国の作家と参加者による文化交流の場を実現した。同事業の実施経費の一部を助成
31	泉南青年会議所 日・比こども心の交流事業	フィリピン	社団法人泉南青年会議所	2009.04.21 ~ 2009.05.03	フィリピンこども民族舞踊団「母なる大地の子どもたち」を招へいし、地域の中学校全10校における民族舞踊公演を通して日本の子どもとの心の交流を図る事業を実施。また最終日には市民ホールにおいても市民向けに開催し、双方の国際理解を深化。同事業の実施経費の一部を助成
32	日比国際児のための演劇を通じた療法、教育、アドボカシー	フィリピン	ドーン	2009.05.16 ~ 2009.06.04	ジャパニーズ・フィリピーノ・チルドレン(日比国際児)8人とドーンスタッフが、自分たち自身をテーマとしたミュージカルを日本7カ所で上演。日本人の日比国際児に対する理解を深めるとともに、日本人の子どもとの交流、各種アクティビティを通じて父親の国である日本文化の理解を促進。同事業の実施経費の一部を助成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
33	戦後65年一日・比理解促進・連続ワークショップ	フィリピン	ブリッジ・フォー・ピース	2009.12.12 ～ 2010.05.31	日本・フィリピン関係史を連続講座で学び、理解を深めることで、より豊かな関係構築を目指す事業。フィリピン人による戦争当時を回顧する証言映像の視聴、両国関係に詳しい講師を招いての連続講座開催により、総合的な日本・フィリピン関係理解を促進。同事業の実施経費の一部を助成
34	日馬ビデオ交流展2009	マレーシア	スプレッド・ビデオアート・プロジェクト・ツアー	2009.09.12 ～ 2009.10.11	ワークショップ、スクリーニング、ダイアログの3つのプログラムで構成されたビデオ表現の催しを実施。マレーシア人映像作家と日本人参加者が映像表現の交流、交友、知識交換を行った。同事業の実施経費の一部を助成
35	市民が支えるアジアの多民族共生世界遺産	マレーシア	社団法人奈良まちづくりセンター	2009.12.01 ～ 2010.06.30	2008年7月に世界遺産に登録されたマレーシアのペナンには、多民族の生活が息づいた魅力的な町並みが残っており、その保存には、市民組織ペナン・ヘリタージュ・トラストが大きな役割を担っている。同組織のリーダーを奈良に招き、世界遺産を支える市民の役割についてフォーラムを開催し、交流を図った。同事業の実施経費の一部を助成
36	マレーシアと日本における国際交流活動	マレーシア	特定非営利活動法人パンゲア	2009.12.01 ～ 2010.06.30	マレー系、イスラム系、中華系など多文化からなるマレーシアの子ども達と日本の子ども達が国際回線を通じた独自コンテンツにより言葉・文化・距離の壁を越えて国際交流活動を実施。国際間の移動なく、両国の子ども達がお互いを理解する環境を提供。同事業の実施経費の一部を助成
37	ラオスと日本で森を考える交流	ラオス	特定非営利活動法人地球の木	2010.02.13 ～ 2010.02.21	ラオスの支援村を訪問し、「森」の役割や村人との関わりについて現地住民の講話を聴取。日本の現状を紹介しながら持続可能な開発について、意見交換を実施。同事業の実施経費の一部を助成
38	国際交流事業「タゴール以後のインド詩をめぐってー多言語国家の文学」	インド	一般社団法人日本詩人クラブ	2009.12.10 ～ 2009.12.17	在京インド大使館、「インド文学の歴史的展開と現在」研究プロジェクト・チーム、日印協会等の協力を得て、インド文学を包括的に擁護・推進するインド国立文学院会長シュニル・ゴンゴパッドエを招へいし、インドと日本との文学交流に関する会議を開催するとともに、国際子ども図書館及び在京インド大使館インド文化センターにおいて講演会を実施。同事業の実施経費の一部を助成
39	図書館を中心にしたスリランカ防災教育支援	スリランカ	スリランカと佐賀の会	2010.01.30 ～ 2010.02.18	2004年の津波では、人々に津波に関する知識が不足していたため膨大な被害を招いたという反省から、2006年には佐賀県民の協力でスリランカ南東部のハンバントタ学校に「佐賀ランカ友好図書館」を設置。本年度は同図書館と建設中の講堂も活用し、子ども達と地域住民に対して津波等の防災教育を実施。同事業の実施経費の一部を助成
40	国境なき子どもたち公開講座「シリーズ アジア」	アジア地域区分困難	特定非営利活動法人国境なき子どもたち (KnK)	2009.04.11 ～ 2010.03.06	国境なき子どもたち (KnK) が活動を展開しているアジア10カ国の社会・文化事業に精通した講師を迎え、アジアに対する理解を深めてもらうことを目的に一般市民を対象とした公開講座を6回開催。同事業の実施経費の一部を助成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
41	Superperfect	オーストラリア	Shopfront	2009.08.17 ~ 2009.08.27	Shopfrontは、芸術活動を通じて青少年の育成に取り組むオーストラリアの非営利法人。日本とオーストラリアを相互訪問し、両国の青少年、若手アーティストを対象にワークショップ、共同制作を行うにあたり、日本側共催者Nibro11と日本でワークショップを実施。同事業の実施経費の一部を助成
42	日米加子どもの環境シンポジウム	カナダ 米国	特定非営利活動法人劇団風の子関西	2009.09.13 ~ 2009.10.03	ゲイル・ラジョーイの招へい・全国10カ所巡回公演（子ども向け無言劇）の機会を捉え、デビット・カー（バンクーバー国際チルドレン・フェスティバル総監督）を招へいし、日本の有識者とともに日米加の現代の子どもの状況や子どもの環境の問題についてシンポジウムを実施。同事業の実施経費の一部を助成
43	日本・カナダ コンソーシアム・フォーラム	カナダ	高円宮日本教育・研究センター	2010.02.13 ~ 2010.02.23	日本・カナダ両国それぞれ13大学によるコンソーシアムが実施する学生会議。各大学より各1名が参加し「環境」をテーマに8日間にわたってフォーラムを開催。並行して研究者による会議も開催。同事業の実施経費の一部を助成
44	日ハワイ異文化間教育交流プログラム	米国	ハワイ日米協会	2009.07.21 ~ 2009.07.29	申請団体が主催するJapan Wizard(高校生を対象とする日本語能力、日本に関する知識のコンペ)の上位得点者である高校生3名及び随行者1名計4名が9日間の日程で訪日し、日本側受入れ団体の協力のもとに在京米国大使館、自治体、産業文化施設等を訪問するとともに、日本の高校生との交流を実施。同事業の実施経費の一部を助成
45	米国・バーモント州との文化交流	米国	特定非営利活動法人国際交流の会とよなか (TIFA)	2009.09.18 ~ 2009.09.28	1999年より毎年実施している米国・バーモント州の公立小・中学校教師訪日受入れ事業をきっかけとし、同州を訪問して小・中学校の教師・子ども・地域の人々に日本文化を紹介し、日本に対する理解を深めてもらう催し。多文化共生社会・自然環境保存の先進州バーモントの人たちから手法・考え方などを学び、日本社会に生かす。同事業の実施経費の一部を助成
46	キューバ映画祭 in サッポロ	キューバ	キューバ映画祭 in サッポロ実行委員会	2009.12.01 ~ 2010.04.30	札幌市内の映画館で開催するキューバ映画祭でキューバに関する連続講座や交流イベントを実施。講演会、コンサートを幅広い市民に呼びかけて開催。同事業の実施経費の一部を助成
47	多文化共生のためのボリビアとのテレビ電話対話	ボリビア	対話プロジェクト	2009.07.02 ~ 2009.07.27	ボリビアとの間で多文化共生を目的とした対話を実現するため日本からコーディネーターと衛星データ通信機材を送り、インターネット経由で複数回のテレビ電話対話を実施。日本側は、沖縄県栗国島の中学生。ボリビア側参加者は沖縄からの移住者子弟が通うスエバ・エスペランサ学校とラパスの日本語普及学校。同事業の実施経費の一部を助成
48	2009旭川・ウィーン国際ヴァイオリンセミナー	オーストリア	旭川・ウィーン国際弦楽セミナー実行委員会	2009.10.18 ~ 2009.10.24	旭川市大雪クリスタルホールで行なうヴァイオリンセミナーにあわせてウィーン国立音楽大学弦楽科の学生4名を招へいし、市民向け無料コンサート、小学校2校（向陵小、東光小）、中学校2校（神居中、啓北中）において「クラシックふれあい授業」を実施。同事業の実施経費の一部を助成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
49	ヴィーゼルブルク音楽学校との交歓演奏会	オーストリア	マリー・ピアンカ	2009.10.24 ～ 2009.11.02	オーストリアの音楽学校の生徒を招き、川崎市内の学校等で音楽を学ぶ生徒との合同練習やコンサートを実施。また、同市内の学校における交流会や、茶道・書道・華道、紙すき、機織、竹細工等の日本文化体験、ホームステイを通して日本文化の紹介を行った。同事業の実施経費の一部を助成
50	ユースウィーク+日独ユースサミット	ドイツ	日独青少年協会	2009.08.12 ～ 2009.08.21	日独交流年2005～2006以後、毎年日独両国において交互に開催されている青少年サミットの第5回。「私たちの未来を創る」をモットーに、200人規模の参加者で教育、社会システム、環境と技術、ライフスタイルの4つのカテゴリーのディスカッションを東京のドイツ文化センター、国立オリンピック記念青少年総合センターを会場に行ったほか、訪日者の国会、企業・工場視察を実施。同事業の実施経費の一部を助成
51	日本建築に見る空間と時間	フランス	サンテチエンヌ国立高等建築学校	2009.05.10 ～ 2009.05.24	日本建築の空間と時間をテーマに、東京、熱海、名古屋、金沢、京都での建築作品を視察後、京都工芸繊維大学でワークショップを実施。東西文化の差異の観点からフランスの建築との比較を行った。事業成果は、サンテチエンヌにおいて展示会を行うとともにブログで発表された。同事業の実施経費の一部を助成
52	ニューカレドニア市民青少年国際交流	フランス [仏領ニューカレドニア]	グラン・ヌメア高校	2009.07.15 ～ 2009.07.26	太平洋金属株式会社本社工場が八戸市にあり、同社の取り扱うニッケルの輸入元がニューカレドニアであることをきっかけに市民・青少年レベルの交流を実施するもので、ニューカレドニアのグラン・ヌメア高校で日本語を学ぶ学生15名が教師3名の引率により12日間八戸市に滞在し、八戸市民及び高校生と交流を行った。八戸国際交流協会が受入れ。同事業の実施経費の一部を助成
53	バルカンの日本文化週間	セルビア ブルガリア	特定非営利活動法人歴史文化交流フォーラム	2009.08.20 ～ 2009.08.30	資本主義経済の浸透による急激な社会の変化にさらされているバルカン半島（セルビア、ブルガリア）において、日本の伝統的な庶民文化に見る自然との共生、現代のエコツーリズム等を展示と実演、講演を通して紹介し、環境保全型の発展のあり方を現地住民と共に検討。同事業の実施経費の一部を助成
54	友好交流記念ハンガリー理解促進事業「ハンガリー・デーinあおもり」	ハンガリー	青森県ハンガリー友好協会	2009.05.16	青森県ハンガリー友好協会設立15周年記念事業として、ハンガリーのケチケメート市と友好関係にある青森市民のハンガリー理解を深めて今後の友好に資するため、ハンガリーやその文化等を紹介する事業を実施。ハンガリー政府観光局長の講演とともに同国の文化紹介を実施。同事業の実施経費の一部を助成
55	ハンガリーとトランシルヴァニアのフォークロアに関する文化交流	ハンガリー	日本ハンガリー友好協会	2009.07.02 ～ 2009.07.09	ハンガリー（トランシルヴァニア）の作家ヴィシュキ・アンドラーシュを招へいし、ハンガリーの民話、についての講演、トランシルヴァニアのフォークロア（民族舞踊）公演を実施。同事業の実施経費の一部を助成
56	ラトビア共和国ルーイエナ町日本文化伝承交流事業	ラトビア	北海道東川ラトビア交流協会	2009.05.28 ～ 2009.06.04	2008年7月のラトビア・ルーイエナ町と北海道東川町間の姉妹提携を機会に、町民17名がルーイエナ町において和太鼓・盆踊りを紹介するとともに桜の木植樹、茶道教室を実施。食文化伝承事業として日本食試食会を実施。同事業の実施経費の一部を助成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
57	ルーマニア モルドヴァ スタディーツアー 2009	ルーマニア	特定非営利活動法人歴史的 建造物保存協会	2009.11.20 ~ 2009.11.27	文化遺産、観光、芸術、メディアなど各分野の専門家チームと将来の担い手をめざす参加者が、ルーマニア・モルドヴァ地方の文化遺産保護の現状を視察。現地でワークショップ「モルドヴァ地方における文化遺産継承の取り組み」を開催。両国間の協力体制の在り方や事業案について、現地専門家や大学生とともに提案を行った。同事業の実施経費の一部を助成
58	第2回こどものまち世界会議 in 横浜	欧州地域区分困 難	特定非営利活動法人ミニシ ティ・プラス	2009.08.07 ~ 2009.08.09	横浜開港150周年記念事業として実施するイベントの機会を捉え、「こども・青少年が創る遊びのまち」を実践しているドイツをはじめとするヨーロッパ各国及び日本各地の主権団体とそこに関わっているこどもたちが一堂に会し、「第2回こどものまち世界会議」を開催。同事業の実施経費の一部を助成
59	'09平和をつくる子ども交流 プロジェクト	イスラエル  パレスチナ	特定非営利活動法人聖地の こどもを支える会	2009.07.28 ~ 2009.08.12	紛争の続くイスラエル・パレスチナの地に日本の青少年を派遣し、両国の若者とともに、16日間の体験・対話・交流を通して戦争と平和を考え、民族・宗教・文化の違いや敵意を超えて平和への決意を学んだ。同事業の実施経費の一部を助成
60	“絆” KIZUNAプロジェクト 2009 in Japan	イスラエル  パレスチナ	Peace Field Japan	2009.08.09 ~ 2009.08.21	日本、イスラエル、パレスチナの青少年たちが、日本の地方を舞台に約2週間の共同生活を行い、土地の文化・伝統・自然体験を通して、出会った人との絆、地域や自然との絆に気づき、それらの絆を育み、そこから未来へと繋がる平和な文化を作り上げていくきっかけを作るプログラムを実施。同事業の実施経費の一部を助成
61	サクラ記念植樹ワーク ショップ「縁引」&美術交流 シンポジウム「美術と市民」	トルコ	特定非営利活動法人国際協 力アカデミーひろしま	2010.01.03 ~ 2010.01.12	トルコにおける日本年（2010年）を契機に、サクラの苗木を毎年千本ずつ、3年間継続して植樹する事業を実施。日本年オープニングにあわせてアンカラ大学で行なわれた植樹記念ワークショップにおいて、トルコ、日本両国の市民が水引をベースとした「縁引（ゆかりひき）」を水引に倣った結び方により多数作成し、日本の美術家が繋いで大きな一つの作品に仕上げ、完成作品はアンカラで開催される日本年オープニングでの記念植樹の際に披露。同事業の実施経費の一部を助成
62	FISB 第23回世界スピード ボール選手権2009 エジプ ト大会	エジプト	特定非営利活動法人日本ス ピードボール協会	2009.08.01 ~ 2009.11.02	エジプト、フランスをはじめアラブ各国で普及しているラケットスポーツ競技「スピードボール」を通じての国際交流・福祉交流。エジプトで開催される世界選手権の機会をとらえ、現地の小学校や福祉施設にて寄付や障害者スピードボールの生涯スポーツとしての普及、指導、地域住民との交流、ジュニア選手同士の交流を推進。同事業の実施経費の一部を助成
63	A-styleアフリカ・スタディ ーツアー 2010	ウガンダ	A-style高校生海外研修チ ーム	2010.01.04 ~ 2010.01.14	秋田県の高校生4名がウガンダを訪問し、現地の若者たちとの交流を通して相互理解を深めることを目的としたスタディーツアーを実施。国際協力機構（JICA）ウガンダ事務所、民間企業、各種NGOを訪問し、現地の子どもたちとも交流を行った。2010年11月に本事業の報告を含む『高校生のためのアフリカ理解入門』（アルテ）を刊行。同事業の実施経費の一部を助成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
64	ジンバブエ・ムビラ伝統文化交流プロジェクト	ジンバブエ	東アフリカNGOMA親交会	2009.04.01 ~ 2009.05.01	ジンバブエのショナ族が500年以上も引き継いできた伝統音楽ムビラの伝統奏者ルケン・パシバミレを招へいし、音楽文化の講演、日本人ムビラ奏者との演奏を東京、横浜、名古屋、浜松、京都、大阪ほか日本各地で実施。同事業の実施経費の一部を助成
65	親子のためのアフリカ文化の交流促進事業	アフリカ地域区分困難	特定非営利活動法人アフリカ日本協議会	2009.04.01 ~ 2010.03.31	1994年に設立した同団体が運営する「アフリカンキッズクラブ」「在日アフリカ出身家族の生活を考える会」の2つの事業を融合し、日本社会でアフリカ文化の理解を促進。在住アフリカ人配偶者の家族と子供の生活から見える問題を通じて日本社会における共生を目指す親子向け連続講座を実施。同事業の実施経費の一部を助成
66	4コマ漫画巡回展示会「僕らの世界で今何が？」	全世界区分困難	アマミーナ大島高校チーム	2009.07.01 ~ 2009.08.31	奄美の高校生が企画した巡回展示会。「世界で今何が起きているのか？」を主題に、今社会で起きている問題を自分たちの視点を通して4コマ漫画により表現した作品を世界から公募。私たちがそれに対して何をすべきなのかを考えるプロジェクト。同事業の実施経費の一部を助成
67	世界コスプレサミット2009	全世界区分困難	世界コスプレサミット実行委員会	2009.08.01 ~ 2009.08.02	各国のコスプレイヤーを招へいし、日本の青少年とマンガ、アニメ、コスプレを通じた交流を図った。7回目を迎え、世界15カ国の青少年が参加。主要イベントである大須コスプレ・パレード、世界コスプレ・チャンピオンシップの他、東京その他の地域で日本の青少年との交流事業を実施。同事業の実施経費の一部を助成
68	日本語サミット・ニッポン新発見塾	全世界区分困難	特定非営利活動法人ジャパン・リターン・プログラム	2009.08.17 ~ 2009.09.15	過去10回の「日本語サミット」を総括。これまで招へいした128カ国162名のオールドパネリスたちの国際的ネットワークを活用し、各国で選ばれた参加者と日本企業の若手参加者が、ディスカッションや企業訪問、講演会などを通じて多文化共生社会のあり方を考えた。同事業の実施経費の一部を助成
69	アーティスト・イン・レジデンス 美濃・紙の芸術村	全世界区分困難	美濃・紙の芸術村実行委員会	2009.09.01 ~ 2010.01.31	米国、南アフリカ、ドイツ、日本から各1名のアーティストを美濃市に招へいし、伝統工芸美濃和紙を素材とした作品創作を実施。期間中に市内3校の小中学校でのワークショップを行い、青少年との交流を図った。また事業を通じ、招へいアーティストと紙漉き職人との交流も実現した。同事業の実施経費の一部を助成
70	スノースケープ・モエレV レクチャー&ワークショップ・プログラム	全世界区分困難	特定非営利活動法人S-AIR	2009.09.01 ~ 2010.03.20	札幌の冬をテーマにした市民参加型アートイベント「スノースケープ・モエレV」において、道内若手アーティスト、クリエイターと青年層を対象に、欧寧、久保田弘成、高嶺格の3名が、アジアのアートシーン及び日本人が海外で活動するための実践、戦略を紹介する公開レクチャーとワークショップを実施。同事業の実施経費の一部を助成
71	創立30周年記念イベント ー多文化共生を目指して “バイリンガルへの挑戦” 30年ー	全世界区分困難	神戸クロスカルチュラルセンター	2009.11.22	国籍、文化、年齢などの差を超えて、その年々に地球社会が直面する共通の課題をテーマに、多様な視点から各人が日本語と英語の2カ国語で語るバイリンガルスピーチコンテストを開催（テーマは「リーダーシップ」）。コンテスト後過去の優勝者5人を囲んで記念フォーラムを実施し、コンテスト30年の軌跡を記念ニュースレターとして発刊。同事業の実施経費の一部を助成

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
72	国際交流20周年記念プログラム～人・地球・未来～	全世界区分困難	オオサカ・イン・ザ・ワールド実行委員会	2009. 11. 25 ～ 2009. 11. 30	世界各国の文化を理解するために活動を続けてきたオオサカ・イン・ザ・ワールド実行委員会が設立20周年記念プログラムとして、19カ国19名招へい。最終日にラウンドテーブルディスカッションを実施。初めて来日し交流をした年から今までに各国での活動、また今後の活動等について確認しあい、ネットワーク構築を行った。同事業の実施経費の一部を助成
73	シンポジウム「ピースカートゥニング イン ジャパン——漫画家の目から見た日本、世界、地球」	全世界区分困難	フェコジャパン（世界漫画家連盟日本支部）	2009. 12. 05 ～ 2010. 01. 17	フランス、トルコ、イスラエル、米国から国際的に活躍する漫画家を招へいし、カートゥーン（一枚風刺漫画）の表現の問題及び平和と国際理解の関わりについて市民とともに考えるシンポジウムを実施。同事業の実施経費の一部を助成
74	世界とつながる国際協力イベント HOP STEP'09～わたしの100歩よりみんなの1歩～	全世界区分困難	HOT STEP'09実行委員会	2009. 12. 06	一般市民に世界の貧困事情を伝え、その解決に向けてともに行動の一步を踏み出すことを目的とした国際協力イベントHOP STEPを京都で実施。フェアトレード製品を用いたファッションショー、途上国の社会文化や貧困事情を紹介するパネル展示、異文化紹介ブースの設置などを通じて来場者に世界とのつながり、国際協力の魅力などを伝えた。同事業の実施経費の一部を助成
75	阪神淡路大震災15周年記念事業「被災留学生による語り部」とメモリアルコンサート	全世界区分困難	特定非営利活動法人留学生ホストファミリー交流センター	2010. 01. 16	「被災元留学生による語り部」では極限状態の中で弱者と考えられがちな留学生（韓国1名、中国2名、インド1名、ロシア1名）が、国籍などの差を超え人間同士として助けあった「共生」の体験を大震災15周年を記念して語るとともに、上塚憲一がベルリンフィルの12人のチェリストに学んで結成したチェロアンサンブル「エクラ」の演奏で癒しと再生を祈念。同事業の実施経費の一部を助成
76	高校生国際みずフォーラム in 湖国・滋賀	全世界区分困難	立命館守山高等学校	2010. 02. 16 ～ 2010. 02. 23	持続可能な社会の実現に向けて、国内外で水環境や水資源に関わる研究・実践を行う8カ国の高校生が集い、水を通して人間と自然環境と科学技術について考える2日間のフォーラムを開催。各高校で行われてきた研究・実践について英語による口頭発表とポスターセッションを行うと共に、参加者の「共同宣言」をまとめた。同事業の実施経費の一部を助成
77	第4回21世紀ミュージアム・サミット 「100人で語る美術館の未来」	全世界区分困難	財団法人かながわ国際交流財団	2010. 02. 27 ～ 2010. 02. 28	日米仏の美術館活動のドキュメンタリー映像と実践報告を素材として、コミュニオン(共同体)の形成媒体としての美術作品がいかなる過程を経て社会的・文化的意義を帯びるのかを、美術館における市民参画という視点から検討する、美術館と社会の協働の道を考えるフォーラムを開催。同事業の実施経費の一部を助成



# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 企画開発費

### 1. 催し等事業費

(1) 事業開発 (催し)

### 2. 文化資料事業費

(1) 事業開発 (文化資料)

企画開発費

1. 催し等事業費 / (1) 事業開発 (催し)

企業等と連携した新規事業、及び従来の枠組みや発想にとられない部門横断型事業の開発と実施。

合計額 8,775,828 円

	事業名	実施国	都市	期間	事業内容
1	日韓学生パッケージデザイン交流	韓国	ソウル	2009.04.01 ~ 2010.03.31	企業との共同開発・マッチングファンド形式の開発型事業として、株式会社ロッテと共同で「日韓学生パッケージデザイン交流プロジェクト」を実施。平成21年度は企画立案等の準備
2	CSR事業	中国 ベトナム	北京 ハノイ	2009.04.01 ~ 2010.03.31	中国及びベトナムにおける日系企業の社会貢献活動に関する調査を実施
3	食文化紹介事業	日本	東京	2009.04.01 ~ 2010.03.31	国際文化会館との共催により平成18年度から20年度に渡って実施した講演会「料理でめぐるフランス文学散歩」(全12回シリーズ)の出版準備
4	新宿区との連携事業	日本	東京(新宿区)	2009.04.01 ~ 2010.03.31	新宿区在住の外国にルーツをもつ小・中・高校生の参加による映像の制作
5	多文化共生に関する調査	日本	横浜市 可児市 浜松市	2009.04.23 ~ 2010.03.31	日本国内の在留外国人の多い都市・地域において、多文化共生の考え方に基づいて実施された芸術文化交流事業の具体的な取組みと、その活動によってもたらされた地域社会に対する影響に関する調査及び地域社会における多文化共生の意義と効果に関する調査を実施

企画開発費

2. 文化資料事業費 / (1) 事業開発 (文化資料)

国際交流基金広報グッズの開発、及び調査報告書等出版物の制作。

合計額 9,171,115 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	CSR事業	タイ	2009.04.01 ~ 2010.03.31	タイにおける日系企業の社会貢献活動調査報告書(英語版)の作成
2	食文化紹介事業	全世界区分困難	2009.04.01 ~ 2010.03.31	国際文化会館との共催により平成18年度から20年度に渡って実施した講演会「料理でめぐるフランス文学散歩」(全12回シリーズ)の出版準備
3	商品開発事業	全世界区分困難	2009.04.01 ~ 2010.03.31	「日本文化と海外文化を融合する発想の商品」をコンセプトに、国際交流基金海外事務所の協力による海外公募デザインを基にしたJFオリジナルふるしきの商品化を始めとする各種広報グッズの開発

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 造形美術事業費

### 1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（アセアン）
- (2) 造形美術情報交流（招へい）

### 2. 催し等事業費

- (1) 国際展（国際展参加）
- (2) 海外展（企画展）
- (3) 海外展（巡回展）
- (4) 国内展（企画展）
- (5) 海外展（助成）
- (6) 造形美術情報交流（催し）
- (7) 市民青少年交流（助成）〔造形美術〕

## 造形美術事業費

## 1. 人物交流事業費 / (1) 受託事業 (アセアン)

国際交流基金の業務趣旨に合致する造形美術分野の事業を、外部から受託し実施する。

合計額 27,656,868 円

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	東アジアクリエイター招へい (第2期)	Aditya Wahyu	ハローモーション・アカデミー 校長	インドネシア	2009.07.15 ~ 2009.08.26	アジア・大洋州の13カ国から、アート、デザイン、ファッション等創造的な活動に従事する若手のクリエイターを日本に招へいし、制作や関係者とのネットワーク形成の機会を提供し、新たな芸術交流の創造と国際相互理解の深化を図った
		Albert Yonathan Setyawan	スマルジャ・ギャラリー プログラム・マネジャー/ 陶芸家	インドネシア	2009.07.21 ~ 2009.10.17	
		Peou Sam-An	現代美術家	カンボジア	2009.05.13 ~ 2009.08.03	
		Phe Sophon	現代美術家	カンボジア	2009.05.13 ~ 2009.08.03	
		Tan Kai Syng	現代美術家	シンガポール	2009.06.01 ~ 2009.06.30	
		Clarence Ng	エスプラネード プロダクション・コーディネーター	シンガポール	2009.06.07 ~ 2009.09.04	
		Kritchnun Srirakit	陶芸家	タイ	2009.07.21 ~ 2009.10.17	
		Isa Lorenzo	シルバーレンズ・ギャラリー ディレクター/写真家	フィリピン	2009.07.07 ~ 2009.08.28	
		Adeline Hee Chung Tieng	メガボン ビデオ・エディター/カメラマン	ブルネイ	2009.07.01 ~ 2009.07.31	
		Hoang Duong Cam	現代美術家	ベトナム	2009.05.02 ~ 2009.08.06	
		Sharon Chin	現代美術家/ライター	マレーシア	2009.05.18 ~ 2009.07.25	
		Htin Aung	写真家	ミャンマー	2009.05.12 ~ 2009.08.08	
		Souksavanh Viengxay	ラオス織物博物館職員	ラオス	2009.05.18 ~ 2009.08.15	
		Jattinn Kochhar	ファッション・デザイナー	インド	2009.05.12 ~ 2009.07.03	
		Sankar Venkateswaran	シアター・ルーツ&ウイングス アーティスト ク・ディレクター	インド	2009.05.25 ~ 2009.08.20	
	Ashok Sukumaran	現代美術家	インド	2009.06.24 ~ 2009.07.31		
	Malgorzata Pilat	陶芸家	オーストラリア	2009.07.21 ~ 2009.10.07		
	Janet Lilo	現代美術家	ニュージーランド	2009.05.18 ~ 2009.07.24		

## 造形美術事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
		Mark Mitchell	オーストラリア国立大学 学生	ニュージーランド	2009.07.21 ~ 2009.10.17	
2	東アジアクリエイター招へい (第3期)	Maria Rosalie Zerrudo	エニグマタ クリエイティブ・ディレクター/アーティスト	フィリピン	2009.08.17 ~ 2010.10.18	アート、デザイン、ファッション等創造的な活動に従事する若手のクリエイターを日本に招へいし、制作や関係者とのネットワーク形成の機会を提供し、新たな芸術交流の創造と国際相互理解の深化を図った

## 造形美術事業費

## 1. 人物交流事業費 / (2) 造形美術情報交流(招へい)

内外の造形美術関係の情報を収集・整備し、外部に対して情報を提供する。

合計額 673,621 円

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	ポップカルチャー研究者招へい	Amelia Groom	ジャーナリスト	オーストラリア	2009.10.05 ~ 2009.11.16	オーストラリアの若手ジャーナリストを招へいし取材・調査活動と執筆・ウェブ経由の発信等の機会を提供。若者を中心とした日本に関心を有する層へ、日本文化や日本の現状に関する発信機能強化を図った

## 2. 催し等事業費 / (1) 国際展(国際展参加)

今日の日本の美術状況と優れた現代作家を紹介することを目的に、作品の出品や作家の派遣により国際美術展に参加する。

合計額 43,935,221 円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	第53回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展	イタリア	ヴェネチア	ジャルディーニ地区日本館	2009.06.07 ~ 2009.11.22	ヴェネチア・ビエンナーレの日本館展示として、前年度行なったコンペで選出された南島宏コミッショナー(女子美術大学教授)企画による展覧会「やなぎみわ Windswept Women: 老少女劇団」の展示を行なう。日本館自体を黒いテントで覆い、館内に3m×4mの巨大サイズの写真作品を展示
2	第12回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展(準備)	イタリア	ヴェネチア		2009.04.01 ~ 2010.03.31	2010年ヴェネチア・ビエンナーレ建築展の準備

## 2. 催し等事業費 / (2) 海外展(企画展)

海外の美術館・博物館等との共催により、日本の美術・文化を海外諸国に紹介する。

合計額 109,053,692 円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	エモーショナル・ドローイング展	韓国	ソウル	SOSFO(SOMA美術館)	2009.02.19 ~ 2009.04.19	東京国立近代美術館及び京都国立近代美術館で実施した同展を韓国のソウルに巡回
2	JAPAN GOOD DESIGN	シンガポール	シンガポール	ジャパングリエイティブセンター(JCC)展示ホール	2009.11.16 ~ 2010.01.29	シンガポールのジャパングリエイティブセンター(JCC)開設を記念し、日本のプロダクト・デザインの歴史と現状を紹介する展覧会を実施。またアジアで人気のデザイナーの小規模展示や講演会・ワークショップを実施

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
3	Twist and Shout: Contemporary Art from Japan (バンコク)、 Flickers: New Media Art from Japan (ハノイ)	ベトナム  タイ	ハノイ  バンコク	ゲーテ・インス ティトゥート・ ハノイ  バンコク芸術文化 センター	2009.10.23 ~ 2009.11.01  2009.11.10 ~ 2010.01.10	日メコン交流年に関連して、タイのバンコク及びベトナムのハノイにおいて日本の現代美術を紹介
4	桂離宮—石元 泰博写真展	米国	シカゴ  ワシントンD.C.  サン・フランシスコ	イリノイ工科大学  旧日本大使公邸  箱根ガーデン	2010.02.18 ~ 2010.03.07  2010.03.18 ~ 2010.03.19  2010.03.31 ~ 2010.04.18	日本の王朝の雅を今に伝える桂離宮を、個性的な視座で捉えた石元泰博の写真作品50点から成る展覧会。モダンな造形性で知られる石元の写真を通して、桂離宮という日本美の精緻をクローズアップ
5	Kami: 静と動—現代日本の美術	ドイツ	ドレスデン	ザクセン州立美術 館銅版画館	2009.10.15 ~ 2010.01.18	日本の現代美術作家13名によるグループ展。紙を支持体としたドローイング、版画を中心に紹介。企画はペトラ・クールマン-ホディック（ザクセン州立美術館銅版画館）及び中林和雄（東京国立近代美術館）
6	JAPAN EXPO (アニメ展示)	フランス	パリ	パリ日本文化会館	2009.06.23 ~ 2009.07.05	パリ郊外で開催される日本芸術総合フェスティバル、JAPAN EXPOの期間に合わせ、巡回展「武道の精神」と武道をテーマとしたアニメーションパネルを展示すると共に映画上映やトークショーなどの関連イベントを実施
7	出発(たびだち)—6人のアーティストによる旅	フランス	パリ	パリ日本文化会館	2009.10.14 ~ 2010.01.23	「旅」をテーマとして、若手から中堅世代の5人の写真家、1人のビデオアーティストの作品を紹介する展覧会。キュレーションは東京都写真美術館の藤村里美。ケ・ブランリー美術館主催の写真ビエンナーレPHOTO QUAI参加事業
8	WA—現代日本のデザインと調和の精神	ハンガリー  ドイツ  ポーランド	ブダペスト  エッセン  ワルシャワ	ブダペスト工芸美 術館  レッド・ドット・デ ザインミュージアム  ポーランド産業デ ザイン研究所デザ インセンター	2009.08.20 ~ 2009.09.20  2009.04.09 ~ 2009.05.31  2010.01.14 ~ 2010.03.28	柳宗理から現代までの日本のデザインプロダクト161点を紹介。食器、情報機器、水まわり、などの12のカテゴリーと、「ミニマル」「クラフト」など日本のデザイン文化を代表する6つのキーワードを提示し、デザインへの理解を促進



## 造形美術事業費

## 2. 催し等事業費 / (3) 海外展(巡回展)

国際交流基金が所蔵する日本の芸術・文化を紹介する展示セットを海外諸国に巡回する。

合計額 121,014,913 円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	日本人形 Eセット	韓国	釜山	龍頭山美術展示館	2009.05.01 ~ 2009.05.10	日本古来の風習に育まれた「雛人形」、「五月人形」、古典芸能に材をとった「能人形」、「文楽・歌舞伎人形」、日本各地の人形や現代工芸作家による創作人形など約70点を紹介
			春川	国立春川博物館	2009.05.18 ~ 2009.05.24	
			ソウル	在韓国大使館広報文化院シルクギャラリー	2009.06.09 ~ 2009.06.18	
			済州	在済州総領事館広報文化センター展示室「たむな・ほーる」	2009.06.29 ~ 2009.07.17	
		カンボジア	プノンペン	ワット・プノン文化芸術博物館	2009.09.01 ~ 2009.09.21	
		中国	瀋陽	瀋陽故宮博物館	2009.10.15 ~ 2009.10.29	
			深圳	華・美術館	2009.11.10 ~ 2009.11.27	
			重慶	中国重慶三峡博物館	2010.01.11 ~ 2010.02.18	
北京	北京日本文化センター		2010.02.27 ~ 2010.03.20			
2	現代日本デザイン100選	ベトナム	ハノイ	ヴィエット・アート・センター	2009.10.02 ~ 2009.10.12	1990年代に製作された生活用品のデザイン約100点、その原点ともいえる戦後の1950年代に製作された作品13点を紹介
			ハイフォン	ハイフォン市展示場	2009.10.29 ~ 2009.11.07	
			ホー・チ・ミン	ホーチミン市博物館	2009.11.14 ~ 2009.11.24	
		タイ	チェンマイ	チェンマイ大学アートセンター	2010.01.08 ~ 2010.01.21	
			バンコク	サイアム・ディスカバリー	2010.01.27 ~ 2010.02.06	
		マレーシア	クアラルンプール	国立美術館	2010.03.08 ~ 2010.04.11	

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
3	新世代アーティスト	フィリピン	マニラ	デラサール大学サント・ベニルデ校 現代美術及びデザイン美術館	2009.07.07 ~ 2009.08.07	1990年代中盤以降、大きな注目を集めている11人の日本人若手作家の現代美術展。視覚的にインパクトに富み、物づくりへの強いこだわりの感じられる作品を中心に、合計42点（絵画、彫刻、写真、ビデオなど）により構成
		インド	コルカタ	アカデミー・オブ・ファインアーツ	2010.02.02 ~ 2010.02.09	
			チェンナイ	ラリット・カラ・アカデミー	2010.02.23 ~ 2010.03.06	
			ニューデリー	ニューデリー日本文化センター	2010.03.16 ~ 2010.04.01	
4	日本の現代写真	パプア・ニューギニア	ポートモレスビー	国立美術博物館	2009.04.21 ~ 2009.05.12	「1970年代から今日までの現代日本に暮らす人々とそれをとりまく風景」をテーマに、森山大道、東松照明、荒木経惟ら23名の写真家による、計76点の作品を紹介
		インドネシア	スラバヤ	ハウス・オブ・サンブルナ	2009.06.18 ~ 2009.07.05	
			ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	2009.07.15 ~ 2009.08.04	
		オーストラリア	キャンベラ	キャンベラ工科大学 デザインスペース	2009.10.01 ~ 2009.10.30	
			メルボルン	ソフィテル・ホテル	2009.12.01 ~ 2010.01.07	
			パース	ギャラリー・セントラル	2010.01.21 ~ 2010.01.30	
			シドニー	シドニー日本文化センター・ギャラリー	2010.02.22 ~ 2010.03.04	
		ニュージーランド	クライストチャーチ	ソファ・ギャラリー	2010.03.23 ~ 2010.04.11	

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
5	現代日本の陶磁器	ブルネイ	バンドルスリプガワン	ブルネイ博物館	2009.04.15 ~ 2009.04.29	特色のある窯をもつ有田・唐津、萩、備前、京都、久谷、瀬戸・美濃、益子で、日本の窯の伝統を引き継ぎながら優れた陶芸作品を生み出している若手作家の作品71点を紹介
		スペイン	アリカンテ	アリカンテ大学博物館	2009.05.28 ~ 2009.07.18	
		ポーランド	ワルシャワ	ワルシャワ民族博物館	2009.09.03 ~ 2009.10.04	
		エジプト	アレクサンドリア	アレクサンドリア・センター・オブ・アーツ	2009.10.22 ~ 2009.11.05	
			カイロ	ゲジーラ・アート・センター	2009.11.11 ~ 2009.11.24	
		ブルキナファソ	ワガドゥグー	フランス文化センター	2009.12.01 ~ 2009.02.28	
		モロッコ	ラバト	CDG基金展示場	2010.03.10 ~ 2010.03.30	
6	写楽再見	米国	ナッシュヴィル	テネシー州立美術館	2010.02.18 ~ 2010.04.11	歌舞伎役者を描いた独特の大首絵で有名な江戸時代の浮世絵師、東洲斎写楽をテーマに、現代の作家たちが柔軟な着想と確かな表現で再解釈した作品を紹介
7	スピリトを写す	カナダ	オタワ	モンカーム・ギャラリー	2009.04.30 ~ 2009.06.07	精神的な基盤が失われた時代に、物質的な現実に隠された見えないものが持っているであろう価値を表現しようとする作家たちの姿を紹介
		米国	サヴァナ	テルフェア美術館	2009.06.19 ~ 2009.08.31	
			シアトル	フォトグラフィック・センター・ノースウェスト	2009.09.11 ~ 2009.10.05	
		エルサルバドル	サンサルバドル	ショッピングセンター「ガレリアス」展示会場	2009.10.30 ~ 2009.11.15	
			サンタアナ	国立サンタアナ劇場	2009.11.20 ~ 2009.12.06	
		カナダ	カルガリー	トライアングル・ギャラリー	2010.02.04 ~ 2010.02.25	
			トロント	トロント日本文化センター	2010.03.05 ~ 2010.05.15	

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容	
8	日本人形 Fセット	ウルグアイ	モンテビデオ	外務省展示スペース「バラシオ・サントス」	2009.05.26 ~ 2009.06.12	日本古来の風習に育まれた「雛人形」、「五月人形」、古典芸能に材をとった「能人形」、「文楽・歌舞伎人形」、日本各地の人形や現代工芸作家による創作人形など約70点を紹介	
			キューバ	ハバナ	キューバ国立装飾博物館		2009.07.15 ~ 2009.08.10
			米国	サンフランシスコ	ヘンダーソン会議場		2009.09.08 ~ 2009.10.10
				グアム	グアム大学イスラセンター		2009.11.12 ~ 2010.01.08
			デ・モイン	アイオワ歴史博物館	2010.02.01 ~ 2010.03.31		
9	パラレル・ニッポン	メキシコ	グアダラハラ	カバーニャス文化会館	2009.05.06 ~ 2009.06.07	1996年～2006年の10年間に竣工した日本の建築から代表的な110作品を選び、わが国の社会文化状況と対比させながら紹介	
			メキシコ市	国立建築博物館	2009.06.25 ~ 2009.07.26		
			グアテマラ	グアテマラ	フランシスコ・マロキン大学展示ルーム		2009.08.26 ~ 2009.09.26
			カナダ	トロント	デザイン・エクスチェンジ		2009.11.10 ~ 2010.02.25
			コロンビア	ボゴタ	ボゴタ市プラネタリオ展示会場		2010.02.12 ~ 2010.03.14
10	現代日本の工芸	チリ	サンティアゴ	プロビデンスシア区文化院	2009.04.23 ~ 2009.07.31	陶器、竹細工、漆、ガラス、石など幅広い素材を用いて制作された工芸作品を、華、侘び、鋭、歪み、精緻、花鳥のテーマに分類して紹介	
			ボリビア	ラパス	国立民俗博物館		2009.09.08 ~ 2009.09.30
			サンタ・クルス	市立文化会館	2009.10.30 ~ 2009.11.24		
			米国	アイダホ・フォールズ	東アイダホ美術館		2010.01.13 ~ 2010.03.13

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
11	日本の子ども60年	米国	ロサンゼルス	日米文化会館	2009.04.25 ~ 2009.05.24	写真家の目がとらえた子供達の生活ぶりをはじめ、戦後～現代にいたる日本の60年間の歩みを振り返るという趣旨のもと、木村伊兵衛、土門拳ら97名の写真家により撮影された子供達の写真100点を紹介
			ワシントン	在米大使館広報文化センター	2009.06.05 ~ 2009.07.15	
		コスタリカ	サンホセ	国立ギャラリー	2009.08.11 ~ 2009.08.28	
			ヘレディア	ナショナル大学ホール	2009.09.07 ~ 2009.09.22	
		ホンジュラス	テグシガルパ	国立アイデンティティ博物館	2009.11.09 ~ 2009.11.21	
		ブラジル	サン・パウロ	ブラジル日本文化福祉協会貴賓室	2010.01.04 ~ 2010.01.17	
		ベネズエラ	カラカス	ロムロ・ガジェゴラテンアメリカ・スタディ・センター	2010.02.10 ~ 2010.02.24	
12	手仕事のかたち	米国	グリーンウッド・ビレッジ	カーティス・アーツ・ヒューマニティ・センター	2009.05.09 ~ 2009.05.29	日々の暮らしの中で育まれてきた伝統的工芸品(陶芸、染織、金工、漆工、木竹工、紙など)と、各地の工房で伝統的な技術を用いつつ創造性豊かな作品を生み出している工芸作家の作品90点を紹介
		アルゼンチン	ブエノス・アイレス	在アルゼンチン大使館広報文化センター	2009.06.23 ~ 2009.07.24	
		パラグアイ	アスンシオン	パラグアイ・日本人造りセンター	2009.09.09 ~ 2009.09.28	
		ペルー	リマ	ICPNA文化センター	2009.11.19 ~ 2009.12.20	
		パナマ	パナマ	運河博物館	2010.03.01 ~ 2010.03.31	
13	<i>out of ordinary / extraordinary</i>	英国	サウサンプトン	ミレーギャラリー	2009.04.16 ~ 2009.05.23	様々な価値観や視点によってより複雑化する現代にあって、日常や身の回りから世界に共感し、「他者」の多様な声を尊重し、寄り添って聞くような表現一日々の平凡な日常から生まれた「非凡」な日本の現代写真を紹介
			ラグビー	ラグビー・ギャラリー・アンド・ミュージアム	2009.06.30 ~ 2009.08.26	
			レクサム	オリエル・レクサム	2009.09.05 ~ 2009.10.17	
			バーンズリー	シビック	2010.03.19 ~ 2010.04.30	
14	ウィンターガーデン	ドイツ	ケルン	ケルン日本文化会館	2009.09.01 ~ 2009.11.20	1960年代末以降生まれのアーティストによる「マイクロポップ(美術批評家松井みどりの造語)」的表現が、現代の世界で生きることとどのように関係しているのかを探っていく展覧会。現代美術作品(平面作品、映像等)約40点を紹介
		イタリア	ローマ	ローマ日本文化会館	2009.12.11 ~ 2010.02.13	
		英国	アピリスウィス	ロンドン日本文化センター	2010.03.10 ~ 2010.04.17	

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
15	90年代の日本の絵画	ギリシャ	アテネ	グナロポール美術館	2009.04.01 ~ 2009.04.30	現在高い評価を得ている会田誠、小林孝亘、奈良美智、村上隆等9名の作家が、1990年代に30代の若手作家としてどのように絵画に取り組み、新しい表現を獲得しようとしていたかを紹介
		オランダ	ライデン	シーボルトハウス／ デ・ラーケンハル・ ライデン市立美術館	2009.05.16 ~ 2009.06.07	
		マケドニア旧ユー gosラビア共和国	スコピエ	スコピエ市立博物館	2009.09.26 ~ 2009.10.12	
		イラン	テヘラン	イマーム・アリー宗 教美術館	2009.11.18 ~ 2009.12.02	
		クロアチア	カルロヴァツ	ヴィエコスラヴ・カ ラス美術館	2010.01.13 ~ 2010.01.23	
			ザグレブ	クロアチア芸術協会	2010.01.29 ~ 2010.02.21	
16	自然に潜む日本	ウズベキスタン	タシケント	ウズベキスタン芸術 アカデミータシケン ト写真美術館	2009.04.09 ~ 2009.05.05	写真家の矢萩喜従郎が「ありのままに日本の自然をみつめることで、写真を通して日本の現在の姿を立ち上がらせよう」と日本全国を巡り撮影した写真集『Hidden Japan-自然に潜む日本』から選ばれたモノクロ写真85点を紹介
		ベラルーシ	ミンスク	ベラルーシ共和国国 立美術館	2009.05.16 ~ 2009.06.21	
			ヴィチェプスク	ヴィチェプスク州立 郷土博物館	2009.07.02 ~ 2009.07.29	
		ウクライナ	キエフ	ソフィア大聖堂 展 示会場「フリブ ニヤ」	2009.08.20 ~ 2009.09.20	
		イタリア	ミラノ	ミラノ市立水族館内 展示スペース	2009.12.01 ~ 2010.01.31	
		ノルウェー	オスロ	オスロ市博物館	2010.02.11 ~ 2010.03.21	

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
17	武道の精神展	フランス ハンガリー ブルガリア ルーマニア トルコ	パリ ケストヘイ ブダペスト ソフィア プロヴジフ クルージュ・ナボカ イズミル イスタンブール	パリ日本文化会館 ヘリコン宮殿博物館 民族学博物館 国立海外美術館 プロヴディフ・シティ・ギャラリー クルージュ・ナボカ美術館 Prof. Dr. テュルカン・サイラン・アルサンジャック文化センター 空港ショッピングセンター	2009.04.22 ~ 2009.07.05 2009.07.16 ~ 2009.08.09 2009.08.15 ~ 2009.09.06 2009.09.25 ~ 2009.10.12 2009.10.19 ~ 2009.10.28 2009.12.18 ~ 2010.01.18 2010.02.23 ~ 2010.03.12 2010.03.17 ~ 2010.03.28	日本で実際に用いられてきた武具類を、テーマ性・装飾性の高い作品を中心に展覧し、日本文化を武芸・武術の観点から視覚的に紹介
18	くまもとアートポリス	ポルトガル リトアニア ロシア レバノン	レイリア ビリニュス モスクワ カザン ベイルート	ジョゼ・ルシオ・ダ・シルヴァ劇場 ビリニュス・アート・アカデミー ギャラリー「ヴフテマス」 カザン国立建築技術大学展示ホール レバノン大学フルン・エル・シュバック校舎講堂	2009.05.22 ~ 2009.06.14 2009.07.08 ~ 2009.09.15 2009.10.02 ~ 2009.10.18 2009.10.30 ~ 2009.11.21 2010.01.26 ~ 2010.02.05	自治体や民間の建造物を建設するにあたり、内外から優れた建築家を起用するという熊本県の画期的なプロジェクト「くまもとアートポリス」によって生み出された建築を紹介
19	巡回展「日本人とキャラクター」の制作	全世界区分困難			2009.04.01 ~ 2010.03.31	サブカルチャーの重要な分野である「キャラクター」をテーマとした新規巡回展の制作。1960年代から現在までの日本社会を振り返りつつ、日本人なら誰でも知っているキャラクター（ウルトラマン、キティちゃん、ガンダム）などを解説するとともに、模型を展示。キャラクターの魅力を文化人類学的に分析するとともに、そのデザイン性も紹介

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
20	巡回展「都市と建築」の制作	全世界区分困難			2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	1960年代に日本で盛り上がりを見せた都市への実験的な提案を入口に、現代に至るまでの都市を取り巻くさまざまな状況や、現在の東京に見られる特異性を紹介する新規巡回展の制作。アニメーションや写真スライド、映像といった多様なメディアを交えながら検証、紹介



造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (4) 国内展 (企画展)

諸外国の優れた美術・文化のうち、これまで日本に紹介される機会の少なかった展覧会に、基金が国内関係者と協力して主催する。

合計額 1,029,920 円

	事業名	会場	期間	事業内容
1	アヴァンギャルド・チャイナ展	愛知県美術館	2009.04.03 ~ 2009.05.24	中国現代美術の歴史をたどりつつ、すでに評価を確立した代表的な作家から今後活躍が期待される若手まで注目すべき作家たちに焦点をあてて展覧。80年代のバブル経済、90年代の停滞期を経験してきた日本の美術状況に比して、中国では何が起きて、どのような作家たちがどのように活動を実現してきたかを明らかにしつつ、パワフルで魅力あふれる中国現代美術を紹介

## 造形美術事業費

## 2. 催し等事業費 / (5) 海外展 (助成)

国内外の美術館・博物館等が主催し、海外において企画・実施する日本美術・文化を紹介する展覧会に対し、経費の一部を助成する。

合計額 45,645,222 円

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
1	<i>Platform Seoul 2009</i>	韓国	ソウル	Art Sonje Center	SAMUSO: Space for Contemporary Art	2009.04.28 ~ 2009.10.31	2006年から開始したアートプロジェクト。ソウル市内の複数の美術館、画廊、アトスペースを結んで、毎年テーマを変えて実施。2009年のテーマは <i>Art &amp; City</i> 。日本からはアトリエワン、大巻伸嗣、島袋道浩、Chim Pom、石上純也などを出品。日本側の協力キュレーターは片岡真実
2	<i>The 2009 International Incheon Woman Artists' Biennale</i>	韓国	仁川	The Incheon Art Platform	The Incheon Woman Artists' Biennale Organizing Committee	2009.08.01 ~ 2009.08.31	2004年から開始された女性作家中心の国際展の3回目。テーマは <i>The 21st Century, The Feminine Century, and the Century of Diversity and Hope</i> 。日本人作家としてはニューヨーク在住作家を含む3名が出品
3	<i>A Comparison of Entrepreneurs and Modernization in Japan, America and China</i>	中国	南通	Nantong Museum	Nantong Museum	2009.08.01 ~ 2009.10.31	日本、中国、米国において1840~1940年代に実業家として活躍し、社会貢献をした人物を紹介する巡回資料展。東京、南通、セントルイスと巡回する中、特に南通展では同市出身の張謇を中心に展示。張謇は北海道に留学し日本との交流も深い人物
4	<i>2009 Shenzhen &amp; Hong Kong Bi-City Biennale of Urbanism/ Architecture</i>	中国	深圳	Shenzehn Civic Square, etc.	Shenzehn Biennale of Urbanism / Architecture Organizer Committee Office	2009.12.06 ~ 2010.01.31	都市に住む全ての人に開かれたアートを目指す、都市と建築をテーマとしたビエンナーレ。第3回となる今回は日本からも複数の建築家が招待され、シンポジウム等に参加
5	<i>Together with Peace Mind - 2009 Japanese Picture</i>	中国	南京	Nanjingshi Museum	Nanjingshi Museum	2010.03.01 ~ 2010.03.10	平山郁夫、中島千波、絹谷幸二等日本画家、25名の南京で初めての展覧会。「南京市芸術文化祭」の一環として開催。南京市民への日本理解促進と芸術交流の促進が目的
6	<i>Mid-Autumn Festival 2009 and Vietnam-Japan Cultural Exchanges</i>	ベトナム	ハノイ	ベトナム民族博物館 (Vietnam Museum of Ethnology)	ベトナム民族博物館 (Vietnam Museum of Ethnology)	2009.09.25 ~ 2009.11.01	日本とベトナムの伝統的な遊び、料理、文化の紹介と体験を通じて、来場者がより深く両国の文化を理解することを目的にベトナムの中秋節の時期にベトナム民族博物館で実施
7	<i>Exhibition of Japanese Artwork in National Art Gallery</i>	バングラデシュ	ダッカ	National Art Gallery	Bangladesh Shilpakala Academy	2009.06.01 ~ 2009.06.15	バングラデシュ・ビエンナーレを主催するシルパカラ・アカデミーが主催する日本人作家にとる木版画の展覧会。作家の招へいを実施

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
8	<i>Kazunari Sakamoto House: Poetics in the Ordinary Exhibition</i>	オーストラリア	メルボルン	Federation Square atrium	Royal Melbourne Institute of Technology (RMIT)	2009.04.03 ~ 2009.05.02	建築家・坂本一成の30年間の集大成である「日本の詩学」展。東京工業大学とMIT大学の協力関係から同大学のギャラリーで実施。展示にあわせて坂本一成を招へい
9	<i>Contemporary Ikebana Sculpture by Master Tetsunori Kawana</i>	オーストラリア	メルボルン	The National Gallery of Victoria	The Council of Trustees of the National Gallery of Victoria	2009.05.16 ~ 2009.07.12	草月流のいけばなインスタレーションと川名哲紀の200本の真竹を使ったインスタレーションをヴィクトリア州国立美術館で実施。いけばなインターナショナル（メルボルン支部）50周年記念事業
10	<i>Louisa Bufardecì (Australia) and Zon Ito (Japan): MCA International Pairing Program</i>	オーストラリア	シドニー	Museum of Contemporary Art, Sydney	Museum of Contemporary Art, Sydney	2009.07.28 ~ 2009.10.25	オーストラリア作家ルイズ・バファデシと日本人作家伊藤存の2人展。ルイズは2009年1月まで東京都現代美術館において各国国旗を展示。今回の展覧会ではルイズの8年間の作品を網羅しつつ伊藤存の絵画、ドローイング、刺繍作品を展示
11	<i>Asia Pacific Triennial of Contemporary Art 6</i>	オーストラリア	ブリスベン	Queensland Gallery of Modern Art	Queensland Gallery of Modern Art	2009.12.05 ~ 2010.03.14	1993年からクイーンズランドギャラリーオブモダンアートで始まったアジア太平洋地域を対象とした国際展「アジア・パシフィック現代美術トリエンナーレ」の第6回目。今回は20カ国36作家が出品。日本からは奈良美智+graf、名和晃平、大巻伸嗣が出品
12	<i>Yayoi Kusama: The Mirrored Years</i>	ニュージーランド	ウェリントン	ウェリントン市立美術館 (City Gallery Wellington)	Wellington Museums Trust	2009.09.26 ~ 2010.02.07	日本を代表する現代美術家、草間弥生の <i>The Mirrored Years</i> と題して実施する大規模回顧展。2009年を日本年と位置づけているウェリントン市が全面改装して9月にオープンしたウェリントン市立美術館で実施
13	<i>Yoshiko Shimada - Bones in Tansu</i>	カナダ	ハミルトン	The Print Studio	The Print Studio	2009.04.23 ~ 2009.06.06	現代版画家・嶋田美子の個展。2004年から東京、ソウル、マニラ、チェンマイ等で開催された展覧会の北米初の巡回。作家による現地滞在制作、講演会、ワークショップも同時開催
14	<i>Art of the Samurai: Selections from the Tokyo National Museum</i>	米国	サンタアナ	The Bowers Museum	The Bowers Museum	2009.04.18 ~ 2009.06.14	東京国立博物館の所蔵作品から武士社会を選びサムライの歴史・文化を紹介する資料を展示。当時の武士階級の生活を垣間見ることのできる小物や着物、刀や武具を紹介

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
15	<i>Parallel Worlds: the Art of the Ainu of Hokkaido and Native Americans of the Pacific Northwest</i>	米国	ポートランド	Japanese Garden Society of Oregon	Japanese Garden Society of Oregon	2009.06.06 ~ 2009.06.28	ポートランドと札幌市の姉妹都市50周年を記念して、ネイティブ・アメリカンとアイヌ民族のアート作品の共同展覧会。お互いの民族衣装、伝統的な装飾品、ダンスや儀式を紹介
16	<i>Lords of the Samurai</i>	米国	サン・フランシスコ	Asian Art Museum	Asian Art Museum	2009.06.12 ~ 2009.09.20	肥後熊本藩主18代目、細川護熙（元内閣総理大臣）の細川家に伝わる大名家の家宝の展覧会。細川家伝来の甲冑から刀、漆器、着物、美術品を展示
17	<i>Serizawa: Master of Japanese Textile Design</i>	米国	ニューヨーク	Japan Society	Japan Society, Inc.	2009.10.02 ~ 2010.01.10	人間国宝であった芹沢銈介（染色工芸）の回顧展。東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館の協力を得、屏風や着物等100作品を展示。完全解説図録、アウトリーチプログラムも。米国での大規模展示は初めて
18	<i>Symposium on the Conservation of Japanese Arms and Armor</i>	米国	ニューヨーク	メトロポリタン美術館（The Metropolitan Museum of Art）	メトロポリタン美術館（The Metropolitan Museum of Art）	2009.10.19 ~ 2010.01.10	メトロポリタン美術館と文化庁の共催「侍の美術」展に関連し、日本の武具甲冑の保存修復に関する記念シンポジウムを開催
19	<i>5th International Biennial of Textile Art</i>	アルゼンチン	ブエノス・アイレス	Museo Nacional de Arte Decorativo de Buenos Aires	World Textile Art	2009.04.01 ~ 2009.04.25	第5回目となる「国際テキスタイルビエンナーレ」において、日本の作家・熊井恭子の作品を含む計20名の作家の作品を紹介
20	<i>5th Latin American Biennial Exhibition of Visual Arts - Ventosul</i>	ブラジル	ウェントスル	Musa	Instituto Paranaense de Arte	2009.08.04 ~ 2009.11.04	第5回ラテンアメリカ・ビエンナーレ・ヴィジュアルアート・ヴェントスルにおいて、日本人作家・原高史、田口行弘の作品を紹介
21	<i>Japan Cultural Month - Travel in Your Mind</i>	アイスランド	レイキャビク	The Nordic House	The Nordic House	2009.06.13 ~ 2009.07.13	日本の多様な現代文化、伝統文化を幅広く紹介する展覧会。日本を訪れる機会の少ないアイスランドの幅広い層へ日本体験を提供する他、アイスランド/スカンジナビアと日本の共通課題や協力の焦点をあて、両者間の友好関係や結びつきを強化
22	<i>HARBOR HOUSE</i>	アイスランド	レイキャビク	レイキャビク・アートミュージアム（Reykjavik Art Museum）	レイキャビク・アートミュージアム（Reykjavik Art Museum）	2009.09.10 ~ 2010.01.03	奈良美智+grafが美術館内にアイスランドの伝統的素材で小屋をつくり、内部に新作の絵画とドローイングを展示する。国内外のアーティストを紹介してきたレイキャビク・アートミュージアムのシリーズでは初のアジア人作家を紹介する個展。アニメや漫画の関連プログラムを実施

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
23	<i>The Dream of the White and the Stones of the Past - Itto's marbles in Roman ancient sites</i>	イタリア	ローマ	The Villa Quintili, The Mansoleum of Cecilia Metella, The National Roman Museum	伊日財団 (FONDAZIONE ITALIA GIAPPONE)	2009.04.30 ~ 2009.10.30	イタリアを拠点に活動する彫刻家・杭谷一東が、古代ローマ遺跡を会場とし、イタリア大理石の地として有名なカラーラの大理石を使って制作した彫刻作品20点を紹介する展覧会
24	<i>The Gutai Group</i>	イタリア	ヴェネチア	Palazzo delle Esposizioni	Fondazione la Biennale di Venezia	2009.06.07 ~ 2009.11.22	第53回ヴェネチア・ビエンナーレ展において、吉原治良、村上三郎、田中敦子など、具体美術協会の作家の活動を紹介。「具体」グループの一連の活動の再評価を目的とした企画。キュレーターは、ダニエル・バーンバウム
25	<i>Dall'ukiyo-e all'illustrazione contemporanea: la grande grafica giapponese</i>	イタリア	トリノ	Albertina Academy of Fine Arts of Torino	Albertina Academy of Fine Arts of Torino	2010.01.01 ~ 2010.01.31	江戸時代の浮世絵、絵巻物、本から、現代のイラストレーター(安倍吉俊、高田明美、高田美苗、寺田克也、山田章博)アーティストによるイラストへの美術的な繋がりを示す、浮世絵約50点、イラスト約150点による展覧会
26	<i>Insect World (Giant Locust)</i>	英国	ロンドン	Royal Festival Hall	Insect Art Club	2009.01.05 ~ 2009.10.01	人間と昆虫の生命科学的な関わりを、現代美術、映画、音楽、コメディなどの芸術形態や科学実演等を通じ総合的に紹介するプロジェクトで、そのシンボルとして、現代美術家・椿昇の巨大な昆虫作品を展示
27	<i>The Henry Dyer Collection: Dai Nippon, Exhibition</i>	英国	グラスゴー	The Glasgow School of Art	The Glasgow School of Art	2009.08.15 ~ 2009.10.10	明治のお雇い外国人Dr. Henry Dyerが持ち帰った国定、国芳、広重などの浮世絵作品の中から歌舞伎に焦点をあて、浮世絵に描かれるシンボルなどから、日本の演劇とグラフィックの伝統を検証
28	<i>Dogu: Clay Figures from Prehistoric Japan</i>	英国	ロンドン	The British Museum	The British Museum	2009.09.10 ~ 2009.11.22	紀元前1万年~500年に制作された縄文時代の土偶、国宝・重要文化財を含む約70点を展示し、日本の文化や美術に与えた影響を総括的に紹介、東京国立博物館へ巡回
29	<i>Japanese Sashiko Textiles</i>	英国	ヨーク	York Art Gallery	York Museums Trust	2009.10.10 ~ 2010.01.03	刺し子を施した衣装や関連作品を75~100点展示し、刺し子の、機能的、模様の意味を紹介するほか、実在する最後の制作者の生活を写した映像作品を照会し、日本の民族文化を、民俗学的・美学的観点から検証

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
30	<i>Japan for All Seasons</i>	オーストリア	ウィーン	Museum of Ethnology Vienna	Museum of Ethnology Vienna	2009.04.21 ~ 2010.03.31	日本の開国時、ウィーン万博への出品物など、様々な国際交流の機会に収集・寄贈された、ウィーン民俗博物館の所蔵品を、日本・ドナウ交流年2009の中核行事として、年間を通じ展示し、あわせて、3カ月毎に、四季折々のテーマで特別展示を開催
31	<i>CODED CULTURES - Exploring Creative Emergences</i>	オーストリア	ウィーン	Museumsquater Vienna	5uper.net	2009.05.27 ~ 2009.06.06	デジタル・メディアに関連するアートやメディア統合的なプロジェクトの分野で、新たなアートの実践や創造力を考察する日本とオーストリアの作家による展覧会。日本からは、exonemo、Shimura Bros.、宇治野宗輝などが参加
32	<i>Mina Perhonen, Japanese Fashion and Design</i>	オランダ	ティルブルク	EXPO HALLS OF THE TEXTILE MUSEUM	Stichting Mommerskwartier	2009.10.24 ~ 2010.02.28	新進気鋭の若手ファッションデザイナー皆川明（1967～）の軌跡をたどる作品展。ファッションのみならず、テキスタイル、インテリア、アクセサリ、家具までを紹介。繊維産業で栄えたティルブルク市にて開催
33	<i>Catalogue for the Samurai Exhibition in the Museum of Asian Art</i>	ギリシャ	コルフ	Corfu Museum of Asian Art	Corfu Museum of Asian Art	2009.04.01 ~ 2010.03.31	甲冑とサムライ文化を紹介する常設展示。芸術的に優れ、希少価値も高いコルフ・アジア美術館Gr. Manosコレクションの刀剣、武具、鎧、冑等をリニューアル展示し、西洋の観客に対して日本文化の重要な一側面であるサムライを紹介
34	<i>Joint Workshop on Greek Architecture &amp; Town-planning</i>	ギリシャ	アテネ	Megaron, the Athens Concert Hall	Hellenic Institute of Architecture	2009.11.23 ~ 2009.11.29	建築・都市をテーマにギリシャ国内で隈研吾による基調講演、日本・ギリシャ両国より各15名ほどの学生を募ったワークショップを実施、意見交換を通じた相互交流を図った。隈研吾と若手建築家2名の作品を展示。日本・ギリシャ国交樹立150周年記念として開催の日本週間にあわせて実施
35	<i>Second Nature - Danish Japanese Design Exhibition</i>	デンマーク	コペンハーゲン	Rundetaarn	Rundetaarn	2009.08.08 ~ 2009.09.20	デンマークと日本の近代デザインを紹介し、両国のデザインの方法や思想を紹介する展覧会。nendo、吉岡徳仁、中村竜治、ヒロミチ・コンノ他、8名の日本人アーティストと8名のデンマーク人アーティストがミニマリズムと自然の兆候を提示
36	<i>IMAGES RECALLED 3rd. Fotofestival Mannheim, Ludwigshafen, Heidelberg 2009</i>	ドイツ	マンハイム	Kunsthalle Mannheim, Reiss-Engelheim Museum	Das BildForum e. V.	2009.05.09 ~ 2010.01.11	ハイデルベルク、ルーヴヴィヒスハーフェン、マンハイムの3市より10以上の美術館が参加する写真ビエンナーレ。各国から計60名のアーティストが参加し、日本からは小沢剛がVegetable Weaponシリーズを出品

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
37	CULTEX	ノルウェー	ジェロイ	Gallery F15	Punkt OE	2009.04.04 ~ 2009.06.07	文化横断的言語としてのテキスタイルを紹介する展示。日本・ノルウェー6名の卓越したアーティストがアイデアや制作メソッドに関する交流、コラボレーションを行う。大学やギャラリーを交え、継続して取り組んできた相互交流事業の成果展
38	Soil Library	フランス	ブルーエルアリ シャン	Noirlac Abbey	Noirlac Abbey	2009.05.04 ~ 2009.09.22	シェール県のノワルラック旧シトー会修道院で、現代美術作家栗田宏一が土を使ったインスタレーションの作品を制作
39	Two Photographic Exhibitions by Naoya Hatakeyama	フランス	アルル	Les Rencontres d'Arles	Cloître Saint-Trophime	2009.07.06 ~ 2009.09.13	国際的に活躍する写真家畠山直哉の2写真展 SCALEとMAQUETTES/LIGHTを、世界有数の写真フェスティバル「アルル国際写真フェスティバル」で紹介
40	(IN)VISIBLE PROCESS	ポルトガル	リスボン	Oasrs Premises	Ordem Dos Arquitectos Secco regional Sul	2009.06.01 ~ 2009.06.30	青木淳、古市徹雄など現代日本の建築家10名の作品を紹介する現代建築展
41	Kokyo Hatanaka Nihonga Exhibition "Asian Spirit and My Mind"	エストニア	タリン	Adamson-Eric Museum	Art Museum of Estonia	2009.08.27 ~ 2009.11.01	エストニア国立美術館にて畠中光享の作品を紹介。エストニア初の日本画展覧会となる本展では、日本大使館と協力しレクチャーやワークショップもあわせて開催
42	Late Edo and Meiji Period Japanese Woodblock Printed Books and Prints	ハンガリー	ブダペスト	Barcsay Exhibition Hall at the University of Fine Arts	Hungarian Academy of Fine Arts Library	2009.09.01 ~ 2009.09.30	ハンガリー造形美術アカデミー図書館所有の江戸後期と明治時代の日本の木版画約70点の展覧会。同時に版画集以降、ジャポニズムがハンガリー美術へ与えた影響も紹介
43	Japanese Taste Japanese-Hungarian Artistic Relations in Early 20th Century	ハンガリー	ブダペスト	Gyorgy Rayh Museum	Ferenc Hopp Museum of Eastern Asiatic Arts	2009.09.10 ~ 2010.09.30	20世紀初頭のハンガリー旅行者による日本の写真や、美術館所有の浮世絵、書籍等の展覧会。ハンガリー唯一の東洋美術を専門とする美術館にて開催
44	Garden of Archipelago	ブルガリア	ソフィア	The Red House Center for Culture and Debate	The Red House Center for Culture and Debate	2009.10.12 ~ 2009.10.23	ドイツ、ブルガリアで活躍する日本人建築家組織、"Archipelago"による“庭”を題材とした4つのインスタレーションから成る展覧会。日本・ドナウ交流年とも平行して開催
45	Exhibition of the No Mask of Soe Ogura	ポーランド	クラクフ	Museum of Japanese Art and Technology MANGGHA	MANGGHA Museum of Japanese Art and Technology	2009.05.14 ~ 2009.08.30	能面作家小倉宗衛の能面展覧会。100点の能面、能装束、能面制作の映像、舞台公演の映像も同時展示する。日本・ポーランド国交樹立90周年記念事業

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
46	Japan Video Window	ボスニア・ヘルツェゴビナ	サラエボ	Duplex Gallery	DADADA	2009.07.15 ~ 2009.07.30	現地NGOが主催する日本人アーティストによる現代ビデオアートの展覧会。現代美術ユニット、山下麻衣+小林直人、奥村雄樹、小泉明郎、永岡大輔、松本力、森万里子の作品6点を展示
47	Exhibition of Foremost Japan Artist AY-0 and Group of young Artists "Rain Meets the Sun"	リトアニア	カウナス	M. K. Ciurlionis National Museum of Art	M. K. Ciurlionis National Museum of Art	2009.06.30 ~ 2009.07.30	前衛芸術家集団フルクサスに参加したアーティストの作品や日本人14人とリトアニア人5名の若手アーティストによる作品の展覧会。美濃あかりのワークショップもあわせて開催
48	Tets Ohnari Sculpture Exhibition in Bucharest	ルーマニア	ブカレスト	Gallery Atelier 35	Atelier 35 Association	2009.09.05 ~ 2009.09.25	大成哲のガラス彫刻展。チェコでガラスアートを学んだ作家が、チェコと日本文化の交流を図る。同氏によるワークショップとレクチャーも開催
49	3rd Moscow Biennale of Contemporary Art, Against Exclusion	ロシア	モスクワ	The Garage, Center for Contemporary Culture Moscow	Moscow Biennale Art Foundation	2009.09.24 ~ 2009.10.24	第3回モスクワビエンナーレ。ベルリン在住の現代美術作家、塩田千春の作品を紹介
50	The Eternal Moment: the Transience of Eternity / The Art of Noriko Yanagisawa	イスラエル	ハイファ	Haifa Museums - The Tikotin Museum of Japanese Art	Haifa Museum - The Tikotin Museum of Japanese Art	2009.11.28 ~ 2010.02.20	柳澤紀子の版画展覧会。ティコティン日本美術館は中東唯一の日本美術展示を専門とする美術館

2. 催し等事業費 / (6) 造形美術情報交流(催し)

国内外の造形美術に係わる情報の発信、相互交流を促進する。

合計額 2,977,207 円

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1	アジア次世代キュレーター会議	Sam I-Shan Michelle Ho Zanita Anuar	シンガポール美術館 キュレーター シンガポール美術館 アシスタント・キュレーター マレーシア国立美術館 (National Art Gallery Malaysia) キュレーター	シンガポール マレーシア	2009.11.04 ~ 2009.11.10	第1回(東京・大阪)、第2回(ソウル)、第3回(マニラ)、第4回(福岡、広島、大阪、京都、東京)に続く第5回目の開催。これまで開催されたことのないシンガポールとマレーシアでの共同開催とし、2009年が日本・メコン交流年であることも視野に入れて、美術館所属キュレーター及びインディペンデント・キュレーターの総合的なフォーラムとなることを目指した



## 造形美術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
2	日米学芸員交流会 議	Jay Levenson  Sarah Suzuki  Doryun Chong  Gwen Farrelly  Lisbeth Kim Brandt  加治屋 健司  建島 哲  住友 文彦  中島 理壽  長谷川 祐子	ニューヨーク近代美術館 国際事業部 長  ニューヨーク近代美術館版画・絵本部 学芸員  ニューヨーク近代美術館絵画彫刻部門 アソシエイト・キュレーター  ニューヨーク近代美術館国際事業部  Columbia University Cultural Historian  広島市立大学芸術学部 准教授  国立国際美術館 館長  ヨコハマ国際映像祭 ディレクター  アーキビスト  東京都現代美術館 事業企画課長	米国         日本	2009.04.01 ~ 2010.03.31	米国ニューヨーク近代美術館学芸員の来日調査にあたり、日本側美術専門家との会議を国際交流基金本部にて実施
3	モスクワ・シンポ ジウム派遣	南 雄介  浅野 秀剛	国立新美術館 学芸課長  大和文華館 館長	ロシア	2010.01.30 ~ 2010.02.03  2010.01.30 ~ 2010.02.05	2010年2月1日から3日まで3日間にわたって開催された「ロシアにおける日本美術」シンポジウム（主催：モスクワ日本文化センター、国立プーシキン美術館、国立東洋美術館）に講師2名を派遣

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (7) 市民青少年交流 (助成) [造形美術]

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 5,540,000 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	韓日友好写真展	韓国	特定非営利活動法人翔青会	2009.06.06 ~ 2009.06.08	2008年5月3日に実施された朝鮮通信使平和パレードに北九州の祭、黒崎祇園山笠が出場。その際の写真や、2008年7月20日に朝鮮通信使文化事業会より視察団が黒崎祇園山笠を訪問した際の写真などを釜山市にてパネル公開。一般市民の異文化交流、異文化理解を図った
2	写真の町・日韓写真文化交流事業	韓国	東川町写真の町実行委員会	2009.08.17 ~ 2009.08.21	今回は2002年に写真の町を宣言している東川町同様、韓国初の写真フェスティバルを開催している江原道寧越郡と水原市を訪ね、相互のフェスティバルの情報交換、交流を図り、写真展の開催を通じ、相互理解と今後の交流を一層深めるため、＜写真の町・日韓写真文化交流事業＞を実施
3	日本-韓国ハンカチアートプロジェクト ＜未来への贈り物＞	韓国	ROUTE. B [JOYNT]	2009.08.21 ~ 2009.09.30	韓国と日本の子どもたち約3万人が、一人1枚自由に絵を描いたハンカチを一つに繋ぎ合わせ、ソウル・アートセンターとヘイリ芸術村の会場を、一つに繋がった巨大なハンカチで覆い、世代と文化を超えたコミュニケーションと時代を担う子どもたちの可能性の大きさを目に見える形で表現し、国際交流の場とした
4	韓日「写真とアート交流」フェスタ IN ソウル	韓国	「画写！渡」プラザソサエティ	2009.12.01 ~ 2010.06.30	①島根県内陶器産地における陶器生産交流の歴史研究と現地撮影行 ②写真とアート韓日交流作品展(日本国内：浜田市内公的施設) ③韓日写真とアート交流展(韓国特別市内：在韓国大使館)を実施
5	第7回日中友好児童絵画展	中国	特定非営利活動法人社会教育団体ベルボ会	2009.07.23 ~ 2009.07.28	福岡県下及び中国における当会の教育支援等の園児・小学校児童による絵画作品をそれぞれの国において募集・選考。両国の入賞・入選作品を両国で開催する展覧会において展示。又、両国の開催期間中に入賞児童代表を相互に招へいし、表彰式への参加と児童や教育機関との交流を実施
6	ウォールアートフェスティバル イン ニランジャナ スクール	インド	ニランジャナ セワ サンガ	2010.02.01 ~ 2010.02.28	インド・ビハール州・ブダガヤにあるニランジャナ・スクールの校舎壁面を利用したアートフェスティバルの実施。世界で活躍するアーティスト浅井裕介とスリージャタ・ロイが作品を制作
7	アートルック・プロジェクト 日米共同フォーラム2009	米国	特定非営利活動法人ハート・アート・おかやま	2009.04.01 ~ 2010.03.31	NP0クリエイティブクレイとハート・アート・おかやまのアートルックの作品、及び障害のある参加者やアーティストが相互に交流を行い、プロジェクトの継続的実践を通し「他者との関係性」をテーマにフォーラムを実施
8	第6回ウラジオストク・ビエンナーレにおける国際交流	ロシア	日本・ウラジオストク協会	2009.06.29 ~ 2009.07.06	第6回ウラジオストク・ビエンナーレへ市民青少年を中心とする日本からの代表団の参加支援。各団体はビエンナーレにて展示、公演、日本文化紹介を実施。これらを通して環太平洋、アジア地域、ヨーロッパ諸国における美術文化間対話の促進、諸民族間の理解深化、及び専門分野での知識や体験の交流を目指した

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
9	日本、レバノン、パレスチナ ーワークショップと作品展ー 子どもたちは世界を描く	レバノン	特定非営利活動法人パレスチナ 子どもキャンペーン	2009.04.01 ～ 2010.03.31	日本人アーティストによるパレスチナ、レバノンの子どもたちへの 絵画指導と、レバノン及び日本での子どもの作品展
10	日本の子どもたちが海外の 子どもたちと相互理解を深 める壁画の共同制作	モロッコ	ジャパンアートマイル実行 委員会	2009.07.18 ～ 2009.07.30	国際文化交流に関心の高い教師（これまでに海外校と壁画の共同制 作交流を経験した教師や今後交流を希望している教師）とモロッコ で開催されるiEARN国際会議に参加して、世界から集まった教師た ちとの意見交換・実践発表・ワークショップを通して国際文化交流 の担い手となる教師を育成

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 舞台芸術事業費

### 1. 人物交流事業費

- (1) 内田奨学金フェローシップ（招へい）

### 2. 催し等事業費

- (1) 海外公演（主催）
- (2) 海外公演（助成）
- (3) 海外公演（PAJ北米・助成）
- (4) 海外公演（PAJ欧州・助成）
- (5) 国際舞台芸術共同制作
- (6) 国内公演（主催）
- (7) 舞台芸術情報交流（催し）
- (8) 市民青少年交流（助成）〔舞台芸術〕

舞台芸術事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 内田奨学金フェローシップ (招へい)

米国、欧州など外国において将来にわたり活躍が期待される若手音楽家を招へいし、わが国の音楽関係者との交流や共演、共同制作に従事する機会を提供する。本事業は故内田元享の寄付金による運用益などにて実施される、冠寄付特別事業。

合計額 1,124,763 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	事業内容
1	David Cowen	パーカッショニスト／パークラー音楽院	米国	甲陽音楽学院	2009.07.29 ～ 2009.09.28	布施明仁（甲陽音楽学院学院長補佐）指導の下、邦楽打楽器を学んだ他、邦楽打楽器及びターンテーブルを用いたファンク・ミュージックのための新曲を創作し、日本人ミュージシャンとも共演

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (1) 海外公演 (主催)

日本の優れた舞台芸術、芸能を海外に紹介するため、公演団の派遣を行い、公演を実施するとともにレクチャー、デモンストレーション等を行う。

合計額 295,420,453 円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	津軽三味線韓国公演	韓国	春川 ソウル 済州	春川文化芸術会館 麻浦アーツセンター 済州ハルラアートホール	2009.05.22 2009.05.24 2009.05.25	在韓国大使館主催「春川ジャパン・ウィーク」の開催にあわせ、春川、ソウル、済州の3都市に津軽三味線奏者の上妻宏光を派遣。韓国人ミュージシャンとの共演を通じ、日韓両国の地域レベルでの文化交流を促進
2	沢 知恵韓国公演	韓国	ソウル ソウル 釜山	KT&Gサンサンマダンライブホール 延世大学百周年記念館コンサートホール 釜山市民会館小劇場	2010.02.02 2010.02.03 2010.02.05	国際交流基金ソウル日本文化センターの新事務所オープニング式典の一環として、日韓両国にルーツを持つシンガーソングライターの沢知恵によるミニコンサートを実施。併せて、ソウル、釜山において巡回公演を開催。共演は山口とも（パーカッション）、中村哲（サクソ）。帰国後、駐日韓国大使館韓国文化院と共催で報告ライブ&トークショー（2010.03.05）も実施
3	渡辺 香津美トリオ中国公演	中国	上海 上海 成都 成都 重慶 北京 北京	上海音楽院賀祿汀ホール House of Blues and Jazz アバ師範専科学校学生交流中心 嬌子音楽庁ホール 巴渝劇場 中央音楽学院 大ホール 星光現場	2009.11.24 2009.11.25 2009.11.27 2009.11.28 2009.11.30 2009.12.02 2009.12.03	ジャズギタリストの渡辺香津美、ピアノの谷川公子、サクソの本田雅人からなる「渡辺香津美トリオ」に中国琵琶のジャン・ティンをゲストとして迎えたグループを、上海・成都・重慶・北京へ派遣。成都では四川大地震の被害者を対象とした復興支援コンサートを、地震の被災地から成都市近郊に仮移転したアバ師範専科学校で開催。上海、北京では音楽大学の学生を対象としたジャズのワークショップも実施
4	シンガポール・ジャパン・クリエイティブ・センター (JCC) 能楽 (観世流) 公演	シンガポール	シンガポール	シンガポール国立大学 南洋芸術大学 国立図書館内ドラマセンター 日本人会	2010.01.07 2010.01.07 2010.01.08 ~ 2010.01.09 2010.01.10	シンガポール・ジャパン・クリエイティブ・センター (JCC) の開設を記念して、観世流能の公演とレクデモを実施。出演は寺井栄ほか。演目は『胡蝶』『石橋』
5	三味線 (梅征会) シンガポール・ジャパン・クリエイティブ・センター (JCC) 公演	シンガポール	シンガポール	ジャパン・クリエイティブ・センター 多目的ホール ジュビリー・ホール	2010.03.12 2010.03.13	シンガポールのジャパン・クリエイティブ・センター (JCC) 事業の一環として、梅征会 (ばいしょうかい) による三味線の公演及びレクチャー・デモンストレーションを実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
6	日本の民謡 南・東南アジア公演	ベトナム バングラデシュ インド インド マレーシア	カントー ダッカ クルクーシュトラ カルナル クアラルンプール	野外特設舞台 Bangladesh Shilpakala Academy クルクーシュトラ大学講堂 National Dairy Research Institute クアラルンプール市役所ホール	2009.12.02 ~ 2009.12.04 2009.12.08 ~ 2009.12.09 2009.12.12 2009.12.13 2009.12.16 ~ 2009.12.17	「日本の民謡」と題したコンサートを東南・南アジア4カ国で開催。民謡界の名手達が日本各地で今も歌い継がれている民謡を各地で紹介すると共に、バングラデシュ・インドでは現地の音楽家と共演。ベトナムでは、ホーチミン近郊のカントーで開催される日本・メコン交流年のクロージング・イベントに、他のメコン川流域の国々からの文化使節団と共に参加
7	沖縄民謡 南アジア公演	インド	ムンバイ チェンナイ チェンナイ ニューデリー デリー コルカタ	Chavan Centre Rani Seethai Hall ABK-AOTS同窓会タミル・ナドゥ支部 ニューデリー日本文化センター Shri Ram Centre ICCRコルカタ支部	2009.11.15 2009.11.18 ~ 2009.11.19 2009.11.20 2009.11.23 2009.11.24 2009.11.26	大島保克（歌、三線）、鳩間可奈子（歌、三線）、仲宗根“サンデー”哲（島太鼓、囃子）による、八重山を中心とした沖縄の民謡公演を開催。現地ミュージシャンとの交流プログラムも実施
8	クラシック音楽 大洋州・東南アジア公演	オーストラリア ニュージーランド フィリピン	シドニー ウェリントン マニラ	国立シドニー音楽院 ヴァーブルッゲンホール (Verbrugghen Hall) ウェリントン・タウンホール アイロットシアター フィリピン文化センター 小劇場	2009.07.07 2009.07.10 ~ 2009.07.11 2009.07.14 ~ 2009.07.15	日本における西洋音楽の受容と発信、また日本の多様な音楽文化を、日本人作曲家によるクラシック音楽、邦楽器を用いた作品、映画音楽など、幅広い作品の演奏を通じて紹介。出演は青柳晋（ピアノ）、萩原貴子（フルート）、石川綾子（ヴァイオリン）、片岡リサ（箏）。マスタークラスやトークイベントも実施
9	歌舞伎レクチャー・デモンストレーション 米国中西部公演	米国	ロサンゼルス サンフランシスコ シアトル ポートランド デンバー	アラタニ日米劇場 マッケナ劇場 ベナロヤホール内 イルスライ・ボール・ノードストロム・リサイタルホール ドロリアス・ウイングスタッド劇場 ジュン・スワナー・ゲーツ・コンサート・ホール	2009.10.15 2009.10.17 2009.10.19 2009.10.21 2009.10.24	歌舞伎俳優によるレクチャー・デモンストレーションを米国中西部5都市で実施。中村京蔵と中村又之助による解説（歌舞伎の歴史、長唄・三味線・鳴物などの歌舞伎音楽、衣裳、化粧など）と『鶯娘』『石橋』の上演

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
10	邦楽米国公演	米国	ニューヨーク ナッシュビル ナッシュビル アトランタ	アジア・ソサエティ ベルモント大学 ナッシュビル・シンフォニー ジョージア大学パフォーミング アートセンター ラムジー リサイタルホール	2010.01.09 2010.01.12 2010.01.13 2010.01.15	ニューヨークで開催される国際舞台芸術見本市 (Association for Performing Arts Presenters (APAP)) 年次総会に合わせ、琴の「Tsugu Kaji-KOTO」、津軽三味線の「小山×新田」、和太鼓と鳴物の「秀&美穂」、以上3組のデュオによる邦楽ショーケースを実施。またニューヨーク公演後にはナッシュビル及びアトランタでも公演及びレクチャー・デモンストレーションを開催
11	茂山狂言米国公演	米国	シカゴ ワシントンDC ワシントンDC	シカゴ大学国際文化会館ホール スタジオ・シアター 国立建築博物館 (全米桜祭り 開会式)	2010.03.23 ~ 2010.03.24 2010.03.26 2010.03.27	「米国主要都市向け文化発信プロジェクト」の一環として、シカゴ及びワシントンDCにおいて狂言公演とワークショップを実施。演目は『三番三』、『柿山伏』、『菌』。出演は茂山あきら他。『菌』には現地児童・学生がワークショップの成果を活かしてキノコ役で出演。ワシントンDC「全米桜祭り」開会式及びファミリー・デイにも『三番三』とワークショップで特別出演
12	沖縄音楽中米公演	メキシコ ジャマイカ キューバ キューバ	メキシコ キングストン ハバナ シエンフェゴス	ホセ・マルティ劇場 コートレー・オーディトリウム ハバナ・アンフィ・テアトロ トマス・テリー劇場	2009.12.03 ~ 2009.12.04 2009.12.07 2009.12.11 2009.12.13	新良幸人 (民謡、三線)、下地勇 (唄、ギター)、サンデー (島太鼓) による公演を通じて、沖縄の音楽の現在を紹介。日本・メキシコ交流400周年、日本・ジャマイカ外交関係樹立45周年、日本・キューバ外交関係樹立80周年記念事業
13	アニメ・特撮ソング 中米公演	グアテマラ パナマ コスタリカ エルサルバドル	グアテマラ パナマ サンホセ サンサルバドル	ミラフローレス美術館 (外 庭) パナマ大学音楽堂 ユージン・オニール劇場 コスタリカ国立体育館 FEPADE公演会場 国立ダビッドJ. グスマン考 古学博物館	2009.10.30 2009.11.01 2009.11.03 ~ 2009.11.04 2009.11.06 ~ 2009.11.07	串田アキラ (アニメ特撮ソング・シンガー) による中米4カ国巡回コンサート。『宇宙刑事ギャバン』、『キン肉マン Go Fight!』他、中米で人気の日本アニメや特撮番組の主題歌のコンサートを、トークや観客参加コーナーをまじえながら実施



舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
14	ジャズ（遠藤 律子、他） 南米公演	ボリビア  ペルー  ベネズエラ パラグアイ	ラパス  リマ カヤオ カラカス アスンシオン	ラパス市営劇場 日秘文化会館 カヤオ市立劇場 コープバンカ文化センター パラグアイ日本人造りセンター	2009.10.30 ～ 2009.10.31  2009.11.03 2009.11.05 2009.11.08 2009.11.12	ペルー移住110周年及びボリビア移住110周年の記念事業として、Jazzグループ「遠藤律子 with Funky Ritsuco Version!」をペルー、ボリビア、パラグアイ、ベネズエラの4カ国に派遣
15	現代舞踊西欧公演	英国  オランダ  ドイツ  フランス	ニューカースル・アボン・タイン  アムステルダム エイントホーヴェン デュッセルドルフ フランクフルト・アム・マイン パリ	ダンス・シティ Stadsschouwburg Amsterdam Parktheater Eindhoven Duesseldorf Tanzhaus NRW Kuenstlerhaus Mousonturm パリ日本文化会館	2009.09.19 ～ 2009.09.21  2009.09.25 ～ 2009.09.26 2009.09.29 2009.10.03 ～ 2009.10.04 2009.10.09 ～ 2009.10.10 2009.10.15 ～ 2009.10.17	各分野で活躍するアーティスト達が集結し、最先端のテクノロジーを駆使して制作されたミクスト・メディア・パフォーマンス作品『true/本当のこと』のオランダ、ドイツ、フランス巡回公演。公演に先立ち、英国ではダンスとテクノロジーの関係に興味を持つ表現者や一般市民を対象に、LED照明を利用したダンス・ワークショップを実施
16	能楽北欧公演	フィンランド  スウェーデン	ヘルシンキ  ストックホルム	アレクサンテル劇場（旧国立オペラ座） スードラ劇場	2009.05.13 ～ 2009.05.15  2009.05.17 ～ 2009.05.18	フィンランド、スウェーデンにて能公演を実施。演目は、能『羽衣』、『天鼓』。音楽学生等を対象としたレクチャー・ワークショップも開催。日フィンランド修好90周年事業の一環であるフィンランド公演は、毎春アジアの特定の国/地域の舞台芸術を紹介している大型フェスティバル“アジア・イン・ヘルシンキ・フェスティバル”の今年のテーマが“日本特集”であることから、同フェスティバルの目玉公演として上演
17	日本舞踊（西川流）レクチャー・デモンストレーション英国・ロシア公演	ロシア 英国 英国	モスクワ ケンブリッジ ロンドン	ストラスノイ劇場 嘉悦ケンブリッジ教育文化センター キングスプレイス	2010.03.02 2010.03.04 2010.03.06	西川扇藏（西川流十世宗家）、西川箕乃助、尾上紫によるレクチャー・デモンストレーションを、2カ国3都市にて開催。演目は、素踊り舞踊より『七福神』、古典舞踊より『浦島』『手習子』

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
18	西陽子(箏)欧州公演	ハンガリー	ブダペスト	メルリン国際劇場	2009.10.26 ~ 2009.10.30	多様な国際文化交流の担い手と連携して企画する事業の一環として、内外の民間企業を含む他機関と協力した上で、現在第一線で活躍中の若手箏奏者の西陽子をハンガリー及びドイツの計5都市に巡回派遣し、『鹿(のうた...)』(高橋悠治)他優れた日本の現代作品を多く紹介。復元古楽器の箏篋(くご)演奏も実施
		ドイツ	ベルリン	ベルリン日独センター・ホール	2009.10.30 ~ 2009.11.02	
		ドイツ	ケルン	ケルン日本文化会館	2009.11.02 ~ 2009.11.04	
		ドイツ	フランクフルト・アム・マイン	フランクフルト国際劇場	2009.11.04 ~ 2009.11.06	
		ドイツ	ミュンヘン	ミュンヘン・フィルハーモニー・ガスタイク ブラック・ボックス	2009.11.06 ~ 2009.11.09	
19	新内節浄瑠璃と八王子車人形欧州公演	スロバキア	ブラチスラバ	ブラチスラバ市DPOH劇場	2009.11.20	鶴賀若狭掾(新内節浄瑠璃鶴賀流11代目家元)、西川古柳(八王子車人形五代目家元)を中心とする新内節浄瑠璃と八王子車人形の公演及びワークショップを、5カ国5都市にて開催。演目は、『二人三番叟』『蘭蝶』『東海道中膝栗毛』。日本・ドナウ交流年、日本・ギリシャ修好110周年記念事業
		ハンガリー	ブダペスト	セントラル劇場	2009.11.22 ~ 2009.11.23	
		ギリシャ	アテネ	スカルコタスホール(アテネコンサートホール内)	2009.11.27	
		ルーマニア	ブカレスト	オデオン劇場	2009.11.30	
		ブルガリア	ソフィア	ブルガリア国立劇場イヴァン・ヴァゾフ	2009.12.02	
20	ジャズインジャパン2010 西欧・セネガル巡回公演	デンマーク	コペンハーゲン	コペンハーゲンジャズハウス	2010.02.23	Jazz in Japanはパリ日本文化会館が主催する日本のジャズを紹介するシリーズ事業。9回目となる今回のプロデューサーは、海老根久夫(ビデオアーツ・ミュージック株式会社)。「女性のジャズミュージシャン」をテーマに、大西順子トリオ、寺井尚子クアルテット、伊藤君子ウィズ高瀬アキユニットの3組が出演。大西順子トリオはコペンハーゲン、伊藤君子ウィズ高瀬アキユニットは、ローマ、セネガルへも巡回
		フランス	パリ	パリ日本文化会館	2010.02.25 ~ 2010.02.27	
		イタリア	ローマ	ローマ日本文化会館	2010.03.01	
		セネガル	ダカール	ダニエル・ソラノ国立劇場	2010.03.03	
		セネガル	サン・ルイ	ケ・デ・ザール	2010.03.05	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
21	邦楽 中央アジア・コーカサス公演	トルクメニスタン	アシガバット	国立マフトゥムクリ名称音楽・ドラマ劇場	2009. 11. 17	奄美シマ唄の前山真吾、薩摩琵琶の塩高和之、ボーカル+ギターの国広和毅、即興パーカッションのAki-ra Sunriseという、邦楽と洋楽の組み合わせ。ソロ奏者としての4人の個性を基軸に、様式を異にする邦楽と洋楽が交わることで新たなハーモニクスとダイナミクスを生み出そうとするもの。国広による本ツアーのためのオリジナル曲に加え、伝統シマ唄ソロ、伝統琵琶語りソロ、Sunriseのオリジナル楽器による即興ソロを織り混ぜた構成。ウズベキスタンでは、同地の実力派伝統歌手、ユルドウス・トゥルディエワをゲストに迎えて共演。また、トゥルディエワを招へいして東京で凱旋公演も実施
		ウズベキスタン	タシケント	国立音楽院・大ホール	2009. 11. 20	
			タシケント	イルホム劇場	2009. 11. 21	
		アゼルバイジャン	バクー	国立音楽院ガラ・ガラエフホール	2009. 11. 23	
			バクー	国立ロシア演劇劇場	2009. 11. 24	
		グルジア	トビリシ	ルスタヴェリ劇場・大ホール	2009. 11. 27	
22	邦楽 中央アジア公演	キルギス	ビシュケク	国立民族オペラ・バレエ劇場	2009. 06. 17	津軽三味線奏者の澤田勝秋と民謡鳴物（太鼓）・唄の木津茂理のユニット「つるとかめ」に、津軽三味線奏者の澤田勝仁と澤田成十郎が加わった、民謡コンサート。「日本・中央アジア交流年2009」事業の一環として実施
			ビシュケク	国立民族音楽院	2009. 06. 18	
		タジキスタン	ドゥシャンベ	国立オペラ・バレエ劇場	2009. 06. 20 ~ 2009. 06. 21	
		カザフスタン	アルマティ	音楽院	2009. 06. 23	
			アルマティ	カザフ・コンサート・ホール	2009. 06. 24	
			アスタナ	大統領文化センター	2009. 06. 25	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
23	邦楽（津軽三味線、笛、太鼓、琴）東欧公演	スロベニア	リュブリャナ	ツァンカレウ・ドム・コンベル・ホール	2010.02.26	津軽三味線・笛・太鼓・琴による民俗芸能の要素をベースとした舞台を展開する邦楽グループ「和力」を派遣し、邦楽公演やレクチャー・デモンストレーションを実施。スロベニアとセルビア及びモンテネグロの3カ国を巡回
		スロベニア	シュコフィヤ・ロカ	シュコフィヤ・ロカ劇場（ワークショップ）	2010.02.27	
		セルビア	ベオグラード	Dr Vojislav Vuckovic音楽学校(LD)	2010.03.01	
		セルビア	ベオグラード	ベオグラード語学専門高等学校(LD)	2010.03.01	
		セルビア	ベオグラード	ベオグラード・フィル・ハーモニー	2010.03.02	
		セルビア	ベオグラード	ゼムン障害者施設	2010.03.03	
		セルビア	ニーシュ	ニーシュ国立劇場	2010.03.05	
		セルビア	ウジツェ	ウジツェ国立劇場	2010.03.07	
		モンテネグロ	ポドゴリツァ	UDG大学（レクチャー・デモンストレーション）	2010.03.09	
		モンテネグロ	ポドゴリツァ	モンテネグロ国立劇場	2010.03.10	
24	文楽ロシア公演	ロシア	モスクワ	プーシキン劇場	2009.06.30 ～ 2009.07.08	ロシアにおける初めての本格的文楽公演として、第8回チェーホフ国際演劇祭において『曾根崎心中』全3幕を上演。出演は、豊竹咲大夫（大夫）、鶴澤清介（三味線）、吉田和生（人形）、桐竹勘十郎（同）他
25	邦楽（和太鼓・尺八）中東・北アフリカ公演	トルコ	アンカラ	土日基金文化センター	2010.01.04 ～ 2010.01.05	和太鼓の老太郎と尺八の中村仁樹による邦楽公演。アンカラは「日本・トルコ交流年」プレオープニング記念式典での演奏
		トルコ	イスタンブール	ジェマル・レシト・レイコンサートホール	2010.01.08	
		トルコ	ヤロヴァ	ヤロヴァ市民教育センター	2010.01.09	
		アルジェリア	ブリダ	ブリダ大学	2010.01.12	
		アルジェリア	アルジェ	サルドゥシネマ「コスモス」	2010.01.13	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
26	邦楽 中東・アフリカ公演	カタール	ドーハ	カタール国立劇場	2010.02.14	アフリカ3カ国、中東3カ国で金子竜太郎（和太鼓、チャップ）を中心に狩野泰一（笛）、嵯峨治彦（馬頭琴）の3名による邦楽公演を実施
		カタール	ドーハ	スーク・ワーキフ	2010.02.15	
		モザンビーク	マプト	フランス・モザンビーク文化センター	2010.02.17 ~ 2010.02.18	
		アンゴラ	ルアンダ	シネ・ナシオナル劇場	2010.02.20	
		アンゴラ	ルアンダ	ベラス・ショッピングセンター	2010.02.21	
		チュニジア	チュニス	チュニス市立劇場	2010.02.24	
		チュニジア	チュニス	チュニス市立劇場劇場前広場	2010.02.25	
		イラン	テヘラン	ファーラービ・ホール	2010.03.01 ~ 2010.03.03	
		オマーン	マスカット	アメリカン・ブリティッシュ・アカデミー・オーディトリウム	2010.03.07 ~ 2010.03.08	

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (2) 海外公演 (助成)

日本の優れた舞台芸術や芸能の海外公演 (レクチャー・デモンストレーション、国際共同制作を含む) を行う日本の公演団体に対し、経費の一部を助成する。

合計額 145,157,826 円

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
1	竹本 駒之助ほか (女流義太夫、車 人形、囃子) ソウ ル公演	韓国	ソウル	国立国楽院牛眠堂	財団法人新日鐵文 化財団	2009.06.27 ~ 2009.06.28	新日本製鐵と浦項総合製鐵(韓国)が、メセ ナ活動として日韓両国の伝統音楽を相互に紹 介。日本より竹本駒之助ほか女流義太夫、西 川古柳座(八王子車人形)、望月太左衛社中 (囃子)、韓国より黄秉冀(ファン・ビョン ギ:伽耶琴)ほか
2	マイムパフォー マンス『素浪人ワ ルツ』韓国公演	韓国	春川	ポムネ劇場	いいむろ なおき	2009.09.06 ~ 2009.09.08	春川国際演劇祭の招へいにより、マイム俳優 のいいむろなおき、演出家のウォーリー木 下、音楽のザッハトルテによるパフォーマン ス『素浪人ワルツ』を上演
3	友川 カズキ韓国 公演	韓国	ソウル	LIG Art Hall	友川 カズキ	2009.09.23 ~ 2009.09.24	ソウルのLIG Art Hallの招へいにより、同 ホールが開催するコンサートプログラム <i>CooooI-N-Hot</i> に出演
4	日韓アトリレー ソウル公演	韓国	ソウル	シアターゼロ	die prazte	2009.11.14 ~ 2009.11.22	東京のdie prazteとソウルのシアターゼロに よるパフォーマンス・フェスティバル「日韓 アトリレー」の第3回。パフォーマンス、演 劇、ダンス、映像、音楽等
5	アンサンブル of トウキョウ (クラ シック音楽) 韓国 公演	韓国	ソウル	世宗文化会館チェ ンバーホール	アンサンブル of トウキョウ	2009.12.11	フルート奏者の金昌国を中心とするアンサン ブルofトウキョウが、バッハ、モーツァルト を演奏
6	アジア・フルート 連盟 韓国公演	韓国	ソウル	ソウル大学校音楽 大学 オーケスト ラ・ルーム  ソウル大学校音楽 大学 音楽ホール  ソウル大学校音楽 大学 リハーサ ル・ルームA (19日 のみ2回公演)	アジア・フルート 連盟 日本支部	2009.12.16  2009.12.17 ~ 2009.12.20  2009.12.18 ~ 2009.12.19	第2回アジア・フルート・コンGRESS及び第1 回アジア・フルート連盟コンクール開催に合 わせ、日中韓合同で、フルート・オーケスト ラ、ソロリサイタル、アンサンブル及び新奏 法についてのレクチャー等を実施。出演は金 昌国ほか
7	SPAC『ロビンソン とクルーソー』韓 国公演	韓国	釜山	カマゴル劇場	財団法人静岡県舞 台芸術センター	2010.02.13 ~ 2010.02.15	イ・ユンテク(演劇団コリペ主宰)が芸術監 督を務めるカマゴル国際演劇祭2010にて、日 韓共同制作による『ロビンソンとクルー ソー』を上演。イタリア製の戯曲を日本人と 朝鮮人の物語として翻案、イ・ユンテク演 出、日韓俳優が出演

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
8	池の下HANJO上海公演	中国	上海	上海戯劇学院	池の下	2009.06.10 ~ 2009.06.11	上海戯劇学院主催「第5回上海国際小劇場演劇祭」（「アジア太平洋地域演劇学校博覧会」を併催）に参加、三島由紀夫の戯曲『班女』から創作したHANJOを上演。ワークショップも実施
9	アジアユースオーケストラ アジア公演（第19回）	中国	上海	東方芸術中心	アジアユースオーケストラ日本事務局	2009.08.08	アジア各国からオーディションで選ばれた若い演奏家により編成。香港での合同合宿を経て各地を巡演する一夏限りのオーケストラ。1987年設立、今回は19期目
		中国	上海	上海音楽庁		2009.08.09	
		中国	北京	国家大劇院		2009.08.10	
		中国	天津	天津大劇院		2009.08.11	
		中国	香港	香港文化中心		2009.08.13 ~ 2009.08.14	
		台湾	台北	台北国家音楽庁		2009.08.17 ~ 2009.08.18	
		韓国	光州	光州アートセンター		2009.08.20 ~ 2009.08.21	
		韓国	ソウル	ソウルアートセンター		2009.08.23	
10	人形劇団ひとみ座 中国公演	中国	上海	上海人形劇場	有限会社人形劇団ひとみ座	2009.11.08	ひとみ座の人形劇と、俳優の手黛琴（中国国家話劇院）による朗読。作品は、『かわいそうなぞう』『やまなし』『のぼら』。第1回上海国際人形劇フェスティバル参加
			長沙	中山音楽ホール紅色劇院		2009.11.11	
			東莞	東莞市莞城地区文化広場文化週末劇場		2009.11.13 ~ 2009.11.14	
11	アンサンブル・ノマド 中国公演	中国	北京	中央音楽学院	アンサンブル・ノマド	2009.11.12	ギタリスト佐藤紀雄の率いるアンサンブル・ノマドが、中国の主要な音楽教育機関3校で公演及びワークショップを実施
			北京	首都師範大学		2009.11.13	
			成都	四川音楽学院		2009.11.14 ~ 2009.11.15	
12	川口 隆夫プロジェクトTri_K 香港公演	中国	香港	葵青劇院 (Kwai Tsing Theatre) 内 Black Box Theatre	川口 隆夫	2010.03.13 ~ 2010.03.14	川口隆夫、香港のディック・ウォン（パフォーマー）、今泉浩一（映画監督、俳優）によるパフォーマンス。香港芸術フェスティバル参加

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
13	五嶋 みどり他 (クラシック音楽) モンゴル公演	モンゴル	ウランバートル	モンゲンニ統合学校 国立孤児院 ゴロムト統合学校 バガノール区カルチャーセンター (NGO太陽の子) 第116番学校 第25特別学校 在モンゴル大使公邸 第116番学校 第84番学校 第97番学校 在モンゴル米国大使公邸 国立音楽舞踊学校 国立母子医療センター バヤンゴル区教育センター 第10治療幼稚園 第23番学校 国立交響楽団	特定非営利活動法人ミュージック・シェアリング	2009. 12. 20 2009. 12. 20 2009. 12. 21 2009. 12. 21 2009. 12. 22 2009. 12. 22 2009. 12. 22 2009. 12. 23 2009. 12. 23 2009. 12. 23 2009. 12. 23 2009. 12. 23 2009. 12. 24 2009. 12. 24 2009. 12. 25 2009. 12. 25 2009. 12. 25 2009. 12. 26	五嶋みどりとオーデションで選ばれた若手演奏家3名によるカルテットが、ウランバートルの学校、病院、児童施設等にてレクチャーコンサートを実施
14	山本 東次郎家 (狂言) インドネシア公演	インドネシア	ウブド サヌール	国立ウブド第一高校講堂 バリ日本語補習授業校	財団法人日本伝統文化振興財団	2009. 09. 02 2009. 09. 03	国立ウブド第一高等学校及びバリ日本語補習授業校において、狂言の公演とワークショップを実施。演目は『附子』、『呼声』、『蝸牛』



舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
15	舞踏舎天鷲『ノクターン』インドネシア公演	インドネシア	ジョクジャカルタ	Taman Budaya Hall Tenbi Rumah Budaya Ullen Sentalu	舞踏舎天鷲	2009.10.07 2009.10.08 2009.10.10	ジョグジャ・アート・フェスティバル(JAF)、アジア・トライ・ジョグジャに招待参加し、舞踏社天鷲の代表作『ノクターン』改訂版(作・振付:鳥居えびす)を公演。JAFではワークショップも実施
16	GYPSY QUEEN 東南アジア公演	ベトナム カンボジア	ダナン シエムリアープ	ホイアン市特設会場 カンボジア文化村レストラン	ONE ASIA	2009.08.14 ~ 2009.08.15 2009.08.16	GYPSY QUEENによるコンサート。ベトナムのアーティストMy Linhとの共同コンサートも実施。日本・メコン交流年事業としてホイアン及びシエムリアープで開催される「ジャパン・フェスティバル2009」に参加
17	和太鼓 高富青雲組 東南アジア公演	ベトナム カンボジア	ホイアン シエムリアープ	ホイアン市ソンホアイ広場特設会場 アンコールワット遺跡桜の記念植樹前	和太鼓 高富青雲組	2009.08.14 ~ 2009.08.15 2009.08.17	岐阜県山形市の太鼓グループによる和太鼓公演。日本・メコン交流年事業としてホイアン及びシエムリアープで開催される「ジャパン・フェスティバル2009」に参加
18	民族舞踊聚団 NIPPON タイ公演	タイ	チェンマイ	ホリディ・イン・ホテル バヤップ大学 世界園芸博2006会場	特定非営利活動法人日本・アジア芸術協会	2009.12.17 2009.12.18 2009.12.19	日メコン交流年2009クロージング・イベントとして、民族舞踊聚団NIPPONによる踊り、歌、民族芸能公演及びワークショップを実施。チェンマイ王立舞踊団によるタイ舞踊との共演も企画
19	少年ナイフ(ロック音楽) フィリピン公演	フィリピン	マニラ	SMモール・オブ・アジア	少年ナイフ	2010.02.27	マニラ日本文化センター等が主催する日本語フィエスタにて、日本のキュートな元祖ガールズ・バンドの少年ナイフによる公演を実施
20	アンサンブル・レソナンツ(室内楽) ベトナム公演	ベトナム	フエ ダナン ハノイ ハノイ	音楽アカデミー チュン・ヴォン劇場 オペラハウス ホテル・インターコンチネンタル	河村 典子	2009.09.05 2009.09.07 2009.09.09 2009.09.10	弦楽アンサンブル「アンサンブル・レソナンツ」による公演、ワークショップ、マスタークラス。フエ音楽アカデミーの学生とともに、日越両国の作曲家への委嘱作品等を演奏
21	日本バレエ協会 『眠れる森の美女』他マレーシア公演	マレーシア	プトラジャヤ	プトラジャヤ・オーディトリウム	社団法人日本バレエ協会	2009.12.06	マレーシア舞踊協会創立20周年記念プトラジャヤ芸術祭に招へい参加。マレーシアにおける日本のクラシック・バレエ界に対する認識を新たにするを期待して、舞踊手2名による『眠れる森の美女』の「青い鳥のパ・ド・ドゥ」と創作作品を上演

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
22	ニブロール× ショップフロント オーストラリア公演	オーストラリア	シドニー	ショップフロント シアター	ニブロール	2009.08.13 ~ 2009.08.16	ショップフロント・シアター・カンパニーとの共同企画による、25歳以下の若手を対象とした日豪次世代アーティスト育成ワークショップ(09.04~)の成果公演を、横浜及びシドニーにおいて実施
23	だるま森(人形 劇) ニュージーラ ンド公演	ニュージーランド	ウェリントン  ロワー・ハット ロワー・ハット	ウェリントン市 タウンホール  シュタイナー学校  チャイナチャーチ	総合工作芸術家だ るま森	2009.07.11  2009.07.15  2009.07.20	身近な材料による手作りの人形や楽器を使った人形劇を演じる「だるま森」が、アジア・ニュージーランド基金(Asia New Zealand Foundation)の招へいを受け、「フェスティバル・オブ・ジャパン」に参加。演目は『カリカリ砂漠の夜は更けて』。公演に加えワークショップも実施
24	林 英哲(和太 鼓) 『飛天遊』 カナダ公演	カナダ	モントリオール	Salle Wilfrid- Pelletier de la Place des Arts	有限会社遥	2010.02.28  2010.03.02	林英哲が自身のために書き下ろされた和太鼓協奏曲『飛天遊』(松下功作曲)、をモントリオールの現代音楽祭MusiMarch 2010(主催:マギル大学)にて演奏(北米初演)。モントリオール交響楽団との共演(指揮:ケント・ナガノ)。ワークショップも実施
25	『トレイン』(児 童演劇) カナダ公 演	カナダ	モントリオール  ラバール(ケベッ ク州)	Outremont Theater  Maison des arts de Laval	国際児童青少年演 劇フェスティバル 大阪実行委員会	2010.03.07 ~ 2010.03.09  2010.03.12	2009年に国際児童青少年演劇フェスティバル大阪で上演された日本・カナダ共同制作作品「トレイン」をカナダの2都市で上演
26	藤間 章吾「おど り」カナダ公演	カナダ	バンクーバー	UBC フレドリック ・ウッド劇場	藤間章吾	2010.04.10 ~ 2010.04.11	カナダ・バンクーバー州にて歌舞伎舞踊の公演(2回)とワークショップ(4回)を実施。参加メンバーは、藤間章吾、泉徳保、藤間紋誉など
27	水谷 上総(ファ ゴット)他 米国 公演	米国	ボストン  ボストン  ボストン  チェスナットヒル	ジョーダンホール  昭和女子大ボスト ン校ホール  リディーマー教会  在ボストン総領事 公邸	水谷上総	2009.04.24  2009.04.25  2009.04.26  2009.04.27	ボストン交響楽団準首席オーボエ奏者である若尾圭介の呼びかけにより、日米両国の演奏家が共演。日本から水谷上総(NHK交響楽団首席ファゴット奏者)、豊嶋泰嗣(バイオリン/新日本フィル・コンサートマスター)が参加

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
28	湘南エールアンサンブル（クラシック音楽）米国公演	米国	フェアヘーヴン ボストン ニューヨーク	ウンタリアン教会 昭和女子大学レインボーホール シェラトン・ニューヨーク・ホテル・アンド・タワーズ ボールルーム	湘南エールアンサンブル	2009.05.07 2009.05.08 2009.05.10	「ホイットフィールド・万次郎友好記念館」の開設を記念し、中島良能（指揮）を団長とする「湘南エールアンサンブル」が米国東海岸を巡回公演。出演は、清水良一（バリトン）、新井力夫（バイオリン）、堀江冬子（ビオラ）ほか
29	太鼓衆 仙・川崎太鼓仲間 響 『太鼓ヒストリー～音楽と障害の未来へ～』米国公演	米国	ロチェスター イサカ イサカ イサカ	ロチェスター工科大学 Mary Cariola Children's Center Rochester School for the Deaf auditorium Rochester School of the Arts Ensemble	太鼓衆 仙、川崎太鼓仲間 響	2009.09.19 ～ 2009.09.20 2009.09.21 2009.09.21 2009.09.21	「太鼓衆 仙」と「川崎太鼓仲間 響」の2つの和太鼓グループが、合同でニューヨーク州北部2都市の大学及び障害者教育関連機関において和太鼓の演奏及びワークショップを開催
30	サウンド・ギア米国公演	米国	パロ・アルト バークレー	CAMPBELL リサイタルホール カリフォルニア大学バークレー校 Zellerbach Hall	サウンド・ギア	2009.10.09 2009.10.12	現代音楽のコンサート・レクチャーを米国（サンフランシスコ）の2会場で実施。メンバーは、原田敬子（作曲）、鈴木俊哉（リコーダー）、シュテファン・フッソング（アコーディオン）、稲垣聡（ピアノ）、加藤訓子（打楽器）の5名

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
31	志多ら米国公演	米国	セント・ポール	The Ordway Theater (公演4回)	有限会社志多ら	2010.02.24 ~ 2010.02.25	和太鼓グループ「志多ら」の米国公演。中西部の4州を巡回、12公演を実施。上演作品は、第1回東京国際和太鼓コンテスト最優秀賞受賞曲『煮粥』を含む『峻嶺の郷』
			スペンサー (アイオワ州)	Lucile Tack Center		2010.02.27	
			オークレア (ウィスコンシン州)	Zorn Arena, University of Wisconsin		2010.03.01	
			スペンサー (アイオワ州)	Lucile Tack Center		2010.03.02	
			アップルトン	Fox Cities Performing Arts Center		2010.03.05	
			ローレンス	Lied Center		2010.03.10 ~ 2010.03.11	
			エルジン (イリノイ州)	Elgin Community College		2010.03.13	
			ミルウォーキー	Center for arts and Performance WI Lutheran College		2010.03.16	
			マディソン	Capitol Theater, Overture Center for the Arts		2010.03.18 ~ 2010.03.19	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
32	米澤 浩・熊沢栄利子（尺八・琴）中米公演	キューバ	ハバナ	サンフランシスコ教会	米澤 浩	2009.09.14	米澤浩（尺八）と熊沢栄利子（琴）による巡回公演。小中学生を対象とした教育事業も実施
			ハバナ	国立芸術学校		2009.09.15	
			ハバナ	国立芸術教育向上センター		2009.09.15	
			サンホセ	国立劇場レセプションホール		2009.09.17	
			カルタゴ	TELECLUB（ライブ出演）		2009.09.18	
			サンホセ	新聞記者協会ホール		2009.09.18	
			カルタゴ	カルタゴ市役所ホール		2009.09.19	
			サンサルバドル	FEPADÉ劇場		2009.09.20	
			サンサルバドル	TCSテレビ（ライブ出演）		2009.09.21	
			サンサルバドル	国営教育文化テレビ（ライブ出演）		2009.09.21	
			サンタアナ	国立サンタ・アナ劇場		2009.09.22	
サンサルバドル	ブリティッシュ・スクール	2009.09.23					
33	清水 靖晃&サキソフォネッツ（音楽）キューバ公演	キューバ	ハバナ	UNEAC, Sale Ruben Martinez Villena	ミホプロジェクト	2009.11.04	サクソフォーン演奏グループ「清水靖晃&サキソフォネッツ」が日・キューバ外交関係樹立80周年を記念してキューバ音楽協会の招きによりハバナにて公演を実施。あわせて一般市民を対象としたワークショップを実施
				国立アマデオ・ロダン		2009.11.05	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
34	SAYAKA (ジャズ) キューバ公演	キューバ	ハバナ	ガトー・トゥエルト  在キューバ大使公邸  テアトロアマデオ ロルダン  デリリオアバネロ  ジャズカフェ	SAYAKA	2009. 12. 19  2009. 12. 21  2009. 12. 23  2009. 12. 24  2009. 12. 25	ヴァイオリニストのSAYAKAが率いるバンド「Palma Habanera」が、日本キューバ外交関係樹立80年を記念して開催される特別コンサートに出演。キューバ音楽を中心に欧州、日本の音楽を演奏。現地アーティストとも共演
			マタンサス	テアトロカルデナス		2009. 12. 26	
			ハバナ	カサデラムジカガリアーノ		2010. 01. 08	
				グランテアトロデラハバナ		2010. 01. 12	
35	室伏 鴻 (舞踏) 南米公演	アルゼンチン	ブエノス・アイレス	Teatro Margarita Xirgu	ケークンスト	2010. 02. 12	各地のダンサーとワークショップを行い、成果を発表すると共に、自身のソロ作品 <i>Quick Silver</i> を上演
		コロンビア	ボゴタ	Leo de Greiff		2010. 03. 04	
		コロンビア	ボゴタ	Mario Laserna		2010. 03. 09	
		コロンビア	ボゴタ	Felix Retepo Auditorium		2010. 03. 10	
		メキシコ	メキシコ・シティー	Univ. teatro sorjuana		2010. 04. 09	
		メキシコ	メキシコ・シティー	Tearto de la Danza		2010. 04. 10 ~ 2010. 04. 11	
		メキシコ	ハラッパ	Tearto del Estado Gral, Sala Dogoberto Guillaumin		2010. 04. 15	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
36	伊藤 美由紀（現代音楽）メキシコ公演	メキシコ	メキシコ・シティー	国立芸術センター 付属音楽学校 (Escuela Superior de Musica)	伊藤 美由紀	2010.02.25	作曲家の伊藤美由紀が、メキシコの現代音楽アンサンブル「オニックス・アンサンブル」とともに新作を共同制作し発表。あわせてワークショップ、レクチャーも実施
			メキシコ・シティー	Universidad Nacional Autonoma de Mexico (UNAM)		2010.02.26	
			モレリア	Centro Mexicano para la Musica y las Artes Sonoras		2010.03.03	
			モレリア	Las Rosas Conservatoire, Michoacan State Univ.		2010.03.04	
			モレリア	Centro Mexicano para la Musica y las Artes Sonoras		2010.03.05	
モレリア	Instituto Cardenal Miranda	2010.03.08					
37	笠井 叡（舞踏）『エラガバルス幻想譚』コロンビア公演	コロンビア	ボゴタ	Centro Cultural del Gimnasio Moderno	大使館	2010.03.19 ~ 2010.03.23	コロンビアで約20年の歴史を持つイペロアメリカ演劇祭で、ローマの少年皇帝エラバガルの幻想譚をオイリュトミーを交えて舞踏化した新作を上演
38	国本 武春（浪曲）南米公演	パラグアイ ブラジル	イグアス移住地	イグアス日本人会	国本 武春	2009.07.17 ~ 2009.07.29	国本武春による日系人向けの公演。説明、掛け声の練習に始まり、『忠臣蔵～赤垣源藏徳利の別れ』ほかを上演。hakka会館では、「アマゾン入植80周年記念サンパウロ前夜祭」にて公演
			サンパウロ	ブラジル日本文化福祉協会 大講堂 憩の園 あけぼのホーム hakka会館		2009.07.12 ~ 2009.07.15	
			サントス	サントス厚生ホーム		2009.07.14	
			ロンドリーナ	パラナ日伯文化連合会館		2009.07.19	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
39	宮沢 和史 (ポピュラー音楽) ブラジル公演	ブラジル	トーマス  ベレン  マナウス	文化農村振興協会 サロン  ベレンコンベン ションセンター  西部アマゾン日伯 協会講堂	ファイブ・ディー 株式会社	2009.09.15  2009.09.18  2009.09.21	アマゾン日本人移民80周年を記念して、THE BOOMのボーカル・宮沢和史が現地アーティストとともにブラジル・アマゾン地域の3都市を巡回
40	喜祐美会 (箏曲) ブラジル公演	ブラジル	ベレン	パラ州コンベン ションセンター	喜祐美会	2009.09.18	熊田喜祐美を団長とする邦楽演奏家グループが、日本人のアマゾン入植80周年を記念しブラジル・ベレン市で式典にあわせ演奏
41	吉武 まつ子 (声楽) ペルー公演	ペルー	リマ  リマ  クスコ  リマ  リマ  リマ	ムンド・アミーゴ 幼稚園、エンマヌ エル学園  民芸ギャラリー ポコアポコ  エルトゥルーコ  日秘会館・小ホー ル  日秘会館・大ホー ル  日本人学校	吉武 まつ子	2009.05.19  2009.05.19  2009.05.20  2009.05.21  2009.05.22  2009.05.25	吉武まつ子 (声楽) と洋楽器奏者による日本の歌、語り、童謡を中心とした音楽公演。演目は、『涙そうそう』『さくらさくら』『浜辺のうた』『ねむの木の子守歌』『ソーラン節』『ベサメムーチョ』『千の風になって』など
42	レナード 衛藤 (和太鼓) 他 欧州公演	ドイツ  ドイツ  スイス  イタリア	ケルン  デュッセルドルフ  ツーク  ローマ	ケルン日本文化会 館  中央広場  Choller halle  ローマ日本文化会 館	有限会社スーパー ボーイ	2009.06.12  2009.06.13  2009.06.16  2009.06.18	和太鼓を用いた現代的音楽作品の演奏活動を行うレナード衛藤による公演。タップダンスーsuji (すじ) とも共演
43	アイ・ピクニック (音楽・舞踊・映像) オーストリア・イ タリア公演	オーストリア  オーストリア  イタリア	ペルヒトルツドル フ  クレムス  トレヴィーゾ	ニーダーエステル ライヒ音楽学校  ミノリーテンキル ヒェ  イスティトゥト・ ディオチェザノ	アイ・ピクニック	2009.09.20  2009.09.27  2009.09.29	音楽・舞踊・映像による複合表現を行う、即興パフォーマンスユニットI-Picnicがクレムスの国際現代音楽祭「コントラスト・フェスティバル」にてセミナー、映像作品上映、ワークショップ、コンサート等を実施。クレムスの成果とともにペルヒトルツドルフでも公演と子供を対象にしたワークショップを行う



舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
44	チェルフィッチュ 欧州公演	イタリア ドイツ	モデナ ベルリン	Ponte Alto 3 HAU 3	チェルフィッチュ	2009.10.09 ～ 2009.10.10 2009.10.14 ～ 2009.10.16	『ホットペッパー、クーラー、そしてお別れの挨拶』をモデナ(イタリア)フェスティバル VIE Scena Contemporanea及びベルリン(ドイツ)Hebbel Am Ufer (HAU)にて巡回公演。本作は『クーラー』を約1時間長に改訂した新作
45	『ヒロシマ・声なき声』(合唱) イタリア公演	イタリア	ミラノ	ミラノ音楽院 G・ヴェルディホール	ひろしまオペラ・音楽推進委員会	2009.11.08	細川俊夫作曲の合唱とオーケストラのための曲『ヒロシマ・声なき声』のイタリアでの公演。現代音楽作曲家に焦点を当てる協会「ミラノ・ムジカ」からの招へい
46	五十田 安希 (ひとり芝居) 欧州公演	フランス イタリア	パリ ローマ	パリ日本文化会館 大ホール ローマ日本文化会館	劇団栃の実・五十田安希事務所	2009.11.05 ～ 2009.11.06 2009.11.10	五十田安希が、シェイクスピア作の2作品『マクベス夫人』、『オフィーリア幻想』を欧州2か国で上演。2演目それぞれを西洋式と日本式の異なる演出で演じ分け、観客に日本語の魅力を発見してもらうことを狙う
47	小野 リサ (ボサノヴァ音楽) イタリア・フランス公演	フランス イタリア	パリ ローマ	パリ日本文化会館 ローマ日本文化会館	株式会社MSエンタテインメント	2010.01.21 ～ 2010.01.23 2010.01.25	パリ日本文化会館とローマ日本文化会館において、日本のボサノヴァ音楽を紹介するコンサートを実施
48	勅使川原 三郎 +KARAS (オペラ+ダンス) イタリア公演	イタリア	ヴェネチア	フェニーチェ歌劇場	勅使川原 三郎 +KARAS	2010.02.16 ～ 2010.03.29	勅使川原三郎が、ダンス作品『ル・リール』の上演、及びオペラ『ディドとエネアス』のためのダンスパート創作及びオペラ作品全体の演出を実施。ダンス部分はKARASダンサーが出演
49	指輪ホテル 英国 公演	英国	カーディフ アベリストウイス	CHAPTER art centre Aberystwyth Arts Centre	指輪ホテル	2009.05.21 ～ 2009.05.23 2009.05.29	羊屋白玉(指輪ホテル主宰)が英カーディフのCHAPTER art centreの招へいにより、同地を拠点とするアーティスト Anushiye Yarnellによるプロジェクト「Animal Love」の一環として、現地アーティスト、技術スタッフと新作を共同制作し上演

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
50	野村 誠 (コミュニティオペラ) 欧州公演	英国	アマシャム  ハダースフィールド リーズ ロンドン エクセター デヴォン プリマス モアカム  ニューカースル・アボン・タイン ニューカースル・アボン・タイン	アマシャム・ミュージック・センター  Barl:22 The Broomfield Cafe oto ベルモントパーク Sparkwell Primary School The Barbican Theatre, Plymouth Catch the Wind Kite festival野外会場エリア Baltic Art Gallery The Sage Gateshead	野村 誠	2009.06.27  2009.07.01 2009.07.02 2009.07.09 2009.07.11 2009.07.14 2009.07.17 2009.07.19  2009.07.24 2009.07.24	野村誠 (作曲、鍵盤ハーモニカ演奏) が英国のヒュー・ナンキヴェル (作曲) との共作『ホエール・トーン・オペラ』全幕の他、『キーボード・コレオグラフィ・コレクション』を上演。子供を含む地元市民を対象にしたワークショップも開催。ロンドンでは日本の現代音楽を紹介するレクチャーコンサートを実施
51	NO NAME HORSES (ジャズ) 欧州公演	フランス フランス 英国 英国	ラ・ロック・ダンテロン ラ・ロック・ダンテロン エディンバラ エディンバラ	L'Etang des Aulne Parc de Florans The Hug Ross Theatre, Princess Street Gardens	株式会社梶本音楽事務所	2009.07.28 2009.07.29 2009.08.01 2009.08.02	日本を代表するジャズピアニスト・小曾根真 (おぞねまこと) 率いるビッグバンド「NO NAME HORSES」がフランス、英国2カ国で公演。フランス会場では、小曾根が現地オーケストラと共演しガーシュウィン作曲のピアノ協奏曲を演奏
52	阿波人形浄瑠璃 オーストリア公演	オーストリア	ウィーン	ウィーン民族博物館内・中央ホール	財団法人阿波人形浄瑠璃振興会	2009.05.15 ~ 2009.05.16	「日本・ドナウ交流年」及び「オーストリアにおける日本年2009」を記念し、ウィーン民族博物館の公式招へい事業として、文楽と源流を同じくすると言われる阿波人形浄瑠璃を上演

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
53	山本 扶美枝（民謡）他 欧州公演	オーストリア  ドイツ  ドイツ	クラムザッハ  ミュンヘン  ヴュルツブルク	ホテル「ゾンネンウーア」  フェルカークンデミュージアム  シーボルトミュージアム	安曇野・クラムザッハ友好会	2009.06.30  2009.07.02  2009.07.03	長野県安曇野市で活動する山本扶美枝（民謡）ほかで構成した公演団が同市と姉妹都市提携を結ぶクラムザッハ市を訪問。民謡をドイツ語による紹介付きで公演。ミュンヘン、ヴュルツブルクにも巡回
54	佐藤 允彦& SAIFA-サイファ（ジャズ） オランダ公演	オランダ	ロッテルダム	The Missouri Stage	佐藤 允彦	2009.07.12	佐藤允彦作曲の作品を中心としたジャズ公演をロッテルダムの <i>North Sea Jazz Festival</i> にて実施
55	工藤 丈輝（現代舞踊） 欧州公演	ベルギー オランダ オランダ	アントワープ アムステルダム ユトレヒト	Zuiderpershuis KIT Tropentheater RASA Theater	有限会社エル・オー・ピー	2010.04.08 2010.04.09 2010.04.10	舞踏家工藤丈輝の創作舞踏『業曝-Karma Exposure』の上演
56	青年団『東京ノート』、『ヤルタ会談』 スイス公演	スイス	ジュネーブ	Theatre de l'Usine（『ヤルタ会談』上演）  Theatre Saint-Gervais（『東京ノート』上演）	有限会社アゴラ企画	2009.09.06 ～ 2009.09.10	平田オリザの2作品をジュネーブで開催される「バティ・フェスティバル(La Batie-Festival de Geneve)」にて上演。上演にあたり、青年団が独自に開発した字幕システムを使用
57	シルヴァン旭西ギニャール他（琵琶） スイス公演	スイス	ベルン チューリヒ チューリヒ バーゼル チューリヒ	音楽院ホール グロースミンスターのヘルフライ Sato Schlafraeume バーゼル音楽院、放送局 日本スイス協会元理事宅の宮殿	Silvain Guignard	2009.10.27 2009.10.28 2009.10.29 2009.10.30 2009.10.31	シルヴァン旭西ギニャール、橋本敏江、石田克佳の3人の琵琶奏者による4種類の異なる琵琶（楽琵琶、平家琵琶、薩摩琵琶、筑前琵琶）の音楽公演と琵琶の1000年の歴史についての講話

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
58	冴木 杏奈 (タンゴ) 欧州公演	フランス ドイツ ドイツ ドイツ ドイツ	パリ ベルリン ハノーヴァー ドレスデン ハンブルク	パリ日本文化会館 QUASIMODO ペリカンホール STAATSSCHAUSPIEL /KLEINE HAUS FABRIK	株式会社ムーン ミュージック	2009. 04. 24 ~ 2009. 04. 25 2009. 04. 29 2009. 04. 30 2009. 05. 17 2009. 05. 19	タンゴ歌手の冴木杏奈 (さえき・あんな) によるフランス・ドイツ2カ国での公演。ライフワークとしている日本語での歌唱や、世界中で親しまれている民謡・童謡等の素材を用いたの歌唱も本公演で披露
59	木野 雅之 (ヴァイオリン) 他 ドイツ公演	ドイツ	ベルリン ケルン	日独センター ケルン日本文化会館	木野 雅之	2009. 09. 07 2009. 09. 08	木野雅之 (ヴァイオリン) と木野真美 (ピアノ) による公演。昭和初期にドイツに留学・活動した日本人作曲家・指揮者の貴志康一 (きしこういち) の生誕100周年を記念し、貴志の作品をはじめ同時代のドイツ人作曲家の作品や生誕200周年目のメンデルスゾーンの作品も演奏
60	ダンスボックス 『循環ダンスラボ』ドイツ公演	ドイツ	ベルリン	F40	特定非営利活動法人ダンスボックス	2009. 10. 03	神戸のダンスボックスが、障害者による新しい舞台芸術創造の試みをドイツの身障者劇団と共同制作して上演
61	庭劇団ペニノ、快 快ほかドイツ公演	ドイツ	ベルリン	HAU 1 HAU 2 HAU 3	株式会社precog	2009. 10. 14 ~ 2009. 10. 17 2009. 10. 14 ~ 2009. 10. 17 2009. 10. 17	ベルリンで開催された「アジア・パシフィック・ウィーク」の一環として、庭劇団ペニノ、快快 (演劇)、松本哉、佐々木敦 (レクチャー)、GHOST (音楽) が公演

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
62	大野 敬正 (邦楽) ドイツ・フランス公演	フランス フランス ドイツ フランス	パリ マルセイユ カールスルーエ レーゲンスブルク トゥルニュ トゥルニュ パリ	パリ日本文化会館 パークシャ見本市会館 European School Leerer Bevtel Instituto Cervantes Poter Seal Cellier des Moines 音楽学校マスタークラス SUN SET	株式会社サウンドワークス	2010.02.17 2010.02.19 2010.02.20 2010.02.21 2010.02.23 2010.02.24 2010.02.27 2010.02.27 2010.03.02	欧州2カ国における津軽三味線、和太鼓、尺八 & トロンボーンによる邦楽公演
63	ダンスカンパニー ベイビーキューウ ノルウェー公演	ノルウェー	オスロ	Studio Scenen Dansens Hus	Dance Company BABY-Q	2009.10.09 ~ 2009.10.10 2009.10.12 ~ 2009.10.13	現代舞踊のベイビーキューウがノルウェーの CODA OSLO International Dance Festival から正式招へいを受け、Alarm! と Loss-Layers の2作品を上演
64	劇団キオ『GREEN MONSTERみどりのかいじゅう』(児童演劇) ノルウェー公演	ノルウェー	ベルゲン	Carte Blanche (Studio Bergen)	劇団キオ	2009.11.29	ノルウェーの国際児童演劇祭 MINI MIDI MAXI からの招へいを受け、2007年初演の『GREEN MONSTERみどりのかいじゅう』(中立公平作・演出)を上演。同演劇祭からアジアの作品が招へいされるのは初めて
65	北海道フィンランド協会(邦楽、他)フィンランド公演	フィンランド	ヘルシンキ ユヴァスキュラ アシッカラ	アレクサンテリア劇場(旧フィンランド国立オペラ座) ユヴァスキュラ市民劇場 ホテル・タッルツカホール	北海道フィンランド協会	2009.09.29 2009.09.30 2009.10.01	日本フィンランド修交90周年を記念し箏曲演奏団体「札幌新音楽集団 群」による邦楽演奏と江差追分分会や江差餅搗き囃子保存会による北海道民謡演奏を中心とした音楽公演を実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
66	青年団（演劇） 『交換』フランス 公演	フランス	マルセイユ  ストラスブール	La Friche La Belle de Mai  CEEJA	有限会社アゴラ企 画	2010.01.12 ～ 2010.01.17  2010.01.20	海外の演劇人との共同作業によって交流を深 め、刺激的な作品作りを目指す「青年団国際 演劇交流プロジェクト」の一環。ポール・ク ローデルの『交換』をフランス人演出家を迎 えて日本国内で制作、フランス2都市で上演
67	金子 竜太郎 『CHIBEJA』ベル ギー公演	ベルギー	ブリュッセル  ニノブ  ボルン  アントワープ  レッペーケ  コルトレイク  ロセラーレ  シント・ニクラ ース  ブルージュ  ハッセルト	CC Casino  CC de Ploblom  CC Ter Dilft  Arenberg Schouwburg  CC De Biekorf  De Kortijkes Schouwburg Kortrijk  De Spil  EVENTually スタ ジオ  Stadsschouwburg Bruge  Cultuurcentrum	金子 竜太郎	2009.10.03  2009.10.10  2009.10.11  2009.10.16  2009.10.17  2009.10.22  2009.10.23  2009.10.28  2009.10.30  2009.11.01	日本（和太鼓）・中国（フルート）・ベル ギー（ピアノ）のアーティストによるコラボ レーション演奏。ベルギー10都市を巡回。和 太鼓ワークショップも3回実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
68	GOC00 (和太鼓) 欧州公演	ハンガリー	ブダペスト	Millenaris	和太鼓グループ ゴクウ (有限会社 タヲ)	2009.06.18	ロックやワールド・ミュージック系の野外 フェスティバルで新しいスタイルの和太鼓音 楽公演を行う。新曲を織り交ぜたオリジナル 曲のほか、ゲスト奏者Goroのディジュリドゥ や口琴などのソロ演奏も含む
		スロバキア	ノベザムキ	Event tent		2009.06.19	
		ハンガリー	エステルゴム	Esztergom Festival		2009.06.20	
		ハンガリー	ペーチュ	Pecs Festival		2009.06.21	
		オーストリア	グラーツ	Kasematten		2009.06.24	
		イタリア	マチェラタ	Musicultura Festival		2009.06.25 ~ 2009.06.26	
		スロベニア	マルボル	Lent Festival		2009.06.27	
		ドイツ	ラルツ	Fusion Festival		2009.06.28	
		オーストリア	フィラッハ	Burg Finkenstein		2009.07.02	
		ドイツ	ウルム	Ulmer Zelt Festival		2009.07.03	
		イタリア	オゾッポ	Rototom Sunsplash		2009.07.04	
		チェコ	フラデツクラーロ ベ	Rock for People		2009.07.05	
		ドイツ	オルデンプルク	Kultursommer		2009.07.08	
		ドイツ	ベルリン	Lustgarten Open Air		2009.07.09	
		ドイツ	ノインキルヒュン	Neunkirchen Nachte		2009.07.10	
		ルクセンブルク	エクテルナック	Trifolion		2009.07.11 ~ 2009.07.12	
		ドイツ	トゥットリンゲン	Honberg Sommer	2009.07.13		

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
69	平井 丈一朗 (チェロ) 他 欧州公演	英国  デンマーク  スペイン  ルーマニア  フランス	ロンドン  コペンハーゲン  バルセロナ  ブラショフ  パリ	ウィグモア・ホール  駐デンマーク大使 公邸  パブロ・カザルス 音楽堂  軍会館  パリ日本文化会館	平井 丈一朗	2009.06.08  2009.06.11  2009.06.13  2009.06.16  2009.06.20	平井丈一朗(チェロ)と元喜(ピアノ)の父 子による公演。日本を題材にしたオリジナル 曲を中心に、バッハやベートーヴェンの名 曲、パブロ・カザルス作『鳥の歌』などを演 奏。英国公演はUK-JAPAN150、ルーマニア、 ブルガリア公演は「日本・ドナウ交流年 2009」公式行事
70	金沢舞踏館 オース トリア・ポーラ ンド公演	オーストリア  ポーランド  オーストリア	グラーツ  クラクフ  グラーツ	スタジオ・キ  マンガ美術館シア ター  オーフェウム	金沢舞踏館	2009.11.07  2009.11.10  2009.11.24	クラクフ・マンガ美術館における舞踏回顧展 開催に合わせ、『にゅうみん』(制作:鈴木 光子)他を公演。グラーツにおいてはシュタ イアマルク州芸術振興財団主催の舞踏ワーク ショップ・発表会を実施
71	櫻間會(能) 欧州 公演	オランダ  ハンガリー  オーストリア  オランダ	ライデン  ブダペスト  ウィーン  アムステルダム	Schouwburg劇場  MILLENARIS  Palace & Gardens of Schoenbrunn  Tropentheater	日蘭通商400周年並 びに日・ドナウ交 流年2009記念公演 実行委員会	2009.12.08  2009.12.09  2009.12.12  2009.12.13	櫻間右陣を中心とする能公演。ライデンは日 蘭通商400周年記念、ブダペストとウィーンは 日本・ドナウ交流年記念。日蘭通商400周年は 徳川幕府が朱印状を結んで400年、子孫の徳川 恒考が同行し、メッセージを読み上げた
72	快快MY NAME IS I LOVE YOU欧州公演	ハンガリー  オランダ  スロベニア  スロベニア	ブダペスト  フローニンゲン  リュブリャナ  リュブリャナ	Szkene Theatre Budapest  Grand Theatre Groningen  Glass hall  Glass hall	快快	2009.08.14 ~ 2009.08.15  2009.08.21  2009.08.25  2009.08.27	映像、音、ダンスを交え、”ポップ化する演 劇”を標榜する若手劇団・快快(小指値より 2008年に改名)が、ブダペスト経済工科大学 Szkene Theatreが開催するInternational Dance and Movement Center Summer Clubで ワークショップとMy Name is I love Youの 上演。オランダとスロベニアでも同作品を上 演
73	舞踏極私空間 ポーランド・フラ ンス公演	ポーランド    フランス	ヴロツラフ  ルブリン  ルブリン  パリ	ブルゼジンカスタ ジオ  ルブリン市文化セ ンター劇場  ルブリン市文化セ ンター中庭  LAVOIRMODERNE PARISIEN	舞踏極私空間	2009.09.17 ~ 2009.09.19  2009.09.26 ~ 2009.09.27  2009.10.03  2009.10.18 ~ 2009.10.19	ポーランド・グロトフスキー・センターと共 同で新作制作・初演した他、舞踏グループ Maat主催フェスティバル等において舞踏公演 及びワークショップを実施。パリでは自主公 演を実施



舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
74	鼓童『越境 trans-border』欧州公演	イタリア	フィレンツェ	Teatro Verdi	株式会社北前船(鼓童)	2009.05.15	和太鼓グループ「鼓童」による公演。ワークショップ、レクチャー、オーケストラや現地の音楽家との共演も実施。トルコ、フランス、スイスでは、国際芸術フェスティバルに参加
		イタリア	レッジョ・ネッレミリア	Teatro Romolo Valli		2009.05.19	
		イタリア	ローマ	Auditorium Parco della Musica		2009.05.23 ~ 2009.05.27	
		イタリア	ミラノ	Teatro Arcimboldi		2009.05.29 ~ 2009.05.30	
		クロアチア	ザグレブ	Kosarkaski Center		2009.06.03	
		英国	ロンドン	Royal Festival Hall		2009.06.06	
		ギリシャ	アテネ	Athens Concert Hall		2009.06.11	
		トルコ	イズミル	Izmir International Festival		2009.06.13	
		トルコ	イスタンブール	Istanbul International Music Festival		2009.06.15 ~ 2009.06.16	
		ドイツ	ミュンヘン	Gasteing Philharmonie		2009.06.19	
		フランス	リヨン	Les Nuits de Fourviere		2009.06.23 ~ 2009.06.24	
		フランス	パリ	Teatre du Chatelet		2009.06.27 ~ 2009.06.30	
		スペイン	トレラベガ	Teatro Concha Espina		2009.07.03	
		スペイン	ヒホン	La Laboral Escena		2009.07.04	
		スペイン	エル・エスコリアル	Auditorio San Lorenzo del Escorial		2009.07.05 ~ 2009.07.06	
		ベルギー	ブルッヘ	Concertgebouw Brugge		2009.07.08	
		ベルギー	アントワープ	Koningin Elizabethzaal		2009.07.10	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
		スイス	チューリッヒ	Live at Sunset		2009.07.14	
75	吉野 直子 (ハーブ) イタリア・イスラエル公演	イタリア	ミラノ	ミラノ・スカラ座 Teatro alla Scala	吉野 直子	2009.09.24	日本を代表するハーブ奏者・吉野直子が、ミラノ現代音楽フェスティバルに招へいされ、細川俊夫、武満徹作品を演奏。またその間、イスラエル国際ハーブ・コンクールの50周年記念ガラコンサートに出演
		イスラエル	テルアビブ	マン・オーディトリウム Mann Auditorium		2009.10.06	
		イタリア	ミラノ	ヴェルディ音楽院 サラ・プッチーニ Sala Puccini		2009.10.11	
76	東京アンサンブル (クラシック音楽) 欧州・トルコ公演	トルコ	イスタンブール	CRR Concert Hall	特定非営利活動法人東京アンサンブル	2009.11.20	日本・海外で活動する若手演奏家がメンバーの「東京アンサンブル」(芸術監督:服部譲二)が日本・ギリシャ修好110周年を記念して開催される「日本文化ウィーク」から招へいを受け演奏
		ギリシャ	アテネ	Megaron, Dimitris Mitropoulos Hall		2009.11.22	
		オーストリア	クラーゲンフルト	Evangelic Church Klagenfurt Lendkanal		2009.11.23	
77	琉神 (沖縄音楽) 欧州・チュニジア公演	チュニジア	チュニス	Theater Hasan Ibn Rashiq	株式会社アンエンターテイメント	2009.10.19	静岡を拠点に活動するエイサーグループ・琉神が、エイサー、島唄、三線、琉球武術等の沖縄音楽・芸能を広く披露
		ハンガリー	ブダペスト	Theater Merlin Szinhaz		2009.10.21 ~ 2009.10.22	
		スイス	チューリッヒ	University of Zurich		2009.10.24	
		スイス	ジュネーヴ	Salle Bleue		2009.10.27	
		ドイツ	ミュンヘン	Munich State Museum of Ethnology		2009.10.28	
		ルクセンブルク	ストラッセン	Centre Culturel Paul Barble		2009.10.29	
		フランス	カンヌ	Espace Miramar		2009.11.01	
		イタリア	ローマ	Auditorium		2009.11.03	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
78	クリヤ・マコト (ジャズ・ピアノ) エジプト・欧州公演	エジプト エジプト ハンガリー ベルギー フランス 英国 英国 ドイツ	カイロ カイロ ブダペスト ブリュッセル パリ ウェルズ ロンドン ケルン	River Hall Rihomo Club Take 5 Jazz Club Sounds Jazz Club Chez Papa Torfaen Jazz Society Pizza Express Jazz Club ケルン日本文化会館	株式会社ミュージックセラフ	2010.03.14 2010.03.15 2010.03.20 2010.03.23 2010.03.25 2010.03.27 2010.03.28 2010.03.31	ジャズ・ピアノのクリヤ・マコトが自己のトリオでカイロ・ジャズ・フェスティヴァルに出演。単身で赴くフランスと英国とハンガリーではジャズクラブで現地音楽家との共演を実施。英国とハンガリーでは音楽院での指導も実施
79	北之台雅楽会 欧州・北アフリカ公演	オーストリア オーストリア ベルギー チュニジア	ウィーン ウィーン ハッセルト カルタゴ	国立民族学博物館 ウィーン大学講堂 日本庭園 カルタゴマダール	北之台雅楽会	2009.04.21 2009.04.22 2009.04.28 2009.04.24 ~ 2009.04.25	雅楽。舞楽『青梅波』、管弦『平調越天楽』等を演奏。舞楽と茶の湯のコラボレーションワークショップを実施
80	坂東 扇菊舞踊団 中央アジア公演	ウズベキスタン カザフスタン	タシケント アルマティ	ナボイ劇場 フィルハーモニー劇場	有限会社juin2004	2009.10.31 2009.11.03	日本舞踊。『元禄花見踊』、『釣女』、『龍虎』を上演
81	山岡 佐紀子 <i>Wind from Sky</i> クロアチア公演	クロアチア	ザグレブ コプリニツァ	クロアチア美術協会(HDLU) シュタグリネツ村(Staglinec)	山岡 佐紀子	2009.06.16 2009.06.20	パフォーマンス・アート。人間と自然をテーマにするコプリニツァのパフォーマンス・アート・フェスティバル <i>My Earth, Staglinec</i> に参加。ザグレブではクロアチア美術協会でのレクチャーを実施
82	ひのき屋東欧公演	クロアチア クロアチア ボスニア・ヘルツェゴビナ	ザグレブ ザグレブ サラエボ	イエラチッチ広場 野外特設舞台 ザグレブ旧市街中央舞台(グラデツ) コロバラ・ハン	株式会社ヒトココチ	2009.07.16 ~ 2009.07.19 2009.07.17 ~ 2009.07.19 2009.07.22	和太鼓、篠笛、洋楽器によるワールド・ミュージック。第30回ザグレブ国際フォークロア・フェスティバルと、サラエボのバシチャルシヤ・ノチ国際フェスティバルに参加

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
83	FUJII TRIO & 和太鼓うるき 東欧公演	クロアチア スロベニア	ヴィエロバ ツアレック	Hrratska Hall Dml1. Slovenskega TaboraZalec	FUJII TRIO & 和太鼓うるき	2010.01.14 2010.01.15	マリンバ奏者藤井むつ子と娘である同じくマリンバ奏者の藤井はるか、里佳によるFUJII TRIOと和太鼓奏者浅野町子を代表とする女性和太鼓グループ「うるき」の打楽器アンサンブルが東欧2カ国の国際フェスティバル等で公演。ザグレブ音楽アカデミーではレクチャーも実施
84	豊田市民伝統芸能使節団 東欧公演	ハンガリー スロバキア スロバキア	ブダペスト トレンチーン ブラチスラバ	スイゲト・フェスティバル 中央広場（トレンチーンフェスティバル） 中央広場（ブラチスラバ・サマー・フェスティバル）	豊田市民伝統芸能使節団	2009.08.12 ～ 2009.08.16 2009.08.18 2009.08.19	愛知県四郷地区に伝わる武芸「棒の手」と獅子舞を披露。ハンガリーはスイゲト・フェスティバル、スロバキアはトレンチーン・サマーフェスティバルとブラチスラバ・サマー・フェスティバルに一般参加
85	岡山少年少女合唱団ブルガリア・トルコ公演	ブルガリア トルコ	プロヴジフ イスタンブール	Chamber Hall of the Drama Theater in Plovdiv SAMANPLU TV	岡山市国際交流協議会	2009.08.25 2009.08.28	岡山少年少女合唱団が、岡山市の姉妹都市であるプロヴジフ市からの招へいにより、日本の歌を紹介。地元の青少年合唱団との交流会も実施
86	福原 佐和子(箏)・ジョン海山ネプチューン(尺八)ブルガリア公演	ブルガリア	ソフィア プロヴジフ	ブルガリアホール大ホール プロヴジフ・フィル大ホール	福原 左和子	2009.11.12 2009.11.13	福原佐和子(箏)とジョン海山ネプチューン(尺八)が、ソフィア四重奏団及びブルガリアの民俗楽器カヴァール奏者のテオドシ・スパソフと、新曲を共演。カヴァールは尺八に似たブルガリアの民俗楽器。「日本文化月間」に参加

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
87	原田 依幸+大怪物團 リトアニア・ロシア公演	ロシア	サンクト・ペテルブルグ	ESG21 CLUB	有限会社メディアルネッサンス	2009. 10. 02	ジャズ。原田依幸（ピアノ）、近藤直司（サクソ）、小山彰太（ドラム）が、フリージャズの様々な形を試み、ロシアのセルゲイ・レートフ（サクソ）らと共演。リトアニア公演は、ビリニュス・ジャズ・フェスティバルへの参加
		ロシア	ニージニーノブゴロド	NINJI NOVGOROD		2009. 10. 04	
		ロシア	カルーガ	シナトラクラブ		2009. 10. 07	
		ロシア	モスクワ	DOM CULTURE CENTER		2009. 10. 09	
		ロシア	ヤロスラヴリ	JAZZ CENTER		2009. 10. 11	
		ロシア	アレクサンドロフ	MARINA CVETAEOV 博物館		2009. 10. 12	
		ロシア	モスクワ	MASTERSKAYA CLUB		2009. 10. 13	
		リトアニア	ビリニュス	VILINIUS JAZZ FESTIVAL 2009		2009. 10. 15 ~ 2009. 10. 17	
		リトアニア	ビリニュス	PIANO LT (ナイトコンサート)	2009. 10. 17 ~ 2009. 10. 18		
88	スコット『ディオニソス』 リトアニア公演	リトアニア	ビリニュス	Menu Spaustuve Black Hall	有限会社スコット	2010. 02. 26	鈴木忠志演出『ディオニソス』を上演。(公演2回実施)
89	藤沢 裕子『ファック・ユー・Eu. ro. pa』東欧公演	ルーマニア	バカウ	バコビア私立劇場	バカウ・ワンマンショー・フェスティバル参加者派遣日本委員会	2009. 04. 14 ~ 2009. 04. 16	現代演劇。モルドバの若手女性作家ニコレタ・エシネスクの戯曲『ファック・ユー・Eu. ro. pa』を、藤沢裕子の一人芝居とライブ音楽により上演。バカウは、コンペ形式の第4回ガラ・スター・ワンマンショー・フェスティバル参加

## 舞台芸術事業費

事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
90 ルートカルチャー 『インターローカル・セッション：失われた1ページ』ルーマニア・米国公演	ルーマニア	アラド	TEATRUL VECHI	特定非営利活動法人 ルートカルチャー	2009. 05. 11 ~ 2009. 05. 12	ダンス・パフォーマンス。中馬芳子、巻上公一、おおか静流を中心に『インターローカル・セッション：失われた1ページ』の公演とワークショップを実施。ワークショップでは、多国籍の参加者・出演者たちとパフォーマンス作品を制作。
	ルーマニア	ティミショアラ	Porto Arte		2009. 05. 17	
	ルーマニア	クルージ	Hungarian Theater		2009. 05. 19	
	ルーマニア	オドルヘユ・セクイエスク	オドルヘユ オペラハウス		2009. 05. 21	
	ルーマニア	ブカレスト	National Dance Centre of Bucharest Round Hall		2009. 05. 23	
	米国	ニューヨーク	ダンススペース・プロジェクト		2009. 06. 04 ~ 2009. 06. 06	
	米国	ニューヨーク	ダンススペース・プロジェクト		2009. 06. 11 ~ 2009. 06. 13	
91 大坪 光路（舞踏）ルーマニア公演	ルーマニア	ブカレスト	シュツ宮殿	大坪光路舞踏カンパニー・壺踏	2009. 06. 13	舞踏の大坪光路（振付家・ダンサー）が、バイア・マレで行われる第17回アテリエル国際演劇祭で新作『白糸』を初演、他の都市では前年の同フェスティバルのために作った『大木の夢』を再演
		サトゥ・マーレ	テートル・デ・ノルド劇場		2009. 06. 15 ~ 2009. 06. 16	
		ブカレスト	アルクブ劇場		2009. 06. 15	
		トルグムレシュ	文化宮殿		2009. 06. 16	
		カレイ	カレイ市立劇場		2009. 06. 18	
		バイア・マレ	バイア・マレ市立劇場		2009. 06. 20	
92 平松 れい子『カフカ断章』ルーマニア公演演出	ルーマニア	シビウ	The Centre for Advanced Research in Performing Art	平松 れい子	2010. 02. 16	ラドゥスタンカ国立劇場（シビウ）の演出家とカフカ作品を2本ずつ演出。同劇場のルーマニア人俳優と日本人俳優が出演。土地の者でない旅行者が登場する作品を取り上げ、グローバルイズムと個人の問題などを追求
93 曾我 大介（指揮）ルーマニア公演	ルーマニア	ブカレスト	アテネ音楽堂	曾我 大介	2009. 10. 07	ルーマニアで学んだ指揮者の曾我大介が、ルーマニア・デビュー20年にあたり、オルテナ・フィル、ブカレスト音楽大学オーケストラ、シビウ・フィルハーモニーを指揮
		シビウ	タリアホール		2009. 10. 12	
		クラヨーヴァ	クライヨーバ・フィルハーモニーホール		2009. 10. 29	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
94	山下 残『It is written there』トルコ公演	トルコ	イスタンブール	Garajistanbul	山下 残	2009.10.21 ~ 2009.10.22	先鋭的な表現に焦点を当てたイスタンブールの国際フェスティバル、i DANCE Festival of Contemporary Dance and Performanceへの招待参加
95	熊本 マリ (ピアノ) エジプト・ヨルダン公演	エジプト  ヨルダン	カイロ	カイロオペラハウス	熊本 マリ	2010.01.27	クラシック・ピアノの熊本マリがエジプトとヨルダンで日本と中東の名曲を演奏
			アレキサンドリア	アレキサンドリア図書館小ホール		2010.01.29	
			アンマン	テラ・サンタ・カレッジ小ホール		2010.02.03	
				フセイン文化センター		2010.02.04	
96	東京シンフォニエッタ エジプト公演	エジプト	アレクサンドリア  カイロ	図書館 小ホール  カイロオペラハウスメインホール	東京シンフォニエッタ	2009.04.28 ~ 2009.04.29  2009.05.01	クラシック音楽。現代音楽アンサンブル東京シンフォニエッタが、「第1回 インターナショナル・ニュー・ミュージック・ビエンナーレ」に参加し、武満徹、湯浅譲二などの日本人作曲家の作品を演奏
97	国境なき楽団 ケニア公演	ケニア	ナイロビ	トマス・バーナードハウス  在ケニア大使館ホール	国境なき楽団	2009.11.22  2009.11.23	国境なき楽団の活動を続けるポップス歌手の庄野真代と、民謡と篠笛のグループ・和楽が、孤児院などを訪問しコンサートを開くとともに、既に寄贈した楽器を用いてワークショップを実施
			ナクル	クリストファーハウス		2009.11.24	
98	ニヤマ・カンテ&ジェリドン コートジボワール公演	コートジボワール	アビジャン	ミュージック・ホール  パーカー・プレイス	ニヤマ・カンテ	2009.08.12  2009.08.13	音楽・舞踊。在日アフリカ人歌手・舞踊家のニヤマ・カンテと、日本人により編成された伴奏グループ「ジェリドン」(アフリカン・ドラム5名、ダンサー4名)による音楽コンサート。「日本週間」のメインとして公演

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (3) 海外公演 (PAJ北米・助成)

日本の優れた舞台芸術を紹介しようとする米国の非営利団体のみを申請資格者として、米国内で公募を行う助成プログラム。日本の舞台芸術に触れる機会の少ない地域（カナダを含む）への巡回公演事業（教育・研修機会を含む）の拡大、日米両国の舞台芸術家による共同制作の推進が目的。

合計額 28,624,386 円

	助成対象機関	実施国	都市	会場	期間	事業内容
1	MAPPインターナショナル・プロダクションズ (MAPP International Productions)	米国	タラハシー	フロリダ州立大学マギーアレシー国立振付センター	2009. 10. 04 ~ 2009. 10. 19	ニューヨークで活動する余越保子（振付家・ダンサー）が東京を拠点とする世家真ますみ（日本舞踊家）と共同で、『平家物語』をもとにダンス作品 <i>Tyler Tyler</i> を共同制作
		カナダ	バンフ	バンフ芸術センター	2010. 02. 15 ~ 2010. 03. 07	
		米国	ニューヨーク	ダンス・シアター・ワークショップ (DTW)	2010. 03. 08 ~ 2010. 03. 16	
2	ウォーカー・アート・センター	米国	コロンバス	ウェクスナー・センター	2010. 04. 16	勅使川原三郎/KARASによる作品『ミロク』の3都市巡回公演
		米国	ミネアポリス	ウォーカー・アート・センター	2010. 04. 22 ~ 2010. 04. 24	
		カナダ	オタワ	ナショナル・アート・センター	2010. 04. 29 ~ 2010. 04. 30	
3	レパートリー・ダンス・シアター (Repertory Dance Theatre)	米国	ソルトレイクシティ	レオナ・ワグナー・ブラックボックス・シアター	2009. 07. 29	伊藤道郎（1893～1961）が創案したダンスの基礎訓練のシステムと彼の創作した舞踊を継承する井村恭子ら日本人の協力を得て制作される『伊藤道郎：東洋と西洋の出会い』の巡回公演
			リバートン	ハンター高校	2009. 10. 08	
			エルコ	グレートベースン・カレッジ E.L. コード・パフォーマンスホール	2009. 10. 19 ~ 2009. 10. 24	
			エフレイム	スノーカレッジ	2009. 10. 26	
			セントジョージ	パインビュー高校	2009. 10. 29	
			シーダーシティ	南ユタ大学	2009. 10. 30	
			ソルトレイクシティ	ローズ・ワグナー舞台芸術センター	2010. 03. 23 ~ 2010. 03. 27	
プリンストン	プリンストン大学	2010. 03. 31 ~ 2010. 04. 06				



舞台芸術事業費

	助成対象機関	実施国	都市	会場	期間	事業内容
4	インタ (Inta)	米国	タラハシー	フロリダ州立大学マギーアレシー国立振付センター	2009.08.13 ~ 2009.09.05	エイコ&コマが自己活動を回顧する作品 <i>Raven</i> を多数のアーティストらと共同制作。ロバート・ミラバル (Robert Mirabal: 音楽)、サム・ミラー (Sam Miller: ドラマツルグ)、ウィリアム・ジョンストン (William Johnston: 歴史家・写真家)、Doryun Chong (キュレーター)、David Ferri (照明)、Shoko Letton (インスタレーション) らが参加
		ミドルタウン	ウェズリアン大学ジルカ・ギャラリー	2009.11.19 ~ 2009.12.20		
		ニューヨーク	ダンススペース・プロジェクト	2010.05.27 ~ 2010.05.29		
		ダラム	アメリカン・ダンス・フェスティバル	2010.06.22 ~ 2010.07.01		
5	アイオワ日米協会	米国	ヒューストン	ヒューストン日米協会	2009.09.07	落語家・桂かい枝らによる「英語落語&繁盛亭」の巡回公演。出演は桂かい枝の他に、桂あさ吉 (落語)、内海英華 (三味線漫談) など
		ダラス	ローズウッド・センターフォーファミリーアーツ	2009.09.08		
		デンバー	デンバー美術館ルイ・シャープ劇場	2009.09.10		
		アルバカーキ	ニューメキシコ大学ロデイシアター	2009.09.12		
		ピラノバ	ピラノバ大学	2010.03.29		
		ワシントンDC	ジョンFケネディ・センター・ミレニアム・ステージ	2010.03.31		
		ニューオリンズ	チュレーン大学	2010.04.08		
		デモイン	インディアンヒルズ中学校	2010.04.11		
		プエルトリコ	フランシスコ・アリビ・シアター	2010.04.14		
		ラスベガス	アトミック・シアター	2010.04.17		

舞台芸術事業費

	助成対象機関	実施国	都市	会場	期間	事業内容
6	ワールド・ミュージック・インスティテュート	米国	ワシントンDC ワシントンDC ニューヨーク ニューヨーク ストーニー・ブルック ニューヨーク ブルックリン シアトル ウェナッチ シアトル	日本商工会議所 ジョンFケネディ・センター アーロン・デイビス・ホール シンフォニー・スペース ストーニー・ブルック ジャパン・ソサエティ カンブル・シアター ウィング・ルーク博物館 ウェナッチ・パフォーミング・アート・センター シアトル・タウンホール	2009. 10. 08 2009. 10. 09 2009. 10. 14 2009. 10. 16 2009. 10. 17 2009. 10. 18 2009. 10. 20 2009. 10. 22 2009. 10. 23 2009. 10. 25	内藤哲郎（太鼓）、丸田美紀（箏）に加え、米国を拠点とする渡辺薫（太鼓、笛）ら、更にモンゴルと米国のアーティスト計7名による邦楽アンサンブル公演
7	インターナショナルハウス・フィラデルフィア	米国	フィラデルフィア	インターナショナルハウス・フィラデルフィア	2009. 10. 22	中村明一（尺八・作曲）とジーン・コールマン（Gene Coleman）（作曲）が、日本のサイレント映画『狂つた一頁』（衣笠貞之助監督）のための新曲を共作
8	ダンソロジー（Dansology）	米国	タラハシー シカゴ ニューヨーク	フロリダ州立大学マギーアレシー国立振付センター コロンビアカレッジ・シカゴダンスセンター ダンス・シアター・ワークショップ（DTW）	2009. 10. 25 ～ 2009. 11. 07 2010. 01. 31 ～ 2010. 02. 07 2010. 02. 24 ～ 2010. 03. 06	クシルジャ・ファン（Koosil-ja Hwang）による、ダンスとデジタル・メディアの複合作品。3つの物語を3次元空間的に表現
9	7ローブス 別称ゴウ・プロダクション（7 Loaves Inc. AKA GOH PRODUCTIONS）	米国	ニューヨーク	ボレアス・ファーム	2009. 12. 01 ～ 2010. 03. 21	中馬芳子率いるスクール・オブ・ハード・ノックスにより進められてきた国際共同制作A PAGE OUT OF ORDERを、新タイトルHOLD THE CLOCK!のもとに完成させる。日本から、おおたか静流（歌）、樋口信子（ダンス）他が参加

舞台芸術事業費

	助成対象機関	実施国	都市	会場	期間	事業内容
10	ジャパン・ソサエティ	米国	ニューヨーク ニューヨーク ピッツバーグ トロイ	ジャパン・ソサエティ ジャパン・ソサエティ アンディ・ウォーホル美術館 EMPAC	2009. 12. 03 ~ 2009. 12. 05 2010. 01. 11 2010. 01. 23 2010. 01. 28 ~ 2010. 01. 29	コンテンポラリーダンス：ニューヨークのジャパン・ソサエティがジェレミー・ウェイド（振付家・ダンサー）に委嘱した作品『マンガ・プロジェクト』の3都市巡回公演。大塚弘樹（漫画家）が参加
11	ダンススペース・プロジェクト (Danspace Project)	米国	ニューヨーク	ダンススペース・プロジェクト	2009. 12. 17 ~ 2009. 12. 19	山崎広太（振付家・ダンサー）率いるFluid hug-hug が、菅谷昌弘（作曲家）、セシル・ピトワ (Cecile Pitois)（ヴィジュアル・アーティスト）らと新作 (Personal or Visionary Aspects of ) Fishing を共同制作
12	アジア・ソサエティ	米国	ニューヨーク	バリシニコフ・アート・センター	2010. 01. 10 ~ 2010. 01. 30	村上春樹原作の小説『ねじまき鳥クロニクル』を、日米共同制作演劇作品として、映像テクノロジーを駆使しながら舞台化。演出は映像作家でもあるスティーブ・アーンハート (Stephen Earnhart)
13	ハワイ大学財団	米国	カレッジ・ステーション ホノルル ホノルル ホノルル	テキサスA&M大学ラダー講堂 ハワイ大学オービス講堂 イースト・ウエストセンター日本庭園 ハワイ大学オービス講堂	2010. 03. 03 2010. 03. 06 2010. 03. 07 2010. 03. 10	三木稔が創設した邦楽器を中心とする楽団「オーラJ」によるハワイ・テキサス巡回公演
14	ヤラ・アーツ・グループ (Yara Arts Group)	日本	東京	西川古柳座	2010. 03. 16 ~ 2010. 03. 29	西川古柳（八王子車人形五代目家元）とトム・リー (Tom Lee)（演出家）による伝統と現代を反映した人形劇の共同制作。英語による語り手と日米ほかの人形遣いたちが参加

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (4) 海外公演 (PAJ欧州・助成)

日本の優れた舞台芸術を紹介しようとする欧州の文化芸術関連団体のみを申請資格者として、欧州内で公募を行う助成プログラム。欧州内における地域的偏りのない巡回公演事業(教育・研修機会を含む)の拡大、日欧の舞台芸術家による共同制作の推進が目的。

合計額 23,269,787 円

	助成対象機関	実施国	都市	会場	期間	事業内容
1	Dans sans Joux	英国	ロンドン	Brunel University	2009.04.01 ~ 2010.06.30	ミクスト・メディア・ダンス。舞踊評論家の吉田悠樹彦を中心に、デジタル・インターフェイスやネットワークを使用することで遠隔参加も可能な身体表現の研究。パフォーマーや作品参加者間の相互作用、交流を目指し、着脱可能なデバイス等を用いた身体ワークショップやパフォーマンスを実施
2	The Dartington Hall Trust	英国	ダーティントン	ダーティントン・ホール	2009.08.15 ~ 2009.08.27	ダーティントン国際音楽サマー・スクールにて、音楽学生を対象に現代音楽家の佐藤聡明が自身の作曲法や日本の音楽史をひもときながら和楽器や奏法、作曲法等の紹介を行うレクチャー、ワークショップ。その成果の新曲コンサートを学生とともに上演。(野村四郎(観世流シテ方)、沢和樹(バイオリン)、松下功(作曲)も同サマー・スクールに講師として参加)
3	Dance City	英国	ニューカースル・アポン・タイン	Dance City	2009.09.23 ~ 2009.10.01	コンテンポラリーダンス。ダンサー／振付家伊藤キムによるダンス・ワークショップ。子供から高齢者まで幅広い年代層を対象に、3週間にわたる継続的なワークショップを実施
4	Japan Society	英国 アイルランド 英国 フランス	ロンドン ダブリン オックスフォード パリ	クイーン・エリザベス・ホール トリニティ大学サミュエル・ベケット劇場 オライリー劇場 パリ日本文化会館	2009.12.02 ~ 2009.12.03 2009.12.05 2009.12.07 ~ 2009.12.08 2009.12.09 ~ 2009.12.10	能楽。喜多流大島家(広島)の『清経』の上演と、英アーティスト作のコラボレーション現代能『PAGODA』の上演。SOAS(ロンドン大学東洋アフリカ研究所)でワークショップ、大英図書館、在ダブリン大使館、在英大使館でレクチャーデモンストレーションも実施
5	Festival d'Automne a Paris	フランス フランス イタリア フランス フランス	リヨン パリ レッジョ・ネッレミリア タルブ トゥールーズ	メゾン・ド・ラ・ダンス シャイヨー国立劇場 ロモロ・ヴァリ劇場 ル・パルヴィ 振付開発センター	2009.05.14 ~ 2009.05.16 2009.10.07 ~ 2009.10.10 2009.10.15 2010.01.30 2010.02.03 ~ 2010.02.04	コンテンポラリーダンス。勅使川原三郎ソロ最新作『ミロク(Miroku)』の欧州巡回公演。パリ・フェスティバル・ドートンヌ(フランス)、レッジョ・エミリア(イタリア)のフェスティバル等にて上演

舞台芸術事業費

	助成対象機関	実施国	都市	会場	期間	事業内容
6	Interarts Riviera SA	フランス イタリア イタリア スイス	パリ ミラノ トリノ ジュネーヴ	サル・プレイエル オーディトリウム・アルチンボルディ オーディトリウム・リンゴット Teatro Girlo Felice	2009. 09. 19 2009. 09. 21 2009. 09. 23 2009. 09. 25	伶楽舎による雅楽の欧州4都市巡回公演。ミラノではMITO音楽祭にて上演
7	DACM_Giséle Vienne	フランス	ブレスト	Le Quartz-Scène nationale de Brest	2009. 10. 26 ~ 2010. 04. 20	ミクスト・メディア・ダンス。仏マリオネット・アーティスト/振付家ジゼル・ヴィエンヌとメディア・アーティスト高谷史朗(ダムタイプ/映像インスタレーション、舞台美術)が美の知覚をテーマとするコラボレーション作品を創作。日欧のアーティスト、音楽家が出演
8	Centre Choregraphique National d'Orleans	フランス	パリ オルレアン	パリ日本文化会館 Theatre d'Orleans	2009. 11. 19 ~ 2009. 11. 28 2009. 12. 03 ~ 2009. 12. 04	大駱駝艦の若手「壺中天」による舞踏作品『血』等の上演。仏オルレアン国立振付センターではTraversesフェスティバルに参加
9	Centre National de Danse Contemporaine - Angers	フランス	アンジェ ヴェルサイユ パリ	Le Quai ヴェルサイユ宮殿 Chapelle des Recollets	2009. 11. 25 ~ 2009. 12. 01 2009. 12. 04 ~ 2009. 12. 05 2009. 12. 10 ~ 2009. 12. 13	コンテンポラリーダンス。仏アンジェ国立現代舞踊センター芸術監督/振付家のエマニュエル・ユインと日本人華道家奥平清鳳(石草流)によるコラボレーション作品『SHINBAI』。華道の花型法‘立花(りっか)’をテーマに、舞台上で生け花と身体のムーブメントを同時に展開する。2009年秋にアンジェ初演後、パリ・フェスティバル・ドートンヌにて上演
10	Theâtre de Gennevilliers	フランス ベルギー スイス	ジュヌヴィリエ ブリュッセル ジュネーヴ	ジュヌヴィリエ劇場 Theatre les Tanneurs Theatre du Grutli	2010. 01. 08 ~ 2010. 02. 09 2010. 09. 30 ~ 2010. 10. 02 2010. 10. 05 ~ 2010. 10. 06	現代演劇。平田オリザが推薦する若手日本人演出家3名(多田淳之介、吉田小夏、佐々木透)と仏ジュヌヴィリエ劇場の芸術監督パスカル・ランベールが、ランベールの戯曲 <i>Une (Micro) histoire économique du monde, dansée</i> の共同制作を実施。日仏両国での公演に先立ち、フランスにてワークショップ、リハーサル

舞台芸術事業費

	助成対象機関	実施国	都市	会場	期間	事業内容
11	La Compagnie de la Mauvaise Graine	フランス	カーン	コメディイ劇場	2010.01.13 ~ 2010.01.14	現代演劇。ミシェル・ヴィナヴェール原作・平田オリザ翻案／アルノ・ムニエ共同演出『鳥の飛ぶ高さ』を青年団とフランスの役者が上演。フランス都市巡回公演
			サン・カンタン・アン・イヴリン	サン・カンタン・アン・イヴリン劇場	2010.01.19 ~ 2010.01.22	
			ル・ブラン・メニル	フォーラム	2010.01.25 ~ 2010.01.26	
			リヨン	ポワン・ドゥ・ジュール劇場	2010.01.27 ~ 2010.01.31	
			パリ	パリ市立劇場	2010.02.03 ~ 2010.02.08	

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (5) 国際舞台芸術共同制作

海外の舞台関係者と日本側が、海外または日本において共同で作品を制作し公演を実施する。

合計額 18,208,637 円

	事業名	対象国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	日インドネシア現代舞踊『ガリババの不思議な世界』	インドネシア	ジャカルタ スラカルタ ジョクジャカルタ ジャカルタ	Teater Salihara インドネシア芸術大学スラカルタ校 Taman Budaya Taman Ismail Marzuki	クローラ財団 (Kelola Foundation) パパ・タラフマラ	2009.04.18 ~ 2009.04.19 2009.04.22 ~ 2009.06.03 2009.06.07 2009.06.10 ~ 2009.06.11	パパ・タラフマラ、クローラ財団の共催による、日本・インドネシア共同制作舞踊作品『ガリババの不思議な世界』公演を実施。小池博史 (パパ・タラフマラ主宰) が脚本・振付・演出を担当し、パパ・タラフマラのダンサー2名と、インドネシアのダンサー、影絵芝居やガムラン音楽他伝統芸能継承者総勢13名が出演。『三人姉妹』のジャカルタ公演の後、スタッフも日本とインドネシアから参加してソロにて制作にあたり、ジョグジャカルタとジャカルタで上演
2	日タイ現代舞踊『コウカシタ』	タイ	チェンマイ バンコク	チェンマイ大学 パトラワディー劇場	チェンマイ大学芸術学部 パトラワディーシアター フェスティバル/トーキョー実行委員会	2010.01.24 2010.01.29	平成20年度フェスティバル/トーキョーにて初演した日・タイ共同制作舞踊作品『コウカシタ』のタイ公演をバンコクとチェンマイにて実施
3	日トルコ現代演劇	トルコ	イスタンブール		Istanbul International Contemporary Dance Festival (iDANS)	2009.10.20 ~ 2010.10.27	トルコとの共同制作の可能性を探る調査を実施

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (6) 国内公演 (主催)

日本国内においてあまり知られていない国・地域の舞台芸術・芸能を、主催又は共催により日本に紹介する。

合計額 13,615,848 円

	事業名	対象国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	バルカン室内管弦楽団日本公演 (平和協力国家・日本)	コソボ セルビア マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	東京	第一生命ホール	ロータリークラブ (東京杉並・東京城西・東京城南)	2009.10.30 ~ 2009.11.10	コソボ・フィルハーモニー首席指揮者・柳澤寿男が、バルカン地域における民族の共栄、音楽水準の向上、コンフィデンス・ビルディングを目的に設立した、アルバニア・マケドニア・セルビアの3民族による「バルカン室内管弦楽団」を日本に招へいし、東京で公演。演目は、『弦楽のためのレクイエム』(三枝成彰委嘱作曲)、『ルーマニア民族舞曲』(バルトーク)他。ヴァイオリンに漆原啓子、ピアノに吉村美華子、司会進行に星野知子が出演。東京のロータリークラブとの共催

2. 催し等事業費 / (7) 舞台芸術情報交流 (催し)

国内外の舞台芸術団体、プレゼンター、フェスティバル実施団体、劇場、地方公共団体間の情報交流促進を図る。

合計額 36,926,675 円

	事業名	氏名	現職	対象国	共催機関	期間	事業内容
1	2009国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ (キジムナーフェスタ) 国際シンポジウム	キム・ビョンホ ユ・ロンジュン ユウ・チュンカウ ウォルフガング・シュナイダー イベット・ハーディ ホープ・アゼダ	アシテジ韓国 会長 上海国際フェスティバル チーフディレクター マカオ文化センター プロデューサー アシテジ・インターナショナル 会長 アシテジ・インターナショナル 財務担当 アシテジ・インターナショナル 理事	韓国 中国 中国 ドイツ 南アフリカ ルワンダ	国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ実行委員会<キジムナーフェスタ実行委員会>	2009.08.04 ~ 2009.08.06	国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ<キジムナーフェスタ>は、市民と多くの国々の人々との交流を通じて、沖縄の伝統である「イチャリバチョーデー」(一度会ったら人は皆兄弟)の精神を世界の人々と共有し、子供たちとともに平和な世界への歩みをすすめるという目的を掲げ、2005年以来毎年開催されている。世界各地から演劇関係者が参集するこの機会をとらえ、止むことのない紛争や、子どもたちをめぐる問題など、世界の人々が共通して抱える緊急で困難な課題に対して、子どものための芸術文化にかかわる私たちにどんな役割があるのか、また何ができるのかを国境を超えて議論した



舞台芸術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	共催機関	期間	事業内容
2	アジア舞台芸術制作者会議	木村 典子 滝口 健 高山 りさ 並河 沙耶 松井 憲太郎	舞台芸術制作者 研究者 舞台芸術制作者 舞台芸術制作者 プロデューサー	韓国 シンガポール フィリピン 全世界区分困難 全世界区分困難		2010.03.27 ~ 2010.03.28	平成20年度東京芸術見本市の関連企画として、「舞台芸術制作者ネットワーク会議」(主催:国際交流基金、国際舞台芸術交流センター、助成:文化庁、セゾン文化財団)を開催したが、この会議のフォローアップ事業として、参加者間のネットワークから具体的なプロジェクトを生み出すべく、マレーシアにおいて「アジア舞台芸術制作者会議」を開催したもの。日本からの参加者に加え、シンガポール、インドネシア、インドからも参加者を得た
3	アジア劇作家会議2009	ジョネッド・スリヤトモコ (Joned Suryatmoko) フジール・スライマン (Huzir Sulaiman) ラエタ・ピンゾン・ブゴイ (Layeta Pinzon Bucoy) グエン・トゥー・フォン (Nguen Thu Phuong)	劇作家 劇作家 劇作家 劇作家	インドネシア シンガポール フィリピン ベトナム	特定非営利活動法人劇場創造ネットワーク	2009.12.16 ~ 2009.12.19	招へいした劇作家フジール・スライマン、ラエタ・ピンゾン・ブゴイ、グエン・トゥー・フォン、ジョネッド・スリヤトモコの4名に、日本の作家、鄭義信の作品を加えたアジアの劇作家5人による戯曲リーディング、劇作家自身によるスピーチやセッションを通じ現代の「アジア」、新しい世界の枠組みについて考える企画。会議への参加者は、レイモンド・コルテーズ(オーストラリア)を加えた計6名
4	カルコン・フォローアップ関連フォーラム 舞台芸術セッション	Angela Mattox Charles R. Helm Martin Wollesen Velina Hasu Houston	Perfomring Arts Curator, Yerba Buena Center for the Arts Director of Performing Arts, Wexner Center for the Arts Director, University Events Office, UC San Diego Professor of Theatre, University of Southern California	米国 米国 米国 米国		2010.02.28 ~ 2010.03.06	カルコンのフォローアップ関連フォーラム事業として、日米の舞台芸術交流を一層促進するため、両国関係者が有するネットワークを紹介、今後の交流のあり方について議論。米国より、カルコン委員のヴェリナ・H・ヒューストン、及び公募助成プログラム「パフォーマンス・アーツ・ジャパン北米」の委員3名を招へい。日本側より内野儀(東京大学大学院教授)、坂手洋二(劇団『燐光群』主宰)、久野敦子(セゾン文化財団プログラム・ディレクター)、立木燁子(舞踊評論家)ほか参加

舞台芸術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	共催機関	期間	事業内容
5	シンポジウム「日本文化と『マダム・バタフライ』」	ドナルド・キーン フランコ・モレッティ 岡村 喬生 立花 隆	コロンビア大学 名誉教授 プッチーニフェスティバル財団 総監督 NPO法人みんなのオペラ芸術監督 ジャーナリスト	米国 イタリア 全世界区分困難 全世界区分困難	特定非営利活動法人みんなのオペラ	2009. 10. 31 ～ 2009. 11. 01	オペラ『マダム・バタフライ（蝶々夫人）』における日本人像誤認を正した改訂版制作を手がけるオペラ歌手、岡村喬生が中心となって企画する、オペラを通じた西洋の日本理解の変遷をテーマとしたシンポジウム「日本文化と『マダム・バタフライ』～新国際版・世界初演に期待して～」の開催を支援。パネラーはドナルド・キーン、立花隆ほか
6	東京芸術見本市2010			全世界区分困難	財団法人地域創造 特定非営利活動法人国際舞台芸術交流センター(PARC)	2010. 03. 01 ～ 2010. 03. 04	日本の舞台芸術に関する情報を海外へ発信するとともに、内外の舞台芸術関係者間の交流を促進する。地域創造、国際舞台芸術交流センターと共催
7	伝統演劇の海外公演に関する研究会	坂部 裕美子 森西 真弓 竹本 幹夫 鳥越 文蔵	統計情報研究開発センター 研究員 大阪樟蔭大学教授／『上方芸能』編集長 早稲田大学演劇博物館 館長 特定非営利活動法人文楽座 理事長	全世界区分困難		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	外国人がどのように日本の伝統芸能に興味を持ちどのようにそれを受容しているかについて調査し、今後の国際文化交流振興・促進に生かすため、日本の伝統芸能の海外公演がもたらす影響と意義に関する研究を、歌舞伎、能に引き続き、今回は文楽に関して行う。文楽ロシア公演等のケーススタディ及び資料分析を実施
8	舞台芸術ウェブサイト			全世界区分困難		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	日本の現代舞台芸術情報を海外に発信する、日英2カ国語によるウェブサイト「Performing Arts Network Japan」を運営。アーティスト・インタビュー、戯曲紹介、データベース等を通じて最新状況を紹介し、舞台芸術分野における国際交流の活性化に寄与。また、19年度発行の英文ガイドブック THEATER IN JAPANを増刷

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (8) 市民青少年交流 (助成) [舞台芸術]

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 5,790,000 円

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
1	日比国際平和演劇祭	フィリピン	バギオ	バギオ市バギオ・コンベンション・センター	日比国際平和演劇祭実行委員会日本支部	2009.04.01 ~ 2009.09.03	日本とフィリピンの事実上の終戦記念日である9月3日が、バギオ市制100周年にあたる2009年に「日比フレンドシップ・デイ」に指定されることを受け、およそ100年前に始まった日本人移民労働者とフィリピン人との交流の歴史を両国の市民参加による演劇作品として共同制作し、同記念日に上演
2	第3回コーディネエラ・ユース・エコサミット	フィリピン	マンカヤン バンゲット バギオ バギオ	レパントCPJ劇場 Divine Word College Gym バギオ市VOCAS フィリピン大学バギオ校講堂	NPO cwp	2010.01.22 ~ 2010.01.23 2010.01.25 ~ 2010.01.26 2010.01.31 2010.02.02	森林破壊の著しいフィリピン北部山岳地方の環境保全に対する若者たちの意識を向上させるための環境&アート・イベント。山岳民族の高校生によるコミュニティ演劇の上演、環境写真展、コンサートがイベントの柱。日本人参加者は、日比の環境問題に関心の高いアーティストによるコンサート、環境教育ワークショップなどに参加
3	ニューオリンズ支援日米ジャズ交流	米国	ニューオリンズ	サッチモ・サマーフェスト・メイ・ステージ セントオーガスチン教会 ルイ・アームストロング公園 養老院クリストファーイン	日本ルイ・アームストロング協会	2009.07.30 ~ 2009.08.04	1998年以降の継続事業。「外山喜雄とディキシーセイント」がニューオリンズを訪問、ジャズの街に暮らしながら貧困のため楽器に触れる機会に乏しい青少年たちが通う学校に楽器を寄贈するとともに、同校やジャズ祭などで演奏。現地の楽団や青少年との共演、地元住民を交えての交流会なども行い、親善と交流を深める

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
4	豊橋青少年国際音楽交流事業	米国	トリード	トリード市立パウジャー高校体育館  トリード市立スタート高校コンサートホール  トリード日本人補習校講堂  トリード美術館ペリスタイルホール  ヒルトン・ガーデンイン トリード / ペリズバーグ	豊橋ユースオーケストラ	2010.03.26  2010.03.27  2010.03.27  2010.03.28  2010.03.28	豊橋市と姉妹都市である米国オハイオ州トリード市との姉妹都市提携10周年を記念して、次代を担う青少年の国際交流の意識醸成を図る一環として、同世代の当地の青少年との合同演奏など音楽を通じた体験交流を実施
5	日本・オーストリア交流年2009 ウィーン平和モニュメントプロジェクト	オーストリア	ウィーン	ウィーン国連事務局ロビー  ウィーン市16区役所ホール  ウィーン市16区役所ホール前広場  在オーストリア大使館講堂	広島オーストリア協会	2009.10.23 ~ 2009.10.28	日本・オーストリア交流年2009にちなみ、世界平和を願いウィーン市内に広島の被爆御影石を使用した平和モニュメントを設置するとともに、琴、琵琶、篠笛等の日本の伝統楽器によるミニコンサートなどを通じてウィーン市民と交流
6	日本デンマーク和太鼓交流	デンマーク	ヘルシンゲ  ポータレン  コペンハーゲン  コペンハーゲン  コペンハーゲン	グリブスク・カルチャー  屋内コンサート  バルブースクール  ジャズハウス  サンクト・アネ学校	和太鼓 満月 (みづき)	2009.09.20  2009.09.21  2009.09.21  2009.09.22  2009.09.23	和太鼓を通じデンマークの和太鼓グループと交流。コンサート、ワークショップを実施

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 映像出版事業費

### 1. 催し等事業費

- (1) 海外日本映画祭（主催）
- (2) 海外日本映画祭（助成）
- (3) 外国理解促進国内映画祭（主催）
- (4) 映像出版情報交流（催し）

### 2. 催し等事業費（ポップカルチャー）

- (1) 国際漫画賞
- (2) アニメ文化大使

### 3. 文化資料事業費

- (1) テレビ番組交流促進
- (2) フィルムライブラリー充実（本部）
- (3) フィルムライブラリー充実（海外）
- (4) 国際図書展参加
- (5) 映像出版情報交流（文化資料）

### 4. 日本研究事業費

- (1) 日本理解促進映画・テレビ番組制作（助成）
- (2) 日本理解促進出版・翻訳（助成）

映像出版事業費

1. 催し等事業費 / (1) 海外日本映画祭 (主催)

在外公館や国際交流基金海外事務所等が実施する日本映画上映事業への協力を行う。

合計額 42,355,879 円

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
1	日本映画のペルソナ、浅野 忠信 特別展	韓国	ソウル日本文化センター	2009.11.12 ~ 2009.11.29	浅野忠信出演作品『ユメノ銀河』『バタアシ金魚』『サッド ヴァケイション』『アカルイミライ』等、計22作品を上映。また塩田時敏(ゆうばり国際ファンタスティック映画祭プログラマー)の講演会も開催
2	第3回日本映画週間	モンゴル	在モンゴル大使館	2010.01.27 ~ 2010.01.31	『ちびまる子ちゃん(大野君と杉山君)』『ナイン・ソウルズ』『AKIRA』他計5作品を上映
3	第11回ジャカルタ国際映画祭	インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	2009.12.04 ~ 2009.12.13	第11回ジャカルタ国際映画祭にて、『おくりびと』を上映
4	日本映画祭2009	シンガポール	在シンガポール大使館	2009.08.25 ~ 2009.08.30	『祀』『盲獣』『HOUSE ハウス』『鬼婆』『東海道四谷怪談』の5作品を上映
5	日本映画祭2010 Emerging Japanese Female Directors/女性監督特集	タイ	バンコク日本文化センター	2010.03.04 ~ 2010.03.07	『めがね』『ジャーマン+雨』『犬猫』『百万円と苦虫女』等、日本の女性監督映画、計7作品を上映。また横浜聡子(映画監督)のトークも実施
6	日本映画祭 Eiga-sai 2009	フィリピン	マニラ日本文化センター	2009.07.02 ~ 2009.08.20	『嫌われ松子の一生』『トニー滝谷』『明日の記憶』『かもめ食堂』『ALWAYS 三丁目の夕日』他、計8作品をマニラ、ダバオ、セブ、バギオの4都市で巡回上映
7	日本映画祭	ベトナム	在ベトナム大使館	2009.11.07 ~ 2009.11.29	『東京タワー』『ALWAYS 三丁目の夕日』『どら平太』『魂萌え!』他、計6作品をハイフォン、ハノイ、ホーチミンの3都市で巡回上映
8	日本映画祭2009	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2009.06.16 ~ 2009.06.28	『ALWAYS 続・三丁目の夕日』『あしたの私のつくり方』『深呼吸の必要』『包帯クラブ』他、計8作品をクアラルンプール、スランゴール、ペナンの3都市で巡回上映
9	日本映画祭	ミャンマー	在ミャンマー大使館	2009.12.10 ~ 2009.12.20	『二人日和』『blue』『深呼吸の必要』『あの夏、一番静かな海』の4作品をヤンゴン、マンダレーの2都市にて上映
10	インド巡回日本映画祭	インド	在チェンナイ総領事館	2009.11.16 ~ 2010.02.05	成瀬巳喜男監督作品『おかあさん』『放浪記』『山の音』『夫婦』『乱れ雲』の5作品をコルカタ、ムンバイ、コラプール、トリヴァンドラム、デリー、チェンナイの6都市で巡回上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
11	第13回オーストラリア巡回日本映画祭	オーストラリア	シドニー日本文化センター 在オーストラリア大使館 在パース総領事館 在ブリスベン総領事館 在メルボルン総領事館	2009. 10. 08 ～ 2009. 12. 08	『河童のクゥと夏休み』『夕風の街 桜の国』他、計21作品をパース、ブリスベン、ホバート、キャンベラ、シドニー、メルボルンの6都市で巡回上映
12	日本映画祭（オークランド）	ニュージーランド	在オークランド総領事館	2009. 11. 16 ～ 2009. 11. 20	『東京物語』他、計5作品を上映
13	ウェリントン日本映画祭	ニュージーランド	在ニュージーランド大使館	2010. 03. 01 ～ 2010. 03. 05	『明日の記憶』『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』『河童のクゥと夏休み』他、計5作品を上映
14	日本映画祭	ミクロネシア	在ミクロネシア大使館	2009. 10. 07 ～ 2009. 10. 10	『ウォーターボーイズ』『ALWAYS 三丁目の夕日』『たそがれ清兵衛』『バッテリー』を上映
15	カナダ巡回日本映画祭	カナダ	在モントリオール総領事館 トロント日本文化センター 在カナダ大使館 在カルガリー総領事館 在バンクーバー総領事館	2009. 09. 29 ～ 2009. 12. 13	『空中庭園』『かもめ食堂』『ALWAYS 三丁目の夕日』『いつか読書する日』をバーノン、レスブリッジ、カルガリー、オタワ、モントリオール、ハリファックス、ハミルトン、トロントの8都市で上映
16	リトル東京日本映画祭	米国	ロサンゼルス日本文化センター 日米文化会館	2009. 12. 20	『青い山脈』他を各1回上映
17	中西部大学巡回日本映画祭	米国	オークランド大学 カンザス大学 ウィスコンシン大学 ウェスタン・ミシガン大学 ニューヨーク日本文化センター	2010. 01. 20 ～ 2010. 03. 10	『時をかける少女』『ALWAYS 三丁目の夕日』『それでもボクはやってない』『嫌われ松子の一生』をウェスタン・ミシガン大学、ウィスコンシン大学、カンザス大学、オークランド大学の中西部4大学で各1回上映
18	「自然との共生」	米国	在シカゴ総領事館 在米国大使館	2010. 02. 05 ～ 2010. 03. 12	米国主要都市向け文化集中発信事業の一環として、シカゴ及びワシントンD.C.で『里山っ子たち』『ミヨリの森』等、自然との共生をテーマとした日本映画を4作品(ワシントンD.C.は2作品)上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
19	中南米巡回「日本映画名作特集」	メキシコ	メキシコ日本文化センター	2009.09.01 ~ 2009.09.27	『無法松の一生』『ニンゲン合格』『DEAD OR ALIVE 犯罪者』『ファンシイダンス』『山椒大夫』『人間蒸発』『東京物語』『浮雲』他、等計17作品を各2回上映
20	中南米巡回「日本映画名作特集」	アルゼンチン	在アルゼンチン大使館	2009.07.15 ~ 2009.08.01	『浮雲』『山椒大夫』『地獄門』『隠し砦の三悪人』『無法松の一生』『切腹』『人間蒸発』『柳生一族の陰謀』『人間の条件』三部作『ファンシイダンス』他、計16作品を上映
21	中南米巡回「日本映画名作特集」	エクアドル	在エクアドル大使館	2009.10.21 ~ 2009.11.01	『無法松の一生』『ニンゲン合格』『DEAD OR ALIVE 犯罪者』『ファンシイダンス』『HANA-BI』『人間蒸発』『東京物語』『浮雲』他、計13作品を上映
22	アニメ映画週間	ブラジル	在マナウス総領事館	2009.11.07 ~ 2009.11.08	アニメ作品(16mm)『銀河鉄道999』『火の鳥2772・愛のコスモゾーン』を各2回、計4回上映
23	日本現代アニメ映画祭	ボリビア	在ボリビア大使館	2009.10.01 ~ 2009.10.14	『ガラスのうさぎ』『沈黙の艦隊』『ちびまる子ちゃん 大野君と杉山君』『攻殻機動隊』を上映
24	日本映画祭	アイスランド	在アイスランド大使館	2009.10.06 ~ 2009.10.10	『キッズ・リターン』『ナビィの恋』『アカルイミライ』『かもめ食堂』『時をかける少女』の計5作品を上映
25	日本映画祭2009	アイルランド	在アイルランド大使館	2009.10.30 ~ 2009.11.22	『運命じゃない人』『下妻物語』他、計8作品を上映
26	パリ・ローマ アニメ上映会	イタリア フランス	ローマ日本文化会館 パリ日本文化会館	2009.07.02 ~ 2009.07.07	ポップカルチャー総合事業の一環として実施。 『バスカッシュ!』第1話・第2話、『鋼の錬金術師 FULLMETAL ALCHEMIST』第1話・第2話、『名探偵コナン』(第515話)、『宮本武蔵-双剣に馳せる夢-』、劇場版『交響詩篇エウレカセブン ポケットが虹でいっぱい』を上映。また、『エウレカセブン』の京田知己(監督)、南雅彦(プロデューサー)、『バスカッシュ!』の河森正治(プロジェクト・ディレクター)、『宮本武蔵-双剣に馳せる夢-』の西久保瑞穂(監督)、石川光久(プロデューサー)を派遣し、上映に際してトークを実施
27	ロカルノ国際映画祭 マンガインパクト ラウンドテーブル	イタリア	ロカルノ国際映画祭	2009.08.05 ~ 2009.08.15	日本アニメの特集上映を開催。『長靴をはいた猫』『サイボーグ009』『銀河鉄道999』『カムイの剣』等9作品のほか、日本のアニメ約180作品を上映。また、監督等アニメーション関係者5名を招へいし、セミナーやワークショップも開催
28	市川 崑監督特集	イタリア	ローマ日本文化会館	2009.10.13 ~ 2009.12.17	『こころ』『日本橋』『処刑の部屋』『鍵』『ぼんち』『私は二歳』『雪之丞変化』『破壊』『大洋州ひとりぼっち』『吾輩は猫である』『細雪』『野火』他、市川崑監督の14作品を上映



映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
29	女性監督特集	イタリア	ローマ日本文化会館	2009.11.01 ~ 2010.03.31	『恋文』『乳房よ永遠なれ』『につつまれて』『かたつもり』『ガラスのうさぎ』『かもめ食堂』『めがね』他、計10作品を上映
30	英国巡回日本映画祭 GIRLS ON FILM: Females in Contemporary Japanese Cinema	英国	ロンドン日本文化センター	2010.02.01 ~ 2010.03.31	『かもめ食堂』『ジャーマン+雨』『明日の私の作り方』『14歳』他、計6作品をロンドン、ブリストル、ベルファースト、シェフィールド、エジンバラで巡回上映
31	「ノーチェ エン ブランコ」における日本映画上映会	スペイン	マドリード日本文化センター	2009.09.20	山田洋次監督の『学校』『学校Ⅱ』『学校Ⅲ』を上映
32	1969!日本ヌーベルバーグと松本俊夫	ドイツ	ケルン日本文化会館	2009.05.07 ~ 2009.07.27	『修羅』『薔薇の葬列』『神々の深き欲望』『盲獣』『エロス+虐殺』『愛の渇き』『心中天網島』『初恋・地獄篇』『新宿泥棒日記』『ゆけゆけ2度目の処女』の計10作品を上映。松本俊夫監督の講演会も実施
33	ポップ映画上映会	ドイツ	ケルン日本文化会館	2009.09.03 ~ 2009.12.17	『時をかける少女』『マインド・ゲーム』『回路』『害虫』『バッテリー』『GO』『MONDAY』『包帯クラブ』『あしたの私の作り方』『14歳』『神童』『かもめ食堂』他、計14作品を上映
34	現代日本ドキュメンタリー映画上映会	ドイツ	ケルン日本文化会館	2010.01.01 ~ 2010.03.31	『阿賀の記憶』『海女のリャンさん』『元始、女性は太陽であった 平塚らいてうの生涯』他、計11作品を上映
35	日本映画史を作った大手映画会社シリーズ3「東映の歴史特集：量産の中から芽生える作家性」	フランス	パリ日本文化会館	2010.02.01 ~ 2010.02.28	『血槍富士』『暎の母』『大菩薩峠 第1部、第2部、完結編』『鬼龍院花子の生涯』『狼と豚と人間』他、計26本を上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
36	東欧巡回日本映画祭	ギリシャ スロベニア セルビア ポーランド ルーマニア スロバキア クロアチア リトアニア ラトビア ブルガリア フィンランド チェコ ボスニア・ヘルツェゴビナ マケドニア旧ユーゴスラビア共和国 ハンガリー	在ギリシャ大使館 在スロベニア大使館 在セルビア大使館 在ポーランド大使館 在ルーマニア大使館 在スロバキア大使館 在クロアチア大使館 在リトアニア大使館 在ラトビア大使館 在ブルガリア大使館 在フィンランド大使館 在チェコ大使館 在ボスニア・ヘルツェゴビナ大使館 在マケドニア旧ユーゴスラビア大使館 ブダペスト日本文化センター	2009. 04. 27 ～ 2009. 04. 29 2009. 06. 03 ～ 2009. 06. 09 2009. 06. 18 ～ 2009. 06. 23 2009. 07. 06 ～ 2009. 07. 12 2009. 07. 21 ～ 2009. 07. 22 2009. 09. 11 ～ 2009. 09. 13 2009. 09. 28 ～ 2009. 10. 07 2009. 10. 16 ～ 2009. 10. 22 2009. 10. 29 ～ 2009. 11. 01 2009. 11. 08 ～ 2009. 11. 15 2009. 12. 04 ～ 2010. 12. 10 2010. 01. 22 ～ 2010. 01. 31 2010. 02. 17 ～ 2010. 02. 23 2010. 03. 04 ～ 2010. 03. 10 2010. 03. 25 ～ 2010. 03. 31	『下妻物語』『半落ち』『カナリア』『ハッシュ!』『運命じゃない人』『空中庭園』『パッチギ!』の7作品を上映
37	第11回日本映画市川 崑監督レトロスペクティブ	ロシア	在ロシア大使館	2009. 09. 29 ～ 2009. 11. 14	『どら平太』『つる一鶴』『細雪』『炎上』他、計14作品を上映
38	第43回日本映画祭（モスクワ）	ロシア	在ロシア大使館	2009. 11. 12 ～ 2009. 11. 17	『河童のクゥと夏休み』『魂萌え!』『ALWAYS 続・三丁目の夕日』等計7作品を各2回上映した他、オープニング上映を含め計15回上映
39	第43回日本映画祭（サンクトペテルブルク）	ロシア	在サンクトペテルブルク総領事館	2009. 12. 04 ～ 2009. 12. 11	『魂萌え!』『ミヨリの森』『明日の記憶』『エンドコール』を各1回、『河童のクゥと夏休み』『サイドカーに犬』『ALWAYS 続・三丁目の夕日』を各2回上映
40	マスカット・インターナショナル・フィルムフェスティバル	オマーン	在オマーン大使館	2010. 03. 13 ～ 2010. 03. 20	『きみの友だち』を上映
41	エジプトにおける日本映画祭	エジプト	カイロ日本文化センター	2010. 02. 14 ～ 2010. 02. 18	『パッチギ!』『トニー滝谷』『回路』『下妻物語』『運命じゃない人』の5作品を各2回上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
42	カンパラ日本映画祭	ウガンダ	在ウガンダ大使館	2010. 01. 29 ～ 2010. 01. 31	『二人日和』『リンダ リンダ リンダ』『卓球温泉』の3作品を各2回上映
43	日本映画祭	南アフリカ	在南アフリカ大使館	2010. 02. 25 ～ 2010. 03. 21	『リンダ リンダ リンダ』『卓球温泉』その他計3～7作品をプレトリア、ダーバン、ケープタウン、ヨハネスブルグの4都市で、1都市につき計5～8回上映

1. 催し等事業費 / (2) 海外日本映画祭 (助成)

海外の国際映画祭、芸術祭、映画専門団体が企画・実施する日本映画上映事業を助成する。

合計額 24,857,666 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	第11回ソウル国際青少年映画祭	韓国	ソウル国際青少年映画祭組織委員会	2009. 07. 09 ～ 2009. 07. 15	『青い鳥』『おっぱいバレー』『HOUSE』『さびしんぼう』『漂流教室』他、計10作品を上映
2	ソウル国際漫画・アニメーションフェスティバル2009	韓国	ソウル国際漫画アニメーション・フェスティバル組織委員会	2009. 07. 22 ～ 2009. 07. 26	日本メディアアーツフェスティバルやノイタミナなどのプログラムで、短編映画他を多数上映
3	80年代日本ニューウェーブ特別展	韓国	韓国シネマテーク協議会	2009. 09. 18 ～ 2009. 10. 01	『セーラー服と機関銃』『家族ゲーム』『それから』『二十世紀少年読本』『その男、凶暴につき』他、計11作品を上映
4	第3回ピンク映画祭	韓国	エスパーク	2009. 11. 05 ～ 2009. 11. 11	『ぼくらの季節』『神田川淫乱戦争』他、日本のピンク映画を計10作品上映。坂本礼、田尻裕司ほか、計8名の監督などゲストを招へいしシンポジウムを開催
5	『男はつらいよ』40周年記念ベストオブ寅さん	韓国	映画社ジンジン	2009. 11. 14 ～ 2009. 11. 25	『男はつらいよ』(山田洋次監督)シリーズの中から10作品を上映
6	第33回香港国際映画祭	中国	香港国際映画祭協会	2009. 03. 22 ～ 2009. 04. 13	『歩いても 歩いても』『愛のむきだし』『その木戸を通して』『アキレスと亀』他、計17作品を上映。また映画人等を多数招へい
7	第6回中国ドキュメンタリー映画祭	中国	栗憲庭電影基金	2009. 05. 24 ～ 2009. 05. 30	土本典昭監督作品『ある機関助手』『不知火海』『水俣一患者さんとその世界』他、計7作品を特集上映。また土本基子、石坂健治などの映画関係者5名を招へいしてシンポジウムを開催
8	第22回シンガポール国際映画祭	シンガポール	シンガポール国際映画祭事務局	2009. 04. 14 ～ 2009. 04. 25	『人のセックスを笑うな』『歩いても 歩いても』の計2作品を上映
9	メルボルン国際映画祭	オーストラリア	メルボルン国際映画祭事務局	2009. 07. 23 ～ 2009. 08. 09	『ぐるりのこと』『歩いても 歩いても』『愛のむきだし』『バラの葬列』『エロス+虐殺』他、計14作品に加え短編2作品を上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
10	第18回ブリスベン国際映画祭	オーストラリア	ブリスベン国際映画祭事務局	2009.07.30 ~ 2009.08.09	『歩いてても 歩いてても』『西の魔女が死んだ』の2作品を上映
11	バンクーバー国際映画祭	カナダ	グレーター・バンクーバー国際映画祭	2009.10.01 ~ 2009.10.16	『空気人形』『ウルトラミラクルラブストーリー』『夢の島』『カムイ外伝』『ぴゅーりたん』他、長編11作品、短編6作品、共同制作2作品の計19作品を上映。また鷲哲一郎、佐々木想の両監督はじめ映画関係者を多数招へいし、Q&Aセッションを行う
12	第38回 モントリオールフェスティバル・ドゥ・ヌーヴォー・シネマ	カナダ	フェスティバル・ドゥ・ヌーヴォー・シネマ	2009.10.07 ~ 2009.10.18	『SRサイタマノラッパー』『扉の向こう』『歩いてても 歩いてても』『実録・連合赤軍あさま山荘への道程』『朱霊たち』他、長編7作品、短編2作品の計9作品を上映。また入江悠監督を招へい
13	トロント・リール・アジア国際映画祭	カナダ	トロント・リール・アジア国際映画祭	2009.11.11 ~ 2009.11.15	『フィッシュストーリー』『ホワイトオンライズ』『ループホールズ』他、計5作品を上映
14	サンフランシスコ国際映画祭	米国	San Francisco Film Society	2009.04.23 ~ 2009.05.07	『歩いてても 歩いてても』『おくりびと』の計2作品を上映。他に短編映画を2作品上映。また是枝裕和監督を招へいし歓迎会を開催
15	大島 渚の世界	米国	ロサンゼルス郡美術館	2009.04.23 ~ 2009.05.23	大島渚監督特集の北米巡回。『愛のコリーダ』『愛の亡霊』『新宿泥棒日記』『少年』『儀式』等の大島渚監督作品、計21本を上映
16	第25回アジアパシフィック映画祭	米国	ビジュアル・コミュニケーションズ	2009.04.30 ~ 2009.05.07	『ぐるりのこと。』『おくりびと』『愛のむきだし』『ゆきゆきて、神軍』他、計5作品を上映。また原一男監督を招へいし、Q&Aやディスカッションを実施
17	JAPAN CUTS: Festival of New Japanese Film	米国	ジャパン・ソサエティ	2009.06.30 ~ 2009.07.12	『20世紀少年』（第1章、第2章）『アキレスと亀』『buy a suit スーツを買う』『ぐるりのこと』『愛のむきだし』他、計18作品を上映。また園子温監督、俳優の奥田瑛二ほか映画関係者8名を招へいし、パネルディスカッションを実施
18	第8回ダラス・アジア映画祭	米国	San Francisco Film Society	2009.07.17 ~ 2009.07.23	『母べえ』『ICHI』『サムライアベンジャー／復讐剣盲狼』『猫ラーメン大将』『蟲師』『K-20 怪人二十面相・伝』の6作品を上映
19	第45回シカゴ国際映画祭	米国	シネマ・シカゴ シカゴ国際映画祭	2009.10.08 ~ 2009.10.22	『空気人形』『ディア・ドクター』他、計4作品を上映。また、西川美和監督を招へい
20	ハワイ国際映画祭2009	米国	ハワイ国際映画祭事務局	2009.10.15 ~ 2009.10.25	『空気人形』『しあわせのかおり』『20世紀少年』（第1章、第2章、最終章）『ウルトラミラクルラブストーリー』『愛のむきだし』他、計30作品を上映。また、三原光尋監督他を招へいして講演を実施
21	日本の潮流 2009	米国	ノースウェストフィルムセンター	2009.12.04 ~ 2009.12.07	『歩いてても 歩いてても』『空気人形』『アキレスと亀』『母べえ』他、計7作品を上映。また札幌市短編映画祭関係者を招へいし、交流上映会も開催

映像出版事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
22	インディー2009・ワールド映画祭	ブラジル	ZETA FILMS	2009.09.03 ~ 2009.09.24	『火垂』『かたつもり』『狛』『七夜待』『沙羅双樹』『萌の朱雀』『殞の森』『につつまれて』他、河瀬直美監督作品、全13作品を上映
23	第33回サンパウロ国際映画祭	ブラジル	ABMIC	2009.10.23 ~ 2009.11.05	『アキレスと亀』『歩いてても 歩いてても』『ぐるりのこと』『谷中暮色』『悪夢のエレベーター』他、計8作品を上映
24	第11回ブラジリア国際映画祭	ブラジル	シネ・アカデミア・プロダクション	2009.11.04 ~ 2009.11.15	廣木隆一監督の特集上映を開催。『やわらかい生活』『ヴァイブレーション』『きみの友だち』など5作品を上映。また同監督を招へい
25	Oshima and the Art of Transgression	英国	British Film Institute	2009.09.01 ~ 2009.10.14	大島渚監督特集。『愛と希望の街』『御法度』『少年』『愛のコリーダ』『儀式』他、全25作品を上映。また関連事業として、作品解説レクチャーを実施
26	Raindance film Festival: Way Out East Strand	英国	Raindance Film Festival Limited	2009.09.30 ~ 2009.10.11	『インスタント沼』『愛のむきだし』『カケラ』等の日本映画を計11作品を上映。また安藤モモコ監督ら映画関係者を多数招へいしイベントを開催
27	Shohei Imamura: A Challenging Legacy	英国	Arnolfini	2009.10.15 ~ 2009.11.08	『神々の深き欲望』『豚と軍艦』『黒い雨』など今村監督作品8本を上映。シンポジウムも開催
28	Japanese Documentary From 1958-1986 : A Rediscovery and Celebration at Sheffield Doc/Fest Part3 : After the Bright Life: The Self and Society in Japanese Documentary	英国	The International Documentary Festival Sheffield	2009.11.04 ~ 2009.11.08	『極私的エロス 恋歌1974』『かたつもり』『阿賀に生きる』等、日本のドキュメンタリー作品7本を上映。また、原一男監督ほかを招へいし、Q&Aを実施
29	Retrospective HAYAO MIYAZAKI	オーストリア	フィルム・カジノ	2009.09.02 ~ 2009.10.11	『風の谷のナウシカ』『天空の城ラピュタ』『となりのトトロ』『もののけ姫』『千と千尋の神隠し』他、宮崎駿監督作品、計9作品を上映
30	ウィーン国際映画祭2009	オーストリア	ウィーン国際映画祭事務局	2009.10.22 ~ 2009.11.04	『フィッシュストーリー』『ギララの逆襲』『おくりびと』『ユキとニナ』『折鶴お千』他、計8作品を上映。諏訪敦彦監督ほかを招へいしてレクチャーを開催
31	Retrospective Oshima Nagisa	オーストリア	Austrian Film Museum	2009.11.06 ~ 2009.11.30	大島渚監督の特集上映。『愛のコリーダ』『愛の亡霊』『日本の夜と霧』『少年』『新宿泥棒日記』他、計27作品を上映
32	カメラジャパン2009	オランダ	タマゴ財団	2009.09.11 ~ 2009.11.01	全部門で日本映画を計33作品上映。ロッテダム、アムステルダム、ドルドレヒト、アルンヘルム、ブレダ、ティルブルフ、ライデンの7都市を巡回
33	ライデン国際映画祭	オランダ	StArt財団	2009.10.27 ~ 2009.11.01	『アキレスと亀』『ソナチネ』『嫌われ松子の一生』『トウキョウソナタ』『茶の味』他、計19作品上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
34	ロッテルダム国際映画祭	オランダ	ロッテルダム映画祭財団	2010.01.27 ~ 2010.02.07	崔洋一監督特集を開催し、同監督の作品『十階のモスキート』『月はどっちに出ている』『カムイ外伝』他、計13作品に加え、同氏が俳優として出演していた『御法度』（大島渚監督）を上映。他の部門でも、『空気人形』『シンボル』他多数上映し、長編・短編併せて総計49作品を上映。なお、是枝裕和、崔洋一の両監督はじめ映画関係者16名を招へいし、トークセッション等を実施
35	ついのすみか	スイス	アソシエーション十人十色	2009.11.19 ~ 2009.11.29	『病院で死ぬということ』『人間の約束』『ツヒノスマカ』『ミリキタニの猫』『ヨコハマメリー』他、計7作品を上映
36	エクショー・アニメーション映画祭2009	スウェーデン	エクショー・アニメーション	2009.09.24 ~ 2009.09.26	『風の谷のナウシカ』『紅の豚』『ジニアス・パーティ・ビヨンド』に加え、日本の学生が制作したアニメーションや広島国際アニメーション・フェスティバルからの作品を紹介。なお木下小夜子（広島国際アニメーション・フェスティバル・ディレクター）を招へい
37	ストックホルム国際映画祭2009	スウェーデン	ストックホルム国際映画祭事務局	2009.11.18 ~ 2009.11.29	『LOCKED OUT（ロックアウト）』『空気人形』『宮本武蔵-双剣に馳せる夢-』『おくりびと』『カケラ』を上映。『カケラ』の安藤モモ子監督を招へい
38	バルセロナ・アジア映画祭2009	スペイン	100.000レティナス	2009.04.30 ~ 2009.05.10	『アキレスと亀』（北野武）、『ぐるりのこと。』（橋口亮輔）など計16作品を上映。荻上直子監督を招へいし、各メディアからの取材があった
39	ジャパン・カルト・シネマ3	スペイン	カサ・アジア	2009.10.19 ~ 2009.12.01	『好きだ、』『嫌われ松子の一生』『キサラギ』『全然大丈夫』他、計7作品を上映
40	オーバーハウゼン国際短編映画祭	ドイツ	オーバーハウゼン国際短編映画祭事務局	2009.04.30 ~ 2009.05.05	松本俊夫監督特集として『西陣』『石の詩』『アートマン』等、短編映画を計21作品上映。また同監督を招へい
41	ハンブルク日本映画祭	ドイツ	Nihon Media e.V.	2009.05.27 ~ 2009.05.31	『狂った野獣』『純喫茶磯辺』『愛のむきだし』『デトロイト・メタル・シティ』『ジニアス・パーティー』など、アニメを含む計33作品を上映。中島貞夫監督など映画人を7名招へい
42	ビットフィルムフェスティバル2009	ドイツ	Bitfilm Networks	2009.08.22 ~ 2009.10.01	日本のデジタルフィルムとおたく文化に焦点を当て、OTAKU ATTACK IからOTAKU ATTACK Vまでの短編フィルム5プログラムを上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
43	ベルリン国際映画祭：ニュー映画フォーラム	ドイツ	アルセナーレ：映画・ビデオ芸術研究所	2010.02.11 ～ 2010.02.21	島津保次郎監督特集として『婚約三羽鳥』『浅草の灯』『愛より愛へ』の3作品を上映。フォーラム部門では『蟹工船』『川の底からこんにちは』他、計5作品を上映。また、コンペティション部門では『キャタピラー』（若松孝二監督）で寺島しのぶが最優秀女優賞を受賞。石井裕也監督、SABU監督他、映画関係者11名を招へい
44	19th Films from the South Festival	ノルウェー	南からの映画	2009.10.08 ～ 2009.10.18	是枝裕和監督作品『幻の光』『ワンダフルライフ』『花よりもなほ』『誰も知らない』『歩いてても 歩いても』『空気人形』『DISTANCE』を上映。同監督を招へいし、インタビューを実施
45	日本アニメーションの起源と宮崎駿	フランス	アルザス・欧州日本学研究所 (CEEJA)	2009.04.07 ～ 2009.04.19	宮崎駿監督作品『崖の上のポニョ』『ハウルの動く城』『となりのトトロ』『魔女の宅急便』『風の谷のナウシカ』を上映。また日本アニメの起源に関する2プログラムを上映
46	ブリュッセル国際ファンタスティック映画祭2009	ベルギー	非営利団体ペイメイ・ディフジオン	2009.04.09 ～ 2009.04.21	『20世紀少年』『僕の彼女はサイボーグ』など計7本に加え、『ヘルシング』等アニメTV番組3作品より6話を上映。なお石井克人監督を招へいし、シンポジウム等を実施
47	MOTELX-Lisbon International Horror Film Festival	ポルトガル	CTLX-Lisbon Horror Film Club	2009.09.02 ～ 2009.09.06	『鎧 サムライゾンビ』『赤んぼ少女』『探偵物語』の3作品を上映
48	NIPPON KOMA-JAPANESE FILM FESTIVAL	ポルトガル	Culturgest	2009.12.07 ～ 2009.12.12	『マインド・ゲーム』『スカイ・クロラ The Sky Crawlers』『精神』他、短編映画を含む計12プログラムを上映
49	Golden Apricot yerevan International Film Festival	アルメニア	Golden Apricot fund for Cinema Development	2009.07.12 ～ 2009.07.19	小栗康平監督作品『死の棘』『眠る男』『泥の河』『伽椰子のために』『埋もれ木』を上映。また小栗監督を招へいし、レクチャーを実施。
50	第3回日本アニメ映画祭	エストニア	非営利団体オタク	2009.04.03 ～ 2009.04.15	『崖の上のポニョ』『ハウルの動く城』『スカイ・クロラ』等のアニメーション作品計17本を上映。またコスプレショーを開催
51	ブラック・ナイツ映画祭	エストニア	非政府組織ブラックナイツ映画祭	2009.11.12 ～ 2009.12.06	『空気人形』他、日本関連映画4本を上映
52	フィルム・アジア	チェコ	アクスマン・プロダクション	2009.12.03 ～ 2009.12.06	『フィッシュストーリー』『美式天然』『クローンは故郷をめざす』他、計6作品を上映
53	タイタニック国際映画祭	ハンガリー	タイタニックフィルムプレゼンス財団	2009.03.26 ～ 2009.04.05	『コドモのコドモ』『秒速5センチメートル』『大日本人』他、計4作品を上映。また開催記念パーティを実施
54	映画・芸術フェスティバル—映画の夏	ポーランド	芸術映画活動財団「動画」	2009.07.05 ～ 2009.07.12	『秋津温泉』『修羅』『儀式』他全6作品を「日本のヌーベルバーグ」特集として上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
55	anim'est - International Animation Film Festival, 4th edition	ルーマニア	ラウレンチウ・ブラタン/ ESTENEST協会	2009.10.02 ~ 2009.10.11	『風の谷のナウシカ』『崖の上のポニョ』『ピアノの森』他、アニメ作品9作品を上映
56	第28回イスタンブール国際映画祭	トルコ	イスタンブール文化芸術基金	2009.04.04 ~ 2009.04.19	『おくりびと』『歩いてても 歩いてても』『アキレスと亀』他、計5作品を上映
57	ジンバブエ国際映画祭	ジンバブエ	Zimbabwe International Film Festival Trust (ZIFFT)	2009.08.28 ~ 2009.09.06	『ドラえもん のび太の恐竜』『秒速5センチメートル』を上映



映像出版事業費

1. 催し等事業費 / (3) 外国理解促進国内映画祭 (主催)

アジア・中東の映画を紹介し日本における両地域への理解を促進するため、主催又は共催により映画祭を実施し、関係映画人の招へい等も併せて実施する。また、アジア映画理解講座及び英語字幕付き日本映画上映会を実施する。

合計額 8,833,134 円

	事業名	対象国	都市	期間	事業内容
1	ヤスミン追悼特集	マレーシア	東京	2009.10.17 ~ 2009.10.25	ヤスミン・アハマト監督の追悼特集。第22回東京国際映画祭と共催で同映画祭にてヤスミン監督作品を上映
2	アジア千波万波	アジア地域区分困難	山形市	2009.10.08 ~ 2009.10.15	第11回山形国際ドキュメンタリー映画祭2009の一部門である、アジア千波万波を、同映画祭と共催
3	字幕付日本映画上映会 (「川喜多かしこ生誕100周年記念特集」)	全世界区分困難	東京	2010.01.14 ~ 2010.01.31	平成20年度海外日本映画祭で主催事業として巡回上映した「川喜多かしこ生誕100周年記念特集」を国内(東京)で凱旋上映
4	外国劇映画貸出	全世界区分困難		2009.04.01 ~ 2010.03.31	国際交流基金所蔵の外国劇映画の貸出

映像出版事業費

1. 催し等事業費 / (4) 映像出版情報交流 (催し)

国内外で開催される映像・出版等をテーマとするシンポジウム・セミナー等を開催する。

合計額 6,035,689 円

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
1	第3回国際交流基金ボラナビ 著作・翻訳賞	韓国		2009.04.01 ~ 2010.03.31	「日韓文化交流5カ年計画」(平成18年度～平成22年度)に基づき、韓国の一般市民が日本の文化・社会に対する理解を深めるため、過去3年間に出版され、内容的に優れた著作の著者・翻訳者で今後一層の活躍が期待される韓国の若手・中堅の著者・翻訳者等を顕彰する事業
2	北米巡回現代日本文学セミナー	米国		2009.04.01 ~ 2010.03.31	米国における有識者への情報発信と知日派のすそ野拡大の観点から、英訳された日本の小説を大学等に寄贈するとともに、松浦理英子(作家)をニューヨーク及びシアトルへ派遣し、セミナー、意見交換会等を開催
3	日本賞	全世界区分困難	NHK「日本賞」事務局	2009.06.01 ~ 2010.02.28	国家・民族間における相互理解と文化の交流に貢献する優れた番組に対して国際交流基金理事長賞を授与。平成21年度はCINEGRAM(ギリシャ)制作の『アフガン難民の苦悩 祖国は今』(QADIR-AN AFGHAN ULYSSES)に授与
4	第19回JAMCOオンライン国際シンポジウム	全世界区分困難	財団法人放送番組国際交流センター(JAMCO)	2010.02.01 ~ 2010.02.28	「ドラマ映像の国際交流」をテーマに日本及び韓国等のテレビドラマの国際流通の現状と課題についてパネル・ディスカッションを実施。放送番組国際交流センターと共催

2. 催し等事業費 (ポップカルチャー) / (1) 国際漫画賞

海外で漫画文化の普及活動に貢献する漫画作家を顕彰する目的で、実行委員会が開催する国際漫画賞の受賞者を授賞式に合わせて10日間程度招へいする。

合計額 6,018,019 円

	事業名	所属国	氏名	現職	共催・協力機関	期間	事業内容
1	第3回国際漫画賞	韓国 中国 タイ カナダ	金芝恩 Huang Jia Wei Jakrapan Huaypech Melvil	マンガ家 マンガ家 マンガ家 マンガ家	外務省 社団法人日本漫画家協会(JCA)	2009.04.01 ~ 2010.03.31	国際漫画賞最優秀賞を授与された <i>Super Dunker</i> の作者Jakrapan Huaypech、国際漫画賞優秀賞を授与された『虚空への疾走』 <i>Natty</i> 、 <i>Zaya</i> の作者金芝恩、Melvil、Huang Jia Weiの計4名を10日間日本に招へい

映像出版事業費

2. 催し等事業費（ポップカルチャー）／（2）アニメ文化大使

ポップカルチャーを通じた文化外交の一環として、複数言語による字幕版アニメDVDを製作する。

合計額 320,000 円

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	アニメ文化大使（ドラえもん）	全世界区分困難	小学館	2009.04.01 ～ 2010.03.31	映画『ドラえもん のび太の恐竜2006』の4カ国語字幕版DVDを製作し、在外公館及び国際交流基金海外拠点で上映

3. 文化資料事業費／（1）テレビ番組交流促進

日本のテレビ番組の海外における放映を促進するため、素材の作成費、放映権料を負担した上で、海外放送局に番組を提供する。

合計額 156,851,039 円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	インドネシアTV放映	インドネシア	国営TVRI	2010.01.01 ～ 2013.12.31	インドネシアTV放映向け番組提供。国営TVRIへ『それいけ！ズッコケ三人組』を提供
2	カンボジアTV放映	カンボジア	民営CTN	2009.09.01 ～ 2011.08.31	カンボジアTV放映向け番組提供。民営CTNへ『花ざかりの君たちへ』を提供
3	ベトナムTV放映	ベトナム	国営VTV	2009.10.01 ～ 2012.07.31	ベトナムTV放映向け番組提供。国営VTVへ『たったひとつの地球』『日本の保健・医療』等を提供
4	ミャンマーTV放映	ミャンマー	国営MRTV	2009.08.05 ～ 2011.08.04	ミャンマーTV放映向け番組提供。国営MRTVへ『北の国からスペシャル2』を提供
5	パプアニューギニアTV放映	パプアニューギニア	民営EMTV	2009.08.01 ～ 2012.07.31	パプアニューギニアTV放映向け番組提供。民営EMTVへ『三峡ダム大移住計画』『NHKスペシャル 奥能登 風の絆』等を提供
6	エルサルバドルTV放映	エルサルバドル	国営CANAL 10, TV Educativa	2009.08.01 ～ 2012.07.31	エルサルバドルTV放映向け番組提供。国営CANAL 10, TV Educativaへ『ワンダー数学ランド』『ピタゴラスイッチ』等を提供
7	グアテマラTV放映	グアテマラ	民営CA	2009.08.01 ～ 2012.07.31	グアテマラTV放映向け番組提供。民営Canal Antiguaへ『秘境!大雪山・一瞬の夏』『中学生の理科（ステップ&ジャンプ）』等を提供
8	ドミニカ共和国TV放映	ドミニカ共和国	民営Telecentro Canal 13	2009.08.01 ～ 2012.07.31	ドミニカ共和国TV放映向け番組提供。民営Telecentro Canal 13へ『町工場 宇宙に挑む』『被爆治療83日間の記録』等を提供
9	ニカラグアTV放映	ニカラグア	民営Canal 11	2009.08.01 ～ 2012.07.31	ニカラグアTV放映向け番組提供。民営Canal 11へ『日本人のライフスタイル』『日本の最新技術』等を提供

映像出版事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
10	ハイチTV放映	ハイチ	国営TNH	2009.08.01 ~ 2012.07.31	ハイチTV放映向け番組提供。国営TNHへ『原爆関連番組』『シリーズエイズ』等を提供
11	メキシコTV放映	メキシコ	国営Canal22	2009.08.01 ~ 2012.07.31	メキシコTV放映向け番組提供。国営Canal22へ『日本の最新技術』『そこが知りたい』等を提供
12	ブラジルTV放映	ブラジル	州営TV Cultura	2010.02.01 ~ 2013.01.31	ブラジルでのTV放映向け番組提供。サンパウロ州営TV Culturaへ『プロジェクトX』を提供
13	ベネズエラTV放映	ベネズエラ	国営TEVES	2009.08.01 ~ 2012.07.31	ベネズエラTV放映向け番組提供。国営TEVESへ『日本の伝統文化』『日本の伝統スポーツ』等を提供
14	ボリビアTV放映	ボリビア	民営P. A. T. CTDA	2009.08.01 ~ 2012.07.31	ボリビアTV放映向け番組提供。民営P. A. T. CTDAへ『ふしぎワールド』『ざわざわ森のがんこちゃん2005』等を提供
15	ウズベキスタンTV放映	ウズベキスタン	国営Yoshlar TV	2009.08.01 ~ 2012.07.31	ウズベキスタンTV放映向け番組提供。国営Yoshlarへ『ふしぎだいすき』『ふしぎいっぱい』等を提供
16	クロアチアTV放映	クロアチア	国営HRT	2009.10.01 ~ 2012.09.30	クロアチアTV放映向け番組提供。国営HRTへ『日本の伝統文化』『美の回廊』等を提供
17	セルビアTV放映	セルビア	国営RTS	2009.08.01 ~ 2012.08.31	セルビアTV放映向け番組提供。国営RTSへ『こぐまのミーシャ』を提供
18	ハンガリーTV放映	ハンガリー	民営ANIMAX	2010.01.15 ~ 2012.01.14	ハンガリーTV放映向け番組提供。民営ANIMAXへ『ハチミツとクローバー』を提供
19	ブルガリアTV放映	ブルガリア	民営TVE	2009.10.01 ~ 2012.09.30	ブルガリアTV放映向け番組提供。民営TVEへ『につぼんアウトアンドアウト』『日本の最新技術』等を提供
20	ブルガリアTV放映	ブルガリア	国営BNT	2010.03.10 ~ 2013.01.31	ブルガリアTV放映向け番組提供。国営BNTへ『日本人のフードスタイル』『首都・東京2005』等を提供
21	ボスニア・ヘルツェゴビナTV放映	ボスニア・ヘルツェゴビナ	国営BHT1	2009.08.01 ~ 2012.07.31	ボスニア・ヘルツェゴビナTV放映向け番組提供。国営BHT1へ『そこが知りたい』『ワザあり！につぼん』等を提供
22	ボスニア・ヘルツェゴビナTV放映	ボスニア・ヘルツェゴビナ	国営BHRT	2010.01.01 ~ 2012.12.31	ボスニア・ヘルツェゴビナRTV放映向け番組提供。ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦放送(BHRT)へ『そこが知りたい』『ハクガンの道100年の空白』等を提供
23	リトアニアTV放映	リトアニア	民営InfoTV	2009.12.01 ~ 2012.07.31	リトアニアTV放映向け番組提供。民営InfoTVへ『国宝探訪』『美のこころ〜国宝名鑑〜』等を提供
24	ロシアTV放映	ロシア	国営PTR	2009.08.01 ~ 2012.07.31	ロシアTV放映向け番組提供。国営PTRへ『日本の伝統スポーツ』『日本人のライフスタイル』等を提供
25	イエメンTV放映	イエメン	国営Yemen TV	2009.08.01 ~ 2012.07.31	イエメンTV放映向け番組提供。国営YemenTVへ『おしん(少女編)』を提供

## 映像出版事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
26	イラクTV放映	イラク	国営IMN	2009.08.01 ~ 2012.07.31	イラクTV放映向け番組提供。国営IMNへ『日本の起業家』『日本の農業』等を提供
27	イランTV放映	イラン	国営IRIB	2010.02.01 ~ 2013.01.31	イランTV放映向け番組提供。国営IRIBへ『すずらん』を提供
28	トルコTV放映	トルコ	国営TRT	2009.08.01 ~ 2012.07.31	トルコTV放映向け番組提供。国営TRTへ『必要のない人』『氷壁』等を提供
29	エチオピアTV放映	エチオピア	国営ERTA	2009.08.01 ~ 2012.07.31	エチオピアTV放映向け番組提供。国営ERTAへ『日本人カメラマン』『日本の環境技術』等を提供
30	ガーナTV放映	ガーナ	民営TV3	2009.08.01 ~ 2012.07.31	ガーナTV放映向け番組提供。民営TV3へ『恋する京都』『蝉しぐれ』等を提供
31	ザンビアTV放映	ザンビア	国営ZNBC	2009.08.01 ~ 2012.07.31	ザンビアTV放映向け番組提供。国営ZNBCへ『プロジェクトX』『柳生十兵衛七番勝負』等を提供
32	タンザニアTV放映	タンザニア	国営TBC	2009.08.01 ~ 2012.07.31	タンザニアTV放映向け番組提供。国営TBCへ『ピタゴラススイッチ』『ピタゴラススイッチ2』等を提供
33	ボツワナTV放映	ボツワナ	国営TVM	2010.02.01 ~ 2011.02.29	ボツワナTV放映向け番組提供。国営TVMへ『日本の起業家』『日本の伝統文化』等を提供
34	マダガスカルTV放映	マダガスカル	国営TVM	2009.12.01 ~ 2012.07.31	マダガスカルTV放映向け番組提供。国営TVMへ『ドキュメント につぼんの現場/虹を追う直売所』『長寿企業大国につぼん』等を提供
35	語版改編	全世界区分困難	財団法人放送番組国際交流センター	2009.04.01 ~ 2010.03.31	テレビ番組の国際版（ME版及び英語版）を放送番組国際交流センターと共同制作

映像出版事業費

3. 文化資料事業費 / (2) フィルムライブラリー充実 (本部)

在外主催の日本映画上映会にて使用するため、在外のフィルム・ライブラリーに、非商業ベースの上映権を得た劇映画等を配布する。

合計額 69,078,043 円

	事業名	監督名	制作年	事業内容
1	黒澤 明監督作品20点購入	黒澤 明	1943	黒澤明監督作品20点購入英語字幕版35mmプリント購入
2	黒澤 明『羅生門』購入	黒澤 明	1950	『羅生門』英語字幕版35mmプリント購入
3	DVD『コミック雑誌なんかいない』購入	滝田 洋二郎	1986	『コミック雑誌なんかいない』英語字幕版DVDプリント購入
4	『雲のむこう、約束の場所』購入	新海 誠	2004	『雲のむこう、約束の場所』英語字幕版DVDプリント購入
5	『秒速5センチメートル』購入	新海 誠	2007	『秒速5センチメートル』英語字幕版DVDプリント購入
6	『明日への遺言』購入	小泉 堯史	2008	『明日への遺言』英語字幕版35mmプリント購入
7	『百万円と苦虫女』購入	タナダ ユキ	2008	『百万円と苦虫女』英語字幕版35mmプリント購入
8	『クライマーズ・ハイ』購入	原田 眞人	2008	『クライマーズ・ハイ』英語字幕版35mmプリント購入
9	『里山っ子たち』購入	原村 政樹	2008	『里山っ子たち』英語字幕版35mmプリント購入
10	『きみの友だち』購入	廣木 隆一	2008	『きみの友だち』英語字幕版35mmプリント購入
11	『劔岳 点の記』購入	木村 大作	2009	『劔岳 点の記』英語字幕版35mmプリント購入

映像出版事業費

3. 文化資料事業費 / (3) フィルムライブラリー充実 (海外)

在外公館や国際交流基金海外事務所が主催する日本映画上映会にて使用するため、海外のフィルム・ライブラリーに、非商業ベースの上映権を得た劇映画等を配布する。

合計額 72,678,580 円

	事業名	対象国	言語	事業内容
1	JFソウル・フィルムライブラリー	韓国	韓国語	プリント購送
2	中国フィルムライブラリー	中国	中国語	プリント購送
3	JFジャカルタ・フィルムライブラリー	インドネシア	インドネシア語	プリント購送
4	JFバンコク・フィルムライブラリー	タイ	タイ語	プリント購送
5	東アジア・フィルムライブラリー	タイ	英語	プリント購送
6	西アジア・フィルムライブラリー	インド	英語	プリント購送
7	大洋州・フィルムライブラリー	オーストラリア	英語	プリント購送
8	中南米フィルムライブラリー	アルゼンチン	スペイン語	プリント購送
9	ブラジル・フィルムライブラリー	ブラジル	ポルトガル語	プリント購送
10	JFローマ・フィルムライブラリー	イタリア	イタリア語	プリント購送
11	欧州フィルムライブラリー	英国	英語	プリント購送
12	JFケルン・フィルムライブラリー	ドイツ	ドイツ語	プリント購送
13	仏語フィルムライブラリー	フランス	フランス語	プリント購送
14	露語フィルムライブラリー	ロシア	ロシア語	プリント購送
15	中近東フィルムライブラリー	エジプト	アラビア語	プリント購送
16	アフリカ・フィルムライブラリー	ケニア	英語	プリント購送

映像出版事業費

3. 文化資料事業費 / (4) 国際図書展参加

日本の出版文化の紹介と対日理解促進のため、海外で開催される国際図書展に参加する。

合計額 21,354,021 円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	第15回ソウル国際図書展	韓国	ソウル	COEX展示場	2009.05.13 ~ 2009.05.17	日本が招待国となり、 <i>Seoul International Book Fair (SIBF)</i> 2009「日本年」実行委員会を中心に、社団法人日本書籍出版協会、社団法人出版文化国際交流会 (PACE) と共催で日本ブースを出展。併せて関連イベントを実施し、出版文化を中心とした日本文化を幅広く紹介
2	第8回バンコク国際図書展	タイ	バンコク	シリキット・コンベンションセンター	2010.03.26 ~ 2010.04.06	日本が招待国となり、社団法人日本書籍出版協会、社団法人出版文化国際交流会と共催で日本ブースを出展。併せて関連イベントを実施して、出版文化を中心とした日本文化を幅広く紹介
3	第19回ニューデリー国際図書展	インド	ニューデリー	ブラガティ・マイダン	2010.01.30 ~ 2010.02.07	社団法人出版文化国際交流会 (PACE) と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
4	第19回ハバナ国際図書展	キューバ	ハバナ	ハバナ市内モロ要塞内	2010.02.11 ~ 2010.02.21	社団法人出版文化国際交流会 (PACE) と共同で参加、日本・キューバ外交関係樹立80周年記念事業の一環として日本ブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示
5	第35回ブエノスアイレス国際図書展	アルゼンチン	ブエノス・アイレス	農業牧畜展示会場	2009.04.20 ~ 2009.05.11	社団法人出版文化国際交流会 (PACE) と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示。併せて「日本デー」として「日本の社会福祉の現状」と題した講演会を実施
6	第6回テッサロニキ国際図書展	ギリシャ	テッサロニキ	HELEXPO COMPLEX	2009.05.28 ~ 2009.05.31	社団法人出版文化国際交流会 (PACE) と共同で参加、「日本・ギリシャ修好110周年記念事業」の一環として、日本ブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示
7	第61回フランクフルト国際図書展	ドイツ	フランクフルト・アム・マイン	フランクフルト・見本市会場	2009.10.14 ~ 2009.10.18	社団法人出版文化国際交流会 (PACE) と共同で参加、日本ブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示
8	第54回ベオグラード国際図書展	セルビア	ベオグラード	ベオグラード・フェア	2009.10.26 ~ 2009.11.01	社団法人出版文化国際交流会 (PACE) と共同で参加、日本ブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示
9	第16回ブダペスト国際図書展	ハンガリー	ブダペスト	ミレナーリシュ文化センター	2009.04.23 ~ 2009.04.26	社団法人出版文化国際交流会 (PACE) と共同で参加、「日本・ドナウ交流年2009」の一環として日本ブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示



映像出版事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
10	第54回ワルシャワ国際図書展	ポーランド	ワルシャワ	文化科学宮殿	2009.05.21 ~ 2009.05.24	社団法人出版文化国際交流会（PACE）と共同で参加、日本・ポーランド外交関係樹立90周年事業の一環として日本ブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示
11	第11回ビリニユス国際図書展2010	リトアニア	ビリニユス	リトエキスポ	2010.02.18 ~ 2010.02.21	社団法人出版文化国際交流会（PACE）と共同で参加、日本ブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示
12	第11回モスクワ国際知的図書展 <i>non/fiction</i>	ロシア	モスクワ	モスクワ中央芸術家会館	2009.11.30 ~ 2009.12.04	社団法人出版文化国際交流会（PACE）と共同で参加、日本ブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示
13	第22回テヘラン国際図書展	イラン	テヘラン	テヘラン常設見本市会場(モサッラ・サイト)	2009.05.07 ~ 2009.05.16	社団法人出版文化国際交流会（PACE）と共同で参加、日本・イラン外交関係樹立80周年事業の一環として日本ブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示
14	第15回マスカット国際図書展	オマーン	マスカット	オマーン・エキシビジョン・センター	2010.02.23 ~ 2010.03.05	社団法人出版文化国際交流会（PACE）と共同で参加、日本ブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示
15	第20回ドーハ国際図書展	カタール	ドーハ	カタール国際展示場	2009.12.30 ~ 2010.01.09	社団法人出版文化国際交流会（PACE）と共同で参加、日本ブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示
16	第28回リヤド国際図書展	サウジアラビア	リヤド	リヤド国際展示ホール	2010.03.02 ~ 2010.03.12	社団法人出版文化国際交流会（PACE）と共同で参加、日本ブースを出展し、日本文化紹介図書等を展示
17	<i>Practical Guide</i> の作成	全世界区分困難			2009.04.01 ~ 2010.03.31	海外で日本関係図書の翻訳出版を行う場合に必要な知識をまとめたガイドブック <i>Practical Guide to Publishing in Japan 2009</i> の出版
18	出展図書カタログの作成	全世界区分困難			2009.04.01 ~ 2010.03.31	社団法人出版文化国際交流会（PACE）が作成する英文日本関係書籍カタログの作成費用を一部負担

映像出版事業費

3. 文化資料事業費 / (5) 映像出版情報交流 (文化資料)

日本の映像・出版関係情報の海外への発信及び海外における日本の映像・出版の紹介の現状調査・データベース化を行う。

合計額 9,533,773 円

	事業名	発行日	発行部数	事業内容
1	<i>Japanese Book News</i> 第60号	2009.06.01	5,000	海外の出版社・編集者に向けて、新刊書情報及び出版界の最新情報・動向等を紹介する英文ニュースレター。季刊。5,000部を発行し、全世界向けに無償配布
2	<i>Japanese Book News</i> 第61号	2009.09.01	5,000	海外の出版社・編集者に向けて、新刊書情報及び出版界の最新情報・動向等を紹介する英文ニュースレター。季刊。5,000部を発行し、全世界向けに無償配布
3	<i>Japanese Book News</i> 第62号	2009.12.01	5,000	海外の出版社・編集者に向けて、新刊書情報及び出版界の最新情報・動向等を紹介する英文ニュースレター。季刊。5,000部を発行し、全世界向けに無償配布
4	<i>Japanese Book News</i> 第63号	2010.03.01	5,000	海外の出版社・編集者に向けて、新刊書情報及び出版界の最新情報・動向等を紹介する英文ニュースレター。季刊。5,000部を発行し、全世界向けに無償配布
5	<i>Japanese Book News</i> 第64号 (発行準備)	—	—	海外の出版社・編集者に向けて、新刊書情報及び出版界の最新情報・動向等を紹介する英文ニュースレター。季刊。5,000部を発行し、全世界向けに無償配布
6	<i>New Cinema from Japan</i>	2009.05.01	4,000	日本映画の最新情報を掲載したカタログ <i>New Cinema from Japan</i> を財団法人日本映像国際振興協会と共同で年2回発行
7	<i>New Cinema from Japan</i>	2009.10.01	4,000	日本映画の最新情報を掲載したカタログ <i>New Cinema from Japan</i> を財団法人日本映像国際振興協会と共同で年2回発行

映像出版事業費

4. 日本研究事業費 / (1) 日本理解促進映画・テレビ番組制作 (助成)

海外における日本理解を促進するため、内外の団体が制作する日本に関する映画及びテレビ番組等に対して、制作費の一部を助成する。

合計額 15,420,783 円

	作品名	対象国	制作者	助成対象機関	事業内容
1	RED MARIA	韓国	Kyung-soon	REDSNOWMAN	貧困問題についてフィリピンと日本と韓国を比較しながら取り上げた作品
2	MAKINO-AN INDIAN HIKU	インド	Tirthankar Dasgupta	SPLIT SECOND	インド在住50年の日本人牧野財士へのインタビューを中心としたドキュメンタリー作品
3	Kool: Suzushi Hanayagi: a moving life - a Documentary	米国	黒岩 久美	Media Space, Inc.	ロバート・ウィルソン (舞台演出家) が、かつてのコラボレーターで、現在はアルツハイマー病を患い、大阪で入院生活を送る花柳寿々紫 (日本舞踊家) を訪ね、過去から現在までの過程を追う作品
4	CAN'T GO NATIVE	米国	Walter Knorr	Board of Trustees of the University of Illinois	キース・ブラウン (文化人類学者) による日本の農業との交流を描いたドキュメンタリー
5	THE RED SUN IN THE SUNSET	キューバ	Marina Ochoa Tanda	ARO CINE VIDEO, National Movement of Video	日系人へのインタビューを基に、キューバの日系社会の歴史・問題点・現状等について、キューバ国民に啓蒙する作品
6	Nagano's Song	ドイツ	Peter Bardehle	Vidicom Media GmbH	ケント・ナガノ (指揮者) とハンブルク在住の著名デザイナーのペーター・シュミットのコラボレーションによるドキュメンタリー
7	THE KOSHINO HOUSE by Tadao Ando-film	フィンランド	Rax Rinnekangas	Bad Taste Ltd	安藤忠雄設計のコシノヒロコ邸を取り上げ、その建築を紹介・分析するドキュメンタリー
8	MIWA-SAN: A JAPANESE ICON	フランス	Nicolas Breviere	LOCAL FILMS	日本のポップカルチャーにおいて代表的な歌手・俳優・タレントである美輪明宏のドキュメンタリー
9	Live House	全世界区分困難	筒井 龍平	株式会社トリクスタ	豊富なライブ映像やインタビューなどを交えながら、日本のパンクシーンの今を伝えるドキュメンタリー

映像出版事業費

4. 日本研究事業費 / (2) 日本理解促進出版・翻訳（助成）

海外における日本研究及び日本理解を促進するため、人文社会学・芸術分野の優れた日本関連図書の外国語への翻訳出版、ならびに外国語で書き下ろされた優れた図書の出版に助成する。

合計額 31,905,201 円

	書名	対象国	編著者／翻訳者	助成対象機関	事業内容
1	日本近・現代美術史	韓国	李 仲熙	図書出版 芸耕	出版（書き下ろし）： 韓国語による本格的な日本の近・現代美術史の紹介図書
2	日本現代演劇史（明治・大正）	韓国	大笹 吉雄 明 真淑	図書出版 月印	出版： 韓国語版
3	日本宗教史	韓国	末木 文美士 白 勝娟	論衡出版社	翻訳・出版： 韓国語版
4	和紙工芸及び文化的シンボリズム	中国	馮 彤 (Feng Tong)	中国社会科学出版社	出版（書き下ろし）： 宗教、日常生活、芸術、建築など多方面における和紙の使用及び造型を中国語で紹介
5	沖縄現代史 及び 沖縄戦後史	中国	新崎 盛暉 中野 好夫 胡 冬竹	三聯書店	翻訳・出版： 新崎盛暉著『沖縄現代史』及び新崎盛暉、中野好夫著『沖縄戦後史』の中国語版
6	巷説百物語	中国	京極 夏彦 猿渡 静子	北京十月文芸出版社	翻訳・出版： 中国語版
7	21世紀家族へ：家族の戦後体制の見かた・超えかた（第3版）	中国	落合 恵美子 鄭 楊	山東人民出版社	翻訳・出版： 中国語版
8	日本歴史文化辞典	中国	成 春有	南京大学出版社	出版（書き下ろし）： 日本の歴史文化を学習する研究者のための中型辞書
9	私の男	中国	桜庭 一樹 林 青華	上海世紀出版株式会社 訳文出版社	翻訳・出版： 中国語版
10	攻玉論—20世紀初頭における中国経済人の日本留学に関する研究	中国	靳 明全 (Jin Mingquan)	中華人民共和国重慶出版社	出版（書き下ろし）： 20世紀初頭における中国の知識人、政界人、軍人等の日本留学に関する研究図書
11	インサイド	ベトナム	島本 理生 他 Thuy Mai Tran	Thuan Hoa Publishing House	翻訳・出版： 島本理生著『インサイド』を含む、8名の女性作家の作品のベトナム語版

映像出版事業費

	書名	対象国	編著者／翻訳者	助成対象機関	事業内容
12	蹴りたい背中	ベトナム	綿矢 りさ Van Thanh Nguyen	ニャ・ナム出版・コミュニケーション株式会社	翻訳・出版： ベトナム語版
13	鉄道員	ベトナム	浅田 次郎 Loi Huu Pham	ニャ・ナム出版・コミュニケーション株式会社	翻訳・出版： ベトナム語版
14	明治維新とベトナム	ベトナム	Tien Luc Nguyen	教育出版社	出版（書き下ろし）： 明治維新の概念や諸問題、さらにベトナムへの影響に関する図書
15	準備と展望：アメリカ人宣教師、お雇い教徒と日本人	カナダ	A. Hamish Ion	ブリティッシュ・コロンビア大学出版	出版（書き下ろし）： アメリカ人宣教師の活動を通して、幕末、明治期にキリスト教や西洋的な考え方に順応しようともがいている日本の姿を描いた図書
16	劇画漂流	カナダ	辰巳 ヨシヒロ Taro Nettleton	Drawn & Quarterly Books	翻訳・出版： 英語版
17	外国語で表記してある地図：伊藤比呂美詩集	米国	伊藤 比呂美 ジェフリー・マッシュ・アングルス	アクション・ブックス	出版： 英語版（タイトルを <i>Killing Kanoko</i> に変更）
18	日本文化の多重構造	メキシコ	佐々木 高明 Virginia Meza Hernandez	メキシコ大学院大学出版局	出版： スペイン語版
19	集合的都市デザイン：協働のプロセスによる都市の形成	コロンビア	北尾 靖雅 Adrian Villa	ボンティフィシア・ハベリアナ大学出版	翻訳： スペイン語訳
20	武州公秘話 及び 吉野葛	ブラジル	谷崎 潤一郎 Dirce Kimiyo Miyamura	Companhia das Letras/Editora Schwarcz Ltda.	翻訳・出版： ポルトガル語版
21	日本はここから遠くない	ブラジル	Antonio Motta	Editora Revista Anthropologica	出版（書き下ろし）： 日系人を通じて浸透した東北ブラジルにおける日本文化の現状に関する図書
22	饒太郎・異端者の悲しみ	ベネズエラ	谷崎 潤一郎 寺尾 隆吉	ビデウイコ・エディトル	翻訳・出版： 谷崎潤一郎著『饒太郎』『異端者の悲しみ』のスペイン語版
23	破戒	イタリア	島崎 藤村 マリア・ジョイア・ヴィエンナ	ラ・レープレ	出版： イタリア語版

映像出版事業費

	書名	対象国	編著者／翻訳者	助成対象機関	事業内容
24	龍と稲妻	イタリア	Marco Pellitteri Roverto Branca	Tunue S. r. l.	翻訳・出版： Marco Pellitteri 著 <i>Il Drago e la Saetta. Modelli, Strategie e Identita dell' Immaginario Giapponese</i> (イタリア語) の英語版
25	サラダ記念日	スペイン	俵 万智 Kayoko Takagi	Editorial Verbum, S.L.	翻訳・出版： スペイン語／日本語版
26	雪国	スペイン	川端 康成 Albert Nolla	Viena Publishing House	翻訳・出版： カタロニア語版
27	楡家の人々	ドイツ	北 杜夫 Otto Putz	Be. Bra Verlag GmbH	翻訳・出版： ドイツ語版
28	日本の歴史	フランス	Jean Charles Esmein	Editions Hermann	出版（書き下ろし）： 一年365日に相当する写真、絵画等映像資料に、文学作品の抜粋を併せて、一般読者に提供する図書
29	日本文化における時間と空間	フランス	加藤 周一 Christophe Sabouret	CNRS editions	翻訳・出版： フランス語版
30	血と骨	モナコ	梁 石日 Patrick Honnore	Le Rocher Publishing	出版： フランス語版
31	ねじ巻き鳥クロニクル	ウクライナ	村上 春樹 Ivan Petrovych Dziub	Folio Publishers Ltd.	翻訳・出版： ウクライナ語版
32	遺跡の旅・シルクロード-第一回・第二回西トルキスタン紀行	ウズベキスタン	井上 靖 Mariya Kobijaeva	Art Press Co. Ltd.	出版： 井上靖著『遺跡の旅・シルクロード-第一回西トルキスタン紀行・第二回西トルキスタン紀行-』のロシア語版
33	雪国	スロベニア	川端 康成 Iztok Ilc	Zalozba Sanje d. o. o.	翻訳・出版： スロベニア語版
34	諸國小史：日本	チェコ	David Labus	Libri, s. r. o.	出版（書き下ろし）： 前史の縄文文化から現代の小泉改革まで、日本の全時代の歴史をカバーした図書
35	日本ハンガリー交流史	ハンガリー	Istvan Szerdahelyi	Eotvos University Press Ltd.	出版（書き下ろし）： 日本・ドナウ交流年を記念し、日・ハンガリー両国から各分野の専門家が寄稿して編纂される論文集

映像出版事業費

	書名	対象国	編著者／翻訳者	助成対象機関	事業内容
36	ゼロ弾きのゴージュ	ハンガリー	宮沢 賢治 東口 紗亜里	Homonnai Kiado	翻訳・出版： ハンガリー語版
37	ねじ巻き鳥クロニクル	ハンガリー	村上 春樹 Erdos Gyorgy	Geopen Konyvkiado Kft.	出版： ハンガリー語版
38	坊ちゃん	ポーランド	夏目 漱石 村上 ボジエナ	P.P.H.U. Inter Media	翻訳・出版： ポーランド語版
39	春の雪	ルーマニア	三島 由紀夫 Angela Hondru	Humanitas Fiction Publishing House	出版： ルーマニア語版
40	新しいアイデンティティを模索する日本	ロシア	Sergei Vladislavovich Chugrov	Vostochnaya Literatura Publishers	出版（書き下ろし）： 昨今の日本人のアイデンティティに焦点を当てつつ、（日本の）歴史にも言及した図書
41	兎の眼	ロシア	灰谷 健次郎 Elena Baibikov	Samokat Publishing House	翻訳・出版： ロシア語版
42	原爆の子ー広島少年少女のうったえー	ロシア	長田 新 Maria Alexeevna Kirichenko	Pechatnie Traditsii	翻訳・出版： ロシア語版
43	日本の庭園芸術	ロシア	Sergey Alexandrovich Mostovoy	ダリナウカ	出版（書き下ろし）： 日本の庭園について、カラー写真を掲載し、芸術と歴史の側面から解説した図書
44	源氏物語	ロシア	紫 式部 タチアナ・リウォフナ・ソコロワ	ヒュヘリオン出版社	出版： ロシア語版
45	島崎 藤村集	ロシア	島崎 藤村 ナタリア・イサエフナ・フェルデマン	ヒュヘリオン出版社	出版： ロシア語版
46	武士道	イラン	新渡戸 稲造 Mohammad Naghizadeh	エンテシヤル出版社	出版： ペルシャ語版
47	戦後における日本演劇選集	エジプト	Adel Amin Mahmoud Saleh	Nawafez Society	出版（書き下ろし）： 戦後日本のドラマを通して、日本固有の文化像を追求した図書
48	小倉百人一首	エジプト	Ahmad Fathi Mostafa	Nawafez Society	出版： アラビア語版

## 映像出版事業費

	書名	対象国	編著者／翻訳者	助成対象機関	事業内容
49	戦時期日本の精神史－1931～1945	エジプト	鶴見 俊輔 Alaa Aly Zein El Abedin	Sphinx Agency	翻訳・出版： アラビア語版
50	現代日本の文化と社会	全世界区分困難	今井 雅晴 Anna Pak	自照社出版	出版： ロシア語／日本語版
51	八日目の蟬	全世界区分困難	角田 光代 満谷 マーガレット	講談社インターナショナル株式会社	翻訳・出版： 英語版



# 日本語普及事業に必要な経費

## 日本語事業費

### 1. 日本語企画調整費

- (1) 海外日本語教育機関等調査
- (2) 日本語教育情報交流

### 2. 日本語派遣・助成費

- (1) 受託事業（アセアン 第一期）
- (2) 受託事業（アセアン 第二期）
- (3) 日本語教育専門家派遣（専門家）
- (4) 日本語教育専門家派遣（ジュニア専門家）
- (5) 国内大学連携（派遣・助成）
- (6) 日本語教育企画連携型事業
- (7) 日本語教育機関支援（現地講師謝金助成）
- (8) 日本語教育プロジェクト支援（弁論大会助成）
- (9) 日本語教育プロジェクト支援（ネットワーク形成助成）
- (10) 日本語教育専門家派遣（JFボランティア・指導助手）

### 3. 日本語能力試験費

- (1) 日本語能力試験実施
- (2) 評価開発

日本語事業費

1. 日本語企画調整費 / (1) 海外日本語教育機関等調査

海外の日本語教育機関等に関する調査及び特定地域における調査等を実施し、その結果を公開する。

合計額 22,579,888 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	海外日本語教育機関調査	全世界区分困難	2009.04.01 ~ 2010.03.31	3年毎に実施する海外における日本語教育機関、教師、学習者等に関する一斉調査。平成21年度は各国において調査を実施
2	日本語教育事情の動向調査	全世界区分困難	2009.04.01 ~ 2010.03.31	海外の日本語教育の動向を調査
3	日本語教育国・地域別情報ウェブサイト	全世界区分困難	2009.04.01 ~ 2010.03.31	各国の日本語教育の状況（沿革／教育制度／現状／動向等）を国際交流基金ウェブサイトで紹介。毎年更新

1. 日本語企画調整費 / (2) 日本語教育情報交流

外国人による日本語弁論大会を実施する。

合計額 1,500,000 円

	事業名	会場	期間	事業内容
1	第50回外国人による日本語弁論大会	函館市民会館	2009.05.30	日本語学習を奨励し、日本語普及事業への国民の理解を深めるため、外国人による日本語弁論大会を財団法人国際教育振興会、北海道函館市と共催。大会の様子は後日NHK教育テレビで放映

## 日本語事業費

## 2. 日本語派遣・助成費 / (1) 受託事業 (アセアン 第一期)

21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme) の一環として受託し、ネイティブスピーカーとして日本語教育に携わるとともに、日本文化紹介等の活動を行う若手日本語教師を主に東南アジア諸国に派遣する。

合計額 60,043,936 円

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	園山 智子	インドネシア	インドネシア・コンピューター大学	2009.01.31 ~ 2009.11.28	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
2	松村 のぞみ	インドネシア	ウィディアタマ大学	2009.02.08 ~ 2009.12.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
3	西 智美	インドネシア	ウダヤナ大学	2009.02.08 ~ 2009.12.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
4	尾関 優子	インドネシア	北スマトラ大学	2009.02.07 ~ 2009.12.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
5	杉山 春華	インドネシア	国立リアウ大学	2009.01.31 ~ 2009.11.28	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
6	戸野 雅恵	インドネシア	JIA外国語大学	2009.02.07 ~ 2009.12.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
7	眞謝 絵美	インドネシア	ディアン・ヌスワントロ大学	2009.01.31 ~ 2009.11.28	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
8	小島 理恵	インドネシア	ドクター・ストモ大学	2009.02.07 ~ 2009.12.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
9	町田 佳帆梨	インドネシア	ブン・ハッタ大学	2009.02.01 ~ 2009.11.28	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
10	佐農 紀子	インドネシア	ムハマディア・ドクター・ハムカ大学	2009.01.31 ~ 2009.11.28	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
11	小池 博美	カンボジア	王立プノンペン大学	2008.08.27 ~ 2009.07.15	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
12	赤澤 香代子	シンガポール	シンガポール国立大学	2008.08.21 ~ 2009.05.31	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
13	日野 広大	フィリピン	サンカルロス大学	2008.06.24 ~ 2009.04.22	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
14	三宅 絵梨	フィリピン	フィリピン大学ITトレーニング・センター	2008.07.12 ~ 2009.05.11	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
15	浅野目 志乃	フィリピン	フィリピン日本語教師会	2008.06.04 ~ 2009.04.03	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進

## 日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
16	米田 晃久	フィリピン	フィリピン日本語教師会	2008.06.04 ~ 2009.04.03	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
17	長谷川 有彦	フィリピン	ミンダナオ国際大学	2008.06.04 ~ 2009.04.03	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
18	工藤 聡子	ブルネイ	ブルネイ教育省技術教育局生涯教育課	2009.01.11 ~ 2009.11.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
19	福岡 さやか	ベトナム	ダナン市教育訓練局	2008.08.20 ~ 2009.06.13	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
20	須摩 亜由子	ベトナム	トゥア・ティエン・フエ省教育訓練局	2008.08.20 ~ 2009.06.13	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
21	大滝 知里	ベトナム	トゥア・ティエン・フエ省高等師範学校	2008.08.21 ~ 2009.06.13	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
22	渡辺 梓	ベトナム	ハノイ市教育訓練局	2008.08.20 ~ 2009.06.13	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
23	幸森 いずみ	ベトナム	ホーチミン市教育訓練局	2008.08.20 ~ 2009.06.13	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
24	高田 悠紀子	マレーシア	SMS全寮制中等高等学校	2009.01.09 ~ 2009.11.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
25	五十嵐 裕佳	マレーシア	STF全寮制中等高等学校	2009.01.09 ~ 2009.11.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
26	清水 梢	マレーシア	SBPI全寮制中等高等学校	2009.01.11 ~ 2009.11.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
27	尾堂 由美	マレーシア	KTK全寮制中等高等学校	2009.01.11 ~ 2009.11.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
28	永野 佑子	ラオス	ラオス日本人材開発センター	2008.09.16 ~ 2009.07.15	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
29	並木 麻美子	インド	ABK-AOTS同窓会タミルナド・センター	2008.06.22 ~ 2009.04.21	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
30	池田 真希子	インド	在チェンナイ印日商工会議所	2008.06.22 ~ 2009.04.21	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
31	梶田 麻優美	インド	ブネ印日協会	2008.06.22 ~ 2009.04.21	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
32	藤本 尚子	オーストラリア	ウェスタン・オーストラリア州教育省	2009.02.06 ~ 2009.12.07	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進

## 日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
33	栗原 真理江	オーストラリア	ウェスタン・オーストラリア州教育省	2009.02.08 ~ 2009.12.07	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
34	竹内 衣里	オーストラリア	ニュー・サウス・ウェールズ州教育省	2009.02.06 ~ 2009.12.07	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
35	永島 恭子	オーストラリア	ニュー・サウス・ウェールズ州教育省	2009.02.06 ~ 2009.12.07	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
36	内田 紋子	オーストラリア	ニュー・サウス・ウェールズ州教育省	2009.02.08 ~ 2009.12.07	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
37	中村 清夏	ニュージーランド	タワ・カレッジ	2009.01.19 ~ 2009.11.19	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進

## 2. 日本語派遣・助成費 / (2) 受託事業 (アセアン 第二期)

21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme) の一環として受託し、ネイティブスピーカーとして日本語教育に携わるとともに、日本文化紹介等の活動を行う若手日本語教師を主に東南アジア諸国に派遣する。

合計額 157,972,909 円

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	紺矢 彩織	インドネシア	インドネシア・コンピュータ大学 パシム・ナショナル大学	2010.02.01 ~ 2010.12.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
2	森島 有紀	インドネシア	ウダヤナ大学	2010.02.01 ~ 2010.12.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
3	森山 史子	インドネシア	ウディアタマ大学 パシム・ナショナル大学	2010.01.01 ~ 2010.12.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
4	武藤 理恵	インドネシア	北スマトラ大学	2010.02.01 ~ 2010.12.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
5	岡田 薫	インドネシア	JIA外国語大学	2010.02.01 ~ 2010.12.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
6	常次 亨介	インドネシア	ディアン・ヌスワントロ大学	2010.02.01 ~ 2010.12.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
7	飯室 智恵美	インドネシア	ドクター・ストモ大学	2010.02.01 ~ 2010.12.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
8	藤原 愛	インドネシア	ムハマディア・ドクター・ハムカ大学	2010.02.01 ~ 2010.12.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進

## 日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
9	里 真吾	インドネシア	リアウ大学	2010.02.01 ~ 2010.12.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
10	米澤 千晶	カンボジア	王立プノンペン大学	2009.08.27 ~ 2010.07.13	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
11	井海 佳那	シンガポール	ナンヤン・ポリテクニク	2009.05.18 ~ 2010.03.21	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
12	佐藤 なぎさ	タイ	ウィアンパパオ・ウィタヤコム	2009.05.02 ~ 2010.03.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
13	三島 幸子	タイ	ウィチエマントゥ校	2009.05.02 ~ 2010.03.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
14	國方 香苗	タイ	ウッタラディット・ダルニー校	2009.05.02 ~ 2010.03.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
15	酒井 優佳	タイ	カラヤニー・シタマラート校	2009.05.01 ~ 2010.03.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
16	井元 麻美	タイ	スアングラブ・ウィタヤライ・ノンタブリー校	2009.05.02 ~ 2010.03.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
17	上林 亜有実	タイ	タートパノム中等学校	2009.05.02 ~ 2010.03.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
18	村崎 愛	タイ	タクファ・ウィチャブラシット校	2009.05.01 ~ 2010.03.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
19	平 果奈	タイ	ダムロンラートソクロー校	2009.05.02 ~ 2010.03.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
20	福井 恵	タイ	トリアムウドム・スクサー南部校	2009.05.02 ~ 2010.03.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
21	大橋 陽介	タイ	ピヤマハラチャライ校	2009.05.02 ~ 2010.03.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
22	小倉 幸子	フィリピン	トレード・テック・インターナショナル・サイエンス・インスティテュート	2009.06.01 ~ 2010.03.31	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
23	鈴木 麻由	フィリピン	フィリピン教育省	2009.05.31 ~ 2010.03.31	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
24	中村 かおり	フィリピン	フィリピン教育省	2009.05.31 ~ 2010.03.31	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
25	中本 麻衣	フィリピン	フィリピン教育省	2009.05.31 ~ 2010.03.31	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進

## 日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
26	内山 宗志	フィリピン	フィリピン教育省	2009.06.01 ~ 2010.03.31	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
27	中山 真菜	フィリピン	ミンダナオ国際大学	2009.05.31 ~ 2010.03.31	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
28	熊谷 知美	ブルネイ	ブルネイ教育省生涯教育課	2010.01.27 ~ 2010.12.08	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
29	片子澤 忍	ベトナム	ダナン市教育訓練局	2009.08.06 ~ 2010.06.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
30	柿内 良太	ベトナム	トゥア・ティエン・フエ省教育訓練局	2009.08.06 ~ 2010.06.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
31	柏倉 裕美	ベトナム	ハノイ市教育訓練局	2009.08.06 ~ 2010.06.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
32	足立 みか	ベトナム	ホーチミン市教育訓練局	2009.08.06 ~ 2010.06.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
33	森 和代	マレーシア	Sekolah Dato' Abdul Razak	2010.01.08 ~ 2010.11.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
34	中嶋 りりか	マレーシア	Sekolah Sultan Alam Shah	2010.01.08 ~ 2010.11.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
35	小山 弥里	マレーシア	SM Sultan Abdul Halim	2010.01.08 ~ 2010.11.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
36	古津 真弓	マレーシア	SMK Raja Chulan	2010.01.09 ~ 2010.11.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
37	北出 理恵	マレーシア	SMK Tinggi Perempuan Melaka	2010.01.08 ~ 2010.11.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
38	浦野 萌	マレーシア	SMS Kuala Selangor	2010.01.08 ~ 2010.11.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
39	三浦 真美	マレーシア	SMS Sultan Mahmud	2010.01.09 ~ 2010.11.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
40	秋山 彩	マレーシア	SMS Tengku Muhammad Faris Petra	2010.01.09 ~ 2010.11.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
41	岡村 恵	マレーシア	SMS Tuanku Syed Putra	2010.01.08 ~ 2010.11.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
42	池田 愛	マレーシア	SMS Tun Sye Sheh Shahabudin	2010.01.09 ~ 2010.11.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進

## 日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
43	本行 沙織	ミャンマー	ミャンマー元留学生協会	2010. 01. 11 ~ 2010. 12. 03	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
44	船本 日佳里	ラオス	ラオス国立大学文学部日本語学科	2009. 09. 01 ~ 2010. 07. 22	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
45	近江 麻稚子	ラオス	ラオス日本人材開発センター	2009. 08. 06 ~ 2010. 07. 02	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
46	田中 江梨子	インド	ABK-AOTS Dosokai Nihongo Gakko	2009. 06. 21 ~ 2010. 04. 21	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
47	川崎 陽子	インド	在チェンナイ商工会議所	2009. 06. 21 ~ 2010. 04. 21	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
48	林 芳恵	インド	ティラク・マハラシュトラ大学	2009. 06. 21 ~ 2010. 04. 21	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
49	山岡 友喜子	インド	ブネ印日協会	2009. 06. 21 ~ 2010. 04. 21	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
50	樋口 佳希	インド	Bluebells School International	2009. 06. 21 ~ 2010. 04. 21	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
51	初見 絵里花	オーストラリア	Adelaide High School Grange Primary School	2010. 01. 19 ~ 2010. 12. 15	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
52	大山 大樹	オーストラリア	Chatham Primary Koonung Secondary College	2010. 01. 19 ~ 2010. 12. 19	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
53	岡田 恵	オーストラリア	Nightcliff Middle School	2010. 01. 19 ~ 2010. 12. 15	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
54	三木 麻里名	オーストラリア	Murray Farm Public School	2010. 01. 19 ~ 2010. 12. 19	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
55	今江 久美子	オーストラリア	Leeming Senior High School Willetton Senior High School	2010. 01. 19 ~ 2010. 12. 19	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
56	楠生 紀子	オーストラリア	Rosny College	2010. 01. 19 ~ 2010. 12. 19	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
57	川口 純子	ニュージーランド	Marian College Rangi Ruru Girls School	2010. 01. 19 ~ 2010. 12. 19	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
58	黒岩 朋子	ニュージーランド	Rangitoto College	2010. 01. 19 ~ 2010. 12. 19	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進



日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費 / (3) 日本語教育専門家派遣 (専門家)

各国の日本語教育の現地化と自立化の促進を目的として、以下の支援を実施するために、各国の基金海外拠点・中核的機関等に日本語教育専門家を派遣する。  
 1. 現地の日本語教師養成に資するため、日本語教師研修会の実施、教師ネットワーク形成の支援、日本語教授法や日本語教材作成に関する助言・指導などを行う。  
 2. 現地日本語教育機関の授業を実際に担当するほか、現地人教師への助言・指導、カリキュラム編成や教材作成などについて支援を行う。

合計額 746,723,259 円

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	長田 佳奈子	韓国	ソウル日本文化センター	2006.06.21 ~ 2009.06.30	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
2	北村 武士	韓国	ソウル日本文化センター	2007.03.16 ~ 2010.03.15	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
3	小川 靖子	韓国	ソウル日本文化センター	2008.08.21 ~ 2011.08.20	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
4	小西 広明	韓国	ソウル日本文化センター	2010.03.07 ~ 2012.03.06	任国の国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
5	王 崇梁	中国	北京日本文化センター	2008.05.10 ~ 2011.05.09	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
6	木山 登茂子	中国	香港日本語教育研究会	2009.06.10 ~ 2012.06.09	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
7	金 秀芝	中国	香港日本語教育研究会	2007.06.22 ~ 2009.06.21	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
8	藤島 夕紀代	モンゴル	モンゴル日本人材開発センター	2008.04.01 ~ 2012.01.21	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
9	山本 晃彦	インドネシア	インドネシア教育大学	2006.08.03 ~ 2010.08.07	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
10	久松 美立	インドネシア	ガジャマダ大学	2007.07.09 ~ 2010.07.08	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施

## 日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
11	飯尾 幸司	インドネシア	北スマトラ大学	2006.06.14 ~ 2009.06.30	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
12	山下 美紀	インドネシア	国立スラバヤ大学	2007.07.09 ~ 2010.07.08	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
13	吉田 裕子	インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	2006.06.22 ~ 2009.06.30	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
14	木谷 直之	インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	2007.09.15 ~ 2010.09.14	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
15	久松 美立	インドネシア	スマラン国立大学	2007.07.09 ~ 2010.07.08	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言等を実施
16	小松 知子	インドネシア	西ジャワ（インドネシア教育大）	2009.07.22 ~ 2011.07.21	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
17	上野 栄三	カンボジア	王立プノンペン大学	2008.08.07 ~ 2010.08.06	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言等を実施
18	片桐 準二	カンボジア	王立プノンペン大学	2009.09.21 ~ 2010.08.20	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言等を実施
19	石田 英明	カンボジア	カンボジア日本人材開発センター	2009.04.20 ~ 2011.04.19	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
20	西野 藍	タイ	コンケン大学	2008.04.28 ~ 2010.04.27	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言等を実施
21	松原 潤	タイ	バンコク日本文化センター	2006.09.22 ~ 2009.09.30	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
22	儀満 敏彦	タイ	バンコク日本文化センター	2007.05.02 ~ 2009.05.23	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施

## 日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
23	三浦 多佳史	タイ	バンコク日本文化センター	2009.05.15 ~ 2012.05.14	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
24	渋谷 実希	タイ	バンコク日本文化センター	2009.09.22 ~ 2012.09.21	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
25	新見 康之	フィリピン	マニラ日本文化センター	2008.05.14 ~ 2011.05.13	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
26	大船 ちさと	フィリピン	マニラ日本文化センター	2009.11.01 ~ 2010.03.31	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
27	稲見 由紀子	ベトナム	ベトナム中等教育機関	2007.07.31 ~ 2009.07.30	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
28	村上 吉文	ベトナム	ベトナム日本人材協力センター	2008.08.07 ~ 2010.08.06	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
29	平岩 桂子	ベトナム	ベトナム日本人材協力センター	2008.09.23 ~ 2010.08.31	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
30	有馬 淳一	ベトナム	ベトナム日本文化交流センター	2009.07.22 ~ 2012.07.21	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
31	矢沢 悦子	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2006.04.22 ~ 2009.10.21	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
32	坪山 由美子	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2008.04.08 ~ 2011.04.15	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
33	伊藤 愛子	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2009.10.13 ~ 2011.10.12	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
34	富岡 純	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2007.03.18 ~ 2010.03.18	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成

## 日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
35	藤原 由紀子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2007.03.18 ~ 2010.03.18	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
36	杉山 純子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2007.03.18 ~ 2010.03.28	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
37	吉川 達	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2007.03.23 ~ 2010.03.23	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
38	戸田 淑子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2007.03.23 ~ 2010.03.28	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
39	三宅 直子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2008.03.17 ~ 2010.03.01	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
40	遠藤 和歌子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2008.03.17 ~ 2011.03.16	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
41	金澤 菜穂	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2008.03.17 ~ 2010.03.16	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
42	谷井 明美	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2008.03.17 ~ 2011.03.16	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
43	矢野 優子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2008.03.17 ~ 2011.03.16	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
44	小林 峰子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2009.03.30 ~ 2011.03.29	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
45	星野 智子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2009.03.30 ~ 2011.03.29	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
46	三宅 直子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2010.03.15 ~ 2012.03.14	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成

## 日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
47	隈井 正三	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2010.03.22 ~ 2012.03.21	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
48	原田 明子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2010.03.22 ~ 2012.03.21	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
49	森西 志保子	ラオス	ラオス国立大学	2007.07.19 ~ 2010.08.18	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言等を実施
50	野村 ゆみ子	ラオス	ラオス日本人材開発センター	2008.08.21 ~ 2010.08.20	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
51	柴原 智代	インド	ニューデリー日本文化センター	2008.01.15 ~ 2010.01.25	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
52	和田 衣世	インド	ニューデリー日本文化センター	2008.05.01 ~ 2011.04.30	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
53	鈴木 今日子	インド	ニューデリー日本文化センター	2008.07.09 ~ 2010.07.08	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
54	田邊 知成	インド	ニューデリー日本文化センター	2009.04.16 ~ 2012.04.15	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
55	青沼 国夫	スリランカ	ケラニア大学	2007.04.13 ~ 2011.04.30	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
56	松本 剛次	オーストラリア	シドニー日本文化センター	2007.04.01 ~ 2010.04.30	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
57	藤光 由子	オーストラリア	西オーストラリア州教育省	2007.02.04 ~ 2010.02.10	任国の教育省において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
58	友岡 純子	ニュージーランド	ニュージーランド教育省	2008.01.30 ~ 2010.12.31	任国の教育省において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施

## 日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
59	室屋 春光	カナダ	アルバータ州教育省	2006.06.19 ~ 2009.06.18	任国の教育省において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
60	永富 あゆみ	カナダ	アルバータ州教育省	2009.06.07 ~ 2011.06.06	任国の教育省において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
61	山科 健吉	メキシコ	メキシコ日本文化センター	2009.11.16 ~ 2010.03.03	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
62	林 雅子	チリ	サンチャゴ大学	2008.01.16 ~ 2010.01.31	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
63	池津 丈司	ブラジル	サンパウロ日本文化センター	2009.10.01 ~ 2012.09.30	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
64	茅本 百合子	アイルランド	アイルランド教育省	2008.07.28 ~ 2011.07.27	任国の教育省において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
65	高崎 三千代	イタリア	ローマ日本文化会館	2006.07.03 ~ 2009.07.02	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
66	室屋 春光	イタリア	ローマ日本文化会館	2009.09.20 ~ 2011.09.19	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
67	宇田川 洋子	英国	ロンドン日本文化センター	2008.02.19 ~ 2011.02.18	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
68	岩澤 和宏	ドイツ	ケルン日本文化会館	2007.08.05 ~ 2010.08.05	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
69	三矢 真由美	ドイツ	ケルン日本文化会館	2008.07.13 ~ 2011.07.12	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
70	近藤 裕美子	フランス	パリ日本文化会館	2007.12.12 ~ 2010.12.11	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施

## 日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
71	大原 淳裕	ウクライナ	ウクライナ日本センター	2008.06.29 ~ 2010.06.28	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
72	立間 智子	ウズベキスタン	ウズベキスタン日本人材開発センター	2008.07.10 ~ 2010.11.30	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
73	久野 元	カザフスタン	カザフスタン日本人材開発センター	2007.04.05 ~ 2009.04.04	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
74	山口 敏幸	カザフスタン	カザフスタン日本人材開発センター	2009.04.21 ~ 2010.09.30	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
75	黒岩 幸子	キルギス	キルギス日本人材開発センター	2010.01.24 ~ 2012.01.23	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
76	尾崎 裕子	キルギス	キルギス日本人材開発センター	2007.02.07 ~ 2010.02.06	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
77	三上 京子	チェコ	カレル大学	2007.09.22 ~ 2010.09.21	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
78	福島 青史	ハンガリー	ブダペスト日本文化センター	2007.07.31 ~ 2010.08.10	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
79	駒田 聡	ブルガリア	ソフィア大学	2007.07.19 ~ 2010.07.18	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
80	瓜生 佳代	ポーランド	ヤゲロン大学	2007.07.03 ~ 2010.07.02	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
81	平野 美恵子	ルーマニア	ブカレスト大学	2007.07.15 ~ 2009.07.14	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
82	山口 明	ルーマニア	ブカレスト大学	2009.07.03 ~ 2012.07.02	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施

## 日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
83	小栗 潔	ロシア	モスクワ国立大学	2008.06.22 ~ 2010.06.21	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
84	近藤 正憲	イラン	テヘラン大学	2006.07.28 ~ 2009.07.30	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言等を実施
85	大谷 英樹	サウジアラビア	キング・サウード大学	2006.09.29 ~ 2009.07.01	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
86	渡辺 由美	シリア	ダマスカス大学	2007.07.20 ~ 2010.07.19	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言等を実施
87	横野 登代子	トルコ	土日基金文化センター	2006.06.04 ~ 2009.09.30	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
88	松島 幸男	エジプト	アインシャムス大学	2007.07.10 ~ 2010.07.09	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言等を実施
89	山科 健吉	エジプト	カイロ日本文化センター	2006.09.01 ~ 2009.10.04	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
90	小久保 ひろし	ケニア	ケニヤッタ大学	2008.07.18 ~ 2010.07.17	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施

## 2. 日本語派遣・助成費 / (4) 日本語教育専門家派遣 (ジュニア専門家)

各国の日本語教育の現地化と自立化の促進を目的として、以下の支援を実施するために、各国の基金海外拠点・中核的機関等にジュニア専門家を派遣する。

1. 主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内で日本語教師のための勉強会の開催や、学校訪問・巡回指導などを行う。
2. 大学など個別の機関にて、当該機関の授業担当、カリキュラム編成、教材作成、現地教師への助言などを行う。

合計額 158,308,702 円

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	中村 直子	韓国	ソウル日本文化センター	2009.08.16 ~ 2011.08.15	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施



## 日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
2	齊藤 都	中国	阜新県進修学校 阜新市進修学校 遼寧省基礎教育教研培訓中心	2007.07.06 ~ 2009.07.05	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
3	佐藤 修	中国	北京日本文化センター	2009.07.07 ~ 2011.07.06	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
4	栗原 明美	インドネシア	インドネシア中等教育機関	2005.06.13 ~ 2009.06.12	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
5	工藤 聖子	インドネシア	インドネシア中等教育機関	2008.06.08 ~ 2010.06.29	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
6	岩田 敏和	インドネシア	インドネシア中等教育機関	2008.06.08 ~ 2011.06.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
7	吉岡 千里	インドネシア	インドネシア中等教育機関	2008.06.08 ~ 2011.06.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
8	秋山 佳世	インドネシア	インドネシア中等教育機関	2009.05.31 ~ 2011.06.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
9	三浦 雄一郎	インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	2006.06.12 ~ 2009.06.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
10	益山 智恵	インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	2009.06.21 ~ 2011.06.30	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
11	太原 ゆか	タイ	タイ中等教育機関	2008.04.16 ~ 2010.04.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
12	内田 陽子	タイ	タイ中等教育機関	2007.04.17 ~ 2010.04.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
13	松井 玲子	タイ	バンコク日本文化センター	2008.04.03 ~ 2011.04.30	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施

## 日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
14	和栗 夏海	フィリピン	マニラ日本文化センター	2007.05.01 ~ 2010.06.17	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
15	伊藤 愛子	ベトナム	ベトナム中等教育機関	2007.06.02 ~ 2009.08.23	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
16	横山 直子	ベトナム	ベトナム中等教育機関	2009.08.15 ~ 2012.08.14	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
17	伊藤 聡子	ベトナム	レークイドン中学校	2007.08.25 ~ 2010.08.24	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
18	レイン 幸代	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2007.05.12 ~ 2009.08.31	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
19	久木元 恵	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2009.08.23 ~ 2012.08.22	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
20	尾沼 玄也	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2010.03.22 ~ 2012.03.21	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育部の学生に対する、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
21	中村 聖子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2010.03.22 ~ 2012.03.21	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育部の学生に対する、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
22	野口 真早季	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2010.03.22 ~ 2012.03.21	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育部の学生に対する、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
23	石綿 由美子	マレーシア	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース	2010.03.22 ~ 2012.03.21	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育部の学生に対する、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
24	チャンタボン 令	ラオス	ラオス国立大学	2007.08.20 ~ 2010.08.19	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言など
25	信岡 麻理	オーストラリア	シドニー日本文化センター	2008.11.01 ~ 2011.10.31	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
26	森 文枝	オーストラリア	シドニー日本文化センター	2010.03.29 ~ 2013.03.28	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
27	渡邊 知積	アゼルバイジャン	バクー国立大学	2007.06.20 ~ 2009.06.19	派遣先大学での日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成

## 日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
28	森 勇樹	アゼルバイジャン	バクー国立大学	2009.06.05 ~ 2012.06.05	派遣先大学での日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
29	三森 優	ウクライナ	キエフ国立大学／キエフ言語大学	2008.06.19 ~ 2011.06.18	派遣先大学での日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
30	鈴木 恵理	カザフスタン	カザフ民族大学	2008.06.19 ~ 2010.06.30	派遣先大学での日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
31	柳坪 幸佳	ハンガリー	ブダペスト日本文化センター	2008.06.19 ~ 2011.06.18	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
32	渡辺 裕美	ベラルーシ	ベラルーシ国立大学	2008.06.19 ~ 2010.06.26	派遣先大学での日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
33	坂本 裕子	ロシア	ウラジオストク極東国立総合大学	2006.08.20 ~ 2009.08.19	派遣先大学での日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
34	安河内 貴子	ロシア	極東国立人文大学	2008.06.19 ~ 2010.12.31	派遣先大学での日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
35	渡邊 康二	ロシア	サハリン国立総合付属経済東洋語大学	2008.06.21 ~ 2010.06.30	派遣先大学での日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
36	猪狩 英美	ロシア	ノボシビルスク国立大学	2006.06.14 ~ 2009.06.13	派遣先大学での日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
37	山口 紀子	ロシア	ノボシビルスク国立大学	2009.08.22 ~ 2012.8.21	派遣先大学での日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
38	水谷 梢太	サウジアラビア	キングサウド大学	2009.06.19 ~ 2012.06.18	派遣先大学での日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
39	斎藤 誠	シリア	ダマスカス大学	2007.08.20 ~ 2010.08.19	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言など
40	村木 佳子	トルコ	土日基金文化センター	2009.09.19 ~ 2012.09.18	任国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施
41	森田 衛	エジプト	アインシャムス大学	2006.08.21 ~ 2009.06.30	派遣先大学での日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
42	愛木 佳代	エジプト	アインシャムス大学	2009.08.15 ~ 2012.06.30	派遣先大学での日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
43	櫻井 勇介	エジプト	カイロ大学文学部日本語日本文学科	2008.08.20 ~ 2010.06.30	派遣先大学での日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成

## 日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
44	佐藤 五郎	エジプト	カイロ日本文化センター	2009. 09. 25 ~ 2012. 09. 24	任国の基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施

## 2. 日本語派遣・助成費 / (5) 国内大学連携（派遣・助成）

日本語教員養成課程を持つ大学等の国内教育機関と協力し、海外の日本語教育機関へ日本語教育実習生（インターン）を派遣する。

合計額 57,273,391 円

	助成対象機関	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	愛知教育大学	タイ	スラタニ・ラジャバット大学 チェンライ・ラジャバット大学	2009. 08. 05 ~ 2009. 09. 09	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
2	桜美林大学	タイ ニュージーランド	スイパトゥム大学 ワイカト大学	2010. 02. 04 ~ 2010. 03. 27	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
3	大阪樟蔭女子大学	ニュージーランド	オークランド大学	2010. 02. 20 ~ 2010. 04. 03	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
4	大阪大学	シンガポール タイ ドイツ	シンガポール・ニース・ポリテクニク チェンマイ大学人文学部日本語学科 デュッセルドルフ大学人文学部	2009. 10. 01 ~ 2010. 10. 01	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
5	学習院大学	タイ オーストラリア	スイパトゥム大学 ニュー・サウス・ウェールズ大学	2010. 02. 03 ~ 2010. 04. 03	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
6	関西外国語大学	中国	上海外国語大学 天津外国語学院 天津理工大学 北京語言大学 北方工業大学	2009. 08. 28 ~ 2010. 07. 20	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与

## 日本語事業費

	助成対象機関	対象国	受入機関	期間	事業内容
7	京都外国語大学	韓国 中国 オランダ	仁川大学校 広東外語外貿大学東方語言文化学院 日本語科 オランダ国立南大学	2009.08.27 ~ 2010.12.10	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
8	神戸松蔭女子学院大学	インドネシア	ハサヌディン大学文学部日本語学科	2010.02.04 ~ 2010.03.09	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
9	神戸女子大学	ニュージーランド	オークランド工科大学	2009.08.22 ~ 2009.08.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
10	国際基督教大学	オーストラリア	ヴィクトリア州教育省	2010.03.06 ~ 2010.03.28	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
11	埼玉大学	中国	北京師範大学外文学院	2010.02.28 ~ 2010.03.14	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
12	札幌国際大学	中国	吉林師範大学	2009.08.29 ~ 2009.09.19	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
13	山陽学園大学	韓国 オーストラリア	柳韓大学 グリフィス大学ゴールドコースト校	2009.09.04 ~ 2009.10.13	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
14	昭和女子大学	韓国 ベトナム	韓陽女子大学 西江大学校 ハノイ国家大学人文社会科学大学	2009.08.30 ~ 2010.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
15	城西国際大学	中国 ノルウェー ハンガリー	大連外国語学院日本語学院 オスロ大学 ブタペスト商科大学	2009.09.28 ~ 2009.12.18	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
16	信州大学	韓国	カトリック大学校	2009.08.29 ~ 2009.09.27	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与

## 日本語事業費

	助成対象機関	対象国	受入機関	期間	事業内容
17	筑波大学	イタリア フランス スロベニア	カタールニア大学 リヨン第3大学 リュブリャーナ大学文学部アジア・アフリカ研究科	2009.07.04 ~ 2010.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
18	東京外国語大学	中国    シンガポール タイ  オーストラリア ニュージーランド イタリア スペイン スロベニア ルーマニア	東北師範大学中国赴日本留学生予備学校 上海外国語大学日本文化経済学院 香港大学日本研究科 シンガポール国立大学語学研究センター シーナカリンウィロート大学 バンコク日本文化センター オーストラリア国立大学 ウェリントン・ヴィクトリア大学 ヴェネチア大学 マドリード自治大学 リュブリャーナ大学文学部アジア・アフリカ研究科 ブカレスト大学	2009.08.09 ~ 2010.03.28	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
19	同志社女子大学	韓国 オーストラリア	ソウル女子大学 OKCオセアニア交流センター ヴィクトリア州教育省	2009.08.09 ~ 2010.03.21	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
20	東北学院大学	韓国 ドイツ	平澤中学校 トリア大学	2009.09.06 ~ 2009.12.06	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
21	東北大学大学院 文学研究科	韓国 インドネシア タイ	忠南中学校 マナド国立大学言語芸術学部 サイアム大学	2010.01.31 ~ 2010.03.16	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与

## 日本語事業費

	助成対象機関	対象国	受入機関	期間	事業内容
22	日本女子大学	スロベニア	リュブリャーナ大学	2010.01.31 ~ 2010.02.14	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
23	一橋大学	中国	北京大学外国語学院日本語文化学部	2010.02.25 ~ 2010.03.14	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
24	広島大学	中国 ニュージーランド トルコ	建国大学校師範大学 中山大学外国語学院 オークランド大学 ボアジチ大学	2010.02.28 ~ 2010.03.29	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
25	姫路獨協大学 外国語学部	韓国 中国 タイ オーストラリア	慶南大学校師範大学 国民大学校 香港城市大学 College of Asian Scholars 西オーストラリア大学	2009.08.16 ~ 2010.06.04	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
26	文教大学	中国 オーストラリア	北京大学外国語学院日本語文化学部 シドニー大学	2010.02.25 ~ 2010.03.26	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
27	武庫川女子大学	韓国	韓南大学校文科大学日語日文学科	2009.08.17 ~ 2009.08.22	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
28	桃山学院大学	ドイツ ポーランド	ハンブルク大学アジア・アフリカ研究所日本学科 ヤギェウォ大学	2009.08.09 ~ 2011.01.23	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
29	盛岡大学	カナダ	カムスン大学	2010.02.27 ~ 2010.03.15	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与

## 日本語事業費

## 2. 日本語派遣・助成費 / (6) 日本語教育企画連携型事業

日本語普及における政策上の必要性が高い事業を実施する。

合計額 31,123,256 円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	香港日本語教育研究会シンポジウム	中国	香港日本語教育研究会	2010.03.20 ~ 2010.03.21	さくら中核メンバーである香港日本語教育研究会が「学習者心理と言語使用場面を重視した日本語教授法」をテーマとする2日間のセミナーを開催。香港の日本語教育関係者を対象に共通の問題意識を取り上げ、情報交換の場を作ることを目的として実施
2	タイ非母語話者読解力向上セミナー	タイ	チュラーロンコーン大学	2010.03.24	さくら中核メンバーであるチュラーロンコーン大学主催のタイにおける非母語話者教師の日本語読解能力向上のための1日セミナーを開催
3	タイ地方高校日本語教師支援	フィリピン	「タイ国さくら中核メンバーによる地方在住の高校日本語教師を育てるプロジェクト」実行委員会	2009.11.01 ~ 2010.03.31	タイ国内6つの地方にタイさくら中核メンバーに所属する日本語教育専門家を定期的に派遣し、地方に在住する高校日本語教師に対し、日本語及び日本語教授法のワークショップを実施
4	フィリピン中等教育支援	フィリピン	マニラ日本文化センター	2009.11.01 ~ 2010.03.31	フィリピン中等教育導入に際しての、中等教育向けのフィリピン独自の日本語教材を作成
5	ベトナムの中等学校における日本語教育試行プロジェクト	ベトナム	ベトナム日本文化交流センター	2009.03.28 ~ 2010.04.11	ベトナム全体の日本語教育の質の向上を目的とし、高校3年生用教科書『日本語12』及び教師用指導書を制作
6	『基礎日本語学習辞典』ラオス語訳制作	ラオス	ラオス国立大学	2009.12.10 ~ 2010.03.31	ラオスにてニーズの高い、初級後半から利用できる『基礎日本語学習辞典』をラオス語に翻訳・出版
7	IWB教材開発	オーストラリア	シドニー日本文化センター	2010.01.01 ~ 2010.03.31	オーストラリア及びニュージーランドでの初・中等教育支援を目的とした、インターアクティブ・ホワイトボードを使った教材開発プロジェクト
8	北イタリア日本語教師セミナー	イタリア	ロンバルディア州ミラノ県中等教育監理監督局	2010.02.25 ~ 2010.03.18	北部イタリア地域において、北部さくら中核メンバー主催による日本語教師の能力向上とネットワークを目的としたセミナーを実施
9	アゼルバイジャン中等教育支援	アゼルバイジャン		2009.10.15 ~ 2010.03.31	中等教育向けの日本語・日本文化紹介キットの制作及び日本語を導入する中等教育機関への送付
10	第2回ウクライナ国際公開シンポジウム	ウクライナ	キエフ国立大学	2010.03.26 ~ 2010.03.27	ウクライナ及びベラルーシの日本語教育関係者を招へいし、「旧共産圏における日本語・日本文学研究」についてのシンポジウムを実施
11	ルーマニア・ブルガリア日本語教育研修会	ブルガリア ルーマニア	ソフィア大学 ブカレスト大学	2010.01.10 ~ 2010.03.20	ルーマニア及びブルガリアの日本語教師を対象とし、日本語会話授業と口頭能力の向上を目的とした研修を実施



## 日本語事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
12	中東欧日本語教育研修会 2010	東欧地域区分困難	ブダペスト日本文化センター	2010. 01. 30 ～ 2010. 01. 31	中・東欧11カ国及びハンガリー国内の日本語教師が参加し、同地域内、地域間の連携強化を目的に、口頭能力の評価開発、各国の国家試験、卒業試験、各機関カリキュラムへの応用等の共通課題の実践報告、研修を実施
13	中等教育用日本語・日本紹介のためのレアリア教材セット作成	全世界区分困難		2009. 10. 01 ～ 2010. 03. 31	中等教育向けの日本語・日本文化紹介キット <i>VIVID JAPAN</i> を制作し、レアリア（実物教材）としてフィリピンで日本語を導入する中等教育機関に送付。フィリピンの他にも、中等教育での日本語教育導入支援が行われているベトナム、オーストラリア、英国、ハンガリーの国際交流基金海外拠点にも送付
14	日本語教育学会助成	全世界区分困難	社団法人日本語教育学会	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	社団法人日本語教育学会が実施する各種研修事業及び調査研究事業に対し助成

## 日本語事業費

## 2. 日本語派遣・助成費 / (7) 日本語教育機関支援（現地講師謝金助成）

海外の非営利日本語教育機関で日本語講座の運営に財政的困難がある場合、近い将来自助独立の見通しのあるものに関り、講師スタッフの謝金の一部を助成する。

合計額 17,542,139 円

	助成対象機関	対象国	期間
1	ラオス国立大学	ラオス	2009.04.01 ~ 2010.03.31
2	印日語学教育協会	インド	2009.07.01 ~ 2010.06.30
3	AOTS同窓会ケララ	インド	2009.07.01 ~ 2009.12.31
4	ラビンドロ・パロティ大学語学文化学院	インド	2009.07.01 ~ 2010.06.30
5	パキスタン・日本文化協会（シンド）	パキスタン	2009.04.01 ~ 2010.03.31
6	JUAAB日本語学校	バングラデシュ	2009.04.01 ~ 2010.03.31
7	オーストラリア関係教育省（クイーンズランド州）	オーストラリア	2010.03.01 ~ 2011.02.28
8	サンシャイン・コースト・グラマー・スクール	オーストラリア	2009.04.01 ~ 2010.04.30
9	ニューカッスル高校	オーストラリア	2009.04.01 ~ 2010.03.31
10	マードック大学	オーストラリア	2009.07.01 ~ 2010.06.30
11	ケベック大学モントリオール校語学スクール	カナダ	2009.04.01 ~ 2010.03.31
12	オーシャンチャータースクール	米国	2009.09.01 ~ 2010.05.31
13	ニューハイツアカデミーチャータースクール	米国	2009.08.01 ~ 2010.07.31
14	ロードアイランド日本会 語学&文化センター	米国	2009.04.01 ~ 2010.03.31
15	チリ中央日本人会	チリ	2009.04.01 ~ 2010.03.31
16	日本パラグアイ学院	パラグアイ	2009.04.30 ~ 2010.03.31
17	越知日伯学園	ブラジル	2009.04.01 ~ 2010.03.31
18	クリチーバ日伯文化援護協会日本語講座	ブラジル	2009.04.30 ~ 2010.03.31
19	日伯文化協会	ブラジル	2009.04.01 ~ 2010.03.31
20	バイア州立大学日本語研究センター	ブラジル	2009.04.01 ~ 2010.03.31
21	いちご文化協会	ペルー	2009.04.01 ~ 2010.03.31
22	ラ・ウニオン総合学校	ペルー	2009.04.01 ~ 2010.03.31
23	ラパス・ボリビア日本文化財団日本語普及学校	ボリビア	2009.04.01 ~ 2010.03.31

## 日本語事業費

	助成対象機関	対象国	期間
24	マンチェスター メトロポリタン大学	英国	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31
25	ミーニョ大学人文学部東洋言語文化研究所	ポルトガル	2009. 09. 01 ～ 2010. 08. 31
26	アザジ名称世界言語大学	トルクメニスタン	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31
27	エオトヴェシ・ロラード大学	ハンガリー	2009. 09. 01 ～ 2010. 06. 30
28	モルドバ日本交流財団	モルドバ	2009. 09. 01 ～ 2010. 08. 31
29	リーガ文化学校	ラトビア	2009. 09. 01 ～ 2010. 08. 31
30	イエメン・日本友好協会	イエメン	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31
31	バイルート・セントジョセフ大学学術交流日本センター	レバノン	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31
32	モハメッド5世大学	モロッコ	2009. 09. 01 ～ 2010. 08. 31
33	日マ日本語学校	マダガスカル	2009. 04. 01 ～ 2010. 01. 31

## 2. 日本語派遣・助成費 / (8) 日本語教育プロジェクト支援 (弁論大会助成)

海外において日本語弁論大会を開催しようとする現地機関に対して、賞品等の一部を助成する。

合計額 8,715,009 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間
1	第18回日本語弁論大会	韓国	済州道韓日親善協会	2009. 07. 01
2	第13回瀋陽日本語弁論大会	中国	瀋陽日本人会	2009. 04. 26
3	第34回香港日本語弁論大会	中国	香港日本文化協会	2009. 07. 01
4	第8回日本語スピーチコンテスト	モンゴル	モンゴル国立科学技術大学	2009. 11. 20
5	第6回西ジャワ市の高校の日本語スピーチコンテスト	インドネシア	ウィディアタマ大学	2010. 01. 01
6	第15回スラウェシ地域日本語弁論大会	インドネシア	ハサヌディン大学文学部日本語学科	2009. 04. 26
7	第2回日本語スピーチコンテスト	インドネシア	ヒカリ日本語文化センター	2009. 07. 01
8	第13回日本語スピーチコンテスト	カンボジア	王立プノンベン大学外国語学部	2010. 02. 21
9	第41回日本大使杯日本語スピーチコンテスト	シンガポール	シンガポール日本文化協会	2009. 07. 05
10	第8回セブ日本語弁論大会	フィリピン	セブ日本人会	2010. 01. 30

## 日本語事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間
11	第23回ブルネイ日本語弁論大会	ブルネイ	ブルネイ教育省技術教育局生涯教育課	2009. 08. 15
12	第1回中部日本語まつり2009	ベトナム	フエ外国語大学	2009. 10. 04
13	第15回ホーチミン市日本語スピーチコンテスト	ベトナム	ホーチミン市スピーチコンテスト実行委員会	2009. 05. 10
14	第11回日本語スピーチコンテスト	ミャンマー	ミャンマー元日本留学生協会 (MAJA)	2009. 05. 30
15	第6回ラオス日本語スピーチ大会	ラオス	ラオス国立大学	2010. 03. 20
16	第22回東インド弁論大会	インド	印日福祉文化協会	2010. 01. 01
17	日本語スピーチコンテスト	インド	在チェンナイ印日商工会議所	2009. 11. 14
18	日本語弁論大会2009	インド	バンガロール日本語教師会	2009. 11. 07
19	第21回西インド地区日本語弁論大会	インド	プネ印日協会	2009. 04. 01
20	第22回日本語弁論大会	スリランカ	スリランカ日本語教育協会	2010. 03. 20
21	第28回日本語弁論大会	ネパール	ネパール日本語教師協会	2010. 03. 01
22	第25回カラチ日本語弁論大会	パキスタン	パキスタン・日本文化協会 (シンド)	2010. 02. 27
23	エム・エル・ティ・エイ・キューサンシャイン・コースト	オーストラリア	エム・エル・ティ・エイ・キューサンシャイン・コースト	2009. 08. 30
24	JSAオーストラリア	オーストラリア	JSA実行委員会	2009. 05. 15
25	A. C. T. 日本語弁論大会	オーストラリア	首都特別地域日本語教師会	2009. 08. 01
26	豪日協会日本語スピーチコンペティション	オーストラリア	タスマニア豪日協会	2009. 08. 15
27	西豪州日本語弁論大会	オーストラリア	西オーストラリア州日本語教師協会	2009. 07. 31
28	2009年度日本語弁論大会	オーストラリア	南オーストラリア州日本語教師会	2009. 09. 11
29	第9回日本語スピーチコンテスト	サモア	サモア国立大学	2009. 10. 01
30	2009年オークランド地域日本語弁論大会	ニュージーランド	オークランド工科大学	2009. 08. 22
31	「こんにちは」日本語弁論大会	ニュージーランド	カンタベリー日本語教師ネットワーク	2009. 10. 31
32	Southland Secondary Schools Japanese Speech Competition	ニュージーランド	サウスランド中等教育日本語教師会	2009. 07. 03
33	マッセイ大学スピーチコンテスト	ニュージーランド	マッセイ大学言語学科東アジアプログラム	2009. 08. 14
34	第21回オタワ日本語弁論大会	カナダ	オタワ日本語弁論大会準備委員会	2010. 03. 06
35	第28回オンタリオ州日本語弁論大会	カナダ	オンタリオ州日本語弁論大会実行委員会	2010. 03. 06

## 日本語事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間
36	第21回ケベック州日本語弁論大会	カナダ	ケベック大学モントリオール校 語学スクール	2010. 03. 13
37	第18回アルバータ地区日本語弁論大会	カナダ	高円宮日本教育・研究センター	2010. 03. 06
38	第22回ブリティッシュ・コロンビア州日本語弁論大会	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア州日本語弁論大会 実行委員会	2010. 03. 01
39	第12回アトランティック・カナダ日本語弁論大会	カナダ	マウント・アリソン大学	2010. 03. 01
40	第21回マニトバ日本語弁論大会	カナダ	マニトバ大学アジア研究センター	2010. 03. 06
41	第21回全カナダ日本語弁論大会	カナダ	ヨーク大学 (カナダ)	2010. 03. 28
42	第7回エルサルバドル日本語スピーチコンテスト2009	エルサルバドル	エルサルバドル大学人文科学部言語学科	2009. 10. 03
43	第14回ハバナの日本語弁論大会	キューバ	ハバナ大学外国語学部	2009. 06. 20
44	第12回日本語弁論大会	グアテマラ	国立サン・カルロス大学言語センター	2009. 05. 16
45	第9回日本語弁論大会	コスタリカ	コスタリカ日本人会	2009. 09. 20
46	第12回日本語弁論大会	ニカラグア	中米大学	2010. 02. 01
47	第3回日本語スピーチコンテスト	ホンジュラス	ホンジュラス国立教育大学	2009. 08. 01
48	第26回メキシコ日本語弁論大会	メキシコ	メキシコ日本語教師会	2009. 05. 31
49	第17回日本語スピーチコンテスト	アルゼンチン	社団法人在亜日本語教育連合会	2009. 11. 08
50	第19回日本語弁論大会	ウルグアイ	在ウルグアイ日本人会	2009. 10. 10
51	第19回コロンビアカリ日本語スピーチコンテスト	コロンビア	コロンビア日系人協会付属日本語学校	2009. 10. 10
52	第28回日本語弁論大会	チリ	弁論大会実行委員会	2009. 10. 31
53	第21回日本語スピーチコンテスト	パラグアイ	パラグアイ日本人会連合会	2009. 09. 05
54	第25回パラナ日本語スピーチ・コンテスト	ブラジル	クリチーバ日伯文化援護協会	2009. 10. 03
55	第31回リオデジャネイロ弁論大会兼第15回3州地方予選	ブラジル	日伯文化協会	2009. 10. 10
56	第28回日本語お話・弁論大会	ブラジル	汎アマゾンニア日伯協会	2009. 10. 04
57	第15回汎ブラジル日本語スピーチコンテスト	ブラジル	ブラジル日本語普及協会	2009. 10. 04
58	第30回サンパウロ日本語スピーチコンテスト	ブラジル	ブラジル日本語センター	2009. 10. 27
59	第28回日本語弁論大会	ブラジル	リオ・グランデ・ド・スール・カトリック大学	2009. 10. 31
60	第8回東北日伯日本語スピーチコンテスト ナタール大会	ブラジル	リオグランデ・ドノルテ教育技術開発財団	2009. 10. 10

## 日本語事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間
61	第29回全国日本語弁論大会	ペルー	ペルー日系人協会	2009. 11. 08
62	第6回日本語スピーチコンテスト	アイスランド	国立アイスランド大学人文学群外国語・文学・言語学科	2009. 04. 18
63	第8回アイルランド日本語弁論大会	アイルランド	アイルランド日本語教師会	2010. 02. 20
64	第29回日本語弁論大会	ギリシャ	日本文化研究会	2009. 05. 16
65	第21回スペイン人による日本語弁論大会	スペイン	日西文化協会 (TORA)	2010. 01. 15
66	第18回バルセロナ日本語弁論大会	スペイン	バルセロナ水曜会	2009. 04. 25
67	第25回日本語で語る会	フィンランド	フィンランド・日本語日本文化教師会	2010. 03. 27
68	第2回日本語スピーチコンテスト	アゼルバイジャン	トビリシ アジア・アフリカ大学	2009. 10. 25
69	第8回バクー日本語弁論大会	アゼルバイジャン	バクー国立大学	2009. 09. 26
70	第14回ウクライナ日本語弁論大会	ウクライナ	ウクライナ日本語教師会	2009. 09. 26
71	第18回ウズベキスタン日本語弁論大会	ウズベキスタン	ウズベキスタン日本語弁論大会実行委員会	2010. 03. 27
72	第12回カザフスタン日本語弁論大会	カザフスタン	カザフスタン日本語教師会	2010. 03. 13
73	2010年キルギス共和国日本語弁論大会	キルギス	キルギス日本語教師会	2010. 03. 01
74	第9回日本語発表会・スピーチコンテスト	クロアチア	ザグレブ大学哲学部	2009. 05. 08
75	第5回タジキスタン日本語スピーチコンテスト	タジキスタン	タジキスタン国立言語大学・日本語科	2009. 04. 03
76	第17回ハンガリー日本語スピーチコンテスト	ハンガリー	ハンガリー日本語教師会	2009. 11. 01
77	第15回日本語弁論大会	ブルガリア	キリル・メトディ国際基金	2009. 04. 11
78	第7回ベラルーシ日本語弁論大会	ベラルーシ	ベラルーシ日本語教師会	2009. 09. 25
79	第30回日本語弁論大会	ポーランド	ポーランド日本語教師会	2010. 03. 01
80	第5回モルドバ日本語弁論大会	モルドバ	モルドバ日本交流財団	2010. 01. 30
81	第9回日本語弁論大会	ラトビア	ラトビア日本語弁論大会実行委員会	2010. 03. 01
82	第2回日本語弁論大会	リトアニア	リトアニア日本語弁論大会実行委員会	2010. 03. 08
83	第14回日本語弁論大会	ルーマニア	ルーマニア日本語教師会	2010. 03. 13
84	第14回ロシア極東・東シベリア日本語弁論大会、第13回ロシア極東・東シベリア日本語教育セミナー	ロシア	極東国立総合大学東洋学大学	2009. 10. 01

## 日本語事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間
85	第22回CIS学生日本語弁論大会	ロシア	CIS日本語教師会	2009. 10. 01
86	第4回2009年モスクワスピーチコンテスト	ロシア	モスクワ日本語教師会	2009. 05. 24
87	第6回日本語スピーチコンテスト	イエメン	イエメン・日本友好協会	2009. 12. 01
88	第1回日本語スピーチコンテスト	イスラエル	ハイファ大学	2009. 05. 10
89	第3回日本語スピーチコンテスト	クウェート	クウェート大学生涯学習センター	2009. 05. 10
90	第12回シリア日本語スピーチコンテスト	シリア	在シリア日本語教師会	2009. 11. 12
91	第18回アンカラ日本語弁論大会	トルコ	アンカラ日本語弁論大会実行委員会	2009. 11. 14
92	第18回イスタンブール日本語弁論大会	トルコ	イスタンブール日本語弁論大会実行委員会	2010. 03. 06
93	第11回日本語スピーチ大会	モロッコ	JICAモロッコ日本語教師会	2010. 02. 28
94	第14回日本語スピーチコンテスト	ガーナ	ガーナJICA研修生会	2010. 01. 23

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費 / (9) 日本語教育プロジェクト支援（ネットワーク形成助成）

海外の日本語教師、日本語教育研究者、日本語教育機関のネットワーク化を促進することを目的に、各国の日本語教師会、日本語教育学会、高等教育機関、研究機関などに対し、日本語教育に関する学術会議、セミナー、ワークショップ、日本語教師研修会等のプロジェクト実施経費の一部を助成する。

合計額 14,947,397 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	大学日語教学研究会第5回大会	中国	大学日語教学研究会	2009.12.12 ~ 2009.12.13	新しい「大綱」についての説明、検討、及び教師相互の交流を目的とした研究会の実施
2	「認知言語学の拓く日本語・日本語教育の研究と展望」国際シンポジウム	中国	北京大学外国語学院日本語言文化系	2009.10.17 ~ 2009.10.18	認知言語学が世界的に注目されている今日、認知言語学に関心を持つ日本、中国、韓国など各国の研究者による互いの切磋琢磨の場を提供し、認知言語学を応用して日本語研究・日本語教育をより発展させるための学術的検討を行い、今後の道筋を作ることを目的として実施
3	第2回中国語圏における日本語教育学術交流ワークショップ	中国	香港中文大学日本研究学科	2009.06.06	中国、台湾、香港の若手日本語教育研究者（大学院生）ネットワーク形成とその発展及びこれらの地域における日本語教育の質的向上を目的としたワークショップの実施
4	2009年日本語教育シンポジウム	モンゴル	モンゴル日本語教師会	2009.10.16 ~ 2009.10.17	モンゴルの日本語教師のネットワークの促進及び2008年「日本語教育シンポジウム」の成果の発展を目的としたシンポジウムの実施
5	2009年度インドネシア日本語教育学会全国セミナー	インドネシア	インドネシア日本語教育学会	2010.02.10 ~ 2010.02.11	国内の日本語教育関係者に、対照言語学の方法論に関する知識を広め、日本語教育への応用に関する認識を深めること、セミナーの活動を通して、各地の教育者間のネットワークをより充実したものにすることを目的とした全国セミナーの実施
6	2009年度豪州日本研究大会日本語教育国際研究大会	オーストラリア	ニュー・サウス・ウェールズ大学言語学科	2009.07.13 ~ 2009.07.16	世界の日本研究、日本語教育、日本語研究に関わる研究者、実践者、大学院生などが一堂に会し、日本研究と日本語教育の壁を越えた交流、意見交換の場を提供するとともに、各国間の日本語教育の問題点、新企画などの共有、相互援助体制を強化、及びオーストラリアの日本語教育の成果、現状を世界に発信することを目的として実施
7	カナダ日本語教育振興会 2009年度年次大会	カナダ	カナダ日本語教育振興会	2009.08.15 ~ 2009.08.16	教師の学術的知識及び実践的スキルの向上、各教育機関のタテ・ヨコの連携の強化、教師間のネットワーク作りの促進、カナダにおける全国的な日本語教育の振興を目的として実施
8	全米外国語教育学会	米国	全米日本語教師会	2009.11.19 ~ 2009.11.22	地方組織・教師間のネットワーク構築の促進、地方組織の活動内容についての情報提供、地方レベルでの基盤強化を目的に学術会議を実施。日本文化・日本語教育の成果披露、日本語教育の強い基盤を外国語教育界に示すことを目的に、展示ホールに「日本横丁」を設置



日本語事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
9	日本語教師のためのオンライン日本語教授ネットワーク(JOINT)構築	米国	米国日本語教師会連盟	2009.05.30 ~ 2009.07.16	質の高いオンライン日本語講座の開発と運営を継続して行うために、将来的にオンライン講座の運営と他の講師に対するテクニカルサポートを提供できる日本語教師を育成するための研修を実施
10	第1回中米日本語教育セミナー	コスタリカ	コスタリカ日本人会	2009.05.22 ~ 2009.05.24	コスタリカ及び中米地域で活動している日本語教師が一堂に会し、当地域での日本語教師間の情報交換、ネットワーク構築の促進、日本語教育のレベルアップを目的として実施
11	2009年度日本語教育シンポジウム	メキシコ	メキシコ日本語教師会	2010.02.26 ~ 2010.02.28	教師の資質向上促進と、メキシコ及び中南米における日本語教育ネットワークの発展を目的とし、日本語総合力をつける文法教育についてのシンポジウムを実施
12	アイルランド日本語教師会ワークショップ『日本語カンタン』	アイルランド	アイルランド日本語教師会	2009.05.09	アイルランド独自の日本語教材『日本語カンタン』の有効な使用法を共有することを目的としたワークショップを実施
13	イタリア日本語教育協会主催第4回シンポジウム	イタリア	イタリア日本語教育協会	2010.03.26 ~ 2010.03.27	イタリア日本語教育協会が主催し、日本語学、日本語教育の最新の研究成果を、研究者を交えて発表し、議論、情報交換の場とするシンポジウムの実施
14	第12回BATJ大会	英国	英国日本語教育学会(BATJ)	2009.08.28 ~ 2009.08.29	英国内の高等教育機関において日本語教育に携わっているBATJ会員に対し、研究発表、意見、情報交換の機会を提供。日本語教育、言語、教育関連の専門家による講演を通し、会員の啓蒙と専門知識の向上を目指すことを目的として実施
15	第17回日本語教育セミナー	スイス	スイス日本語教師の会	2010.03.06 ~ 2010.03.07	スイス及びリヒテンシュタインの日本語教師の能力向上、最近の日本語教育に関する情報提供、国内の日本語教育関係者のネットワーク形成とその発展を目的としたセミナーの実施
16	第14回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム	ドイツ	AJE2009第14回ベルリン・シンポジウム実行委員会	2009.09.03 ~ 2009.09.05	講演、パネル・ディスカッション、会員による研究発表、ワークショップ、ポスター・セッションなどの活動を通し、参加者がより多くの欧州、日本、韓国、米国などの日本語教育関係者とのネットワーキングに取り組み、欧州における日本語教育の向上に寄与することを目的として実施
17	第15回ドイツ語圏大学日本語教育研究会シンポジウム	ドイツ	ドイツ語圏大学日本語教育研究会	2010.03.05 ~ 2010.03.07	過去15年間の日本語教育の推移を踏まえ、現在直面する問題を分析し、EU圏レベルでとらえたドイツ語圏における日本語教育の将来に備える。講師に日本語教育の原点に関わる講義をしてもらい、会員の実践報告・研究発表に対する示唆をうけることを目的として実施
18	第20回ドイツ語圏中等教育日本語教師研修会	ドイツ	ドイツ語圏中等教育日本語教師会(VJS)	2009.06.12 ~ 2009.06.14	ドイツの中等教育における授業の中での添削、また統合卒業試験(Zentrabitur)もしくは卒業試験(Abitur)の評価基準を実現するための理論と実践について議論することを目的として実施

## 日本語事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
19	第20回全国定例研修会（2010）	ドイツ	ドイツ市民大学日本語講師の会	2010. 03. 12 ～ 2010. 03. 14	日本から現役の日本語教育に携わる講師を招へいし、市民大学で日本語を教えている講師の日本語教授能力レベルアップを目的とした研修会の実施
20	第1回フランス日本語教師研修会	フランス	フランス日本語教師会	2009. 05. 29 ～ 2009. 05. 30	フランス国内の日本語教育関係者の教育能力向上及びネットワーク形成とその発展を目的とした研修会の実施
21	第9回ウクライナ日本語セミナー	ウクライナ	ウクライナ日本語教師会	2010. 03. 27	ウクライナ全土の日本語教師及び日本語教育のレベルアップと情報交換を目的としたセミナーの実施
22	第2回トルコ諸語における日本語教育セミナー	ウズベキスタン	タシケント東洋学大学	2009. 11. 07 ～ 2009. 11. 08	トルコ諸国内の日本語教育関係者のネットワーク形成、日本語教育の専門性、スキルの向上及び日本語－トルコ諸語における対照研究及び教材開発の基盤形成を目的としたセミナーの実施
23	南東欧・西バルカン日本語教育研究国際会議	スロベニア	リュブリャーナ大学文学部	2009. 09. 16 ～ 2009. 09. 19	南東欧・西バルカン諸国地域におけるネットワーク形成を目的に、日本語教育セミナーを実施
24	第4回ルーマニア日本語教師会日本語教育・日本語学シンポジウム	ルーマニア	ルーマニア日本語教師会	2009. 09. 19 ～ 2009. 09. 20	ルーマニア国内と隣国の日本語教育関係者（教師・学生・大学院生）のネットワーク形成とその発展、及び研修。日本語教師のモチベーションを高めることを目的として実施
25	第8回トルコ日本語教師会大会	トルコ	土日基金文化センター	2009. 08. 27 ～ 2009. 08. 28	トルコ国内の日本語教育関係者が集まり会員間の情報交換を含むネットワークの拡大を目指すと共に、日本語教育に関する研修を目的として実施

## 日本語事業費

## 2. 日本語派遣・助成費 / (10) 日本語教育専門家派遣 (JFボランティア・指導助手)

ジャパンファウンデーション・ボランティアのひとつとして、日本語教育専門家の指導の下、日本語の授業等を実施する日本語教育指導助手を海外の日本語教育機関に派遣する。

合計額 26,466,124 円

	氏名	対象国	受入機関	期間
1	武内 博子	インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	2010.03.31 ~ 2012.04.11
2	町田 佳帆梨	インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	2010.03.31 ~ 2012.04.11
3	福永 達士	ベトナム	ベトナム日本文化交流センター	2008.08.25 ~ 2010.08.24
4	宇住庵 真弓	ベトナム	ベトナム日本文化交流センター	2010.03.01 ~ 2012.04.03
5	中村 紗弥子	イタリア	ローマ日本文化会館	2010.03.31 ~ 2012.04.15
6	村中 雅子	フランス	パリ日本文化会館	2008.07.09 ~ 2010.07.08
7	角田 依子	ハンガリー	ブダペスト日本文化センター	2007.09.01 ~ 2009.08.31
8	宮崎 玲子	ハンガリー	ブダペスト日本文化センター	2009.09.07 ~ 2010.09.06
9	中尾 有岐	ブルガリア	ソフィア大学	2008.08.16 ~ 2010.08.15
10	岩崎 かほり	ポーランド	THE CENTER OF JAPANESE ART AND TECHNOLOGY "MANGGHA"	2008.09.10 ~ 2010.09.09
11	宇都宮 絵理	ルーマニア	ブカレスト大学	2008.08.31 ~ 2010.08.30
12	富永 正人	シリア	ダマスカス大学	2008.08.20 ~ 2010.07.31

日本語事業費

3. 日本語能力試験費 / (1) 日本語能力試験実施

海外の日本語学習者を対象として、その日本語能力を測定し、級別（1級～4級）に認定する試験を実施。平成21年度は初めて一部の国・地域で7月にも試験を行ない、年2回実施となった。第1回試験（7月）は3カ国・地域の44都市で197,370人、第2回試験（12月）は52カ国・地域、152都市において423,960人が受験。

合計額 259,948,405 円

	国・地域	都市	第1回 受験者数	第2回 受験者数		国・地域	都市	第1回 受験者数	第2回 受験者数		国・地域	都市	第1回 受験者数	第2回 受験者数	
1	韓国	ソウル	20,029	32,329	52		バダン	—	442	103		シアトル	—	341	
2		釜山	12,891	20,588	53		デンパサール	—	357	104		フェイエットビル	—	111	
3		全州	3,793	6,595	54	カンボジア	プノンペン	—	905	105	メキシコ	メキシコシティ	—	1,174	
4		済州	585	997	55	シンガポール	シンガポール	—	5,180	106	アルゼンチン	ブエノスアイレス	—	731	
5		仁川	8,904	14,964	56	タイ	バンコク	—	13,494	107	コロンビア	ボゴタ	—	44	
6	中国	北京	9,875	15,511	57		チェンマイ	—	1,941	108	パラグアイ	アスンシオン	—	641	
7		上海	23,019	31,682	58		ソンクラ	—	378	109	ブラジル	サンパウロ	—	2,338	
8		長春	5,163	4,628	59		コンケン	—	955	110		ロンドリーナ	—	414	
9		大連	12,412	16,377	60	フィリピン	マニラ	—	2,124	111		ベレーン	—	91	
10		広州	7,569	13,276	61		セブ	—	557	112		リオデジャネイロ	—	315	
11		瀋陽	4,159	5,968	62		ダバオ	—	285	113		ポルトアレグレ	—	121	
12		天津	6,224	8,455	63	ブルネイ	バンダルスリブガワン	—	63	114		ブラジリア	—	181	
13		ハルビン	2,869	4,641	64	ベトナム	ハノイ	—	6,359	115		サルバドル	—	82	
14		西安	2,759	5,789	65		ホーチミン	—	8,321	116		マナウス	—	71	
15		重慶	895	1,302	66		ダナン	—	764	117	ベネズエラ	カラカス	—	156	
16		済南	3,526	4,442	67	マレーシア	クアラルンプール	—	2,715	118	ペルー	リマ	—	341	
17		武漢	4,696	6,953	68		ペナン	—	597	119	アイルランド	ダブリン	—	92	
18		廈門	1,911	4,253	69		イポー	—	147	120	イタリア	ローマ	—	274	
19		杭州	5,815	9,831	70		コタキナバル	—	181	121		ミラノ	—	440	
20		フフホト	684	846	71	ミャンマー	ヤンゴン	—	2,406	122	英国	ロンドン	—	809	
21		洛陽	1,010	1,659	72	ラオス	ビエンチャン	—	115	123	ギリシャ	アテネ	—	320	
22		蘇州	3,380	6,928	73	インド	ニューデリー	—	1,584	124	スイス	ベルン	—	291	
23		青島	2,182	4,053	74		プネ	—	1,341	125	スペイン	バルセロナ	—	433	
24		長沙	2,632	4,365	75		コルカタ	—	440	126		マドリッド	—	501	
25		成都	1,653	2,062	76		チェンナイ	—	1,736	127	デンマーク	コペンハーゲン	—	110	
26		南京	6,759	9,750	77		バンガロール	—	736	128	ドイツ	デュッセルドルフ	—	490	
27		合肥	1,965	3,297	78		ムンバイ	—	835	129		シュトゥットガルト	—	420	
28		深圳	4,178	5,104	79	スリランカ	コロンボ	—	1,272	130		ベルリン	—	326	
29		南昌	2,735	4,332	80	ネパール	カトマンズ	—	807	131	フィンランド	ヘルシンキ	—	156	
30		石家荘	1,213	1,792	81	パキスタン	イスラマバード	—	38	132	フランス	パリ	—	1,238	
31		太原	740	1,094	82		カラチ	—	32	133		リヨン	—	240	
32		寧波	1,808	2,462	83	バングラデシュ	ダッカ	—	213	134	ウクライナ	キエフ	—	456	
33		無錫	2,850	3,771	84	オーストラリア	キャンベラ	—	66	135	ウズベキスタン	タシケント	—	329	
34		貴陽	558	1,043	85		ブリスベン	—	227	136	カザフスタン	アルマトイ	—	153	
35		ウルムチ	81	90	86		パース	—	115	137	キルギス	ビシュケク	—	198	
36		南寧	1,010	1,330	87		シドニー	—	453	138	セルビア	ベオグラード	—	80	
37		イ坊	1,750	2,417	88		メルボルン	—	233	139	ハンガリー	ブダペスト	—	541	
38		揚州	1,328	2,179	89		アデレード	—	49	140	ブルガリア	ソフィア	—	218	
39		昆明	551	822	90	ニュージーランド	オークランド	—	286	141	ポーランド	ワルシャワ	—	504	
40		海口	921	1,374	91		ウェリントン	—	79	142	ルーマニア	ブカレスト	—	407	
41		延吉	—	1,792	92		クライストチャーチ	—	106	143	ロシア	モスクワ	—	983	
42		蘭州	—	705	93	カナダ	バンクーバー	—	421	144		ウラジオストク	—	364	
43		香港	3,243	14,618	94		トロント	—	428	145		ノボシビルスク	—	310	
44		<台湾>	台北	10,524	28,918	95		エドモントン	—	86	146		ハバロフスク	—	205
45			高雄	3,335	10,335	96	米国	ロサンゼルス	—	608	147		ユジフサハリンスク	—	143
46			台中	3,186	9,184	97		シカゴ	—	422	148		イルクーツク	—	154
47		インドネシア	ジャカルタ	—	3,215	98		ニューヨーク	—	355	149		サンクトペテルブルク	—	290
48			バンドン	—	1,658	99		ホノルル	—	124	150	トルコ	アンカラ	—	265
49	スラバヤ		—	1,041	100		アトランタ	—	248	151	エジプト	カイロ	—	228	
50	メダン		—	715	101		サンフランシスコ	—	497	152	ケニア	ナイロビ	—	110	
51	ジョグジャカルタ		—	783	102		ワシントンD.C.	—	292		人 数 計		197,370	423,960	
												総 計		621,330	

※台湾での実施は、財団法人交流協会が担当。

※モンゴル（ウランバートル）、ボリビア（サンラクルス及びラパス）は、現地事情により、本年度日本語能力試験新規実施見送り。

日本語事業費

3. 日本語能力試験費 / (2) 評価開発

試験結果を分析し、報告書を作成するとともに、より公平で適正な試験の開発に向けて専門家による各種委員会を開催する。

合計額 137,127,780 円

	事業名	期間	事業内容
1	分析評価報告書作成	2009.04.01 ~ 2010.03.31	今後のより良いテスト問題作成に資するとともに、日本語教育の研究者等に日本語テスト研究用資料を提供するため、『平成19年度日本語能力試験 分析評価に関する報告書』を刊行するとともに、『平成20年度日本語能力試験 分析評価に関する報告書』の刊行準備を実施
2	日本語能力試験 改善に関する検討会	2009.04.01 ~ 2010.03.31	新試験について検討する委員会を開催
3	モニター試験	2009.04.01 ~ 2010.03.31	新試験の妥当性と信頼性を検証するために模擬試験を実施

# 日本語普及事業に必要な経費

## 附属機関日本語国際センター事業費

### 1. 研修事業費

- (1) 指導的日本語教師の養成（日本語教育指導者）
- (2) 指導的日本語教師の養成（海外日本語教師上級研修）
- (3) 海外日本語教師研修（長期）
- (4) 海外日本語教師研修（短期）
- (5) 海外日本語教師研修（国別）
- (6) 受託研修（日本語国際センター）
- (7) 受託研修（日本語国際センター）〔アセアン〕
- (8) 受託研修（日本語国際センター）〔サーク〕
- (9) 地域交流研修（日本語国際センター）

### 2. 制作事業費

- (1) 日本語教材・教授用等開発・普及
- (2) 日本語教材寄贈

### 3. 制作事業費（教師研修）

- (1) 図書館運営（日本語国際センター）

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (1) 指導的日本語教師の養成 (日本語教育指導者)

海外の日本語教育機関等の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、1年間で博士前期課程(修士)、3年間で博士後期課程(博士)を修了するものであり、各国における日本語教育指導者の養成を目的とする。

合計額 32,756,140 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	日本語文化研究プログラム (平成18年度博士課程)	インド	1	2007.03.26 ~ 2010.07.31	海外の日本語教育が盛んな国、もしくは今後盛んになると見込まれる国において、その国の日本語教育をリードする人材、つまり日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。本プログラムは国際交流基金日本語国際センター、国立国語研究所、政策研究大学院大学の3機関が連携して運営する3年間の博士課程。ナビン・クマール・パンダ (PANDA, Nabin Kumar : デリー大学) 第4期生
2	日本語文化研究プログラム (平成19年度博士課程)	モンゴル	1	2007.09.27 ~ 2010.09.26	海外の日本語教育が盛んな国、もしくは今後盛んになると見込まれる国において、その国の日本語教育をリードする人材、つまり日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。本プログラムは国際交流基金日本語国際センター、国立国語研究所、政策研究大学院大学の3機関が連携して運営する3年間の博士課程。ウラムバヤル・ツェツェグドラム (ULAMBAYAR, Tsetsegdulam : モンゴル国立科学技術大学) 第5期生
3	日本語文化研究プログラム (平成20年度博士課程)	インドネシア	1	2008.09.25 ~ 2011.09.30	海外の日本語教育が盛んな国、もしくは今後盛んになると見込まれる国において、その国の日本語教育をリードする人材、つまり日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。本プログラムは国際交流基金日本語国際センター、国立国語研究所、政策研究大学院大学の3機関が連携して運営する3年間の博士課程。ナヨアン・フランキー・レイモンド (NAJOAN, Franky Reymond : マナド国立大学) 第6期生
4	日本語教育指導者養成プログラム (平成20年度修士課程)	韓国 中国 フィリピン ベトナム ペルー	1 2 1 1 1	2008.09.25 ~ 2009.09.18	海外の日本語教育機関等の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、1年間で博士前期課程(修士)を修了するものであり、各国における日本語教育指導者の養成を目的とする。国際交流基金日本語国際センターが、国立国語研究所、政策研究大学院大学の2機関と連携し、3機関の指導講師による日本語教育における高度で実践的な学位プログラムとする。最終試験で所定の成績に達した者に対して、政策研究大学院大学の修士号(日本語教育)を授与する。本年度は、5カ国より6名を招へい

附属機関日本語国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
5	日本語文化研究プログラム (平成21年度博士課程)	中国	1	2009.09.29 ~ 2012.09.29	海外の日本語教育が盛んな国、もしくは今後盛んになると見込まれる国において、その国の日本語教育をリードする人材、つまり日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。本プログラムは国際交流基金日本語国際センター及び政策研究大学院大学が連携して運営する3年間の博士課程。張勇（揚州大学）第7期生
6	日本語教育指導者養成プログラム (平成21年度修士課程)	中国	2	2009.09.24 ~ 2010.09.20	海外の日本語教育機関等の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、1年間で博士前期課程（修士）を修了するものであり、各国における日本語教育指導者の養成を目的とする。政策研究大学院大学と連携し、2機関の指導講師による日本語教育における高度で実践的な学位プログラムとする。最終試験で所定の成績に達した者に対して、政策研究大学院大学の修士号（日本語教育）を授与する。今年度は、6カ国より8名を招へい
	モンゴル	1			
	ベトナム	2			
	インド	1			
	アゼルバイジャン	1			
	ロシア	1			

1. 研修事業費 / (2) 指導的日本語教師の養成（海外日本語教師上級研修）

日本語国際センター研修修了生の中で、より高度な専門知識、技能を求め、日本語教育実践において実現・解決したい具体的な課題を有する者を2カ月間招へいし、自立的な問題解決能力の育成を図ることを目的とする。

合計額 4,074,897 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	海外日本語教師上級研修	中国	3	2009.05.27 ~ 2009.07.24	日本語教師として豊富な知識と高い能力を持つ者を対象に、教育現場での専門的知識と実践能力の育成、及び各自のプロジェクトの遂行による教師としての専門性の向上を目的とした集中研修を実施。6カ国から8名を招へい
		シンガポール	1		
		マレーシア	1		
		インド	1		
		英国	1		
		スイス	1		



1. 研修事業費 / (3) 海外日本語教師研修（長期）

海外の中・高等教育機関等の日本語教師養成を図るため、日本語教授経験の比較的小さい教師及び日本語教師となることが既に決まっている者を6カ月間招へいし、日本語運用能力の向上と基礎的な日本語教授法の研修を行う。

合計額 56,977,364 円

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1 海外日本語教師長期研修	モンゴル	1	2009.09.15 ～ 2010.03.12	29カ国、44名の外国人若手日本語教師を6カ月間招へいし、日本語運用能力の向上を図るとともに、教授活動、日本事情等を学習するための集中研修を実施
	インドネシア	4		
	タイ	2		
	フィリピン	1		
	ベトナム	3		
	マレーシア	2		
	ミャンマー	1		
	ラオス	1		
	インド	3		
	スリランカ	2		
	ネパール	1		
	オーストラリア	1		
	メキシコ	1		
	チリ	1		
	パラグアイ	1		
	ブラジル	2		
	イタリア	1		
	ウクライナ	1		
	ウズベキスタン	1		
	カザフスタン	1		
キルギス	1			
タジキスタン	1			

附属機関日本語国際センター事業費

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
	ハンガリー	1		
	ルーマニア	1		
	ロシア	5		
	トルコ	1		
	エジプト	1		
	モロッコ	1		
	ケニア	1		

1. 研修事業費 / (4) 海外日本語教師研修 (短期)

海外の初・中・高等教育機関等の日本語教師の教授能力の向上を図るため、日本語教師を2カ月間招へいし、日本語と日本語教授法及び日本事情の集中研修を実施する。

合計額 62,687,671 円

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1 海外日本語教師短期研修 (春期)	インドネシア	3	2009.05.13 ~ 2009.07.03	日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師6カ国21名を2カ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を実施。受託研修(ロシア人若手日本語教師短期研修)と合同開催
	タイ	6		
	ベトナム	1		
	マレーシア	8		
	スリランカ	2		
	グルジア	1		

附属機関日本語国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
2	海外日本語教師短期研修 (夏期)	中国	1	2009. 07. 15 ～ 2009. 09. 04	日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師27カ国50名を2カ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を実施
		モンゴル	2		
		インドネシア	5		
		タイ	3		
		フィリピン	1		
		ベトナム	3		
		マレーシア	1		
		インド	6		
		スリランカ	1		
		ネパール	3		
		オーストラリア	1		
		カナダ	3		
		米国	1		
		コロンビア	1		
		ブラジル	2		
		ベネズエラ	1		
		ペルー	1		
		アイルランド	1		
		ギリシャ	1		
		アルメニア	1		
		ウクライナ	1		
		ハンガリー	1		
		ポーランド	1		
		ロシア	5		
		トルコ	1		

附属機関日本語国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
		エジプト	1		
		ケニア	1		
3	海外日本語教師短期研修 (冬期)	モンゴル	1	2010. 01. 27 ~ 2010. 03. 19	日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師21カ国32名を2カ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を実施
		インドネシア	3		
		タイ	1		
		ベトナム	4		
		マレーシア	2		
		ラオス	1		
		インド	1		
		スリランカ	1		
		グアテマラ	1		
		メキシコ	1		
		アルゼンチン	1		
		ブラジル	1		
		ドイツ	1		
		ウクライナ	1		
		ウズベキスタン	1		
		カザフスタン	1		
		キルギス	1		
		スロバキア	1		
		ベラルーシ	1		
		ロシア	6		
		トルコ	1		

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (5) 海外日本語教師研修 (国別)

非公募による国・地域別日本語教師研修として、当該国政府（教育部など）、国際交流基金海外事務所、在外公館等からの推薦により参加を決定する以下の研修を行う。

合計額 55,672,114 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	大韓民国中等教育日本語教師研修	韓国	56	2009.07.22 ~ 2009.08.21	韓国政府教育部が選抜した高等学校の日本語教師56名を1カ月間招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を実施
2	中国大学日本語教師研修	中国	36	2009.09.30 ~ 2009.11.20	中国の大学等高等教育機関の日本語教師36名を約2カ月間招へいし、現状とニーズに即した日本語、日本語教授法、日本事情の集中研修を実施
3	中国中等学校日本語教師研修	中国	23	2010.01.27 ~ 2010.03.19	中国の中等教育機関の日本語教師23名を招へいし、日本語運用能力の向上を図るとともに、教授活動、日本事情等を学習するための集中研修を実施。受託研修（大連市中学校日本語教師研修（財団法人国際文化フォーラム主催））と合同で実施
4	インドネシア中等教育日本語教師研修	インドネシア	20	2009.04.15 ~ 2009.06.05	インドネシア政府と国際交流基金ジャカルタ日本文化センター共同でインドネシア国内において1年間の日本語教師養成講座を行っているが、この修了生20名を約2カ月間日本に招へいし、日本語運用能力向上と日本事情の集中研修を実施

1. 研修事業費 / (6) 受託研修 (日本語国際センター)

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語研修の事業を、外部から受託し実施する。

合計額 10,769,465 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	京畿道中等日本語教師訪日研修	韓国	12	2010.01.08 ~ 2010.01.18	筑波大学が実施する韓国京畿道の中等教育機関現職日本語教師訪日研修に協力
2	日本語教材中日共同会議の実施協力	中国	5	2010.01.14 ~ 2010.01.27	北京日本学研究中心のスタッフが中国国内の高等教育機関向け教科書制作プロジェクトのため、日本語国際センターの施設利用に協力
3	大連市中学校日本語教師研修	中国	1	2010.01.27 ~ 2010.03.19	財団法人国際文化フォーラムが招へいした大連市の中等教育機関日本語教師の研修を実施した。国際交流基金日本語国際センターの中国中等学校日本語教師研修と合同で実施

附属機関日本語国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
4	博報財団日本語教師研修	モンゴル タイ ベトナム マレーシア インド スリランカ ハンガリー ルーマニア ロシア トルコ	1 2 1 1 1 2 1 1 2 1	2009.10.29 ~ 2009.11.10	博報堂が設立した財団法人博報児童教育振興会が実施する日本と海外の小中学校交流を目的とした事業のうち、モンゴル、タイ、ベトナム、マレーシア、インド、スリランカ、ハンガリー、ルーマニア、ロシア、トルコの日本語教師の訪日研修について受託し実施
5	東アジア日本語学習者研修（メコン）（JENESYS）	カンボジア タイ ベトナム ミャンマー ラオス	2 2 2 2 2	2009.10.21 ~ 2009.12.02	日本・メコン交流年事業の一環として、メコン5カ国で実施する日本語弁論大会入賞者を招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会理解のための研修の機会を提供することにより、当該地域の日本語学習者の日本語学習を奨励し、日本語教育の一層の進展を図った
6	タイ人日本語教師訪日研修(共催事業)	タイ	18	2009.04.07 ~ 2009.04.21	タイ国日本語日本文化教師協会との共催で、同協会に所属するタイの初中等教育機関の日本語教師に対して教師研修を実施
7	ロシア人若手日本語教師短期研修	ロシア	7	2009.05.13 ~ 2009.07.03	日露青年交流センターが招へいするロシアの初・中等教育機関の日本語教師の研修を受託し、日本語国際センターの海外日本語教師研修(春期)と合同で実施
8	日本語教師派遣事業派遣前研修	ロシア	21	2009.07.30 ~ 2009.08.09	日露青年交流センターが主催する青年日本語教師派遣事業の派遣前研修を日本語国際センターで一部受託し実施

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (7) 受託研修 (日本語国際センター) [アセアン]

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語研修事業を、外部から受託し実施する。

合計額 26,956,488 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	東アジア若手日本語教師特別招へいプログラム (JENESYS)	インドネシア	7	2009.05.20 ~ 2009.07.17	東アジア地域にある日本語教育の拠点機関等から若手日本語教師を招へいし、日本語教育の普及および促進の担い手となる人材育成を行うプログラム。「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施
		カンボジア	4		
		タイ	3		
		フィリピン	3		
		ブルネイ	1		
		ベトナム	8		
		マレーシア	6		
		ミャンマー	3		
		ラオス	1		
		インド	2		
		オーストラリア	1		

1. 研修事業費 / (8) 受託研修 (日本語国際センター) [サーク]

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語研修事業を、外部から受託し実施する。

合計額 22,130,095 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成20年度南アジア若手日本語教師特別招へいプログラム (JENESYS)	インド	6	2009.03.11 ~ 2009.05.01	南アジア地域にある日本語教育の拠点機関等から若手日本語教師を招へいし、日本語教育の普及および促進の担い手となる人材育成を行うプログラム。「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施
		スリランカ	5		
		ネパール	6		
		バングラデシュ	4		
		モルディブ	2		

附属機関日本語国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
2	平成21年度南アジア若手日本語教師特別招へいプログラム (JENESYS)	インド スリランカ ネパール バングラデシュ モルディブ	5 5 6 2 1	2010. 01. 13 ~ 2010. 03. 10	南アジア地域にある日本語教育の拠点機関等から若手日本語教師を招へいし、日本語教育の普及および促進の担い手となる人材育成を行うプログラム。「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施

1. 研修事業費 / (9) 地域交流研修 (日本語国際センター)

埼玉県、ならびに全国各自治体の国際交流活動に対する協力の観点から、JETプログラム (語学指導等を行う外国青年招致事業) 参加者等に対して、日本語及び教授法の研修を行う。

合計額 35,640 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	全国JET日本語教授法研修	中国 シンガポール フィリピン インド オーストラリア ニュージーランド カナダ 米国 アルゼンチン ブラジル	4 1 1 1 1 2 6 10 1 3	2010. 03. 24 ~ 2010. 03. 30	全国のJETプログラム参加者の中から希望者30名に対し、基礎的な日本語教授法研修を実施
2	日本語教授法セミナー	全世界区分困難	30	2009. 12. 22 ~ 2009. 12. 28	日本語国際センターの制作した教授法教材等を使用した大学生・大学院生のための日本語教授法セミナー。さくらネットワークの行なう国内大学連携 (派遣・助成) プログラムとの連携事業として実施。参加費用2万円、合宿型研修、30名が参加



附属機関日本語国際センター事業費

2. 制作事業費 / (1) 日本語教材・教授用等開発・普及

民間では未開拓であるが、必要な教材を基金で自主開発し、在外に配布ないし市販すると共に、各国語版への翻訳やテレビ日本語講座の放映を促進する事業。

合計額 97,948,485 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	重点支援／インドネシア	インドネシア	2009.04.01 ～ 2010.03.31	インドネシア普通高校・専門高校用選択必修科目日本語教科書『さくら』開発プロジェクト（プロジェクト最終年）への支援を実施
2	みんなの教材サイト	全世界区分困難	2009.04.01 ～ 2010.03.31	世界中の日本語教師に向けて日本語教育用の素材と教材制作のノウハウを提供し、日本語教師同士のネットワーク構築を目指すウェブサイト「みんなの教材サイト」（平成14年5月開設）の運営。平成21年度は、①読解素材の追加、②教師用ナビ「素材を利用する」の改訂及び多言語化（英語・韓国語）、③教材用素材横断検索機能の追加、④教材用素材人気ランキングの追加、⑤「素材・アイデアを送る」ページの改訂、⑥管理機能の修正を実施
3	日本語教育スタンダード	全世界区分困難	2009.04.01 ～ 2010.03.31	日本語の教え方、学び方、学習成果の評価のし方を考えるためのツールとして、「相互理解のための日本語」という理念のもとに開発してきた「JF日本語教育スタンダード」について、平成22年3月末に「JF日本語教育スタンダード」ウェブサイトを開設。また、「JF日本語教育スタンダード」の一部として、「みんなの「Can-do」サイト」も同時に開設
4	日本語教授法シリーズ・レアリア・アイデア帖	全世界区分困難	2009.04.01 ～ 2010.03.31	『国際交流基金 日本語教授法シリーズ』の制作について、平成21年度は8巻目となる『文法を教える』（発行部数5,000部）をひつじ書房から出版
5	DVD・TV映像教材	全世界区分困難	2009.04.01 ～ 2010.03.31	映像教材『エリンが挑戦！ にほんごできます。』に関し、国内外でのテレビ放映促進と、DVD教材の広報活動を実施
6	基礎日本語学習辞典	全世界区分困難	2009.04.01 ～ 2010.03.31	『基礎日本語学習辞典』アラビア語版の制作支援を実施
7	『日本語教育通信』発行	全世界区分困難	2009.04.01 ～ 2010.03.31	海外の日本語教師に役立つ教材情報、授業のアイデア、日本事情や内外日本語教育情報を提供。平成21年度からは紙媒体は廃止し、ウェブサイトにて定期的に情報を提供
8	『国際交流基金日本語教育紀要』発行	全世界区分困難	2009.04.01 ～ 2010.03.31	国際交流基金で日本語教育に携わる国内外の専門員、職員等の日々の教育・研究活動の成果を発表するための論文・報告集。ホームページにも全文掲載。平成21年度は第6号（発行部数950部）を発行
9	日本語学習（eラーニング）ウェブサイトの開発	全世界区分困難	2009.04.01 ～ 2010.03.31	既開発映像教材『エリンが挑戦！ にほんごできます。』を活用した日本語学習ウェブサイトの開発、公開
10	JFスタンダード・シンポジウム	全世界区分困難	2009.10.04	平成21年10月4日に、開発途中の『JF日本語教育スタンダード』に焦点を当てたシンポジウム「JF日本語教育スタンダード—その活用と可能性—」を日本語国際センターにて開催

附属機関日本語国際センター事業費

2. 制作事業費 / (2) 日本語教材寄贈

海外で日本語教育を行う教育機関に対し、日本語教材を寄贈する。

【総計】		【内訳】		合計額 10,339,489 円		
	機関数	採用点数	機関数	採用点数	機関数	採用点数
機関数合計	800					
国・地域数合計	95	20,698				
			東	韓国	3	101
			ア	中国	60	1,790
			ジ	モンゴル	16	499
			ア	地域計	79	2,390
				インドネシア	68	1,479
				カンボジア	3	77
				シンガポール	3	95
			東	タイ	51	1,385
			南	フィリピン	9	263
			ア	ブルネイ	2	68
			ジ	ベトナム	14	381
			ア	マレーシア	11	308
				ラオス	1	21
				地域計	162	4,077
			南	インド	34	857
			ア	スリランカ	8	222
			ジ	ネパール	6	140
			ア	パキスタン	2	75
				地域計	50	1,294
				オーストラリア	98	2,115
			太	サモア	1	9
				トンガ	4	72
			洋	ニュージーランド	31	786
				パプアニューギニア	1	23
			州	パラオ	1	30
				フィジー	1	27
				地域計	137	3,062
			北	カナダ	24	464
			米	米国	40	637
				地域計	64	1,101
				エルサルバドル	1	47
				キューバ	1	41
			中	コスタリカ	3	45
				ジャマイカ	2	48
				ドミニカ共和国	1	19
			米	ニカラグア	1	15
				ホンジュラス	2	48
				メキシコ	12	358
				地域計	23	621
				アルゼンチン	6	209
				ウルグアイ	1	10
			南	コロンビア	2	12
				チリ	3	84
				パラグアイ	3	128
			米	ブラジル	44	1,176
				ベネズエラ	4	73
				ペルー	4	81
				ボリビア	4	116
				地域計	71	1,889
				アイスランド	1	29
				アイルランド	2	71
				イタリア	7	162
			西	英国	11	291
				オーストリア	4	114
				オランダ	2	67
				ギリシャ	4	119
				スイス	2	43
				スウェーデン	4	61
				スペイン	10	258
				デンマーク	4	119
				ドイツ	20	583
				ノルウェー	2	26
			欧	フィンランド	3	63
				フランス	11	243
				ベルギー	4	140
				ポルトガル	3	91
				ルクセンブルグ	3	105
				地域計	97	2,585
				アゼルバイジャン	1	28
				ウクライナ	2	81
				ウズベキスタン	5	189
				エストニア	3	82
				カザフスタン	1	41
			東	キルギス	4	113
				グルジア	2	67
				クロアチア	3	69
				スロバキア	1	42
				スロベニア	2	67
				セルビア	2	69
				チェコ	4	133
				トルクメニスタン	1	46
				ハンガリー	11	323
			欧	ブルガリア	3	88
				ベラルーシ	1	27
				ポーランド	6	196
				ラトビア	1	40
				リトアニア	1	32
				ルーマニア	5	157
				ロシア	27	765
				地域計	86	2,655
				アラブ首長国連邦	2	77
				イエメン	1	25
			中	イスラエル	2	68
				イラン	2	49
				カタール	1	45
				クエート	1	40
			東	シリア	2	72
				トルコ	6	188
				地域計	17	564
			北	エジプト	2	81
			ア	モロッコ	4	89
				地域計	6	170
			ア	ガーナ	2	69
			フ	カメルーン	1	40
			リ	ケニア	4	163
			カ	マダガスカル	1	18
				地域計	8	290

附属機関日本語国際センター事業費

3. 制作事業費（教師研修） / (1) 図書館運営（日本語国際センター）

日本語国際センターが招へいする海外の日本語教師等、内外の日本語教育関係者の教育研究活動のための専門図書館として、資料を収集・整理し、閲覧・貸し出し・レファレンスサービスを実施。

合計額 20,068,287 円

	事業名	事業内容
1	図書館運営	<p>国内外における日本語教育の促進を目的として、日本語教科書・教材をはじめ、日本語教育、日本語、言語学、日本事情、外国語教育に関する資料や情報を収集・提供している専門図書館の運営</p> <p>①所蔵資料合計（視聴覚資料を含む）： 46,067点                      （内訳：図書38,134点、視聴覚資料数6,482点、電子形態資料702点、絵教材322点、マイクロ資料427点）                      雑誌・紀要・ニューズレター673誌、新聞12紙</p> <p>②利用者数（年間）： 19,691名                      ③貸出点数（年間）： 14,281点                      ④レファレンス件数（年間）： 1,039件</p>

# 日本語普及事業に必要な経費

## 附属機関関西国際センター事業費

### 1. 研修事業費

- (1) 図書館運営（関西国際センター）
- (2) 専門日本語研修（外交官）
- (3) 専門日本語研修（公務員）
- (4) 専門日本語研修（文化・学術専門家）
- (5) 日本語学習者訪日研修（各国成績優秀者）
- (6) 日本語学習者訪日研修（大学生）
- (7) 日本語学習者訪日研修（高校生）
- (8) アジア・ユースフェロースHIP高等教育奨学金訪日研修
- (9) 地域交流研修（関西国際センター）
- (10) 在日外交官日本語研修
- (11) 受託研修（関西国際センター）
- (12) 受託研修（関西国際センター）〔アセアン〕
- (13) 受託研修（関西国際センター）〔サーク〕
- (14) 国内大学連携（関西国際センター）
- (15) Eラーニング開発事業

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (1) 図書館運営 (関西国際センター)

関西国際センターの研修参加者の学習・研究をサポートするため、各分野の参考図書及び日本の文化・社会を広く紹介する各国語資料を収集し、資料の提供、レファレンスなどの図書館サービスを実施する。

合計額 28,399,116 円

	事業名	事業内容
1	図書館運営	<p>関西国際センターが行う研修への参加者の学習・研究をサポートするため、各分野の参考図書の充実と日本の文化・社会を広く紹介する各国語資料を収集、提供。レファレンスなどの各種図書館サービスも実施</p> <p>①所蔵資料合計(視聴覚資料を含む) : 46,550点                      (内訳: 図書 45,270冊、ビデオ/DVD 1,207タイトル、LD 6タイトル、CD-ROM 67タイトル)                      マイクロフィルム1,387リール、雑誌285タイトル、新聞18紙</p> <p>②利用者数(年間) : 16,202名                      ③貸出点数(年間) : 8,042点                      ④レファレンス件数(年間) : 1,194件</p>

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (2) 専門日本語研修 (外交官)

諸外国の若手外交官で、業務上の目的で日本語の習得を必要とする者を、8カ月間日本に招へいして、日本語及び日本事情の長期集中研修を実施する。

合計額 47,962,479 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成20年度外交官日本語研修	モンゴル	1	2008.10.01 ~ 2009.05.29	外務省の協力を得て、海外の若手外交官を日本に招へいし、日本語及び日本事情の長期集中研修を実施 (25カ国25名)
		インドネシア	1		
		カンボジア	1		
		タイ	1		
		ベトナム	1		
		マレーシア	1		
		ミャンマー	1		
		ブータン	1		
		モルディブ	1		
		マーシャル諸島	1		
		アンティグア・バーブーダ	1		
		キューバ	1		
		メキシコ	1		
		コロンビア	1		
		ボリビア	1		
		ラトビア	1		
		アフガニスタン	1		
		イエメン	1		
		トルコ	1		
		バーレーン	1		
		ブルキナファソ	1		

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
		ボツワナ	1		
		マダガスカル	1		
		マラウイ	1		
		マリ	1		
2	平成21年度外交官日本語研修	インドネシア	1	2009. 09. 30 ～ 2010. 05. 28	外務省の協力を得て、海外の若手外交官を日本に招へいし、日本語及び日本事情の長期集中研修を実施（23カ国23名）
		カンボジア	1		
		タイ	1		
		フィリピン	1		
		ベトナム	1		
		マレーシア	1		
		ミャンマー	1		
		ラオス	1		
		スリランカ	1		
		ブータン	1		
		モルディブ	1		
		ジャマイカ	1		
		ペルー	1		
		アルバニア	1		
		キルギス	1		
		グルジア	1		
		タジキスタン	1		
		リトアニア	1		
		アフガニスタン	1		
		イエメン	1		
		トーゴ	1		

附属機関関西国際センター事業費

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
	ニジェール	1		
	レソト	1		

1. 研修事業費 / (3) 専門日本語研修（公務員）

諸外国の公務員等で、業務上の目的で日本語の習得を必要とする者を、8カ月間日本に招へいして、日本語及び日本事情の長期集中研修を実施する。

合計額 9,294,059 円

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1 平成20年度公務員日本語研修	モンゴル	1	2008.10.01 ~ 2009.05.29	外務省の協力を得て、海外の若手公務員を日本に招へいし、日本語及び日本事情の長期集中研修を実施（5カ国5名）
	インドネシア	1		
	ラオス	1		
	アルバニア	1		
	イラク	1		
2 平成21年度公務員日本語研修	モンゴル	1	2009.09.30 ~ 2010.05.28	外務省の協力を得て、海外の若手公務員を日本に招へいし、日本語及び日本事情の長期集中研修を実施（5カ国5名）
	インドネシア	1		
	ベトナム	1		
	ラオス	1		
	フィジー	1		



附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (4) 専門日本語研修 (文化・学術専門家)

研究活動そして専門業務の遂行のために日本語の習得を必要とする専門家 (研究者、大学院生、図書館司書、博物館・美術館学芸員等) のために、実用的な日本語能力を身につけるための研修を実施する。

合計額 34,542,269 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成20年度研究者・大学院生日本語研修 (8カ月コース)	韓国	2	2008.10.01 ~ 2009.05.29	研究活動のために日本語の習得を必要とする海外の研究者・大学院生を招へいし、日本語の集中研修を実施 (7カ国9名)
		中国	2		
		フィリピン	1		
		米国	1		
		イタリア	1		
		スペイン	1		
		ロシア	1		

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
2	平成21年度文化・学術専門家日本語研修 (2カ月コース)	韓国	2	2009. 06. 17 ～ 2009. 08. 12	研究活動そして専門業務の遂行のために日本語の習得を必要とする専門家（研究者、大学院生、図書館司書、博物館・美術館学芸員等）のために、実用的な日本語能力を身につけるための研修を実施（17カ国30名）
		中国	4		
		インドネシア	2		
		シンガポール	1		
		ベトナム	1		
		バングラデシュ	1		
		オーストラリア	1		
		カナダ	1		
		米国	3		
		スペイン	1		
		アゼルバイジャン	1		
		ウクライナ	3		
		カザフスタン	1		
		ブルガリア	1		
		ラトビア	1		
		ルーマニア	1		
		ロシア	5		

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
3	平成21年度文化・学術専門家専門日本語研修（6カ月コース）	韓国	6	2009. 06. 17 ～ 2009. 12. 16	研究活動そして専門業務の遂行のために日本語の習得を必要とする専門家（研究者、大学院生、図書館司書、博物館・美術館学芸員等）のために、実用的な日本語能力を身につけるための研修を実施（8カ国15名）
		中国	2		
		インド	1		
		米国	2		
		メキシコ	1		
		スペイン	1		
		ドイツ	1		
		ポーランド	1		

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (5) 日本語学習者訪日研修 (各国成績優秀者)

海外の日本語教育機関等で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を2週間招へいし、講義、研修旅行等を通じて日本語及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する。

合計額 26,601,348 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成21年度日本語学習者訪日研修 (各国成績優秀者)	モンゴル	1	2009.09.02 ~ 2009.09.16	海外の日本語教育機関等において日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を本邦に招へいし、講義及び研修旅行等を通じて、日本語及び日本文化・社会への理解を深める (50カ国54名)
		カンボジア	1		
		フィリピン	1		
		ベトナム	2		
		ミャンマー	1		
		ラオス	1		
		インド	2		
		スリランカ	1		
		ネパール	1		
		バングラデシュ	1		
		トンガ	1		
		バヌアツ	1		
		マーシャル諸島	1		
		ミクロネシア	1		
		エルサルバドル	1		
		キューバ	1		
		グアテマラ	1		
		コスタリカ	1		
		ドミニカ共和国	1		
		ニカラグア	1		
		アルゼンチン	1		
		コロンビア	1		

附属機関関西国際センター事業費

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
	チリ	1		
	パラグアイ	1		
	ブラジル	2		
	ベネズエラ	1		
	ペルー	1		
	ボリビア	1		
	ウクライナ	1		
	ウズベキスタン	1		
	カザフスタン	1		
	キルギス	1		
	セルビア	1		
	チェコ	1		
	ハンガリー	1		
	ブルガリア	1		
	ポーランド	1		
	リトアニア	1		
	ルーマニア	1		
	ロシア	2		
	シリア	1		
	トルコ	1		
	ヨルダン	1		
	エジプト	1		
	チュニジア	1		
	モロッコ	1		
	ガーナ	1		

附属機関関西国際センター事業費

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
	ケニア	1		
	セネガル	1		
	マダガスカル	1		

1. 研修事業費 / (6) 日本語学習者訪日研修 (大学生)

近年、日本語学習者数の大幅な増加が見られる地域における日本語教育の拠点機関から、日本語を学習している大学生を6週間招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する。

合計額 30,679,678 円

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1 平成21年度日本語学習者訪日研修 (大学生/春季)	カンボジア	1	2009.05.13 ~ 2009.06.24	海外の大学で日本語を学習している大学生を日本に招へいし、日本語及び日本事情の短期研修を実施 (6カ国16名)
	タイ	2		
	インド	6		
	スリランカ	1		
	アゼルバイジャン	1		
	ロシア	5		

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
2	平成21年度日本語学習者訪日研修 (大学生/秋季)	メキシコ	1	2009. 10. 21 ~ 2009. 12. 02	海外の大学で日本語を学習している大学生を日本に招へいし、日本語及び日本事情の短期研修を実施 (16カ国19名)
		ウクライナ	2		
		ウズベキスタン	1		
		カザフスタン	1		
		キルギス	1		
		クロアチア	1		
		セルビア	1		
		チェコ	1		
		ハンガリー	1		
		ブルガリア	1		
		ベラルーシ	2		
		ポーランド	1		
		ルーマニア	1		
		サウジアラビア	1		
		トルコ	2		
		ケニア	1		

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
3	平成21年度日本語学習者訪日研修 (大学生/冬季)	インドネシア	2	2010.01.13 ~ 2010.02.24	海外の大学で日本語を学習している大学生を日本に招へいし、日本語及び日本事情の短期研修を実施(9カ国16名)
		ラオス	1		
		アルゼンチン	1		
		コロンビア	1		
		チリ	1		
		ブラジル	4		
		イラン	2		
		シリア	2		
		トルコ	2		



附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (7) 日本語学習者訪日研修 (高校生)

海外の高等学校で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を2週間招へいし、日本語及び日本文化・社会への理解を深め、同世代の日本の若者と交流する機会を提供する。

合計額 18,937,465 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成21年度日本語学習者訪日研修 (高校生)	中国 モンゴル インドネシア タイ フィリピン マレーシア スリランカ オーストラリア ニュージーランド カナダ 米国 パラグアイ ブラジル 英国 ドイツ フランス ロシア	4 2 2 2 1 2 2 3 2 2 3 1 1 2 1 1 1	2009.07.01 ~ 2009.07.15	海外の高等学校で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を17カ国から計32名招へいし、日本語の授業、日本文化体験、研修旅行等とおして、日本語及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供し、継続的な日本語学習を奨励するとともに、当該地域の日本語教育の普及に寄与
2	日本語学習者訪日研修 (李秀賢氏 記念韓国青少年招へい研修)	韓国	30	2010.02.09 ~ 2010.02.19	韓国で日本語を学習し日本の社会文化に関心を持つ高校生30名を日本に招へいし、日本語及び日本の文化・社会への理解を深めると共に、日本の同世代の青少年との交流を行った

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (8) アジア・ユースフェロシップ高等教育奨学金訪日研修

アジア各国の文化振興支援の一環として、アジア域内の将来を担う人材育成を支援するため、日本の大学院へ留学するアジア11カ国の大学卒業者を対象に大学院留学前予備教育事業を行なう。

合計額 45,768,927 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成21年度アジア・ユースフェロシップ高等教育奨学金訪日研修	インドネシア	2	2009.07.21 ~ 2010.02.23	アジア各国の将来を担う人材の育成支援のため、日本の大学院へ留学するアジア10カ国の大学卒業生18名を招へいし、日本での研究活動に必要な日本語の習得及び日本文化・社会への理解を深めることを目的とした大学院留学前の長期集中研修を実施
		カンボジア	2		
		シンガポール	1		
		タイ	2		
		フィリピン	2		
		ベトナム	2		
		マレーシア	2		
		ミャンマー	1		
		ラオス	2		
		バングラデシュ	2		

1. 研修事業費 / (9) 地域交流研修 (関西国際センター)

地域貢献の一環として、地方自治体等の機関が実施する事業のうち、主に日本語学習研修について、協力・共同実施する。

合計額 718,012 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成21年度大阪府JET来日時日本語研修	オーストラリア	3	2009.08.24 ~ 2009.08.26	平成21年度大阪府が新規に受け入れた語学指導等を行なう外国青年招致事業(略称:JETプログラム)による来日青年のうち、小・中・高等学校において語学指導に従事する外国語指導助手(ALT)に対し日本語研修を実施することにより、語学教育の充実と地域レベルの国際化の進展を図り、日本語及び日本の文化・社会への理解を深める一助とする(7カ国35名)
		ニュージーランド	1		
		カナダ	5		
		米国	20		
		トリニダード・トバゴ	1		
		英国	3		
		南アフリカ	2		

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
2	平成21年度大阪府クィーンズランド州日本語研修	オーストラリア	5	2010.01.05 ～ 2010.01.23	大阪府と共催で、同府の姉妹提携自治体であるオーストラリア・クィーンズランド州の日本語教師に対して、日本語及び日本事情の集中研修を実施
3	平成21年度インドネシア人介護福祉士候補者フォローアップ研修	インドネシア	34	2010.02.26 ～ 2010.02.28	平成20年度に実施したインドネシア人介護福祉士候補者日本語研修の参加者に対して、国際交流基金関西国際センターの「日本語でケアナビ」サイトを利用した単語帳の作成や申し送り等についてのフォローアップ研修を行った。また、併せて施設担当者向けのセミナーも実施

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (10) 在日外交官日本語研修

在日外国公館のうち、独自で日本語学習環境を設けることが困難な公館に勤務する外交官を対象に、在日外交官の日本での生活及び職場に必要な日本語の習得及び日本語能力の向上のための研修を実施する。

合計額 2,580,680 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成21年度在日外交官日本語研修	モンゴル	1	2009. 05. 09 ~ 2009. 10. 31	在日外国公館のうち、独自で日本語学習環境を設けることが困難な（原則ODA対象国、旧ソ連新独立国家（NIS）及び東欧諸国）公館に勤務する外交官を対象とした日本語研修を、社団法人国際日本語普及協会に委託して実施（17カ国19名）
		フィリピン	1		
		ラオス	1		
		スリランカ	1		
		モルディブ	1		
		ドミニカ	1		
		メキシコ	1		
		エクアドル	2		
		コロンビア	1		
		キルギス	1		
		ブルガリア	2		
		ルーマニア	1		
		イラク	1		
		アルジェリア	1		
		スーダン	1		
		チュニジア	1		
		ジブチ	1		

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (11) 受託研修 (関西国際センター)

外部機関から委託を受け、日本語研修を実施する。

合計額 2,515,429 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	香港中文大学日本語研修	中国	10	2009.07.01 ~ 2009.07.10	香港中文大学の大学生を対象に、同大学より日本語研修を受託実施
2	インドネシア大学生日本語研修	インドネシア	2	2009.10.21 ~ 2009.12.02	東南アジア及び大洋州地域の天然ガス産出国との相互理解を深め、国際親善に資することを目的に、当該国における教育機材、研究、研修に関する助成や奨学金の支給を行っている財団法人大阪ガス国際交流財団が招へいするインドネシアの日本語専攻大学生2名に対し日本語能力の向上、日本文化・社会についての理解を深める事を目的とした日本語研修を、関西国際センターにおいて受託実施
3	オーストラリア首都特別地域 (ACT)教育訓練省 小・中学校日本語教師訪日研修	オーストラリア	10	2009.09.27 ~ 2009.10.06	オーストラリア首都特別地域 (ACT) 教育訓練省からの委託により、同省の日本語教師養成講座の一環として、小・中学校教師10名及びACT教育訓練省カリキュラム責任者1名、計11名を対象に9泊10日の訪日研修を受託実施
4	平成21年度関西ニューージーランドセンター ニューージーランド日本語教師日本語研修	ニューージーランド	3	2009.04.11 ~ 2009.04.23	教育、文化、スポーツ等の分野で日本とニューージーランドの二国間交流を行っている関西ニューージーランドセンターが招へいするニューージーランド人日本語教師に対し、日本語能力の向上、日本語教育リソース紹介等を目的とした日本語研修を受託実施

1. 研修事業費 / (12) 受託研修 (関西国際センター) [アセアン]

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語研修事業を、外部から受託し実施する。

合計額 56,119,351 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	第2期21世紀東アジア青少年大交流計画 東アジア日本語移動講座プログラム (カレッジ・イン・ジャパン)	インドネシア フィリピン ベトナム マレーシア	10 10 10 10	2009.03.30 ~ 2009.04.27	「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として、同プログラム対象地域にある日本語教育の拠点機関等から、日本語を履修している青少年を招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供 (4カ国40名)
2	第2期21世紀東アジア青少年大交流計画 東アジア日本語履修大学生研修プログラム (春季グループ)	シンガポール タイ フィリピン インド	5 5 5 5	2009.05.13 ~ 2009.06.24	「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として、同プログラムの対象地域にある日本語教育の拠点機関等から、日本語を履修している青少年を招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供 (4カ国20名)

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
3	第3期21世紀東アジア青少年大交流計画 東アジア日本語履修大学生研修プログラム(夏季グループ)	カンボジア シンガポール ブルネイ ベトナム マレーシア ミャンマー ラオス オーストラリア ニュージーランド	2 5 1 5 5 4 2 3 3	2009. 06. 10 ～ 2009. 07. 23	海外の大学に在籍し、日本語を学習している大学生を招へいし、日本語を日常的に使用する生活を体験し、日本語能力の向上と日本の文化・社会への理解を深める研修の機会を提供することにより、継続的な日本語学習を奨励するとともに、当該地域の日本語教育・日本研究分野における長期的な人材育成に寄与。「21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)」の一環として実施 (9カ国28名)
4	第3期21世紀東アジア青少年大交流計画 東アジア日本語履修大学生研修プログラム (秋季グループ)	インドネシア インド	4 4	2009. 10. 21 ～ 2009. 12. 02	「21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)」の一環として、同プログラムの対象地域にある日本語教育の拠点機関等から、日本語を履修している青少年を招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供 (2カ国8名)
5	第3期21世紀東アジア青少年大交流計画 東アジア日本語移動 講座プログラム(カレッジ・イン・ジャパン) (実施準備)			2010. 03. 01 ～ 2010. 03. 31	インドネシア、シンガポール、ベトナム、マレーシアの4カ国から40名を招へいして実施する4週間の訪日研修 (2010. 04. 02～2010. 04. 30)に係わる事前準備

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (13) 受託研修 (関西国際センター) [サーク]

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語研修事業を、外部から受託し実施する。

合計額 20,807,609 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	第3期21世紀東アジア青少年大交流計画 南アジア日本語学習者招へいプログラム	インド スリランカ ネパール パキスタン バングラデシュ モルディブ	10 9 9 3 5 3	2010.03.03 ~ 2010.03.31	21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)の一環として、南アジア地域の日本語教育機関から日本語を履修している青少年を招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する研修を実施 (6カ国39名)

1. 研修事業費 / (14) 国内大学連携 (関西国際センター)

国内の大学から日本語教育学を研究している学生を海外の大学に派遣するのに併せて、当該海外大学の大学生を招聘し、日本語研修を実施する。

合計額 54,473,399 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成21年度国内大学連携大学生訪日研修 (6週間・夏季コース)	韓国 中国 インドネシア ニュージーランド オランダ トルコ	12 6 3 2 3 3	2009.07.29 ~ 2009.09.09	日本の大学で日本語教育を専攻している日本人学生を実習生として受け入れている海外の大学より学生を招へいして、6週間の研修を実施 (6カ国29名)
2	平成21年度国内大学連携大学生訪日研修 (6週間・秋季コース)	韓国 中国 シンガポール タイ ドイツ	9 9 2 10 1	2009.10.07 ~ 2009.11.18	日本の大学で日本語教育を専攻している日本人学生を実習生として受け入れている海外の大学より学生を招へいして、6週間の研修を実施 (5カ国31名)

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
3	平成21年度国内大学連携大学生訪日研修（6週間・冬季コース）	韓国 中国 インドネシア タイ オーストラリア ニュージーランド カナダ スペイン ノルウェー スロベニア	4 1 1 3 3 2 1 1 1 3	2010. 01. 13 ～ 2010. 02. 24	日本の大学で日本語教育を専攻している日本人学生を実習生として受け入れている海外の大学より学生を招へいして、6週間の研修を実施（10カ国20名）
4	平成21年度国内大学連携大学生訪日研修（4カ月）	韓国 中国 インドネシア シンガポール タイ ベトナム オーストラリア ニュージーランド イタリア ドイツ ハンガリー ルーマニア	5 4 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1	2010. 02. 03 ～ 2010. 06. 02	日本の大学で日本語教育を専攻している日本人学生を実習生として受け入れている海外の大学より学生を招へいして、4カ月間の研修を実施（12カ国20名）



附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (15) Eラーニング開発事業

日本語学習者を幅広くサポートするため、Eラーニング教材の開発を行う。

合計額 18,635,118 円

	事業名	期間	事業内容
1	「日本語でケアナビ」サイトの運営	2009.04.01 ~ 2010.03.31	外国人ケア従事者の日本語教育をサポートするサイト「日本語でケアナビ」の運営。平成21年度には、インドネシア語版の公開を開始すると共に、音声機能の追加等、機能の充実を図った
2	「アニメ・マンガの日本語」サイト立ち上げ	2009.04.01 ~ 2010.03.31	アニメ・マンガに関心を有する日本語学習者のモチベーションを高めるため、海外でも人気の高いアニメ化された日本マンガの日本語を学習できるEラーニング・サイト「アニメ・マンガの日本語」を立ち上げた
3	日本語ポータルサイト「NIHONGO eな」の開発	2009.04.01 ~ 2010.03.31	世界中の日本語学習者が、日本語学習に関する情報を集める際に最初にアクセスするようなポータルサイト「NIHONGO eな」の開発を行った。同サイトでは、主なeラーニング・サイトをカテゴリー別に紹介し、便利な利用方法のアドバイスも行う等、各種情報提供や自律学習を支援

## 日本研究・知的交流事業に必要な経費 企画開発費

1. 文化資料事業費
  - (1) 図書寄贈〔企画調整〕

企画開発費

1. 文化資料事業費 / (1) 図書寄贈 [企画調整]

日本研究関係の定期刊行物を買上げ、ODA地域を中心とした日本研究・教育機関に対して寄贈する。

合計額 1,354,760 円

	事業名	誌名	部数	発行機関	機関所在国	事業内容
1	日本研究資料購送	ACTA ASIATICA	150	財団法人東方学会	日本	海外の日本研究振興に資する図書資料寄贈事業の一環として、日本研究分野で定評のある英文定期刊行物3種を購入し、ODA諸国を中心とする各国日本研究機関へ寄贈
		Monumenta Nipponica	200	上智大学モニュメント・ニッポニカ	日本	
		The Journal of Japanese Studies	200	ワシントン大学 The Journal of Japanese Studies	米国	

# 日本研究・知的交流事業に必要な経費

## 日中交流センター事業費

### 1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（日中交流センター）
- (2) 高校生等招へい事業

### 2. 催し等事業費

- (1) 中国「ふれあいの場」事業（主催）
- (2) 中国「ふれあいの場」事業（助成）

### 3. 文化資料事業費

- (1) ネットワーク整備事業（文化資料）

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 受託事業 (日中交流センター)

日中交流の分野で、国際交流基金の業務趣旨に合致する事業を外部から受託し実施する。

合計額 18,501,031 円

	事業名	期間	事業内容
1	コミュニティサイト「心連心ウェブサイト」の運営	2009.04.01 ~ 2010.03.31	中国高校生招へい事業を通じて生まれた友情の維持・深化、さらなる日中間の市民交流の促進を目的として、インターネット上に日中高校生の日記や日中両国の最新情報等を2カ国語で発信 URL: <a href="http://www.chinacenter.jp/">http://www.chinacenter.jp/</a>

1. 人物交流事業費 / (2) 高校生等招へい事業

中国の高校生を招へいし、日本の社会と文化を知る機会を提供するとともに、日本の人々にも中国人と直接交流し、中国の文化を知る機会を提供する。

合計額 73,683,974 円

	事業名	人数	期間	事業内容
1	中国高校生長期招へい (第三期生)	26	2008.09.01 ~ 2009.07.31	中国の高校生に11カ月間の日本滞在の機会を提供し、その生活を通して日本の社会と文化を知ること、同時に彼らを取り巻く日本人々にも中国人と直接交流する機会を提供すること、これらにより“人”と“人”の心のつながりをつくり、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる信頼関係を築くことを目的とする。第三期生は計26名を招へい
2	中国高校生長期招へい (第四期生)	35	2009.09.01 ~ 2010.07.31	中国の高校生に11カ月間の日本滞在の機会を提供し、その生活を通して日本の社会と文化を知ること、同時に彼らを取り巻く日本人々にも中国人と直接交流する機会を提供すること、これらにより“人”と“人”の心のつながりをつくり、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる信頼関係を築くことを目的とする。第四期生は計35名を招へい
3	中国高校生長期招へい (フォローアップ)	—	2009.04.01 ~ 2010.03.31	中国高校生長期招へい事業で招へいした生徒が帰国した後、つながりの維持や卒業生どうしのネットワーク拡大のため、交流会の実施やフォローアップを行う。また、必要に応じて、大学進学時のバックアップなども行う

2. 催し等事業費 / (1) 中国「ふれあいの場」事業 (主催)

現代日本の最新情報に接する機会が比較的限られる中国の地方都市において、日本情報を発信し、中国の市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。

合計額 13,498,401 円

	事業名	都市	共催・協力機関	期間	事業内容
1	成都ふれあいの場	成都	広島・四川中日友好会館	2009.04.01 ~ 2010.03.31	共同設置型の「ふれあいの場」を中国四川省成都市の広島・四川中日友好会館内に設置 (2007年4月開館)。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催

日中交流センター事業費

	事業名	都市	共催・協力機関	期間	事業内容
2	長春ふれあいの場	長春	長春図書館	2009.04.01 ~ 2010.03.31	共同設置型の「ふれあいの場」を中国吉林省長春市の長春図書館内に設置（2008年5月開館）。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催
3	南京ふれあいの場	南京	金陵図書館	2009.04.01 ~ 2010.03.31	共同設置型の「ふれあいの場」を中国江蘇省南京市の金陵図書館内に設置（2008年12月開館）。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催
4	「日中青少年交流年」記念事業	南京	南京市人民対外友好協会 金陵図書館	2010.02.28 ~ 2010.03.05	南京市で開催した「2010年南京ジャパンウィーク」（10.02.28～10.03.05）のイベントの一つとして、J-POPライブ福井舞コンサート（会場：南京市文化芸術中心）を開催

2. 催し等事業費 / (2) 中国「ふれあいの場」事業（助成）

現代日本の最新情報に接する機会が比較的限られる中国の地方都市において、日本情報を発信し、中国の市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。

合計額 7,737,199 円

	都市	助成対象機関	期間	事業内容
1	延吉	延辺大学日本学研究所	2009.04.01 ~ 2010.03.31	助成型の「ふれあいの場」事業を吉林省延吉市にある延辺大学を助成。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催
2	ハルビン	黒龍江大学東語学院	2009.04.01 ~ 2010.03.31	助成型の「ふれあいの場」事業を黒龍江省ハルビン市にある黒龍江大学を助成。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催
3	連雲港	連雲港少年児童図書館	2009.04.01 ~ 2010.03.31	助成型の「ふれあいの場」事業を江蘇省連雲港市にある少年児童図書館を助成。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催
4	西寧	青海民族大学	2009.04.01 ~ 2010.03.31	助成型の「ふれあいの場」事業を青海省西寧市にある青海民族大学を助成。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催

日中交流センター事業費

3. 文化資料事業費 / (1) ネットワーク整備事業 (文化資料)

将来にわたり日中間のかけ橋となり得る人々のネットワークを構築し、日中交流の基盤強化を図る。

合計額 21,877,355 円

	事業名	期間	事業内容
1	「心連心ウェブサイト」運営	2009.04.01 ~ 2010.03.31	交流事業を通じて生まれた友情の維持・深化、さらなる日中間の市民交流の促進を目的として、インターネット上に日中高校生の日記や日中両国の最新情報等を2カ国語で発信
2	ラジオ番組制作・放送	2009.04.01 ~ 2010.03.31	日本の「流行音楽」と「流行情報」を中国語で紹介するラジオ番組を制作し、中国国内各地域の主要FMラジオ局で放送

# 日本研究・知的交流事業に必要な経費

## カルコン事務局運営費

1. 調査研究費
  - (1) カルコン事業費



カルコン事務局運営費

1. 調査研究費 / (1) カルコン事業費

カルコン合同会議の勧告を受け、日米相互理解の促進に寄与する調査・開発を行う。

合計額 9,934,753 円

	事業名	対象国	共催機関	会場	期間	事業内容
1	フルブライト・カルコン合同シンポジウム	米国	日米文化教育交流会議 (カルコン)  フルブライト・ジャパン (日米教育委員会)  日米友好基金	経団連会館	2009.06.12	「日・米ソフトパワー：地球的課題への取り組み」 を東京で開催

# 日本研究・知的交流事業に必要な経費

## 米州交流事業費

### 1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究ネットワーク強化（主催）〔米州〕
- (2) 日本研究ネットワーク強化（助成）〔米州〕
- (3) 日本研究機関支援〔米州〕
- (4) 日本研究巡回セミナー〔米州〕

### 2. 人物交流事業費

- (1) 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔米州〕
- (2) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔米州〕
- (3) 日本研究フェローシップ（短期）〔米州〕
- (4) 知的リーダー交流（派遣）〔米州〕

### 3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（主催）〔米州〕
- (2) 知的交流会議（助成）〔米州〕

米州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (1) 日本研究ネットワーク強化 (主催) [米州]

学問分野を超えた日本研究者・研究機関相互の連携と協力を推し進め、各国・地域における中核的な知日層とわが国の長期的な関係を維持発展させるため、海外の日本関連学会や元日本留学生の組織化・活動を支援する。

合計額 12,410,291 円

	事業名	開催国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	世界日本研究者フォーラム	日本	箱根 東京	箱根ホテル 国際交流基金さくらホール		2009.10.12 ~ 2009.10.15	海外における日本研究の内容や役割が大きく変化しつつある中、世界各地の日本研究の抱える様々な課題を討議すべく、主要国・地域で中核的役割を担う日本研究者12名を招へいして、「世界日本研究者フォーラム2009」(箱根)、公開シンポジウム「世界日本研究者フォーラム～変わりゆく日本研究：世界の現場からの報告～」(東京)を開催
2	カリフォルニア大学バークレー校日本研究者シンポジウム	米国	バークレー	カリフォルニア大学バークレー校	カリフォルニア大学バークレー校・日本文化研究センター	2009.12.01 ~ 2010.02.28	カリフォルニア大学バークレー校日本文化研究センター開設50周年記念事業の一環として2009年12月6日「バークレーの日本研究：過去、現在と将来」と題するシンポジウムを70名の参加者を集めて開催。同校歴代所長セッション、「日本研究に対する支援」をテーマに議論。続いて、ハワイ大学社会学部P. スタインホフ教授より北米日本研究調査状況の報告。更に北米各大学の日本研究センター所長が発表を行ない、北米における日本研究の将来について議論を深めた

米州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (2) 日本研究ネットワーク強化 (助成) [米州]

国境・学問分野を越えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 4,854,738 円

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
1	カナダ日本研究学会 (JSAC)	カナダ	2009.04.01 ~ 2010.03.31	JSAC年次大会2009「津波：日本とグローバル危機」への経費助成
2	カナダ日本研究ネットワーク	カナダ	2009.05.01 ~ 2009.12.31	2009年度カナダ日本研究ネットワーク・シンポジウムへの経費助成
3	中南米日本研究協会	メキシコ	2009.05.01 ~ 2009.12.31	日本研究者を対象とした中南米スペイン語圏のネットワーク組織が実施する、第2回中南米日本研究協会シンポジウムへの経費助成

1. 日本研究事業費 / (3) 日本研究機関支援 [米州]

各国において日本研究の中核的役割を担うべき単一・少数の機関に対し、日本研究事業の拡充・発展に必要な様々な支援を、包括的、集中的且つ中長期的に行い、当該国の日本研究基盤となる拠点機関の整備を進める

合計額 64,011,863 円

	対象機関	対象国	期間	事業内容
1	アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター	米国	2009.04.01 ~ 2010.03.31	アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター・上級専門日本語研修 (第2年目) 専門分野における研究を遂行するために必要な上級日本語研修を実施
2	京都アメリカ大学コンソーシアム (Kyoto Consortium for Japanese Studies)	米国	2009.04.01 ~ 2010.03.31	京都上級・古典日本語夏期プログラム (第2年目) 歴史的文献などの研究を行う学生・研究者を対象とした古典日本語の夏季集中研修を実施。修了者は米国の大学の単位としても利用可能で最大25名を受け入れ。3カ年計画の第2年目
3	五大湖周辺私立大学連盟 (GLCA)	米国	2009.04.01 ~ 2010.03.31	米国リベラル・アーツ・カレッジによる現代日本への取り組み (第2年目) 様々な分野の非日本専門教員に対する日本理解セミナー、訪日プログラムを実施
4	ハワイ大学マノア校	米国	2009.06.01 ~ 2010.05.31	米国における沖縄研究 (第2年目) 同大学日本研究センターが行う、国際会議、出版、カリキュラム開発、教員研究、図書館資料拡充等を含む総合的沖縄研究プログラム、3年計画事業の第2年目を実施。第2年目には、ハワイ沖縄移民関連書籍「ウチナンチュ」再発刊及び続刊の発刊に向けた調査・研究、沖縄の歴史と文化に関する教材翻訳、関連コース用教材開発、沖縄語方言ウェブサイト構築、歴史資料購入等の事業を実施
5	ケンタッキー大学	米国	2009.07.01 ~ 2010.06.30	日本研究集中拡充プログラム (第2年目) 日本語及び歴史 (視覚文化・メディア分野) の2つの教員ポスト新設と関連する資料拡充等により全学部・大学院の横断的日本研究プログラムの拡充を目指す3年計画事業の第2年目を実施した。加えて日本の待映画上映及び講演事業を実施し合計419名の関係者・聴衆が参加
6	フロリダ国際大学	米国	2009.07.01 ~ 2010.06.30	フロリダ国際大学において新規にポスト創設された日本社会学コースの担当助教授の給与と社会保障費の一部を支援する3年計画事業の第2年目として支援対象教員 Matthew D. Marrの給与と社会保障費の一部助成を実施

米州交流事業費

	対象機関	対象国	期間	事業内容
7	北米日本研究資料調整協議会	米国	2009.07.01 ~ 2010.06.30	利用者中心の情報資源共有のための国籍を超えた戦略展開（第2年目） デジタルリソース事業、国際的な図書館相互貸借等のプログラムを実施。また、申請団体の活動管理を洗練し、多くの資金提供者を開拓、次の10年の計画を策定
8	ミシシッピ大学	米国	2009.07.01 ~ 2010.06.30	日本史助教授の給与助成（第3年目） 支援対象教員Noel R. Wilsonにより、日本史専門講座を開講。国際交流基金の助成終了後は大学負担でポストを継続
9	モンタナ州立大学	米国	2009.07.01 ~ 2010.06.30	文化人類学助教授の給与助成（第3年目） 支援対象教員山口トモミにより日本の文化・社会に関する計8講座を新たに開講
10	イリノイ大学	米国	2009.08.01 ~ 2010.07.31	中西部日本研究セミナー（第2年目） 中西部地域の大学に所属する様々な分野の教員を対象とした日本研究セミナー。域内の大学が持ち回りでホストとなり、年5回2名の専門家により歴史・文学・宗教・政治などをテーマとしたセミナーを実施する2年計画事業の第2年目
11	コロラド大学ボルダー校	米国	2009.08.01 ~ 2010.07.31	日本研究大学院課程及び教員向けアウトリーチ事業拡充（第2年目） 江戸文学・言語学・日本専門司書・歴史の教員ポスト新設。図書拡充。新たに大学院博士課程の認可を目指す3カ年計画の第1年目
12	バージニア大学	米国	2009.08.01 ~ 2010.06.30	国際的な文脈における日本理解（第2年目） 歴史、メディア研究、人類学の3分野で教員ポストを拡充し、日本と世界の比較・関係に関する研究を深化させる事業。当初3年計画の予定であったが初年度に教員候補者の採用が延期されたことにより計5カ年の事業となった。本年度は第2年目。教員ポスト拡大に合わせて図書館資料を充実させ博士課程学生の育成と学部教育の充実を図る事業を行なった。また、本助成支援により新たに歴史学部にてRobert Stolz准教授を採用、2講座の授業を行い延べ72名の学生が受講した
13	エル・コレヒオ・デ・メヒコ	メキシコ	2009.05.01 ~ 2010.03.31	「日本の経済と社会」をテーマに、八木紀一郎（京都大学教授）を派遣。「日本の政治と政治思想1983～2008」研究プロジェクト最終公開セミナーへの経費助成。日本の歴史を中心とする図書の購送による図書拡充支援を実施
14	メキシコ工科自治大学	メキシコ	2010.02.02 ~ 2010.02.17	メキシコ工科自治大学国際研究学部がアジア太平洋コースの一環として新設した「日本研究コース（通称：吉田茂日本研究講座）」において日本の外交政策に関する講義を行うため北岡伸一（東京大学教授）を客員教授として日本より派遣。集中講義（計15時間、参加学生約25名）の他、上院議会における講演、TV放映等によりメキシコにおける日本事情理解を促進
15	サンパウロ大学哲学・文学・人間科学部	ブラジル	2009.04.01 ~ 2010.03.31	サンパウロ大学において「第20回全伯日本語・日本文学・日本文化大学教師学会・第7回ブラジル日本研究国際会議」を2009年8月27日～28日の日程で開催した。「日本研究の新たな展開-ブラジル・カナダ・フランスからの貢献-」をテーマに、各国の状況を反映した日本研究の状況を認識し、日本研究のあり方、将来を再考し、あわせてグローバル化が日本研究に与える影響についても議論し、約170名の聴衆を集めた。また、図書拡充支援として、学部学生・大学院生の参考文献充実につながる和書（209冊）洋書（126冊）の現物支援を実施
16	ブラジリア大学	ブラジル	2009.04.01 ~ 2010.03.31	日本研究講座における教員増及び学生増に対応するため図書資料の拡充に対する支援として日本図書資料（洋書28冊）の現物の寄贈を実施

米州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (4) 日本研究巡回セミナー〔米州〕

日本研究者を海外に派遣し、講演等を行うことにより、米州での日本研究振興に資することを目的とする。

合計額 1,891,172 円

	事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	日本研究巡回セミナー	仙田 満	放送大学教授	ブラジル	UNIRITTER大学 建築・都市工 学学部  パラナ州工業 連盟(FIEP)  サンパウロ 日本文化セン ター	2010.03.09 ~ 2010.03.21	日本の環境配慮型建築や都市空間に主眼を置き、近代化に伴う都市問題など日本とブラジル双方による議論を展開。その際の講演者として日本人専門家を派遣

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (1) 日本研究フェローシップ (学者・研究者) [米州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 47,992,739 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	ANDERSON, David	ブリティッシュ・コロンビア大学 准教授	カナダ	神戸学院大学	2009.01.01 ~ 2009.06.30	2005年愛知万博訪問者の記憶：長期間にわたる記憶の心理学的研究
2	KAWANO, Satsuki	グエルフ大学 准教授	カナダ	早稲田大学	2008.12.27 ~ 2009.04.09	現代日本における家族形成過程の社会文化的分析：未就学児のいる両親が第2子を授かるうとする際に利用可能なリソースの認知
3	TIAMPO, Ming	カールトン大学 准教授	カナダ	慶應義塾大学	2008.10.01 ~ 2009.09.30	具体のカルトグラフィ (活動地図)
4	DENECKE, Wiebke	コロンビア大学バーナードカレッジ 准教授	米国	国際日本文化研究センター	2009.08.11 ~ 2010.05.10	「中国・ギリシャの足跡－日本語世界とラテン語世界の作者たちと文学伝統」
5	FOWLER, Sherry Dianne	カンザス大学 准教授	米国	神戸大学	2009.05.09 ~ 2009.08.01	日本の六観音イメージとその信仰
6	HESSELINK, Reinier H.	北アイオワ州立大学 准教授	米国	東京大学史料編纂所	2009.08.11 ~ 2010.05.10	長崎キリスト協会の盛衰 (1560年～1640年)
7	KATADA, Saori	南カリフォルニア大学 准教授	米国	早稲田大学	2009.03.20 ~ 2009.07.19	つぎはぎ地域主義？日本と東アジアの新しい経済関係
8	KIMBROUGH, Randle Keller	コロラド大学 助教授	米国	南山大学	2009.05.30 ~ 2010.05.29	中世・近世仏教文学 (説経節及び古浄瑠璃) の翻訳プロジェクト
9	MURPHY, Joseph A	フロリダ大学 准教授	米国	横浜国立大学	2009.01.06 ~ 2009.08.13	無用／有用－日本近代における「戯れ」と文学
10	REITAN, Richard	フランクリン大学 助教授	米国	東京大学	2009.08.27 ~ 2010.08.12	ゲイストから精神へ：明治日本における精神の系統
11	SELINGER, Vyjayanthi Ratnam	ボウドイン大学 助教授	米国	国学院大学	2010.03.24 ~ 2010.08.10	14世紀日本の歴史文学における将軍像
12	SHAMOON, Deborah Michelle	ノートルダム大学 助教授	米国	早稲田大学	2009.08.01 ~ 2009.12.01	情熱的な友情：日本における少女文化の美学
13	SKABELUND, Aaron Herald	ブリッグハム・ヤング大学 助教授	米国	北海道大学	2010.03.23 ~ 2010.08.02	「見えない男：戦後の日本の軍隊 1945～2005」
14	SAITO, Satoru	ラトガース大学 助教授	米国	早稲田大学	2009.03.31 ~ 2009.12.31	19世紀末・20世紀初における日本の連載小説と文学の消費
15	WALTHALL, Anne	カリフォルニア大学アーバイン校 教授	米国	国際基督教大学	2009.03.30 ~ 2009.07.29	信仰の実施－平田家の歴史 (1800-1945)

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
16	WHITMAN, John Bradford	コーネル大学 教授	米国	東京大学大学院人文社会系研究科	2008.08.16 ~ 2009.07.21	平安初期訓点資料の比較研究
17	CASTELLANOS Moya, Horacio	作家	エルサルバドル	東京大学	2009.07.06 ~ 2010.01.05	安部公房と大江健三郎の小説における暴力と癒し
18	PEREZ VILLANUEVA, Omar Everleny	ハバナ大学 教授	キューバ	日本貿易振興機構アジア経済研究所	2009.09.24 ~ 2009.12.22	海外直接投資と経済成長：アジアの経験をキューバに
19	BARRON SOTO, Maria Cristina Esperanza	イペロアメリカ大学 教授	メキシコ	京都大学	2010.01.16 ~ 2010.05.16	スペイン帝国時代のメキシコ、フィリピン、日本間の太平洋貿易
20	PERELLO ENRICH, Juan Luis	サンチャゴ大学 非常勤講師	チリ	上智大学	2009.07.20 ~ 2010.01.19	日本語とスペイン語の対照的テキスト学：それぞれのテキスト構造の違いと和文翻訳過程・翻訳論への影響
21	NAGAE, Neide Hisae	パウリスタ州立大学 教授	ブラジル	神奈川大学	2010.01.15 ~ 2010.03.14	日本思想と日本文学理念の一考察
22	ZAMBRANO MEZA, Gregory Simon	ロス・アンデス大学 教授	ベネズエラ	東京大学	2008.09.06 ~ 2009.09.05	「個人という概念の危機－阿部公房とガブリエル・ガルシア・マルケスの小説世界」

2. 人物交流事業費 / (2) 日本研究フェローシップ (論文執筆) [米州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 100,006,725 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	BERTHIN, Michael Edwin	ロンドン大学 博士課程	カナダ	株式会社国際電気通信基礎研究所 (ATR) 知能ロボティクス研究所	2009.05.10 ~ 2010.05.09	日本における社会ロボットの民俗学的検証
2	CALLAGHAN, Sean Koji	トロント大学東アジア学部 博士課程	カナダ	立教大学	2009.08.14 ~ 2010.08.13	衝突する集団性：戦前日本における生命、国家、そして作用
3	CRAIG, Christopher Robin Jamie	コロンビア大学 博士課程	カナダ	早稲田大学	2009.06.02 ~ 2010.06.01	近代中流階級：地方名望家と地方の発展 1890～1930
4	SERVICE, Jonathan Keith Ranta	ハーバード大学 博士課程	カナダ	東京大学	2009.09.16 ~ 2010.09.13	明治日本における音楽の現代化
5	ARNOLD, Michael John	ミシガン大学 博士課程	米国	明治学院大学	2009.07.01 ~ 2010.06.30	毎日午後のセックス 日本ピンク映画の形－ボディと映画写真主義の欠如
6	ATHERTON, David Carl	コロンビア大学 博士課程	米国	立教大学	2010.03.13 ~ 2011.03.12	神が人であった時：中世本物地における家族、苦、と異郷



米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
7	BRONSON, Adam Paul	コロンビア大学 博士課程	米国	東京大学大学院	2008.09.14 ~ 2009.09.13	民主主義・科学・日常性：思想の科学研究会と戦後日本1946～1996
8	BUSHNELL, Cade Conlan	ハワイ大学 博士課程	米国	筑波大学	2008.11.05 ~ 2009.11.04	「日本人」としてのアイデンティ構築：超級日本語非母語話者における相互作用の会話分析
9	DEPIES, Gregory John	カリフォルニア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.09.05 ~ 2010.09.04	日本における国際赤十字
10	DES JARDIN, Molly Catherine	ミシガン大学 博士課程	米国	日本大学	2009.09.14 ~ 2010.09.05	アイデンティティ編集：明治後半の個人全集と「作家」
11	DOWDLE, Brian C.	ミシガン大学 博士課程	米国	日本大学	2008.09.18 ~ 2009.09.17	歴史再認識：明治日本における時代小説と歴史認識
12	EASON, Paul Vincent	プリンストン大学 博士課程	米国	九州大学	2008.09.04 ~ 2009.09.03	福岡の創造と製造：20世紀日本の地方と発展
13	ERDMANN, Mark Karl	ハーバード大学 博士課程	米国	東京大学	2009.08.09 ~ 2010.08.08	安土を解く：織田信長の城・都・イメージ
14	FLEMING, William David	ハーバード大学 博士課程	米国	大阪商業大学	2008.09.10 ~ 2009.08.24	近代初頭日本における平賀源内（1728～1780）、森島忠料（1754～1810）及び戯作と蘭学の交差
15	FRIEDMAN, Lindsey Gayle	ケンブリッジ大学 博士課程	米国	九州大学	2009.08.12 ~ 2010.02.11	縄文から弥生へ：日本への水稻耕作導入の同位体研究
16	GAGNE, Isaac Thomas	イエール大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.09.01 ~ 2010.03.09	神も英雄も無い？：漂流している日本の中の新興宗教
17	GIBLIN, Anne Louise	ウィスコンシン大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.01.17 ~ 2010.01.15	東北移民の社会ネットワーク
18	GLADE, Jonathan	シカゴ大学 博士課程	米国	東京大学	2008.10.16 ~ 2009.10.15	文学の戦場－社会統制と戦う日本語文学1937～1953
19	HAAG, Andre Robert	スタンフォード大学 博士課程	米国	立命館大学	2009.09.02 ~ 2010.09.01	大正文化と文学における不逞鮮人像
20	HEWITT, Robert Shannon	コロンビア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.09.14 ~ 2010.09.13	幕末劇作の教訓癖及び検閲：狂言、馬琴及び歴史小説
21	JACOBSON, Justin Price	ミネソタ大学 博士課程	米国	東京大学	2008.07.07 ~ 2009.07.06	日本の公共交通志向型都市開発：形式化されたマーケットと他の土地利用方法
22	KAFFEN, Philip James	ニューヨーク大学 博士課程	米国	立教大学	2008.08.18 ~ 2009.08.10	終末論的なイメージの時代における暴力の働き：文化政治と現代日本の映画

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
23	KAMEI-DYCHE, Andrew Terence	南カリフォルニア大学 博士課程	米国	埼玉大学	2008.08.24 ~ 2009.08.23	近代日本思想文化の形成における岩波書店の役割：1913～1965
24	KELLEY, Erin Eileen	ペンシルバニア州立大学 博士課程	米国	学習院大学	2008.10.07 ~ 2009.04.06	近代との葛藤：雑誌『白樺』と日本の前衛芸術
25	KHARIN, Ilya Nikolayevich	プリンストン大学 博士課程	米国	大阪大学	2008.10.02 ~ 2009.09.30	日本正教会の発生
26	LANDIS, Andrea Kay	ミシガン大学 博士課程	米国	日本大学	2009.03.30 ~ 2010.03.29	19世紀終わりから20世紀初頭にかけての東京の書籍市場地図
27	LAW, Ricky Wai-Kei	ノースカロライナ州立大学 博士課程	米国	東京大学	2009.01.10 ~ 2010.01.09	両大戦の間の日独関係
28	LAZOPOULOS, George	カリフォルニア大学 博士課程	米国	上智大学	2009.03.24 ~ 2010.03.23	第二の維新：昭和の進歩的なナショナリズム
29	LINDSAY, Ethan Claude	プリンストン大学 博士課程	米国	関西大学国際部	2008.09.01 ~ 2009.05.31	平安末期と鎌倉時代における高野山
30	McCLIMON, Sarah Jane	ハワイ大学 博士課程	米国	東京藝術大学	2009.05.16 ~ 2010.05.15	戦争と平和の軍歌：音楽、政治と記憶、1930から現代まで
31	MITCHELL, Arthur Moncrieffe	イエール大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.09.16 ~ 2010.09.15	日本に於けるモダニズム文学、近代性と言語的批評
32	NAKAGAWA, Ikuyo	ニューヨーク市立大学 博士課程	米国	世田谷美術館	2009.09.14 ~ 2010.06.13	「世界のフジタ」論考：藤田嗣治作品におけるナショナリズムとインターナショナリズム
33	NETTLETON, Taro Edward Fergus	ロチェスター大学 博士課程	米国	多摩美術大学	2008.10.31 ~ 2009.10.30	書を捨てよ、町へでよう：1960年代日本の前衛芸術における主体性と空間の関係性について
34	NOONAN, Patrick James	カリフォルニア大学バークレー校 博士課程	米国	明治学院大学	2009.09.29 ~ 2010.09.27	カウンターパブリックの創造：日本の60年代にとって抵抗の美学と政治問題
35	SHOCKEY, Nathan Powell	コロンビア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2008.10.01 ~ 2009.09.30	1920～1950年の日本における読む技術と文学上の暴力
36	STARLING, Jessica Dawn	バージニア大学 博士課程	米国	大谷大学	2009.03.29 ~ 2010.01.15	寺の女性：現代日本仏教における伝統と変容
37	WALKER, Gavin	コーネル大学 博士課程	米国	一橋大学	2009.09.15 ~ 2010.07.15	分配／経済：地域、時間、そして日本マルクス主義の危機1922～1973
38	YANG, Timothy Ming-Chih	コロンビア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.09.20 ~ 2010.09.19	モダニティーの科学：植民地期とポスト植民地期の台湾
39	YOKOTA, Ryan Masaaki	シカゴ大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.03.25 ~ 2010.03.24	沖縄のナショナリズム：独立と自治、ディアスポラと先住民主義

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
40	TURINO RAMOS Liset	エル・コレヒオ・デ・メヒコ アジア・アフリカ研究科 博士課程	メキシコ	立命館大学	2008.07.16 ~ 2009.09.15	狂言と笑いの世界：16世紀日本の滑稽の研究
41	TONGU, Erica Ayaco Sacata	サンパウロ州 教育監理官	ブラジル	上智大学	2008.05.17 ~ 2009.05.14	学校組織における民族性・国民性：日本における ブラジル人学校とブラジルにおける日本人 学校の比較研究
42	WATZKA, Anne Stefanie	イエール大学 博士課程	ブラジル	早稲田大学	2009.07.15 ~ 2010.03.14	新自由主義時代の日本のキャリア女性：その 迷路のような職業人生を通して

2. 人物交流事業費 / (3) 日本研究フェローシップ（短期）〔米州〕

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 9,043,816 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	CAZDYN, Eric	トロント大学東アジア研究 科 助教授	カナダ		2010.03.01 ~ 2010.04.28	「日本抜き」の日本映画
2	LEUNG, Aegean Oi Kam	ビクトリア大学 助教授	カナダ	創価大学、同志社大学	2009.09.20 ~ 2009.11.18	高学歴日本女性のキャリア・パスとしての起 業
3	McLeod, Ken A.	トロント大学 助教授	カナダ		2009.08.11 ~ 2009.08.31	語りを語る：ビジュアル系と日本アイデン ティティ
4	ALEXY, Allison Megan	ラファイエット大学 助教 授	米国		2009.05.27 ~ 2009.07.05	現代日本における熟年離婚
5	BARON, Robert	ディレクター	米国		2010.02.28 ~ 2010.03.22	日本における民俗芸能保護
6	GLASSMAN, Henry	ハバフォード大学 准教授	米国		2009.06.10 ~ 2009.06.30	石から掘った救済：五輪の塔の起源・意味・ 伝播
7	MILHAUPT, Terry Satsuki	研究者	米国	共立女子大学	2009.04.21 ~ 2009.06.11	現代の着物
8	MORIMOTO, Risa	エッジウッドピクチャーズ 監督	米国		2009.03.29 ~ 2009.04.27	イサム・ノグチ
9	NEWHARD, Jamie Lynn	ワシントン大学 助教授	米国		2010.01.19 ~ 2010.03.20	出版文化・書物史の観点から見た近世の「女 書」
10	SABATINO, Michelangelo	ヒューストン大学 助教授	米国	青山学院大学	2009.07.24 ~ 2009.08.14	アーサー・エリクソンと日本建築の発見
11	TSUJIMURA, Natsuko	インディアナ大学 教授	米国		2009.05.20 ~ 2009.06.28	日本語変化の社会言語学的考察：「てある」 自動詞構文について

## 米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
12	WEISS, Allen S.	ニューヨーク大学 準教師	米国		2009. 11. 12 ~ 2009. 12. 10	日本庭園の美に見られる隠喩と形而上学

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (4) 知的リーダー交流 (派遣) [米州]

日本と諸外国の知的対話の推進と、知的リーダー間のネットワークの構築・強化を推進するため、内外の知的リーダーを海外に派遣し、関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 1,776,571 円

	事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	対人地雷禁止条約第2回検討会議	谷川真理 竹川佳紀	マラソンランナー イオン1%クラブ事務局担当	コロンビア	コロンビア政府	2009.11.30 ~ 2009.12.04	コロンビア・カルタヘナにて開催された「対人地雷禁止条約第2回検討会議」へ専門家2名を派遣し、日本の地雷問題解決に向けた積極的な取組をより効果的にアピール

3. 催し等事業費 / (1) 知的交流会議 (主催) [米州]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業 (国際会議、セミナー、ワークショップ等) を開催する。

合計額 1,659,513 円

	事業名	開催国	都市	会場	共催・協力機関	期間	事業内容
1	日亜交流シンポジウム	日本	東京都	財団法人国際文化会館	外務省 アルゼンチン外務省	2010.01.15	日本とアルゼンチンの間の知的対話事業。「グローバル化と文化的アイデンティティ」をテーマに中南米とアジア、とりわけアルゼンチンと日本の間の様々な分野における交流の現状及び課題を明らかにするとともに、特に文化的交流の展望について、両国識者・文化人の中で対話を深めた

3. 催し等事業費 / (2) 知的交流会議 (助成) [米州]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流を推進することを目的とした、国際的な知的共同事業 (国際会議、セミナー、ワークショップ等) を開催する。

合計額 15,563,031 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	日本の移民と外国人労働者に関する研究会議	カナダ	プリティッシュ・コロンビア大学	2009.11.18 ~ 2009.11.20	日本への移民と日本国内の外国人労働者の役割に関する会議開催、研究報告の発行。日本から6名の学者を招へいし、移民受入では同じく歴史と実績を有するカナダの研究者との間で3日間に渡って討論を展開
2	近・現代日本思想史を書き直す	米国 ドイツ	日本女子大学	2009.09.25 ~ 2009.09.27	新たな近・現代日本思想史像を、米国、ドイツ、日本の研究者が協同して考察することにより、日本の経験を広く世界的な基準で検討

米州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
3	日・キューバ国交80周年記念：第10回 キューバ・日本国際ワークショップ	キューバ	アジア・オセアニア研究センター	2009. 09. 21 ～ 2009. 09. 22	日本とキューバの学者・知識人・文化人・政府関係者等がハバナに会し、政治・経済・貿易・文化歴史等各分野に渡って両国関係の現状分析・研究報告・今後の展望等に関するシンポジウムを2日間に渡って実施
4	日墨交流400周年記念国際シンポジウム「日系ディアスポラのパースペクティブ：日本、メキシコ、アメリカ」	メキシコ	エル・コレヒオ・デ・メヒコ アジア・アフリカ研究センター	2010. 03. 16 ～ 2010. 03. 28	南北アメリカ大陸及び日本における日系ディアスポラについての歴史と現状を把握した上で、各国・各分野で幅広く研究活動を行う専門家間で議論を展開
5	研究プロジェクト「子どもの移動と教育－戦前・戦中期ブラジル日系移民子弟教育と在日ブラジル人児童・生徒の教育の状況比較研究－」	ブラジル	ブラジリア大学  早稲田大学移民・エスニック文化研究所	2009. 07. 1 ～ 2010. 03. 31	ブラジル及び日本の移民研究等の専門家を結集し、戦前・戦中期ブラジルにおける日系移民子弟教育の調査に重点をおきつつ、現代の在日ブラジル人児童・生徒の教育と比較し、移動・越境教育等の観点から両者の実態を把握。両者の共通点や相違点から、異文化接触・複数文化体験を通じた教育の可能性について議論を展開
6	アジア系アメリカ文学研究会20周年記念国際フォーラム	全世界区分困難	アジア系アメリカ文学研究会	2009. 09. 24 ～ 2009. 09. 29	アジア系アメリカ文学研究の成果発表及びポスト・グローバリズムの時代と言われる現代において、グローバリズムに代わるものとして提示されている「惑星思考」という新しい世界観について考察し、日本・南北アメリカ及びアジア諸国における多文化共生や国際理解の重要性及び可能性に関して議論を展開

# 日本研究・知的交流事業に必要な経費

## アジア・大洋州交流事業費

### 1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究ネットワーク強化（主催）〔アジア・大洋州〕
- (2) 北京日本学研究センター派遣（北京外国語大学）
- (3) 北京日本学研究センター派遣（北京大学）
- (4) 北京日本学研究センター招へい（北京外国語大学）
- (5) 北京日本学研究センター招へい（北京大学）
- (6) 北京日本学研究センター研究支援（北京外国語大学）
- (7) 北京日本学研究センター研究支援（北京大学）
- (8) 日本研究機関支援〔アジア・大洋州〕
- (9) 日本研究ネットワーク強化（助成）〔アジア・大洋州〕

### 2. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（アセアン）
- (2) 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔アジア・大洋州〕
- (3) 日本研究フェローシップ（論文執筆者）〔アジア・大洋州〕
- (4) 日本研究フェローシップ（短期）〔アジア・大洋州〕
- (5) 日本研究フェローシップ（高砂熱学工業）
- (6) 知的リーダー交流（招へい）〔アジア・大洋州〕
- (7) 知的リーダー交流（派遣）〔アジア・大洋州〕

### 3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（助成）〔アジア・大洋州〕
- (2) 知的交流会議（企画参画助成）〔アジア・大洋州〕
- (3) 知的交流会議（主催）〔アジア・大洋州〕
- (4) 市民青少年交流（助成）〔アジア・大洋州〕

### 4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈〔アジア・大洋州〕

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (1) 日本研究ネットワーク強化 (主催) [アジア・大洋州]

学問分野を超えた日本研究者・研究機関相互の連携と協力を推し進め、各国・地域における中核的な知日層とわが国の長期的な関係を維持発展させるため、海外の日本関連学会や元日本人留学生の組織化・活動を支援する。

合計額 7,834,085 円

	事業名	開催国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	日本研究セミナー	中国	北京  南京	中国社会科学院 北京日本学研究中心 南京大学	中国社会科学院 北京日本学研究中心 南京大学	2010.01.07 ~ 2010.01.13	リービ英雄によるセミナー「現代日本文学の新たな展開」を開催
2	日本研究セミナー	インドネシア  フィリピン	ジャカルタ  マニラ	リア外国語大学 インドネシア・コンピュータ大学 アテネオ・デ・マニラ大学	リア外国語大学 インドネシア・コンピュータ大学 アテネオ・デ・マニラ大学	2010.01.25 ~ 2010.01.31	浜口美由紀（国際交流基金関西国際センター図書館司書）を派遣し、大学院生を対象に、日本研究で卒業論文・修士論文を執筆するための情報収集の方法について、インドネシアで2回（10.01.27と10.01.29）、フィリピンで1回（10.01.30）ワークショップを実施
3	日本研究セミナー	タイ	バンコク  チェンマイ  バンコク	泰日工業大学 チェンマイ大学 タイ研究基金	泰日工業大学 チェンマイ大学 タイ研究基金	2009.11.23 ~ 2009.11.27  2010.03.06 ~ 2010.03.09	鈴木一義（国立科学博物館理工学研究部科学技術史グループ長）による「モノづくりと日本人」と題したセミナーをバンコク（09.11.24）とチェンマイ（09.11.25）で、新開章司（九州大学農学研究院助教）による「日本の食糧安保と東アジア諸国」と題したセミナーをバンコク（10.03.09）において、それぞれ開催
4	日本研究セミナー	ベトナム	ハノイ  フエ  ダナン  ホーチミン	ベトナム社会科学院 フエ大学 ダナン大学 ホーチミン市国家大学	ベトナム社会科学院 フエ大学 ダナン大学 ホーチミン市国家大学	2009.09.15 ~ 2010.09.29	近年日本の文学作品への関心が急速に高まりつつあるベトナムに沼野充義（東京大学教授）を講師として派遣し、4都市の日本研究機関において、日本文学研究者あるいは日本研究を志す学生や教員向けの日本文学概論及び主要な現代日本文学を紹介する連続セミナー形式の集中講義を実施
5	日本研究セミナー	マレーシア	クアラルンプール  ペナン	マラヤ大学 戦略国際問題研究所 (ISIS) マレーシア科学大学	マラヤ大学 戦略国際問題研究所 (ISIS) マレーシア科学大学	2010.03.09 ~ 2010.03.12	浦田秀次郎（早稲田大学大学院助教授）による「東アジアにおける地域経済統合と日本のFTA政策」と題した講演会（10.03.10～11）を実施



アジア・大洋州交流事業費

	事業名	開催国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	日本研究セミナー	オーストラリア	シドニー ブリスベーン メルボルン	シドニー大学 クイーンズランド大学 メルボルン大学	シドニー大学 クイーンズランド大学 メルボルン大学	2009. 07. 12 ～ 2009. 07. 23	パネリストにローランド・ヘルツ（東京大学講師）、スーザン・ネイピア（タフツ大学教授）らを迎え、「境界を越える日本のポップカルチャー」と題し、日本アニメの海外での受容についてのパネルディスカッションをシドニー（09. 07. 17）、ブリスベーン（09. 07. 20）及びメルボルン（09. 07. 22）で開催
7	中国における日本研究調査結果の公開	中国			中華日本学会 南開大学日本研究院	2008. 04. 01 ～ 2009. 09. 30	中国において日本研究機関及び日本研究者に対してアンケート調査を実施、その回収結果をデータベース化

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (2) 北京日本学研究中心派遣 (北京外国語大学)

北京外国語大学で実施される現代日本研究講座に対し、専門家、行政官等有識者を派遣する。

合計額 26,873,104 円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	竹内 信夫	東京大学 名誉教授	2009.08.20 ~ 2010.03.31	日本側主任教授として北京日本学研究中心の教育・研究活動及び運営方針の策定・実施にかかる助言を国際交流基金及び北京日本学研究中心に与えるとともに「日中文化比較」の講義を担当
2	畔上 和子	北京日本学研究中心 事務主任	2009.04.01 ~ 2010.03.31	日本側主任教授、派遣教授を補佐するとともに、北京日本学研究中心内の日本側事務局の運営事務を担当
3	小幡 敏行	横浜市立大学国際総合科学部 准教授	2009.04.01 ~ 2009.06.30	北京日本学研究中心の教育・研究活動及び運営方針の策定・実施にかかる助言を国際交流基金及び北京日本学研究中心に与えるとともに「日中文化比較」の講義を担当
4	野村 茂治	大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授	2009.04.27 ~ 2009.05.26	北京日本学研究中心において、経済コースの講義・学生指導を担当
5	森本 一彦	京都大学大学院文学研究科 特定准教授	2009.06.01 ~ 2009.06.30	北京日本学研究中心において、社会コースの講義・学生指導を担当
6	赤間 亮	立命館大学文学部 教授	2009.06.07 ~ 2009.06.20	北京日本学研究中心において、文化コースの講義・学生指導を担当
7	住原 則也	天理大学国際文化学部 教授	2009.09.01 ~ 2009.09.30	北京日本学研究中心において、社会コースの講義・学生指導を担当
8	岡崎 眸	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 教授	2009.09.03 ~ 2009.09.29	北京日本学研究中心において、言語教育学コースの講義・学生指導を担当
9	尾西 康充	三重大学人文学部 教授	2009.10.11 ~ 2009.11.03	北京日本学研究中心において、文学コースの講義・学生指導を担当
10	瀧 敦博	広島大学大学院社会科学部 教授	2009.10.11 ~ 2009.11.03	北京日本学研究中心において、経済コースの講義・学生指導を担当
11	益岡 隆志	神戸市外国語大学 教授	2009.11.03 ~ 2009.11.21	北京日本学研究中心において、言語コースの講義・学生指導を担当
12	安島 真一	多摩美術大学 准教授	2009.11.04 ~ 2009.11.25	北京日本学研究中心において、文化コースの講義・学生指導を担当
13	北村 明久	—	2010.02.22 ~ 2010.02.24	北京日本学研究中心図書資料館の運営に関する助言等を行う図書館専門家を派遣
14	金田一 秀穂	杏林大学外国語学部 教授	2010.03.01 ~ 2010.03.28	北京日本学研究中心において、言語コースの講義・学生指導を担当
15	延広 真治	帝京大学文学部 教授	2010.03.16 ~ 2010.03.24	北京日本学研究中心において、「日中文化比較」の講義の一部を担当
16	広井 良典	千葉大学法経学部 教授	2010.03.30 ~ 2010.04.28	北京日本学研究中心において、文学コースの講義・学生指導を担当

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (3) 北京日本学研究中心派遣 (北京大学)

北京大学で実施される現代日本研究講座に対し、専門家、行政官等有識者を派遣する。

合計額 4,848,282 円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	角南 篤	政策研究大学院大学 准教授	2009.04.01 ~ 2010.03.31	コース運営全般及び内容(教育・研究等)に関する助言等
2	天野 倫文	東京大学経済学研究科 准教授	2009.04.01 ~ 2009.04.04	「日本企業の国際経営」(博士第4期)の講義
3	宇田川 幸則	名古屋大学法政国際教育協力研究センター 准教授・副センター長	2009.04.06 ~ 2009.04.09	「日本の法制度～日中比較の観点から～」(博士第4期)の講義
4	飯尾 潤	政策研究大学院大学 教授/政策研究プロジェクトセンター 所長	2009.04.12 ~ 2009.04.15	「現代日本の政治制度」(博士第4期)の講義
5	神長 善次	宇都宮大学国際学部 客員教授	2009.04.19 ~ 2009.04.22	「日本文化及び日中比較文化」(博士第4期)の講義
6	原 洋之介	政策研究大学院大学政策研究科 教授	2009.11.04 ~ 2009.11.07	「農村の現状と課題」(博士第5期)の講義
7	宇田川 幸則	名古屋大学法政国際教育協力研究センター 准教授・副センター長	2009.11.08 ~ 2009.11.11	「日本の法制度～日中比較の観点から～」(博士第5期)の講義
8	吉野 直行	慶應義塾大学経済学部 教授	2009.11.18 ~ 2009.11.21	「金融論」(博士第5期)の講義
9	石 弘之	東京農業大学生物産業学部 教授	2009.11.23 ~ 2009.11.26	「日本における環境問題の経験」(博士第5期)の講義
10	堀江 正弘	政策研究大学院大学 教授	2010.03.15 ~ 2010.03.18	「国・地方関係と地方自治」(博士第5期)の講義
11	添谷 芳秀	慶應義塾大学法学部 教授	2010.03.29 ~ 2010.03.31	「日本のアジア外交と安全保障」(博士第5期)の講義

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (4) 北京日本学研究中心招へい (北京外国語大学)

北京外国語大学で実施される北京日本学研究中心事業に関し、日本研究者の招へいを行う。

合計額 40,093,899 円

	事業名	氏名	現職	人数	受入機関	期間	事業内容
1	現地博士フェロー	陳 燕	北京日本学研究中心 博士課程	1	東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻	2009.04.01 ~ 2010.03.31	北京日本学研究中心博士課程の学生に対し博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与
2	現地博士フェロー	馬 銘	北京日本学研究中心 博士課程	1	国際日本文化研究センター	2009.04.01 ~ 2010.03.31	北京日本学研究中心博士課程の学生に対し博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与
3	修士第23期生訪日研究	—	北京日本学研究中心 修士課程学生	20	北京日本学研究中心	2009.03.30 ~ 2009.08.04	北京日本学研究中心修士課程学生に修士論文草稿作成・資料収集のための訪日研究を実施し、日本の大学・研究機関等に在籍して専門家の論文指導を受ける
4	修士第24期生訪日研究	—	北京日本学研究中心 修士課程学生	20	北京日本学研究中心	2010.03.30 ~ 2010.08.03	北京日本学研究中心修士課程学生に修士論文草稿作成・資料収集のための訪日研究を実施し、日本の大学・研究機関等に在籍して専門家の論文指導を受ける

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (5) 北京日本学研究中心招へい (北京大学)

北京大学で実施される北京日本学研究中心事業に関し、日本研究者の招へいを行う。

合計額 11,325,230 円

	事業名	人数	期間	事業内容
1	博士第4期訪日研修	24	2009.05.14 ~ 2009.05.28	北京大学現代日本研究センターの講座受講生(第4期博士課程20名、その他随行4名)に対して、北京で受けた講義の定着を目的に訪日研修を実施
2	博士第5期訪日研修(招へい準備)	23	2010.02.01 ~ 2010.03.31	北京大学現代日本研究センターの講座受講生(第5期博士課程20名、その他随行3名)に対して、北京で受けた講義の定着を目的に実施する訪日研修の準備

1. 日本研究事業費 / (6) 北京日本学研究中心研究支援 (北京外国語大学)

北京外国語大学北京日本学研究中心の日本研究者育成を支援する。

合計額 11,522,842 円

	事業名	期間	事業内容
1	現地経費(教育・研究)	2009.04.01 ~ 2010.03.31	北京日本学研究中心が実施する紀要『日本学研究』ほか日本研究図書の出版、研究プロジェクト及び同センター教授による地方講演にかかる経費等の支援
2	教材等購送	2009.04.01 ~ 2010.03.31	北京日本学研究中心に対して講義用教材、図書館資料を購送
3	文献複写	2009.04.01 ~ 2010.03.31	北京日本学研究中心図書資料館が日本国内の図書館に対して文献複写依頼を行う経費を支援
4	図書館システム	2009.04.01 ~ 2010.03.31	北京日本学研究中心図書資料館で使用中の図書館情報システムにかかるソフトウェア保守費用の支援

1. 日本研究事業費 / (7) 北京日本学研究中心研究支援 (北京大学)

北京大学北京日本学研究中心の日本研究者育成を支援する。

合計額 536,308 円

	事業名	期間	事業内容
1	教材等購送	2009.04.01 ~ 2010.03.31	北京大学現代日本研究センターに対して講義用教材、図書館資料を購送

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (8) 日本研究機関支援 [アジア・大洋州]

各国において日本研究の中核的役割を担うべき単一・少数の機関に対し、日本研究事業の拡充・発展に必要な様々な支援を、包括的、集中的且つ中長期的に行い、該当国の日本研究基盤となる拠点機関の整備を進める

合計額 83,933,525 円

	対象機関	対象国	期間	事業内容
1	全南大学校日本文化研究センター	韓国	2009.04.01 ~ 2010.01.29	会議助成により、2009年9月に全南大学(光州市)で国際シンポジウム「韓日和解、どうすればいいのか」を実施。日韓両国の専門家計11名が未来志向の日韓関係構築の障害となっている諸問題について学術的に討論。また、図書拡充支援により、明治時代から戦前期の朝日新聞復刻版セットを収集
2	高麗大学校日本研究センター	韓国	2009.04.01 ~ 2010.03.31	出版助成により、高麗大学校が幅広い読者層に向けた教養書として2005年から刊行を続ける「日本研究叢書」の2009年度発行予定分を出版。執筆陣は各分野で活躍する韓国の日本研究者
3	ソウル大学校日本研究所	韓国	2009.04.01 ~ 2010.03.31	訪日研修助成により、学生15名が指導教官と共に訪日、各地視察や日本人学生との合同セミナーへの参加に加え、各人の関心テーマの沿った自由調査も実施。現地資料調査への助成では、大学院生6名が日本で資料を調査・収集。セミナー開催助成では、日本研究に携わる大学院生や若手研究者を対象に学者、政策実務者、ジャーナリスト等を招いたセミナーを週1回実施。図書拡充支援では、現代日本の生活世界に関する資料を重点的に集書
4	翰林大学校翰林科学院日本学研究所	韓国	2009.05.01 ~ 2009.10.31	訪日研修助成により、韓国人研究員兼司書が来日。日本の司書資格を取得させるとともに、研究所附属日本学専門図書館のリファレンス能力を向上。また、図書拡充支援により、朝日新聞外地版等の基礎資料及び近代日本の知識人関連著作を収集
5	国民大学校日本学研究所	韓国	2009.04.01 ~ 2010.05.30	出版助成により、日韓会談関連の外交文書の比較研究に関する論文集を出版。図書拡充支援により、日本の近代史と日本政治外交に関する基礎資料を収集
6	四川外語学院日本学研究所	中国	2009.04.01 ~ 2010.01.31	研究・会議助成により、2009年9月に国際シンポジウム「中国西南地域から考える日本～中国西南地域と日本学の可能性」を実施。図書拡充助成により、日本文化・文学を中心とした図書を収集
7	浙江工商大学日本文化研究所	中国	2009.04.01 ~ 2010.03.31	研究・会議助成により、中国の各大学の若手教員を対象とした日本の歴史・文化に関する集中講義及びワークショップ研修事業、国際会議「東アジア文化交流：争点と共識」及び「寧波と日中交流」をテーマとする研究ワークショップを実施。出版助成により、前記会議の論文集及び遣隋使・遣唐使を日中韓米露の学者が考察する論文集を出版。図書拡充支援により、日中古代・中近世文化交流に関する書籍を収集
8	東北師範大学日本研究所	中国	2009.04.01 ~ 2010.03.31	客員教授派遣により、中国国内の専門家2名及び藤井省三(東京大学教授)が集中講義を実施。訪日研修助成により、大学院生2名が論文執筆のため日本で資料を収集。研究助成により、戦時日本における満州政策に関する共同研究を実施。出版助成により、『円の国際化とアジアの通貨協力』を刊行。その他学術誌『外国問題研究』を編纂・発行

アジア・大洋州交流事業費

	対象機関	対象国	期間	事業内容
9	南開大学日本研究院	中国	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	客員教授派遣により、笠谷和比古（国際日本文化研究センター教授）が集中講義を実施。研究・会議助成により、共同研究「グローバル化と日本の対応」及び日本と東アジアの制度変革を焦点とする国際シンポジウムを実施。図書拡充支援により、日本の歴史・文化・現代政治・外交等に関する書籍を収集。出版助成により、中日関係を含む諸分野に関する論文集を刊行。訪日研修助成により、学位論文執筆によるインタビューや資料収集等を実施
10	復旦大学日本研究センター	中国	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	客員教授派遣により、山室信一（京都大学教授）が近代以降の日本人のアジア観をテーマに集中講義を実施。会議助成により、国際シンポジウム「中国経済のモデルチェンジと中日の互恵合作」を実施。図書拡充支援により、経済・政治・文化に関連する図書を収集。出版助成により、日本の現代農村発展のプロセスを追う学術書『日本現代農村建設の研究』を出版
11	遼寧大学日本研究所	中国	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	研究・会議助成により、日中戦略的互恵関係の枠組みをめぐり、経済協力、歴史文化、文学など3つの分野で日中の専門家が学術交流を実施。図書拡充支援により、日本研究書・専門書を収集
12	中国社会科学院研究生院	中国	2009. 04. 01 ～ 2010. 09. 30	中国政府が運営する総合的な研究センターである中国社会科学院に付属する研究生院（大学院）の博士課程在籍生が発表した日本に関する論文の中から優れたものを採り上げて出版
13	モンゴル国立大学	モンゴル	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	研究・会議助成により、日本語言語学及び歴史・文化・経済・政治の諸分野を繋ぐ3カ年に亘る総合研究の最終年度を実施。モンゴル側研究者による訪日研究の成果に基づき、2010年3月末に国際会議を開催するとともに論文集を出版。図書拡充支援により、政治・国際関係、経済・ビジネス、社会・文化、文学、歴史の様々な分野における日本に関する英文書籍を収集
14	インドネシア大学大学院日本地域研究科	インドネシア	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	大学院の運営経費及び研究プログラム強化のための経費を支援。訪日研修の機会提供として、大学院生2名を国際交流基金関西国際センターの専門日本語研修に受入れ。客員教授派遣により、長谷川公一（東北大学文学部教授）が近年の日本の環境政策と環境運動について講義を行うとともに、宮城大蔵（政策研究大学院大学准教授）が日本の外交政策について講義及び一般公開講演を実施
15	タマサート大学教養学部日本語学科	タイ	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	客員教授派遣により、佐々木泰子（お茶の水女子大学教授）が現地で日本語教育学に関する講義及び論文執筆指導を実施。非常勤講師謝金助成により、タマサート他学科教員及び他大学教員による日本研究関連講義を実施。図書拡充支援により、統計資料、歴史、古典文学などに関する書籍を収集。大学院生訪日研修により、修士課程の学生9名が約2週間訪日し、図書資料の収集等を実施
16	タマサート大学東アジア研究所日本研究センター	タイ	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	出版助成により、日本の経済・経営学、歴史学、文化・民俗学等を中心とする、タイ内外の研究者による論文集『日本研究ジャーナル』を発行
17	チュラロンコン大学	タイ	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	客員教授派遣により、海野圭介（ノートルダム清心女子大学准教授）が現地で1カ月間古典文学に関する講義を実施。大学院生訪日研修により、修士課程の学生6名が約2週間訪日し、論文執筆に必要な資料収集を実施
18	アテネオ・デ・マニラ大学社会科学部日本研究プログラム	フィリピン	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	会議助成により、東南アジアにおける日本研究のトレンドと今後の方向性を探る会議「日本研究における東南アジアの視座」を実施。図書拡充支援により、政治、経済、文学、芸術、ビジネス関連図書を中心に収集

アジア・大洋州交流事業費

	対象機関	対象国	期間	事業内容
19	デ・ラサール大学国際研究学科	フィリピン	2009. 04. 01 ～ 2010. 11. 30	会議助成により、人間の安全保障の主流化などをテーマに議論する国際会議「危機における人間の安全保障：東アジアの視点」を実施
20	フィリピン大学アジアセンター	フィリピン	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	図書拡充支援により、政治、経済、社会、芸術分野の書籍を収集。大学院生への研究支援により、修士課程学生が論文執筆のための資料収集や学会での論文発表を実施。また、修士課程の学生による研究発表会議を実施。フィリピンを中心とするアジア太平洋地域の最新の政策に関する研究成果を発行し、紙媒体及びオンラインで配布
21	ハノイ国家大学・人文社会科学大学東洋学部日本学科	ベトナム	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	研究・会議助成により、日本人専門家6名を講師として招き、「日本学集中講座」を実施。日本の法制史・芸能史に関する講義を年間合計20回行い、学生等が講師と意見交換する機会を設けた。出版助成により、過去3年間にわたって開催した「日本学集中講座」の成果物として『日本研究論文集シリーズ』を出版
22	ホーチミン市国家大学人文社会科学大学日本研究センター	ベトナム	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	研究・会議助成により、かつて漢字文化圏に属していた諸国の文学の近代化過程を比較・研究する国際会議「日本と漢字文化圏諸国（ベトナム・中国・韓国）の文学の近代化過程」を2009年9月に実施。客員教授派遣により、2009年8月から1か月間、中川成美（立命館大学文学部教授）による学生・研究者を対象とした日本文学に関する講義を計15回実施。図書拡充助成により、日本関連図書、特に歴史・国際関係・経済・文学・日越関係についての図書を拡充
23	マラヤ大学人文社会科学部東アジア研究所	マレーシア	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	客員教授派遣により、末永恵（大阪大学RISS特任准教授）が日本の文化と社会について講義。研究・会議助成により、「マレーシアと日本の両国関係：受取人ドナーから戦略パートナーに展開」及び「日本の役割：北朝鮮の核ジレンマに対処する対策」を実施
24	デリー大学東アジア研究科	インド	2009. 09. 01 ～ 2010. 03. 31	客員教授派遣により、大門毅（早稲田大学国際教養学部准教授）が「日本経済における現代の課題」をテーマに講義を実施。図書拡充支援により、日本の社会・経済・文学等幅広い分野についての英文書籍を収集
25	ジャワハルラル・ネルー大学日本・韓国・北東アジア研究科	インド	2009. 09. 01 ～ 2010. 03. 31	客員教授派遣により、細川英雄（早稲田大学大学院教授）が「現代日本語の使用法」について講義を実施。図書拡充支援により、和文・英文の日本語教材を収集
26	オーストラリア国立大学アジア太平洋カレッジ	オーストラリア	2009. 09. 01 ～ 2010. 03. 31	若手日本研究者の育成・ネットワーク形成の機会として、アジア・大洋州地域の大学院生・学部学生30名を対象とする夏期集中研修事業を実施。参加者による発表及び討議、内外の教員による講義、図書館における日本研究書の資料利用ガイダンスなどを実施



アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (9) 日本研究ネットワーク強化 (助成) [アジア・大洋州]

国境・学問分野を超えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 28,666,471 円

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
1	韓国日本語文学会	韓国	2009.07.02 ~ 2009.07.04	韓国日本学連合会国際学術大会は、韓国の主要な5つの日本研究学会が共催する、日本研究についての国際学術大会。第7回目となる今回の会議は、「韓国における日本学研究、日本における韓国学研究所の現況と展望」をテーマに日本からも韓国研究者が参加し、両国研究者間のネットワークを強化
2	上海外国語大学日本文化経済学院	中国	2009.04.01 ~ 2009.06.30	日本学国際フォーラムは、「アジアの安定と発展に向けての日本学研究」をテーマに、語学、文学、経済、文化などの分野で活躍する日本研究者が一堂に会した国際学術大会(会期:09.06.13)
3	インドネシア日本研究学会(ASJI)	インドネシア	2009.04.01 ~ 2010.03.31	2009年インドネシア日本研究学会(ASJI)日本研究国際シンポジウムの開催、地方での日本研究セミナー実施、日本研究者データベース構築など
4	タイ国日本研究ネットワーク	タイ	2009.04.01 ~ 2010.03.31	タイの主要大学の若手・中堅日本研究者が中心となり2007年5月に設立された全国的ネットワークが実施する組織強化事業。前年に引き続き、総会開催(学会併催、09.10.15~17)、実行委員会(年3回)、2009年度総会発表者の選定、ディレクターの更新、WEBの運営等を実施
5	ベトナム社会科学研究院	ベトナム	2009.04.01 ~ 2009.12.31	第2回東南アジア日本学研究会は、東南アジア諸国の日本研究者を集めて行われた日本研究に関する国際学会。「東南アジアにおける日本研究:過去・現在・将来」をテーマにベトナム・ハノイで開催され、東南アジア諸国のほか、日本、韓国、米国、欧州等からも日本研究者が参加
6	ニューサウスウェールズ大学言語学科	オーストラリア	2009.04.01 ~ 2010.02.28	第16回豪州日本研究学会はオーストラリアにおける日本研究者間の最大ネットワークである豪州日本研究学会が隔年で実施する総会(会期:09.07.13~16)。同学会初の試みとして日本語教育国際研究大会(第8回)と同時開催し、世界各国から日本語、日本研究の教育者、研究者が一堂に集結
7	インドネシア元日本留学生協会(PERSADA)	インドネシア	2009.04.01 ~ 2010.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として1997年に設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟する9カ国のうち、インドネシアの元日本留学生協会の活動を支援
8	カンボジア元日本留学生同窓会(JAC)	カンボジア	2009.04.01 ~ 2010.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として1997年に設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟する9カ国のうち、カンボジアの元日本留学生協会の活動を支援
9	シンガポール留日大学卒業生協会(JUGAS)	シンガポール	2009.04.01 ~ 2010.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として1997年に設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟する9カ国のうち、シンガポールの元日本留学生協会の活動を支援
10	タイ国元日本留学生協会(OJSAT)	タイ	2009.04.01 ~ 2010.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として1997年に設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟する9カ国のうち、タイの元日本留学生協会の活動を支援

アジア・大洋州交流事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
11	元日本留学生フィリピン連盟 (PHILFEJA)	フィリピン	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として1997年に設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟する9カ国のうち、フィリピンの元日本留学生協会の活動を支援
12	ベトナム元日本留学生協会 (JAV)	ベトナム	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として1997年に設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟する9カ国のうち、ベトナムの元日本留学生協会の活動を支援
13	東方政策留学生同窓会 (ALEPS)	マレーシア	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	マレーシアの「東方政策」により日本で留学した後、帰国した元留学生が組織する同窓会の活動を支援
14	マレーシア元留日学生協会 (JAGAM)	マレーシア	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として1997年に設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟する9カ国のうち、マレーシアの元日本留学生協会の活動を支援
15	ミャンマー元日本留学生協会 (MAJA)	ミャンマー	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として1997年に設立されたASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会)に加盟する9カ国のうち、ミャンマーの元日本留学生協会の活動を支援

2. 人物交流事業費 / (1) 受託事業 (アセアン)

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本研究・知的交流分野の事業を、外部から受託し実施する。

合計額 63,902,360 円

	事業名	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	事業内容
1	JENESYS東アジア次世代リーダー招へいプログラムグループE	KIM Oi Hyun LIU Xiao Fang ZHANG Shuyang Leolita MASNUN Chun Tian NG Saranya CHITTANGWONG Minette Angeles RIMANDO DK. Elina Zuraidah Pg. Kamaluddin Nguyen Viet DUNG	ハンギョレ新聞社 記者 北京万通財団 プログラム・オフィサー 中国中央電視台国際放送センター ニュース部門プロデューサー兼ジャーナリスト インドネシア科学院社会文化研究センター ジュニア研究員 シンガポール人材開発省 シニア・マネージャー 国際移住機関ファンナ及びラノン事務所 労働者移動部フィールドコーディネーター 国際労働機構フィリピン 上級コミュニケーション・広報アシスタント QAF Brunei Sdn Bhd社グループマーケティング部門 マーケティング代理マネージャー 人と自然の和解 (Pan Nature) 副所長	韓国 中国 中国 インドネシア シンガポール タイ フィリピン ブルネイ ベトナム		2009.05.12 ~ 2009.05.24	アジア・大洋州地域コミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら、文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表。グループEのテーマは「グローバル金融危機における人の移動とコミュニティの役割」。本プログラムは「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	事業内容
		Renuka Trinity BALASUBRAMANIAM	弁護士／弁護士人 権評議委員会・移 民問題ワーキング グループ議長	マレーシア			
		Maw Maw Tun	国際移住機関ミヤ ンマー 総務経理 部長	ミャンマー			
		Amphaphone SAYASENH	ラオス国立経済研 究所 研究員	ラオス			
		Linda Petrone	ヴィクトリア州多 文化委員会 コ ミュニティ強化事 務官	オーストラリア			
		Rasika Ramburuth JAYASURIYA	ヴィクトリア州多 文化委員会 シニ ア政策事務官	オーストラリア			
		Hannah MALLOCH	ニュージーランド 労働省移民政策 チーム 政策分析 官	ニュージーランド			
2	JENESYSフォロー アップ（次世代 リーダー／大学院 生）	佐藤 嘉倫  倉沢 愛子  IDA Widayani  Leolita MASNUN	東北大学大学院文 学研究科 教授  慶應義塾大学経済 学部 教授  インドネシア経営 者連盟 地域エンパ ワメント・国際 関係課長  インドネシア科学 院社会文化研究セ ンター ジュニア 研究員	日本  日本  インドネシア  インドネシア	東北大学（グロー バルCOE社会階層と 不平等教育研究拠 点）	2009. 07. 26 ～ 2009. 10. 28	「21世紀東アジア青少年大交流計画（JENESYS Programme）」事業のフォローアップとして実施。国際交流基金担当者がフィリピン、タイ、カンボジア、ベトナムに出張して過去参加者・関係機関を訪ね意見聴取を実施。また、ジャカルタ日本文化センターが東北大学21世紀COEプログラム等との共催により国際シンポジウム「アジアにおける移動の『いま』と日本社会の『これから』」を実施。インドネシアの過去のJENESYSプログラム参加者が報告者として発表

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	事業内容
3	JENESYS東アジア大学院生日本研究特別招へいプログラム（第2年次）	Muhammad Faris Al Fadhat	ガジャマダ大学大学院国際関係学部	インドネシア		2009.09.07 ～ 2009.11.30	アジア・大洋州地域で日本研究（東アジア研究を含む）を専攻中で、今後の活躍が期待される大学院生に対し、1～3カ月間にわたり日本の大学院・研究機関等で研究・調査活動を行う機会を提供。本プログラムは、「21世紀東アジア青少年大交流計画（JENESYS Programme）」の一環として実施
		Retno Widayastuti	インドネシア大学大学院日本地域研究科	インドネシア			
		ISMAIL, Nur Hafizah	シンガポール国立大学日本学部	シンガポール			
		CHUENKRATHOK, Nuntaporn	タマサート大学日本語学科大学院	タイ			
		SAPSAMROUM, Piyawan	チュラロンコン大学文学部東洋言語学 修士課程	タイ			
		GUEVARRA, Alona Ureta	アテネオ・デ・マニラ大学英語学部講師	フィリピン			
		ROBLES, Lisette Robles	フィリピン大学アジアセンター	フィリピン			
		NGUYEN, Duong Do Quyen	ハノイ国家大学人文社会科学大学東洋学部日本学科	ベトナム			
		NGUYEN, Thanh Tam	ホーチミン市国家大学人文社会科学大学東洋学部日本学科 講師	ベトナム			
		K'NG, Yee Pei	マラヤ大学東アジア研究学部	マレーシア			
		WONG, Mee Hui	マラヤ大学人文社会科学学部東アジア学科	マレーシア			
		Ei Ei Tun	ヤンゴン大学国際関係学部	ミャンマー			
		Oak Soe San	ヤンゴン大学国際関係学部	ミャンマー			
		VIENGVIETH, Vilayouth	ラオス外務省アジア・大洋州・アフリカ局日本課	ラオス			

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	事業内容
		HUDSON, Peter Joy	デリー大学東アジア研究科	インド			
		JHA, Nivedita Kumari	インド工科大学マドラス校人文社会学部 博士課程	インド			
		LUKE, Anna-Marie	オタゴ大学	ニュージーランド			
4	JENESYS東アジア次世代リーダー招へいプログラムグループF	SONG, Shinhye	社団法人コピオン(COPION)国際協力チーム チーム長	韓国		2010. 03. 02 ~ 2010. 03. 15	東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら、文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表。グループFのテーマは「アジア・オセアニア地域の青年が担う包括的平和構築：文化、教育の可能性」。「21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)」の一環として実施
		Harla Sara OCTARRA	アクション研究・トレーニング研究所 (ARTI) エグゼクティブ・ディレクター	インドネシア			
		Dara LIM	カンボジア・スポーツ青年教育省 青年局事務室 副主任	カンボジア			
		Yati ANDRIYANI	暴力被害者及び行方不明者支援委員会 刑事免責の監視及び犠牲者の権利対応の業務部門長	シンガポール			
		Liyana Binte Rosli ASMARA	ハーモニー・センサー 案内員	シンガポール			
		Surarak JAIWUT	マカンボン財団 コミュニティプログラム・コーディネーター	タイ			
		Jeromeo de Leon JOSE	アジア経営大学院 チーム・エナジー・センター プログラム・マネージャー	フィリピン			
		Yasmin Mapua TANG	プローブ・メディア財団 エグゼクティブ・ディレクター	フィリピン			

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	事業内容
		Danial Bin NORJIDI	ボルネオ・ブリ ティン紙 記者	ブルネイ			
		Nguyen Thi Le KHANH	カトリック救済 サービス プログ ラム・マネー ジャー	ベトナム			
		Muhammad Danial bin AZMAN	マラヤ大学国際戦 略研究学部人文社 会科学科 フェ ロー研究員	マレーシア			
		Htwe Tra Nandi	ミャンマー赤十字 フィールド・オ フィサー	ミャンマー			
		Kyi Kyi Seinn	ミャンマー女性企 業家協会 終身会 員	ミャンマー			
		Vanglor CHONGTOUA	農村調査・開発訓 練センター マネ ジメント・チーム リーダー	ラオス			
		Simar SURI	スリ法律事務所 弁護士	インド			
		Derek Craig BEAUT	デュナミス・デー タ・サービス ディレクター	オーストラリア			
		Samuel David MACKAY	ニュージーランド 教育省国際課 上 級アドバイザー	ニュージーランド			
5	JENESYS東アジア次 世代リーダー招へ いプログラム グループC(報告書 作成)					2009.04.01 ~ 2009.07.31	2008年12月に実施したJENESYS 次世代リー ダー招へいプログラム・グループC(テーマ 「社会的包摂アプローチによる貧困の克服： グローバル経済におけるアジア・大洋州地域 の現状」)の報告書作成・配布及び増刷。 本プログラムは「21世紀東アジア青少年大交 流計画(JENESYS Programme)」の一環として 実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	事業内容
6	JENESYS東アジア次世代リーダー招へいプログラム グループD(報告書作成等)					2009. 04. 01 ～ 2009. 12. 31	2009年3月に実施したJENESYS 次世代リーダー招へいプログラム・グループD(テーマ「《生物多様性》を通じた環境保全ー持続可能な発展を目指して」)の実施報告書作成。本プログラムは「21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)」の一環として実施
7	JENESYS東アジア次世代リーダー招へいプログラム グループG(準備)					2010. 01. 01 ～ 2010. 03. 31	2010年4月に実施するJENESYS 次世代リーダー招へいプログラム・グループG(テーマ「文化の多様性の再認識：アジア・オセアニア地域の可能性」)の参加者招へい準備にかかる経費



アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (2) 日本研究フェローシップ (学者・研究者) [アジア・大洋州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 105,019,615 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	CHOI, Woo Yong	東亜大学校 副教授	韓国	九州大学	2010.02.01 ~ 2011.01.31	地方分権の進展下における住民訴訟制度の展開に関する研究
2	JANG, Yong Geoll	慶南大学校 副教授	韓国	大阪大学	2009.01.12 ~ 2009.11.13	日本における韓国ポピュラー文化の受容と変容についての考察
3	JEON, Young Soo	漢陽大学校国際大学院 助教授	韓国	慶応義塾大学経済学部	2010.02.15 ~ 2011.02.14	雇用延長と老人福祉に関する研究：老後所得を中心に
4	鄭 俊杓 (JUNG, Joon-Pyo)	嶺南大学校政治外交学科 教授	韓国	法政大学法学部政治学研究科	2009.08.01 ~ 2010.01.31	社会経済的地位と投票：韓国と日本の比較研究
5	KIM, Hosup	中央大学国際関係学科 教授	韓国	慶應義塾大学法学部	2009.01.12 ~ 2009.11.11	日本の対中国ODAの政策決定
6	KIM, Jung-rye	全南大学日語日文学科 教授	韓国	京都大学人間環境学研究所	2008.10.01 ~ 2009.05.31	韓・日定型詩歌における「笑い」の研究
7	KIM, Sang Jo	国立済州大学校 教授	韓国	天理大学国際文化学部	2009.09.02 ~ 2010.09.01	朝鮮通信使と日本接待使の相手に対する理解の比較研究
8	金 裕殷 (KIM, Youen)	漢陽大学校国際大学院 准教授	韓国	早稲田大学アジア太平洋研究センター	2009.08.05 ~ 2010.08.04	北東アジアにおける多国間安全組織設立のための日韓協力について
9	LEE, Myung Hee	新羅大学校 教授	韓国	学習院大学文学部日本語日本文学科	2010.01.20 ~ 2011.01.19	日本語レベル別読解技術指導に関する研究
10	閔 炳杰 (MIN, Byung-Ged)	ソウル女子大学デザイン学部 助教授	韓国	武蔵野美術大学	2009.07.15 ~ 2010.07.14	浮世絵の伝統を継承した日本のグラフィックデザインに関する考察
11	朴 喆熙 (PARK, Cheol Hee)	ソウル大学国際大学院 准教授	韓国	慶応義塾大学東アジア研究所	2009.07.01 ~ 2009.12.31	ポスト冷戦環境の中での、理論対決の政治とアジアに対する日本のイニシアティブ
12	PARK, Taeho	ソウル産業大学校 助教授	韓国	一橋大学大学院言語社会研究科	2009.05.10 ~ 2010.02.25	韓国と日本における非正規労働者の組織方式－空間社会学的視点から
13	PARK, Young-goo	釜山外国語大学校 教授	韓国	拓殖大学	2009.01.07 ~ 2009.11.06	日本と韓国の重化学工業化比較研究
14	CHEN, Xiru	中国作家協会作家／翻訳家兼教授	中国	慶応義塾大学文学部	2009.10.11 ~ 2010.04.10	野間宏研究
15	CHEN, Xiuwu	東北師範大学日本研究所 助教授	中国	一橋大学社会学部	2008.06.08 ~ 2009.06.07	坂本龍馬の国家意識について

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
16	CHUNYU, Miaoling	西南政法大学政治と公共事務学院 教授	中国	日本政治総合研究所	2009.09.03 ~ 2010.09.02	日本における公共サービス改革についての研究とその中国への示唆
17	GE, Jianhua	中国政法大学 助教授	中国	神戸大学大学院経営学研究科	2009.09.25 ~ 2010.03.24	流通分野の環境マーケティングに関する調査研究－循環経済促進の視点から
18	GUAN, Quan	中国人民大学経済学学院 教授	中国	法政大学経済学部	2009.09.20 ~ 2009.12.19	誤解なき日本経済論
19	郭 冬梅 (GUO, Dongmei)	東北師範大学日本研究所 助教授	中国	慶應義塾大学総合政策学部	2009.07.05 ~ 2010.07.04	モッセの日本地方自治観
20	LAM, Wing Keung	香港教育学院 准教授	中国	京都大学文学研究科	2010.01.16 ~ 2010.07.15	歴史を再考する－西田幾太郎と新儒教
21	LI, Yuling	中国同済大学外国語学院日語系 副教授	中国	東京大学大学院人文社会科学系研究科	2010.02.13 ~ 2011.02.12	古代日本文化の形成過程における唐代宮廷文化の受容と変容
22	LIU, Jun	北京大学 助教授	中国	杏林大学	2009.09.20 ~ 2010.03.19	日本における公民社会の構築と民族国家の形成及び中国への示唆－グローバル化と東アジア区域協力という視角からの比較研究
23	WEI, Zhijiang	中山大学 准教授	中国	東京大学大学院総合文化研究科	2009.09.01 ~ 2010.06.30	中日韓三国の安全保障とアジア東北部における安全保障機構の構築
24	WU, Xiangping	中華人民共和国吉林省社会科学院満鉄資料センター 研究員	中国	新潟大学	2009.06.29 ~ 2010.04.20	中日満鉄研究の現状と比較
25	YU, Fang	華南師範大学外国語言文化学院 日本語講師	中国	関西学院大学文学部	2009.06.30 ~ 2009.12.29	柳田民族学の中国民族学に対する影響
26	ZHAO, Jinghua	中国社会科学院文学研究所 教授	中国	東京大学大学院総合文化研究科	2009.09.20 ~ 2009.12.19	日本における1968年の革命について
27	ZHI, Feina	北京電影学院 講師	中国	東京大学大学院総合文化研究科	2009.07.11 ~ 2010.07.10	新世紀の変遷と多様化－中日両国青年映画監督の作品の中における社会訴求比較研究
28	ZHOU, Yongsheng	外交学院大学国際関係研究所 教授	中国	政策研究大学院大学	2008.08.05 ~ 2009.06.04	日本のソフトパワーに関する研究
29	PABOTTINGI, Mochtar	インドネシア科学研究所政治学センター シニア・リサーチャー	インドネシア	京都大学東南アジア研究所	2009.03.01 ~ 2010.02.28	日本における国家民主主義共生の展望－予備研究
30	SUWANRADA, Attaya	チュラロンコン大学文学部 講師	タイ	大阪大学	2009.11.01 ~ 2010.05.31	平安文学における五行の象徴とその機能
31	TECHAKANONT, Kriengkrai	タマサート大学経済学部 助教授	タイ	広島大学	2008.10.26 ~ 2009.05.27	タイ自動車産業の製造技術発展に果たす日本企業の役割

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
32	TIONGSON, Nicanor G.	フィリピン大学フィルム・インスティテュート教授	フィリピン	京都大学東南アジア研究センター	2010.03.15 ~ 2010.11.14	ネイション・ビルディングにおける統合の要素としての文化の役割
33	TRINIDAD, Dennis D.	デ・ラ・サール大学国際関係学部 准教授	フィリピン	立命館アジア太平洋大学	2008.09.01 ~ 2009.06.29	日本と東南アジアの統合
34	PHAM, MAI THI XUAN	ベトナム社会科学院 シニアリサーチャー	ベトナム	東京大学大学院	2009.06.18 ~ 2009.12.17	1960年から日本の農業機構の主な変更ーベトナムに対する教訓。
35	MYOE, Maung Aung	シンガポール国立大学アジア研究所 ポスト・ドクトラル・フェロー	ミャンマー	国際大学	2008.10.01 ~ 2009.07.31	台頭する中国、「普通」化する日本、東南アジアの安全保障：ミャンマーへの影響
36	TANKHA, Brij Mohan	デリー大学 教授	インド	一橋大学	2009.11.02 ~ 2010.10.31	明治期日本における近代化にむけた宗教と課題
37	ATHAMBAWA, Azeez Abdul	コロombo大学経営学部 上級講師	スリランカ	早稲田大学	2010.03.11 ~ 2011.02.28	スリランカにおける日本の外国直接投資：アメリカと日本の外国直接投資の影響の比較
38	POKHAREL, Madhav Prasad Sharma	国立トリブバン大学 教授	ネパール	神戸大学	2009.05.14 ~ 2010.05.13	ネパール語、日本語間の、分類詞を通じた対象物の抽象化における認識的類似点
39	RAHMAN, Ataur Md.	ダッカ大学 教授	バングラデシュ	名古屋大学大学院国際開発研究科	2009.08.31 ~ 2010.08.30	選挙制度と政治改革に関する日本研究
40	HAYES, Carol	オーストラリア国立大学 准教授	オーストラリア	東京工業大学	2009.08.15 ~ 2010.01.31	萩原朔太郎の伝記を書く：「月に吠えているー萩原朔太郎の文学と人生」
41	STAVROS, Matthew	シドニー大学 助教授	オーストラリア	東京大学史料編纂所	2009.01.11 ~ 2009.06.10	前近代京都の空間構造史ー中世を中心にー
42	SUZUKI-MORRIS, Teres Irene Jessica	オーストラリア国立大学 教授	オーストラリア	東京大学大学院情報学環・学際情報学府	2009.12.16 ~ 2010.04.15	草の根からのアジア地域統合の試み：地方都市における市民グループの活動が、日本とアジア近隣諸国の関係構築に果たす役割について

2. 人物交流事業費 / (3) 日本研究フェローシップ (論文執筆者) [アジア・大洋州]

人文・社会学の研究者で博士論文作成のため来日する必要があるものを招聘する。

合計額 69,857,983 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	CHO, Jung Yun	高陽市文化芸術課/成均館大学 博士課程	韓国	社団法人全国公立文化施設協会	2009.02.01 ~ 2009.11.30	韓国と日本の地域文化財団の比較研究

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
2	KIM, Do Hyung	成均館大学校 博士課程	韓国	東京大学大学院総合文化研究科	2009. 10. 05 ~ 2010. 10. 04	韓国近代啓蒙期における日本啓蒙思想の転移と変容に関する研究
3	LEE, Jun Kyu	北韓大学院大学 博士課程	韓国	明治学院大学国際学部	2008. 07. 07 ~ 2009. 07. 06	脱冷戦期日朝関係に関する研究：正体性と利益の相互作用
4	OH, Younjung	南カリフォルニア大学美術史学科 博士課程	韓国	東京大学人文社会系研究科文化資源学研究室	2008. 09. 11 ~ 2009. 09. 10	日本の百貨店が近代的「美術」概念の認識に与えた影響
5	PARK, Myunghee	梨花女子大学大学院政治外交学科 博士課程	韓国	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科	2009. 03. 01 ~ 2010. 02. 28	日本のODA政策過程とNGOの役割
6	SONG, Kyung Sook	成均館大学校大学院政治外交学科 博士課程	韓国	法政大学大原社会問題研究所	2009. 09. 01 ~ 2010. 08. 31	1980年代以後の日本における労資関係の変化と国家－労働規制緩和の政治を中心に
7	BAI, Ruchun	中国社会科学院日本研究所 講師	中国	アジア経済研究所 (JETRO) 地域研究センター	2009. 09. 17 ~ 2010. 08. 16	日本の東アジア地域協力政策の研究－中国の関連政策との比較及び日中関係の視点から
8	CHEN, Shuangli	香港大学 博士課程	中国	京都大学大学院教育学研究科	2009. 11. 09 ~ 2010. 07. 31	女子身分を構築し、近代性を再解釈する：明治期（1868-1912）におけるキリスト教女子教育
9	GONG, Lili	復旦大学国際関係公共政策学院 博士課程	中国	慶応義塾大学総合政策学部	2008. 10. 03 ~ 2009. 10. 02	日中戦略的互惠関係の構築－環境協力の観点から
10	HAN, Dan	四川大学文学与新聞学院 博士課程	中国	国文学研究資料館	2008. 09. 29 ~ 2009. 09. 28	「風姿花伝」研究－江戸時代文学理論への影響及び「閑情偶寄」との比較
11	LI, Han	中国社会科学院大学院 博士課程	中国	同志社大学法学部	2009. 08. 01 ~ 2010. 07. 31	近代日本における平和思想の軌跡
12	LIANG, Baowei	復旦大学 博士課程	中国	東京大学東洋文化研究所	2009. 09. 01 ~ 2010. 08. 31	戦後日本のシベリアン・コントロール
13	LIANG, Mingxia	北京大学外国語学院 博士課程	中国	東京大学大学院人文社会系研究科	2009. 09. 26 ~ 2010. 09. 25	近代日本仏教の形成と発展の研究－政教関係を中心に－
14	SA, Rina	中国人民大学環境学院 博士課程	中国	名古屋大学	2008. 07. 31 ~ 2009. 07. 30	中国における循環経済の構築に向けたグッドガバナンスの研究
15	SHU, Fanghong	中国社会科学院研究生院 日本研究科 博士課程	中国	法政大学国際日本学研究所	2008. 08. 01 ~ 2009. 07. 31	戦後日本における平和主義思想の研究
16	TIAN, Xuemei	復旦大学 博士課程	中国	慶応義塾大学法学部	2009. 09. 20 ~ 2010. 09. 19	近・現代日本における「国民」の鑄造－明治維新から第二次世界大戦まで
17	WANG, Ping	中国社会科学院研究生院 博士課程	中国	法政大学人間環境学部	2009. 08. 01 ~ 2010. 03. 31	冷戦後の日本ODA政策研究

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
18	XU, Lin	中国社会科学院研究生院 博士課程	中国	早稲田大学社会科学総合 学術院	2008.09.23 ~ 2009.09.22	行政権力の配分について－日本における経済 規制改革の視角から
19	XU, Peng	吉林大学 博士課程	中国	早稲田大学法学学術院	2009.08.30 ~ 2010.08.29	日本における民法典システムの研究
20	YU, Ying	オハイオ州立大学東アジア 言語文学科 博士課程	中国	国際日本文化研究セン ター	2008.09.16 ~ 2009.09.15	1960年代及び1970年代の日本ファンタジー文 学
21	DASHDULAM, Dashdeleg	モンゴル国立大学 講師	モンゴル	大東文化大学	2009.09.28 ~ 2010.09.27	1930年から1945年までの日露関係におけるモン ゴル
22	HAMZAH, Nusyirwan	インドネシア大学大学院 日本地域研究科 所長秘 書	インドネシア	東京大学東洋文化研究所	2009.03.01 ~ 2009.10.21	小泉純一郎首相 日本の政治リーダーシップ の研究2001～2006
23	LEAOKITTIKUL, Rungruedee	シラパコーン大学 講師	タイ	清泉女子大学文学部	2009.06.07 ~ 2010.06.06	日本語における複合動詞とその複合動詞の前 項動詞としての単純動詞との意味的な関係
24	NGUYEN, Binh Van	ベトナム労働総同盟労働 局 法律専門家	ベトナム	名古屋大学大学院法学研 究科	2009.05.24 ~ 2010.03.23	友好的な労使関係を促進する社会的対話のた めの法的枠組み：日越の法律の比較
25	KASIM, Zainol Abidin Bin	マラヤ大学日本留学特別 コース (AAJ)センター 日本語講師	マレーシア	杏林大学	2008.08.26 ~ 2009.06.25	東方政策プログラム (日本) の自己アイデン ティティの研究：マレー、タイ、インドネシ アと日本の学生の比較研究
26	TAN, Swee Ean	マレーシア科学大学地理 学部人文学科助手	マレーシア	東京大学大学院総合文化 研究科	2009.07.31 ~ 2010.01.31	マレーシアにおける日系電機・電子工業の直 接投資
27	CHANDRA SETH, Janashruti	ジャワハルラルネルー大 学 助教授	インド	大阪大学大学院 文学研 究科	2008.06.01 ~ 2009.05.30	丁寧さの曖昧表現－日本とヒンディーにおけ る控えめなほめ言葉の類型研究
28	FAISAL, Mohd	ジャワハルラル・ネルー大 学 博士課程	インド	早稲田大学	2009.09.16 ~ 2010.09.01	日本の海外直接投資：1991年から2006年の製 造業ケーススタディ
29	MANCHERI, Nabeel Ajmal	ジャワハルラルネルー大 学 博士課程	インド	広島大学	2008.10.02 ~ 2009.09.30	インド、日本、オーストラリア間の貿易と通 商協定：優遇措置と競争力
30	KING, Emerald Louise	タスマニア大学 博士課 程	オーストラリア	お茶の水女子大学	2009.09.15 ~ 2010.08.14	日本の女性文学における享楽主義的モチーフ の系譜：河野多恵子から渡辺やよいまで
31	CATALINAC, Amy Louise	ハーバード大学政治学部 博士課程	ニュージーランド	東京大学社会科学研究所	2008.06.29 ~ 2009.06.27	外交・防衛政策の選挙政治：自衛隊の役割・ 任務拡大を説明する

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (4) 日本研究フェローシップ (短期) [アジア・大洋州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 11,749,865 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	PARK, Soo Jung	韓国地方教育研究センター 専任研究員	韓国		2010.01.04 ~ 2010.02.05	戦後の韓日の教育自治制の形成過程比較
2	CHUNG, Chien-Peng	嶺南大学校 准教授	中国		2010.03.01 ~ 2010.04.29	中国主導のアジア・太平洋地域機構における日本の役割
3	REN, Ping	浙江樹人大学 教師	中国		2009.07.10 ~ 2009.09.07	絶海中津と明初における日中文化交流
4	TIAN, Ming	中国外交学院外国語学部 助教授	中国		2009.02.23 ~ 2009.04.23	大庭みな子研究—60年代の初期作品から80年代の後期作品における「家族」のモチーフ及びその変容について
5	XU, Shu	中国吉林省延吉市延辺歌舞団 監督	中国		2009.03.21 ~ 2009.04.28	日本伝統舞踊研究
6	ZHONG, Fang	中国東北師範大学日本研究所 講師	中国		2009.07.01 ~ 2009.08.29	「大日本帝国憲法」と「欽定憲法大綱」についての比較研究
7	PURWANINGSIH, Sri Sunarti	インドネシア科学院 ミドルシニア研究員	インドネシア		2010.01.05 ~ 2010.03.05	日本の辺境地におけるリプロダクティブ・ヘルス
8	WAJJWALKU, Siriporn	タマサート大学政治学部 准教授	タイ		2009.12.24 ~ 2010.01.30	冷戦後における日本の外交援助—その政策、制度、活動など
9	LIE, Pek Hung	マレーシア科学大学 講師	マレーシア		2009.11.22 ~ 2009.12.31	武満の映画音楽：美術映画との関係における音楽的審美主義に関する分析研究
10	NU NU LWIN	ヤンゴン経済研究所 主任講師	ミャンマー		2009.07.01 ~ 2009.08.29	日・ASEAN包括的経済連携 (AJCEP)における日・ASEANの経済協力とミャンマーへのインパクト
11	DAS, Siddhartha	デザインコンサルタント	インド		2010.01.01 ~ 2010.03.01	美術館及び文化芸術センターの都市文化スペースとしての妥当性
12	MISRA, Sib Ranjan	ヴィシュヴァ・バラティ大学 教授	インド		2009.05.17 ~ 2009.07.15	日本の社会保障制度の理解—インドの政策強化への教訓
13	SHAIKH, Khalil -U- Rahman	シンド州 公共行政調整担当次官補	パキスタン		2010.01.08 ~ 2010.03.05	冷戦後の日・パ政治経済関係：課題と展望
14	CHAPMAN, David Richard	南オーストラリア大学 准教授	オーストラリア		2009.11.05 ~ 2009.12.05	小笠原諸島における帰化外国人の生活と歴史

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
15	SONE, Yuji	マコーリー大学 講師	オーストラリア		2009.09.04 ~ 2009.09.28	日本におけるエンターテインメント・ロボットとの関係性の研究

2. 人物交流事業費 / (5) 日本研究フェロースhip (高砂熱学工業)

インドネシア、フィリピン、マレーシア、ベトナムの日本研究専攻の学生に奨学金を供与する。

合計額 2,378,794 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	NGUYEN, Binh Van	ベトナム労働総同盟労働局 法律専門家	ベトナム		2009.05.24 ~ 2010.03.23	友好的な労使関係を促進する社会的対話のための法的枠組み：日越の法律の比較
2	NGUYEN, Luong Hai Khoi	ホーチミン市教育大学文学・言語科 教師	ベトナム	日本大学文理学部哲学科	2008.06.01 ~ 2009.07.31	ベトナム人作家、ゲン・タウンの美意識との比較にみる川端康成の美意識

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (6) 知的リーダー交流 (招へい) [アジア・大洋州]

諸外国の政治、経済、労働、メディア、教育等の各分野で影響力を有する人材を招へいし、日本側関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 19,406,247 円

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	アジア・リーダーシップ・フェロー・プログラム	MA, Jifang  KUSUMAWIJAYA, Marco  ORETA, Jennifer Santiago  SOH, Andrew K.L.  BUTT, Iqbal Haider  MOKAMMEL, Tanvir	公正労働協会 (FLA) 中国 独立外部監査コーディネーター  ジャカルタ芸術協会 ディレクター  アテネオ・デ・マニラ大学 社会学部政治学科 准教授  アテネオ・デ・マニラ大学 人文科学部哲学科 講師  Development Pool シニア・ パートナー  映画監督/作家	中国  インドネシア  フィリピン  フィリピン  パキスタン  バングラデシュ	2009.09.14 ~ 2009.11.13	アジア諸国において社会的影響力の大きい知識人 (パブリック・インテレクチュアルズ6名を2カ月間日本に招へい。日本人を加えた7名がセミナー、ワークショップなどの知的共同作業を通して、アジア域内の人的ネットワーク形成を図るとともに、地域が直面する様々な課題に対する共通の問題意識を醸成し、解決に取り組むための知的基盤作りを促進



アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (7) 知的リーダー交流（派遣）〔アジア・大洋州〕

日本と諸外国の知的対話の促進と、知的リーダー間のネットワークの構築・強化を推進するため、日本から知的リーダーを海外に派遣し、関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 365,475 円

	事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	第1回アジア・アフリカ学会国際会議	北川 勝彦	関西大学経済学部教授	インド		2009.11.08 ～ 2009.11.14	世界の主要な国際会議・シンポジウム及び主要なシンクタンク主催事業への日本人の参加を確保し、国際社会に対する日本からの発信を強化するために、日本の知的リーダー、有識者を派遣する事業。平成21年度は、インド・ニューデリーで行われた第1回アジア・アフリカ学会国際会議に北川勝彦（関西大学経済学部教授）を派遣

3. 催し等事業費 / (1) 知的交流会議（助成）〔アジア・大洋州〕

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流を推進することを目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議等）に対し、経費の一部を助成する。

合計額 75,426,064 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	21世紀東アジアにおける環境変化と交流・協力の模索	韓国	社団法人韓日未来フォーラム	2008.12.01 ～ 2009.06.30	アジア共同体づくりのための基盤づくりをめざし、日韓の研究者、メディア関係者が参加し、日本、中国、韓国3カ国の文化交流と経済危機という東アジア地域の共通課題への対処法を議論する国際会議を、2009年6月19日にソウルで開催
2	第4回日韓人文社会科学学術会議	韓国	又石大学校	2009.01.01 ～ 2009.06.30	日韓の人文社会科学の研究者による分野横断的な学術会議。2000年より3回実施した実績を踏まえ、言語・文学、歴史・思想、政治・外交の三セッション構成で、欧米の研究者の参加も得て2009年8月に開催
3	国際シンポジウム「持続可能な開発教育：フィールドから学んだこと」	韓国 インドネシア タイ	インドネシア森林環境研究所	2009.03.01 ～ 2009.10.31	環境教育に関与する多層的な参加者（政府、民間セクター、教員、住民層）によって、アジアにおける環境教育、持続可能な発展と社会活動などについてセミナー及びワークショップ形式で論じる国際会議。2009年7月29日～31日の3日間、ボゴールの東南アジア文部大臣機構（SEAMEO）熱帯生物研究センターにて実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
4	インターエイジア・カルチュラルタイフーン2009	韓国 中国 シンガポール タイ インド バングラデシュ オーストラリア	カルチュラルタイフーン運営委員会	2009. 04. 01 ～ 2009. 09. 30	アジア全域から文化実践に詳しい専門家、若手研究者が集まり、この10年、アジア各地で展開されてきた新しい方法意識に基づく文化研究を総括し、今後予想される文化表現の国際的な動向や、文化をめぐるナショナリズム、環境、ジェンダーに関わる紛争について議論する国際会議。2009年7月3日～5日に東京外国語大学にて実施
5	第2回つなぐ人フォーラム	韓国 中国 インドネシア マレーシア	財団法人キープ協会	2009. 04. 01 ～ 2009. 12. 31	教育的コミュニケーション技術である「インタープリテーション (IP)」の普及・発展に向けて、IPに関する先駆的な取り組みを実施している日本とアジア5カ国の専門家が集まり、特に環境教育における効果的なIP技術のノウハウを共有し、アジア地域のネットワーク構築に着手する国際会議。2009年9月6日～10日に山梨県北杜市及び立教大学（東京）にて実施
6	国際学術シンポジウム「東アジアの平和と民主主義--北朝鮮問題と地域安定基盤の構築」	韓国 中国 米国	聖学院大学総合研究所	2009. 04. 01 ～ 2010. 02. 28	日本、韓国、中国、米国、ロシアの5カ国の北朝鮮問題専門家を集め、北朝鮮の完全な核放棄の可能性とその条件を探る国際学術シンポジウム。申請機関と韓国の極東問題研究所とが2005年以来毎年（2008年除く）開催している「北朝鮮の改革可能性」をテーマとした国際会議の一環として開催されるもので、2010年に東京にて開催
7	国際シンポジウム「東アジアの都市環境文化資源をいかに継承するか？」	韓国 中国	特定非営利活動法人モダンアジアンアーキテクチャネットワーク	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	東アジア、特に中国の著しい経済発展が進むにつれ、歴史的建造物が破壊される中で、20年前に日中共同で実施した調査結果をベースに、近代建築の保全などの視点から日本の都市計画・街づくりについて議論する国際会議。日本、韓国、中国、台湾の研究者・NGO関係者が集まり、2009年6月3日～4日の2日間にわたって、東京大学で実施
8	日韓次世代学術フォーラム 第6回国際学術大会（福岡大会）	韓国	東西大学校	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	人文・社会科学分野における日韓両国及び中国の大学院生が東アジアに共通の関心事をテーマに採り上げ、研究発表と交流を行う学術大会の第6回目。第3回目以降の開催地は主管機関である東西大学校日本研究センター（韓国・釜山）を離れ、今次大会は九州大学（日本・福岡）で2009年6月下旬に実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
9	アジアの軌跡	韓国 中国 インド	デリー大学発展途上国研究センター	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	東アジアと南アジアが近代化へと進んできた過程について、植民地及び被植民地の経験、宗教の役割、人々の過去の記憶が現在に与える影響などの観点から議論する国際会議。インド国内及び日本、韓国、中国、トルコから専門家を招へいし、2009年9月11日～12日にニューデリーにて実施
10	日韓ジョイント・カンファレンス「高齢化するアジアの課題と可能性：高齢社会を支える新たなシステムを求めて」	韓国	高齢者を支える学際的チームアプローチ推進ネットワーク（通称：ミシガンネット）	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	日韓共通の高齢化社会における福祉問題・介護問題をめぐって、日韓のみならずアジアの若手政策立案者・研究者が集まり、ネットワーク作りや知見交換を通して解決策を見出す会議。韓国・ソウル大学にて2009年10月19日～23日の5日間実施
11	韓国・日本・中国における「海洋文学」の現在	韓国 中国	東北アジア文化研究所	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	これまで大陸志向的に語られてきた北東アジア地域の文化を「海洋人文学」の観点から見直し、相互理解の促進を図る国際会議。韓国、日本、中国、ロシアの研究者が参加し、2009年11月7日～9日に釜山にて開催
12	国際シンポジウム「日中韓地域連携：共通リスクとその対応」	韓国 中国	日中韓連携研究コンソーシアム	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	過去3年間実施した東アジア都市間に共通する身近な社会・経済問題に関する継続した議論の成果を踏まえ、日中韓の研究者や専門家、政策担当者が、文化、環境、高齢化、産業連携、食糧の各分野において身近に存在する3カ国共通リスクを再認識し、分析する国際シンポジウム。2009年12月3日～4日に九州大学（福岡県）にて実施
13	東アジア文学フォーラム	韓国 中国	東アジア文学フォーラム日本委員会	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	2010年に日本で開かれる予定の「第2回東アジア文学フォーラム」に向けて、引き続き日中韓の文学者の交流を図るため、韓国及び中国のフォーラム組織委員会と2回の合同委員会の開催し、3カ国の文学作品の翻訳等の事業を実施
14	東北アジアと東南アジア：アジア統合の文化的基盤	韓国 中国 シンガポール	清華東アジア文化講座	2009. 05. 01 ～ 2010. 03. 31	東北アジアと東南アジアにおけるアジア統合の文化的基盤をテーマに、日本、韓国、中国、台湾、シンガポールのアジア研究者が議論する国際会議。2009年10月16日～18日の3日間にわたり、清華大学にて実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
15	ソーシャル・デザイナーの育成と創造的・社会的変化のための日韓市民知的交流事業	韓国	希望製作所	2009.06.01 ~ 2009.10.30	環境の変化、少子高齢化、都市化と過疎化の問題など、日韓が直面する共通課題の解決に向けて、コミュニティーをデザインする「ソーシャル・デザイナー」を養成する連続セミナー（2009年6月～8月、10回）と国際ワークショップ（2009年9月24日～25日）を開催する。国際ワークショップには、日韓の市民社会組織論の専門家が参加
16	クリエイティブ・シティ発展のための多国間会議・ワークショップ	韓国 インドネシア シンガポール フィリピン ブルネイ マレーシア ミャンマー	ネオ・アンゴノ・アーティスト・コレクティブ	2009.07.01 ~ 2010.03.31	芸術によって町とコミュニティを活性化させる「文化芸術創造都市」をコンセプトに、日本を含むアジア各国から20数名の専門家が集まり、都市再生に向けたパブリックアートの役割について検討する国際会議及びワークショップを実施。芸術の町として有名なフィリピンのリサール州アンゴノにて毎年実施されるアート・フェスティバルにあわせ、2009年11月16日～24日に実施
17	国際共同研究「戦争芸術と映像表現における戦争描写」	韓国 オーストラリア 米国	シドニー大学	2009.08.07 ~ 2009.08.30	戦時下に制作された絵画や写真をテーマとした国際共同研究。2009年8月28日、29日の2日間に、日本、韓国、オーストラリア、米国の専門家により、戦時体制下における戦争芸術の創造とその受容、美術史全体における位置付け、言説システムとしての戦争芸術など、多様な観点から戦争芸術を検討するワークショップを開催し、一般向けセミナーを4回実施
18	第2回アジア地域音楽研究センター・フォーラム	韓国 中国 インドネシア カンボジア タイ フィリピン ベトナム	フィリピン大学民族音楽センター	2009.08.15 ~ 2009.11.15	平成20年度にマニラ日本文化センターの小規模助成を受けて実施した第一回フォーラムのフォローアップとして、アジア各国の大学、博物館から民族音楽に関する研究者や専門家が集まり、民族音楽記録・研究ネットワークの正式な立ち上げ、共同プロジェクトの協議、記録技術における協力等について議論する国際会議を、2009年10月12日～14日にプノンペン（カンボジア）にて実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
19	2000年代日韓における政治・政策の環境変化に関する共同研究	韓国	社団法人韓国政治学会	2009. 10. 01 ~ 2009. 12. 20	日韓両国における政治・外交政策の環境変化を正確に理解することにより、相互協調の道を模索するために、日韓双方の政治学会が相互の定例研究大会に参加する国際会議。2009年12月に、韓国での国際会議に日本の研究者が参加。日本で実施された会議（2009年10月）への韓国からの参加は、新型インフルエンザ感染拡大予防対策の一環としての韓国の大学・研究機関における海外渡航制限措置強化の影響で中止された
20	帝国時代の日本と東アジアーその思想と文化の動向ー	韓国	韓国日本学会	2009. 11. 09 ~ 2010. 02. 09	帝国時代の日本と東アジアの思想と文化の動向を分析し、現在のアジアにおける日本的価値との違い、東アジアが文化共同体としてもに繁栄する道を探る国際シンポジウム。2010年2月6日にソウルで開催
21	公共外交と非伝統的安全保障分野における日中間の突発事件に対する対応	中国	同済大学アジア太平洋研究センター	2007. 11. 01 ~ 2009. 11. 30	日中の研究者・政策決定者が集まり、公共外及び冷凍餃子問題などの非伝統的安全保障分野における突発事件への対応策に関して議論する国際会議。2009年11月21日～22日の2日間にわたり、同済大学（上海）で実施
22	現代社会における科学技術のコミュニケーション及び運営システムに関する国際比較研究	中国 米国	清華大学日本研究センター	2008. 11. 01 ~ 2010. 03. 31	科学技術の高度化・専門化が進む中、科学技術と社会（一般人）とがいかに接点をもつべきかという科学技術コミュニケーションをテーマに、日中の研究者が一堂に集まり議論する国際会議。2009年8月21日～23日の3日間にわたり、中国の清華大学（北京）で実施
23	日本の中小企業から学ぶ成功への道	中国 シンガポール タイ ベトナム	ホーチミン市国家大学人文社会科学大学	2008. 12. 01 ~ 2009. 05. 31	日本の中小企業の成功経験を通じて日本の経済発展に関する理解を深め、ベトナムをはじめとするアジア諸国への適用を考える事業。2009年6月11日～12日にホーチミンで開催され、日本、韓国、台湾、インドネシア、タイ及びベトナムの研究者が参加
24	『日本通史』編集会議	中国	『日本通史』編集委員会	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本の歴史学界の研究成果を反映し、中国にて古代から現代にかけての最新の『日本通史』を発行するため、中国の歴史研究の第一人者たちが訪日し、日本の歴史研究者と意見交換を行い、関係図書館・資料館で資料収集を行う研究・会議事業を実施
25	経済危機に対する東アジアの対応策	中国 インド 米国	清華大学日本研究センター	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	世界的経済・金融危機を背景に、日本、中国の研究者・政策立案者及び危機の震源地である米国から研究者が参加し、東アジアの経済危機への対策を論じる国際会議。2009年9月4日、中国の清華大学で実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
26	メコン川流域の経済統合が地域住民や少数民族に与える影響についてのシンポジウム	中国 カンボジア ベトナム ミャンマー ラオス	メコン研究所	2009.04.10 ～ 2009.08.21	メコン流域の経済統合が地方生活者、農民少数民族に与える影響、高地農作・少数民族の課題、政策と現実のギャップ、政府とNGOの役割などについて、メコン地域5カ国（中国、カンボジア、タイ、ミャンマー、ラオス）及び日本の研究者、政府関係者、NGOが集まり、2009年11月27日～29日にコンケンにて実施
27	ジェンダー、移民労働者、市民権に関する国際ワークショップ	中国 タイ 米国 英国	アジア工科大学	2009.05.01 ～ 2010.03.31	申請団体とカナダのリード大学が実施した先行共同研究「メコン地域の移民労働者と市民権：経済統合とジェンダーの視点から」の成果をベースに、東南アジア、日本、中国、米国、英国の研究者が議論する国際会議。1日目は移民受入国の現状に関する発表を一般公開で実施し、残りの2日は非公開で専門家が集中討議を行う。2009年6月1～3日に申請機関にて実施
28	国際共同研究：アジア地域における「人間の安全保障」への新しいアプローチ	中国 オーストラリア	オーストラリア国立大学	2009.05.01 ～ 2010.03.31	アジア・大洋州地域において、「人間の安全保障」の概念が、各国の「伝統的」な安全保障政策との関係においていかなる位置付けを与えられているかを検討する国際共同研究・会議。中国、オーストラリア、米国、欧州、日本の10大学からなるInternational Alliance of Research University (IARU)による「人間の安全保障」に関する3年間の共同研究の1年目事業
29	メコン流域の文化多様性に関する国際セミナー	中国 カンボジア シンガポール ベトナム ラオス オーストラリア	ウボン・ラーチャタニー大学	2009.08.01 ～ 2010.02.28	グローバル化の進展にともなってメコン流域諸国の開発が進み、社会や文化が急速に変わりつつある状況下で、メコン流域の地元社会の声や各地域に継承される伝統知を開発に活かしていくために、日本とメコン地域国のNGOや専門家等、同地域のステークホルダーが参加して実施する国際会議。2009年11月19日～20日に申請機関にて実施
30	2009年日中刑事法シンポジウム	中国	日中刑事法研究会	2009.10.22 ～ 2009.10.27	環境犯罪と証券犯罪という日中両国にとって重要なテーマをめぐって、日中の刑事法学者が一堂に集まり、2009年10月24日～10月26日の3日間、人民大学（北京）で研究会議を開催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
31	中日工業化プロセスについての比較	中国	河南大学日本研究所	2009. 11. 06 ～ 2009. 11. 08	日中の関係者・研究者が参加し、中国の工業化が農村地域に与えるインパクトを分析し、日本がかつての工業化で直面した各種課題をケーススタディとして議論する国際会議。2009年11月6日～8日の3日間にわたり、中国の河南大学で実施
32	国際研究集会「広州・長崎比較研究」第2回日本会議	中国	「広州・長崎比較研究」日本会議実行委員会	2009. 11. 29 ～ 2009. 12. 04	日本、中国、オランダの歴史研究者が中心となって、従来の日本史や中国史の枠を相対化しながら「東アジア海域史」という新しい歴史像の可能性を探り、さらには世界史の視点をもって現代社会とその問題を解釈する国際会議を東京及び長崎にて実施
33	第3回東アジア・ウランバートル・フォーラム	東アジア地域区分 困難	モンゴル開発研究センター	2009. 04. 01 ～ 2009. 12. 31	日本、韓国、北朝鮮、中国、カナダ、米国、ロシアの7カ国が共通課題への取り組みに関する対話を通じて、地域の安定を目指す国際フォーラム。3回目の今回は、金融、テレコミュニケーション、観光をテーマとして取り上げ、8月にウランバートルで開催
34	授業研究を通じた教員の専門性の向上に関する国際シンポジウム	インドネシア シンガポール タイ	ハノイ国家大学師範大学師範研究センター	2009. 04. 06 ～ 2009. 04. 11	日本、インドネシア、シンガポール、タイの研究者が参加し、授業の計画、実践、反省のプロセス導入及び実践者と研究者が有機的に関連した教員養成モデルの提示を目指し、明治時代に日本で開発された教職の専門力量形成法である「授業研究」のベトナムの小学校での実践及びその成果を分析する国際会議を実施
35	国際シンポジウム／ワークショップ「市民の視点からの日本・インドネシア関係」	インドネシア	パニクル財団	2009. 06. 01 ～ 2009. 08. 31	インドネシアの日本占領時代の歴史研究のうち、比較的手薄な「外島」（ジャワ島以外）での史実について市民の視点からの歴史研究の成果を発表する国際会議。2009年7月11日、12日の2日間、一般向けのシンポジウムと専門家によるワークショップをマカッサルにて開催
36	日本における高等教育の理解の促進と高等教育におけるカリキュラム作成のリーダーシップ及び発展に関する成功事例の共有	カンボジア ベトナム ラオス	東南アジア文部大臣機構（SEAMEO）地域トレーニングセンター	2009. 05. 01 ～ 2009. 11. 30	日本の高等教育機関におけるカリキュラム開発についての理解を深め、カンボジア、ベトナム、ラオスの遠隔地の高等教育機関に適用を図る事業。2009年10月26日～28日にホーチミンで開催し、日本からは名古屋大学、金沢学院大学、青山学院大学、筑波大学よりカリキュラム作成担当者が参加

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
37	「近代日本における死と臨終」(学会)	シンガポール オーストラリア	シンガポール国立大学人文社会科学学部日本研究学科	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	近代日本における死や臨終のかたち、死にまつわる儀式、死と宗教との関係などについて学際的に分析しつつ、グローバル化や高齢化が進む現代社会への合意を探る国際会議。日本、オーストラリア、米国、シンガポールから著名な日本研究者約10名の専門家が参加し、2009年9月25～26日にシンガポール大学にて実施
38	ジェンダーの視点から見るメコン流域の労働と文化	タイ ベトナム ラオス	日本ジェンダー学会	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本、タイ、ベトナム、ラオスから研究者・実務家が集まり、メコン流域に広がる日本のポップカルチャー、女性の労働と人身売買という3つのテーマについて、特にジェンダーの視点から日本との関わりを比較・分析する国際会議。2009年10月31日～11月2日に京都大学にて実施
39	国際会議「芸術教育を通じた多文化理解の推進」(Seminar & Workshop: Quo Vadis Traditional Arts V)	タイ フィリピン ドイツ	インドネシア教育大学	2009. 05. 01 ~ 2009. 12. 05	伝統芸能教育に関して、より効果的な教材開発、授業実施などについて、各国の専門家と交えた国際会議を開催する。インドネシアをはじめ多くの多民族国家においては、固有の文化に基づく伝統芸能を教育課程に取り入れることが多文化共生の欠かせない要素となっており、インドネシア以外にはタイ、フィリピン、日本、ドイツなどの専門家が参加。2009年12月3日～5日(3日間) バンドンにて実施
40	平和、人権、グッド・ガバナンス：岐路に立つ東アジアのデモクラシー	東南アジア地域区分困難	フィリピン調査報道センター (PCIJ)	2009. 05. 01 ~ 2009. 10. 31	今後数年指導者の交代が続きそれぞれ異なる事情やレベルで民主的統治の意味が根幹から問われている東南アジアにおいて、東南アジア及び日中韓からジャーナリスト、研究者、市民社会団体、政府関係者約30名が集まり、平和、人権、統治の観点から、帰路に立つ域内の民主主義について議論する国際会議を、2009年8月18日～22日にマニラにて実施
41	開発をテーマとするアジア演劇フォーラム	アジア地域区分困難	フィリピン教育演劇協会メコン・パートナーシップ・プロジェクト	2009. 06. 01 ~ 2010. 02. 28	東南アジア8カ国と日本、韓国、台湾、中国、香港から演劇関係者の参加を得て、開発教育、文化振興、教育・国際理解に果たす演劇の役割について議論し、事例発表を行う国際会議。申請団体が主催する「メコン・アーツ&メディア・フェスティバル2009」にあわせ、2009年11月24日～26日にカンボジアのプノンペンにて実施



アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
42	南アジアの過激主義に対する人間の安全保障アプローチ	インド スリランカ ネパール パキスタン バングラデシュ	バングラデシュ 国際戦略研究機関	2009.02.01 ~ 2010.02.01	南アジアの過激主義について、人間の安全保障のアプローチから、また、日本の平和的な文化が持つ重要性について考察を行う国際会議。日本、インド、スリランカ、ネパール、パキスタンから専門家を招へいし、2009年11月24日～25日に実施
43	アジアにおける人権に関する国際会議	オーストラリア	オーストラリア日本法研究ネットワーク	2009.03.02 ~ 2009.12.31	国連人権委員会、アジア各国の人権分野で活躍する多層的な専門家を招集して、アジアにおける人権擁護と、そのための地域的な機構・制度の確立の可能性につき討議する国際会議を、2009年11月27日、28日の2日間にわたってシドニー大学で開催
44	「多極・多文明世界における国際法—アジアの視座・課題・貢献」に関する公開フォーラム及びパネル・ディスカッション	全世界区分困難	アジア国際法学会日本協会	2009.04.01 ~ 2009.11.30	アジア及び欧米を代表する国際法学者が一堂に会し、多極化、多文明化する国際社会におけるふさわしい国際法のあり方と、国際法の再構築の過程におけるアジアの視点、課題、貢献を多角的に論じる国際会議。2009年8月1日に東京大学にて実施
45	世界平和の構築を考える世界遺産国際交流シンポジウム2009	全世界区分困難	日本イコモス国内委員会	2009.04.01 ~ 2009.12.31	世界各国から世界遺産関係者や文化関係者が集まり、複数国で共有する世界遺産の安全管理や活用に関する課題を共有し、世界遺産の維持を関係国家・地域間の平和構築に役立てるための国際会議を、2009年10月30日～11月5日に三重県尾鷲市と伊勢市にて実施
46	国際学術シンポジウム「世界史のなかのノモンハン事件（ハルハ河会議）—過去を知り、未来を語る—」	全世界区分困難	関口グローバル研究会	2009.04.01 ~ 2010.02.28	日本、韓国、台湾、中国、オーストラリア、米国、英国、ドイツ、ポーランド、ロシアから研究者を招いて、日本・満州国連合軍とソ連・モンゴル連合軍の間で起きた国際紛争—ノモンハン事件（ハルハ河会戦）について議論・検討し、今後の東アジア地域における相互理解、平和的秩序の形成の可能性を探る国際会議を、2009年7月にウランバートル（モンゴル）で開催
47	ヨーロッパ／EUに学ぶ東アジア地域統合の道—ポストアメリカに東アジア不戦共同体をどうつくるか	全世界区分困難	国際アジア共同体学会	2009.10.01 ~ 2010.03.31	東アジア共同体の成立に向け、東アジア諸国が「不戦共同体」を形成するために、金融・通貨、エネルギー、安全保障、環境、社会、文化の各分野において、ヨーロッパ統合の歴史から何を学び、何を進めるか、EU諸国の研究者や実務家を交えて対話する国際会議。2009年12月東京にて開催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
48	平和のビジョン：西洋とアジア	全世界区分困難	オタゴ大学	2009. 12. 10 ～ 2009. 12. 12	21世紀の平和と安定に貢献することを目的に、平和の概念についてのアジアと欧米との相違を論じる国際会議。特にイスラーム、ユダヤ教、インド、中国、日本の伝統における平和の概念と、欧米のそれを6名の有識者が比較。2009年12月10日～12日の3日間、オタゴ大学にて一般公開で実施

3. 催し等事業費 / (2) 知的交流会議（企画参画助成）〔アジア・大洋州〕

相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議等）に対し、経費の一部を助成する。

合計額 20,939,710 円

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
1	日韓共同研究会議—内外の共通課題解決に向けた日韓協力—	韓国	慶應義塾大学東アジア研究所	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	北東アジアの地域安全保障、国内社会福祉問題等の日韓両国の共通課題に関する日韓の若手研究者による共同研究。東京、ソウルで各1回研究会を行なった後、2010年3月27日に東京で学術会議を実施
2	日・中・韓における日本研究—伝統、範囲、方法	韓国 中国	日本研究サーベイ実行委員会	2009. 07. 01 ～ 2009. 10. 31	中国と韓国における日本研究を政治学と国際関係論に限定して、日本における日本研究と比較しながら、東アジア3カ国における日本研究を通して、近隣諸国間の理解を深める国際会議を2009年10月16日に新潟県立大学で実施、成果を <i>Japanese Journal of Political Science (Cambridge University Press)</i> に掲載
3	国際シンポジウム「変動する国際秩序と東アジア地域協力の新課題—平和維持・協力の枠組み・人材育成—」	韓国 中国	東アジアシンポ実行委員会	2009. 11. 24 ～ 2009. 11. 25	東アジア地域の平和と繁栄を維持し、地域協力の枠組みをいかに充実し強化していくかについて、日本・韓国・中国と台湾の学者や有識者が平和の維持と発展・協力枠組みの充実と強化・地域協力を担う次世代人材の養成という3つの側面からその方向と目標及びそれを実現するための方途について討論し、意見交換を行う国際会議を実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
4	第5回北京－東京フォーラム in 大連	中国	特定非営利活動法人言論NPO	2009. 11. 02 ～ 2009. 11. 03	第5回「北京－東京フォーラム」（10年計画事業の第2ステージの1年目）では、これまでに定着した「公共外交」の舞台としての役割、日中両国民の相互理解をさらに深めるため、日中両国を、課題解決やアジアの将来に向けて具体的な協力や交流を生み出し、国民により開かれた発信力を持つ舞台に発展させるための議論を行った
5	日中知的交流シンポジウム	中国	中国社会科学院日本研究所	2010. 03. 20 ～ 2010. 03. 21	日中双方の産官学の有識者12名を一堂に集め、日中両国の社会的発展に対する、これまでの日中協力による広範な貢献を評価、確認するとともに、今後の新たな形で日中協力の在り方や、アジアひいては国際社会に貢献するための両国の具体的な協力の方途について検討
6	第4回日本モンゴル文化フォーラム	モンゴル	第4回日本モンゴル文化フォーラム実行委員会	2010. 01. 01 ～ 2010. 03. 31	日本・モンゴル両国政府が2007年に合意した「今後10年間の日本・モンゴル基本行動計画」に盛り込まれた行動計画の一環として、2年に1度を目処に実施されるフォーラムの第4回目会議。2010年3月2日～4日にウランバートルで開催。「文化・芸術マネジメント」をテーマに、両国の文化、芸術及び学術面における協力目標、指針等について討議
7	台湾における日本研究	台湾	早稲田大学台湾研究所	2010. 03. 31 ～ 2010. 03. 31	早稲田大学台湾研究所が2008年12月～2009年6月の期間に実施した、台湾での日本研究の現状、実態、課題等を調査した結果を報告書『台湾における日本研究－制度化の現状、課題と展望－』として出版
8	平和とデモクラシーのためのイスラム知識人女性の能力開発	インドネシア シンガポール	マンバサキタ財団	2009. 09. 01 ～ 2009. 11. 30	ミンダナオにおける紛争解決には女性による草の根レベルでの貢献が必須であるという認識から、シンガポールとインドネシアから女性ムスリム指導者、日本からは平和構築分野の専門家が参加し、女性ムスリムの能力開発・指導者育成会議を、2010年1月24日にミンダナオ（フィリピン）にて実施
9	大規模災害回避・軽減のための経験と教育：日本と東南アジアの防災文化	インドネシア タイ フィリピン ベトナム	フィリピン大学国際研究センター	2009. 11. 01 ～ 2010. 03. 31	台風、水害、津波、噴火等の災害常襲地域において、地域社会における過去の長い災害の体験や教訓が伝承され、災害時の避難行動や普段の備えにも生かされる「防災文化」というコンセプトに注目し、自然災害の被害を最小限に抑えるための実践や防災・減災害教育について東南アジアと日本の専門家が経験を共有し議論する国際会議。2010年2月15日～16日にケソン（フィリピン）にて実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
10	ミンダナオ伝統文化記録	フィリピン	ミンダナオ文化芸術センター	2009.08.01 ～ 2009.10.31	平成20年度に実施したフィリピン・ミンダナオ地方のマギンダナオ族が伝承する祖先との交霊儀礼「イパット」の映像・関連インタビューの録画・記録事業を実施。今回は、右の成果を書籍で出版し、DVDを作成する事業を支援

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (3) 知的交流会議 (主催) [アジア・大洋州]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業 (国際会議、セミナー、ワークショップ等) を開催する。

合計額 56,361,915 円

事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1 社会的企業が拓く日韓の新たな出会い	韓国	財団法人希望製作所	2009.04.01 ~ 2010.03.31	日韓両国の社会的企業 (社会的な目的のために事業を行う非営利企業) の専門家・実践者を集め、専門家会議と公開シンポジウムを実施。日韓の社会的企業をとりまく状況の相違点と類似点の認識に基づき、社会的企業の発展に向けた日韓双方、あるいは共同での取り組みのあり方を報告。21年度は建国大学校 (ソウル) で実施
2 日中韓次世代リーダーフォーラム2009	韓国 中国 日本	韓国国際交流財団 中華全国青年連合会	2009.10.08 ~ 2010.10.16	日中韓3カ国各界の次世代リーダー計18名が10日間をかけて、3カ国をめぐり、互いの社会文化を理解し合い、東アジアの将来に関する重要なテーマについて議論し、信頼醸成を促進
3 日中韓文化交流フォーラム	韓国 中国	財団法人文化財保護・芸術研究助成財団	2009.10.15 ~ 2009.10.16	東北アジア地域における民間主導の文化交流を積極的に支援・展開し、同地域の共同繁栄と発展に寄与することを目的に、2005年から毎年開催されている「日中韓文化交流フォーラム」の第5回会議が中国の揚州で開催されるにあたり、開催地の江蘇省及び揚州市政府が主催する2つの文化イベントに専門家を派遣
4 中国人研究者グループ招へい	中国		2009.04.01 ~ 2010.03.31	日本を専門としないが対日理解・関心を促すことに長期的な効果が期待される国際問題専門家8名を中国から招へい。2009年11月の上海グループ (3名) と2010年1月の北京グループ (5名) に分け、一週間程の訪日プログラムにおいて、同分野の日本人研究者・専門機関とのネットワーク形成を促進
5 周恩来と日本	中国	社団法人日本中国友好協会 周恩来鄧穎超研究センター 早稲田大学 中日友好協会	2009.04.01 ~ 2010.03.31	中華人民共和国建国60周年を記念し、1972年の日中国交正常化を実現した象徴的人物である周恩来中国初代首相 (1898-1976) の写真展「周恩来と日本」のオープニングに続いて開催した同名のシンポジウム。日中両国の研究者による基調講演とパネルディスカッションで構成
6 五百旗頭眞防衛大学校長中国派遣	中国	中央党校文史部 中国科学院 北京大学	2009.05.31 ~ 2009.06.03	五百旗頭眞 (防衛大学校長) を中国へ派遣。北京のシンクタンクや大学での講演とともに、関係者との意見交換を実施
7 中国研究者個人招へい	中国	財団法人日本国際フォーラム	2010.01.13 ~ 2010.08.20	日本に滞在した経験の少ない中国の若手・中堅の知識人及び研究者7名を日本に招へい。日本社会・文化などに触れる機会を提供することで日本についての理解を促進するとともに、日本人研究者/専門家等との交流・対話などを通じて個人的な関係を築くことにより将来的な日中間の知的ネットワークを形成

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
8	日中知的交流フォーラム	中国	北京日本学研究中心	2010. 03. 29	今後の日中両国間の知的交流ネットワークを形成・強化していくうえで必要となるもの、さらには国際交流基金や北京日本学研究中心が果たすべき役割等について検討することを目的に日中両国の研究者・専門家を集め会議を実施
9	第2回アチェの子どもたちと創る演劇ワークショップ(事前準備)	インドネシア	ジャカルタ芸術協会 (Dewan Kesenian Jakarta)  コミュニタス・ティカル・パンダン (Kommunitas Tikar Pandan)	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	文化・芸術による元紛争地の復興支援事業として、紛争被害の経験を持つ中学生・高校生を対象に2007年に実施した「アチェの子どもたちと創る演劇ワークショップ」の第2回目に係わる準備。2009年10月の実施に向けて同年5月に演劇専門家2名を派遣し事前準備会合と小ワークショップを行ったが、その後、現地の治安状況が悪化したため実施を延期
10	東南アジア若手イスラム知識人グループ招へい	インドネシア フィリピン マレーシア		2009. 11. 04 ~ 2009. 11. 13	東南アジア諸国と日本の関係強化に寄与すべく、次世代イスラム知識人と目される若手研究者の日本理解促進を目的として訪日研修を実施。インドネシアから5名、マレーシア及びフィリピンから1名ずつ計7名を招へい
11	日本・メコン交流年タイ講演	タイ	チュラロンコン大学安全保障国際問題研究所	2010. 02. 18 ~ 2010. 02. 21	日本の新政権の政策がアジア外交に与える影響や、東アジアの安全保障と今後の域内協力のあり方について、「東アジアの地域秩序の変容における日本とタイ」と題する講演会をバンコクにて実施。内閣府・総合科学技術会議常勤議員である白石隆（政策研究大学院大学教授）を派遣
12	日本・メコン交流年ベトナム講演	ベトナム	ハノイ国家大学・人文社会科学大学  ベトナム社会科学院  ホーチミン国家大学人文社会科学大学	2009. 11. 24 ~ 2009. 12. 04	日本や世界をより複眼的に理解するための東南アジア史（東南アジア理解）の意義、東南アジア史と日本史をつなぎ比べる視点、互いの歴史や文化に対する誤解やその歴史的背景の考察を通じ、日本人やベトナム人の対東南アジア観及び日本観をあらためて見直す講演事業を、ハノイとホーチミンで実施。桃木至朗（大阪大学教授）を派遣
13	東南アジア研究地域交流プログラム (SEASREP)	東南アジア地域区分困難	SEASREP財団  トヨタ財団	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	東南アジア諸国における人文・社会科学分野の東南アジア研究者間の相互理解の促進とネットワーク構築を促進することにより東南アジア地域における東南アジア研究を推進するプログラム (SEASREP) を運営。「Luisa Mallariフェローシップ（修士・博士課程）」及び「アジア・エンポリウム・コース（大学生向け東南アジア理解入門集中講座）」を実施

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (4) 市民青少年交流 (助成) [アジア・大洋州]

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業 (通常の助成事業) に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 9,170,674 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	Study Trip from Korea to Japan 2009	韓国	アジア法学生協会ジャパン	2009.08.10 ~ 2009.08.14	日本の法学生50名、韓国の法学生20名を東京に招き、日韓両国に共通する問題について議論し、両国間の価値観や認識の相違の理解・尊重に基づく法的・論理的思考によって問題解決への意識を共有。また学術交流に加え、文化交流を行うことによって、日韓の法学生が相互理解を築き、その下に本質的な友好関係を構築することを目指す
2	第7回学生のための国際ビジネスコンテスト OVAL	韓国 中国	OVAL実行委員会日本委員会	2009.08.10 ~ 2009.08.22	日本、韓国、中国の大学生を対象とした国際ビジネス・プランニング・コンテストの企画、運営
3	北東アジア青年国際シンポジウム	韓国 中国 モンゴル ロシア	東アジア学会	2009.10.30 ~ 2009.11.01	国際経済のブロック化が進む中、北東アジア地域の平和と共同繁栄の方策が求められている。そのために、毎年北東アジアの各国巡回で、青年国際シンポジウムを開催。北東アジアの未来を担う青年たちが一堂に会して、この地域の共同繁栄への方策を討論し合い、北東アジア青年ネットワーク確立のための機会を提供
4	多文化共生を考える日韓青年プログラム	韓国	在日コリアン連合 (KEY) 東京	2009.11.27 ~ 2009.11.30	日本・韓国・在日コリアンの青年がフィールドワーク及びシンポジウムを通じ、外国人が急増しており「多文化共生社会」がいつそう重要な課題となってきた日韓両国の現状について理解を深め、また他の在日外国人青年との交流・対話を行える場を創出
5	北東アジア学生ラウンドテーブル	韓国	北東アジア学生ラウンドテーブル	2009.12.05 ~ 2009.12.07	秋田で学ぶ学生が、北東アジアの国々の学生と互いの関心事等を忌憚なく語り合い、より良き将来の関係を築こうと学生主導の任意団体、北東アジア学生ラウンドテーブルを結成。事業は、隣国韓国の学生との間で開催する初めてのソウル会議で、一定のテーマについての議論と意見交換を通じて学生同士の交流と相互理解を深めた
6	第44回日韓学生会議	韓国	日本国際学生協会	2009.12.23 ~ 2009.12.28	日本人学生30名、韓国人学生30名が、5泊6日の会議の間、分科会などの学術企画や文化紹介フィールドワークなどの異文化体験を通じて交流。また、本会議で学んだ内容を社会に向けて発信
7	日中青年会議 (Sino-Japan Youth Conference)	中国	日中青年会議委員会	2009.08.11 ~ 2009.08.19	本会議は大学生・高校生によって企画・運営され、日本と中国の中学・高校生を対象とする。日中関係の諸問題のディスカッション、文化交流企画、中国本土でのボランティア活動を通して日中相互理解の促進を図るプログラム
8	フェアトレードを媒体とした日比相互交流促進事業	フィリピン	ソルト・パヤタス	2010.03.17 ~ 2010.03.29	フィリピンの貧困地域でフェアトレード事業を推進する女性生産者を招き、福岡、茨城、神奈川、京都の4府県で、フェアトレードによるエンパワーメント効果や教育への影響について報告。男女共同参画社会の実現に向け活動する国内の女性団体と地域活性化と女性の役割について意見交換を行い、相互理解を深める

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
9	第13期日本インド学生会議 本会議	インド	日本インド学生会議	2009. 08. 16 ～ 2009. 08. 30	日印間の相互理解を促進させるための草の根交流を目指す。日本とインドの両国学生を主体とする国際会議の分科会・文化交流会・企業訪問などから成る本会議を日本側委員会として企画運営する
10	日印農業協力に関する「新潟討論」	インド	ジャワハルラル・ネルー 大学 (JNU) 日本同窓会	2009. 12. 01 ～ 2010. 12. 05	インドからアンドラ・プラデシュ州農業大臣他を招へいし、稲作を中心としたインド農業の機械化と両国間の農耕法等につき日本の米どころである新潟県にて意見交換し、将来の共同研究・開発へと発展させていく
11	第25回日韓学生フォーラム	アジア地域区分 困難	第25回日韓学生フォーラム 実行委員会	2009. 08. 05 ～ 2009. 08. 19	2009年8月に東京、大阪、広島において日韓両国に住む学生40名が2週間の共同生活を送り、日韓関係に存在する問題について自由で率直な討論を行う事業。今次のキーワードは「新時代 -It's time for action」。各メンバーの発表や一般公開のシンポジウム、文化紹介等を通じて参加者の相互理解を促進するとともに、日韓両国の架け橋となることを目指す
12	京論壇2009	アジア地域区分 困難	「京論壇2009」日本側実行 委員会	2009. 09. 15 ～ 2009. 10. 04	東京大学、北京大学の学部生、院生による日中の大学生間の討論・交流プログラム。北京セッション (9月15日～21日) と東京セッション (9月27日～10月4日) で構成され、両大学キャンパスで日中間の課題を話し合い、交流を深めた
13	第4回広島サマースクール	全世界区分困難	国際医学生連盟日本支部	2009. 08. 18 ～ 2009. 08. 23	原爆の被害や人類への影響を医学的視点を含む様々な視野から学習することを目的とする。国際医学生連盟 (IFMSA) を通じて国内外から医療系学生を、国内からは医療の枠を超えた多方面から学生を募り日英同時通訳で行う国際会議
14	田んぼの環境教育と環境保全の研究と交流	全世界区分困難	アジア田んぼの学校	2009. 10. 31 ～ 2009. 11. 01	稲作を行っている日本とアジアモンスーンの市民が集い、以下の4つの役割について対話し、見識を深め、認識を共有し、国際的な協働の成果を社会に発表することで、社会に貢献する。①田んぼの環境教育的役割、②田んぼの生物多様性を保全する役割、③田んぼの日本の自然観を醸成してきた役割、④田んぼの持続可能な社会を形成する役割
15	エージーエス エーエム 2010	全世界区分困難	エージーエス・ユーティ エスシー エーエム 2010 実行委員会	2010. 03. 16 ～ 2010. 03. 20	世界の一流大学 (マサチューセッツ工科大学、スイス連邦工科大学、チャルマーズ大学) からサステイナビリティ研究に関わる学生・研究者が東京大学に集まる機会を活用し、東京大学の学生が主体となり4泊5日のセッションを行う。特にアジアに着目し、将来のアジアの持続可能な発展を担うリーダーの育成を目指す



アジア・大洋州交流事業費

4. 文化資料事業費 / (1) 図書寄贈 [アジア・大洋州]

海外の日本研究・教育機関の図書館に対し、日本関係図書を寄贈する。

合計額 778,153 円

	事業名	対象国	対象機関	冊数	期間	事業内容
1	渡辺健基金記念図書寄贈	中国	天津社会科学院	204	2009.04.01 ~ 2010.03.31	渡辺健基金の運用益にて、天津社会科学院に対して日本研究関連図書を寄贈

# 日本研究・知的交流事業に必要な経費

## 欧州・中東・アフリカ交流事業費

### 1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究ネットワーク強化（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 日本研究ネットワーク強化（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 日本研究機関支援〔欧州・中東・アフリカ〕

### 2. 人物交流事業費

- (1) 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 日本研究フェローシップ（短期）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (4) 知的リーダー交流（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (5) 知的リーダー交流（派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕

### 3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 知的交流会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 市民青少年交流（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 / (1) 日本研究ネットワーク強化 (主催) [欧州・中東・アフリカ]

学問分野を超えた日本研究者・研究機関相互の連携と協力を推し進め、各国・地域における中核的な知日層とわが国の長期的な関係を維持発展させるため、海外の日本関連学会や元日本人留学生の組織化・活動を支援する。

合計額 3,368,316 円

	事業名	開催国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	中・東欧日本研究 巡回セミナー	ブルガリア	ソフィア	ソフィア大学経済 学部	ソフィア大学	2009. 11. 03 ~ 2009. 11. 11	角南篤 (政策研究大学院大学准教授) 小川三 郎 (一橋大学教授) を3カ国に巡回派遣し、日 本の企業文化について講演
		ルーマニア	ブカレスト	ブカレスト経済大 学	ブカレスト経済大 学		
		ハンガリー	ブダペスト	コルヴィヌス大学	コルヴィヌス大学		

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 / (2) 日本研究ネットワーク強化 (助成) [欧州・中東・アフリカ]

国境・学問分野を超えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 27,784,829 円

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
1	天理ワークショップ準備委員会	英国	2009.04.01 ~ 2010.03.31	海外日本研究司書のための天理古典ワークショップを支援
2	英国日本研究協会	英国	2009.08.01 ~ 2009.12.31	英国の東アジア研究学会と日本研究学会が合同で学会を開催し、研究者交流を実施
3	ドイツ日本研究会	ドイツ	2009.05.01 ~ 2010.03.31	第14回ドイツ語圏日本研究者学会を支援
4	オスロ大学図書館	ノルウェー	2009.04.01 ~ 2010.03.31	NIAS Linc (アジア研究に関わる北欧機関) の運営するウェブサイトを通じて優良な日本語データベースを提供
5	オスロ大学	ノルウェー	2009.10.01 ~ 2010.03.31	第7回北欧現代日本研究会を支援
6	日本資料専門家欧州協会 (EAJRS)	欧州地域区分困難	2009.04.01 ~ 2010.03.31	第20回国際日本資料専門家欧州協会研究集会を支援
7	ヨーロッパ日本研究協会 (EAJS)	欧州地域区分困難	2009.04.01 ~ 2010.03.31	ヨーロッパ日本研究協会 (EAJS) 事務局運営費及びPh.Dワークショップ開催を支援
8	ロシア日本研究者協会	ロシア	2009.04.01 ~ 2010.03.31	国際会議、紀要出版、リサーチプロジェクト、論文コンテスト、事務局経費の支援
9	テルアビブ大学	イスラエル	2009.04.01 ~ 2009.09.30	テルアビブ大学東アジア学科が東アジア研究の年次大会を開催。イスラエル国内から約100名の参加。東アジア研究者の研究成果発表と研究者間交流を目的とし、同研究の発展への貢献を目指す学会を支援

1. 日本研究事業費 / (3) 日本研究機関支援 [欧州・中東・アフリカ]

各国において日本研究の中核的役割を担うべき単一・少数の機関に対し、日本研究事業の拡充・発展に必要な様々な支援を、包括的、集中的且つ中長期的に行い、該当国の日本研究基盤となる拠点機関の整備を進める

合計額 49,049,464 円

	対象機関	対象国	期間	事業内容
1	アイスランド国立大学図書館	アイスランド	2009.04.01 ~ 2010.03.31	日本研究関連の図書寄贈
2	ヴェネチア大学	イタリア	2009.04.01 ~ 2010.03.01	イタリア最大の同大日本研究学部専属図書館の充実、20世紀を通じての日本における前衛を俯瞰しその社会的文化的影響を討議する国際会議、及び水戸学に関する集中講義の実施を支援
3	ブリストル大学	英国	2009.04.01 ~ 2010.03.31	日本研究関連の図書寄贈
4	シェフィールド大学	英国	2009.09.01 ~ 2010.08.31	日本ビジネス・経済学担当講師の給与助成
5	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院	英国	2009.09.01 ~ 2010.08.31	日本経済分野の専任教員雇用のための経費助成
6	チューリッヒ大学	スイス	2009.06.25 ~ 2009.12.31	「江戸時代の日本と諸外国」に関する講義を支援

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	対象機関	対象国	期間	事業内容
7	サラマンカ大学	スペイン	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	人文・社会科学分野の図書寄贈
8	ケルン大学	ドイツ	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	研究の一次資料に準ずる文献、特に文化史、女性史、日中関係に関する図書の補充を支援
9	ハイデルベルク大学	ドイツ	2009. 09. 01 ～ 2010. 08. 31	日独両語間の通訳養成修士課程を世界で初めて設置。3年間の期間で教員拡充を行い、被採用者は通訳翻訳に関する3つの講座を担当
10	オスロ大学	ノルウェー	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	現代日本研究分野の客員教授派遣及び日本研究関連の図書寄贈
11	国立政治学財団	フランス	2009. 09. 15 ～ 2010. 06. 15	日本講座「ジャパン・チェア」への支援。前期（10～2月）と後期（2～6月）それぞれ1名の日本人教授が申請団体にて集中講義を実施
12	ルーヴァン・カトリック大学	ベルギー	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ベルギー唯一の日本学科として、近世・近代・現代史、言語学、政治、法学、経済学などの教育・研究を進めており、これらの分野の専門図書拡充を支援。また日欧の法制度の改正の過程、新制度の導入・実施等について会議を支援
13	タシケント国立東洋学大学	ウズベキスタン	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	政治・経済、文化、翻訳分野の日本研究図書を補充。 また言語学分野での学位取得者の育成、将来における日本研究の振興に必要な日本語研究・教育の質的向上を目的として、池上嘉彦（昭和女子大学名誉教授）を派遣
14	ザグレブ大学	クロアチア	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	「日本文学入門1-6」「日本史・日本文化入門1-6」「日本語演習」講義を担当する教員の雇用経費助成及び日本研究関連の図書寄贈
15	プレシヨウ大学	スロバキア	2009. 09. 01 ～ 2009. 11. 30	「日本語学習コース」「日本社会論」「日本スロバキア比較研究」講義を担当する客員教授を派遣
16	カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学	ハンガリー	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	『日本学入門』出版助成及び日本研究関連の図書寄贈
17	ソフィア大学	ブルガリア	2009. 10. 01 ～ 2010. 09. 30	日本研究の教員拡充助成（3年計画事業の2年目）
18	極東国立総合大学東洋学大学	ロシア	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	紀要『日本言語文学研究センター通報』『日本と現代世界』と、モノグラフ『日本古典歌学』の出版助成。また「アジア・太平洋地域諸国体制における日本の立場」、「明治時代の日本近代文学の登場と発展。伝統と現在」の各テーマについて、研究者が来日し資料収集・研究を実施
19	バグダッド大学	イラク	2009. 07. 05 ～ 2009. 07. 24	バグダッド大学歴史学部に所属する教員6名の訪日研究及び人的ネットワーク形成を支援。日本側受入団体と協働し、関係機関訪問や日・イラクを対象とした研究会議を開催。イラクにおける日本研究の発展に有用な資料収集も同時支援
20	テヘラン大学	イラン	2009. 09. 01 ～ 2010. 06. 30	日本語・日本文学科への教員拡充助成プログラムにより、「翻訳論」等に関する講義を受け持つ教員の雇用、及び客員教授を派遣し、日本語教授法に関する講義実施を支援。その他、日本研究関連図書を補充
21	ダマスカス大学	シリア	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	日本語学科へ客員教授を派遣し、3、4年生向けに「日本の社会事情」や「日本社会研究方法論」等の講義を実施。また日本研究関連の図書を補充
22	アインシャムス大学	エジプト	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	日本語学科へ日本文学と言語学の担当教員それぞれ1名の派遣助成を実施。日本から電子メール等を利用した修士論文執筆指導を行う「リモート論文指導」を実施

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	対象機関	対象国	期間	事業内容
23	カイロ大学	エジプト	2009.04.01 ～ 2010.03.31	アジア研究センターにおける日本研究入門の集中講座開催を支援。また同講座へ日本経済に関する専門家を派遣

欧州・中東・アフリカ交流事業費

2. 人物交流事業費 / (1) 日本研究フェローシップ (学者・研究者) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 41,808,785 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	CENTONZE, Katja	カラブリア大学 非常勤講師	イタリア	早稲田大学演劇博物館	2009.06.13 ~ 2010.05.11	「身体論と技術：舞台芸術から土方巽の舞踏へ。パフォーマンスとテキストにおける身体とメディアをめぐる」
2	ORSI, Maria Teresa	ローマ国立大学 教授	イタリア	東京大学	2009.10.02 ~ 2009.12.30	注釈や、用語解説、序文、作品解説などを添えた「源氏物語」のイタリア語への翻訳の完成
3	BRUCE, David Simon	ロンドンメトロポリタン大学 上級講師	英国	京都大学経済学部	2009.10.01 ~ 2010.09.30	グローバリズムと日本経済に関する図書執筆
4	DANIELS, Inge Maria	オックスフォード大学 講師	英国	国立民俗学博物館	2009.06.27 ~ 2009.09.26	日本の都市生活における「くつろぎ」-展示
5	GARDINER, Michael	ウォーリック大学 助教授	英国	青山学院大学	2009.12.14 ~ 2010.06.12	欧米の文学論における世界文学論と1920～1970年日本文学におけるモダニズム
6	GERSTLE, Andrew	ロンドン大学SOAS 教授	英国	立命館大学	2009.09.11 ~ 2010.09.10	十八世紀の女性向け教訓書とその春本パロディ
7	HANSEN, Paul, Simon	ロンドン大学SOAS 研究員	英国	国立民俗学博物館	2009.06.14 ~ 2010.06.13	日本の都市生活におけるペットと家族の結びつき
8	RODRIGUEZ NAVARRO, Maria Teresa	バルセロナ自治大学 通訳・翻訳学部 研究員	スペイン	国際日本文化研究センター	2009.06.24 ~ 2009.09.23	明治時代の異文化間交流：文化交流の仲介者としての日本人作家、翻訳者、その役割
9	LEINSS, Gerhard	チューリッヒ大学 講師	ドイツ	京都大学	2008.09.01 ~ 2009.08.31	日本の暦の文化史的研究
10	NEIBERGER, Cordula	フィリップス大学 助教授	ドイツ	立命館大学	2009.08.04 ~ 2009.10.06	国際化とネットワークにおける埋め込み
11	HOUDART, Sophie	人類学・比較社会学研究所 研究員	フランス	多摩美術大学	2009.07.03 ~ 2009.09.08	Pixelを通して見た世界、日本のデジタル技術革新
12	PEETERS, Bruno, Henri Albert	セント・ルーカス大学 教授	ベルギー	東京大学大学院新領域創成科学研究科	2010.02.01 ~ 2011.01.28	高齢化、縮小化する社会状況における日本の都市計画の潜在性、転換の可能性及び再評価
13	BEKES, Andrej	リュブリャナ大学 正教授	スロベニア	東京工業大学	2010.02.01 ~ 2010.09.30	南不二男による文の階層構造モデルの話し手・聞き手の確立論的言語能力モデルとしての再解釈：日本語会話における統語的共起のコーパス研究
14	SEKULOVIC, Ana	メガトレンド大学 准教授	セルビア	早稲田大学政治経済学術院	2009.08.30 ~ 2009.09.30	日本の現代経済

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
15	STARECKA, Katarzyna Violetta	ワルシャワ大学 助教授	ポーランド	東京大学文学部・大学院人文社会系研究科	2010.02.17 ~ 2011.02.16	近現代日本における愛国心教育の問題点
16	KLIMOV, Vadim Yurievich	サンクトペテルブルク大学 助教授	ロシア	東京大学史料編纂所	2008.10.03 ~ 2009.08.02	19世紀初めのロシアと日本に関する史料の研究
17	KOVALCHUK, Marina Konstantinovna	極東国立総合大学東洋学大学 助教授	ロシア	大阪大学大学院言語文化研究科	2009.07.05 ~ 2010.06.30	日清戦争期の日本の新聞に診るロシアとイギリス『国民新聞』と『時事新報』の見解・比較的分析
18	PESTUSHKO, Yuri Sergeevich	極東国立人文大学 准教授	ロシア	名古屋大学大学院国際開発研究所	2008.08.31 ~ 2009.08.30	20世紀初頭の日露関係史
19	PETROV, Alexander Ivanovich	ロシア科学アカデミー 極東支部 主任研究員	ロシア	北海道大学スラブ研究センター	2009.12.03 ~ 2010.02.11	人口学的、社会的及び経済的発展のコンテキストで見たロシア極東在住日本人：1855～1991
20	SHUBIN, Valery	サハリン州立博物館 副館長／考古学研究室長	ロシア	東北大学大学院文学研究科考古学研究室	2009.07.01 ~ 2009.09.30	縄文文化考古学遺跡の研究

2. 人物交流事業費 / (2) 日本研究フェローシップ (論文執筆) [欧州・中東・アフリカ]

人文・社会学の研究者で博士論文作成のため来日する必要があるものを招へいする。

合計額 74,340,050 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	GAITANIDIS, Ioannis	リーズ大学 博士課程	英国	駒澤大学	2008.09.01 ~ 2009.11.30	宮崎県におけるシャーマンの社会医療的な役割
2	KASZA, Justyna Weronika	リーズ大学 博士課程	英国	上智大学	2008.09.01 ~ 2009.08.31	遠藤周作の文学における悪の問題
3	SWITEK, Beata	ロンドン大学 博士課程	英国	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科	2008.11.07 ~ 2010.01.07	在日インドネシア系移民の社会政治学的アイデンティティ
4	TUCK, Robert James	コロンビア大学 大学院生	英国	早稲田大学政治経済学部	2008.10.01 ~ 2009.11.30	明治時代における詩歌、小説とジャンル：鴉外、漱石、子規
5	SEIDL, Bernhard	ウィーン大学東アジア研究所 非常勤講師	オーストリア	東京国際大学	2009.08.17 ~ 2010.08.16	日本語は「回帰」するのか～日本のポップス曲歌詞に見る外来語使用の変化とその社会的意義について
6	PUTNAM, David Jerome	チューリッヒ大学 博士課程	スイス	立命館大学	2008.06.02 ~ 2009.07.02	道成寺伝説の様々な実体化において「変身」という概念
7	GUSTAFSSON, Karl Anders	ストックホルム大学 博士課程	スウェーデン	東京大学	2009.05.15 ~ 2010.07.11	日中関係の記憶とアイデンティティ：平和・戦争記念館の事例から



欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
8	LOPEZ-Vidal, Lluç	ボンペウ・ファブラ大学 講師	スペイン	慶応義塾大学	2009.05.17 ~ 2010.04.03	冷戦後の日中関係における安全政策、ヘッジ への戦略？
9	FERSTL, Katja	ミュンヘン大学 博士課 程	ドイツ	東京大学	2009.06.13 ~ 2010.06.12	現代日本の消費行動における私的写真の役 割：年齢・ジェンダーを特定した比較
10	LARSEN, Per Bojesen	日本経済学チェア 研究 助手	ドイツ	東洋大学	2009.09.01 ~ 2010.02.28	知識創造：日独クラスター政策の評価
11	SCHMIDT, Jan	ルール大学東アジア研究 部日本史学科 専任講師	ドイツ	一橋大学	2009.10.06 ~ 2010.04.05	いわゆる「欧州大戦」－1914年から1938年ま で日本における第一次世界大戦と列国戦時下 の動員体制の受容と解釈
12	PATARI, Juho Matti	ヘルシンキ大学アジアア フリカ研究所 大学院生	フィンランド	明治学院大学	2008.08.05 ~ 2009.04.15	東京のホームレスの社会相関学
13	KAVEDZIJA, Iza	ザグレブ大学 研究助手	クロアチア	大阪大学	2009.09.17 ~ 2010.11.16	よき生活、理想の家－現代日本において変化 している「グッドライフ」についての考え
14	MAJSTORAC KOBILJSKI, Aleksandra	ニューヨークシティー大 学 博士課程	セルビア	同志社大学	2008.10.01 ~ 2009.09.01	京都とバイエルンにおける近代化～キリスト 教の大学を事例として
15	VASZKUN, Balazs	ブダペスト・コルヴィヌ ス大学 博士課程	ハンガリー	早稲田大学	2009.10.01 ~ 2010.08.31	ネットワーク経済の構造と特徴：限界と利益
16	LESNICZAK, Marcelina	アダム・ミツケヴィツ チ大学東洋研究所 博士 課程	ポーランド	神戸大学	2009.10.02 ~ 2010.03.31	谷崎潤一郎文学における戯曲作品と文学の中 に見られる伝統芸能のモチーフ
17	NOWAK, Wojciech Jerzy	アダム・ミツケヴィツ チ大学 博士課程	ポーランド	東京大学文学部・大学院 人文社会系研究科	2009.10.01 ~ 2010.03.31	江戸文学での言葉と図
18	RUTKOWSKA, Iga Katarzyna	ワルシャワ大学東洋学部 博士課程	ポーランド	東京大学文学部・大学院 人文社会系研究科	2009.09.30 ~ 2010.06.29	地芝居と中央歌舞伎比較研究。田舎における 町人演劇
19	SONNENBERG, Katarzyna Anna	ヤギエオ大学 博士課程	ポーランド	お茶の水女子大学	2009.09.28 ~ 2010.11.27	「樋口一葉の日記・作品における女性のイ メージ」
20	RUSU, Renata Maria	バベシユボヨイ大学 博 士課程	ルーマニア	浜松学院大学	2009.07.05 ~ 2010.09.04	日本の神話や祭事における世界軸
21	TYZHINOVA, Natalia Alexandrovna	バイカル国立経済法科大 学 博士課程	ロシア	京都大学大学院経営管理 研究部	2009.08.28 ~ 2010.08.27	日本における生命保険
22	DOTAN, Oshrat	テルアビブ大学 博士課 程	イスラエル	多摩美術大学	2009.09.05 ~ 2010.09.04	見えない世界へ：もの派における視覚と知覚 の様相、1968～1971
23	FRUMER, Yulia	プリンストン大学 博士 課程	イスラエル	東京大学	2009.06.07 ~ 2010.01.30	時間の形象：江戸時代における機械時計の歴 史的な認識

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
24	ZWIGENBERG, Ran	ニューヨーク市立大学大学院センター 博士課程	イスラエル	広島市立大学国際学部	2009.06.26 ~ 2010.06.25	沈黙の記憶：広島平和祈念館
25	ATAY, Aysegul	アンカラ大学文学部日本語日本文学科 助手	トルコ	国立国語研究所	2009.05.31 ~ 2010.05.30	日本語のタ形とトルコ語の過去形
26	EBEID, Ehab Ahmed	カイロ大学文学部日本語日本文学科 准講師	エジプト	京都大学大学院文学研究科	2009.07.17 ~ 2010.09.16	日本語とアラビア語の「トコロ性」
27	ELNOBY, Mohamed Hassan Mohamed	芸術アカデミー演劇高等研究所演劇批評学部講師	エジプト	九州大学	2009.10.02 ~ 2010.12.01	1960年代の日本とエジプト演劇の比較研究：別役実とアルフレッド・ファッラグ
28	HAFEZ, Naglaa Fathy	芸術アカデミー言語翻訳研究センター日本研究科准講師	エジプト	東京大学大学院総合文化研究科	2008.05.10 ~ 2009.07.09	近代日本演劇における『千夜一夜物語』（戦後演劇について）

2. 人物交流事業費 / (3) 日本研究フェロシップ(短期) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 11,278,341 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	HENNART, Jean-François	ティルバーグ大学組織戦略学科 教授	オランダ		2009.03.05 ~ 2009.05.03	米国の製造業に対する日本による直接投資の歴史
2	LARM, Lars Ingemar	ルンド大学日本語科 助教授	スウェーデン		2009.06.21 ~ 2009.08.05	国語学における「陳述」概念
3	KALINOWSKI, Thomas	梨花女子大学国際大学院 助教授	ドイツ	東京大学社会科学研究所	2009.12.27 ~ 2010.02.24	日本と金融のグローバルガバナンス
4	GAENS, Bart Jozef	ヘルシンキ大学欧州地域研究ネットワーク 主任研究員	フィンランド		2009.12.12 ~ 2010.01.23	ビジネス漫画を通してみる日本の企業文化－弘兼憲史の『島耕作シリーズ』を中心に
5	LEVY Christine	第三ボルドー大学日本語学科 准教授	フランス	日本女子大学	2009.06.11 ~ 2009.07.30	日本における女性運動史の概略と現代日本におけるジェンダー研究の状況
6	STIEFEL, Erhard	太陽劇団舞台美術家/仮面作家	フランス		2009.05.15 ~ 2009.06.14	能面の研究
7	BRIUKHOVETSKA, Olga	国立キエフモヒラアカデミー 准教授	ウクライナ	京都大学大学院人間・環境学研究科	2009.12.23 ~ 2010.02.20	日本映画における核（被爆）トラウマの表現について

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
8	EGOROVA Anna Aleksseyevna	国立エルミタージュ美術 館教育部門 研究員	ロシア		2009.05.25 ~ 2009.06.25	江戸期唐津焼、美濃焼、瀬戸焼（エルミタージュ所蔵品の研究のため）
9	MOLODYAKOVA, Elgena	ロシア科学アカデミー東 洋学研究所日本研究セン ター長	ロシア	法政大学法学部	2009.10.20 ~ 2009.12.18	日本社会の最新トレンドー情報化と社会寛容
10	STRELTsov, Dmitry Viktorovich	モスクワ国立国際関係大 学 教授	ロシア		2010.01.05 ~ 2010.02.24	日本におけるロシアのイメージの形成、並びにそれがロシアに対する日本の政治的戦略に果たす役割
11	JOULI, Mohamed	チュニス大学 助教授	チュニジア	筑波大学	2009.07.05 ~ 2009.08.18	日本の一村一品とチュニジアの農村開発運動：道徳経済手法に基づく比較研究
12	IKWUEMESI, Chukwuezugy Krydz	国立ナイジェリア大学芸 術学部 上級講師	ナイジェリア	国立民族学博物館	2009.10.11 ~ 2009.11.29	イボ文化とアイヌ文化間におけるコスモロジーの比較研究

2. 人物交流事業費 / (4) 知的リーダー交流（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕

諸外国の政治、経済、労働、メディア、教育等の各分野で影響力を有する人材を招へいし、日本側関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 40,579,442 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ（事業内容）
1	AKBAROVA, Zulfiyya Ibrahim	環境・天然資源省 エン ジニア	アゼルバイジャン	名古屋大学	2009.10.06 ~ 2009.12.04	環境と持続可能な開発
2	RAKHIMOV, Mirzokhid	科学アカデミー歴史学研 究所現代史・国際関係部	ウズベキスタン	北海道大学スラブ研究セ ンター	2010.03.03 ~ 2010.04.28	「日本と中央アジア～多国間協力の現状と展望」についての研究
3	SADIKOV, Mirkomil Mirzalievich	科学アカデミー東洋学研 究所中央アジア・中東部 次席	ウズベキスタン	政策研究大学院大学	2009.06.01 ~ 2009.07.31	ウズベキスタンにおける農村開発政策及び土地制度改革～東アジアでの政策との比較研究
4	MUKHTAROVA, Gaini Seisenovna	哲学・政治文化学院 大学院生	カザフスタン	静岡県立大学	2009.06.10 ~ 2009.08.07	伝統文化における世界のイメージ：日本とカザフスタンの比較研究
5	MACHARASHVILI, Nana	トビリシ国立大学政治学 部社会政治学科 准教授	グルジア	名古屋大学大学院法学研 究科	2009.05.31 ~ 2009.07.30	日本における公的セクターの改革：新たな好況行政モデルの適用
6	SANIKIDZE, George	トビリシ国立大学東洋学 研究所 教授	グルジア	大阪大学世界言語研究セ ンター	2009.07.02 ~ 2009.08.15	大中东圏問題と日本
7	TSULADZE, Lia	トビリシ国立大学社会学 部社会政策研究科 准教 授	グルジア	早稲田大学文学学術院	2009.09.11 ~ 2009.10.26	現代グルジアの若者文化—東西・欧亜の十字路で

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ（事業内容）
8	NOVAK, JuriJ	リュブリャナ大学法学部 犯罪学研究所 研究者	スロベニア	京都大学	2009. 10. 05 ~ 2009. 11. 20	日本の建設業界における贈収賄と組織犯罪
9	URSIC, Matjaz	リュブリャナ大学 指導 助手	スロベニア	首都大学東京人文科学研究科	2009. 08. 01 ~ 2009. 09. 04	都市再生と創造的文化的産業－日本とヨーロッパの比較
10	RYCHLIK, Martin	『ユーロマガジン』 編 集者	チェコ	東京大学	2009. 07. 01 ~ 2009. 08. 19	科学と社会－科学はマスメディアにおいてどう伝達され促進されるのか
11	ZAGORA, Nermina	サラエボ大学建築学部 助手	ボスニア・ヘルツ ェゴビナ	神戸芸術工科大学	2009. 07. 13 ~ 2009. 09. 12	日本から学ぶ－世界的傾向と地域的文脈の相 関関係における現代のインテリアデザイン
12	ZYKAS, Aurelijus	ヴィタウタス・マグヌス 大学日本研究センター 所長	リトアニア	桜美林大学	2009. 05. 17 ~ 2009. 06. 27	成功した国の文化的イメージの伝達：日本の ケースの研究
13	ASTASHENKOVA, Elena Valentinovna	ロシア科学アカデミー極 東支部極東諸民族歴史・ 考古学・民俗学研究所政 策文化人類学センター 主任研究員	ロシア	札幌学院大学人文学部	2009. 11. 03 ~ 2009. 11. 29	中世における東アジア諸国間の文化的相互作 用の過程
14	RABOGOSHVILI, Artem Anatolievich	ロシア科学アカデミーシ ベリア支部バイカル自然 管理研究所 主任研究員	ロシア	東洋大学社会学部	2009. 09. 14 ~ 2009. 11. 09	民族的アイデンティティの面から見た日本に おける新・中国移民
15	AL-DUAIS, Khaled Mohammed Saleh	国立ホテル観光学院 学科長	イエメン	目白大学	2009. 06. 24 ~ 2009. 08. 08	持続可能な観光開発と日本の政策の研究
16	AL-ZEYARA, Abdulla Jassim Mohammed	慈善活動庁 部長	カタール	滋賀大学	2009. 10. 12 ~ 2009. 11. 05	日本における青少年教育活動に関するNPOの役 割
17	KARASAR, Hasan Ali	ビルケント大学 講師	トルコ	東京大学	2009. 07. 05 ~ 2009. 08. 18	中央アジアの地域統合に関する外部アクター の認識：日本・トルコ比較
18	BUQAWA, Afaf Mubarak	アラブ・ガルフ大学 講師	バーレーン	電気通信大学	2009. 06. 29 ~ 2009. 08. 29	情報通信技術とジェンダーの研究

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ（事業内容）
19	中東グループ研修				2009. 11. 01 ～ 2009. 11. 22	中東・北アフリカ諸国の研究者、行政官、ジャーナリスト等を対象とした訪日研修。平成20年度に実施した研修が高評価を得たため、本年度も同じテーマ「産業発展と環境」で実施。但し、前年度研修参加者からのフィードバックを元に、日本の公害病経験や現代の環境管理の実践面により力点を置いて実施した
	Al-Mahdy, Sadek	水環境省大臣 顧問	イエメン			
	Al-Manshi, Hayder Mohammed	バグダッド大学環境工学部 インストラクター	イラク			
	Alipour, Sadredin	テヘラン交通・運輸機関（民間） 教育部長	イラン			
	Ayati, Bita	テルビヤット・モダッレス大学工学部 准教授	イラン			
	Ali, Khalid Abdulla M H	環境省環境アセスメント局 大規模プロジェクト審査長	カタール			
	Almasri, Maitham .F H A	内務省陸上交通局 メカニカルエンジニア	クウェート			
	Hifthi, Rasha Najeeb	Think N Link Cooperation Managing Partner	サウジアラビア			
	Yaghmour, Mohammed kazem M M	ジッダ商工会議所 観光部門責任者	サウジアラビア			
	Rasheid Alshayeb, Mohammed	産業省化学産業総合局 課長	シリア			
	Mete, Firat	環境・森林省EIA課 職員	トルコ			
	Abdullatif, Ali Ashoor	電気・水省 シニアエンジニア・研究開発グループ長	バーレーン			
	Alaya, El Sheikh Mohamad	レバノン電力公社 装備局長	レバノン			
	Hamamou, Sabah	アハラーム新聞社 ジャーナリスト（ビジネス）	エジプト			
	Hassan, Shadwa Esmat Abdel Kader	カイロ大学政治経済学部 行政学 准講師	エジプト			
	Ounnouch, Adil	永代財産・イスラム省 建築家	モロッコ			

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ（事業内容）
20	BENDARA, Mohammed	アドラール大学 助教授	アルジェリア	上智大学	2009.08.19 ~ 2009.09.30	アルジェリア解放戦線（FLN）極東支部：1957～1962年の活動と成果
21	AYOUB, Leila	環境技術都市建物高等研究所都市化研究部 助教授	チュニジア	首都大学東京	2009.07.29 ~ 2009.08.31	持続可能な都市計画と都市デザインに関する政府の政策、手法、戦略の比較研究
22	BEN HADJ SALEM, Hajer	スファックス大学 教育指導係	チュニジア	筑波大学	2009.05.10 ~ 2009.07.07	明治期とチュニジア独立期における日本とチュニジア社会におけるジェンダーの役割に関する伝統的アプローチの再考：比較研究
23	ZOURMBA, Abdourahman	FAOカメルーン事務所 情報コミュニケーション担当職員	カメルーン	名古屋大学大学院文学研究科	2009.08.03 ~ 2009.09.04	草の根開発：北部カメルーン地域住民の参加による影響と発展の可能性の研究
24	RASOAVOLOLONA, Felistine	NGO FIANTSO MADAGASIKARA	マダガスカル	首都大学東京	2009.08.25 ~ 2009.10.22	日本の経済成長における女性の役割

欧州・中東・アフリカ交流事業費

2. 人物交流事業費 / (5) 知的リーダー交流（派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕

日本と諸外国の知的対話の促進と、知的リーダー間のネットワークの構築・強化を推進するため、日本から知的リーダーを海外に派遣し、関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 7,042,830 円

	事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	ウィルトンパーク会議	竹川 東明	石炭エネルギーセンター 参事	英国	ウィルトンパーク	2009.10.08 ～ 2009.10.11	英国外務省系シンクタンクであるウィルトンパーク主催円卓会議に専門家を派遣。今回のテーマは「中国経済と環境・気候変動問題」
2	2009生物兵器専門家会合	古川 勝久 谷口 清州	科学技術振興機構 社会技術研究センター 主任研究員 国立感染症研究所 感染情報センター 第一室長	スイス		2009.08.24 ～ 2009.08.28	生物兵器禁止条約（BWC）の締約国が参加する年次会合のひとつ。「平和目的の生物学的科学技術の国際協力向上のための、疾病サーベイランス、検知、診断及び封じ込め等の分野におけるキャパシティ・ビルディングの促進」をテーマにした会議に専門家を派遣
3	日・EU共同シンポジウム	小池 洋次 庄司 克宏 萬歳 寛之	関西学院大学 教授 慶應義塾大学 教授 早稲田大学 准教授	欧州地域区分困難	ヨーロッパ・ポリシー・センター	2010.02.08 ～ 2010.02.09	外務省、欧州委員会及びヨーロッパ・ポリシー・センター共催「将来の日・EU関係に関する日・EU共同シンポジウム」に3名の専門家を派遣
4	国際会議「アフリカの角」におけるアイデンティティ、市民権及び地域統合に関する会議	竹田 いさみ	獨協大学 教授	ジブチ	Greater Horn Hrizon Forum (GHHF)	2009.11.07 ～ 2009.11.10	海賊対策を契機に国際的注目を集める「アフリカの角」地域において、地元出身有識者を結集し、地域の課題に対応するフォーラム（GHHF）による国際会議に専門家を派遣。テーマは「「アフリカの角」におけるアイデンティティ、市民権及び地域統合」

欧州・中東・アフリカ交流事業費

3. 催し等事業費 / (1) 知的交流会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップ等）を開催する。

合計額 32,190,389 円

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	国際シンポジウム「世界のコミックスとコミックスの世界ーグローバルなマンガ研究の可能性を開くために」	日本	京都精華大学国際マンガ研究センター	2009.12.18 ～ 2009.12.20	京都国際マンガミュージアムにおいて、コミックス・マンガ研究をめぐる国際シンポジウムを京都精華大学と開催。国内外から招へいた14名の研究者によってジェンダー・社会・グローバル化等々の視点からマンガ研究の可能性を広げる討論が行われた
2	ジョン・ホールデン講演会「国境を越える文化の価値」	英国	ブリティッシュ・カウンシル 社団法人企業メセナ協議会	2010.03.11 ～ 2010.03.11	平成21年度文化人招へいプログラムで来日したジョン・ホールデン（John HOLDEN:英国シティー大学客員教授、英国DEMOSアソシエイト）による文化の価値やアクターの観点から見た「文化外交」についての講演会
3	平和のための文化イニシャティブー日独からの提言	ドイツ	ゲーテ・インスティトゥート	2009.05.14 ～ 2009.05.15	国際交流基金とゲーテ・インスティトゥートのこれまでの事例をもとに、平和のために文化事業に求められる役割はどのようなものか、より効果的なインパクトを残すためにはどのような事業実施が望ましいのか、文化事業実施の際の難点・留意すべき点とは何かを、2日間に渡り、非公開ワークショップと公開シンポジウムにて議論
4	「子ども」シンポジウム	ドイツ	フリードリッヒ・エーベルト財団	2009.11.25 ～ 2009.11.25	ドイツの社会民主党系の政党財団であるフリードリッヒ・エーベルト財団との共催により、日独の社会保障政策の中でも特に子どもに関する政策の取り組みと社会の現状に関し、政府、学界、市民社会（NGO/NPO）のパネリストが公開シンポジウムで討議を行い、よりよい子どもの未来に関して議論を深め、将来のより望ましい姿を探求
5	アルザス日欧知的交流事業／2009年日本研究セミナー「明治」	フランス	アルザス・欧州日本学研究所（CEEJA）	2009.09.11 ～ 2009.09.12	欧州域内若手日本研究者による合宿形式のセミナー。アルザス欧州日本学研究所（CEEJA）との共催事業。欧州内日本研究者のネットワーク構築と当該テーマにおける汎領域的研究の深化を目指し、広範な分野、専門性を持った有識者が参加しうるテーマとして「明治」を設定。講師として御厨貴（東京大学教授）を派遣して、欧州の明治研究の発展を促進
6	欧州評議会主催会議「インターカルチュラル・シティ」報告会	欧州地域区分困難	欧州評議会	2009.07.01 ～ 2009.07.01	平成20年度知的交流会議助成事業である「インターカルチュラル・シティ」会議（於ティルブルフ、オランダ）に出席した北脇保之（東京外国語大学教授）と桜井啓子（早稲田大学教授）による帰国報告会を実施。モデレーターは、田村太郎（ダイバーシティ研究所代表）
7	「インターカルチュラル・シティ」招へい及びシンポジウム	欧州地域区分困難	欧州評議会	2009.10.31 ～ 2009.11.07	欧州評議会の進める「インターカルチュラル・シティ・プログラム」参加都市の代表、同プログラム関係者及び専門家を日本に招へいし、多文化共生政策推進地方都市を視察後、東京にてシンポジウムを開催



欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
8	文化と環境（京都会議）	欧州地域区分困難	京都市	2009.12.09 ～ 2009.12.10	日本の伝統文化や古来からの自然を慈しむ文化に根ざし、今日の環境問題とそれを解決しうる産業技術との関係を、企業の社会的責任（CSR）の観点も入れつつ、研究者や企業経営者が討議。京都市共催
9	ドラゴ・シュタンブク詩集『黒い波』朗読・座談会	クロアチア	駐日クロアチア大使館	2009.07.01 ～ 2009.07.07	現代クロアチアを代表する詩人ドラゴ・シュタンブク（駐日クロアチア共和国特命全権大使）の詩集『黒い波』（2009年、思潮社）が国内で発売されたのを受け、当該詩集の朗読会を開催
10	第6回日露フォーラム	ロシア	ロシア現代発展研究所	2009.10.02 ～ 2009.10.05	ロシア現代発展研究所との共催により日露の有識者をスピーカーに招いた国際フォーラムをイルクーツク市で開催（2009年10月3日）。開会に際しては、両国外務大臣より祝辞が寄せられた。政治・経済・文化の3セッション構成で、二国間関係と日露の平和友好条約締結の重要性について討議。スピーカーの発表内容は、後日論集として刊行
11	ズィバーリ外務大臣来日シンポジウム「新生イラクと日本のパートナーシップ」	イラク	財団法人中東調査会	2009.06.19 ～ 2009.06.19	日本・イラク外交関係樹立70周年である本年、ズィバーリ外務大臣来日にあわせて、同氏を交えた日本の有識者とのシンポジウムを財団法人中東調査会と共催
12	中東知的交流巡回セミナー	バーレーン  エジプト	Public Commission for Protection of Marine Resources, Environment & Wildlife, General Directorate of Environment & Wildlife Protection  アインシャムス大学	2010.03.14 ～ 2010.03.20	「日本の公害病経験や現代の環境管理の実践」をテーマとした講演会をエジプト及びバーレーンにて実施

欧州・中東・アフリカ交流事業費

3. 催し等事業費 / (2) 知的交流会議 (助成) [欧州・中東・アフリカ]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業 (国際会議等) に対し、経費の一部を助成する。

合計額 65,615,512 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	中小企業の発展：政策、アクター、諸問題／日本、アルゼンチン、イタリアの比較	イタリア	ローマ大学経済学部	2009.06.01 ～ 2010.03.31	中小企業が国の産業に重要な地位を占める日本、アルゼンチン、イタリアにおける中小企業をめぐる経済的・社会的状況について総合的に比較する国際会議の実施
2	矛をつかみ、剣を描く：同盟から相互依存世界までの日英軍事関係	英国	ロンドン大学キングス・カレッジ	2009.01.01 ～ 2009.12.31	2008年に日英外交150周年を迎えたことを受け、島国である日本及び英国にとって海軍がいかなる役割を果たしたかについて再考する国際会議を開催
3	統合と結束についての比較研究	英国	コベントリー大学コミュニティー結合研究所	2009.04.01 ～ 2010.03.31	東京にて、欧州と日本の移民政策についての国際会議を開催。日系人などもテーマ。参加者は研究者、政策関係者、NGO関係者など多様
4	人間の安全保障と平和構築セミナー	英国	コベントリー大学	2009.04.27 ～ 2009.06.30	イギリスのコベントリー大学主催が主催し、日本、EU (英、澳)、国連、途上国 (ネパール) からパネラーが参加し、「人間の安全保障と平和構築」に関するセミナーを実施。日本型/カナダ型の人間の安全保障概念のうち、日本のそれをトピックとするもの
5	バリアフリー社会に向けて：日英シンポジウム「友情と境界」	英国	グラスゴー大学欧日社会科学研究所	2009.05.01 ～ 2009.09.30	グラスゴー大学にて、日本、英国の研究者が参加し、バリアフリーに関する学際的なシンポジウムを開催
6	日英社会起業家シンポジウム～より良い社会の構築へ向け、政府、社会起業家、ビジネス、コミュニティのあるべき協働の姿～	英国	ブリティッシュ・カウンシル	2009.11.01 ～ 2010.03.31	英国の社会起業家を招へいし、社会起業についてのシンポジウムを開催
7	土偶：古代の芸術、現代のインスピレーション	英国	センスベリー日本芸術研究所	2009.11.05 ～ 2011.06.30	大英博物館とセンスベリー日本芸術研究所の共催で、縄文土偶に関する公開シンポジウムを開催。考古学上の土偶研究の領域から、古代、現代の芸術としての土偶について議論
8	ベンチャー・フィランソロピー～欧州の経験から学ぶ～	英国	欧州ベンチャー・フィランソロピー協会	2010.01.01 ～ 2010.03.31	金融危機後の非営利活動をいかにサポートするか、NPOを継続的に支援していくかをベンチャー・フィランソロピーの考え方から学ぶセミナー

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
9	日唄の安全保障に関する地域的及びグローバルな脅威への対応	オーストリア	オーストリア国際問題研究所	2009.05.01 ~ 2009.12.31	ヨーロッパと東アジアの安全保障環境及び日本とオーストリアに関するリスクと脅威を分析し検証する国際会議を、2009年10月にウィーンにて開催。ヨーロッパと東アジアの類似点・相違点を比較し、特に、大量破壊兵器拡散、エネルギー資源・環境問題、金融・経済危機の3分野につきセッションを設ける。冒頭には2つの基調講演を置き、環境の概観
10	家族構成と社会保障枠組み	オーストリア	ウィーン大学	2009.05.01 ~ 2010.03.31	2008年9月に開催された労働法・社会法に関する日唄研究交流事業の成果を受け、家族構成と社会保障体制に関する会議を開催し、日本と欧州に関する示唆を探った。より具体的には、1) 国家、家族、結婚の関係、2) 職場・雇用における家族の位置づけ、3) 国家政策から見た家族・家事、4) 家族と刑法、の観点を用いた。会議は2009年9月に京都大学にて開催
11	アジアの新興国：対立とグローバルな責任	オーストリア	ザルツブルググローバルセミナー	2009.12.08 ~ 2009.12.13	申請機関が通年で開催するセミナーのうち、日本からの専門家による貢献が期待できるセッションに対し、日本から講師等を派遣。セッション468では、特に中国・インドに代表されるアジアの新興国を取り上げ、地域及びグローバルでのその対応につき協議。2009年12月、ザルツブルグにて開催
12	日蘭水シンポジウム2009 in 岐阜	オランダ	財団法人日本国際問題研究所	2009.04.01 ~ 2010.03.31	地球温暖化によって生じる可能性が高いとされている巨大水害への対策は、日蘭共通の課題となっている。本事業では、水問題に関する両国の専門家を招いて公開シンポジウム及び専門家会議を開催し、両国の知見と経験を交換することにより、世界の水問題解決のための日蘭協力の可能性を探るとともに、度々水害の被害に見舞われてきた岐阜県を中心とした東海地域の水害対策の強化
13	ワークショップ：日韓関係	スウェーデン	ストックホルム商科大学欧州日本研究所	2009.04.01 ~ 2010.03.31	2009年8月にストックホルム商科大学にて日韓関係に関するワークショップを開催。多分野からの研究発表を集め、分野ごとに固まりがちな地域研究の枠組みを超えて検証。研究者に加え、政府関係者、学生、ジャーナリスト等も参加
14	文化都市：大阪とコペンハーゲンにおける創造性と社会的一体性	デンマーク	コペンハーゲン大学	2008.09.01 ~ 2009.10.31	コペンハーゲン大学と市内関連施設において、日本、デンマークの都市計画を文化都市という観点から研究する4日間の学際的国際セミナー
15	アジア現代性の可視化：現代日本と東南アジアの視覚芸術の地球規模の広がり	デンマーク	オーフス大学	2008.10.01 ~ 2009.12.31	オーフス大学とコペンハーゲン大学が、アジアにおける日本のソフトパワーの重要性の分析、西洋との関係、日本のポップカルチャーの国境を越えたビジネスや文化力学などについて、公開会議を開催

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
16	人口変化の課題：持続可能な生涯学習とデジタルメディア	ドイツ	ベルリン日独センター	2009. 04. 01 ～ 2009. 09. 08	高齢化の進む現代において、持続可能な生涯教育のために、Eラーニングの果たしうる役割を、日独専門家が集い検証。2009年9月にベルリンにて開催。特に、職業訓練の場でのEラーニングの柔軟性など特性を活かした利用方法・将来像に注目
17	国際シンポジウム「人口激減：グローバル及び地域的なチャレンジ」	ドイツ	ドイツ-日本研究所	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	現在の先進国における人口傾向を特に日独比較の観点から分析し、そこから生じる社会・経済・政治課題について、国家及び地元のレベルで検証し、対策を検討するもの。実証的なデータに基づき、抽象理論と具体的な現実との橋渡しをすることを目指す。2009年6月に東京において150人規模のシンポジウムを開催
18	都市創造に関する国際会議：文化、空間、持続可能性	ドイツ	ミュンヘン大学日本センター	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	都市開発と都市創造に関する比較及び学際的視点を用いて検証する国際会議。近年、「創造都市」の概念が都市都市と、グローバル化の時代における課題に対応するための方策のための、主要な枠組みとして定着しつつある。都市は、地域、国家、そしてグローバルな経済成長の推進役として見られている。今回の会議では、文化、空間、持続可能性の3点に着目し、これらの相互関係にも注目。2010年2月にミュンヘンで会議開催
19	MISHIMA! 世界への影響及び多文化的ルーツ	ドイツ	ベルリン自由大学	2009. 09. 01 ～ 2010. 03. 31	2010年が三島由紀夫没後40年に当たることを受け、世界で最も知られている日本文学者の一人である三島が、世界の文学界・芸術界に如何なる影響を与えてきたのかを検証する大規模国際会議を2010年3月にベルリンにて開催。参加者は、三島を直接知る文化人・三島に影響を受けた芸術家等。ギリシャ～欧州、仏教等、三島自身が芸術的着想を得たルーツの多文化性にも注目
20	企業の社会的責任 (CSR) — 日本とドイツのアプローチと経験	ドイツ	ベルリン日独センター	2009. 12. 01 ～ 2010. 03. 31	本会議では、日独におけるCSR政策がどのように発展し、実施されてきたかを見直し、今日のグローバル化経済において中心的役割を担うドイツと日本が、今後、東アジアや東欧においてどのような影響力を持つかを比較しつつ考察
21	欧州日本研究：グローバリゼーションにおけるチャレンジと可能性	ドイツ	ミュンヘン大学日本センター	2010. 01. 01 ～ 2010. 03. 31	グローバリゼーションや高等教育に対する予算削減などによって、欧州における日本研究は岐路に直面している。本会議では、欧州日本研究の代表的機関5機関シェフィールド、リーズ、ライデン、ルーヴァン、ミュンヘンの各大学が、一緒になって日本研究のジョイント修士プログラムや、博士取得者に対する研究トレーニングプログラムの可能性を検討。これにより、参加機関同士の連携を強化し、合同プログラムへ効率的な統治構造を確立し、資金源の同一化を図ることにより、欧州における日本研究の立場を強化

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
22	コレージュ・ド・フランス日本学高等研究所創立50周年記念シンポジウム「日本研究資料とその周辺」	フランス	コレージュ・ド・フランス日本学高等研究所	2009. 04. 01 ～ 2009. 09. 30	フランスの日本研究の中心であるコレージュ・ド・フランス日本学高等研究所の創立50周年記念シンポジウム。「日本研究資料とその周辺」の総合テーマのもと、「資料とその受容と伝播」「日本文学に於ける書簡の表象、テキスト、イメージ」に関するシンポジウムを実施
23	地球村の世界文学？—多和田葉子の“西東枕草子”	フランス	トゥール大学	2009. 04. 15 ～ 2009. 12. 31	ドイツ在住で日独両語で作品を発表している多和田葉子の作品世界についての国際会議。日本文学・ドイツ文学双方の世界の研究者が出席するほか、多和田作品を舞台化している日独混交劇団（本拠地ベルリン）が参加
24	ユベール・ヴェドリーヌ元フランス外務大臣講演会	フランス	財団法人日仏会館	2009. 05. 07 ～ 2009. 05. 31	アメリカ同時多発テロ発生時のフランスの外務大臣で、「同盟すれど同調せず」の姿勢を貫いた現実主義的なフランス外交を展開したヴェドリーヌ氏の講演会。現在の金融危機の背景の地政学的分析を中心に米欧日の新しい協力関係の展望を提示
25	エマニュエル・トッド招へい交流計画・国際シンポジウム	フランス	青山学院大学総合文化政策学部	2009. 09. 01 ～ 2010. 02. 08	フランスの人口統計学者・人類学者であるエマニュエル・トッドを招へいし公開シンポジウムを開催。トッドの基調報告の他、日本の経済学者・政治学者等とパネルディスカッションを実施
26	国際シンポジウム「危機を考える」	フランス	フランス国立社会科学高等研究院 (EHESS) 日仏財団	2009. 09. 07 ～ 2010. 03. 31	現在の経済危機を考察すべく、日本の現状、特に「失われた10年」の教訓を参照しつつ、日仏の第一線の研究者やビジネスマンによるシンポジウムを実施
27	国際シンポジウム「加藤周一あるいは文化多様性の考察」	フランス	アジア・イマジネーション・ネットワーク	2009. 12. 01 ～ 2010. 03. 31	評論家で医学博士の加藤周一の一周忌に日仏の研究者が日本人・日本文化の多様性について討論するシンポジウムを開催
28	京都ナボコフ国際会議	フランス ロシア	日本ナボコフ協会	2010. 03. 24 ～ 2010. 03. 27	2010年3月に京都市内にて「Revising Nabokov Revising」をテーマにした国際研究集会を開催。世界中のウラジミール・ナボコフ研究者が集う学会を支援
29	途上国の法制度改革における英米法と大陸法の制度的優位比較	ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学 (UCL)	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	発展途上国や改革途上国の法制度改革において、経済成長という目的のためには慣習法と制定法のいずれが制度的に優位かを検証する会議を実施（第2年目）
30	日本・ヨーロッパパートナーシップ：共通のグローバル及び地域的課題に面して	ベルギー	ブリュッセル自由大学	2009. 05. 01 ～ 2009. 11. 30	ヨーロッパ・アジア関係という大きな枠組みにおける研究者、学生、政策決定者のネットワーク強化に資すべく、2009年11月にブリュッセルにて国際会議を開催。テーマは、日本とEUの共通課題である政治協力、安全保障（人間の安全保障及び紛争管理）、規制緩和、市民社会、移民に注目

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
31	日・ウズベク経済協力の展望～経済協力の促進及びウズベク経済改革の推進に関する共同宣言の枠組みにおいて	ウズベキスタン	政治研究センター	2009.08.31～2009.08.31	日本とウズベキスタンの有識者を集め、エネルギー資源開発、需要、供給の展望、エネルギー安全保障の推移等について討議
32	コーポレート・カルチャーに関する国際シンポジウム	ポーランド	レオン・コジミンスキ大学	2009.05.13～2010.03.31	ワルシャワのレオン・コジミンスキ大学においてコーポレートカルチャーに関するシンポジウムを開催
33	イメージとしての日本：日欧の交差する視点－国際社会における日本理解推進を目指して	リトアニア	ヴィタウタスマグヌス大学日本センター	2009.10.15～2009.10.16	リトアニアにおいて、学際的・国際的観点から現代日本のイメージがいかに捉えられているかについて議論するシンポジウムを開催
34	シンポジウム「アジア太平洋地域経済協力：日本・ロシア－国益、役割そして展望」	ロシア	ウラジオストク国立経済サービス大学	2009.09.23～2009.09.25	2012年にウラジオストクで予定されているAPECサミットに向け、環太平洋地域諸国としての米中韓の専門家を集め、政治、経済等の分野での今後の協力と交流について討議
35	第7回日ロ学術・報道関係者会議	ロシア	日本対外文化協会	2009.09.27～2009.10.03	「ユーラシア発展の道を模索する」を議題にモスクワで開催。日本から研究者、ジャーナリスト等19名が渡航し、ロシアの政治家、評論家、ジャーナリストと会見、また「世界恐慌と北東アジア」のテーマの下に、新しい国際経済体制と北東アジア地域の新秩序について討議
36	日・黒海地域対話「変化する黒海地域の展望と日本の役割」	欧州地域区分困難	グローバル・フォーラム	2010.01.27～2010.01.27	「変化する黒海地域の展望と日本の役割」という全体テーマのもと黒海地域、EU委員会、日本の三者より有識者をパネリストとして迎え、「黒海地域における安全の保障の戦略的意味」「黒海地域の経済発展とエネルギー・環境協力に向けた課題」「日・黒海地域協力の今後の展望」の3つのサブテーマに基づいて討論を実施
37	東アジア・東南アジアにおけるポップカルチャー、文化政策、文化に関わる言説に関する国際ワークショップ	イスラエル	ヘブライ大学附属トルーマン平和研究所	2009.06.01～2009.06.02	イスラエルにおいてアジア・中東研究で知られるトルーマン研究所が企画する国際会議。東アジア・東南アジアにおいて、ポップカルチャーが外交及び通商の観点からソフトパワーと捉えられるようになった経緯を考察。この分野における日本政府の取り組みを紹介、イスラエルの研究者とアジアの研究者との学術交流を促進
38	国際シンポジウム「部族社会の形成：シリア・ユーフラテス河中流域の総合研究」	シリア	国士舘大学イラク古代文化研究所	2009.09.01～2009.12.31	2009年11月に実施された国際シンポジウム「部族社会の形成：シリア・ユーフラテス河中流域の総合研究」を支援。シリアと日本の考古学研究者が参集

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
39	カイロ国際会議：第2回国際会議「イスラーム地域研究の新しい地平線ーアイデンティティ、共存、グローバル化」	エジプト	早稲田大学イスラーム地域研究機構	2009. 12. 12 ～ 2009. 12. 13	早稲田大学イスラーム地域研究機構が、カイロ大学文学部と日本学術振興会カイロ事務所で「アイデンティティ、共存、グローバル化」をテーマとするカイロ国際会議を共催。現在、世界が直面するグローバル化の中で、イスラーム諸国による自己のアイデンティティの定義と異文化との共存のあり方を模索
40	国際関係史学会日本大会	全世界区分困難	国際関係史学会日本大会実行委員会	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	国際関係史学会日本支部が2009年12月に東京大会を開催。ヨーロッパとアジアを比較対象としながら、冷戦、地域統合・協力などの国際政治の諸問題を検証。アジア、欧米から当該分野の専門家が参加
41	東京メディアフェス2009	全世界区分困難	アワー・プラネット・ティービー	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	市民とメディアがどう関わるべきかをテーマに東京で国際フォーラムを開催
42	国際シンポジウム「急変する世界環境における高等教育の公的役割：連携と対話による多極的イニシアティブ」	全世界区分困難	早稲田大学アジア太平洋研究センター	2009. 09. 01 ～ 2010. 02. 28	高等教育の公的役割に注目し、特に多極化する世界で大学の位置づけや社会発展への貢献を、欧州、アフリカ、東アジア、環太平洋、日本、からの高等教育研究者、オピニオンリーダーが集い、議論し、今後のあるべき姿を探求

欧州・中東・アフリカ交流事業費

3. 催し等事業費 / (3) 市民青少年交流 (助成) [欧州・中東・アフリカ]

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業 (通常の助成事業) に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 4,083,600 円

事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1 パープルリボン先進国視察事業	スウェーデン	特定非営利活動法人全国女性シェルターネット	2009.08.29 ~ 2009.11.25	パープルリボンプロジェクトの一環として、女性に対する暴力被害当事者支援について、スウェーデンの法制度整備の歴史と現状の支援体制を現地で学び、情報共有によって支援者をエンパワー
2 地球温暖化防止に向けたユース世代の国際交渉への参加とネットワーク形成	デンマーク	特定非営利活動法人気候ネットワーク	2009.12.03 ~ 2009.12.23	デンマーク・コペンハーゲンで開催される「気候変動枠組条約第15回締約国会議 (COP15)」にユースメンバー7名がオブザーバーとして参加し、その状況をWebで情報発信。さらに会議場でのブース展示、サイドイベントを開催し、各国のユースメンバーと意見交換・交流を実施
3 日本アフリカ学生会議第5期本会議	エチオピア タンザニア	特定非営利活動法人日本アフリカ学生会議	2009.08.04 ~ 2009.09.10	日本人学生がエチオピアとタンザニアを訪問し、NGOとの共同プロジェクトや、国際協力機構 (JICA)、孤児院を訪問等によって世界最貧国の現状を学び、また現地の学生と交流。その結果を日本国内で報告
4 日本ケニア学生会議第10回本会議	ケニア	日本ケニア学生会議	2009.08.04 ~ 2009.08.27	日本ケニア学生会議の第10期本会議として日本で開催。フィールドトリップや議論を通じて、様々な分野における理想の未来と自分たちの理想の未来、学生が今後担う役割について探求
5 日本ルワンダ学生会議第3期本会議	ルワンダ	日本ルワンダ学生会議	2009.12.18 ~ 2010.01.06	日本での会議開催によりルワンダ人が具体的に日本の産業、文化、人々を理解できるよう促した。平和構築の点で、被爆地・広島の子供とのディスカッションを通じルワンダ社会における、特にジェノサイド関係者の和解の在り方を議論。農業体験では技術先進国日本の別の側面を知ってもらい、相互理解を深化
6 第27回開発教育全国研究集会	全世界区分困難	特定非営利活動法人開発教育協会	2009.08.08 ~ 2009.08.09	全国の開発教育、国際理解教育の実践者・教育者が集い、地球的課題、地域の課題について議論し、教育を通してできることを考える研究集会。「くらしと世界をむすぶ学び～みちのくから考える 共に生きる"地球社会"づくり」をテーマに1日目にシンポジウムや参加型ワークショップ、2日目に課題別分科会を行った。クロアチアからリソースパーソンを招へい
7 セミナー・シンポジウム「生物多様性とは何か? ~撮影現場からの報告~」	全世界区分困難	特定非営利活動法人地球映像ネットワーク	2009.08.18 ~ 2009.08.23	2010年に愛知で開催される生物多様性条約第10回締結国会議 (COP10) に先駆け、世界的に著名な映像作家3人 (オーストラリア、インド、英国) に、撮影現場から見た生物の多様性とその意義について語るセミナーを富山県の協力で開催し、自治体関係者や聴衆との対話を通して、生物多様性とは何なのか、COP10とは何かを探求。世界自然・野生生物映像祭と併催



## 日本研究・知的交流事業に必要な経費

### 日米センター運営管理費

1. ニューヨーク日米センター事業費
  - (1) 知的交流小規模助成
  - (2) 地域草の根交流小規模助成
  - (3) 教育アウトリーチ支援小規模助成
  - (4) 在米日米協会支援

日米センター運営管理費

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (1) 知的交流小規模助成

米国内の新たなニーズに対応した先駆的事業や、米国内の大学・シンクタンク・政府・財団関係のアジェンダ・セッティングやネットワーク会合などに機動的に対応し、通常の助成事業の企画開発へとつなげていくために小規模の助成を実施。

合計額 3,063,179 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	第8回ナショナル・フォーラムシリーズ	全米日米協会連盟	2009.10.01 ~ 2009.11.30	傘下の日米協会との協力の下、日本の政権交代の政治、経済、社会への影響に関するレクチャーシリーズを開催
2	災害復興後における社会の回復力：国際比較	パーデュー大学	2009.12.01 ~ 2010.05.31	日・米・印の専門家が一堂に会して、災害復興過程における社会の回復力に関する社会科学分野における研究成果を発表
3	中国におけるクリーンエネルギー開発に向けた日米協力	ブルッキングス研究所	2010.02.22 ~ 2010.04.30	日本と米国が共通の焦眉の課題として、中国で深刻化しつつあるエネルギー・環境問題の解決を図るために3カ国協力枠組みを構築することの重要性と可能性を明確化するためのアジェンダ設定会合
4	自閉症治療における生活療法	ボストン東スクール	2010.03.01 ~ 2010.06.30	自閉症の治療に関する取組みとして注目を集める、日本の文化に根ざす「生活療法」に関するワークショップ

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (2) 地域草の根交流小規模助成

米国内で開催される日米間の地域・草の根レベルでの交流事業に対し、小規模の助成を実施。

合計額 1,843,243 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	日本コミュニティ政策学会（JACP）との交流プロジェクト	ネイバーフッズUSA（NUSA）	2010.03.01 ~ 2010.10.31	前年度日本で開催された日本コミュニティ政策学会（JACP）との共同シンポジウムのフォローアップのために、ネイバーフッズUSA（NUSA）の年次大会に同学会の主要メンバーを招いて日米間のコミュニティ政策の現状につき意見交換
2	社会的企業と持続可能な投資：歴史と発展	カルヴァート財団	2010.03.01 ~ 2011.04.30	日本のパブリック・リソース・センターや日本ファンドレイジング協会が、米国から専門家を招いて、社会的企業と社会的投資をテーマにシンポジウム及びクロズド・ディスカッションを開催

日米センター運営管理費

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (3) 教育アウトリーチ支援小規模助成

米国内で開催される日本理解に資する教育アウトリーチ事業（日本講座や教育向けセミナー等）に対し、小規模の助成を実施。

合計額 15,114,899 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	ジャパン・カップ2009	コロラド日米協会	2009.04.01 ~ 2009.05.31	コロラドとワイオミングの高校・大学において、日本文化への関心を喚起し、日本語教育を促進するために、ジャパン・カップを開催。アニメ、J-POP、伝統文化などの紹介イベントによるアウトリーチ活動も実施
2	桜祭り	フォート・ウェイン・シスターシティ・インターナショナル	2009.05.01 ~ 2009.06.30	桜祭りを開催し、フォート・ウェインの中学・高校の児童・生徒を対象に、茶道、書道、折り紙、生花、先端技術に関するレクチャーやワークショップを通じて日本文化を紹介
3	京都夏祭り	ボストン子供博物館	2009.07.01 ~ 2009.08.31	ボストン・京都姉妹都市交流50周年記念事業の一環として、ボストン子供博物館において夏祭りを開催。ボストン在住日本人コミュニティの協力を得て、子供達の日本文化理解の促進を図る
4	ジャパン・フェスト2009	ジャパン・フェスト	2009.07.01 ~ 2009.09.30	米国南部では最大規模を誇るジャパン・フェスト2009において、日本の伝統文化と現代文化をK-12を中心としたローカル・コミュニティに紹介し、草の根レベルでの日本理解を促進するためのアウトリーチプログラムを実施
5	日本映画上映会	グローバル・ピース映画祭	2009.08.01 ~ 2009.09.30	フロリダで開催されるグローバル・ピース映画祭において、日韓の歴史的交流を描いた作品や広島・長崎の原爆を描いた日本映画を上映することを通じて、日本理解を促進し、平和の重要性を訴えるプロジェクト
6	アジア・フェスティバル	タラハシー・アジア連合	2009.09.01 ~ 2009.10.31	タラハシーで開催されるアジア・フェスティバルに、和太鼓、書道、折り紙、工芸品などの日本文化紹介イベントを実施。また、イベントを通じて、地域の社会科教師に日本に関する指導法についてアドバイス
7	日本舞踊・邦楽ツアー	テネシー日米協会	2009.09.01 ~ 2009.10.31	日本舞踊と邦楽を紹介するグループを日本から招へいし、テネシー州において、日本文化に対する理解の促進を目的に、K-12の児童を含めたコミュニティを対象としたアウトリーチ・ワークショップとコンサートを開催
8	ケンタッキー祭り	ケンタッキー大学リサーチ財団	2009.09.01 ~ 2010.03.31	10万人が参加するルイスヴィル・ワールド・フェスタで、和太鼓、能、書道、茶道などを紹介する祭りイベントを開催。また、日米草の根交流コーディネーター派遣（JOI）コーディネーターの協力を得て祭りイベントの映像資料を利用し、周辺農村地域へのアウトリーチ活動を実施
9	現代日本のファッション展	テキスタイル・ミュージアム	2009.10.01 ~ 2009.11.30	テキスタイル・ミュージアムが「現代日本のファッション展」を開催するにあわせて、現代日本のファッション・デザインが持つ特色や素材の特性などについて紹介する講演会を開催

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
10	日本探検／出会いプロジェクト	パークサイド小学校	2009. 11. 01 ～ 2009. 12. 31	南西ミネソタ州立大学の協力を得て、パークサイド小学校の児童に日本文学と邦楽を紹介。また、東京と大阪の2つの小学校の児童とのコミュニケーション・セッションを開催
11	浮世のイメージ	ブトナム歴史・自然科学博物館	2009. 12. 01 ～ 2009. 12. 31	江戸時代の浮世絵及び工芸品を展示し、関連企画として19世紀の江戸時代の文化に関するワークショップを、地元の教師、学生及び一般を対象に開催。ワークショップでは、同時に、第二次世界大戦中の日系人収容所問題についても取り上げ、総合的な日本理解を促進
12	日本文化の日	ダラス・フォートワース・ワールド・アフェアーズ・カウンシル	2010. 01. 01 ～ 2010. 03. 31	ダラス・フォートワースにおいて、コミュニティ・レベルでの外国理解の促進を目的に活動しているワールド・アフェアーズ・カウンシルが、地元の大学、学校の児童・生徒を対象に、日本文化の理解促進のための各種イベントを1日間、集中的に開催
13	「こんにちわ：浮世絵を通じた日本文化体験ツアー」	ワシントン郡美術館	2010. 01. 01 ～ 2010. 11. 30	ワシントン郡美術館で、19世紀の浮世絵、着物、陶磁器などを展示。この展示を利用して、コミュニティや周辺の児童・生徒の日本理解を促進するため、これに関連した講演会や各種イベントを開催
14	アリゾナ祭り2010	アリゾナ祭り	2010. 02. 01 ～ 2010. 03. 01	アリゾナ祭りは、アリゾナ州フェニックス市で2日間に渡り7万人が参加する大規模な日本フェスティバル。和太鼓公演や日本武道の紹介など、多様なイベントが企画されているが、その中で、アニメを利用して、周辺地域の子供達の日本理解を促進するイベントを中心に支援
15	「将軍と侍」：教師向けワークショップ	ノースイースト・カルチャー・コープ	2010. 02. 01 ～ 2010. 04. 01	地元の学校で日本理解教育を行なっている教師を対象に、江戸時代の絵画や舞台芸術を紹介することを通じて教師の日本理解を深め、彼らの日本史カリキュラムの改善に資する
16	日本映画上映会	ファーマン大学	2010. 02. 01 ～ 2010. 04. 30	サウス・カロライナ北部コミュニティにおける現代日本社会に対する理解を促進するため、ファーマン大学において日本映画上映会をシリーズで開催するとともに講演会を開催。この講演会は、地元高校教師に対する教師研修プログラムも兼ねる
17	タカク・ハイカン	チュート中学校	2010. 02. 01 ～ 2010. 05. 31	チュート中学校の生徒が、日本庭園の視察・見学を通じて日本文化の理解を深めると共に、近隣の文化施設の訪問や、和太鼓ワークショップなどを通じて日本に対する理解を深める。参加した生徒が、その成果をアジア・フェスティバルで紹介
18	設楽太鼓：教育・アウトリーチ・プロジェクト	オードウェイ・パフォーミング・アーツ・センター	2010. 02. 01 ～ 2010. 06. 30	和太鼓グループの設楽太鼓が、オードウェイ・パフォーミング・アーツ・センターで公演を行うタイミングにあわせて、一般向けの和太鼓ワークショップや、児童向けの和太鼓教室を開催

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
19	太鼓プロジェクト	スミス・アカデミー・オブ・インターナショナル・ランゲージ (SAIL)	2010.02.01 ~ 2010.06.30	スミス・アカデミー・オブ・インターナショナル・ランゲージ (SAIL) で日本語を学ぶ学生を中心に太鼓クラブを結成し、和太鼓の奏法を学習。太鼓クラブの参加者は、校内での発表会を通じて太鼓学習の成果を他の生徒と共有すると共に、地域で開催される日本文化祭で発表公演を実施
20	若い読者のための会議	フォート・ヘイエス州立大学	2010.02.01 ~ 2010.10.31	地元の小学校の児童たちを対象に開催する読書会議に、日本から児童作家を招いて、リーディングとワークショップを開催。児童は、作家との対話を通じ、その作品と日本社会に対する理解をより深めた
21	テキストとコンテキスト：児童文学を使った日本理解教育	コロラド大学財団	2010.02.01 ~ 2010.11.30	小学校低学年の児童に対し、児童文学を使った日本理解のための授業カリキュラムを策定し、オンライン上で教師に提供。あわせて、教授法に関する教師向けのワークショップを開催
22	オンライン・リソースを通じた日本理解のための教師トレーニング	プライマリー・ソース	2010.02.01 ~ 2010.11.30	K-12を中心に、学校で日本の文化・社会について教えている社会科教師を対象に、オンライン・リソースを使った日本理解カリキュラムに関するトレーニング・ワークショップを開催
23	タオ和太鼓	ジャーマンタウン・パフォーミング・アーツ・センター	2010.03.01 ~ 2010.03.31	タオ和太鼓グループを招き、コンサート及び学生向けのレクチャー・デモンストレーションを実施。同時に、テネシー日米協会及びメンフィス大学日本プログラムの協力を得て、茶道のデモンストレーションや着物の展示などの日本文化紹介イベントを開催
24	日本へのパスポート	ウィリアムズタウン小学校	2010.03.01 ~ 2010.03.31	ウィリアムズタウン小学校において、日本理解プログラムを実施。日本地図の利用や日本をテーマにした本の作製等の様々なアクティビティを通じて日本理解を深めると共に、折り紙や鯉のぼり、団扇などを製作し、日本文化を体験
25	カイゼン・エクスプレス	ユーレカ学校ネットワーク	2010.03.01 ~ 2010.03.31	ユーレカの小・中・高校のパブリック・スクールの児童・生徒を対象に、日本文化理解のための各種イベントを実施。日本画、邦楽、日本食、着物、日本の慣習講座等の紹介を、地元の大学にいる日本人留学生ボランティアの協力を得て開催
26	一寸法師公演・ワークショップ	人形劇センター	2010.03.01 ~ 2010.03.31	人形劇センターで、日本の民話に題材を得た『一寸法師』の公演を開催すると共に、児童・生徒を対象としたワークショップやレクチャーを通じて、日本理解の深化に努める
27	茶道文化を通じた日本の過去と現在	デューク大学	2010.03.01 ~ 2010.04.30	ノース・カロライナの農村地域のチャーター・スクール高校生及び教師を対象に、日本の茶道文化を集中的に紹介。関連事業として、近郊の日本庭園の茶室において、中・高等学校の教師を対象とした茶道実演ワークショップも開催
28	日本文化フェスティバル	ソーガタック・アート・センター	2010.03.01 ~ 2010.04.30	国際文化フェスティバルの一環として、日本文化フェスティバルを開催し、西ミシガンのコミュニティにおける日本理解の促進を目指す。地元の児童及び成人を対象に、公演、映画、展示、ワークショップなどの多様なプログラムを開催

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
29	『エンジョイ』公演とワークショップ	プレイ・カンパニー	2010.03.01 ~ 2010.04.30	プレイ・カンパニーが、岡田利規作『エンジョイ』を公演する機会を利用し、演出家を招いて、地元の大学生、演劇関係者、コミュニティを対象に日本の演出技法についてのワークショップを開催。これを通じて、現代日本の文化・社会の理解促進を目指す
30	芸道	シャンペン100周年高校	2010.03.01 ~ 2010.05.31	シャンペン高校でアートを学ぶ高校生を対象に、俳句、楽焼、書道、邦楽などの日本の伝統文化を紹介するため、各分野のアーティストによるワークショップを開催
31	日本文化イマージョン・プログラム	ロング・アイランド・特別スクール	2010.03.01 ~ 2010.05.31	現地の日本ビジネス・コミュニティ及び在留邦人の協力を得て、日本文化に触れるイマージョン・プログラムを実施。関連企画として、在ニューヨーク総領事館がジャパン・キャラバンを実施
32	農村部におけるレジデンシ&パフォーマンス・プロジェクト	ポートランド太鼓	2010.03.01 ~ 2010.06.30	ポートランド太鼓グループが、日頃、文化芸術に触れる機会の少ないオレゴン州の農村コミュニティに長期間滞在し、地元の小学生やコミュニティを対象に、和太鼓を中心とした日本文化に関する参加型ワークショップを開催すると共に、和太鼓公演を開催
33	和菓子デモンストレーション	ミシガン・滋賀姉妹交流委員会	2010.03.01 ~ 2010.06.30	滋賀県の和菓子職人をミシガンに招いて、和菓子に関するレクチャー・デモンストレーションを実施。和菓子を通じて、「旬」という日本の独特の美意識と生活感覚を伝達。和菓子製作や茶会への参加プログラムを取り込み、総合的な日本理解を図る
34	日本の芸術・文化プロジェクト	マーキス・スタジオ	2010.03.01 ~ 2010.06.30	地元のパブリック・スクールの小学校を対象に、10回のセッションを通じて日本文化を紹介するアウトリーチ・プロジェクト。折り紙、和太鼓、文楽などについての講義とワークショップを通じて、日本の文化・社会・歴史についての理解を深める
35	日本文化探検：放課後プログラム	ニューヨークでボランティア	2010.03.01 ~ 2010.06.30	ニューヨーク市の恵まれない児童に対して、日本文化に触れる機会を提供するため、在留邦人によるボランティアの派遣による「日本文化体験」プログラムを実施。プログラムでは、習字、折り紙などの多様な日本文化を体験させた
36	メンフィス祭り	メンフィス・ボタニカル・ガーデン	2010.03.01 ~ 2010.07.31	メンフィス・ボタニカル・ガーデンが、設立50周年となるいけばなインターナショナル・バンブー支部と共同し、周辺の児童・生徒を対象とした日本文化紹介イベントをシリーズで実施。灯籠ツアーや日本の昔話を伝える「お話」の会、七夕祭り、こどもの日などのイベントを通じて日本文化への理解を深める
37	家族の日：日本体験と被爆者映画上映	核実験博物館	2010.03.01 ~ 2010.08.31	核実験博物館において、武道、日本舞踊、日本食、折り紙、昔話などの日本文化紹介プログラムを実施すると共に、『被爆者：その人生』というドキュメンタリー映画の上映を通じて日本の被爆体験を米国人に伝達

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
38	アイヌ学習ボックスとカリキュラムの開発	パーク美術館	2010.03.01 ~ 2010.08.31	アイヌの歴史と文化を学習するためのスタディ・ボックスとカリキュラムを開発するため、北海道アイヌセンターの協力を得てアイヌのインターンを博物館に受け入れる。インターンは、滞在期間中、開発を行ないながら、地元のネイティブ・アメリカンとの交流活動を行う
39	「アート・オブ・我慢」展関連教師向けワークショップ	スミソニアン・アメリカ美術館	2010.03.01 ~ 2011.01.31	スミソニアン・アメリカ美術館で、日系人収容所をテーマにした「アート・オブ・我慢」展が開催されるのにあわせて、現地の教師を対象に日系人収容所の歴史に関するワークショップを開催。また、ワークショップに参加した教師が、児童を引率して美術館を訪問するプログラムを支援

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (4) 在米日米協会支援

日米における日米協会のネットワーク化とキャパシティ・ビルディングを図り、日米間の地域・草の根交流の担い手としての日米協会を育成するために支援を実施。

合計額 17,510,456 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	地域アウトリーチ&活動センター設立を通じたキャパシティ・ビルディング (第2年次)	テネシー日米協会	2009.07.01 ~ 2010.06.30	テネシー州内での活動を広域化するため、新たにメンフィスとメリーヴィルに地域アウトリーチ&活動センターを設立
2	メンバーシップ&コミュニケーション・マネージャー確保を通じたキャパシティ・ビルディング (第2年次)	サンディエゴ・ティファナ日米協会	2009.09.01 ~ 2010.08.31	会員数の拡大及び他団体との連携を強化するため、メンバーシップ&コミュニケーション・マネージャーを新たに採用
3	TRIAJE: 日本語教育アウトリーチ・イニシヤチブ (第2年次)	ペンシルバニア日米協会	2009.09.01 ~ 2010.08.31	日本語弁論大会、スカラシップ、ジャパン・イン・スクール・プログラムなどの日本語を通じたアウトリーチ・プログラムを強化するため、専属コーディネーターを新たに採用
4	サンアントニオ日米協会事務局長雇用事業 (第1年次)	サンアントニオ日米協会	2009.09.01 ~ 2010.08.31	ボランティアのみで運営されているサン・アントニオ日米協会に常勤の事務局長 (Executive Director) を新たに採用
5	会員拡大及びマーケティングキャンペーン (第1年次)	ダラス・フォートワース日米協会	2009.09.01 ~ 2010.08.31	平成20 (2008) 年度日米協会支援事業で採用された案件のフォローアップ事業。会員拡大やマーケティングキャンペーンを実施。アシスタント・ディレクター1名の体制から、常勤のプログラム・ディレクターと非常勤の事務アシスタントを採用
6	ケンタロウがワシントン州へ行く (第1年次)	ワシントン州日米協会	2009.09.01 ~ 2010.08.31	ジャパン・イン・スクール教育プログラムを通じて、アウトリーチ活動の強化とキャパシティ・ビルディングを目指すプロジェクト。現在のインターンのみのスタッフ体制から常勤プログラムコーディネーターを採用

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
7	キャパシティ・ビルディング(第1年次)	ウェスト・ミシガン日米協会	2009.09.01 ~ 2010.08.31	事務局長 (Executive Director) の常勤化を通じて経営基盤の安定を図ろうとするプロジェクト。非常勤の事務局長を常勤化
8	中西部日米協会のネットワーキング	ケンタッキー日米協会 (中西部地域の日米協会を代表)	2009.10.01 ~ 2010.09.30	平成20 (2008) 年度に採用された案件の継続事業。ケンタッキー、インディアナ、セントラル・オハイオ、オハイオ広域圏、シンシナティ広域圏、ウェスト・ミシガン、ペンシルベニアよりメンバーが集い、ネットワーク化を図り、全米日米協会連合 (NAJAS) 会員の日米協会にも公開・共有
9	小規模日米協会トレーニング・ワークショップ	—	2009.05.09 ~ 2009.05.10	<ニューヨーク日米センター主催事業> 日米協会 (JAS) イニシャチブのグラントによる支援に乗りこい小規模の日米協会を支援するため、全米日米協会連合 (NAJAS) の協力を得て、日米協会の運営、資金獲得に関するトレーニング・ワークショップを、ヒューストンの全米日米協会 (NAJAS) 総会にあわせて開催



# 日本研究・知的交流事業に必要な経費

## 日米交流推進費

### 1. 人物交流事業費

- (1) 安倍フェロシップ
- (2) 市民交流支援（日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI）

### 2. 催し等事業費

- (1) 日米交流支援（助成）
- (2) 日米交流支援（主催）
- (3) 市民青少年交流（助成）〔日米センター〕

日米交流推進費

1. 人物交流事業費 / (1) 安倍フェローシップ

社会科学・人文科学の分野における質の高い政策研究を促進し、日米の専門家間の新しい協働関係とネットワーク形成を推進するため、学術研究者、各分野の専門家に対しフェローシップを供与する。

合計額 187,315,838 円

	氏名	現職	研究テーマ
<b>■安倍フェロー（13名）</b>			
1	ベ・サンミン	ノースイースタン・イリノイ大学政治学部 助教授	東アジアにおける人間の安全保障：日本は主導できるか
2	古沢 泰治	一橋大学経済学部 教授	金融市場の質と国際貿易
3	メアリー・ハダッド	ウェスルヤン大学行政学部 助教授	東アジアにおける環境政治と市民参加
4	濱田 宏一	エール大学経済学部 タンレックス記念教授	日米金融危機対応の比較：政策の齟齬は無知によるのか既得権益によるのか？
5	細田 満和子	ハーバード大学グローバルヘルス・人口学部 研究員	日米における健康に関する社会運動についての実証研究
6	井深 陽子	エール大学疫学・公衆衛生学部 研究員	インフルエンザ予防接種に関する政策の対費用効果分析
7	小川 晃弘	ストックホルム大学日本研究部 助教授	生涯学習とグローバリゼーション：ヨーロッパと日本の比較研究
8	アンドリュー・オロス	ワシントン大学政治学部 助教授	日米中安全保障関係における三国間主義
9	ミッチェル・セドウィック	オックスフォード・ブルックス大学欧日研究所 所長	グローバリゼーションを組織する：日本企業における異文化間関係の人類学
10	田中 知美	アリゾナ州立大学 助教授	労働・貯蓄・所得の再分配への選好と経済成長の関連に関する国際比較研究
11	戸谷 由麻	ハワイ大学マノア校 助教授	不安定な正義—アジア太平洋地域における連合国防法廷の教訓
12	吉田 穂波	ハーバード大学疫学部 研究員	ジェンダー格差が少子化及び生殖に影響を与えるのか—日米比較における検証
13	吉原 真里	ハワイ大学マノア校アメリカ研究部 教授	日米におけるアートをめぐる政治経済
<b>■安倍ジャーナリスト・フェロー（4名）</b>			
1	ロバート・ボイントン	ニューヨーク大学ジャーナリズム大学院 活字報道ディレクター	北朝鮮による韓国・日本市民の拉致
2	ジョセフ・コールマン	インディアナ大学 ハワード記念プロフェッショナル	高齢化の進む日本でシルバー世代を仕事につける試み
3	ピーター・フレデリッチ	ノーザン・アリゾナ大学コミュニケーション学部 助教授	二酸化炭素海底隔離の可能性
4	神谷 説子	ジャパントイムズ スタップライター	アメリカにおける法教育と法律家及び市民の役割

日米交流推進費

1. 人物交流事業費 / (2) 市民交流支援 (日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI)

日本との交流の機会が比較的少ない地域における対日関心の喚起や日本理解の促進及び草の根交流の担い手育成を目的に、ボランティアとして草の根交流のコーディネーターを米国に派遣する。コーディネーターは、主に米国南部の日米協会や大学等の地域交流活動の拠点に配置され、学校やコミュニティで、日本の文化、社会、生活、日本語に関する知識や情報を提供し、また日米交流を深めるための活動を展開する。

合計額 29,073,330 円

	氏名	派遣先機関	期間
1	第6期：西脇 笑子	ウェスタン・カロライナ大学	2007.08.01 ~ 2009.07.31
2	第6期：増田 環	サンアントニオ日米協会	2007.08.01 ~ 2009.07.31
3	第6期：松下 佐智子	メンフィス大学国際プログラム&サービスセンター	2007.08.01 ~ 2009.07.31
4	第6期：山崎 和子	ハリファックス公立学校区	2007.08.01 ~ 2009.07.31
5	第6期：山田 悠花子	クロフト・インスティテュート・フォー・インターナショナル・スタディーズ	2007.08.01 ~ 2009.07.31
6	第7期：荻島 光男	南フロリダ大学国際センター	2008.07.29 ~ 2010.07.28
7	第7期：服部 聖	ジョージア大学アジア研究センター	2008.07.29 ~ 2010.07.28
8	第7期：福崎 恵子	ケンタッキー大学アジアセンター	2008.07.29 ~ 2010.07.28
9	第8期：青木 真子	ウェイク・フォレスト大学東アジア言語文化学部	2009.07.27 ~ 2011.07.26
10	第8期：木幡 陽子	アーカンソー大学フォート・スミス校	2009.07.27 ~ 2011.07.26
11	第8期：森下 佳南	ウェプスター大学	2009.07.27 ~ 2011.07.26
12	第8期：吉本 道子	ウェスタン・ミシガン大学曽我道敏日本センター	2009.07.27 ~ 2011.07.26
13	第8期：米倉 夏江	フィンドレー大学	2009.07.27 ~ 2011.07.26

日米交流推進費

2. 催し等事業費 / (1) 日米交流支援 (助成)

日米両国の研究機関、大学等が行う政策指向の共同研究や、セミナー、シンポジウム等の知的対話を支援する。

合計額 220,234,637 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	グローバル経済の開放性と日米間のパートナーシップ	ランド研究所	2009.03.01 ~ 2010.02.28	地球規模の信用収縮に直面する世界経済において、とくに多角的開放性(multilateral openness)という観点から、開かれた貿易・投資政策を構築するための日米の環境整備や、世界的にも有益な両国の協力体制につき研究提言する。省エネ自動車など、日米で開放性や経済競争力を維持することにより技術開発が促進される可能性のある分野にフォーカスすると同時に、貿易のマイナス面を緩和する施策を模索(3年計画事業の1年目)
2	太平洋エネルギー・サミット	全米アジア研究所	2009.03.01 ~ 2010.03.31	拡大するエネルギー需要とそれに伴う環境問題への対策をテーマに、日米及びアジア各国の専門家等を交えて討議するプロジェクト。「太平洋エネルギーサミット」を2009年11月に東京で実施
3	中国・広東省の持続可能な発展に向けた教育	インスティテュート・フォー・サステイナブル・コミュニティズ	2009.04.01 ~ 2009.11.30	中国における持続可能な発展に向けた教育 <i>Education for Sustainable Development</i> の開発・普及を目的とする3年計画の事業。日米のNPOが主体となり、相互訪問・相互学習を通じて日米中のネットワークを形成し、広東省に適したカリキュラムを開発・試行し実践モデルを提案(3年計画事業の2年目)
4	21世紀グローバル社会形成における企業家の役割ー日本・中国・米国の比較を通じてー	財団法人渋沢栄一記念財団	2009.04.01 ~ 2010.03.31	過去の日本、中国、米国の企業家の経営哲学や企業家精神を比較分析し、21世紀のグローバル社会形成において、企業家が直面する諸問題においてどのような役割や社会的責任を果たすべきかを考えるプロジェクト
5	21世紀における日本・米国・中国の安全保障協力を求めて	財団法人平和・安全保障研究所	2009.04.01 ~ 2010.03.31	民間レベルでの日本、米国、中国3国間の安全保障協力に関する対話を継続し議論することで、共通目的を模索。若手研究者を積極的に加え、日本、中国、米国3国の次世代研究者育成も目指すプロジェクト
6	安全保障研究奨学プログラム	財団法人平和・安全保障研究所	2009.04.01 ~ 2010.03.31	わが国の安全保障を含む国際安全保障問題について、これから中核的な役割を担う若手研究者を養成し、国際的な貢献と日本の平和と安全に寄与することを目的とした奨学プログラムを実施。具体的な達成目標は、①安全保障問題を中心とした日米間の知的交流の促進②国内における安全保障問題に対する学術的関心の高揚と啓蒙活動の実施③安全保障問題の研究者の育成と政策指向型研究の推進の3点
7	核軍縮・核拡散防止にむけての日本からの提言	日本共同安全保障イニシアティブ	2009.04.01 ~ 2010.03.31	核兵器の脅威と原子力平和利用を唱え、核兵器に頼らない国際平和政策を提言する事業。平成20(2008)年度事業のまとめとして国内研究会を実施したのち、米国、スウェーデン、シンガポールを回って意見交換を行い、提言を作成
8	島嶼地域の持続可能性：太平洋島嶼地域の挑戦と可能性ー沖縄から太平洋島嶼地域への島嶼発展ノウハウの移転・活用を中心にしてー	日本島嶼学会	2009.04.01 ~ 2010.03.31	太平洋島嶼地域における持続可能な開発に向けた基礎資料の提供を目指し、特に沖縄で成功した持続可能な島嶼開発モデルをグアム、ミクロネシア、パラオ島嶼地域に応用する際の課題と戦略を考察するプロジェクト

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
9	日米ジャーナリスト交流	東西センター	2009. 04. 01 ～ 2011. 03. 31	日米のジャーナリストがそれぞれ相手国を訪れ、市民社会や地域コミュニティとの対話の機会をもった後、ホノルルで意見交換会を実施。日米関連情報のメディアでの取り上げの強化と両国の市民社会同士の新しいパートナーシップの可能性を探る3年間の事業の1年目
10	北東アジアを越える日本と米国のパートナーシップ	ユーラシア研究・日米交流実行委員会	2009. 04. 10 ～ 2009. 07. 10	東アジアだけでなく、ユーラシア全域にかかわる「日米協力の可能性」を探るため、既存の日米専門家対話と異なる新たな対話を組織し、新たな日米関係構築のアジェンダ設定を目指すプロジェクト
11	地球規模課題に対するACSMキャンペーンの学術的研究	特定非営利活動法人ストップ結核パートナーシップ日本	2009. 05. 01 ～ 2010. 03. 31	世界3大感染症のひとつである結核について、その対策に取り組んでいるNGO等団体の活動の柱であるACSM (Advocacy, Communication & Social Mobilization, 社会動員) 事業の方法論についての学術的研究と今後のさらなる研究、実務へのフィードバックを行う事業
12	名古屋アメリカ研究夏期セミナー	南山大学	2009. 05. 01 ～ 2010. 03. 31	グローバル化が急速に進展する今日的な問題の共有と解決の共同作業、また来るべき地球化社会で真に共有されるべき倫理構築の共同作業の必要性に鑑み、日米を機軸に好ましい国際関係を築き得る人材育成を急務と捉え、米国、アジア・オセアニア諸国から研究者及び大学院生を招き、米国研究の国際化と有為な人材の国際的ネットワークを構築
13	キャパシティ・ビルディング2009～2010	ボストン日本協会	2009. 06. 01 ～ 2010. 03. 31	ボストン日本協会のキャパシティ・ビルディング（組織基盤の強化・拡大）を目的として、各種事業開発及び京都・ボストン姉妹都市50周年記念事業を実施するプロジェクト
14	排出量取引が国際競争力と温暖化国際交渉に与える影響－法と経済学による政策提言－	上智大学	2009. 06. 01 ～ 2010. 05. 31	温室効果ガスのリーケージ問題（排出源を他国・地域に移動させることで地球規模での削減が進まないこと）と国境税（新興国からの輸入に課し温暖化対策を促す税金）が日本、新興国及び国際関係に与える影響を、欧米での聞き取り調査や経済理論を用いて分析する3年間のプロジェクト
15	アジアのサプライ・チェーン安全保障に向けた日米印三国間協力	ジョージア大学	2009. 06. 01 ～ 2010. 05. 31	近年、アジェンダを共有しつつある日本、米国、インドの安全保障政策について、大量破壊兵器拡散防止、対テロ対策、海洋安全保障、ハイテク技術について各国の動向及び連携・協力可能性を検討するプロジェクト
16	国際関係におけるエネルギー効率化：比較視座にみる日本	スタンフォード大学	2009. 06. 01 ～ 2010. 05. 31	エネルギー効率の良い政治経済と、国際関係におけるその役割についての調査。日本をモデルに多角的に検証し、世界各国で汎用性のあるモデル構築を狙うプロジェクト
17	非伝統的安全保障における日米協力の課題と展望：海賊対策をめぐって	財団法人日本国際フォーラム	2009. 06. 01 ～ 2010. 08. 31	近年その脅威が高まりつつある海賊を中心とする海洋犯罪への対応において、日米両国の果たしうる役割や日米同盟による効果的な協力方法について、海洋安全保障の専門家、実務家、海上交通・輸送ネットワークを担う物流関係者などの参加を得て、研究活動及び政策提言を行なうプロジェクト

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
18	日本－日系人交流：日米サミット会議	北加日本文化コミュニティセンター	2009.07.01 ～ 2009.10.30	変革期にある米国において日系人が果たしうる役割について、日系人と日本人のネットワーク強化を目的とした会議を7月17日～19日にサンフランシスコで開催
19	米国ジャーナリズム大学院生招へい事業	エマーソン・カレッジ	2009.07.01 ～ 2009.11.30	将来ジャーナリストとして活躍が期待される米国のジャーナリズムを専攻する大学院生6名を日本に10日間招へいする事業。滞日中にメディア関係者や専門家等との懇談や交流を通して日本の実像に触れると共に日本の外交や社会政策の背景にある文化的・歴史的経緯について理解を深める機会を提供するプロジェクト
20	日米加3極会議	ジョンズ・ホプキンス大学ライシャワーセンター東アジア研究所	2009.07.01 ～ 2010.06.30	日本、米国、カナダの国際問題専門家が共同で、世界が直面する平和安全保障について研究及び会議を行う3年間のプロジェクト。扱うテーマは地球温暖化、エネルギー安全保障、アジア太平洋地域の平和構築等。本年度は2009年10月にバンクーバーで会合を実施
21	エネルギー安全保障イニシアチブ	ブルッキングス研究所	2009.07.01 ～ 2010.06.30	G-Cubedという8千本の方程式で構成される経済計量モデルを用いて、日米共同で主要国のエネルギー利用による温室効果ガスの排出に伴う気候変動を分析。年1回（3年間）日本でワークショップを開催。中国の急速な経済成長に焦点を当て、エネルギー資源の確保と温室効果ガス排出抑制のために中国が果たすべき役割と政策を提言（3年計画事業の2年目）
22	中国における日米浄水ネットワーク構築	ウッドロー・ウィルソン国際学術センター	2009.07.01 ～ 2011.03.31	中国の水質汚染の改善に向け、日本、米国、中国の企業、NGO、調査機関、政府のネットワークを構築するプロジェクト。中国における水質汚染防止機関の設立を支援し、他の発展途上国にも有用な日・米水質改善協力モデルを促進
23	北朝鮮：日米同盟の挑戦	ヘンリー・スティムソン・センター	2009.09.01 ～ 2010.03.31	北朝鮮の核問題を中心に、日米の専門家が対北朝鮮政策における「日米の相違」を主眼に分析する事業。具体的には、①北朝鮮に対する日米のアプローチの違いを明らかにし、そうした②異なるアプローチが発生し存在し続ける理由、③相違がもたらす日米同盟への影響、④相違をうめる手段、について検証するプロジェクト
24	地域経済成長のための推進力	ペンシルバニア州立大学	2009.09.01 ～ 2010.08.31	APEC等によって進められている「地域標準化戦略」のプロセスと成果を認知させることを目指す。標準化戦略の本質、日本の役割、APEC内での日米相互利益を通じた日米関係の強化等を探り、実施可能な政策提言を行う計画
25	災害復興のマネジング：国際政策とその実践（ブックプロジェクト）	ジャパン・ソサエティ	2009.09.01 ～ 2011.03.31	日本、米国、オーストラリア、東南アジアの第一線の研究者・実務者による、「災害復興マネジメント」に関する初の包括的な書籍執筆プロジェクト。自然災害のみならず、テロなどの人災も対象とし、如何に政府・NPO・ビジネスが悲劇的な災害からの復興に対処していくか、また、如何に次の災害の予防に繋げていくかといった視点から、近年被災したアジア太平洋各都市の事例を取り上げて国際的・学際的に検討し、ベストプラクティスを導き出すことを目的とする事業

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
26	精神保健福祉政策の形成及び実施においてNPOが果たすべき役割と日米のNPOの相互連携がもたらす効果についての国際比較研究	特定非営利活動法人自律支援センター さぽーと	2009.09.11 ～ 2010.03.31	精神障害者の権利擁護や生活・社会参加支援を目的として、どのような発言や運動を行うことが公共政策に有意義な影響を与えることができるかの解明を目指すプロジェクト。日米比較調査・資料収集、シンポジウム・ワークショップ、NPOの社会的認知度の向上とスタッフ養成の実践的試行、提言のまとめ、成果発表の4期に分けて実施（2年計画事業の2年目）
27	ローカルフードネットワークによる地域社会醸成	カンザス・ルーラル・センター	2009.10.01 ～ 2010.02.28	「有機農業」を切り口に、日米双方の地域社会が直面する持続可能性の問題に取り組む日米NPOの交流プロジェクト。カンザスと埼玉の農業関係者及び専門家による相互訪問、知見の交換ならびにワークショップ等を実施（2年計画事業の2年目）
28	日米国際貿易の新展開様式の数量的分析	ミシガン大学	2009.10.01 ～ 2010.02.28	多国籍企業が生産工程を分解し、組み立て作業など労働集約的な部分を開発途上国に輸出（外注）するという日米にも見られる国際貿易形態の構成要素を定量的に測るためのメソッドとデータの開発に新たに取り組む、世界貿易や海外直接投資の将来発展の予測や、貿易から得られる便益の評価、自由貿易協定の影響力測定、効果的な貿易政策の策定などに役立てることを目指す日米共同研究（2年計画事業の2年目）
29	法と経済における希望	コーネル大学	2009.10.01 ～ 2010.03.31	希望が社会にどのようなインパクトを及ぼすかという希望学研究の見地から、希望が労働法、教育政策、市場規制といった政策立案や政策形成にどう影響しているかを日米で比較研究するプロジェクト
30	紛争後の安全保障と外交の強化：日米の平和構築戦略における資源管理・インフラ再整備	エンバロメンタル・ロー・インスティテュート	2009.10.01 ～ 2010.09.30	紛争収拾後の、関係当事者間による天然資源マネジメント及びインフラ整備事業を融合させることで平和構築プロセスにどのように効果的に寄与することができるか、ケーススタディに基づき共同研究・政策提言を行う3年間のプロジェクト。ニューヨークと東京で研究成果や提言をテーマにした国際シンポジウムを開催（3年計画事業の2年目）
31	日米アジアジャーナリスト会議（CARTプロジェクト）	CARTプロジェクト事務局	2009.11.01 ～ 2009.11.30	日本、米国、中国、東南アジアから第一線のジャーナリスト、メディア関係者、研究者を招へい。日米関係の強化に資する重要な政策課題や問題領域（日本の政権交代とアジア、オバマ政権のアジア外交、ナショナリズムとメディアの役割等）に関して、グローバルな視点に立った日米関係強化に向けた建設的な議論を通じ、参加者相互の問題意識の共有とネットワークの構築を目指す事業
32	アジアをつなぐ：アジアにおける協調的フレームワークのための米日戦略	米戦略国際問題研究所	2009.11.01 ～ 2010.03.31	アジア太平洋諸国の地域秩序と日米関係について分析、政策提言を目指す。広範なコンセンサスや将来の組織的枠組み議論の推進、地域枠組み及びモデルを提案。日・印・米3カ国戦略対話のアイデアを紹介し、アジア政治の安定、経済開放、民主主義、法の支配、グッド・ガバナンス、アジアにおける民主主義の機能形成の鍵となる行動指針を提案（3年計画事業の2年目）

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
33	アジアの海洋安全保障：挑戦と選択	アメリカン・エンタプライズ研究所	2009.12.01 ～ 2010.03.31	「アジアの海洋安全保障：挑戦と選択」をテーマに、アジアにおける海洋環境の変化と、そうした変化が日米の地域力学にもたらすインパクトを検証する。アジア諸国の海洋安全における潮流や課題を認識し、海軍能力の情報提供や技術革新の調査、海洋保全を促進する政策を提言（3年計画事業の2年目）
34	台頭する中国とインド	外交問題評議会	2009.12.01 ～ 2010.11.30	グローバルな課題における中国とインドの台頭を分析し、両国が国際関係マネジメントに及ぼす影響を解明。さらに、現代の国際的なパワーシフトと、日米の政策選択のリンクを研究。日米の官民両セクター方針決定者に、協力の機会に関する政策関連指針を提供（3年計画事業の2年目）
35	グローバル化する世界のCSR：効果的なグローバル	ミシガン大学	2009.12.01 ～ 2010.11.30	グローバル企業活動のネガティブ・インパクト（環境汚染や人権侵害等）の改善策やグローバルなCSRフレームワークでの解決策について、日本、米国、シンガポール、タイ等の企業の社会貢献活動（CSR）を促進する「グローバル・フレームワーク」への参加パターンを分析する事業
36	国際シンポジウム「地球温暖化と低炭素社会への選択」	社団法人世界貿易センター（東京）	2010.01.01 ～ 2010.03.31	グリーン・ニューディールという標語の下で、温暖化対策と持続可能な経済成長モデルの構築、CO2排出を減らす研究や技術開発、途上国への支援やNGOとの連携のあり方について様々な角度から日米に加え中国などから有識者を招いて討議する国際シンポジウムを2010年3月に開催
37	第7回日米協会国際シンポジウム	社団法人日米協会	2010.01.05 ～ 2010.03.31	日米両国の日米協会の連合体である全国日米協会連合会（NAAJS）と全米日米協会連合会（NAJAS）が1995年以来数年に一度開催する日米合同シンポジウムを2010年8月に秋田で開催。同大会に合わせて、日米両国の日米協会会員のネットワーク化及び両国の社会や日米協会に共通する課題に関する対話を目的とした日米協会合同会議を実施
38	北米日本庭園イニシャチブ	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校アール・バーンズ・ミラー日本庭園	2010.02.01 ～ 2010.03.31	日本庭園相互のネットワークの形成と基盤強化ならびに北米日本庭園連合設立を目的に、北米の各地日本庭園の実態調査、ネットワーク会議及び日本側協力団体との協議を実施するプロジェクト
39	ブリュッセル・フォーラム	ジャーマン・マーシャル・ファンド	2010.03.01 ～ 2010.03.31	米国及び欧州を中心としたハイレベルの政府関係者や有識者、グローバル企業経営陣、ジャーナリストが参加するフォーラムで、2010年3月にブリュッセルで開催。フォーラムのテーマは、アフガニスタン、軍備管理・軍縮、経済危機への欧米の金融政策評価、多極世界における多極経済統制構造、トルコとの対話、中東問題、イラン、日本の新政権等



日米交流推進費

2. 催し等事業費 / (2) 日米交流支援 (主催)

日米間の知的交流を推進するために、セミナー・シンポジウム等を開催する。

合計額 55,980,978 円

	事業名	共催・協力機関	期間	事業内容
1	米国若手指導者ネットワークプログラム	外務省	2009.04.01 ~ 2010.03.31	日米知的交流事業の一環として、将来、米国の外交政策及び世論形成過程に関与し得る、対日関心層の拡大及び次世代の日米関係深化促進を目的とした本邦招へい対話事業（外務省共催）。米国の若手中堅研究者・ジャーナリスト等5名を日本に7日間招へいし、政・官・財・学・メディア等各界リーダーとの意見交換、議員面談、人脈構築の場を提供。最新の日本政治、経済、外交のレクチャーや古都文化体験・地方企業視察も実施
2	世界災害語り継ぎフォーラム	世界災害語り継ぎフォーラム実行委員会	2009.04.01 ~ 2010.03.31	阪神淡路大震災の15周年にあたる2010年3月、日米に加えアジアを含む被災各地から、復興・災害の記憶継承（語り継ぎ）・防災に携わる関係者を日本に招へいし、神戸にて3日間にわたり国際会議「世界災害語り継ぎフォーラム」を開催。事前会合として、2010年1月に、ハリケーン・カトリーナ災害を受けた米ニューオリンズと神戸の地域間対話事業を実施し、成果を3月のフォーラムで発表。世界災害語り継ぎフォーラム実行委員会主催、日米センター共催。悲惨な災害の記憶を風化させず次世代に伝える方法を話し合い、日米を機軸にアジアとの連携を図りながら、国際社会が災害との共存に向けて取り組むためのネットワークを強化
3	日本ー日系人交流促進プロジェクト	全米日系人博物館	2009.04.01 ~ 2010.03.31	多様な分野で活躍する日系米国人（主として3世・4世）を日本に招へいし、各界との対話、公開シンポジウム、報告書等の出版を通じて、日米相互理解の深化と米国日系人コミュニティとの長期的な関係強化を目的とする事業
4	米国CSR調査に関するヒアリング調査	パブリック・リソース・センター	2009.04.10 ~ 2010.03.31	平成20年度調査のフォローアップとして、在米日系企業のCSR活動実態をより具体的に把握し対外的に紹介すべく、アンケート調査の回答結果を得た企業で特にユニークな活動を実施していると思われる企業を対象にヒアリング調査を実施（委託）
5	日米次世代パブリック・インテレクチュアル・ネットワーク事業	モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団	2009.04.01 ~ 2012.03.31	次代の米国を担うパブリック・インテレクチュアル（グローバルな課題に取り組み、米国の世論形成に影響力を有す、あるいは今後有することが期待される人材）、特に多様な領域で日米関係を語る人材、日米が主導的役割を果たすことが期待される領域を専門としつつ日本にも関心を有する若手・中堅世代の人材の間に緊密なネットワークを形成し相互啓発の機会を提供することを目指し、日米パートナーシップの維持発展に貢献することを企図
6	Japan Policy Fellowship Program	米国戦略国際問題研究所（CSIS）	2009.04.01 ~ 2010.08.31	米国の政策研究者等で日本に関心のある有望な人々をワシントンDCの政策コミュニティに参加させ、将来の米国の政策に影響力を行使しうる層を拡大する人材育成を目的としたプログラム。本年度は、平成19年度に同研究所と共催で実施したフェローシップ・プログラムの、パイロット版の成果を踏まえて実施

日米交流推進費

	事業名	共催・協力機関	期間	事業内容
7	リンカーン生誕200周年交流事業	財団法人国際教育振興会	2009.06.01 ～ 2009.10.31	リンカーン生誕200周年を記念し、日本の高校生を米国に派遣、リンカーンゆかりの施設を視察し、現在のオバマ大統領にいたるまでの現代米国の民主政治の歴史的意義を再認識させるとともに、米国の市民・青少年との交流事業を通じて、日米交流の次世代の担い手の育成を図り、日米両国間のパートナーシップ醸成を促進
8	米国国際関係大学院生招へい	国際問題大学院連合	2009.08.15 ～ 2009.08.25	米国の国際関係論を専攻する大学院生13名を招へいし、日本の学者、研究者、政治家、財界人、NPO、文化人との懇談、関係機関への視察を通じて、日本の外交や社会政策の背景にある文化的・歴史的経緯にも触れる機会を提供することで、親日家・知日家となるきっかけを提供し、より強固で多角的な日米関係の発展に寄与することを旨とする事業
9	日米青年政治指導者交流プログラム (訪日事業)	財団法人日本国際交流センター	2009.10.01 ～ 2010.03.31	日米両国の若手政治家、政策秘書、政党スタッフ等、両国関係の将来に影響を有する人材を対象に、超党派訪問団を組織して相互交流を行い、政策形成過程と密接な関わりを持つ政界関係者の対話と理解を促進することを通じて、長期的観点で両国の関係基盤を整備することを目的とした事業
10	日米草の根交流調査(日本)	財団法人日本国際交流センター	2010.01.25 ～ 2010.03.31	日本国内における日米二国間の草の根交流が昨今の情勢の変化に伴い、どのような変化が生じているかについて、その現状や新たな動向などに関する調査を実施
11	知的リーダー派遣事業「日米韓トラック1.5会議」	外務省	2010.01.31 ～ 2010.02.04	「北東アジアにおける日米韓3カ国間の対話：新たな現実と機会への適応」というテーマで、日本、米国、韓国のシンクタンク及び政府関係者が朝鮮半島情勢、アジアの安全保障、グローバルな日米韓協力に係る議論を実施
12	日米青年政治指導者交流プログラム (訪米事業)	財団法人日本国際交流センター	2010.02.01 ～ 2010.03.31	日本の若手政治家、政策秘書、政党スタッフ等、日米関係の将来に影響を有する人材を対象に政党派遣訪問団を組織して訪米。政界における対話と理解を促進し、日米の関係基盤整備を目的とした事業
13	知的リーダー派遣事業「サブサハラ・アフリカ会議」	外務省	2010.02.25 ～ 2010.02.26	G8及びアフリカが中心となって、サブサハラ・アフリカにおいて研究、政策立案に携わる人材育成のあり方や研究ネットワーク設置について議論

日米交流推進費

2. 催し等事業費 / (3) 市民青少年交流 (助成) [日米センター]

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業 (通常の助成事業) に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 1,764,610 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	第61回日米学生会議	財団法人国際教育振興会	2009.04.01 ~ 2010.03.31	日米両国の学生72名が1か月間東京、函館、長野、京都を視察しながら地球市民教育、政治経済、安全保障、持続可能な開発などの各分野について、専門家の講義や学生向けのディスカッション、公開フォーラム等を実施
2	いのちと医療を考える講演会及びセミナー開催事業	特定非営利活動法人シェア=国際保健協力市民の会	2009.08.23 ~ 2010.01.03	プライマリ・ヘルス・ケアの第一人者であるデビッド・ワーナーを日本に招き、途上国における草の根の保健医療や地域に根ざしたリハビリ・ケアに関する講演会やセミナーを開催
3	2010年模擬国連会議全米大会 第27代日本代表団派遣事業	模擬国連委員会	2010.03.12 ~ 2010.04.03	毎年ニューヨークで開かれる、学生が一国の大使を担当し国連会議をシミュレートする模擬国連会議全米大会に代表10名を派遣し、アメリカのパートナー校であるカリフォルニア州立大学チョコ校とともに参加

## 調査研究及び情報提供事業等に必要経費

### 情報センター事業費

#### 1. 催し等事業費

- (1) 国内連携促進

#### 2. 文化資料事業費

- (1) 定期刊行物
- (2) 年次報告
- (3) ウェブサイト・メールマガジン
- (4) JFサポーターズクラブ

#### 3. 調査研究費

- (1) JFIC事業
- (2) 国際交流顕彰事業（基金賞）
- (3) 国際交流顕彰事業（地球市民賞）

#### 4. その他

- (1) 後援名義の付与

情報センター事業費

1. 催し等事業費 / (1) 国内連携促進

国内の国際交流活動の振興と国際交流団体のネットワーク化を目的としたセミナー等を開催する。

合計額 878,048 円

	事業名	共催・協力機関	期間	事業内容
1	フェスティバル参加	グローバルフェスタJAPAN2009実行委員会 ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会 ワールド・コラボ・フェスタ実行委員会	2009.04.01 ~ 2010.03.31	全国各地で開催される国際交流フェスティバルにブース出展、セミナーを実施。東京（グローバルフェスタ JAPAN 2009）、大阪（ワン・ワールド・フェスティバル）、名古屋（ワールド・コラボ・フェスタ2009）に参加
2	ウェブサイト「AIR_J」		2009.04.01 ~ 2010.03.31	全国各地で実施されるアーティスト・イン・レジデンス事業を支援し、国内外の関係者や訪日を希望する海外のアーティスト等に情報を提供するため、日本国内のアーティスト・イン・レジデンス情報をウェブサイト（和文・英文）に掲載 URL: <a href="http://air-j.info/">http://air-j.info/</a>

情報センター事業費

2. 文化資料事業費 / (1) 定期刊行物

国際文化交流に関する専門誌『をちこち（遠近）』（和文）を、隔月にて発行する。

合計額 27,263,688 円

	事業名	部数	事業内容
1	『をちこち（遠近）』 29号	7,000	特集「世界と出会う歌舞伎」2009年6月1日発行
2	『をちこち（遠近）』 30号	7,000	特集「メコンの暮らしから考える『人間と川』」2009年8月1日発行
3	『をちこち（遠近）』 31号	7,000	特集「国境を越える人々と国家の関係」2009年10月1日発行
4	『をちこち（遠近）』 32号	7,000	特集「海外で活躍している日本人が、ここにもいる」2009年12月1日発行

2. 文化資料事業費 / (2) 年次報告

年度ごとに総括を報告する年報を発行する。

合計額 9,854,222 円

	事業名	事業内容
1	和文年報	国際交流基金の平成20年度（2008年度）事業に関する和文年報の作成（2,000部）、送付
2	英文年報	国際交流基金の平成20年度（2008年度）事業に関する英文年報の作成（2,000部）、送付
3	事業実績	国際交流基金平成19年度（2007年度）事業に関する事業実績（PDFファイル版）の作成

2. 文化資料事業費 / (3) ウェブサイト・メールマガジン

ウェブサイト、Eメールマガジンを通じて、プログラムガイドライン等も含めた国際交流基金の各種事業や、国際文化交流に資する情報提供を行う。

合計額 15,320,496 円

	事業名	事業内容
1	国際交流基金ウェブサイトの運営	国際交流基金の事業に関する情報、公募事業の案内、申請書類、その他お知らせ等をインターネット上で提供 URL: <a href="http://www.jpif.go.jp/">http://www.jpif.go.jp/</a>
2	メールマガジン	国際交流基金の事業に関する情報をメールマガジン（和文:週1回、英文:隔週1回）で配信
3	ブログ「地球を、開けよう。」	国際交流基金の事業に関する告知や報告をブログで公開 URL: <a href="http://d.hatena.ne.jp/japanfoundation/">http://d.hatena.ne.jp/japanfoundation/</a>
4	動画配信	ウェブサイト上で国際交流基金の実施した催し物等の映像ファイルを公開

情報センター事業費

2. 文化資料事業費 / (4) JFサポーターズクラブ

国際交流基金事業への支援者を対象として、国際文化交流事業に参加してもらうことを目的としたJFサポーターズクラブを運営する。

合計額 2,913,383 円

	事業名	事業内容
1	JFサポーターズクラブの運営及びイベントの実施	JFサポーターズクラブ会員への広報をする場として、また新規会員獲得の場として、国際交流基金事業に関連するトークイベント、講演会、コンサート、国際交流基金附属日本語国際センター授業見学会などを実施。本制度は、平成22年1月をもって新規会員募集を停止

3. 調査研究費 / (1) JFIC事業

国際文化交流、日本関係情報、国際交流基金の活動についての情報を収集し、広く一般に提供するための、ライブラリーとイベントスペースを併設した情報センター（JFIC：ジェイフィック）を運営する。

合計額 42,300,297 円

	事業名	事業内容
1	JFICライブラリーの運営	<p>国際交流基金の実施事業に関する出版物、国際文化交流・文化政策に関する関係資料、外国語で書かれた日本紹介資料を収集。研究者や国際文化交流に関心のある幅広い利用者に情報を提供している。さらに海外の基金図書館とのネットワーク調整、運営支援も行う。所蔵する貴重資料の特別展示「ちりめん本を知っていますか？」を開催</p> <p>①所蔵資料合計（視聴覚資料を含む）：37,898点                      （内訳：図書 35,510冊、視聴覚資料 592点、マイクロ資料 1,796点）                      雑誌 426冊、オンラインジャーナル 21点、新聞 8紙</p> <p>②利用者数（年間）：18,652名                      ③貸出点数（年間）：3,002点                      ④レファレンス件数（年間）：908件</p>

情報センター事業費

3. 調査研究費 / (2) 国際交流顕彰事業 (基金賞)

学問、芸術その他の文化活動を通じて、国際文化交流に特に顕著な貢献があった個人、団体等に対しその功績を顕彰する。

合計額 26,467,570 円

	種別	受賞者	現職	対象国	授賞理由
1	国際交流基金賞 (文化芸術交流部門)	ボリス・アクーニン (本名: グリゴリー・ チハルチシヴィリ)	作家	ロシア	ロシアのベストセラー作家であり、日本文学研究者・翻訳者であり、日本文学をロシアに紹介するとともに、推理小説シリーズをはじめとする多彩な執筆活動において日本文化の紹介に貢献し、またロシアを代表する文化人の一人として日露文化交流に貢献した
2	国際交流基金賞 (日本語部門)	全米日本語教師会連合会 (Alliance of Association of Teachers of Japanese (AATJ))	—	米国	全米日本語教師会連合 (Alliance of Association of Teachers of Japanese [AATJ] 代表: スーザン・シュミット事務局長) は、全米規模の日本語教育団体の連合体。各団体の活動の調整を行うとともに、研修事業や情報交流事業を実施することによって、初・中等教育段階から高等教育段階におよぶ米国における日本語教育の発展に大きく貢献した
3	国際交流基金賞 (日本研究・知的交流部門)	アーサー・ストックウイ ン	オックスフォード大学 日産日本問題研究所 前所長	英国	英国を代表する日本研究者として、現代日本政治の研究において優れた業績を挙げ、英国における日本研究を促進するとともに、オックスフォード大学日産日本問題研究所長として対日理解の促進と日英の学術交流に大きく貢献した

3. 調査研究費 / (3) 国際交流顕彰事業 (地球市民賞)

国内各地で行われている地域に根ざした国際交流活動を振興するために、この分野で活躍している国内団体、個人を顕彰する。

合計額 12,032,960 円

	受賞者	都市	授賞理由
1	特定非営利活動法人自然生クラブ	茨城県つくば市	1990年から、茨城県の筑波山麓を拠点として知的ハンディのある人々を含む「組織体」を作り、環境保全型農業を営みながら、その生活から育まれた感性を表現する活動を展開。海外から障害のあるアーティストを招くなどの国際文化交流を行っている
2	特定非営利活動法人浜松NPOネットワークセンター	静岡県浜松市	人口の約4%弱、3万人が外国人という、全国有数の外国人集住都市である静岡県浜松市で、1998年より多文化共生事業に取り組む。教育、医療、アートを3つの柱に、人々をつなぐ「ネットワーク」を目指している
3	特定非営利活動法人グリーンバレー	徳島県神山町	2004年より、徳島県神山町で、アートを柱に過疎化地域が生き残るためのグローバルな地域活性化を図っている。海外アーティストを招く神山アーティスト・イン・レジデンス (KAIR) 事業、アートの森整備事業など多彩な活動を展開



情報センター事業費

4. その他 / (1) 後援名義の付与

一定の要件を満たす国際交流事業に対して、国際交流基金の後援名義の使用を承認し、当該事業の実施を支援する。

合計額 0 円

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
1	第4回全中国選抜 中国日本語スピーチコンテスト	中国 日本	日本経済新聞社	2009.04.01 ~ 2009.07.13	中国全土の大学生を対象に北京、上海、広州など8都市で予選会を行い、予選通過者16名を日本に招へいして都内で本選を実施するとともに、彼らに日本の政界、経済界の人々や大学生たちと交流する機会を設ける。中国の学生達の日本語学習意欲向上と、対日理解を深めてもらうことを目的とした事業。日本経済新聞社、中国教育国際交流協会、日本華人教授会議の3者による共催事業
2	第10回大阪国際音楽コンクール	日本	大阪国際音楽振興会	2009.04.01 ~ 2009.10.12	世界へ羽ばたく若い音楽家を見出し、送り出す目的で、大阪で国際規模のコンクールを開催。高度な芸術・文化の発信地として関西をアピールし、21世紀の世界平和と関西一円の繁栄の礎を築く
3	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 「熱狂の日」音楽祭2009 ~バッハとヨーロッパ~	日本	株式会社東京国際フォーラム	2009.04.28 ~ 2009.05.05	クラシック音楽の裾野を広げ、その素晴らしさを老若男女あらゆる人々で分かち合う。特に子供たちに、クラシック音楽の素晴らしさと感動を伝え、21世紀を担う彼らの健全な育成を図る。世界各地で活躍する音楽家たちの交流を通じ、国、地域を越えて諸外国と日本の文化交流を促進する。地域の魅力ある街づくりに貢献し、その魅力を世界に向けて発信する等の目的で、バッハの音楽を基にしたクラシック音楽祭を開催
4	留学生論文コンクール	日本	財団法人大学セミナーハウス	2009.05.01 ~ 2009.11.15	「お互いを知ることから多文化共生の道を共に探してみよう」をテーマに、日本の大学に在学中の留学生から、自分の体験にもとづく提言をまとめた論文を募集。入選者に賞状等を授与
5	一四川大地震発生1周年一写真展 四川、加油！（がんばれ！四川）	日本	日本中国友好協会	2009.05.12 ~ 2009.05.14	四川大地震震災1周年を迎える2009年5月12日から3日間、被災地の現状を伝え、必要な支援をともに考える写真展を開催。この写真展を通じて、若い世代を含む日本国民の四川大地震被災者への関心を高め、復興に向け支援の輪を広げる
6	第8回J-AIRネットワーク会議	日本	J-AIRネットワークフォーラム 実行委員会	2009.05.14	①国内のアーティスト・イン・レジデンス（AIR）の担当者、在日大使館文化担当官及びAIR関連事業の関係者が一堂に会し、時代背景からAIRのテーマを抽出し、それを元に意見交換と情報収集を行う。②AIR活動の普及と振興。国内のアーティストや美術大学生、美術教育者に向けて、国内外のAIR活動の場を紹介し、国際的な創作の機会に関する情報を提供する。以上の2つのフォーラムを開催
7	あーすフェスタかながわ 2009	日本	あーすフェスタかながわ2009 実行委員会	2009.05.16 ~ 2009.05.17	地域社会と神奈川県在住外国人が交流を深め、相互の協力関係を作り上げていく機会として、在住外国人とNGO等が企画・運営して、公演、ワークショップ等、参加者が「多文化共生」や「国際理解」について共に考え、語らい、楽しむ催しを開催

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
8	第30回世界アマチュア囲碁選手権戦静岡大会	日本	財団法人日本棋院	2009.05.27 ~ 2009.05.30	アマチュア囲碁棋士の技術向上と各国囲碁組織の強化発展を目的として開催。海外66カ国・地域から代表選手66名が参加し、スイス・システムによる個人対局を行い世界アマチュア・チャンピオンを決定
9	New York Asian Symphony Orchestra (東京公演)	日本	株式会社グローバーズ	2009.05.28 ~ 2009.06.14	ニューヨークで、若手アジア人演奏家の国際的認知度・評価の向上、活動の支援を目的とする米国の非営利団体オーケストラの公演。今回のツアーは一流アーティストと音楽のジャンルを超えた交流を実現し、若者たちの交流も実施
10	第2回メコン川音楽祭2009	日本	特定非営利活動法人 アジア子ども教育基金協会	2009.05.29	タイ国王81歳記念植林及びミャンマー、ラオス音楽学校建替え基金のため、タイ、ミャンマー、ラオスから来日する若手歌手がチャリティ・コンサートを開催
11	ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン (MMCJ) 2009	日本	ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン実行委員会	2009.06.10 ~ 2009.06.23	指揮者、大友直人、アラン・タケシ・ギルバートを芸術監督として、世界各国のオーケストラ首席クラスの演奏家を講師に招き、プロの音楽家を目指す若い演奏家の育成を目的にクラシック音楽の国際的マスター・コースを開催。室内楽集中セミナー、公開セミナー及びリハーサル、国際交流フォーラムを開催。アートマネージメントコース、講師陣による演奏会、成果発表演奏会等も実施
12	なら 春子トリオ凱旋コンサート	日本	ドラムツリーミュージック	2009.06.13	国際交流基金の在米日本文化専門家中南米派遣事業の一環で、3年間に亘って行われた中米カリブ7カ国（プエルトリコ、トリニダード・トバゴ、パナマ、ホンジュラス、エルサルバドル、コスタリカ、ドミニカ共和国）文化交流ツアーの成果を日本で報告発表する。ツアーと同メンバー、なら春子（ピアノ、アフリカンドラム）、ジノ・シトソン（ボーカル、アフリカンドラム）、増尾好秋（ギター、パーカッション）のトリオによる演奏とトーク
13	第7回日本・インドネシア美術文化交流展(ジャカルタ展)	インドネシア	インドネシア美術研究会	2009.06.18 ~ 2009.06.25	相互の研鑽と交流を通じて、インドネシアと日本の相互理解を深めることを目的に、インドネシア人作家と日本人作家による美術作品展を開催
14	渋沢 栄一賞	日本	埼玉県	2009.07.01 ~ 2010.02.28	多くの企業の設立や育成に携わる一方で、福祉や教育などの社会事業にも尽力した渋沢栄一翁の業績をたたえ、その精神を今に受け継ぐ健全な企業活動を営むとともに、国際交流・協力分野を含む社会貢献活動が顕著な企業または企業経営者に渋沢栄一賞を授賞
15	第15回カナガワビエンナーレ国際児童画展	日本	財団法人かながわ国際交流財団	2009.07.01 ~ 2010.03.31	絵画を通じて児童の夢と想像力を育み、多文化共生社会の実現に向けて、お互いの生活や文化を理解し合う目的で、県内及び世界各国から児童画を募集して展覧会を開催

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
16	英国劇団プロペラ公演『ヴェニス商人』『夏の夜の夢』	日本	東京芸術劇場（財団法人東京都歴史文化財団）	2009.07.02 ～ 2009.07.12	野田秀樹の芸術監督就任記念にふさわしい国際プログラムにすべく、イギリスから斬新な演出と質の高い演技で世界各国で注目を集めており、未だ来日したことのない英国の劇団「プロペラ」を招へいし、話題性と発信性で、国際文化交流事業展開の布石とする。公演終了後には、エドワード・ホール（劇団プロペラ演出家）と野田秀樹による、ポスト・パフォーマンス・トークを実施
17	2009金沢工業大学／米国図書館・情報振興財団図書館・情報科学に関する国際ラウンドテーブル会議	日本	学校法人金沢工業大学	2009.07.09 ～ 2009.07.10	「新しい情報技術が教育・研究をどのように変えたか」をテーマに、eラーニングを中心とした米国の事例をもとに、今後における課題と方向性を探る国際会議を開催
18	第31回びあフィルムフェスティバル	日本	びあ株式会社	2009.07.17 ～ 2009.07.31	「映画の新しい才能の発見と育成」をテーマに、映画監督を目指す全国のアマチュア映画作家を対象に1997年から実施している映画祭
19	第30回霧島国際音楽祭	日本	財団法人ジェスク音楽文化振興会	2009.07.24 ～ 2009.08.09	国内並びにアジアの音楽文化の発展に資するため、世界一流のアーティストを講師に招き、日本及びアジアの若手音楽家を対象としたマスタークラスと演奏会を開催
20	'09 平和をつくる子ども交流プロジェクト	イスラエル、パレスチナ	特定非営利活動法人聖地のこどもを支える会	2009.07.28 ～ 2009.08.09	日常生活ではほぼ不可能になっているイスラエル（9名）とパレスチナ（9名）の青少年に、出会い・対話と交流の機会を提供。さらに日本（8名）の青少年も参加してイスラエル、パレスチナに派遣することで、3カ国の若者が体験・対話・交流を通して紛争問題と和解の必要性を学び、民族・宗教・文化の違いや敵意を超えて平和をつくり育てる決意をはぐくむことを目指した
21	第25回東川町国際写真フェスティバル	日本	東川町写真の町実行委員会	2009.07.28 ～ 2009.09.06	本展は大雪山国立公園の大自然に恵まれた地の利を活かし、東川町が世界に開かれた写真立国を目指す核になるものである。国内外の写真作家が参加する国際的な写真賞授賞式を中心に、受賞作家フォーラムや著名写真家との講習会を実施。これらの行事を通し、アマチュア写真家や来町者及び地域の人々の国際的な文化交流とコミュニケーションを進めることを目的として開催
22	第8回夏期教員ワークショップ	日本	武蔵野市国際交流協会	2009.07.29 ～ 2009.07.31	「『まち』・世界をつなぐ国際理解教育」をテーマに、地域に暮らす外国人やNGOとの協働での授業づくりを推進することを目的に、国際理解教育の理念・理論及び参加型学習の手法や実践事例を紹介しながら、教員が授業実践のイメージを獲得できる場を提供

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
23	ITI伝統芸能ワークショップ2009 vol.21 《狂言》	日本	社団法人国際演劇協会 (ITI)	2009.08.10 ~ 2009.08.19	日本固有の舞台芸術を参加者に体験させることにより、日本芸術をより身近なものとしてとらえ、日本文化への理解を深めるために開催する俳優のための実技研修。参加者の国籍を問わず（参加者の約半数は外国人）広い視野に立って次世代の育成と交流を目的とする。また、狂言の基本的な発声と身体の使い方を体得するための練習及び所作・構成がシンプルかつ洗練されている演目を選択し、これらを中心に稽古、装束付けも体験、最終日に公開発表を実施
24	第22回JAPAN TENT—世界留学生交流・いしかわ2009—	日本	第22回JAPAN TENT開催委員会	2009.08.20 ~ 2009.08.26	国際社会の未来を担う世界各国・地域からの留学生を石川県に招き、国際交流を図ると共に、若者達の夢と希望、日本の社会・文化・生活などについて意見を交換する
25	第46回全国国際教育研究大会 青森大会	日本	全国国際教育研究協議会	2009.08.21 ~ 2009.08.22	「共に生き、共にはたらく—開発教育の視点から—」を大会のテーマに、基調講演、分科会「“グローバルシチズン”について考える」、「ジャンボ国際交流部の活動」、ワークショップ等全7本のほか、地球のステージシンポジウム「国際理解教育の理念と高校現場への還元」、第29回高校生英語弁論大会、第9回留学生日本語弁論大会を実施
26	第31回ぎふアジア映画祭	日本	ぎふアジア映画祭実行委員会	2009.08.23 ~ 2009.12.06	アジア各国の映画を上映することにより、その国の文化風習などに触れる機会を提供し、アジアとの文化交流を深める場とした。また上映作品の字幕翻訳家とのゲストトークも実施
27	UNIT ASIA (ユニット・アジア) Live at Blues Alley Japan	日本	有限会社ブラネットアーツ	2009.08.27 ~ 2009.08.30	国際交流基金が2008年10~11月に実施した事業「UNIT ASIA 東南アジアツアー」を機に特別編成されたアジア各国の演奏家によるジャズバンド「UNIT ASIA」の2009年夏の特別公演
28	全国日本語学校対抗「日本検定クイズ大会」	日本	日本検定クイズ大会実行委員会	2009.09.01 ~ 2009.09.02	外国人留学生の日本文化理解促進、国際交流の目的で、日本の文化や社会に関する知識をクイズ形式で競い合う催し。本年度は、日本全国の日本語教育機関36校で学ぶ72名の外国人学生が出場
29	高校生小論文コンテスト	日本	城西国際大学国際人文学部国際文化学科	2009.09.01 ~ 2009.10.31	これから大学教育を受ける若い世代に向けて、グローバル時代の日常生活と世界の現実との緊密な関係や、世界の中での日本文化に対する眼差し、国際的文化交流に関心が持てるよう、世界の中における日本をテーマにした小論文のコンテストを実施
30	横浜クリエイティブシティ国際会議2009	日本	横浜クリエイティブシティ国際会議2009実行委員会	2009.09.04 ~ 2009.09.06	クリエイティブシティの新たな方向性と戦略を検討するとともに、市民、NPO、大学、行政等多様な担い手によるネットワーク形成をはかることを目的に国際会議を開催。基調講演・パネルディスカッション（賢人会議・首長会議）・3つの分科会等による議論を通じ「横浜クリエイティブシティ国際会議2009横浜宣言」を行った
31	丹波の森国際音楽祭シューベルトァーデたんば2009	日本	丹波の森国際音楽祭シューベルトァーデたんば実行委員会	2009.09.05 ~ 2009.11.23	丹波地域からシューベルトの音楽を通じた地域交流・国際交流の一層の推進を図るため、音楽祭を開催

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
32	谷口 道廣展	中国	谷口道廣	2009.09.07 ~ 2009.09.18	谷口道廣が国際交流基金北京日本文化センターで絵画の個展「和壺の視点」を開催。絵画を通じた自己表現、日本的表現、またオリエンタルな空間を提示し、日中間の友好親善を図った
33	ワンダーアイズプロジェクト×WWFジャパン/WWFインドネシア「スマトラの森」	インドネシア	財団法人WWFジャパン（世界自然保護基金ジャパン）	2009.09.07 ~ 2010.04.22	日本人がスマトラ島への理解を深めること、またスマトラ島の住民たちには、身の回りの自然や生活を見直すと同時に、世界に目を向けるきっかけを提供することが目的。日本の写真家の指導のもと、スマトラ島の小学生174名が身近な自然や暮らしを撮影。写真から絵葉書を作成、WWFジャパンのジュニア会員約70名に郵送し交流を図った。また同写真をパネルとし、「ワンダーアイズ・プロジェクト写真展『レンズの裏から見たスマトラ』」「スマトラの森 Forest Calling 写真展」としてジャカルタと日本国内で巡回展示
34	2009年日本留学フェア	韓国	社団法人東京都専修学校各種学校協会	2009.09.12 ~ 2009.09.13	申請者の国際交流事業の一環として、韓国（プサン、ソウル）において日本への留学・就学希望者を対象に日本の教育制度の説明や入学情報を提供し、国際交流、留学生・就学生交流に貢献。大学、大学院、専門学校及び日本語学校による学校説明会を実施
35	上映シンポジウム「日本フィンランド共同制作映像発表会」	日本	日本人のアイデンティティ文化発信実行委員会	2009.09.12 ~ 2009.09.14	日本の里山風景が残る兵庫県豊岡市竹野町の1年と、フィンランドの伝統的文化が残るハウホ村の1年を映像で追い、一本の共同制作映像詩「いつもの風景」を制作。日本・フィンランド修好90周年記念事業として、同作品を発表。フィンランドから映像チームを日本へ招き、シンポジウムを開催して両国の理解と交流を深めた
36	第15回カナガワビエンナーレ国際児童画展	日本	財団法人かながわ国際交流財団	2009.09.12 ~ 2010.03.26	第15回カナガワビエンナーレ国際児童画展への応募作品20,723点（85カ国・地域及び県内児童が参加）から選ばれた入賞作品520点を県内各地で巡回展示し、県民に世界の児童画の鑑賞を通じて国際理解と国際文化交流を体験する機会を提供
37	第2回日韓若手音楽家交流コンサート from Switzerland	日本	日韓若手音楽家交流委員会	2009.09.14 ~ 2009.09.20	スイスの音楽学校を卒業、もしくは勉強中の日本人、韓国人の若手音楽家が日本国内で4回のコンサートを行い、日本・韓国、両国間の親睦を深めた
38	平成21年度プログラム・オフィサー・セミナー	日本	独立行政法人科学技術振興機構	2009.09.16	日本ではTransformative Researchを如何に支援し、イノベーションを起こしていくかが議論されているが、Transformative Researchのようなハイリスク研究は従来のpeer reviewでは採択され難いとの指摘がある。米国における活動を紹介し、ハイリスク研究のファンディング・プログラムの設計とマネジメントについて議論した
39	北太平洋環境フォーラム	日本	社団法人北太平洋地域研究センター	2009.09.18	北太平洋地域研究センターの創立25周年を機に、環境問題と食料安全保障問題を取り上げ、それらの問題の諸要因及び解決策について討議する中で、北海道がいかに国際的役割を担っていくべきかを展望することを目的に、「環境問題と食糧安全保障—北海道の国際的役割」と題した公開フォーラムを開催

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
40	SWISS WEEK - Switzerland meets Japan in Concert	日本	若手音楽家育成アヤマ基金	2009.09.19 ~ 2009.09.27	日本、スイスその他の若手音楽家が共演する機会を提供することにより、関係国の文化交流促進に寄与する
41	講演会「人形浄瑠璃文楽と世界無形文化遺産と」	日本	日月美術館	2009.09.20	平成15年ユネスコの世界無形文化遺産に登録された文楽が、世界からどのような価値観で見られているか、登録時に尽力した茂手木潔子（有明教育芸術短期大学教授）の講演と文楽鑑賞の解説、笹子追分人形保存会による公演を鑑賞
42	漆芸 煌めきの刻	米国	「漆芸 煌めきの刻」展示会 実行委員会	2009.09.22 ~ 2009.09.28	江戸時代から続く蒔絵の家系に生まれた三田村有純（漆芸作家／東京藝術大学教授）による、40年間の作品及び三田村家四代の作品等80点を一堂に展示。伝統に裏打ちされた日本工芸を海外の日本人が深く理解し、日本文化に誇りを持つと同時に、蒔絵に体现される日本人の美の感覚を世界へ発信することを目的とする
43	第13回長沢アートパーク 水彩多色摺り木版製作研修プログラム	日本	長沢アートパーク事業実行委員会	2009.09.29 ~ 2009.11.20	長沢アートパーク事業は、1997年に淡路市長沢地区の活性化事業として始まり、地域への文化芸術の普及、地元住民による民間外交・国際貢献を目指すアーティスト・イン・レジデンス事業。参加アーティストは、淡路市に約2カ月間滞在しながら水彩多色摺り木版画製作技術を学び、水彩版画の自主制作を行う。今回は、インドネシア、米国、アイルランド、イタリア、英国、ドイツから計6名が参加
44	第22回アジア太平洋子ども会議・イン福岡	日本	特定非営利活動法人アジア太平洋子ども会議・イン福岡	2009.10.01 ~ 2010.09.30	アジア太平洋諸国・地域の子供たちが交流体験を通してお互いの国や地域、文化について考える機会を提供し、相互理解を促進する。異文化体験を通じて、国際感覚あふれる青少年を育成する事業 【派遣事業】日本の子どもたちを、春休み期間中に、海外（タイ、プータン、ハワイ、オーストラリア、モルディブ）に派遣し、現地でのホームステイや学校訪問などを通じて生活文化を直に体験させた。 【招へい事業】アジア太平洋地域から「子ども大使」を招聘し、福岡でホームステイや交流キャンプを行うことで、海外の子供たちに日本に対する理解を深めてもらうと同時に、未来を担う子供たちにアジア太平洋の文化の多様性と異文化理解の大切さを実感させた
45	大地のジョイントパフォーマンス (Dances of the Earth)	日本	マザーポート・アート・フェスティバル実行委員会	2009.10.03 ~ 2009.10.05	北アメリカの先住民族とアイヌにルーツを持つアーティストがダンスで共演し、先住民族の伝統文化への理解を深めるとともに、両民族のアーティストが交流して新しい作品を創り上げていくプログラム。共同制作作品及び先住民族の文化・身体表現の方法などの理解を深めるため、レクチャーとアーティストによるポストトーク、身体表現ワークショップも実施した
46	第23回UBEビエンナーレ'09 現代日本彫刻展	日本	宇部市	2009.10.03 ~ 2009.11.15	山口県宇部市で昭和36年から行われている野外彫刻展。新人の登竜門として、全体で392名、海外からは41カ国156名から作品の応募があり、20点の彫刻を選出。受賞作品は、ビエンナーレ終了後も市街地に恒久設置される。関連企画として受賞作家と市民の交流会や彫刻ワークショップも実施し、彫刻を通して宇部市と世界との交流を図った

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
47	第96回日本エスペラント大会	日本	財団法人日本エスペラント学会	2009.10.10 ～ 2009.10.12	一つの言葉による対等な国際（民族）交流を目指し、国際共通語エスペラントの実践者である日本のエスペランティストが年に一度集まり、過去、現在、未来の活動について討論し、交流・親睦を深める催し。また在住外国人を含む国内・外からの外国人の参加者も交え、国際交流、地域との交流に努めた
48	ベトナム国際ニヤチャンビーチ・ハーフマラソン2009	ベトナム	ベトナム国際ニヤチャンビーチハーフマラソン2009組織・実行委員会	2009.10.11	日越スポーツ交流を促進するため、ベトナムにおいてマラソン大会を開催。また、ベトナムにおけるスポーツ振興に裨益するため陸上競技指導等を同時に実施
49	Sing Out Asia ジャカルタ公演	インドネシア	特定非営利活動法人 Sing Out Asia	2009.10.11 ～ 2009.10.12	インドネシア・ジャカルタ市で行われる「ジャカルタ日本祭」に参加し、アジアの伝統音楽、ポップスでアジアの若者の団結、世界平和を訴えた。10月12日には、主としてインドネシアの大学生のために市内の劇場にて音楽公演を実施
50	第50回海外日系人大会	日本	財団法人海外日系人協会	2009.10.14 ～ 2009.10.16	海外在住日系人が母国で一堂に会し、居住国の実情を日本に知らせ、併せて国際交流、国際理解、国際親善を深め、世界の対日理解の促進と強化を図った
51	第16回陝西省大学生日本語弁論大会及び第6回日本語教育セミナー in 西安	中国	社団法人全国日本学士会	2009.10.17 ～ 2009.10.18	陝西省の各大学選抜学生による日本語弁論大会を開催（10月18日）。中道真木男（名古屋外国語大学日本語学科長／教授）、水田澄子（名古屋外国語大学日本語学科教授）、土岐哲（京都外国語大学日本語学科教授）日本人専門家3名が審査員を務めた。優勝者一行4名は、2010年5月11日～20日、日本に招へいされた。弁論大会前日には、中国陝西省における日本語教育水準の向上を目的に、日本語教育研究者・教師を対象とした日本語教育セミナーを開催（10月17日）。上記専門家によるセミナー・ワークショップを実施
52	第22回東京国際映画祭	日本	財団法人日本映像国際振興協会	2009.10.17 ～ 2009.10.25	日本と世界各国の映画上映を通じて国際文化交流と映像産業の振興を目的とする国際映画祭。上映企画としてコンペティション部門、アジアの風部門、日本映画・ある視点部門などを設けたほか、シンポジウム、セミナー等も開催
53	平成21年度日本語教育能力検定試験	日本	財団法人日本国際教育支援協会	2009.10.18	日本語教員になるために学習している者、日本語教員として教育に携わっている者等を対象に、その知識及び能力が日本語教育の専門家として必要とされる基礎的水準に達しているかどうかを検定する試験を実施
54	2009 東京・中国映画週間	日本	日中友好映画祭実行委員会	2009.10.18 ～ 2009.10.25	日中両国の相互理解と信頼を促進する目的で、第22回東京映画祭の連携企画として実施。中国映画の最新作、話題作を上映。併せて、セミナー、講演会等を開催
55	第11回語学留学生の祭典「進学・就職・国際フェア」	日本	日本語学校ネットワーク	2009.10.23	大学・専門学校の学校紹介ブース、企業ブース、各国の文化紹介ブース等を設営し、日本語学校や日本語学校卒業後の進路紹介と共に、国際交流及び日本理解の場を提供

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
56	天上の散華III in 能楽堂	日本	カンボジア舞踊企画制作 SAKARAK	2009. 10. 24	カンボジア王国の宮廷舞踊として伝承されてきた、カンボジア古典舞踊の紹介。ユネスコ世界無形文化遺産でもあるカンボジア古典舞踊の正統な伝統を守るカンボジア芸術大学付属芸術学校を日本人として初めて卒業した山中ひとみ（カンボジア舞踊企画制作 SAKARAK代表）が、同大学教授を3名招へいし、カンボジア古典舞踊の公演を実施。また能とカンボジア古典舞踊の異同を比較検証し、相互理解を深める機会とした
57	郭 景澤監督の映画世界 —友情の年、隣邦より「チング (友)」が来た—	日本	九州大学韓国研究センター	2009. 10. 24	2009年は福岡市・釜山市行政交流都市締結20周年に当たり、福岡・釜山「友情年」でもある。韓国映画を通じて福岡市民の韓国文化に対する関心を引き出すと共に、日韓の「友情」とは何かを考えていくきっかけを作る。日本での韓流の先がけとなった、映画『友へ チング』の監督を招へいし、監督の映画観、「友情」に対する考えをインタビュー形式で聞き、韓国文化を知るとともに日韓の「友情」構築を目指した
58	第33回福澤杯争奪全日本学生 英語弁論大会	日本	慶應義塾大学英語會	2009. 10. 24	将来的な国際社会での活躍を視野に入れ、英語によるコミュニケーション能力の向上を目的に、大学生を対象とした全国規模の英語弁論大会。事前に考えてきたテーマで行う7分間のスピーチと、その場で与えられたテーマについて4分間で行うスピーチの2種類の結果により優勝者を決定
59	ワールド・コラボ・フェスタ 2009	日本	ワールド・コラボ・フェスタ実 行委員会	2009. 10. 24 ～ 2009. 10. 25	持続可能な地域社会の実現をめざし、国際交流・協力、多文化共生、環境などについて学び、考え、行動する場をつくることを目的に、愛知、岐阜、三重の東海3県を中心に活動する国際交流・協力団体が連携して、世界各国の歌や踊り、トークイベント等のステージや異文化理解・多文化共生、環境、平和、教育などの活動ブースを出展
60	親子で楽しむ国際理解教室 ～君 も今日から地球っ子！集まれ！ 世界のことばあそびの広場～	日本	特定非営利活動法人多言語広場 CELULAS	2009. 10. 25	幼児・小学生を対象に、在日外国人、留学生、研修生との交流を通じて世界観を広げ、多言語・多文化共生社会への認識を深めてもらう「国際理解教室」事業。在日外国人、留学生、研修生に自国の文化、風俗・習慣、言語等を紹介し、またクイズやゲーム等を通じて身近に交流を体験する場を作った
61	ポスター芸術における豊かな表 現の世界	日本	日本国際ポスター美術館	2009. 10. 25 ～ 2009. 12. 26	ローレック以降、大衆文化として存在意義を高めたポスター芸術を、113点の作品を用いて、従来とは異なった切り口による企画展示を行った
62	第16回大阪ヨーロッパ映画祭	日本	大阪ヨーロッパ映画祭実行委員 会	2009. 10. 31 ～ 2009. 12. 03	ヨーロッパ各国で注目を集めた近作映画のうち、日本未公開作品の上映と関係者の招へいや関連イベントを通して、日欧交流を図るフィルムフェスティバル。映像技術面や内容の充実した選りすぐりのヨーロッパ映画の上映を通じて「ヨーロッパの現在」を紹介。鋭い切り口で現代社会に共通する問題を取り扱った作品を選ぶことにより、観客と映画関係者との議論の活性化をはかることにも力点を置いている。 また映画祭が招いたヨーロッパの監督、俳優など映画関係者と観客との交流イベントには、日本全国から参加があった



情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
63	POSCO・新日鉄プレゼンツ 日韓伝統音楽交流	日本	新日鐵文化財団	2009. 11. 11	日韓を代表する伝統音楽の演奏家が集い、伝統的な曲から伝統楽器を使用した現代曲まで幅広い楽曲を披露する。日韓を代表する鉄鋼会社である新日鉄と韓国・POSCOが音楽メセナ活動の交流を通じて両国文化の発展に寄与することを目的とする企画の一環。2008年4月より開始し今回で4回目の公演（ソウルで既に2回実施し、東京では2回目）
64	中国北方昆劇団（北方昆曲劇院）東京特別記念公演	日本	株式会社メディア新日中	2009. 11. 11 ～ 2009. 11. 12	日中平和友好条約締結31周年、東京都と北京市の友好姉妹都市締結30周年に当たる2009年に、日中両国と両都市の民間交流を更に促進すること及びユネスコの無形文化遺産である「昆劇」の認知を広めることを目的として、北方昆曲劇院による公演を実施。演目は「水滸伝」「西遊記」「三国志」から選び、中国一級クラスの役者が来日、公演
65	第8回全養協フォーラム「日本語教師に求められる資質・能力」	日本	一般社団法人全国日本語教師養成協議会	2009. 11. 14	国内外の日本語教育現場で学習者が多様化する中、日本語教師に求められる資質・能力も多様化している。今回のフォーラムでは、教育現場の違いや関わり方によって、求められる資質・能力が異なる。一方普遍的に必要な資質・能力があるとすれば、それがどのようなものかを探った
66	「障害者週間」東欧音楽家支援 日本・ブルガリア国交再開50周年記念・国際親善交流特別演奏会（日本・ブルガリア・ルーマニア文化交流演奏会）	日本	日本音楽文化交流協会	2009. 11. 17 ～ 2009. 12. 09	国際親善交流と、相互の文化の発展向上を目的に、東欧諸国の著名な演奏家を日本に招へいし、コンサートを開催。同コンサートに、身体障害者、支援するボランティア団体、母子家庭・養護施設の子供たち、高齢者など、演奏会を楽しむ機会の少ない人々を招待し、健常者と共に一流の音楽を堪能する機会を提供することを通じて文化の振興を図る“社会貢献”事業
67	国際学術講演会「現代社会における価値観と信念」	日本	青山学院大学総合文化政策学部	2009. 11. 19	Wolfgang Jagodzinski（ドイツ・ケルン大学教授）を招へいし、国際比較調査データに基づく実証的な知見を踏まえて「世界における価値観の変化」の方向について透徹した議論を展開
68	第23回国際交流祭 in 西安	中国	株式会社NHK文化センター	2009. 11. 19 ～ 2009. 11. 21	相互理解と友好親善を目的に、日本文化を紹介する展示・実演や音楽、舞踏等の公演を行い、民間による草の根の国際交流を行う。今回は、全国各地のNHK文化センターで開講している書道・水墨画等の中国関係講座の講師・受講生と西安の専門家、市民との交流会を行い、文化交流、友好の促進を図った
69	野田 秀樹芸術監督就任記念プログラム バンコク・シアター・ネットワーク×東京芸術劇場共同制作『赤鬼』、『農業少女』	日本	東京芸術劇場（財団法人東京都歴史文化財団）	2009. 11. 19 ～ 2009. 11. 23	伝統芸能との葛藤というアジア演劇特有の課題を抱えていたタイの現代演劇界において、1997年の日本との共同制作『赤鬼』（作・演出／野田秀樹）が現代演劇を発展させるきっかけとなった。タイの演劇人たちが、野田秀樹東京芸術劇場芸術監督就任記念プログラムのひとつとして、『赤鬼』『農業少女』の2作品を連続上演し、新しいタイの演劇を披露

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
70	第35回全国語学教育学会 年次国際大会	日本	特定非営利活動法人全国語学教育学会	2009. 11. 20 ～ 2009. 11. 23	「教育と学習の対話：多様な鏡像」を大会の基本テーマに、世界的に著名な5名の語学教育専門家による基調講演を行ったほか、500を越える講演、研究発表、パネルディスカッションを行い、第二言語・外国語としての言語教育の理論と実践を様々な角度から考え、日本における言語教育の向上に貢献することを目指した
71	第34回ジャパンウィーク2009年 オーストリア・グラーツ	オーストリア	財団法人国際親善協会	2009. 11. 21 ～ 2009. 11. 26	市民レベル、地域レベルでの文化・スポーツをはじめとする多岐にわたる交流を通じて、日本とオーストリアとの友好親善、相互理解を促進し、さらに両国の地域社会作りへの貢献を目指した交流事業。日本の伝統的な古典芸能や絵画・書道の展示、スポーツ交流等を実施
72	第12回京都国際学生映画祭	日本	財団法人大学コンソーシアム京都	2009. 11. 21 ～ 2009. 11. 28	京都国際学生映画祭は、京都周辺の学生が主体となって行う日本最大の国際学生映画祭。国内外の学生映画を募集・審査し、入選作品を上映。本年は廣原暁監督の『世界グットモーニング!!』が準グランプリを獲得。またグランプリを受賞したLee Sang Woo 監督(韓国)を含むスペイン、ドイツ、オーストリアから入賞作品の監督、計4名を招へいして国際的な交流の場を設けた
73	第4回中国語スピーチコンテスト	日本	特定非営利活動法人立命館孔子学院	2009. 12. 05	中国語教育の促進、中国文化の理解促進及び奨学生派遣のための選考を目的に、中国語スピーチコンテストを開催。これにより中国語学習者の持続的な努力を奨励し、中国語運用能力の一層の向上を期待。参加者は、広く日本全国の中国語教育を行っている高等学校や大学、一般からも募集し、それぞれの部門で最優秀者、優秀者を表彰
74	ノンフィクション文学賞 第11回蓮如賞 第2部記念行事	日本	財団法人本願寺維持財団	2009. 12. 10	日本文化の原点にして頂点である「京都文化」。その基底と背景にある精神性を、宗教、文学、思想、哲学、芸術などの面から多角的に論じる講演会、シンポジウムを実施。また、混迷の世界情勢に求められる「京都文化」、日本文化の精神を、人類共通の叡智にすべく、京都から世界に向けてメッセージを発信することにより、日本文化の発展、更なる国際交流に資する。関西地域在住外国人研究者・学生などが参加
75	パパ・タラフマラ新作公演『パ ンク・ドンキホーテ』	日本	パパ・タラフマラ	2009. 12. 11 ～ 2009. 12. 20	セルバンテス「ドンキホーテ」からインスパイアされた作品を用いて、オーウェン・ウェンリヤン(中国)、クトゥット・リナ(インドネシア)、アラン・パットン(米国)など海外の優れたアーティスト(俳優や音楽家)を交え、外国文化的要素を混交させつつ、ノスタルジックで、時代の最先端の作品創造を目指した
76	文化遺産国際協力コンソーシアム シンポジウム「観光は文化遺産を救えるか：国際協力の新たな展開」	日本	文化遺産国際協力コンソーシアム	2009. 12. 13	過去に日本が行ってきた文化遺産保護における取り組みについて、一般市民向けの国際シンポジウムを開催し、日本の文化遺産国際協力の内容、その効果等について情報を発信、国民の理解促進を図った

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
77	Horacio Castellanos Moya 著作『崩壊 (Desmoronamiento)』日本語版出版記念発表会	日本	セルバンテス文化センター東京	2009.12.16	Horacio Castellanos Moya (エルサルバドル：平成21年度国際交流基金日本研究フェロー) の著作 <i>Desmoronamiento</i> (スペイン語) の邦訳出版を記念して発表会を開催
78	第3回世界アーティストサミット	日本	京都造形芸術大学	2009.12.19 ~ 2009.12.20	関西経済、産業、文化の発展に寄与することを目的に、人口問題、環境破壊、貧困などの世界の様々な困難な状況に対し、アーティストのもつ想像・創造力から発想された解決策を関西から発信するサミットを開催。海外からピケット・克蘭チュン (タイ：舞踏家)、ナリン・チャミンダ・ミーマナージ (スリランカ：映画監督)、ハーヴェイ・ブータース (オランダ：ファッションデザイナー) ほかを招へい
79	ティエリ・グルンステン来日シンポジウム	日本	明治大学国際日本学部	2009.12.23	ヨーロッパを代表するコミック研究者であるティエリ・グルンステン (マンガ理論家/評論家) が来日する機会を捉え、特別シンポジウム「ヴィジュアル・カルチャーと漫画の文法—ティエリ・グルンステンを迎えて—」を開催
80	第31回国際学生シンポジウム	日本	第31回国際学生シンポジウム運営委員会	2009.12.25 ~ 2009.12.27	世界で起こる諸問題に対して主体的に行動し、問題解決の原動力となる人材を育成するため、問題解決の契機となる議論の場を提供する。約200名の留学生・学生が分科会に分かれ、3日間にわたってディスカッションを行い、最終日に報告会を行う。参加者が交流することで新たなネットワークを形成することを目的とするディスカッションイベント
81	Yoshinari Nishio Workshop, Nairobi 《Overall Project》	ケニア	西尾 美也	2010.01.06 ~ 2010.01.27	西尾美也 (現代美術家) が、「装いの行為とコミュニケーション」をテーマに、ナイロビ (ケニア) で地域住民と共に滞り型製作ワークショップ。2週間のプロジェクト期間の後、市内の美術施設でドキュメント展示を実施。展示期間中にはシンポジウムやアーティスト・トーク等を行い、公共空間での住民協働型アートプロジェクトという双方向の芸術の社会的実践について議論
82	ユネスコ世界無形遺産「能楽」700年の歴史を楽しむ国際交流の集い	日本	財団法人観世文庫	2010.01.16	「能楽」を通じて国際交流をはかり、外国人の日本文化に対する理解促進と、諸外国との文化交流のきっかけ作りを目指す。在日外国公館の大使・公使夫妻及び文化担当官等を招き、観世清和 (二十六世観世宗家) による能楽のワークショップと講演を実施
83	APAアワード2009 国際展・シカゴ展	米国	社団法人日本広告写真家協会 (APA)	2010.01.19 ~ 2010.02.04	日本広告写真家協会の「APAアワード2009」入選作品63点を、シカゴ (米国) で展示し、日本の広告写真を米国市民及び関係機関、団体、メディアに紹介
84	日中学生フォーラム「阪神・淡路大震災と四川大地震からの教訓—国際社会の防災をリードする若者たち—」	日本	「阪神・淡路大震災と四川大地震からの教訓」実行委員会	2010.01.24	防災・減災に取り組む日中の学生が、過去に被災した地域が得た「震災経験」を、次の災害に備える知恵として活かし、他地域と次世代に「つなぐ」ために果たすべき役割を考えるため、シンポジウム及び分科会を行い、共同声明を採択。併せて2009年10月に四川を訪問した日本の学生 (神戸学院大学・舞子高等学校) による現地写真、被災直後と現在の神戸の町を比較した写真のパネル展示会を開催

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
85	第6回日本語学校合同スピーチ大会	日本	第6回日本語学校合同スピーチ大会実行委員会	2010.02.10	東京都内の日本語学校7校が共同で実施する日本語スピーチ大会。各校で日本語を学ぶ外国人就学生が主体の実行委員会が企画運営を行う。本年度は、各校の代表13名が参加して、日頃の学習の成果を競った
86	日本・メキシコ交流400周年記念公演「菊の会日本のおどり 伝統と創造」	メキシコ	舞踊集団菊の会	2010.02.19 ~ 2010.02.20	数多くの舞踊・音楽が伝承されているメキシコと、長唄、狂言舞踊を中心とした日本の伝統舞踊の公演を通じて、両国の交流の推進を図った
87	第25回北方圏国際シンポジウム「オホーツク海と流氷」	日本	北方圏国際シンポジウム実行委員会	2010.02.21 ~ 2010.02.26	「オホーツク海と流氷」をテーマに、流氷と氷海に関わりを持つ研究技術情報の交換や海洋環境の保全を目的とした専門家の研究発表会。加えて市民向け公開講座「オホーツク～ふるさとの海」も開催
88	「中央アジア+日本」対話 第4回東京対話	日本	外務省	2010.02.25	「中央アジア地域における今後の物流インフラ整備」をテーマに、日本と中央アジア諸国の有識者を中心に議論を行い、日本と中央アジアの知的交流の幅を広げるとともに政府間対話への提言をまとめた
89	第6回エコプロダクツ国際展	インドネシア	国際機関APO（アジア生産性機構）	2010.03.04 ~ 2010.03.07	日本及びアジアにおける循環型社会の形成を目指し、アジア域内の企業、NGO、一般市民の参加による展示会及び国際会議を開催。アジア各国企業の製品・サービスの循環配慮型への転換と消費者の意識改革を通じたエコプロダクツ普及を図った
90	EARTH VISION 第18回地球環境映像祭	日本	アース・ビジョン組織委員会事務局	2010.03.05 ~ 2010.03.07	アジア・オセアニア（ポリネシア諸島を含む）地域の優れた映像作品を上映することにより「地球環境」について考え、また同地域の社会や文化的背景に触れる場を設ける。更に監督を招へいし観客との質疑応答や交流の場を設けることで、より深く多角的な情報発信を行った
91	マリオン・ブリッジ	日本	マシュマロ・ウェーブ	2010.03.17 ~ 2010.03.22	2008年にカナダのシミノビッチ賞（演劇）を受賞した、ダニエル・マキバーの代表作を翻訳初演。2005年にニューヨーク、オフ・ブロードウェイでも上映されている。稽古に英語のオリジナル台本を持ち込むことで英語が第一言語であり、さらに日本語に流暢な出演者ならではの個性的な舞台を目指す。更に公演最終日には英語でもリーディング上演を行い、国際都市・東京にふさわしい「現代演劇」を提供
92	第6回クールシュヴェール国際音楽アカデミー in かさま	日本	クールシュヴェール国際音楽アカデミー in かさま実行委員会	2010.03.21 ~ 2010.03.30	国際的に活躍する音楽家を育成することを目的に、フランス、クールシュヴェールで行われている音楽アカデミーのカリキュラムに従って行うヴァイオリンとピアノのマスタークラス。アカデミーのレッスン公開、講師参加の市民コンサートや住民参加の街角コンサートなどの関連イベントもを行い、「音楽文化にふれて感じる」機会を創出

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
93	第19回日中友好の声日本語中国語弁論大会、第5回日中友好の声全中国日本語弁論グランドチャンピオン大会	中国	日中友好の声日本語中国語弁論大会実行委員会	2010. 03. 27 ～ 2010. 3. 28	日中両国の若者たちがお互いの国の言葉を理解することで日中友好を促進することを目的に、大学生による日本語・中国語の弁論大会を実施。中国での観光ブームを受けて、「行きたい地域、行きたい国」をテーマに、日本語・中国語弁論大会（北京・天津首都圏大会：3月27日）及び全中国日本語弁論大会（3月28日）を開催
94	クラムボンの会(林 洋子ひとり語り一宮沢 賢治)30周年記念連続公演のうちの3公演	日本	クラムボンの会	2010. 03. 28 ～ 2010. 11. 23	タゴールの夕べ（弦楽四重奏と朗読による「ギタンジャリ」2公演、2010. 03. 28、2010. 11. 23）及びアラブ現代詩朗読会（「オリーブの知らせ」「スーフィー在東京」2010. 7. 25の1公演）
95	「周恩来と日本、そして京都」写真展	日本	特定非営利活動法人立命館孔子学院	2010. 03. 31 ～ 2010. 04. 04	日中友好の架け橋となった周恩来・中国初代首相の日本留学時代・青年期から生涯に渡る多くの日本人との会見写真など、日本、そして京都の関わりを中心とした貴重な写真約110点を4つのテーマ別に展示し年表と共に振り返る写真展を開催

# 調査研究及び情報提供事業等に必要経費

## 企画・評価費

### 1. 調査研究費

- (1) 調査研究
- (2) 事業評価（企画評価）

企画・評価費

1. 調査研究費 / (1) 調査研究

国際交流の促進に資する各種調査研究を行ない、その成果を広く内外に公開する。

合計額 5,448,382 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	主要国の国際文化交流機関との連携	ドイツ	2009.04.01 ~ 2010.03.31	ケルン日本文化会館により、定期的な訪問・面談等をおこない、ゲーテ・インスティトゥート本部と情報交換を実施
2	国別評価手法開発研究	全世界区分困難	2009.04.01 ~ 2009.09.30	ドイツで実施した質問紙調査・インタビュー調査を複数の分析手法を用いて解析を試みることで、文化交流事業における社会調査、分析手法の有効性や、質的データの数量的分析の可能性を検討
3	文化交流研究委員会	全世界区分困難	2009.09.01 ~ 2010.03.31	グローバル化の進行等により「文化交流」の持つ意味が変化しているとの認識に立ち、社会構造や価値感の変化を国際的な視点で研究している外部有識者に、①「文化交流」の普遍的意味と今日において重視すべき意義、②日本が行うべき文化交流の、主として2点について提言を求める研究委員会を実施し報告書を作成
4	理事長と有識者との対談	全世界区分困難	2010.01.01 ~ 2010.03.31	日本における文化交流のあり方について、理事長が聞き手となり、考え方や立場が異なる多彩な有識者との対談を実施

1. 調査研究費 / (2) 事業評価（企画評価）

年度業績評価や、基金事業の評価を実施する。

合計額 1,373,000 円

	事業名	期間	事業内容
1	専門評価	2009.04.01 ~ 2009.09.30	平成20年度業務実績報告書の客観性と信頼性を高め、改善点などを把握するため、事業プログラムごとに外部専門家による評価を実施
2	評価に関する有識者委員会	2009.04.01 ~ 2010.03.31	国際交流基金の業務について、各年度終了後に行う自己評価の妥当性、評価方針、方法ならびに評価結果を踏まえた基金の業務の改善について、有識者に諮るための委員会を開催

## 調査研究及び情報提供事業等に必要経費

### 文化事情調査費

#### 1. 調査研究費

##### (1) 文化事情調査



文化事情調査費

1. 調査研究費 / (1) 文化事情調査

国際交流基金の総合的企画立案機能強化の一環として、相手国別に文化事情を調査し、また、同国と日本との文化交流において基金が果たすべき役割等につき、方針を策定する。

合計額 2,794,664 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	平成22年度中国向け事業方針策定のための有識者懇談会	中国	2009.09.30	平成22年度中国向け事業方針を策定するにあたり、中国事情に詳しい有識者からの専門的意見の徴取、ヒアリングを実施
2	中長期的イタリア向け事業戦略検討のための有識者懇談会	イタリア	2010.02.23 ~ 2010.02.26	中長期的なイタリア向け事業戦略を検討するにあたり、イタリア事情に詳しい有識者からの専門的意見の徴取、ヒアリングを実施
3	平成22年度ロシア向け事業方針策定のための有識者懇談会	ロシア	2009.10.07	平成22年度ロシア向け事業方針を策定するにあたり、ロシア事情に詳しい有識者からの専門的意見の徴取、ヒアリングを実施

# 調査研究及び情報提供事業等に必要経費

## 国際文化交流研究センター事業費

1. 調査研究費
  - (1) 機関連携事業
  - (2) 調査研究

国際文化交流研究センター事業費

1. 調査研究費 / (1) 機関連携事業

大学等の機関と連携して行う国際文化交流講座等の事業。

合計額 465,250 円

	事業名	共催機関	期間	事業内容
1	大学連携国際文化交流講座	上智大学	2009.10.06 ~ 2010.01.05	上智大学と連携して、同大学の秋期公開講座の一つとして、新規に国際文化交流講座「国際文化交流の理論と実践—研究と実践の現場から—」を開講（全12講義）。国際文化交流の最前線での事例を理論的に解説し、受講者と討論する場を設けたほか、国際文化交流を通じた平和構築や多文化共生への貢献といった日本が果たすべき役割について、実体験を踏まえて紹介

国際文化交流研究センター事業費

1. 調査研究費 / (2) 調査研究

「平和のための文化イニシアティブ」、「地域活性化と国際交流」、「各国文化機関の比較研究」等のテーマによる研究プロジェクト、紀要の発行、諸外国の広報・文化外交に関する情報収集等を行う。

合計額 16,645,363 円

	事業名	期間	事業内容
1	国際交流共同研究センター事業	2009.04.01 ~ 2010.03.31	青山学院大学と連携・協力して運営する「国際交流共同研究センター」において、「平和のための文化イニシアティブ」、「地域活性化と国際交流」及び「国際文化交流機関の比較研究」をテーマにシンポジウム、ランチタイム・セミナー等を開催したほか、東ティモールにおける事例調査を実施。また、同センターの研究紀要 <i>Peace and Culture</i> 第2巻第1号を発行
2	国際文化交流政策情報収集	2009.04.01 ~ 2010.03.31	国内外の国際交流の動向を的確に把握し、これに基づいて我が国を巡る国際環境の変化に機動的に対応することを目的として、諸外国の広報・文化外交に関する報告書、文化関係機関の年報、政府や文化関係者による記者発表等を翻訳・情報収集。また、韓国在住の有識者に委託し、韓国のパブリック・ディプロマシーに関する報告書を作成

## 在外事業に必要な経費

### 京都支部

1. 京都支部

### 海外事務所

1. ローマ日本文化会館
2. ケルン日本文化会館
3. パリ日本文化会館
4. ソウル日本文化センター
5. 北京日本文化センター
6. ジャカルタ日本文化センター
7. バンコク日本文化センター
8. マニラ日本文化センター
9. クアラルンプール日本文化センター
10. ニューデリー日本文化センター
11. シドニー日本文化センター
12. トロント日本文化センター
13. ニューヨーク日本文化センター
14. ロサンゼルス日本文化センター
15. メキシコ日本文化センター
16. サンパウロ日本文化センター
17. ロンドン日本文化センター
18. マドリード日本文化センター
19. ブダペスト日本文化センター
20. モスクワ日本文化センター
21. カイロ日本文化センター
22. ベトナム日本文化交流センター

京都支部

京都支部

合計額 14,288,262 円

(1) 主催・共催事業

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	トラディショナル・シアター・トレーニング 2009	京都市	大江能楽堂	京都芸術センター	2009.08.06	日本の伝統芸能を象徴する能、狂言、日本舞踊の習得を志して京都を訪れる海外の演劇分野の日本研究専門家や学生を対象に京都芸術センターが毎年夏に行う日本の伝統芸能集中講座。3週間の集中的な稽古・指導を受けた参加者たちが成果を市民に披露する発表会を、京都支部が同センターと共催
2	DANCE OF DEATH～生きるよろこび～	京都市	京都府立文化芸術会館	マリ子ダンスシアター	2009.09.22～2009.09.23	外務省の「日本・ドナウ交流年2009」の一環である、日本・ハンガリー国交回復50周年記念事業として開催。ハンガリー政府より招へいされたバル・フレナック（コンテンポラリーダンサー）、京都市聴覚言語障害センター「若木寮」の寮生、一般公募されたダンサーによるパフォーマンス。共生と共存をテーマに、あらゆる生命が生きることの喜びをダンスを通し表現。共生共存をしながら平和と愛のために生きるメッセージを、多文化が共生する京都から世界に発信することを目的に実施
3	国際交流のタベー 能と狂言の会	京都市	金剛能楽堂	財団法人金剛能楽堂財団	2009.10.26	京都をはじめとする関西地域に滞在中の外国人（国際交流基金フェロー、関西国際センター研修生、海外からの留学生、関西所在の各国総領事館員等）に、日本の伝統文化にふれてもらう機会を提供することを目的に、毎年秋に開催。1974年から実施し、平成21年度で36回目。演目は、狂言／大蔵流・茂山千五郎「太刀奪」、能／金剛流・金剛永謹「通小町」

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	2009年度京都支部講演会(第1回)	京都市	京都国立近代美術館	京都国立近代美術館	2009.05.29	国際交流基金フェローのゲアハルト・ラインス（ドイツ／平成20年度フェロー）が、日本滞在中の研究成果をセミナー形式で発表。テーマは「日本の暦文化」
5	2009年度京都支部講演会(第2回)	京都市	立命館大学明学館	立命館大学国際関係学部	2009.06.30	国際交流基金フェローのデヴィッド・ジェロム・パトナム（スイス／平成20年度フェロー）が講演会を開催。本件は、立命館大学との連携事業。国際関係学部の授業に組み込む形で、海外における日本研究の事例紹介という位置づけで実施。テーマは「日本の伝統文化の魅力～スイス人研究者から見た歌舞伎、能の世界～」

京都支部

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	2009年度京都支部講演会(第3回) イメージの相互作用：隣国認識の国際関係学 第1回:「ナショナリズム」の再発見: 東アジアの文脈から	京都市	立命館大学 恒心館	立命館大学 国際関係学部	2010.01.16	国際交流基金フェローの馬銘(中国/平成21年度フェロー)と、立命館大学国際関係学部の教員や院生とが共通のテーマを各々の観点から論じる初めての試みとして共催ワークショップを開催。馬がゲスト・スピーカーとして報告の後、立命館大学側から院生が報告を行い、教授がコメント・統括を行った

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	日本紹介等文化映画上映会	京都市	京都市国際交 流会館	財団法人京都 市国際交流協 会	2009.09.01 ~ 2009.11.13	財団法人京都市国際交流協会設立20周年記念事業の一環として同協会と共催にて開催。在住外国人日本研究者や留学生等が日本理解を深めることを目的に、日本の伝統文化を紹介する映画(基金所蔵の短編作品50本、英語ナレーション付き)を上映
8	外国語字幕付き日本映画上映会	大阪市	財団法人大阪 国際交流セン ター	財団法人大阪 国際交流セン ター	2010.01.15 ~ 2010.03.19	映画を通して日本の生活や文化を外国人に紹介することを目的に日本の劇映画の名作をシリーズで上映。『たそがれ清兵衛』(10.01.15)、『トウキョウソナタ』(10.02.12)、『日本の黒い夏-冤罪-』(10.3.19)を上映
9	日本文化映画上映会:映像に見る京都の伝統美	京都市	京都市国際交 流会館		2010.02.17 ~ 2010.02.18	映像を通じて日本の伝統文化への理解と知識を深めてもらうことを目的に、特に「京都の伝統美」をテーマに開催。『京都御所』、『桂離宮』、『修学院離宮』(10.02.17)、『利休の茶』、『和菓子:その美と心』(10.02.18)を上映

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
10	ニュースレター『国際交流基金(ジャパンファウンデーション)京都支部ニュースレター』の発行	2009.07.01 ~ 2010.03.31	国際交流基金京都支部の事業を紹介するニュースレター。年4回発行(但し、平成21年度は夏号より創刊したため、2009年8月、11月、2010年2月の3回発行)

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	フェローの集い	京都市	京都市国際交 流会館特別会 議室	財団法人京都 市国際交流協 会	2009.06.12 ~ 2009.11.27	国際交流基金フェロー同士ならびにJFサポーターズクラブ会員や関係諸機関とのネットワーク構築をめざし、簡素な茶話会形式での会合を年2回開催(09.06.12、09.11.27)。フェローの出席率はほぼ100%。また日本側関係者(外務省関西担当大使、大学、文化・芸術機関、報道関係者)が多数出席したことで、ネットワーク構築に効果的な事業となった

京都支部

(2) 助成・協力事業

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
12	中国建国60周年、来日芸術活動10周年記念 宓冬瑩個展「旅途・詩情・画意」	特定非営利活動法人京都藝際 交流協会	2009.05.27 ～ 2009.05.31	中国建国60周年を記念し、日中芸術文化交流の一環として、 中国政府の「日中芸術交流大使」の称号を持つ女流画家、宓 冬瑩の展覧会を北京で開催。画業の成果を披露して日中文化 交流の意義を伝え、両国の芸術文化交流を益々発展させるこ とを目的に実施する事業に対して国際交流基金京都支部の後 援名義を付与して支援
13	YOUNGER ARTIST #9	YOUNGER ARTIST #9	2009.08.04 ～ 2009.08.16	関西所在の芸術系大学および大学の芸術コースに在籍する芸 術活動を自己の生きる志にしようとする学生たちの呼びかけ に賛同し、自主的に企画実行する9名の作家グループ（ヤン ガーアーティスト）の連合展に対して国際交流基金京都支部 の後援名義を付与して支援。参加大学は京都市立芸術大学 他、計5大学。今年が第9回目の開催
14	第61回毎日書道展関西展 国際交流デー	財団法人毎日書道会関西支部	2009.08.08	日本を代表する書家の作品や、関西の入賞・入選作品約2,200 点を展示する第61回毎日書道展関西展（09.08.05～09.08.09: 京都市美術館で開催）において、日本の伝統文化の一つであ る書をより深く理解してもらうことを目的に、外国人を対象 とした作品解説会とワークショップを実施する事業に対して 国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援
15	2009京都国際文化協会エッセーコンテスト 《私の見た日本》	財団法人京都国際文化協会	2009.09.26	日本在住の日本語を母語としない人々から、日本やその文化、 社会、習慣、人々との交流などについて、自らの文化との対 比、あるいは経験に基づいたエッセーを、国際交流団体や大 学、専門学校を通じて全国から募集。エッセーは日本語の部 と英語の部に分け、それぞれの優秀作品の作者6名を京都に 招いて表彰すると共に、発表の機会を提供。一般参加者との 交流を深めることを目的に実施する事業に対して国際交流基 金京都支部の後援名義を付与して支援
16	寿恵更紗 日加修好80周年記念～カナダ展～大自然に 魅せられて	特定非営利活動法人日本燦ク ラブ	2009.10.10 ～ 2009.11.18	独特の手描き更紗で世界的に評価の高い、芸術家であり特定 非営利活動法人日本燦クラブ顧問でもある、青木寿恵の作品 の中から、カナダの大自然をモチーフにした着物、額などを 日加修好80周年記念として特別に展示する事業に対して国際 交流基金京都支部の後援名義を付与して支援
17	国際協力セミナー（関西大学国際部）	関西大学国際部	2009.11.21 ～ 2009.12.12	広く国際交流・国際協力の事例を市民に紹介することにより、 よりよい社会の構築に寄与することを目的に、関西大学 国際部主催にて「国際協力セミナー」を2日間にわたり実施す る事業に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して 支援。講演テーマ：「国際舞台で勝つ条件」（09.11.21）、 「国際社会で生き抜くための危機管理」（09.12.12）



京都支部

	事業名	主催機関	期間	事業内容
18	国際情勢講演会「中東和平の展望と課題」 (きょうと北部21世紀セミナー)	財団法人京都府国際センター	2009. 11. 28	地域の国際化を巡る諸課題や海外事情、海外文化を知る機会が十分でない京都府北部において、世界情勢や国際関係についての講演会を開催することで、地域の国際化の促進と次代の国際社会を担う人材の育成を図る事業に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援。講演会テーマ「中東和平の展望と課題」、講師：鈴木敏郎(外務省中東アフリカ局長)、対談：四方八洲男(綾部市長)、立山良司(防衛大学校教授)、コーディネーター：須藤真志(京都産業大学教授)
19	第10回LAMP展 富者の万灯より貧者の一灯	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	2009. 12. 12 ～ 2009. 12. 25	1999年より年末恒例の展覧会として開催。和紙、金属彫刻、蔓編み、漆とさまざまなジャンルの作家が自分の素材を持って、灯り作品を発表する事業に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援。2009年はスマトラ沖地震被災地への支援金として作品売上の一部を寄付
20	書と非書の際展 Part7	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	2010. 01. 09 ～ 2010. 01. 24	記号としての絵画、造形としての書、書家と画家の引く線の違いはどこにあるか。日本、中国、英国、フランス、アイルランドと東洋、西洋の視点からも検証。期間中、作家によるワークショップも開催。同事業に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援
21	第25回毎日現代書関西代表作家展「国際交流デー」	財団法人毎日書道会関西支部	2010. 01. 16	2010年で第25回目を迎える今回は、関西を代表する書家約300人の新作のほか、特別陳列として「幕末維新の書」をテーマに坂本竜馬、木戸孝允らの書を展示。一方、書を通じて国際交流を図るため、外国人対象に作品の解説を行い、実際に書道を体験してもらう「国際交流デー」を会期中に設定。この「国際交流デー」の事業に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援
22	「ポーランド／日本現代写真交流展－Towards the Essence 2009-2010」国内展	「ポーランド／日本現代写真交流展」国内展実行委員会	2010. 02. 01 ～ 2010. 02. 14	1980年に初来日した東欧を中心に活躍する美術写真家、Jerzy Olekの、日本・ポーランド国交樹立90周年記念行事のひとつとして開催した交流展。2009年5月7日より在ポーランド日本大使館文化センターで実施した展覧会を東京及び京都にて開催する事業に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援
23	国際理解講座 '10 台頭するロシア	財団法人京都府国際センター	2010. 02. 06 ～ 2010. 02. 27	国際化に関する分野の第一線で活躍している大学教授や専門家などを招いて、最新の世界情勢や国際関係、地域の国際化に関わる問題について分かり易く解説するセミナー事業に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援。2010年2月6日「日本とロシアーその<近くて遠い>関係を考える」講師：藤本和喜夫(大阪経済法科大学学長)、同2月13日「ソ連からロシアへ：国民のアイデンティティを構成する映画」講師：イリーナ・メリニコワ(同志社大学教授)、同2月20日「ロシア経済は世界恐慌に耐えられるかー社会主義崩壊から20年ー」講師：大津定美(大阪産業大学客員教授／神戸大学名誉教授)、同2月27日「ロシアの歴史ー宗教から見てー」講師：松原広志(龍谷大学教授)

ローマ日本文化会館

合計額 107,187,849 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	凧展 大空に描く	ローマ	ローマ日本文化会館		2009.03.28 ~ 2009.05.09	凧を制作し続けて30年の梅谷利治と、和紙を主とした染色芸術家であるアンナ・オネスティの凧約50点を展示
2	墨絵展	ローマ	ローマ日本文化会館		2009.05.20 ~ 2009.06.26	イタリア在住50年の千葉(鳥羽)郁世がローマで長年続けてきた墨絵教室に通うイタリア人(日本人も1名含まれる)及び千葉の作品を合わせて展示。日本独特の絵画技法のイタリア人への伝承を実際の作品で示す
3	日本の演劇展	ローマ	ローマ市演劇記念	ローマ市演劇記念館	2009.05.27 ~ 2009.09.06	能・狂言、歌舞伎、文楽といった古典演劇、新劇、60年代演劇、80年代以降演劇のそれぞれの誕生の背景と現在の姿を、資料、映像作品、ポスター、写真等の展示によって紹介。オープニングでは、ローマ日本文化会館館長、キュレーター、演劇・舞踏研究者等によるトークと、金剛流師範のモニク・アルノーによる能のデモンストレーションを実施
4	マイ・グランドマザーズ やなぎみわ展	ローマ	ローマ日本文化会館		2009.10.01 ~ 2009.11.20	2009年のヴェネチアビエンナーレ第53回美術展の日本館出展作家である、やなぎみわの展覧会。1999年から制作に取り組んでいる「マイ・グランドマザーズ」シリーズから、イタリア国内ギャラリー・収集家によるコレクション5点、および同シリーズのDVD1点を展示
5	陶器・ガラス展	ローマ	ローマ日本文化会館	伊日財団	2010.03.05 ~ 2010.04.17	イタリア在住の日本人アーティスト2人展。ローマにて絵付け教室を開催する齋イコ(イコ・ダミアーニ)の陶器作品と、ミラノを基点に数々の展覧会を開催しているガラス作家、大木泉の作品を展示

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	アウディトリウム・カリオペ・プロジェクト「若手現代作曲家紹介」	ローマ	アウディトリウム・パルコ・デッラ・ムージカ	アウディトリウム・パルコ・デッラ・ムージカ	2009.05.26	ローマ随一のコンサートホールであるアウディトリウム・パルコ・デッラ・ムージカが、当地の各国アカデミーや文化機関と協力して若い才能を紹介する「カリオペ・プロジェクト」のシーズン最終イベント。デンマーク、フランス、スペイン、米国の若手現代作曲家を招き、それぞれの作品を演奏するもので、日本からは今堀拓也が参加
7	未来派コンサート	ローマ	ローマ日本文化会館	地中海文学芸術祭	2009.06.09	未来派をテーマとする2009地中海文学芸術祭の一環として、日本人作曲家による未来派的音楽のピアノ、声楽、朗読によるコンサートを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	セロ弾きのゴーシュコンサート	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 06. 12	宮沢賢治の童話『セロ弾きのゴーシュ』を元に現代作曲家の林光が作曲した曲を、田代薫（ピアノ）、レアンドロ・カリーノ（チェロ）、マリーダ・アウジェーリ（ソプラノ、語り）のトリオが物語の語りも交えて演奏。宮沢賢治が書き残した歌「星巡りの歌」、「大菩薩峠の歌」、「ポランの広場」も併せて演奏
9	ラクイラ地震復興支援（3Gプロジェクト公演）	ラクイラ	Teatro Zeta ミホプロジェクト	ローマ・ヨーロッパ・フェスティバル	2009. 06. 13	狂言師の茂山千之丞、イタリアのコンメディア・デッラルテの俳優シルヴィオ・マルケッティ、スイスのクラウン（道化師）ディミトリーが、喜劇のジャンルを超えて共演する「3 Greats Project」のラクイラ公演を実施（イタリア・ツアーでは、ディミトリーは映像のみの出演）
10	レナード 衛藤・Blendrums公演 （本部海外公演助成事業）	ローマ	ローマ日本文化会館	日本航空	2009. 06. 18	レナード衛藤率いるプロジェクト“Blendrums”の公演。レナード衛藤の和太鼓に、ギター（鬼怒無月）とタップ（SUJI）を加え、現代的でダイナミックな音楽を演奏
11	琉神コンサート （本部海外公演助成事業）	ローマ	アウディトリウム・パルコ・デッラ・ムージカ	ローマ音楽財団	2009. 11. 03	沖縄の民族芸能を研鑽し、表現や理念に独自の解釈を加えてエイサーを舞台芸術にまで高める『琉神』が、イタリア有数の音楽施設であるアウディトリウム・パルコ・デッラ・ムージカで公演を実施
12	三遊亭 竜楽落語講演会 （本部日本文化紹介派遣助成事業）	ローマ	ローマ日本文化会館	ローマ大学	2009. 11. 04	三遊亭竜楽が、落語を研究しているマティルデ・マストランジェロ（ローマ大学教授）とともに、落語の見方・聞き方をわかりやすく解説し、イタリア語をまじえた落語口演を実施
13	五十田 安希シェイクスピアひとり芝居	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 11. 10	長年、シェイクスピアの作品を一人芝居で紹介し続けている五十田安希が、『マクベス夫人』、『オフィーリア幻想』の2作品のヒロインを、西洋式と東洋式のまったく異なる手法で演じ分ける公演。マクベス夫人の魔女3人はイタリア人俳優が参加
14	小野 リサ 音楽の旅コンサート （本部海外公演助成事業）	ローマ	ローマ日本文化会館		2010. 01. 25	日本やアジア、アメリカ大陸各国で活躍するボサノヴァ歌手小野リサによるヨーロッパ初公演。ボサノヴァのスタンダードを中心に、世界各国の楽曲をボサノヴァにアレンジした作品もまじえて演奏

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	現代美術講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 04. 02	現代美術の専門家でも各種展覧会のキュレーターも務めるローマ大学のアンジェロ・カパッソによる日本の現代美術の講演会。同時期にローマ市内で個展が開催された廣瀬智央へのインタビューを交え、具体、もの派、長澤英俊、森万里子等の作品を画像で紹介しながら、日本の現代美術を紹介

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
16	日本酒講演会	ローマ	ローマ日本文化会館	在イタリア大使館	2009. 04. 16	有限会社はせがわ酒店の協力により、日本酒と焼酎の蔵元10社による日本酒講演会および試飲を実施し、日本酒の歴史や製法、特色をわかりやすく紹介
17	日本の現代文学講演会「三島 由紀夫と女性たち」	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 04. 23	第一線で活躍している日本の近代・現代文学に関するイタリア人研究者、翻訳者による4回の講演会シリーズの3回目。ヴィルジーニア・シーカ（ミラノ大学教授）が「三島由紀夫と女性たち」と題して講演
18	日本の現代文学講演会「翻訳への情熱：イタリアにおける日本文学」	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 04. 28	第一線で活躍している日本の近代・現代文学に関するイタリア人研究者、翻訳者による4回の講演会シリーズの最終回。アントニエッタ・パストーレ（翻訳家）、ジャンルカ・コーチ（トリノ大学研究員）の2人が「翻訳への情熱：イタリアにおける日本文学」と題して講演
19	アクアリウム レクチャー・デモンストレーション	ローマ	ローマ日本文化会館	アクアデザイン・アマノ	2009. 05. 28	自然の生態系を再現する手法として関心が持たれている水草水槽を取上げ、禅庭や自然を模倣した水草水槽のレイアウト手法として、世界各国に紹介されるネイチャー・アクアリウムを提唱する天野尚による講演を開催。第一部にてアクアリウムに関する講演を行い、第二部で水槽レイアウト制作ワークショップを実施
20	裏千家ローマ出張所開所40周年記念 千 玄室講演会	ローマ	ローマ日本文化会館	裏千家ローマ出張所	2009. 09. 24	裏千家ローマ出張所創立40周年を記念し、千玄室（元宗家）の講演会、裏千家ローマ出張所によるデモンストレーションを実施
21	現代写真講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 10. 01	モデナ貯蓄銀行財団(Fondazione Cassa di Risparmio di Modena)のチーフキュレーターを務めるフィリッポ・マッジャが、やなぎみわ、東松照明、荒木経惟等、日本のさまざまな現代写真家について、作品を映像で示しながら講演
22	扇に関する講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 10. 05	1881年の創業以来美術品としての扇を製作し続けている「石角扇」の石角莞爾（いしずみ・かんじ）による講演会。扇の歴史、製法を映像資料を使いながら説明。講演にあわせて、扇の展示も実施
23	少女漫画 萩尾 望都 講演会 (本部日本文化紹介助成事業)	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 10. 08	『ポーの一族』、『11人いる!』、『残酷な神が支配する』などで有名な、人気漫画家 萩尾望都による講演会。戦後日本の少女漫画の歴史を、各時代の漫画家の代表作を示しながら紹介。また、自らの作品も朗読形式で解説。さらに漫画家と漫画家を取り巻く環境についても言及
24	講演「アニメと漫画の文化政策：J-POPのソフトパワー～ヨーロッパの視点から～」	ローマ	ローマ日本文化会館	Tunué出版	2009. 10. 20	著書『竜と稲妻』において、日本のアニメ・漫画がイタリアや西欧でいかに受け入れられたかを、社会的に分析した、メディア社会学者のマルコ・ペッリテーリによる講演会

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
25	「日本演劇の伝統と革新」講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2010. 02. 18	ボナヴェントゥーラ・ルペルティ（ヴェネツィア大学教授）と高田和文（ローマ日本文化会館館長）が、日本演劇の発展と日伊の演劇交流をテーマに講演および対談を行い、能・狂言などの日本の古典芸能の現代性、新劇運動と日本演劇の革新などについて解説
26	梅若 猶彦 能楽レクチャー・デモンストレーション	ローマ	ローマ日本文化会館	テアトロ・アゴラ・ローマ  演劇学校「ペルミ・ドウ・コンドゥイール」	2010. 03. 11	観世流能楽師（シテ方）の梅若猶彦（うめわか・なおひこ）による能楽に関する講演、デモンストレーション、現代劇演出の試みの紹介

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
27	新着映画上映会	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 04. 21 ～ 2009. 05. 12	ローマ・フィルムライブラリーに新たに加わった『ALWAYS 三丁目の夕日』（山崎貴監督）、『紙屋悦子の青春』（黒木和雄監督）、『雪に願うこと』（根岸吉太郎監督）を上映
28	イゾラ・デル・チネマ日本特集	ローマ	イゾラ・デル・チネマ	イゾラ・デル・チネマ  在イタリア大使館	2009. 07. 07	日本のポップカルチャーの発信のため、アニメ『宮本武蔵』の上映および同作品監督、プロデューサーによるトークショー。桜井孝昌（コンテンツメディア・プロデューサー）とカワイイ大使の青木美沙子、木村優らによるファッション・トークショーを実施

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
29	日本語講座運営（上半期）	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 04. 01 ～ 2009. 06. 30	ローマ在住の日本語学習者のために、日本語講座を運営。平成21年度4月～6月は、4年制コース（初級I、II、中級I、II）、2年制夜間コース（I、II）、入門コース（木I、II、土I、II、III）、中・上級コースを開講し、6月19日に4年生コース、2年生夜間コースの修了式を実施
30	日本語教育ボランティア日本語会話会（わいわいしゃべりあーも）	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ローマ在住の日本語学習者のために、在住日本人と日本語で日伊の文化について語り合う機会を提供。4、11、12、1月に各1回、2、3月には各2回の合計8回実施。1回2時間で、映画、音楽、趣味、観光スポットなど異なるトピックを設定し、途中メンバーを変えつつ4～6人程度の少人数グループで話し合える進行とした

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
31	日本語講座運営（下半期）	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 10. 01 ～ 2010. 03. 31	ローマ在住の日本語学習者のために、日本語講座を運営。平成21年度10月～3月は、4年制コース（初級I、II、中級I、II）、2年制夜間コース（I、II）、入門コース（木I、III、土I、II、III）、中・上級コースを開講

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
32	図書館運営	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	<p>イタリアの日本研究図書館およびインフォメーション・センターとしての役割を担う。日本文学、演劇、社会科学、歴史などの分野を中心とした、大学講座関係の洋書の収集に重点を置き、一般和書については、最新の日本文学の潮流や社会事情を知ることのできる書籍の充実を目指した。インフォメーション・センターとしては、辞書・事典・辞典・人名録・各種年鑑や団体便覧等の参考資料の収集と同時に、有料データベースやCD-ROM、インターネットなどの検索ツールの積極的な活用を目指した</p> <p>①所蔵資料合計： 35,357点 （内訳：日本語20,259冊、外国語13,363冊、視聴覚資料1,735点）</p> <p>②登録会員数： 5,976名</p> <p>③利用者数（年間）： 4,853名</p> <p>④貸出点数（年間）： 2,870点</p> <p>⑤レファレンス件数（年間）： 856件</p>

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
33	事業案内	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ローマ日本文化会館の事業を紹介するプログラム（事業案内）を年3回、各回約3,000部発行
34	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	会館案内ウェブサイトの運営管理 URL: <a href="http://jfroma.it/">http://jfroma.it/</a>
35	年報	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	平成20年度の会館事業を総括する年報を作成

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
36	市川 崑監督特集映画上映会 （本部海外日本映画祭(主催)事業）	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 10. 13 ～ 2009. 12. 17	イタリアで紹介される機会が少なかった市川崑監督の特集上映会。『こころ』、『ビルマの堅琴』、『破壊』など、計14作品を上映

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
37	和菓子レクチャーデモンストレーション (本部日本文化紹介派遣(主催)事業)	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 11. 17	島根県松江市にある彩雲堂の菓子職人によるレクチャーデモンストレーション。和菓子の多彩な美しさを映像で紹介するとともに、京都や金沢と並ぶ和菓子処である松江の和菓子職人の伝統技を当地で紹介
38	ウィンター・ガーデン展 (本部海外展(巡回展)事業)	ローマ	ローマ日本文化会館		2009. 12. 12 ~ 2010. 02. 13	1990年代後半から2000年代前半にかけて現れてきた日本の若いアーティスト14組によるドローイング、絵画、映像作品など35点を展示。キュレーターは美術評論家の松井みどり。断片を組み合わせて独自の世界観を表現したり、時代遅れのものや凡庸なものに新たな用途や意味を与える「マイクロポップ(松井による造語)」的共通点を持つアーティストの展覧会
39	女性監督特集 (本部海外日本映画祭(主催)事業)	ローマ	ローマ日本文化会館		2010. 01. 12 ~ 2010. 03. 16	戦後日本の女性監督によるさまざまなジャンルの作品、『かもめ食堂』、『めがね』、『恋文』、『薄墨の桜』、『ガラスのうさぎ』等10本の上映を通じ、日本の映画作品の多様性を紹介

(2) 助成・協力事業

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
40	第1回国際空手写真コンクール	イタリア伝統空手連盟 (FIKTA)	2009. 03. 31 ~ 2009. 12. 31	プロ、アマを問わず空手の素晴らしさを紹介する写真を募集しコンテストを実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
41	コンサート「日本歌曲 音楽のなかの日本の詩情」	文化交流協会「御飯」	2009. 04. 22	日本人の琴、メゾソプラノ、ピアノから成る琴アンサンブルによるコンサートを実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
42	第2回パルマ日本祭 (NIPPONSAI 2009)	ナウシカ・オペラ・インター ナショナル・パルマ	2009. 05. 03	日伊文化交流を目的として日本文化を紹介する展示、公演、ワークショップを実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
43	出会い -日本との邂逅-	モディカ・ロータリー・クラブ	2009. 05. 22 ~ 2009. 05. 24	日本の工芸品の展示、日・伊アーティストによるコンサート、日本映画の上映等を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
44	小野派一刀流 講演会・演舞	合気道道場「楽錬」	2009. 05. 23	小野派一刀流の講演会および演舞を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
45	『海辺のカフカ』上演	テアトロ・アルセナーレ	2009. 05. 26 ~ 2009. 06. 11	村上春樹の作品を原作とした舞台『海辺のカフカ』を上演。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
46	天野 尚写真展「水—その壮観と資源」	チェントロ・インテルナツィ オナーレ・アンティノオ	2009.06.04 ～ 2009.06.14	日本で開催されたアマゾンと佐渡島の写真パネルを展示し「写真家天野尚の世界」を紹介。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
47	国際イタリア喜劇フェスティバル (LIMPROVVISA) 茂山狂言公演	テアトロ・ヴィーヴォ	2009.06.11	茂山狂言が国際イタリア喜劇フェスティバルLIMPROVVISAに招待参加し、「コメディア・デッラルテ対狂言」を上演。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
48	東洋 —伝統と革新のはざま—	ヌオヴァ・テアトリオ	2009.06.26 ～ 2009.09.10	浮世絵からマンガまで日本のグラフィックアートの展示を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
49	花は桜木、人は武士	文化協会「ANIDRA」	2009.07.10 ～ 2009.07.17	日本の伝統に関する展覧会等のイベントを実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
50	第4回国際芥川 龍之介学会	国際芥川龍之介学会  ローマ大学「サピエンツァ」 東洋学部	2009.09.10 ～ 2009.09.11	各国の研究者による芥川龍之介に関する研究発表の実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
51	「ヘリオガバルス」プロジェクト	リオス・アソシエーション	2009.09.18 ～ 2009.09.20	笠井勲(舞踏家・振付家) および日本のダンスカンパニーによるパフォーマンス <i>Rinoceronte</i> を上演。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
52	ローマ・ヨーロッパフェスティバル 2009	ローマ・ヨーロッパ財団	2009.09.22 ～ 2009.10.28	ローマ・ヨーロッパフェスティバル2009において、万作の会による狂言上演、勅使川原三郎によるダンス、坂本龍一による公演を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
53	笠井 勲 in ナポリ考古学博物館：ダンスと神話	ナポリ・ポンペイ考古学監督局	2009.09.23 ～ 2009.09.27	笠井勲(舞踏家・振付家)の公演を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
54	絵巻物 17～18世紀の日本絵画	ポルティ・ディ・マニン	2009.10.03 ～ 2009.10.18	17世紀から18世紀の日本の絵巻物の展示紹介。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
55	シネマニメーション	テアトロ・アルケスティス	2009.10.07 ～ 2009.11.29	日本映画の上映、マンガ、ゲームについての対談等を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
56	10月日本祭 2009	イタリア・アフリカ東洋研究所 エミリア・ローマニャ支部	2009.10.10 ～ 2009.11.12	山村浩二(アニメーション作家)の作品上映および生け花等日本文化の紹介を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
57	萬古焼展	トレンティーノ社会人大学	2009.10.18 ～ 2009.11.08	萬古焼の展示を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援



海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
58	第9回Camere展 - Fagana	RAM - radioartemobile	2009. 10. 29 ~ 2009. 12. 23	長澤英俊、ヤン・ファープル、アルベルト・ガルッティの作品を展示。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
59	第10回AsiaticaFilmMediale映画祭	「ムネモシユネ」文化協会	2009. 10. 30 ~ 2009. 11. 07	日本映画をはじめとするアジアの映画を上映。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
60	Omote - 能面	楊心流	2009. 11. 14 ~ 2009. 12. 20	能面20点の展示および能についての講演を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
61	トスカーナフェスタ2009 日本映画上映	日本文化協会「とかげ」	2009. 11. 27 ~ 2009. 11. 30	日本映画11作品の上映のほか、パレード、日本食実演等を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
62	写真展「那覇大綱挽」	伊日財団 民俗人類学中央研究所	2009. 12. 10 ~ 2010. 01. 15	沖縄で毎年開催される那覇大綱挽を題材とした写真展を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
63	第12回フューチャー・フィルム・フェスティバル	フューチャー・フィルム・フェスティバル友の会	2010. 01. 26 ~ 2010. 01. 31	日本の映画、テレビアニメ等の上映を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
64	日本文化フェスティバル「雛祭り2010」	日本文化協会「いろは」	2010. 03. 05 ~ 2010. 03. 15	講演会、日本舞踊デモンストレーション、日本茶についてのセミナー等を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
65	梅若 猶彦「イタリアン・レストラン」公演	演劇学校「ペルミ・ドゥ・コンデュイール」	2010. 03. 07 ~ 2010. 03. 13	狂言師の梅若猶彦によるワークショップならびにイタリア人キャストによる現代劇「イタリアン・レストラン」公演を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
66	春の風 - ヴィチェンツァの日本 -	文化交流協会「御飯」	2010. 03. 11 ~ 2010. 03. 21	ヴェネト地方の複数会場での展示、講演、映画上映等を通じて日本文化の様々な側面を紹介。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
67	イアソンと美貌のメディア	ギャラリー「Hybrida contemporanea」	2010. 03. 12 ~ 2010. 03. 31	池田うえもんによる展覧会を実施。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援
68	黒澤 明へのオマージュ	フランソワ・トリュフォー協会	2010. 03. 23 ~ 2010. 03. 25	黒澤明生誕100周年を記念し、同監督の作品6本を上映。同事業に対して国際交流基金ローマ日本文化会館の後援名義を付与して支援

海外事務所

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
69	第23回俳句賞授賞式	イタリア俳句友の会 裏千家ローマ出張所	2009. 05. 29	俳句賞を実施運営するイタリア俳句友の会および裏千家ローマ出張所への協力として、第23回俳句賞授賞式の会場提供等により実施に協力

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
70	満開のモンタルト	モンタルト・ディ・カストロ 市政府	2009. 05. 30 ~ 2009. 06. 02	モンタルト・ディ・カストロ市での花祭りに際して、ローマ日本文化会館所蔵の展示パネルセット『日本庭園』を貸出し
71	映画祭 <i>EST remamente Orientale</i>	「イル・ムリーノ」外国語学 校	2009. 08. 28 ~ 2009. 08. 30	アジア映画を特集した映画祭において、ローマ日本文化会館フィルムライブラリー所蔵の『ウォーターボーイズ』、『父と暮せば』を貸出し
72	繊細の魔法、沈黙の美学	東洋言語研究センター	2009. 09. 19 ~ 2009. 10. 31	日本の美意識をテーマとした連続講演において、ローマ日本文化会館フィルムライブラリー所蔵のドキュメント映画『文楽への誘い』『和菓子-その美と心』『京和菓子』『歌舞伎の後見』『狂言-野村万蔵-技とこころ』『能面』『太平楽』を貸出し
73	シネマニメーション	テアトロ・アルケステイス	2009. 10. 07 ~ 2009. 11. 29	マンガ、ゲームなどを取り上げたイベントにおいて、ローマ日本文化会館フィルムライブラリー所蔵の『火垂るの墓』、『白蛇伝』を貸出し
74	ルガーノ日本映画上映	在ジュネーブ総領事館 (スイス)	2009. 11. 20	在ジュネーブ総領事館との共催により、ルガーノ (スイス) においてローマ日本文化会館フィルムライブラリー所蔵の『ALWAYS 続・三丁目の夕日』を貸出し
75	<i>Vingis</i> 映画フォーラム	Kino Aljansas (リトアニア)	2009. 12. 06 ~ 2009. 12. 07	リトアニアのヴィリニウスで開催の映画フォーラムにおいて、ローマ日本文化会館フィルムライブラリー所蔵の『火垂るの墓』を貸出し

ケルン日本文化会館

合計額 121,385,863 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	細江 英公写真展「歴史の記憶」展	ケルン	ケルン日本文化会館		2009.03.19 ~ 2009.05.22	日本の戦後写真界を代表する写真家である細江英公の作品の中から、細江の記憶の中にある劇場をテーマとした写真「鎌鼬(かまいたち)」「浮世絵プロジェクト」「胡蝶の夢」を紹介
2	対話展「松坂 あゆみ、Steffi Jungling」	ケルン	ケルン日本文化会館		2009.06.19 ~ 2009.07.31	若手女性作家2名によるインスタレーション、映像作品を紹介。松坂あゆみは <i>Exchange of Warm</i> と題した映像作品を中心に、Steffi Junglingはインスタレーション作品 <i>Tokonoma</i> プロジェクトを展示
3	ウィンター・ガーデン展 (Winter Garden)	ケルン	ケルン日本文化会館		2009.09.04 ~ 2009.11.23	国際交流基金制作による最新の展覧会。海外初の開催。キュレーター松井みどりの「マイクロポップ」という考え方に基づき、青木陵子、Chim Pom、千葉正也、半田真規、泉太郎、工藤麻紀子、國方真秀未、落合多武、佐伯洋江、杉戸洋、タカノ綾、田中功起、八木良太、山本桂輔の各若手アーティストの作品でまとめた日本現代美術展
4	対話展 <i>Moll/Niwa Konsistenz</i>	ケルン	ケルン日本文化会館		2009.12.11 ~ 2010.02.26	日独の若手アーティストによる対話展 <i>Konsistenz</i> を開催。ベルリン在住のマキシミリアン・モル (Maximilian Moll) と丹羽陽太郎によるダイナミックな新作のインスタレーションおよび映像作品を紹介

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	二十絃琴とリコーダーのためのコンサート	ケルン	ケルン日本文化会館		2009.05.19	二十絃琴の第一人者吉村七重と、リコーダー奏者鈴木俊哉によるコンサート。湯浅譲二、細川俊夫、望月京、伊藤弘之などの現代日本の作曲家の作品を演奏
6	<i>Voyage</i> ノルトライン・ヴェストファーレン州青少年アンサンブル・コンサート	ケルン	ケルン日本文化会館		2009.06.05	ノルトライン・ヴェストファーレン州青少年アンサンブルは、ノルトライン・ヴェストファーレン (Nordrhein-Westfalen) 州音楽評議会と Musik Fabrik により結成された演奏団体。今回、細川俊夫や望月京など日本の作曲家による現代作品によるプログラムを披露
7	迦陵頻伽声明研究会公演	ケルン	ケルン日本文化会館		2009.06.10	迦陵頻伽(かりょうびんが)声明研究会(真言宗豊山派)の声明による仏教儀式・法会の紹介
8	レナード 衛藤コンサート	ケルン	ケルン日本文化会館		2009.06.12	レナード衛藤(太鼓)、鬼怒無月(ギター)、SUJI(タップ)によるユニット、ブレン・ドラムスによるコンサート

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	アンサンブル遊声公演	ケルン	ケルン・フィルハーモニー (Koelner Philharmonie)		2009. 09. 01	雅楽アンサンブル伶楽舎と天台・真言声明の僧侶で構成されるアンサンブル遊声による伝統雅楽と細川俊夫作曲による現代音楽のプログラムを披露
10	貴志 康一 生誕100周年記念 ドイツと日本の架け橋	ケルン	ケルン日本文化会館		2009. 09. 08	木野雅之・真美兄妹によるヴァイオリン、ピアノ・リサイタル。貴志康一は1930年代初めに作曲家・指揮者としてベルリンで活躍。生誕100周年となるのを記念し、日本フィル・コンサートマスターの木野雅之、パリで活躍中のピアニスト木野真美が、貴志作品ほかを紹介
11	素浄瑠璃アンサンブル「訃傳（こでんの会）」	ケルン	ケルン日本文化会館		2009. 10. 13	人形や俳優を使わず視覚に頼らない想像で鑑賞を味わうものとして、劇中の人物の台詞、三味線と太夫の語りのみによる素浄瑠璃（すじょうり）を実施
12	西 陽子コンサート	ケルン	ケルン日本文化会館		2009. 11. 03	箏曲家・西陽子によるコンサート。現代日本の作曲家の作品による多彩なプログラムの演奏会。復元楽器の箏篋（くご）を紹介
13	コンサート「ピアノとマリンバの夕べ」	ケルン	ケルン日本文化会館		2010. 02. 26	世界の現代音楽シーンで活躍する米国出身のヘザー・オドンネル（ピアノ）と純マリンバ作品にこだわり世界各地で演奏活動を展開する小森邦彦（マリンバ）による演奏会
14	クリヤ・マコト ジャズピアノ・コンサート	ケルン	ケルン日本文化会館		2010. 03. 31	日本を代表する国際的なジャズピアニストでサウンドプロデューサーでもあるクリヤ・マコトのコンサート

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	講演会「不明瞭の本質—聴くことから創ることへ」近藤 譲	ケルン	ケルン大学	ケルン大学	2009. 04. 29	現代日本を代表する作曲家の一人、近藤譲がケルン大学において自らの作曲理論について講演
16	松本 俊夫監督講演会	ケルン	ケルン日本文化会館		2009. 05. 06	1950年代から実験的な短編映画を製作し、ピーター主演『薔薇の葬列』、夢野久作原作の『ドグラマグラ』などの長編においても独自の映像世界を追求してきた映画監督、松本俊夫による講演会を開催
17	佐佐木 幸綱講演会	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン文学館 (Literaturhaus Koeln)  ケルン独日協会 (Deutsch-Japanische Gesellschaft e. V. Koeln)	2009. 06. 03	日本を代表する歌人のひとり佐佐木幸綱が、「1300年に及ぶ短歌の伝統と革新」をテーマに、短歌の始まりから現代短歌までの流れをたどり、今も広く一般に詠まれる短歌の革新性について講演

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	シンポジウム「高齢化社会 — 都市生活とライフ・クオリティ」	ケルン	ケルン日本文化会館	ノルトラインヴェスト ファーレン州 イノベーション・学術・研究・技術省  ドルトムント工科大学老人医学研究所	2009. 09. 09	高齢化が急速に進む日独両国を比較しながら、都市生活とライフ・クオリティについて考えるシンポジウム。日本からは服部圭郎（明治学院大学教授）と羽入佐和子（お茶の水女子大学学長）、ドイツ側からはウルズラ・レーア元独連邦青少年・家族・女性・保険大臣、エッカート・シュナーベル博士（ドルトムント工科大学老人医学研究所）が参加
19	講演会「現代日本文学レクチャー」 佐々木 敦	ケルン	ケルン日本文化会館		2010. 03. 26	映画批評から出発し、音楽、演劇、ダンス、そして文芸に至るまで縦横無尽に執筆・批評活動を行ない、日本の若者の圧倒的な支持を得ている佐々木敦を迎え、「ポスト・ムラカミの日本文学」と題し、90年代以降の日本文学についてのレクチャーを開催

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	新着映画特集	ケルン	ケルン日本文化会館		2009. 03. 16 ~ 2009. 04. 27	ケルン日本文化会館のJKIフィルムライブラリーに新たに加わった『雨月物語』（溝口健二監督、1953年）、『シコふんじゃった』（周防正行監督、1992年）、『紙屋悦子の青春』（黒木和雄監督、2006年）などの作品を中心に上映
21	日本のヌーベルバーグを中心とした映画会	ケルン	ケルン日本文化会館		2009. 05. 07 ~ 2009. 07. 27	1969年は、映像の分野でフランス発のヌーベルバーグが世界中に衝撃を与え、日本でも映画製作会社の松竹を中心に、若い映画監督により新しい映像表現の試みがなされた。これらの実験的な作品および伝統的な制度に則って完成された高度な表現力を持つ映画にいたるまで、この時代の多様性を紹介できる映像作品を上映
22	日本のポップ映画特集	ケルン	ケルン日本文化会館		2009. 11. 02 ~ 2009. 12. 17	アニメ、音楽、ファッションなどの日本のポップカルチャー及びそれらを生み出した日本の「今」の若者の生活、社会、問題点などをテーマとした新しい映画を紹介
23	ドキュメンタリー映画特集	ケルン	ケルン日本文化会館		2010. 01. 10 ~ 2010. 03. 11	日本の現代社会紹介の一環として、現代の日本社会を描くドキュメンタリー映画の特集上映会。過去の歴史、特に第二次世界大戦が日本社会にどのような影響を与えたか、また現代に生きる我々はそれにどう対処していくのか、問いかける作品を中心に紹介。『ひめゆり』（柴田昌平監督、2006年）、『ヨコハマメリー』（中村高寛監督、2005年）、『シロタ家の20世紀』（藤原智子監督、2008年）などの作品を上映

海外事務所

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	日本語講座運営	ケルン	ケルン日本文化会館		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	初級～上級まで、9レベル14クラス（半期制）の講座を開講。平成21年度は、延べ444名が受講
25	ベルリン日本語教師研修会	ベルリン	ベルリン日独センター		2010. 02. 04 ～ 2010. 02. 05	「日本語教育スタンダード」を使った授業改善についてワークショップを実施

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
26	図書館運営	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	<p>ケルン日本文化会館図書館は日本に興味のある人々すべてに日本に関する情報を提供している。その目的は、ドイツ語圏における日本文化の理解及び日本語学習者や日本学研究者の拡大と支援であり、日本の伝統文化から現代社会事情まで日本全般に渡る資料（主に日本語、ドイツ語、英語）を収集し、利用に供することにある</p> <p>①所蔵資料合計： 28,924点 （内訳：図書資料数21,404冊、視聴覚資料数7,520点） ※雑誌タイトル数：239タイトル</p> <p>②登録会員数： 4,641名 ③利用者数（年間）： 3,696名 ④貸出点数（年間）： 3,998点 ⑤レファレンス件数（年間）： 449件</p>

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
27	ケルン市美術館の長い夜	ケルン	ケルン日本文化会館		2009. 11. 07 ～ 2009. 11. 08	ケルン市および情報誌 <i>Koelner StadtRevue</i> の主催で開催され、市内の40以上の施設が参加するイベント「第10回ケルン市美術館の長い夜」に参加。Studio 4°C制作の複数の監督によるアニメ作品 <i>Genius Party</i> （2007年）、 <i>Genius Party Beyond</i> （2008年）の特別上映を実施
28	香道志野流レクチャーデモンストラーション	ケルン	ケルン日本文化会館		2010. 01. 22	室町時代東山文化が栄えた頃に茶道、華道などともに香りを聞き、鑑賞するという日本独特の香りの芸術、香道が発展。現在の家元で20世を数える志野流の次期家元蜂谷宗苾を迎えて、香道の歴史や香道とは何かという話に加えて、実際に香を聞くデモンストラーションを実施

## (2) 助成・協力事業

## 【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
29	パブリックガーデン パブリックジェネレーション ( <i>Public Garden Public Generation</i> )	新アーヘン芸術協会 (NAK : Neuer Aachener Kunstverein)	2009.06.08 ~ 2009.07.28	アーヘン市立公園 (Stadtgarten Aachen) というパブリックスペースを利用して、その属する社会、あるいは隣人と社会とのコミュニケーションを図るアートを紹介。日本からホームレスとして生活し、ホームレス生活をアートとする市村美沙子が参加

パリ日本文化会館

合計額 519,049,075 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	武道の精神展	パリ	パリ日本文化会館		2009.04.22 ~ 2009.07.05	国際交流基金本部の巡回展「武道の精神」の受け入れ。なお当地限定の内容として、収集家所蔵の鍔コレクション（15点）を展示ホール内に、また夏坂眞一郎制作のサムライ・フィギュア（8点）を地上階クロック横を用いて付加的に展示。さらに会期最終の2週間は、「ジャパン・ポップカルチャー・フェスティバル」との連動企画として、展示セットの「マンガと武道」コーナーの内容を入れ替えて展示
2	すきとおった光と闇・瀧梅岡 真理子展	パリ	パリ日本文化会館	瀧梅岡真理子展実行委員会	2009.06.03 ~ 2009.06.13	スペインを本拠として活躍する画家、瀧梅岡真理子の作品6点を展示
3	「出発（たびだち）ー6人のアーティストによる旅」展	パリ	パリ日本文化会館	東京都写真美術館	2009.10.14 ~ 2010.01.23	今後の活躍が期待される日本人の写真家、映像作家6名による「旅」をテーマとした作品170点を紹介する国際交流基金本部の企画展

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	ミニコンサート 下田 聖子	パリ	パリ日本文化会館		2009.04.08	ピアニスト、下田聖子によるクラシック音楽コンサート
5	冴木 杏奈 タンゴコンサート	パリ	パリ日本文化会館		2009.04.24 ~ 2009.04.25	タンゴ歌手、冴木杏奈によるコンサート
6	ミニコンサート 前田 智洋パリコネクション	パリ	パリ日本文化会館		2009.05.13	ギタリスト前田智洋を中心に、ルクセンブルグ人とセネガル人もメンバーとしたバンドによるコンサート
7	梅津 貴昶 地唄舞公演	パリ	パリ日本文化会館		2009.05.29 ~ 2009.05.30	梅津流家元の梅津貴昶による地唄舞公演
8	ダンス「ひかり、肖像」公演	パリ	パリ日本文化会館		2009.06.05 ~ 2009.06.06	バレエダンサーと能役者の共演によるコンテンポラリーダンス公演
9	「音楽の日」コンサート 平井 丈一朗・元喜	パリ	パリ日本文化会館		2009.06.20	パブロ・カザルスに師事し、彼の後継者とも言われるチェリスト平井丈一朗と子息でピアニストの平井元喜による「音楽の日」フェスティバルのコンサート
10	演劇『僕らは生まれ変わった木の葉のように』	パリ	パリ日本文化会館		2009.06.24 ~ 2009.06.25	劇団A La Placeによる清水邦夫作の『僕らは生まれ変わった木の葉のように』公演



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	J-DANCE 『モンスタープロジェクト』	パリ	パリ日本文化会館	フェスティバル・ドートンヌ	2009. 10. 07 ~ 2009. 10. 10	日本のダンスカンパニー「モノクロムサーカス」を主宰する坂本公成と、アンジェの国立現代ダンスセンターのディレクターであるエマニュエル・ユインが共同で制作したダンス作品。フェスティバル・ドートンヌとの共催
12	J-DANCE <i>TRUE</i>	パリ	パリ日本文化会館	フェスティバル・ドートンヌ	2009. 10. 15 ~ 2009. 10. 17	ダムタイプの藤本隆行や白井剛、川口隆夫による共同プロジェクト。フェスティバル・ドートンヌとの共催
13	五十田 安希 シェークスピア ひとり芝居	パリ	パリ日本文化会館		2009. 11. 05 ~ 2009. 11. 06	五十田安希の一人芝居によるシェークスピア公演。『マクベス』『オーフィーリア幻想』
14	舞踏 大駱駝艦	パリ	パリ日本文化会館		2009. 11. 19 ~ 2009. 11. 28	暦赤兒率いる舞踏集団「大駱駝艦」による公演。村松卓矢と小林祐子、2名の若手振付家による2週連続公演
15	<i>JAZZY COLORS</i>	パリ	セルビア文化センター	外国文化センター(カナダ、エストニア、フィンランド、ハンガリー、オランダ、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、セルビア、スロバキア、スウェーデン、トルコ)	2009. 11. 25	パリ所在の外国文化センターとの共催フェスティバル。ジャズシンガーの大島恵美を中心としたグループがセルビア文化センターで演奏
16	喜多流大島家 能公演	パリ	パリ日本文化会館		2009. 12. 09 ~ 2009. 12. 10	喜多流大島家による公演。古典『清経』とJanette Cheong作の新作能『パゴダ』を上演
17	ミニコンサート 富田 良子	パリ	パリ日本文化会館		2009. 12. 16	ジャズシンガー、富田良子によるコンサート
18	ミニコンサート 和太鼓「真」	パリ	パリ日本文化会館		2010. 01. 20	フランス在住の窪田真理子率いる和太鼓グループ「真」によるコンサート
19	小野 リサ コンサート	パリ	パリ日本文化会館		2010. 01. 21 ~ 2010. 01. 23	ブラジル生まれのボサノバ歌手、小野リサによるコンサート
20	コンサート 日本の音楽の若き才能	パリ	パリ日本文化会館		2010. 02. 04 ~ 2010. 02. 05	欧州在住の若手クラシック演奏家6名を中心としたコンサート
21	ミニコンサート 大野 敬正	パリ	パリ日本文化会館		2010. 02. 17	大野敬正(津軽三味線)によるコンサート

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
22	樋口 あゆこ ピアノリサイタル	パリ	パリ日本文化会館		2010. 02. 23	ピアニスト、樋口あゆこによるコンサート
23	ジャズインジャパン	パリ	パリ日本文化会館		2010. 02. 25 ~ 2010. 02. 27	パリ日本文化会館が主催し毎年恒例となっている、ジャズのフェスティバル。大西順子、寺井尚子、リチャード・ガリアーノ、伊藤君子、高瀬アキラが出演
24	雛祭りお話会	パリ	パリ日本文化会館		2010. 03. 03	日本の雛祭りをテーマとした子供向けのお話会
25	ミニコンサート 箏と鼓	パリ	パリ日本文化会館		2010. 03. 10	箏の日原史絵と鼓の今井尋也によるコンサート。オリジナルの現代曲を中心に演奏
26	レクチャーデモンストレーション 歌舞伎の舞台裏	パリ	パリ日本文化会館		2010. 03. 20	中村福助による歌舞伎のレクチャーデモンストレーション
27	落語 桂 小春團治	パリ	パリ日本文化会館		2010. 03. 26 ~ 2010. 03. 27	桂小春團治による落語公演。『お玉牛』と『皿屋敷』を上演

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
28	現代詩講演会	パリ	パリ日本文化会館	フランス国立東洋言語文化大学 (INALCO)	2009. 04. 01	現代詩人の藤井貞和による講演会「『詩語としての日本語』問題から一折口信夫と瀧口修造」
29	古流武道ワークショップ	パリ	パリ日本文化会館	レ・ドゥー・スピラル	2009. 04. 24 ~ 2009. 04. 25	松浦真人による「剣と能から知る侍の動き」ワークショップ
30	陶芸講演会	パリ	パリ日本文化会館		2009. 04. 30	陶芸家の藤原和が、「備前焼と私ー藤原家と自身の作陶姿勢について」と題した講演を実施
31	江戸文化講演会	パリ	パリ日本文化会館	徳川記念財団	2009. 05. 05	公益財団法人徳川記念財団理事長、徳川恒孝（徳川宗家第18代当主）を講師に迎えた講演会および当地の識者ジャン＝ロベール・ピット（元パリ第4大学学長）、マリオン・ソーシエ（フランス国立東洋言語文化研究所（INALCO）教授）、岩淵令治（国立歴史民俗博物館准教授）を招いてのラウンド・テーブルの2部構成で実施。江戸時代の教育について、また鎖国や国内税制といった江戸時代にとられた内外の政策が文化と社会に与えた影響について、経済政策における武家の倫理観といったテーマで講演および議論が展開された

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
32	食文化デモンストレーション「和のおやつ」	パリ	パリ日本文化会館		2009. 05. 09 ~ 2010. 03. 13	日本のおやつに関する講演・デモのシリーズ。第1回「抹茶」(09. 05. 09)、第2回「冷たいお菓子」(09. 06. 20)、第3回「サツマイモと栗を使ったお菓子」(09. 10. 31)、第4回「小豆を使ったお菓子」(09. 11. 14)、第5回「米を使ったお菓子」(10. 01. 30)、第6回「きな粉を使ったお菓子」(10. 03. 13)
33	古武術レクデモ・ワークショップ (本部日本文化紹介派遣(助成)事業)	パリ	パリ日本文化会館		2009. 05. 13 ~ 2009. 05. 14	甲野善紀によるレクチャー・デモンストレーション「古の武術とその活用術」、および「甲野善紀流身体操作術」ワークショップ
34	日野武道ワークショップ	パリ	パリ日本文化会館		2009. 05. 15	武道家の日野晃による体験ワークショップ
35	食文化デモンストレーション「日本の味」	パリ	パリ日本文化会館	味の素ヨーロッパ株式会社	2009. 05. 15 ~ 2010. 02. 06	味の素ヨーロッパ株式会社による日本の食材に関するデモ・シリーズ。第1回「薬味」(09. 05. 15)、第2回「米」(09. 10. 02)、第3回「海藻」(09. 11. 21)、第4回「豆腐」(10. 02. 06)
36	柔道デモンストレーション	パリ	パリ日本文化会館	フランス柔道連盟	2009. 05. 16	フランス柔道連盟所属の柔道家たちによる、柔道を通じた武道の精神についてのレクチャー、および柔道型の演武の実施
37	日本研究講演会「騎士と侍」	パリ	パリ日本文化会館	パリ第1大学クリオペア・アソシエーション	2009. 05. 29	戦と社会の関係について、侍と騎士という対照的な存在を通じて日仏比較考察する。ピエール＝フランソワ・スイリ(ジュネーブ大学教授/フランス国立東洋言語文化研究所(INALCO)教授)とロイク・カゾー(パリ第1大学・歴史学教授資格者)というふたりの歴史家が自論を展開
38	日本茶デモ・ワークショップ	パリ	パリ日本文化会館	寿月堂	2009. 06. 04	「日本茶事始め」と題して、日本茶の奥深い世界を解説
39	剣道デモンストレーション	パリ	パリ日本文化会館	フランス剣道協会	2009. 06. 10	剣道の起源と発展をテーマに、剣道の実技を交えながらその精神を解説
40	日本料理フェスティバル	パリ	パリ日本文化会館	特定非営利活動法人日本料理文化交流協会	2009. 06. 11 ~ 2009. 10. 24	特定非営利活動法人日本料理文化交流協会が中心となり、パリにある日本料理店の協力を得て開催した料理のデモンストレーション。最終日には小山裕久(特定非営利活動法人日本料理文化交流協会理事長)による講演会も実施
41	日本研究講演会(憲法・政治危機)	パリ	パリ日本文化会館		2009. 06. 17	パリ政治学院に客員教授として派遣された曾我部真裕(京都大学教授)による、憲法と国会に関する講演会。エリック・セズレ(パリ第7大学教授)をコメンテーターとして迎え、憲法という観点からとらえた日本の現代政治について討論
42	日本研究講演会「日本の防衛政策、変化への誘惑」	パリ	パリ日本文化会館	読売新聞社	2009. 06. 19	2008年の渋沢・クローデル賞受賞者ギブール・ドラモット(フランス政治学院アジア研究センター研究員)による、同賞受賞記念講演会

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
43	日本酒利き酒会	パリ	パリ日本文化会館	榊田酒造店	2009. 06. 23	老舗蔵元の協力を得て、毎年好評を博している日本酒セミナーと試飲会を実施
44	俳句香	パリ	パリ日本文化会館		2009. 06. 26 ～ 2009. 06. 27	日本の伝統文化を代表する俳句と香道のかかわりについて、俳句の観点から黛まどか（俳人）、香道の観点から蜂谷宗苾（志野流第二十世家元後嗣、文化庁文化交流使）が解説。デモンストレーション体験付き
45	日本研究講演会「仮名の発達と平安時代女流文学」	パリ	パリ日本文化会館		2009. 09. 09	今西祐一郎（国文学研究資料館館長）による講演会。女流仮名文字文学が発達した時代の社会的・歴史的背景に関する解説
46	エネルギー問題に関するシンポジウム	パリ	パリ日本文化会館	日立株式会社	2009. 09. 24	「エネルギーの効率化はイノベーションの牽引役となるか」をめぐって日欧の企業家、研究者など10名が発表・議論
47	写真展関連講演会（監修者によるトーク）	パリ	パリ日本文化会館		2009. 10. 15	平成21年度秋季展「出発－6人のアーティストによる旅」展の関連事業として、展覧会監修者の藤村里美（東京都写真美術館学芸員）が日本の旅写真の系譜や展覧会の見所について紹介
48	禅に関するシンポジウム	パリ	パリ日本文化会館	笹川日仏財団	2009. 11. 12 ～ 2009. 11. 13	京都・大徳寺から僧侶の派遣団が来仏する機会をとらえ、禅とのふれあい、禅の意味について議論するシンポジウムを実施。また大徳寺に取材した映画「音禅」をあわせて上映
49	社会科学高等研究院（EHESS）日仏基金設立記念シンポジウム（本部知的交流会議（助成）[欧州・中東・アフリカ]事業）	パリ	パリ日本文化会館	社会科学高等研究院（EHESS）日仏基金	2009. 11. 14	社会科学高等研究院（EHESS）日仏基金の設立を記念して開催されたシンポジウム。ジャン・ティロール（EHESS教授）をはじめとする日仏を代表する研究者たちが集まり、経済危機や社会的危機への取り組みを通じて国際的な課題に対して日本の知見を生かすための日仏知的交流対話を繰り広げた。Le Monde紙が2面にわたり日本からの参加研究者5名の発表要約記事を掲載
50	和菓子デモ「伝統菓子と巧みの技」（本部日本文化紹介派遣（助成）事業）	パリ	パリ日本文化会館	東京製菓学校	2009. 11. 20	「ねりきり」を中心とした代表的な和菓子の作り方を紹介。和菓子づくり体験と試食付き
51	日仏演劇シンポジウム	パリ	パリ日本文化会館	早稲田大学 パリ第10大学 フランス国立科学研究センター舞台芸術研究ユニット（ARIAS-CNRS）	2009. 11. 26	日仏の舞台芸術研究者たちによるシンポジウム「演劇・舞踊・芸術環境 日仏交流の20世紀」。シンポジウム全体は11月25日～27日の3日間開催され、世界文化会館、フランス国立図書館とパリ日本文化会館とを共同会場として実施。パリ日本文化会館は第2日目の会場を提供

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
52	子供・青少年茶道ワークショップ	パリ	パリ日本文化会館	裏千家パリ支部	2009. 12. 02	裏千家パリ支部による、子供・青少年向けの茶道体験入門ワークショップ
53	現代写真シンポジウム「日本写真史1900-1945年」	パリ	パリ日本文化会館	フランス国立東洋言語文化大学 (INALCO)	2009. 12. 04 ~ 2009. 12. 05	日仏の写真史研究者8名による報告や討論を通じ、1900年～1945年の日本写真史を通観する2日間のシンポジウム
54	日本研究シンポジウム「加藤周一あるいは文化多様性の考察」	パリ	パリ日本文化会館	Reseau Asie	2009. 12. 12	思想家・加藤周一の没後1年を経て開催された、同氏の知的遺産をたどるシンポジウム。哲学者エドガール・モランやモーリス・ゴドリエら日本研究分野以外の著名な研究者や欧州以外の国からの参加を得て、幅広い層の関心を呼んだ
55	写真講演会「日本におけるカメラの歴史と進化」	パリ	パリ日本文化会館	NIKON	2010. 01. 13	株式会社ニコン映像カンパニーの後藤哲朗が、日本におけるカメラの歴史と進化について、開発製造者の立場から解説。日本人学校生徒を対象としたワークショップもあわせて実施
56	三線 ワークショップ	パリ	パリ日本文化会館		2010. 01. 14	文化庁の文化交流使、喜瀬慎仁による三線の体験ワークショップ
57	日本研究講演会「プロレタリア文学の名作『蟹工船』の現代性」	パリ	パリ日本文化会館		2010. 01. 30 ~ 2010. 02. 06	2008年に日本でブームとなった小林多喜二『蟹工船』の仏語訳が2009年11月に出版された機会をとらえ、映画上映会と討論会を実施。映画『蟹工船』（山村聡監督、1953年）上映のあと、討論会には島村輝（フェリス女学院大学教授）、ジャン=ジャック・チュジン（パリディドロ第7大学名誉教授）、『蟹工船』翻訳者エヴリーヌ・ルシーニュ=オドリ、セシル・坂井（パリディドロ第7大学教授）が参加し、映画、小説、翻訳、日本の近代と現代、文学と社会という多層的なテーマで展開された。同映画は2月4日および6日に各1回ずつ追加上映も実施
58	味噌セミナー	パリ	パリ日本文化会館	MARUKOME USA Inc.	2010. 02. 04	味噌製造メーカーの米国マルコメ株式会社による、味噌の歴史や種類、製造方法、食品としての効用などをテーマとしたセミナー。セミナー後に試食も実施
59	海苔講座（寿月堂）	パリ	パリ日本文化会館	寿月堂	2010. 02. 11	日本の食文化に欠かせない食材である海苔についての講座。パリに店舗を構える寿月堂の専門家が講師を務めた
60	日仏教育報告会	パリ	パリ日本文化会館		2010. 02. 18	国際交流基金本部が毎年実施している中学・高校教員招へいプログラムのフォローアップとして実施。直近の参加者や過去の参加者からの報告を募り、プログラムへの参加を通じて日本に関する知識や経験の共有方法や学校教育への還元方法について検討。また参加者同士のネットワーク化をはかった
61	香道デモンストレーション	パリ	パリ日本文化会館		2010. 02. 25 ~ 2010. 02. 27	志野流による「組香」など香道のデモンストレーション。また、泉田玉堂（大徳寺老大師）と蜂谷宗苾（志野流第二十世家元後嗣、文化庁文化交流使）の対談「香と禅」を2月25日に実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
62	ひな祭り特別お話し会	パリ	パリ日本文化会館		2010. 03. 03	フランス人出演者3名による、お雛様についての子供向けのお話し会
63	日本料理講演会	パリ	パリ日本文化会館	日本料理アカデミー	2010. 03. 06	日本料理の老舗「菊乃井」主人の村田義弘が、「日本料理の心」について語る。特定非営利活動法人日本料理アカデミーの協力により開催
64	日仏友好協会会議	パリ	パリ日本文化会館	在仏大使館	2010. 03. 06	フランス全土にある友好協会の代表者が集まり、日頃の経験や知識、事業情報などを議論を深めながら共有し合う、日本大使館による会合。パリ日本文化会館が会場となるのは初めて
65	フェロー懇談会	パリ	パリ日本文化会館		2010. 03. 20	国際交流基金フェローシップの元受給者を集めての懇談会。近年のフェロー3名による滞日研究成果とその後の研究についての発表のあと、兵藤裕己（学習院大学教授）による「平家物語と琵琶法師」特別講演を実施。元フェローや元文化人招へい者等を含む研究者や同士の意見交換の場となった
66	日本の政治シンポジウム「鳩山政権」	パリ	パリ日本文化会館		2010. 03. 23 ～ 2010. 03. 26	「鳩山政権成立後6カ月」「鳩山政権の外交政策」のふたつのシンポジウムを実施

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
67	アラン・レネ監督『24時間の情事』をめぐって	パリ	パリ日本文化会館		2009. 04. 14 ～ 2009. 04. 18	終戦後の広島を舞台にしたフランス映画『24時間の情事』の発表50周年と、主演女優エマニュエル・リヴァがロケ滞日中に撮影した写真集 <i>Tu n'as rien vu à Hiroshima</i> の出版とを機に、1952年から59年の戦後期に制作された日本映画5作品（『生きものの記録』『原爆の子』『ひろしま』『第五福竜丸』『生きていてよかった』）を『24時間の情事』と合わせて上映。また、写真集から抜粋した作品をパリ日本文化会館のホール脇に展示
68	「武道の精神」展関連映画上映会	パリ	パリ日本文化会館		2009. 05. 02 ～ 2009. 06. 20	武術・武道に関する映画特集。『匠』（ドキュメンタリー映画）のほか、『姿三四郎』『三十三間堂通し矢物語』『剣』を上映
69	ドキュメンタリー試写会 <i>We don't care about music anyway</i>	パリ	パリ日本文化会館	Shai Pod	2009. 06. 27	前衛音楽アーティストたちの言葉や映像などを通じて東京のアクチュアルな音楽シーンをたどる映画 <i>We don't care about music anyway</i> の試写会を実施。同映画は国際交流基金の「日本理解促進映画・テレビ番組制作（助成）」を得て制作されたもの
70	国境を越えた異才たち：手塚 治虫と宮崎 駿	パリ	パリ日本文化会館	在パリ外国文化機関フォーラム (FICEP)	2009. 09. 26 ～ 2009. 10. 04	『ジャングル大帝（1997年劇場版）』『となりのトトロ』の2本・計4回の上映会。在パリ外国文化機関フォーラム (FICEP) による外国文化週間への参加企画

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
71	第4回KINOTAYO映画祭	パリ	パリ日本文化会館	KINOTAYO映画祭事務局	2009. 11. 17 ~ 2009. 11. 28	2008年から2009年にかけて製作された日本の最新映画17作品をデジタル映像にて上映。パリ日本文化会館のほかパリ市内および15の地方会場で展開
72	日本映画史を作った大手会社シリーズ3：東映の歴史	パリ	パリ日本文化会館		2010. 01. 21 ~ 2010. 03. 20	大手映画会社特集の第3弾。東映を代表する名作27作品を上映し同社の歴史を回顧する

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
73	パリ日本文化会館日本語講座運営	パリ	パリ日本文化会館		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本語初級（年間2コース）・中級（同2コース）等を実習講座・モデル講座として実施（年間学習者数21名）。そのほか、日本語アトリエ（参加者数31名）や教師研修（参加者数11名）、在パリ外国文化機関フォーラム（FICEP）外国文化週間向けの初心者アトリエ（参加者数39名）などを実施
74	欧州日本語教師研修会	キーンツハイム	アルザス・欧州日本学研究所（CEEJA）	アルザス・欧州日本学研究所（CEEJA）	2009. 06. 29 ~ 2009. 07. 10	アルザス欧州日本学研究所（CEEJA）との共催による合宿形式の研修会。前・後期各6日間の2コースに、計23カ国から40名が参加。開催4年目を迎えた今回は、①基金リソースの提供・普及を通じ参加者の教授能力向上、②欧州の日本語教育に共通するテーマとしてCEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）について情報・意見交換を行うことで欧州内の日本語教育ネットワークの強化、③研修参加者が各国で成果を報告・発表することにより欧州における日本語教育の質の全体的向上を目指すことをテーマとした
75	フランス中等教育機関日本語教師研修会	パリ	パリ日本文化会館		2009. 10. 16	フランスの中等教育機関で日本語教育に携わる教師を対象とした研修会を、国民教育省日本語教育準視学官の協力を得て初めて開催。中等教育における第二外国語としての日本語学習指導要領（Palier）が教育現場でより効果的に利用され定着することを目的に活動集に基づくワークショップを実施。中等教育に携わる日本語教師間のネットワーク形成の役割も果たした
76	エクスポラング（語学見本市）	パリ	パリ15区パルク・デゼクスポジション		2010. 02. 03 ~ 2010. 02. 06	フランス国内最大の語学見本市「エクスポラング（Expo-langues）」に参加し、日本語ブースを出展。フランスにおける日本語教育に関する情報を学習者・教育関係者に提供
77	日本語弁論大会	パリ	パリ日本文化会館大ホール		2010. 03. 13	パリ日本文化会館主催によるフランスにおける唯一の日本語弁論大会。中・高校生部門と成人部門（大学生以上）の二部門からなる。出場者は中・高校生部門5名、成人部門は7名

海外事務所

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
78	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	現代日本の様相を知ると同時にその形成過程を理解するために不可欠な資料（主に人文・社会科学および芸術分野）の収集、当地大学修士課程の学生が参照できる程度の基礎データを核とすることを集書方針として図書館を運営  ①所蔵資料合計： 20,207点（視聴覚資料数を含む） ②登録会員数： 169名 ③利用者数（年間）： 14,488名 ④貸出点数（年間）： 3,124点 ⑤レファレンス件数（年間）： 3,278件 ⑥「図書館便り」作成部数： 4,500部（第30号から32号までの3号を発行）

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
79	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	パリ日本文化会館の施設案内、事業紹介、イベント告知、実施報告等を掲載 ホームページ年間アクセス件数（延べ訪問者数）146,843件 メールマガジン年間配信数（宛先×回数）5,743件 URL： <a href="http://www.mc.jp.fr/">http://www.mc.jp.fr/</a>

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
80	囲碁教室	パリ	パリ日本文化会館	財団法人日本棋院、フランス囲碁連盟イル・ド・フランス囲碁リーグ	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	フランス囲碁連盟、イル・ド・フランス囲碁リーグ、日本棋院の協力の下に継続している囲碁教室
81	茶道デモンストレーション	パリ	パリ日本文化会館	パリ裏千家	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本文化の代表の一つである茶道・お茶席の体験デモンストレーション。毎週水曜日の定期開催
82	茶道入門教室	パリ	パリ日本文化会館	パリ裏千家	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	茶道の基本となる立ち居振る舞い、道具の扱いを学びつつ、茶道の精神に触れ、実際にお点前を茶室にて学ぶ
83	書道教室	パリ	パリ日本文化会館		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	漢字を基本とした指導を行い、書を通して日本文化に触れてもらう
84	生花教室	パリ	パリ日本文化会館	いけばなインターナショナル	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	小原・草月・池坊流から講師を迎え、生花を通じた日本文化を体験する。毎期初めにパリ日本文化会館内での展示会・デモンストレーションを開催。展示会では広く一般に生花を鑑賞して貰い、デモンストレーションではそれぞれの流派の特徴を理解し、流派選択の一助とする



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
85	漫画入門講座	パリ	パリ日本文化会館		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	イラストの描き方やストーリーボードの作り方など、漫画の基礎を学習する漫画入門講座
86	折り紙アトリエ	パリ	パリ日本文化会館		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	子供向け・大人向け折り紙教室
87	漫画夏季集中教室	パリ	パリ日本文化会館		2009. 07. 07 ~ 2009. 07. 11	漫画講座の夏季集中コース
88	香道教室	パリ	パリ日本文化会館		2009. 10. 01 ~ 2010. 03. 31	香道の基本を学ぶコースと、香を聞き当てる「組香」を行う2コースで構成。文化庁の文化交流使として滞仏中の志野流・蜂谷宗苳が講師をつとめた

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
89	在欧日本専門家中東・北アフリカ派遣プログラム（モロッコ）	ラバト（モロッコ）	在モロッコ大使館	在モロッコ大使館	2009. 06. 28 ~ 2009. 07. 03	在モロッコ大使館の要望により、茶会デモンストレーション実施のための専門家（文化協会Alea Jacta Est所属）2名を派遣
90	ジャパン・ポップカルチャー・フェスティバル	パリ	パリ日本文化会館		2009. 07. 02 ~ 2009. 07. 05	フランス最大のポップカルチャーイベントJAPAN EXPOの会期に合わせ、ファッションショー・トークイベント（La foret KAWAII Collection in Paris）、アニメ映画上映（『鋼の錬金術師』第1話・第2話、『名探偵コナン』第515話、『バスカッシュ！』第1話・第2話、『交響詩篇エウレカセブン劇場版』、『宮本武蔵—双剣に馳せる夢』）、マンガと日本語コンテスト入賞作品展示等の複合事業を実施
91	在欧日本専門家中東・北アフリカ派遣プログラム（チュニジア）	カルタゴ（チュニジア）	アクロポリウム・カルタージュ	在チュニジア大使館、カルタゴ音楽祭	2009. 10. 15 ~ 2009. 10. 18	在チュニジア大使館の要望により、カルタゴ音楽祭へ矢野玲子（バイオリニスト）と島田彩乃（ピアニスト）の2名を派遣しリサイタルを実施
92	在欧日本専門家中東・北アフリカ派遣プログラム（アルジェリア）	アルジェ（アルジェリア）	アルジェ・コスモス劇場	在アルジェリア大使館	2010. 02. 16 ~ 2010. 02. 19	在アルジェリア大使館の要望により、百武恵子（ピアニスト）によるリサイタルを実施

海外事務所

(2) 助成・協力事業

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
93	福岡アジア賞レセプション	福岡アジア賞事務局	2009. 06. 25	福岡アジア賞レセプションの会場としてパリ日本文化会館施設を提供
94	コ・フェスタ出展レセプション	コ・フェスタ事務局	2009. 07. 03	ポップカルチャーイベント <i>JAPAN EXPO</i> に出展するコ・フェスタが主催する参加記念レセプションのために会場を提供
95	ロベール・ギラン賞授賞式	ロベール・ギラン賞事務局	2009. 07. 09	ロベール・ギラン賞授賞式に際し会場を提供
96	日本食レストラン海外普及推進機構 (JRO) セミナー	日本食レストラン海外普及推進機構 (JRO)	2009. 07. 10	日本食レストラン海外普及推進機構 (JRO) が実施する日本食に関するセミナーの会場としてパリ日本文化会館厨房等の施設を提供
97	『天皇と軍』上映会・レセプション	KAMI PRODUCTION	2009. 09. 15	KAMI PRODUCTION制作の映画『天皇と軍』上映会および映画関係者を招いてのレセプション実施に際し会場を提供
98	野間文芸翻訳賞授賞式・レセプション	講談社	2009. 10. 12	野間文芸翻訳賞授賞式・レセプションに際し会場を提供
99	日本貿易振興機構 (JETRO) 日本食材イベント	日本貿易振興機構・フランス (JETRO FRANCE)	2010. 02. 15	日本貿易振興機構 (JETRO) パリ事務所が主催する日本食材イベントに対して会場を提供

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
100	展示パネル「京都写真展」		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	以下の3機関に対して、パリ日本文化会館所蔵の巡回展示用写真パネルセットを貸し出し ①サンリス市立図書館 (2009. 08. 04~08. 29) ②ショレー市ショレー寺院 (2009. 12. 11~12. 30) ③ラ・ヴァレット市アルベール・カミュ文化センター (2010. 03. 19~04. 17)

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	2009ヨンアム王仁文化祭-韓日世界文化遺産紹介展	ヨンアム郡	ヨンアム郡庁 ヨンウォル館	ヨンアム郡庁	2009.04.04 ~ 2009.04.07	1600年前に日本に渡り、古代日本に飛鳥文化を花開かせた王仁博士に関する祝祭の中で、韓国と日本の世界文化遺産写真パネルを展示
2	浮世絵で見る春夏秋冬展	ソウル	ソウル日本文化センター		2009.04.13 ~ 2009.05.12	ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵復刻版の中から春夏秋冬の各季節を代表する作品を60点選定し浮世絵の世界を紹介。韓国語字幕入りのDVDとパネルを通じて浮世絵の制作過程も紹介
3	春川ジャパンウィーク「浮世絵展」	春川	国立春川博物館	国立春川博物館 在韓国大使館	2009.05.19 ~ 2009.05.24	春川ジャパンウィーク事業の一環として、ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵を展示。韓国語字幕入りのDVDとパネルを通じて浮世絵の制作過程も紹介
4	日本の絵本の歩み展	ソウル	ソウル日本文化センター	財団法人いわさきちひろ記念事業団	2009.05.20 ~ 2009.06.20	8世紀から大正時代にかけての日本の絵本と絵入り本の歴史を、「手書き本の時代」「版本の時代」「子どもの本の時代」の三つの時代に分けて紹介。展示物のほか、子どもたちが自由に絵本を見られるコーナーなども設置し、韓国の一般市民に広く日本の絵本を紹介
5	国立春川博物館「浮世絵展」	春川	国立春川博物館	国立春川博物館 在韓国大使館	2009.05.25 ~ 2009.06.28	ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵復刻版を用いて春川ジャパンウィーク事業の一環として開催された浮世絵展を期間を延長して開催
6	「朝鮮と江戸時代の女性の髪飾り・首飾り」展	ソウル	コリアナ化粧品博物館	コリアナ化粧品博物館	2009.06.18 ~ 2009.07.25	ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵復刻版とコリアナ化粧品博物館の所蔵品を用いて展示会を開催。朝鮮と江戸時代の女性の髪飾りと化粧文化について紹介
7	2009仁川ジャパンデイ「浮世絵展」	仁川	仁川アートプラットフォーム	在韓国大使館 仁川文化財団	2009.12.04 ~ 2009.12.13	仁川ジャパンデイの一環として、ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵40点を展示。韓国語字幕入りDVDとパネルを通じて浮世絵の制作過程も紹介
8	「日本美術の象徴-浮世絵に出会う」展	安養	安養ロッテギャラリー	安養ロッテギャラリー	2009.12.09 ~ 2009.12.23	ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵復刻版を用いた展示会を安養市で開催
9	大田「永井 一正ポスター」展	大田	大田ロッテギャラリー	大田ロッテギャラリー	2009.12.24 ~ 2010.01.13	ソウル日本文化センター所蔵の永井一正ポスター70点を用いた展示会を大田市で開催
10	済州「永井 一正ポスター」展	済州	在済州総領事館	在済州総領事館	2010.01.20 ~ 2010.01.29	ソウル日本文化センター所蔵の永井一正ポスター70点を用いた展示会を済州市で開催

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	「いわさき ちひろ」展	ソウル	ソウル日本文化センター	財団法人いわさきちひろ記念事業団	2010.01.25 ～ 2010.02.20	ソウル日本文化センター移転記念事業として、いわさきちひろの代表作約40点を最先端のデジタル技術（ピエゾグラフ）作品で紹介。「世界中の子どもみんなに平和と幸せを」という言葉を残す、いわさきちひろの作品紹介を通じて平和の大切さを韓国市民に紹介
12	JFふろしきデザインコンテスト入賞者展示会	ソウル	ソウル日本文化センター		2010.02.23 ～ 2010.03.12	国際交流基金が世界の若い才能を支援するため、オリジナルグッズ開発事業の一環として実施した「JFオリジナルふろしきデザインコンテスト」で優勝および入選した作品と韓国内の審査を通過した作品12点を展示。日本航空が協賛企業として最優秀賞受賞者に日本往復航空券を贈呈
13	2010ひな祭り展ーいわさき ちひろの世界	ソウル	在韓国大使館 公報文化院	在韓国大使館 公報文化院  財団法人いわさきちひろ記念事業団	2010.02.23 ～ 2010.03.13	3月3日のひな祭りの機会をとらえ、在韓国大使館公報文化院が毎年実施している定例行事の中で、いわさきちひろの作品を紹介。ひな人形と一緒にいわさきちひろが描く少女作品を展示
14	大邱「永井 一正ポスター」展	大邱	慶北大学校美術館	慶北大学校美術館	2010.03.03 ～ 2010.03.31	ソウル日本文化センター所蔵の永井一正ポスター70点を用いた展示会を大邱市で開催

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	第2回日韓若手音楽家交流コンサート From SWITZERLAND	ソウル	ムンホアートホール	日韓若手音楽家交流委員会	2009.09.11	スイスで共に学ぶ日韓の才能溢れる若い演奏者たちの交流演奏会をそれぞれの母国で開催し、日韓の文化交流促進に寄与するとともに、音楽を通じた草の根レベルからの国際交流の場を提供
16	日韓交流おまつり2009 in Seoul フィナーレ公演	ソウル	ソウル広場	日韓交流おまつり2009 実行委員会	2009.09.20	日韓合同の文化行事。ソウルの市庁舎前で市民交流・若者交流を促進する公演を開催。北国の風土と厳しい自然にもまれ多くの先人達に歌い継がれた江差追分を歌う「香澄」をフィナーレ公演に招へい
17	三橋 貴風尺八リサイタル	ソウル	ソウル日本文化センター  在韓国大使館 公報文化院	在韓国大使館 公報文化院	2010.03.08 ～ 2010.03.23	文化庁文化交流使である三橋貴風（尺八演奏家）による「恨」をテーマとしたリサイタルおよび大学におけるレクチャー・デモンストレーション、ワークショップを実施

海外事務所

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	深澤 直人デザインワークショップ	ソウル	韓国デザイン文化財団ムンホアートホール	韓国デザイン文化財団	2009.08.03 ~ 2009.08.05	世界的に著名なデザイナー深澤直人を招へいし、既存のものから新しいものを発想する方法をテーマに3日間のワークショップを開催。29名が参加。200名を対象とする特別公開講義も開催
19	日韓舞台芸術専門家交流シンポジウム	ソウル	韓国文化の家	社団法人舞台芸術専門家協会照明分科	2010.03.05 ~ 2010.03.06	日本から舞台照明の専門家を招へいし、日韓の舞台照明専門家の交流を促進するとともに、劇場運営のノウハウに関する意見交換会を開催

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	「折り梅」無料上映会	全国各地	全国各地	韓国痴呆家族協会	2009.04.01 ~ 2010.03.31	認知症高齢者や家族そして認知症高齢者を取り巻く社会問題を理解する機会を提供するため、ソウル日本文化センター所蔵の『折り梅』を上映
21	市立仁川短期大学日本映画上映会	仁川	市立仁川短期大学	市立仁川短期大学日本語科	2009.04.13 ~ 2009.06.08	市立仁川短期大学と共催でソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリー作品の上映を行い、日本文化を理解する機会を提供。『森の学校』『折り梅』『ALWAYS 三丁目の夕日』『NITABOH』『選挙』などを上映
22	ソウルアートシネマ日本映画傑作定期無料上映会1	ソウル	ソウルアートシネマ	韓国シネマテーク協議会	2009.04.13 ~ 2009.06.22	ソウル日本文化センターが所蔵するフィルムライブラリー作品を毎月1回ソウルアートシネマにて無料上映。4月は『裸の十九歳』（新藤兼人監督）、5月は『洲崎パラダイス赤信号』（川島雄三監督）、6月は『にっぽん昆虫記』（今村昌平監督）を上映
23	春川ジャパンウィーク「日本映画特別展」	春川	翰林大学キム・ユジョン館	翰林大学校 在韓国大使館	2009.05.19 ~ 2009.05.21	春川ジャパンウィーク事業の一環として、ソウル日本文化センターが所蔵するフィルムライブラリー作品を翰林大学校で上映
24	沖縄映画企画展	ソウル	韓国映像資料院シネマテーク (KOFA)	韓国映像資料院	2009.06.18 ~ 2009.07.05	日本の中の沖縄を理解するため、沖縄の歴史や社会を中心テーマとして作られた映画を上映し国際学術シンポジウムも開催
25	JF日本映画傑作選	ソウル	ソウル日本文化センター		2009.07.13 ~ 2009.08.21	ソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリー作品を用いて、夏休み期間中に日本映画の秀作49本を1日3回無料で上映
26	ソウルアートシネマ日本映画傑作定期無料上映会2	ソウル	ソウルアートシネマ	韓国シネマテーク協議会	2009.07.13 ~ 2010.03.15	ソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリーの中から1960年代から1970年代の優れた日本映画作品を選択して上映
27	日本ジャンル映画の夕べ	釜山	シネマテーク釜山	シネマテーク釜山	2009.08.05 ~ 2009.08.23	ソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリー作品を用いて、日本の多様なジャンルを紹介する上映会を釜山で開催

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
28	光州アートシネマ日本映画傑作定期無料上映会	光州	光州劇場	光州シネマテーク	2009. 10. 26 ～ 2009. 12. 22	ソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリー作品を用いた上映会を月1回ずつ計3回開催
29	訪ねていく『海女のリャンさん』日本映画上映会	済州	済州特別自治道市内24カ所	済州特別自治道海女博物館	2009. 11. 02 ～ 2009. 12. 28	済州道出身の在日海女の姿を描いた感動の物語『海女のリャンさん』を済州道内各地で上映
30	第6回メガボックス日本映画祭	ソウル	メガボックスCOEX	メガボックスCOEX 映像産業振興機構 文化庁	2009. 11. 11 ～ 2009. 11. 15	日本映画の新作10本をはじめ、怪獣映画の名作『ガメラ』シリーズや青春映画の金字塔『岸和田少年愚連隊』シリーズを上映。日本の新進気鋭の若手監督作品も紹介
31	江原原州大学校日本学科のタベ	江陵	江原原州大学校人文館	江原原州大学校日本学科	2009. 11. 26	ソウル日本文化センター所蔵のフィルムライブラリー作品『転がれ！たま子』を上映
32	溝口 健二特別展	ソウル	ザ・ステージ 在韓国大使館公報文化院	在韓国大使館公報文化院	2010. 02. 03 ～ 2010. 02. 26	ソウル日本文化センター移転オープニング記念事業として、在韓国大使館公報文化院と共催で、ソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリーの中から溝口健二監督作品8本を上映。ミュージカル専用劇場ザ・ステージとも連携

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
33	日本語教師サロン（前期）	ソウル	ソウル日本文化センター		2009. 03. 01 ～ 2009. 06. 30	毎月1回、資格や経歴を問わず広く日本語教師を対象として開催する日本語教授法についてのワークショップを開催
34	平成21年度前期日本語講座運営	ソウル	ソウル日本文化センター		2009. 03. 02 ～ 2009. 05. 26	一般学習者向けに9クラス、週2コマ（総コマ数20）を開講。開講クラスは「翻訳」「作文1」「作文2」「待遇表現技術」「対話技術1」「対話技術2」「テーマ討論1」「テーマ討論2」「聴解」
35	嶺南地域日本語教育アドバイザー活動	釜山 ほか	財団法人釜山韓日文化交流協会 ほか	在釜山総領事館 財団法人釜山韓日文化交流協会	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ソウル日本文化センターの嶺南地域担当日本語教育専門家が、釜山を中心とする韓国嶺南地区における学期中の教師研修、教師会等への出講、弁論大会等各種日本語教育奨励事業への出席など、アドバイザー業務を実施
36	中等日本語教師集中研修プログラム5（釜山）	釜山	財団法人釜山韓日文化交流協会	在釜山総領事館 財団法人釜山韓日文化交流協会	2009. 07. 27 ～ 2009. 07. 31	「自分の授業を振り返り、第7次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」を目標として、中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修を、1日6時間、総30時間実施。参加者数20名、修了者数20名

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
37	中等日本語教師集中研修プログラム5 (ソウル)	ソウル	ソウル日本文化センター		2009. 08. 03 ~ 2009. 08. 07	「自分の授業を振り返り、第7次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」を目標として、中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修を、1日6時間、総30時間実施。参加者数35名、修了者数32名
38	平成21年度後期日本語講座運営	ソウル	ソウル日本文化センター		2009. 08. 31 ~ 2009. 11. 13	一般学習者向けに8クラス、週2コマ（総コマ数20）を開講。開講クラスは「作文1」「作文2」「対話技術1」「対話技術2」「待遇表現技術」「テーマ討論1」「テーマ討論2」「聴解」
39	日本語教師サロン（後期）	ソウル	ソウル日本文化センター		2009. 09. 19 ~ 2010. 03. 27	毎月1回、資格や経歴を問わず広く日本語教師を対象として開催する日本語教授法についてのワークショップを開催
40	冬季中等日本語教師集中研修プログラム5 (ソウル)	ソウル	ソウル日本文化センター		2010. 01. 04 ~ 2010. 01. 08	「自分の授業を振り返り、第7次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」を目標として、中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修を、1日6時間、総30時間実施。参加者数28名、修了者数27名
41	冬季中等日本語教師集中研修プログラム5 (釜山)	釜山	財団法人釜山韓日文化交流協会	在釜山総領事館 財団法人釜山韓日文化交流協会	2010. 01. 11 ~ 2010. 01. 15	「自分の授業を振り返り、第7次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」を目標として、中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修を、1日6時間、総30時間実施。参加者数24名、修了者数24名
42	中等学校日本語教授法巡回ワークショップ (光州)	光州	湖南大学校福祉館セミナー室		2010. 01. 20	光州地域の韓国人教師、日本語ネイティブ教師を対象に行ったソウル日本文化センター主催のワークショップ。ソウル日本文化センター日本語教育専門家1名が「会話指導について考えるー基本練習から応用練習ー」というテーマで講義を実施

海外事務所

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
43	図書館運営	2009.04.01 ~ 2010.03.31	<p>日本文化紹介のための図書館として、日本の社会・歴史、文化芸術、日本語教育、日韓交流を中心とした書籍や雑誌、新聞、視聴覚資料（ビデオ/DVD/CD等）を収集・提供</p> <p>①所蔵資料合計： 20,374点 （内訳：書籍14,163冊、雑誌62種1,856冊、その他747点、視聴覚資料3,608点）</p> <p>②登録会員数： 12,225名</p> <p>③利用者数（年間）： 14,426名</p> <p>④貸出点数（年間）： 14,043点</p> <p>⑤レファレンス件数（年間）： 1,280件</p> <p>⑥図書館用リーフレット作成：韓国語版1万部、日本語版5千部を作成</p>

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
44	ニュースアドカムによるオンライン広報	2008.09.04 ~ 2009.09.03	事業広報のため、オンライン広報代理業者であるニュースアドカム社による報道資料の作成及び各言論社への配信サービスを継続
45	MBC文化放送社ウェブサイト（iMBC）上でのセンター広報	2009.03.05 ~ 2010.03.04	MBC文化放送社のウェブサイトであるiMBC（ <a href="http://www.imbc.com/">http://www.imbc.com/</a> ）のリニューアルにあたり、ソウル日本文化センター事業情報提供ページを開設。センター施設や事業案内動画などを含む様々な事業情報を提供
46	ウェブサイト運営とニューズレター発行	2009.04.01 ~ 2010.03.31	ソウル日本文化センターおよび国際交流基金事業を紹介するウェブサイトの管理、およびメールマガジンを毎月配信（年間配信数183,295件）。メールマガジン配信時には、日本語学習者向けの『カチの声』も同時に発行 URL: <a href="http://www.jpj.or.kr/">http://www.jpj.or.kr/</a>
47	連合ニュースによるニュース配信	2009.08.13 ~ 2010.08.12	事業広報のため、日本の共同通信社にあたる報道機関である連合ニュース社に報道資料を送り、各言論社に配信してもらうサービスを継続

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
48	李 秀賢氏記念事業同窓会	釜山	ヨンラク共同市営墓地他		2009.05.09	関西国際センター主催事業「李秀賢氏記念韓国青少年招へい事業」の参加者OB・OG代表10名が研修参加の意義を深めるため、李秀賢のお墓参りや母校訪問、両親表敬訪問を実施



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
49	第2回全国学生日本語演劇発表大会	ソウル	在韓国大使館 公報文化院	在韓国大使館 公報文化院  韓国日本語教育研究会	2009. 09. 12	全国64校が参加し、ビデオ・脚本審査による予選を経て11校による本選を開催。優勝、準優勝校には外務省の招へいプログラムにより日本研修旅行を提供
50	百人一首競技かるたワークショップ	ソウル	ソウル日本文化センター		2009. 09. 26	日本語学習者を対象に百人一首を紹介。競技かるたの実演およびかるたゲーム体験も実施
51	ソウル日本文化センター移転オープニングセレモニー	ソウル	ザ・ステージ		2010. 02. 01	ソウル日本文化センターの移転を記念し、日韓コラボレーションおよび日韓共通課題の解決をテーマに、沢知恵公演および小津安二郎監督作品『大学は出たけれど』の上映を韓国人弁士・韓国伝統音楽の生演奏付きで実施

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
52	<i>Yonsei Japanese Studies Workshop Series</i>	延世大学校	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 10	日本および米国の大学教授を招へいし、延世大学校に在籍する日本学専攻学生を対象として開催するレクチャーシリーズに対して助成。被招へい者は、大沢真理（東京大学教授）、高柳和子（法政大学教授）、朝倉敏夫（国立民族学博物館教授）、Prasenjit Duara（シカゴ大学教授）の4名
53	2009年春季学術大会「日本近代文学と性」	韓国日本近代文学会	2009. 04. 04	日本の近現代文学を研究する韓国日本近代文学会の定期学術大会。日本の近現代文学に表れる性の問題、人間と性の関係についての日韓の専門家による発表と総合討論に対して助成。日本からは浅野洋（近畿大学教授）、木村信一（立命館大学教授）、佐藤秀明（近畿大学教授）が参加
54	絵本の中の世界旅行展	韓国教育放送院（EBS）	2009. 04. 04 ~ 2009. 06. 23	子供たちの創意能力の開発、想像力の増進に役立てるため、韓国で人気のある世界の絵本作家の原画展に対して助成
55	韓国創作舞踊メソッド-金 梅子の舞踊世界「チュムボン-天・地・人」	社団法人創舞芸術院	2009. 04. 09 ~ 2009. 04. 10	韓国創作舞踊の第一人者である金梅子の『チュムボン』を元に、日本民族音楽演奏者との共演を通じて新たな作品世界を表現。韓国舞踊と日韓民族音楽によるコラボレーション事業に対して助成
56	韓国文化芸術経営学会「2009春定期学術大会」	韓国文化芸術経営学会	2009. 04. 25	「文化芸術組織の創意的な革新と多変化」というタイトルで、日本アートマネジメント学会から美山良夫（慶應義塾大学教授）および片山泰輔（静岡文化芸術大学教授）を招へい。同分野での日韓の状況を踏まえて、これからの文化芸術経営についてのビジョンを考察する国際シンポジウムに対して助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
57	アリスミュージアム2009: <i>Future School</i>	SK (アートセンターナビ) SOMA美術館 (SOSFO)	2009. 05. 01 ~ 2009. 06. 21	既存の学校教育とは違う新しい形での教育 <i>Future School</i> を提案し、次世代のリーダーとなる子どもたちの創意を育てるためのメディアアート展に対して助成
58	<i>RE:Membering</i> - 日本現代美術展	Alternative Space LOOP DOOSANギャラリー	2009. 05. 14 ~ 2009. 06. 25	過去の日本現代美術の影から脱皮し90年代以降の断面を覗く20名の現代日本人作家による作品展に対して助成
59	笑福亭 銀瓶韓国語落語会	笑福亭 銀瓶	2009. 05. 26 ~ 2009. 05. 28	韓国人のための韓国語による落語公演に対して助成。春川ジャパン・ウィーク実施の機会を捉えて釜山・済州でも実施。落語のワークショップも開催
60	ソウル青少年創意サミット	ソウル市立青少年職業体験センター	2009. 06. 01 ~ 2009. 06. 05	日韓のフリースクールに通う青少年などが自分たちの得意分野を通じて社会と接することができる仕組みを考察するシンポジウム、ワークショップ開催に対して助成
61	坂手 洋二フェスティバル	コルコルディウム アルコ芸術劇場	2009. 06. 08 ~ 2009. 07. 20	日本現代演劇界を代表する坂手洋二が書いた『屋根裏』、『だるまさんがころんだ』を韓国向けに脚色した公演に対して助成
62	授業研究発表大会および日本語・日本文化クイズ大会	ソウル日本語教育研究会	2009. 06. 13 ~ 2009. 08. 01	ソウルの日本語教師による授業研究発表大会に対して助成。高校66校の教師と学生による日本語・日本文化に関するクイズ大会も開催
63	2009年度韓国日語日文学会夏季学術大会	韓国日語日文学会	2009. 06. 20	杉本武(筑波大学教授)が「現代日本語助詞の使い方と変容」をテーマに特別講演を行うとともに、日本語学、日本文学、日本語教育学、日本学の4分野の研究者68名が発表を行い、その他300名の一般参加者との討議を実施する事業に対して助成
64	韓国と日本-100年の回顧、100年の展望	韓国日本学会	2009. 06. 30 ~ 2010. 03. 20	日韓の過去100年間の論点を整理することにより両国の未来を考える企画セミナー。ソウル日本文化センターは、第2回と第3回に対して助成し、9月(第2回)は多田井喜生(日本総合研究所参与)、片桐芳雄(日本女子大学教授)、1月(第3回)は稲葉千晴(名城大学教授)、岡本真希子(台湾成功大学研究員)を招へい
65	第11回全国中高等学生日本語学力競試大会	社団法人韓日協会	2009. 07. 25 ~ 2009. 08. 20	全国から中学生84名、高校生775名の合計859名の学生が一次の日本語筆記試験を受け、その中の高得点者17名が二次の日本語スピーチを行なう大会に対して助成
66	韓日学生会議-第24回ソウル会議	韓日学生会議	2009. 08. 05 ~ 2009. 08. 19	日韓の大学生35人が参加し、両国の歴史問題や青少年就労問題など6つのテーマでシンポジウムを行い各テーマごとに論議、両国の未来を担っていく若い世代が互いの国をより深く理解する機会を提供する事業に対して助成。シンポジウム以外にソウル探訪や伝統遊び体験プログラムも実施

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
67	全国日本語授業研究発表大会および夏季自律研修	韓国日本語教育研究会	2009. 08. 13	全国から集まった350名の中等日本語教師を対象に「現代日本青少年の言語文化の特徴」というテーマで中西新太郎（横浜国立大学教授）が講演を行い、5名の日本語教師が授業研究を発表する事業に対して助成
68	シネマデジタル・ソウル2009	社団法人シネマデジタルソウル組織委員会	2009. 08. 19 ～ 2009. 08. 25	アジア新人監督を対象とするデジタル映画のコンペティション映画祭に対して助成。デジタル映画を通じて新しい才能を発見し、デジタル映画の未来を模索
69	韓日伝統芸術交流展	朽名 桐世	2009. 09. 02 ～ 2009. 09. 08	桐世織は伝統的な佐賀錦織を基に独自の材料と色使いで織り上げた現代感覚による織物の一種。桐世織を韓国で紹介し、希少な芸術作品を鑑賞する機会を提供する事業に対して助成
70	漫画博物館CEO招へい講演会	韓国漫画映像振興院	2009. 09. 24	上田修三（京都漫画ミュージアム事務局長）、田代しんたろう（漫画家、別府大学教授）およびフランス国立イメージセンターの関係者を招へいし、漫画博物館の経営ノウハウについて議論する事業に対して助成。韓国漫画映像振興院（富川市）開館記念事業の一環として実施
71	2009大田fast天の川を渡るヒッチハイカー展	大田広域市立美術館	2009. 09. 30 ～ 2009. 11. 25	10月開催の国際宇宙大会（ <i>International Astronautical Congress : IAC</i> ）を記念して、宇宙に対する想像力と探究心を育てる多様なジャンルの美術作品の展示会に対して助成。日本からは鈴木太朗、川瀬浩介、七野大一といったアーティストを招へい
72	日韓文化交流講演会「古池に蛙は飛び込まなかった」	ソウル俳句会	2009. 10. 09	同人誌『古志』を主宰し、『読売新聞』に俳句コラムを連載中の長谷川權（俳人）を招へいして開催する俳句に関する講演会に対して助成。併せて日韓合同の句会を実施
73	ソウル・デザインオリンピック2009 「日中韓生活デザイナー－日常の中の休」関連カンファレンス	ソウルデザイン財団	2009. 10. 10	ソウル市主催のデザインオリンピックの一環として開催される日中韓の代表作家による作品展と3カ国9名による講演およびパネル討論に対して助成
74	第13回日本語スピーチ競演大会	湖南大学校日本語学科	2009. 10. 20	湖南大学校が1997年から開催し、今年13回目を迎えた全羅道地域の代表的な日本語スピーチ大会に対して助成。1次原稿審査を通過した学生たちが湖南大学校に集まりスピーチを披露
75	韓国日本語文化学会2009年秋季国際学術大会	韓国日本言語文化学会	2009. 11. 14	石井正彦（大阪大学教授）が「コーパス日本語学の新展開」というテーマで講演を行い、各分科会発表では「日本語分野」で18件、「日本文化分野」で22件の発表および討論会を実施する事業に対して助成
76	国連児童権利協約20周年国際学術大会「アジア児童権利の現在と未来」	韓国児童権利学会 日本児童権利協約総合研究所	2009. 11. 18 ～ 2009. 11. 20	国連の「こどもの権利条約」20周年を記念し、日中韓蒙泰5カ国の研究者や実務家が集まり、児童の権利に関する現状を理解し合うとともに、より良い人権状況のあり方を討議する事業に対して助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
77	2009国際大学生平和映画祭	国際大学生平和映画祭実行委員会	2009. 11. 26 ～ 2009. 11. 29	21カ国50セッション275本の映画を上映する映画祭に対して助成。オダギリ・ジョーが特別審査委員で来韓するとともに、山村浩二、諏訪敦彦、真島理一郎などによるワークショップとマスタークラスを開催する事業
78	2009年釜山日本語教育研究会総会および招請講演	釜山日本語教育研究会	2009. 11. 27	釜山市の71名の中等日本語教師を対象に、川口義一（早稲田大学教授）が「サイレント・ウェイ式仮名導入」というテーマで講演、韓国の5名の日本語教育専門家および教師による講義や発表に対して助成
79	第16回国際学術発表会・シンポジウム	韓国日語教育学会	2009. 12. 12	佐々木倫子（桜美林大学教授）が「日本における日本語教育の現在」というテーマで特別講演を行い、韓国における日本語教育の現況と課題について発表するとともに、日本語教育・日本語学に関する個別発表として合計14名の学者による発表および討論を行う事業に対して助成
80	日本語教授・学習方法改善のための日本語教師職務研修	大邱中等日本語教育研究会	2010. 01. 04 ～ 2010. 01. 08	大邱地域の中等日本語教師を対象とする、大学教授やネイティブスピーカー等による教授法や日本事情に関する研修に対して助成。科目は「日本社会理解」「OPI技法と日本語授業」「日韓両国民の言語行動の差異」等
81	2010年シネマテーク友達映画祭	韓国シネマテーク協議会	2010. 01. 15 ～ 2010. 02. 28	ソウルアートシネマで行われる韓国の監督たちによる映画祭に対して助成。『東京物語』を上映し日本文化を紹介
82	『日本文学翻訳60年：現状と分析』の翻訳出版のための現地調査	ソミョン出版社	2010. 01. 20 ～ 2010. 02. 28	韓国における日本文学翻訳の歴史を俯瞰するため、原著の不明な日本文学書について、韓国の国立中央図書館および日本の国立国会図書館等の所蔵資料による調査を行い、日本文学翻訳に関する詳細な書誌目録を作成する事業に対して助成
83	The 4th OVAL Staff Exchange Program Seoul 2010	OVAL KOREA	2010. 02. 05 ～ 2010. 02. 11	OVAL (Our Vision for Asian Leadership)は東アジアのリーダーを目指す日中韓の大学生の集団。毎年スタッフ会議を開催しており、2009年はソウルで日中韓の大学生62名が集まり、今後のOVALの体制について議論。ソウル日本文化センターは、2010年事業実施のための事前打合せに対して助成
84	『闇の子供たち』特別試写会	株式会社シーナス	2010. 03. 10	臓器移植を目的とした幼い子供たちの人身売買や児童売春を描いた社会派映画『闇の子供たち』の公開に先立ち、阪本順治（映画監督）を韓国に招へいし、観客と対話する機会を提供する事業に対して助成

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
85	第4回全国日本語口演童話大会	東新大学校	2009. 04. 14	韓国の中学校・高校の学生たちの日本語能力向上および日本文化に対する正しい理解を図るために毎年実施している口演童話大会に対して後援名義を付与

海外事務所

	事業名	主催機関	期間	事業内容
86	日韓伝統音楽交流－美しい未来へ	新日本製鐵株式会社	2009. 06. 27 ～ 2009. 06. 28	日韓の伝統音楽交流をテーマに、将来にわたり持続可能な日韓友好の輪を構築。日本から竹本駒之助（女流義太夫）、西川古柳（八王子車人形）、望月太左衛社中（お囃子）、韓国からファン・ビョンギ（伽耶琴）ほかが出演する事業に対して後援名義を付与
87	<i>Seoul International Song Festival</i>	韓国伴奏協会、京卿新聞	2009. 07. 13 ～ 2009. 08. 13	文学と音楽が結合されたジャンルである芸術歌曲を通して異文化理解の機会を提供するとともに、韓国の音楽家の演奏力向上や国際文化交流増進を目指して企画された国際歌曲演奏会に対して後援名義を付与
88	日本留学総合説明会	ライセンス・アカデミー	2009. 10. 17 ～ 2009. 10. 18	釜山とソウルで各1日ずつ行われた日本留学説明会に対して後援名義を付与。日本の大学、専門学校、日本語学校が参加し、韓国の日本留学希望者への情報提供と相談を実施

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
89	平成21年度忠北日本語教育研究会セミナー	忠北日本語教育研究会	2009. 04. 15	忠北日本語教育研究会の会員によるセミナーの一環として、ソウル日本文化センター日本語教育専門家が「教室での聴解練習について」というテーマで講義を担当
90	中等学校日本語教授法巡回ワークショップ (全羅北道)		2009. 05. 20	全羅北道の教師を対象にしたワークショップ。ソウル日本文化センター日本語教育専門家が「ひらがな指導について考える」というテーマで講義を担当
91	中等学校日本語教授法巡回ワークショップ (大邱市)	大邱中等日本語教育研究会	2009. 05. 27	大邱中等日本語教育研究会主催の研修にソウル日本文化センター日本語教育専門家が出講し、日本語教授法について講義を担当
92	中等学校日本語教授法巡回ワークショップ (済州道)		2009. 05. 29	済州道の教師を対象にしたワークショップ。ソウル日本文化センター日本語教育専門家が日本語教授法について講義を担当
93	中等学校日本語教授法巡回ワークショップ (全羅北道)		2009. 06. 24	全羅北道の教師を対象にしたワークショップ。ソウル日本文化センター日本語教育専門家が「口頭練習について考える」というテーマで講義を担当
94	平成21年度夏季中等日本語教員1級正教師資格研修	慶尚大学校師範大学	2009. 08. 10	ソウルと京畿地域を除く全国の中等教師を対象にした中等1級正教師課程の資格研修。ソウル日本文化センターの2名の日本語教育専門家が教授法について講義を担当
95	京畿道外国語教育研修院主催中等日本語教師深化課程	京畿道外国語教育研修院	2009. 09. 09 ～ 2009. 09. 16	京畿道外国語教育研修院が筑波大学と共催で京畿道地域の高校日本語教師45名に日本語と教授法の研修を実施。ソウル日本文化センター日本語教育専門家が教授法科目および模擬授業に出講

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
96	平成21年度済州道日本語教育研究会セミナー	済州道日本語教育研究会	2009. 10. 27 ~ 2009. 10. 28	済州道日本語教育研究会の会員30名が参加したセミナーの一環として、ソウル日本文化センター日本語教育専門家が「読解指導法」「聴解指導法」「チームティーチング」というテーマで講義を担当
97	平成21年度江原道日本語教育研究会セミナー	江原道日本語教育研究会	2009. 11. 14 ~ 2009. 11. 15	江原道日本語教育研究会の会員20名が参加したセミナーの一環として、ソウル日本文化センター日本語教育専門家が「現代日本の生徒の生活実態について」というテーマで講義を担当
98	中等学校日本語教授法巡回ワークショップ (全羅北道)		2009. 12. 19	全羅北道の教師を対象にしたワークショップ。ソウル日本文化センター日本語教育専門家が「会話指導について考えるー基本練習から応用練習ー」というテーマで講義を担当
99	平成21年度忠南日本語教科教育研究会 特殊分野職務研修	忠南日本語教科教育研究会	2010. 01. 12	専門性伸長のための日本語会話というテーマで行われた研修。ソウル日本文化センター日本語教育専門家が「多様な教授・学習方法」というテーマで講義を担当
100	平成21年度京畿道中等教師任用試験	京畿道教育庁	2010. 01. 19 ~ 2010. 01. 20	平成21年度京畿道中等教師新規任用候補者選抜競争試験（3次試験）における授業実演評価委員及び面接委員としてソウル日本文化センター日本語教育専門家を派遣

北京日本文化センター

合計額 99,155,301 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	「日本印象」写真展	北京	北京日本文化センター 多目的ホール		2009.07.07 ~ 2009.07.17	2009年3月、21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme) 次世代リーダー招へいプログラムで日本に招へいされた『中国日報 (China Daily)』英文紙記者の李婧が日本滞在中に撮影した写真を本人のコメント付きで展示し、中国の人々に日本の風景・様子を紹介

## 【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	日本の新劇に関する文化講座——「日本の現代演劇及びその中国の演劇に及ぼす影響について」	北京	北京日本文化センター 多目的ホール		2009.04.09	国際交流基金平成20年度日本研究フェローの劉平 (中国社会科学院文学研究所当代文学研究室副主任) を招いて、同教授のほぼ一年間の滞日研究の成果を発表。『父と暮せば』、『浅草物語』、『長崎ぶらぶら節』と『怒る富士』など十数本の現代日本演劇の演出効果及び日中両国の現代演劇の交流について講演
3	日本文化紹介講座運営	北京	北京日本文化センター	日中文化交流推進会	2009.04.18 ~ 2009.06.20	主に北京在住のボランティア講師による「和菓子・茶道」「日本のファッション文化」「日本の建築・空間デザイン」「日本酒・料理」をテーマとした講座を、学生・若手社会人を対象に実施
4	メディア・アーティスト真鍋 大度講演会	北京	北京日本文化センター 多目的ホール	北京芸術実験室 (Beijing Art Lab) 太古地産 中央美術学院	2009.04.28	講演会前半は、真鍋大度が自分の作品に関して作品作りのきっかけ、創作過程、原理などについて話をし、後半は代表作品のFace Visualizer, Face Instrument (パソコンやビデオといったデジタル機器類と、電気通信技術を利用して、顔面で音楽を作る) を披露。聴衆にも体験する機会を提供
5	風呂敷ワークショップ	北京	北京日本文化センター 多目的ホール		2009.08.08	北京在住の配島亜希子 (ラッピング・コーディネーター) を招き、風呂敷の歴史、発展、包み方などに関するワークショップを実施
6	Talking about Murakami	北京	北京日本文化センター		2009.08.11	村上春樹研究者による村上作品の中国での受容や中国語翻訳に関する講演会と、村上春樹をテーマとしたドキュメンタリー映画Dinner with Murakami の上映会及びYan Ting Yuen監督によるQ&Aセッションを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	写真・映像に関する講座・ワークショップ及び映画上映会	北京	北京日本文化センター	三影堂撮影芸術中心 東京都写真美術館	2009. 08. 14 ～ 2009. 08. 16	石田留美子（東京都写真美術館学芸員）による、やなぎみわと志賀理江子の作品を中心とした現代日本写真講座を一般向けに実施。また同美術館が開発した「驚き盤」を使ってアニメーションの原理を学ぶワークショップと、写真の原理を学ぶフォトグラム体験ワークショップを親子向けに実施。驚き盤ワークショップの後には、ドラえもん上映会も実施
8	藤井 省三教授講演会「夏目 漱石、魯迅、村上 春樹：『坊っちゃん』から『1Q84』に至る『阿Q』像の系譜」	北京	北京日本学研究センター 多目的ホール	北京日本学研究センター	2009. 09. 11	中国文学研究者であり、かつ、近年、中国と村上春樹文学の関わりについて積極的に研究を行っている藤井省三（東京大学文学部教授）を北京に招き、日本文学愛好者、研究者、学生及び村上春樹ファンなどを対象に、日本における文学、特に村上春樹文学に関する最新の研究成果を紹介。中国でもよく知られている文学三巨匠である夏目漱石、魯迅、村上春樹の作品のつながりとして、魯迅が描いた『阿Q』をめぐる、その影響及びポストモダンの終焉期における文学の役割を考察する講演会を開催
9	湖南ジャパンウィーク アニメ講演会・声優ショー	長沙	中南大学 湖南涉外经济学院 湖南大学		2009. 11. 21 ～ 2009. 11. 22	アニメ制作会社マッドハウスの丸山正雄ゼネラルプロデューサーが中南大学にて「ジャパニメの真髄」と題し、日本アニメの発展について講演。また、声優の置鮎龍太郎が、湖南涉外经济学院の「ジャパンウィーク記念パフォーマンス」会場と湖南大学でのスピーチコンテストで声優ショーを実施
10	講演会「日本をもっと知ろう」 —「日系企業の社会貢献活動紹介」と「企業の求める人材」	南京	南京市グランドホテル（古南都飯店）		2010. 02. 28	南京市の日本語学習者を対象に、藤田安彦（北京日本文化センター所長）、左安国（日本電気（NEC）CSR推進室）と太田豊（国譽（コクヨ）中国総裁）による、日系企業の「社会貢献活動」の紹介と「企業の求める人材」についての講演会を実施
11	<i>J-Meeting Beijing 2010</i>	北京	崑崙飯店		2010. 03. 07	第一部はTBSドラマ制作センターディレクター今井夏木による日本のドラマ・映画に関する講演会、第二部はドラマ『恋空』主題歌で一躍有名になった福井舞のコンサートを実施
12	毛 丹青講演会「中国人の目に映る日本」	天津 ハルビン	天津外国語学院 黒龍江大学		2010. 03. 12 ～ 2010. 03. 19	日本の自然、文化を独自の視点で紹介する『にっぽん虫の眼紀行』で知られる日中バイリンガル作家で、現在、神戸国際大学教授の毛丹青による講演会を、天津外国語学院と黒龍江大学の日本語学科学生を対象に実施
13	パパ・タラフマラ 小池 博史講演会	北京	北京日本文化センター 多目的ホール		2010. 03. 23	演劇、ダンス、映像などジャンルに捉われない新しい舞台芸術を発信する「パパ・タラフマラ」の創設者であり、演出家、脚本家、振付師など幅広く活躍する小池博史による日本のコンテンポラリー・パフォーマンスアーツに関する講演会を実施



海外事務所

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	16ミリ映画上映会	北京	北京日本文化センター 多目的ホール		2010.01.28 ~ 2010.01.30	平日の午後、夜、休日の午後の3つの時間帯に、アニメ映画『時をかける少女』（細田守監督、2006年）の上映会を実施

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
15	図書館運営	2009.04.01 ~ 2010.03.31	<p>日本文化、日本語教育関係書籍・資料、視聴覚資料を備えた図書館の運営</p> <p>①所蔵資料合計： 15,970点 （内訳：日本語図書 11,835冊、 中国語、英語図書3,043冊、 DVD 112点、CD 567点、ビデオ 413本）</p> <p>②登録会員数： 3,422名 ③利用者数（年間）： 11,648名 ④貸出点数（年間）： 10,418点 ⑤レファレンス件数（年間）： 41件 ⑥図書館用リーフレット作成： 7,000部</p>

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
16	ウェブサイト運営	2009.04.01 ~ 2010.03.31	北京日本文化センターの事業紹介、イベント告知、実施報告等を豊富な画像と共に掲載 URL: <a href="http://www.jpfbj.cn/">http://www.jpfbj.cn/</a>
17	215教師ウェブサイト運営	2009.04.01 ~ 2010.03.31	公募プログラム等の告知、研修会・セミナー報告、日本語教師のためのリンク集、北京日本文化センターからのお知らせや日本語スピーチコンテスト、シンポジウム等の情報も掲載 URL: <a href="http://www.jfb215kyooshi.com/">http://www.jfb215kyooshi.com/</a>
18	ニューズレター『てふてふ』発行	2009.04.01 ~ 2010.03.31	事業の広報や報告、日本語教育情報等を掲載。『てふてふ』を年4回（5月、6月、7月、8月）、各3,000部作成・配布

海外事務所

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
19	四川大地震被災地の子供たち支援・交流プロジェクト	徳陽	四川省徳陽市中江県特殊教育学校  徳陽市黄許中心小学	コクヨ  三菱UFJ証券  中国四川省人民対外友好協会	2009. 05. 21 ～ 2009. 05. 23	中国手話を学んでいる日本人留学生のグループが、被災地の聾啞学校と小学校を訪れて日本文化紹介と交流活動を行い、あわせて日本企業の協賛により提供された文房具を中国の子供達に寄贈
20	第14回留華ネット・ミーティング	南京	南京ふれあいの場（南京金陵図書館新館）	南京ふれあいの場	2009. 5. 29 ～ 2009. 5. 31	北京日本文化センターが主催する、中国全土の日本人留学生のネットワーク「留華ネット」の各地代表メンバーが、それぞれの留学先で行われた日中交流事業等の報告を行った他、南京ふれあいの場にて、現地の日本人留学生の協力も得つつ、南京の中国人学生とゲームや討論会による交流会を実施
21	第15回留華ネット・ミーティング	北京	北京日本文化センター会議室		2009. 09. 26 ～ 2009. 09. 27	留華ネット代表メンバーたちが、それぞれが留学する地方での日中交流事業に関する情報を報告しあい、イベント企画の提案や実施に関して話し合った後、次回の留華ネットミーティングの企画に関して意見交換
22	ロボットワークショップ	北京	パナソニックセンター北京		2009. 10. 25	ガイストン株式会社（日本・大阪）およびパナソニックセンター北京の協力を得て、小・中学生を対象に日本の先進的ロボット技術を紹介するとともに、学習用ロボットを使い簡単なプログラミングと操作を行う、親子で体験するロボット・ワークショップを実施
23	J-POP in China 2009	北京	世紀劇場		2009. 11. 07	二部構成で、前半は、事前に行った予選で選ばれた15組（日本人選手2名）の日中カラオケ大会決勝戦を行ない、中国人は日本語、日本人は中国語の歌を披露。後半は俳優・歌手として活躍する加藤和樹、人気急上昇中のヒップホップグループFUNKY MONKY BABYSによるコンサートを実施
24	Anime Festa 2009 ～中・日アニメ交流会～	北京	北京電影学院		2009. 11. 15 ～ 2009. 11. 16	アニメ映画『サマーウォーズ』（細田守監督）上映、小島正幸（アニメーション監督・演出家）が日中合作アニメ『チベット犬』『三国演義』の制作舞台裏に関して講演。丸山正雄（マッドハウス：ゼネラル・マネージャー）、朱近（マッドハウス：中国側プロデューサー）による日本アニメに関する講演会、声優・古谷徹と金月真美による声優ショー、TBSデジタルコンテンツの優秀作品発表などのイベントを2日間に渡って実施
25	第16回留華ネット・ミーティング×留華ネット広州の旅	広州	中山大学		2009. 12. 18 ～ 2009. 12. 20	北京日本文化センターが主催する中国全土の日本人留学生のネットワーク「留華ネット」の各地方代表メンバーが日中交流活動の報告と新規企画について意見交換するとともに、中山大学日本語学部学生や広州市内の大学にある日中交流サークルの学生と日本人留学生との交流会を実施

## (2) 助成・協力事業

## 【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
26	出版助成『当代日本対外関係』	清華大学国際問題研究所 中日関係研究センター	2009.04.01 ~ 2009.08.31	清華大学国際問題研究所中日関係研究センターが中心となり現代日本の対外関係をテーマに執筆された論文をまとめた論文集の出版に対して助成。執筆者は清華大学の中国人教授陣と大学院生を中心としているが、日本、韓国、シンガポール、カザフスタンなどの実務家、大学院生も加わっている
27	大友 良英、松原 幸子、FEN北京音楽会	撒把芥末工作室	2009.04.10 ~ 2009.04.16	実験音楽、ジャズ、映画・テレビ音楽などで、世界的に活躍している大友良英（ターンテーブル奏者／ギタリスト／作曲家）と実験音楽アーティスト松原幸子及び大友良英が主宰するFEN（Far East Network-北京、シンガポール、ソウルのアーティストで構成）を日本から招へいして北京と上海で行うコンサート、関連ドキュメンタリー映画上映会及びアーティストトークに対して助成
28	メディア・アーティスト真鍋 大度プロジェクト	Beijing Art Lab	2009.04.23 ~ 2009.04.30	アートのグローバル化が進む中、メディア・アートの分野で活躍中の日本人若手アーティスト真鍋大度を招へいし、北京のアーティストとの交流の場を提供するとともに、美大学生や一般市民向けの公演、講演会及びデモンストレーションを行うプロジェクトに対して助成
29	三影堂撮影賞2008～2009作品展及び2009中国当代撮影討論会	三影堂文化交流中心	2009.04.25 ~ 2009.07.26	三影堂撮影賞は、年1回一般公募により作品を募集。応募作品の中から厳選された作品で展覧会を構成。さらに展示作品の中から三影堂撮影大賞1名を選出。討論会参加者および内容は、飯沢耕太郎（日本）「日本の主要な写真賞と賞の及ぼす作用と意義について」、Bas Vroege（オランダ）「欧米の撮影賞の及ぼす作用と意義について」、Christopher Phillips（米国）「写真家が受けるべき教育について」、Gu Zheng（中国）「中国の大学教育における写真」。北京日本文化センターは、飯沢耕太郎の招へい旅費を助成
30	日中現代切り絵芸術展及び日本切り絵文化講座	陝西省乾県切り絵協会	2009.04.30 ~ 2009.05.04	2008年9月の展覧会に引き続き、日中両国の切り絵アーティストの最新作100枚を集め開催。北京日本文化センターは講演を行う日本人切り絵アーティスト木村忠也（切り絵作家）、木本有太可（切り絵作家、元東京切り絵美術会会長）の招へい費の一部を助成
31	廊坊市第一回大学生日本文化祭	廊坊師範学院	2009.05.04 ~ 2009.05.09	廊坊市の日本文化愛好者に向け、ステージパフォーマンス、文化講座、浴衣展示、日本料理コンテスト、日本語コンテストやクイズ大会などを盛り込んだ日本文化祭に対して助成
32	重慶大学学生第1回日本語文化祭	重慶大学外国語学院	2009.05.09	前年度の「重慶大学第8回外国語文化祭日本語イベント」の経験を踏まえ、日本語による演劇、歌、舞踊、俳句等の出し物により日本の伝統文化を体験してもらう文化祭に対して助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
33	第2回北京大学中日文化祭	北京大学日本人会	2009. 05. 10 ～ 2009. 05. 16	中日文化展示、開幕式、緑の旅（環境保全に取り組む企業などを訪問し新たな環境保全プランを日中の学生が提案）、在京邦人によるシリーズ講座、オリエンテーリング（ごみ拾い）、カラオケ大会、閉幕式を行う文化祭に対して助成
34	清華大学日中友好アニメ漫画文化祭	清華大学学生次世代文化と娯楽協会	2009. 05. 23 ～ 2009. 05. 24	山口勝平、成田剣による声優交流イベントと、アニメに関する学術討論会を行う文化祭に対して助成
35	瀋陽ジャパンデイ～遼寧省・富山県友好都市締結25周年記念～日中漫画交流会	一墨千寧書画院	2009. 05. 24 ～ 2009. 05. 25	漫画をテーマとした講演会を行い、大学生等の青少年に対して日本の漫画制作や、漫画家になるまでの道のり等について紹介する。また地元小学校生徒による「児童画大賞（子供漫画コンクール）」を実施し、講演会場において参加作品の展示や表彰を行う。また魯迅美術学院や瀋陽国家动画基地（アニメーター養成学校）において漫画やアニメ制作について学んでいる若手クリエイター達との交流を実施する事業に対して助成
36	中央民族大学第二回北京市大学生中日カラオケ大会	中央民族大学山櫻社	2009. 05. 24 ～ 2009. 06. 07	第二回中央民族大学中日文化祭の閉幕イベントとして、北京市内の大学生を対象とするカラオケ大会の開催に対して助成。60数組の選手が応募し、決勝戦では中国人学生12チームが日本語の歌を発表。また、審査委員が採点する合間には、ゲスト・パフォーマンスとして、民族舞踊、日本人留学生による中国語の歌、中国語手話の歌とソーラン節などを発表
37	2009浴衣チャイナドレス祭	KIM中日文化交流会	2009. 05. 30	日本が大好きな中国人の若者、日中友好に尽力する上海在住の日本人や、日中文化に関心を持つ上海在住欧米人等を対象とした交流イベントを開催する事業に対して助成。メイン会場では浴衣チャイナドレス試着・メイク・写真撮影、カラオケコンテスト、ファッションショー、民俗芸能パフォーマンスなどを開催。周囲に日本の観光PR・企業PRブースや食品・ドリンクコーナー等を設置
38	出版助成『日本文化通史』	北京大学出版社	2009. 06. 01 ～ 2009. 06. 30	中国の日本文化・文学研究の第一人者である葉渭渠は、これまで長年にわたって日本文化と文学に関する論文や翻訳書を数多く発表してきた。平成21年度は、同氏のこれまでの研究の集大成である新作『葉渭渠文集』（『日本文化通史』、『日本小説史』、『日本文学思潮史』の全3巻）の出版を支援
39	清華東アジア文化講座第一回シリーズ講座「日本文学と日本歴史」篇	清華東アジア文化講座	2009. 06. 17 ～ 2009. 06. 21	清華東アジア文化講座は5年間にわたって、日本文化を中心とする東アジア文化に関する小規模の連続講座の運営を続けてきた。平成21年度は望月善次（盛岡大学学長）、中村哲（京都大学名誉教授）、康上賢淑（鹿児島国際大学助教授）を北京に招き、「日本短歌入門」、「宮沢賢治の魅力」、「石川啄木の魅力」、「明治維新について」、「東アジア近代経済の形成」、「服装と東アジアの流行文化」など、日本文学と歴史を中心にしたテーマで同事業に対して助成。北京所在の大学教師及び学生を対象にした講演会を実施

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
40	中欧国際工商学院芸術祭 <i>Dinner with Murakami</i> 上映会及びYan Ting Yuan監督によるレクチャー	中欧国際工商学院芸術祭2009実行委員会	2009.08.13～2009.08.14	中欧国際工商学院創立15周年を記念した同学院在校生による芸術祭 <i>Art Appreciation Week</i> 開催期間(09.08.10～09.08.17)中のメイン・イベントの一つとして、同学院学生及び上海市の映画、文学、メディア、ビジネス関係者等を対象に、映画 <i>Dinner with Murakami</i> の上映及び同映画の監督、Yan Ting Yuenによるレクチャーを実施する事業に対して助成
41	国際シンポジウム「中日韓朝言語文化比較研究」	延辺大学外国語学院 延辺大学日本学研究所	2009.08.21～2009.08.23	延辺大学創立60周年と延辺大学外国語学院日本語学科設立30周年を記念し、延辺大学外国語学院と延辺大学日本学研究所が共同開催した国際シンポジウムに対して助成。延辺大学や延辺地域において日本学を中心とする中日韓言語文化に関する学術研究を一層幅広く活性化させることを目的とする。参加者は中国をはじめ、日本、韓国、シンガポール、香港など国々や地域を含めておよそ180人に上った
42	世界向けの日中関係国際フォーラム	武漢大学日本研究センター	2009.09.09～2009.09.10	2007年11月に設立された武漢大学日本研究センターが初めて主催した本格的な大型国際シンポジウムに対して助成。日中の一流の学者を集め、金融危機からの脱出と経済恐慌防止、テロ、国連、文化、日中関係の新動向、東アジアにおける日中関係、日中経済思想比較などの広範な課題について、世界における新しい日中関係の視点から両国の協議や協力の可能性と東アジア共同体の行方について討論
43	第4回関口グローバル研究会(SGRA)中国論壇	関口グローバル研究会(SGRA)	2009.09.16	開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病に同時に取り組むユニークなTable For Twoという日本発の社会貢献運動の創始者、近藤正晃ジェームスによる「世界的課題に向けていま若者ができること」というテーマの講演会に対して助成
44	貴州大学第5回日本文化祭日本文化講座	貴州大学外国語学院	2009.09.27～2009.09.30	楊偉(四川外国語学院、同大学教授日本学研究所所長)による日本アニメに関する講演会及び上海在住の姜依秋(着物専門家)によるきもの講演会と着付けデモンストレーションを実施する日本文化講座に対して助成
45	中日青少年交流会	成都鉄路衛生学校	2009.10.29	兵庫県立舞子高校、神戸学院大学で防災教育を学ぶ日本の学生たち(学生18名、教員2名)がカリキュラムの一環として四川大地震の被災地を訪問する機会を利用して、中国で日本語を学ぶ高校生との交流会を開催する事業に対して助成
46	アニソン歌手(下川みくに)公演	湖南省日本人会	2009.11.21	在中国大使館と湖南省政府が主催した「湖南ジャパンウィーク」の一環として行われた、下川みくに(アニメソング歌手)によるトーク及びコンサート事業に対して助成
47	「日本漫画講演会・実演」	湖南省日本人会	2009.11.21	在中国大使館と湖南省政府が主催した「湖南ジャパンウィーク」期間中に、日本から石子順(漫画評論家)と森田拳次(漫画家)を招き、当地の大学生を中心とした若者達に対して日本の漫画に関する講演及び実演会を行う事業に対して助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
48	和太鼓グループ公演	湖南省日本人会	2009. 11. 21	在中国大使館と湖南省政府主催の「湖南ジャパンウィーク」の期間中に実施する、上海で活躍する在留邦人による和太鼓の会「和響」の演奏会に対して助成
49	音楽バンド（カフェイン）公演	湖南省日本人会	2009. 11. 21	在中国大使館と湖南省政府主催の「湖南ジャパンウィーク」の期間中に実施する、北京を中心に活躍する日中音楽バンド「カフェイン」によるコンサートに対して助成
50	津軽三味線グループ公演	湖南省日本人会	2009. 11. 21	在中国大使館と湖南省政府主催の「湖南ジャパンウィーク」の期間中に実施する、上海で活躍する岡山涼太（津軽三味線奏者）を中心とした日中韓混合バンドによる、津軽三味線、笙、ギターによるコンサートに対して助成。日中韓の伝統的な曲をロック、ポップス、ジャズ等、現代風にアレンジして演奏
51	遼寧省日本文化活動ダイ「大道芸青少年交流」	遼寧省対外文化交流中心	2009. 12. 06 ～ 2009. 12. 07	日本の伝統芸能（大道芸）や伝統的なおもちゃ、遊びの紹介や実演などを通じた交流活動で中国・韓国でも実績のある石川泰久（三河屋奥右衛門株式会社社長）及び大道芸人・若竹源太を招き、瀋陽師範大学附属芸術学校などを訪問して行う交流活動に対して助成
52	2010年南京ジャパンウィーク和の美 日本文化祭	南京市人民対外友好協会	2010. 02. 28	南京在住の若者及び一般市民を対象に、日本文化体験コーナー（浴衣試着、伝統ゲーム、餅つき）及び「和の美」ステージ（剣道、着物コンテスト、Jポップ、演歌、三味線バンド演奏、よさこいソーラン）を提供する事業に対して助成。各体験コーナー及び着物コンテストには南京の若者がボランティアとして参加し、上海と北京からも日中のボランティアが出演者やスタッフとして参加
53	南京市での手話を通じた交流会	中国手話同好会・留学生支部	2010. 02. 28 ～ 2010. 03. 02	中国手話を学ぶ日本人留学生のグループが南京市聾啞学校を訪問し、手話を使ったパフォーマンスを行うほか、ソーラン節など日本文化の紹介と交流活動を行う事業に対して助成
54	「南京中日友好柔道館」完成式典 及び完成記念青少年柔道教室	南京重競技運動学校	2010. 03. 01	「南京中日友好柔道館」の完成を機に、同柔道館整備をサポートした山下泰裕（柔道家）を招き、完成式典への参加を求めると共に青少年を対象とした柔道教室を開催する事業に対して助成
55	慶應高等学校京劇・日本舞踊コラボレーション公演 団『西遊記』北京公演	北京第四中学校	2010. 03. 10 ～ 2010. 03. 13	北京第四中学校、月壇中学校など北京市内の中学校及びその周辺住民を対象に、北京第四中学校の大講堂にて、舞踊と演劇を上演する事業に対して助成。演目は日本舞踊『三番叟』、『藤娘』及び京劇と日本舞踊を織り交ぜたオリジナル『孫悟空』

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
56	重慶大学日本文化講座活動	重慶大学外国語学院	2010. 03. 18 ～ 2010. 03. 22	北京日本学研究中心教授の竹内信夫（東京大学名誉教授）を招き、日中文化比較について講演を行うほか、裏千家の茶道専門家を招き、講演及び実演を行う文化講座に対して助成。専門家の講演会を通じて日本文化を紹介し、日本語学習の意欲を高めた
57	日本現代劇作家・監督小池 博史北京交流プロジェクト	草場地工作駅／生活舞踏スタジオ	2010. 03. 21 ～ 2010. 03. 25	日本の現代劇団Pappa TARAHUMARAの創立者、小池博史を北京に招へいし、中国の現代劇・コンテンポラリーダンスの拠点「生活舞台スタジオ」にて、パフォーマンス・ワークショップ、講演会、及び中国現代劇／ダンス・パフォーマーとの座談会を実施する事業に対して助成
58	昆明藤沢友誼館日本文化紹介事業	昆明藤沢友誼館	2010. 03. 28	昆明藤沢友誼館で日本語スピーチコンテストが行われたのに併せ、日本語を学ぶ学生を対象に茶道及び草月流のいけばなの専門家を招き、実演及びデモンストレーションを行うほか、折り紙教室、浴衣試着体験会を実施する事業に対して助成

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	廣田 緑個展「Memory of Asia アジアの記憶～おじいちゃんの時代」	ジャカルタ  バンドン  ブリタール (東部ジャワ州)  バリ	ジャカルタ日本文化センター  バンドン・スラサール・スナリオ・アート・スペース  ブリタール・スカルノ・ミュージアム  バリ・トニーラカ・ギャラリー		2009.04.02 ～ 2009.04.20  2009.05.08 ～ 2009.05.23  2009.08.15 ～ 2009.08.19  2009.09.03 ～ 2009.09.26	1990年代初頭からインドネシアに在住し、積極的に創作活動を行っている廣田緑（美術作家）の個展を開催した。同氏は自身の作品である陶製のヒト形と現地の人々の持ち物を交換するというユニークなプロジェクトを実施しており、実際の交換物及び写真の展示のほか、交換の際に撮影したドキュメンタリービデオも上映
2	いけばな展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	いけばなインターナショナル・ジャカルタ支部	2009.04.23 ～ 2009.04.24	いけばなインターナショナル・ジャカルタ支部と共催で、いけばな展を開催した。池坊・一葉式・小原流・桂古流・草月・未生流・松風花道会流の所属全7派の作品65点を展示。2日目には、裏千家の師匠を招き、茶道のデモンストレーションも同時開催
3	ヌルディアン・イフサン <i>No Where Man</i> 展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009.05.22 ～ 2009.06.05	ヌルディアン・イフサン（Nurdian Ichsan:バンドン工科大学講師/陶芸家）の陶芸作品展を開催。同氏は国際交流基金平成20年度東アジアクリエイター招へいプログラムに参加し、岐阜県信楽の「陶芸の森」に2カ月半滞在、信楽焼を学び陶芸作品の創作活動を行った。信楽で制作した作品8点を展示し、プログラムの成果発表の場とした
4	ジャカルタ国立大学 卒業制作展覧会 <i>PERSELTIVE</i>	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ国立大学芸術学部	2009.06.19 ～ 2009.07.02	ジャカルタ国立大学の芸術学部学生の卒業制作作品展を開催。会期中には美術に関するディスカッション、リノカット技法の木版画や折り紙を模したバティック布手芸のワークショップも実施。ジャカルタ日本文化センターが進めている、将来、日本との芸術交流の担い手となる若手インドネシア人芸術家支援「ネオ・ピオン」事業の一環として実施



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	「Cukil Habis」木版画展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	クローラ財団	2009. 07. 02 ～ 2009. 08. 21	クローラ財団の若手芸術家向け研修プログラムの一環として、ジャカルタ日本文化センターにてインターン研修を行ったスリ・マルヤント (Sri Maryanto) の「Cukil Habis」という木版手法のワークショップを開催した後、ワークショップ参加者の作品を展示
6	「日本の世界遺産」写真展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 09. 01 ～ 2009. 09. 15	三好和義 (写真家) の作品「日本の世界遺産」写真展を開催し、新作2007年『石見銀山』 (2007年に新たに世界遺産に登録された) を加えて公開
7	日本折紙フェスティバル (本部「日本文化紹介派遣 (助成) 事業」との組み合わせ実施)	ジャカルタ	スナヤン・シティ・アトリウム	日本折紙協会 CPI教育文化交流推進委員会 インドネシア女性評議会 (KOWANI) スナヤン・シティ	2009. 10. 02 ～ 2009. 10. 04	日本文化「折紙」を広く普及させるために、日本折紙協会による大型折紙ジオラマ32点を展示、同協会の講師15人を招へいし、折紙ワークショップを開催 (参加者5,000人のうち、ワークショップ参加者250人)
8	インドネシア日本女性画家作品展 <i>Women's Hidden Talent</i>	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	インドネシア女性画家協会	2009. 10. 12 ～ 2009. 10. 23	インドネシアと日本の女性画家の交流を目的に、インドネシア女性画家協会のメンバーと在留邦人女性画家の作品60点を展示するとともに、在留邦人向けにパティック・ワークショップを開催
9	「松風花道会」いけばな展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ミニ・ギャラリー	松風花道会インドネシア支部	2009. 10. 22 ～ 2009. 10. 23	本年度5月から10月までジャカルタ日本文化センターで実施した、いけばな講座 (2009年は「松風花道会」より講師招請) の成果発表として、講師と受講生によるいけばな展を開催
10	西ジャワ・パティック展 <i>Ngeunteung Ka Lembur</i>	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 11. 10 ～ 2009. 11. 16	在留邦人向けに西ジャワ地方のパティックを紹介する目的で、西ジャワ各地方のパティックの展覧会、パティック・フラクタルに関するセミナーとワークショップを開催。インドネシア人も多数参加し、交流の場となった
11	「池坊」いけばな展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 11. 25 ～ 2009. 11. 26	インドネシア池坊いけばな協会が創立29周年を記念して、いけばな展を開催し、同時にいけばなデモンストレーションを実施
12	NEOpionシリーズ アイコ・ウルフィア写真展 <i>Maling Jemuran</i>	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 12. 02 ～ 2009. 12. 17	東京生まれのインドネシア人若手写真家、アイコ・ウルフィア・ラクミの写真展を開催し、関連イベントとして、フェンディ・シレガル (写真家) を招きディスカッションを実施。ジャカルタ日本文化センターが進めている、将来、日本との芸術交流の担い手となる若手インドネシア人芸術家支援「ネオ・ピオン」事業の一環として実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	第14回日本インドネシア児童画展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 12. 16 ~ 2009. 12. 23	「私の国」というテーマで、日本インドネシア児童画展を開催した。ジャカルタ日本人学校（幼小中学部）から81点、ジャカルタ近郊の幼稚園～中学校から選ばれた作品159点、養護学校から42点、計282点を展示
14	岩崎 サムスル写真展 「僕の友達はこちら」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2010. 01. 15 ~ 2010. 01. 30	ジャカルタ近郊で撮影した人々に写真を配り交流を続けた在留日本人写真家、岩崎 “サムスル” 晃典の写真展を開催し、関連イベントとして、同氏との写真撮影ツアーを実施
15	ワンダーアイズ・プロジェクト写真展「レンズの裏から見たスマトラ」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2010. 02. 16 ~ 2010. 02. 25	永武ひかる（写真家）がWWFジャパン、WWFインドネシアと共催によりスマトラ島で実施した、ワンダーアイズプロジェクトの写真展を開催。2月19日には、同氏を招きディスカッションを実施

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
16	舞踊OKIJAWAレクチャー・デモンストラーション	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 08. 21	ハワイ出身の舞踊研究者、ガレット・カム (Garrett Kam) による、沖縄舞踊とジャワ舞踊との類似性に関するレクチャーと、両舞踊様式を融合させた創作舞踊OKIJAWA実演デモンストラーションを実施
17	セミナー「日本映画の実力・最新映像技術 ヴィジュアル・エフェクツ」	ジャカルタ	コミュニティ・サリハラ ジャカルタ日本文化センター	株式会社ナイス・デー	2009. 10. 07 ~ 2009. 10. 08	小田一生（映画監督）を日本から招き、ハリウッドとは一線を画し、独自の発展を遂げる日本の最新映像技術「ヴィジュアル・エフェクツ」を、一般・学生向けとプロフェッショナル向けの個々のセミナーの中で紹介
18	日本食講演会	ジャカルタ	日本食レストラン BASARA	特定非営利活動法人日本料理文化交流協会 在インドネシア大使館	2009. 10. 10	日本食文化の紹介を目的に、小山裕久（特定非営利活動法人日本料理文化交流協会理事長）による講演と料理実演・試食会を行うと同時に、日本食材の展示・試食コーナーにて、食材と食べ方の説明、裏千家によるお茶会を開催
19	バクティアル・アラム講演会「日本の近代化とインドネシアとのかかわり」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	ヘリテイジ・ソサエティ	2009. 11. 23	インドネシアの歴史、文化、社会の理解を深めるために、バクティアル・アラム（インドネシア大学理事）を招き、主に在留邦人に向けて、「日本の近代化とインドネシアのかかわり」についての講演会を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	セミナー「持続可能な都市開発と市民社会」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2010. 01. 15	平成21年度アジア・リーダーシップ・フェロー・プログラムのインドネシア人フェロー、マルコ・クスマウィジャヤ (Marco Kusmawijaya : ジャカルタ芸術協会ディレクター) による帰国報告セミナーを開催。テーマは「Sustainable Urbanism and Its Challenges to Civil Society」。日本で得た経験や知見をセミナーで発表することを通して、インドネシア社会に還元
21	国際シンポジウム「イスラームと近代化」	ジャカルタ	国立イスラーム大学		2010. 03. 05	平成21年度東南アジア若手イスラーム知識人グループ招へいプログラムで招へいされたインドネシア人5名、マレーシア、フィリピン各1名の参加者が、日本で得た日本の近代化の例を踏まえながら自身の専門に則った発表を行うシンポジウムを開催。日本からは、インドネシアのイスラームに詳しい小林寧子 (南山大学教授) を招き、日本人研究者と東南アジアのムスリム知識人との交流も図った
22	阿部 知二『死の花』のインドネシア語翻訳出版記念セミナー～戦時下のジャワにおける日本の作家の足跡をたどる～	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2010. 03. 15	日本占領期の従軍作家に詳しい木村一信 (立命館大学教授) による全体講義、阿部知二『死の花』のインドネシア語翻訳者ヨフィンサ (スラバヤ国立大学講師) に続き、バンバン・ウィバワルタ (日本文学研究者/インドネシア大学教授) によるコメント、会場との質疑応答を実施

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	映画上映会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 05. 07 ~ 2009. 06. 11	ジャカルタ日本文化センター所蔵のフィルム・ライブラリーより作品を選定し、映画上映会を実施
24	グラリ児童映画祭	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	グラリ財団、 バンク・マン ディリ博物館  ゲーテ・イン ステイトウ ト  フランス文化 センター  イタリア文化 センター  キネフォーラ ム	2009. 06. 15 ~ 2009. 06. 16	児童・青少年を対象にした国際映画祭「グラリ児童映画祭」を共催。映画上映、読み聞かせ、アニメーションや漫画ワークショップなどを開催。ジャカルタ日本文化センター所蔵の映画『火垂るの墓』『時をかける少女』を上映

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
25	国際児童映画祭 <i>Kids F Fes</i>	ジャカルタ	コミュニティ・サリハラ	Kids F Fest 実行委員会  カルヤ・シラ財団	2009.07.20 ~ 2009.07.24	国際児童映画祭 <i>Kids F Fest</i> にて、ジャカルタ日本文化センター所蔵の映画『火垂るの墓』『スウィング・ガールズ』を上映
26	第8回 Q! フィルム・フェスティバル	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	Q! Film Festival 実行委員会	2009.07.27 ~ 2009.07.30	国際ゲイ・レズビアン映画祭 <i>Q! Film Festival</i> に会場提供し、日本映画『花とアリス』の他、社会的マイノリティをテーマにした海外映画を上映
27	シネマ・キャラバン (バリ)	デンパサール		アジア・アフリカ財団 (Asia Africa Foundation)	2009.08.11 ~ 2009.08.17	<i>Asia Africa Art and Culture Festival 2009</i> にて、ジャカルタ日本文化センター所蔵のフィルム・ライブラリーより作品を選定し、映画上映会を実施
28	ドキュメンタリー映画『マス・エンダン』上映会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	TOYOTA Motor Manufacturing Indonesia	2009.10.04	日本人を救助するために亡くなったインドネシア人研修生の足跡を辿るドキュメンタリー映画『マス・エンダン』を、市民レベルでの両国の相互理解を深める目的で、主に在留邦人向けに上映
29	シネマ・キャラバン (ジョグジャカルタ)	ジョグジャカルタ	ガジャマダ大学	ガジャマダ大学日本語学科	2009.11.14 ~ 2009.11.15	ジョグジャカルタのガジャマダ大学日本語学科生が実施する「日本文化祭」で、ジャカルタ日本文化センター所蔵のフィルム・ライブラリーより『友情』『男はつらいよ』『雪国』などの映画上映を実施
30	シネマ・キャラバン (ジャカルタ近郊)	ブカシ	ヤペン・ウィジャヤ高校	ヤペン・ウィジャヤ高校	2010.01.11	ジャカルタ近郊ブカシ地域のヤペン・ウィジャヤ高校にて、日本映画を上映し、その映画の内容や日本文化に関する質疑応答を実施
31	シネマ・キャラバン (ジャカルタ近郊)	ブカシ	タルマジャヤ国立第一高校	タルマジャヤ国立第一高校	2010.02.02	ジャカルタ近郊ブカシ地域のタルマジャヤ国立第一高校にて、日本映画を上映し、その映画の内容や日本文化に関する質疑応答を実施

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
32	ジャカルタ日本文化センター日本語教師向け「中上級日本語研修2」講座運営	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009.04.01 ~ 2009.06.10	ジャカルタ首都圏の日本語教師向けに日本語研修講座を開講した。コース目標は①談話レベルの日本語学習「主題がどのように提示され、談話がどのように構成され、話がどのように展開しまとめられているかを読み取る能力を養う。②流れのある会話が出来るようになる。③「アカデミックジャパニーズ」の分野・場面で用いられる語彙や表現を学習するの3点。20名の教員が参加  2009年1月15日(木)~6月4日(木) 毎週木曜日15:00~17:00 全17回 修了式:2009年6月10日

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
33	ジャカルタ日本文化センター一般日本語講座運営	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	<p>一般社会人、学生向けに中級レベル（1クラス）及び上級レベル（2クラス）のコースを開講した。ジャカルタ近郊には民間日本語学校が35機関前後存在しているが、上級クラスを運営しているのは当ジャカルタ日本文化センター講座に限られている。本年度も引き続き質の高い授業を提供</p> <p>&lt;2008～2009年&gt;            前期：2008. 08. 12～12. 12            後期：2009. 01. 20～05. 15            修了式：2009. 06. 10            &lt;2009～2010年&gt;            前期：2009. 08. 11～12. 17            後期：2010. 01. 19～05. 14            修了式：2010. 06. 03</p>
34	高校日本語教師会活動（北スマトラ州）	メダン	北スマトラ州内各高校	北スマトラ州高校日本語教師会	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会（北スマトラ州）に対し、ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動（勉強会等）を実施
35	高校日本語教師会活動（西スマトラ州）	バンドン	西スマトラ州内各高校	西スマトラ州高校日本語教師会	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会（西スマトラ州）に対し、ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動（勉強会等）を実施
36	高校日本語教師会活動（ジャボデタベック地区）	ジャカルタ	ジャカルタ首都圏内各高校	ジャボデタベック地区高校日本語教師会	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会（ジャボデタベック地区）に対し、ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動（勉強会等）を実施
37	高校日本語教師会活動（西ジャワ州）	バンドン	西ジャワ州内各高校	西ジャワ州高校日本語教師会	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会（西ジャワ州）に対し、ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動（勉強会等）を実施
38	高校日本語教師会活動（中部ジャワ州・ジョグジャカルタ特別州）	ジョグジャカルタ	中部ジャワ州及びジョグジャカルタ特別州内各高校	中部ジャワ州・ジョグジャカルタ特別州高校日本語教師会	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会（中部ジャワ州・ジョグジャカルタ特別州）に対し、ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動（勉強会等）を実施
39	高校日本語教師会活動（東ジャワ州）	スラバヤ	東ジャワ州内各高校	東ジャワ州高校日本語教師会	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会（東ジャワ州）に対し、ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動（勉強会等）を実施
40	高校日本語教師会活動（バリ州）	デンパサール	バリ州内各高校	バリ州高校日本語教師会	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会（バリ州）に対し、ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動（勉強会等）を実施
41	高校日本語教師会活動（北スラウェシ州）	マナド	北スラウェシ州内各高校	北スラウェシ州高校日本語教師会	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会（北スラウェシ州）に対し、ジャカルタ日本文化センターと共催で各種活動（勉強会等）を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
42	インドネシア日本語教育学会（本部）支援	バンドン			2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	インドネシア日本語教育学会誌『ジャーナル日本語』を年2回発行。各回500部を印刷し、高等教育機関を中心に、国内50機関、国外10機関に送付
43	日本語弁論大会地区予選（一般の部／西ジャワ地区）	バンドン	パジャジャラン大学		2009. 04. 17	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会（一般の部）。全国大会出場を目指した西ジャワ地区予選をパジャジャラン大学で実施
44	日本語弁論大会地区予選（一般の部／中部ジャワ・ジョグジャカルタ地区）	ジョグジャカルタ	ガジャマダ大学		2009. 05. 02	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会（一般の部）。全国大会出場を目指した中部ジャワ・ジョグジャカルタ地区予選をガジャマダ大学で実施
45	日本語弁論大会地区予選（一般の部／バリ地区）	デンパサール	サラスワティ大学		2009. 05. 02	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会（一般の部）。全国大会出場を目指したバリ地区予選をサラスワティ大学で実施
46	日本語弁論大会地区予選（一般の部／ジャボデタベック地区）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2009. 05. 02	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会（一般の部）。全国大会出場を目指したジャボデタベック地区予選をジャカルタ日本文化センターにて実施
47	日本語弁論大会地区予選（一般の部／東ジャワ地区）	スラバヤ	スラバヤ・ノボテル・ホテル		2009. 05. 03	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会（一般の部）。全国大会出場を目指した東ジャワ地区予選をスラバヤ・ノボテル・ホテルで実施
48	日本語弁論大会地区予選（一般の部／スラウェシ地区）	マカッサル	ハサヌディン大学		2009. 05. 09	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会（一般の部）。全国大会出場を目指したスラウェシ地区予選を南スラウェシ・ハサヌディン大学で実施
49	日本語弁論大会地区予選（一般の部／西スマトラ地区）	パダン	ブンハッタ大学		2009. 05. 11	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会（一般の部）。全国大会出場を目指した西スマトラ地区予選をブンハッタ大学で実施
50	日本語弁論大会地区予選（一般の部／北スマトラ地区）	メダン	北スマトラ大学		2009. 05. 16	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会（一般の部）。全国大会出場を目指した北スマトラ地区予選を北スマトラ大学で実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
51	第38回日本語弁論大会（一般の部／全国大会）	ジャカルタ	国営ラジオ放送局ホール		2009. 05. 30	日本語を学ぶインドネシアの大学生及び社会人に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的とした日本語弁論大会（一般の部）を実施、インドネシア各地（スマトラ、ジャカルタ、西ジャワ、中部ジャワ、東ジャワ、バリ、スラウェシの7地域）での予選を勝ち抜いた13名がジャカルタで競い合った。上位入賞者2名は、同年10月に日本在外企業協会が東京で開催したASEAN日本語スピーチコンテストへ参加
52	普通高校・宗教高校日本語教師基礎研修（ジャカルタ）	ジャカルタ	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所	2009. 06. 15 ～ 2009. 06. 27	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所と共催して実施する普通・宗教高校教員向け基礎研修会。ジャカルタ日本文化センターから専門家1名、ジュニア専門家2名、インドネシア人専任講師1名の合計4名が出講。日本語能力試験4級程度の教師20名に対し、①普通高校新カリキュラム（2004年施行）に準拠したコミュニケーション重視の教え方（授業の流れ）の理解、②普通高校新カリキュラムに基づき作成された新教材の内容及び使い方の理解、③研修生の日本語運用力の向上を目的とした研修会をジャカルタ語学教師研修所で実施
53	日本語教員向け中級日本語研修I	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 07. 21 ～ 2009. 12. 01	中級レベルの日本語を教えることの出来る教師を育てることを目的とした講座を実施。ジャカルタ近郊の大学教師、中学教師、高校教師及び民間日本語学校教師等が参加し、質の高い授業を提供
54	インドネシア日本語教育学会活動（ジャボデタベック支部）	ジャカルタ	ジア外国語大学		2009. 08. 01	ジア外国語大学にて、「作文の授業と評価」と題するテーマにて支部セミナーを実施
55	インドネシア日本留学フェア	ジャカルタ	ジャカルタ・コンベンション・センター		2009. 10. 03	独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が主催するインドネシア人向け日本留学フェアに参加。インドネシアの学生が日本留学を志し、かつ、留学希望にあった大学等を選択し、実りのある留学を達成できるよう情報提供することを目的とする。当該フェアには日本から17大学、6専門学校の他、在インドネシア大使館、インドネシア元日本留学生協会、インドネシア大学日本研究センターなどのブースが設けられた。ジャカルタ日本文化センターは知名度向上のためブースを設け、事業活動の紹介や日本文化紹介事業を実施
56	平成21年度日本語教材寄贈式	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2009. 10. 08	「ジャカルタ日本祭り」の開催期間に合わせて、平成21年度のジャボデタベック・バンドン地域の日本語教材寄贈プログラム採用機関23校の代表者を一同に集め、教材寄贈授与式を行った。また、当日、国際交流基金紹介DVDの上映（30分）や国際交流基金が作成した教材の展示も併せて実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
57	インドネシア外務省入省日本語試験	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール	インドネシア外務省	2009. 10. 09	2002年にインドネシア外務省入省試験科目に日本語が導入され、これまで他機関（大学等）が日本語試験実施に協力してきたが、2007年8月にインドネシア外務省からジャカルタ日本文化センターに協力要請があり、当該試験実施に協力することになった。協力内容は、試験問題作成、試験実施、試験採点、及び採点結果のインドネシア外務省への報告
58	ジュニア専門家会議及び中等教育支援会議	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2009. 10. 27 ～ 2009. 10. 28	〔ジュニア専門家会議〕 国際交流基金本部からインドネシア各地に派遣されているジュニア専門家をジャカルタに集め、各地域における中等教育レベルの日本語教育事情に関する報告、及び今後の中等教育レベルにおける日本語教師業務方針に関する意見交換会を実施 〔中等教育支援会議〕 上記会議メンバーに、インドネシア中学・高校日本語教師会役員を加え、平成22年度の中核事業実施についての意見交換を実施
59	専門家会議及び高等教育支援会議	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2009. 10. 29 ～ 2009. 10. 30	〔専門家会議〕 国際交流基金本部からインドネシア各地に派遣されている専門家をジャカルタに集め、各地域における高等教育レベルの日本語教育事情に関する報告、及び今後の中等教育レベルにおける日本語教師業務方針に関する意見交換会を実施 〔高等教育支援会議〕 上記会議メンバーに、インドネシア日本語教育学会役員を加え、平成22年度の中核事業実施についての意見交換を実施
60	普通高校・宗教高校日本語教師基礎研修（ジャカルタ／12月）	ジャカルタ	ジャカルタ語学教師研修所	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所	2009. 11. 29 ～ 2009. 12. 12	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所との共催で実施する普通・宗教高校教員向け基礎研修。ジャカルタ日本文化センターからは専門家1名、ジュニア専門家2名、インドネシア人専任講師（センターから）2名が出講。日本語能力試験4級程度の教師20名に対し日本語運用能力及び教授法の向上を目指す研修会をジャカルタ語学教師研修所で実施
61	普通高校・宗教高校日本語教師基礎研修（マナド）	マナド	マナド教員研修所	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所	2009. 12. 01 ～ 2009. 12. 15	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所との共催で実施する普通・宗教高校教員向け基礎研修。ジャカルタ日本文化センターからは専門家1名、ジュニア専門家2名及びインドネシア人専任講師2名の計5名が出講。日本語能力試験4級程度の教師20名に対し日本語運用能力及び教授法の向上を目指す研修会をマナド教員研修所で実施
62	ジャカルタ首都圏教員向け文法1日セミナー	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2009. 12. 12	ジャカルタ首都圏（ジャボデタベック）の日本語教員を対象に、テーマを「「は」と「が」の使い方」と題し、文法分析力の向上及び知識の拡充を目指すための1日セミナーを実施



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
63	2010年インドネシア中等教育日本語研修・事前選抜研修	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール	インドネシア教育省	2010. 01. 11 ～ 2010. 01. 23	インドネシア教育省との共催で、平成18年度から5年計画で、合計100名の高校日本語教師を日本に送り、国際交流基金日本語国際センターで約7週間の日本語・日本事情研修を行うプログラムを実施
64	インドネシア日本語教育学会活動（西ジャワ支部）	バンドン	インドネシア教育大学		2010. 01. 23	インドネシア教育大学にて「日本研究についての成果発表」と題する西ジャワ支部セミナーを実施
65	日本語弁論大会地区予選（高校の部／西ジャワ地区）	バンドン	バンドン第十国立高校		2010. 01. 31	日本語を学ぶ高校生に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会。全国大会出場を目指した西ジャワ地区予選をバンドン第十国立高校で実施
66	日本語弁論大会地区予選（高校の部／バリ地区）	デンパサール	教育省デンパサール事務所施設		2010. 02. 03	日本語を学ぶ高校生に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会。全国大会出場を目指したバリ地区予選を教育省デンパサール事務所施設で実施
67	インドネシア日本語教育学会活動（北スマトラ支部）	メダン	北スマトラ大学		2010. 02. 05	北スマトラ大学にて、「CTLの教授法を使って日本語を教えよう」及び「生教材を使った中級読解の教え方」と題するテーマにて支部セミナーを実施
68	日本語弁論大会地区予選（高校の部／東ジャワ地区）	東ジャワ・グレシク	グレシク第一国立高校		2010. 02. 07	日本語を学ぶ高校生に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会。全国大会出場を目指した東ジャワ地区予選をグレシク第一国立高校で実施
69	日本語弁論大会地区予選（高校の部／西スマトラ地区）	ブキットニンギ	ブキットニンギ第四国立高校		2010. 02. 07	日本語を学ぶ高校生に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会。全国大会出場を目指した西スマトラ地区予選をブキットニンギ第四国立高校で実施
70	日本語弁論大会地区予選（高校の部／北スマトラ地区）	メダン	カトリック・ブディ・ムルニ第一高校		2010. 02. 13	日本語を学ぶ高校生に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会。全国大会出場を目指した北スマトラ地区予選をカトリック・ブディ・ムルニ第一高校で実施
71	日本語弁論大会地区予選（高校の部／中部ジャワ・ジョグジャカルタ地区）	中部ジャワ・スコハルジョ	スコハルジョ第一フェテラン高校		2010. 02. 14	日本語を学ぶ高校生に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会。全国大会出場を目指した中部ジャワ・ジョグジャカルタ地区予選をスコハルジョ第一フェテラン高校で実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
72	日本語弁論大会地区予選（高校の部／北スラウェシ地区）	マナド	マナド第一国立高校		2010. 02. 19	日本語を学ぶ高校生に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会。全国大会出場を目指した北スラウェシ地区予選をマナド第一国立高校で実施
73	日本語弁論大会地区予選（高校の部／ジャボデタベック地区）	ジャカルタ	ラワマンゲン高校		2010. 02. 20	日本語を学ぶ高校生に日頃の学習の成果を発揮する機会を提供し、学習意欲を高めることを目的に開催している日本語弁論大会。全国大会出場を目指したジャボデタベック地区予選をジャカルタ・ラワマンゲン高校で実施
74	日本語弁論大会（高校の部／全国大会）	ジャカルタ	インドネシア国営ラジオ放送局ホール	インドネシア教育省初等中等教育局	2010. 03. 06	インドネシア教育省初等中等教育局と共催し、日本語を学習している高校生の学習意欲向上及びレベルアップを目的として実施する弁論大会。ジャボデタベック地区、北スマトラ、西スマトラ、西ジャワ、中部ジャワ、東ジャワ、バリ、北スラウェシの8地方大会優秀者13名をジャカルタ集め、国営ラジオ放送局ホールで競い合った。本大会の上位入賞者3名が国際交流基金主催の「日本語学習者訪日研修（高校生）」プログラムへ、1名が「海外高校生による日本語スピーチコンテスト」への参加資格を得て訪日
75	インドネシア日本語教育学会活動（中部ジャワ・ジョグジャカルタ支部）	ソロ	スラカルタ3月11日大学		2010. 03. 06	スラカルタ3月11日大学にて、「日本の大衆文化に関する日本語教材」と題する中部ジャワ・ジョグジャカルタ支部セミナーを実施
76	第8回漢字カップ（スラバヤ）	スラバヤ	タマンブダヤ		2010. 03. 07	インドネシア人の日本語の学習にとって苦手意識の高い漢字に興味を持たせ、学習意欲の向上を図るため、漢字をテーマにしたクイズ形式の対抗戦をスラバヤにて実施
77	教授法ワークショップ「短期集中初級教授法研修」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2010. 03. 08 ～ 2010. 03. 13	ジャカルタ日本文化センターにて、研修参加者16名を対象に、教材を理解し、学習者の日本語運用力（口頭表現力）を養う授業計画がたてられるようになることを目標とした教授法能力向上を目指すための集中研修を実施
78	インドネシア日本語教育学会活動（北スラウェシ支部）	マナド	マナド工科短期大学		2010. 03. 12 ～ 2010. 03. 13	マナド工科短期大学にて、「教具の作り方」と題するテーマにて支部セミナーを実施
79	第1回日本語履修高校生向け学習会（普通高校）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2010. 03. 17	日本語を履修している普通高校の生徒（26校／83名）向けに進路学習会を実施した。同フェアでは、日系企業で働く日本語学科卒業生による体験談、民間日本語学校「学習堂」による若者言葉に関する講演、日本語学科を有しているジャカルタ近郊の8大学の日本語学科代表者による説明会（ブースを設け参加者に対し資料配布や大学案内を行う）を行った。プログラムの最後には、和紙を用いた雛人形作り体験などの日本文化紹介事業も実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
80	第2回日本語履修高校生向け学習会 (職業高校)	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2010. 03. 25	日本語を履修している職業高校の生徒(25校/77名)向けに進路学習会を実施した。同フェアでは、日系企業で働く日本語学科卒業生による体験談(「日系企業で働くこととは」)、日系企業での礼儀作法紹介などを行った。プログラムの最後には、茶道デモンストレーションを通じた日本文化紹介事業も実施

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
81	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本語学習者や日本の文化や社会に関心を持つ市民に対して日本語教育・日本研究図書を中心とした図書・資料を提供する専門図書館  ①所蔵資料合計： 26,968点(視聴覚資料数を含む) ②登録会員数： 869名 ③利用者数(年間)： 19,237名 ④貸出点数(年間)： 19,166点 ⑤レファレンス件数(年間)： 25件

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
82	ニューズレター NUANSA	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	一般広報及び各事業広報のため、ジャカルタ日本文化センターの広報誌NUANSA(インドネシア語)を発行。季刊(年4回発行)、カラー/28ページ、発行部数：6,500部、うちインドネシアの文化機関・要人等へ4000部を送付
83	ニューズレター EGAO	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本語教育関係者向けに、日本語教育関連催事の広報及び教材情報等を掲載したニューズレターEGAO(インドネシア語、一部日本語併記)を発行。季刊(年4回発行)、2色刷り/12ページ、発行部数：2,400部、すべて日本語教育機関へ送付
84	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	ジャカルタ日本文化センターの事業広報のためウェブサイト運営。事業案内及び報告を中心に掲載。言語はインドネシア語及び英語 URL: <a href="http://www.jpj.or.id/">http://www.jpj.or.id/</a>

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
85	囲碁教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 10	ジャカルタ在住の囲碁愛好家が毎週金曜日にジャカルタ日本文化センターに集まり、囲碁教室を開催。また、平成21年度からは土曜日にも月1回教室を実施することで、初心者に対する指導も実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
86	スクールビジット	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	ジャカルタ近郊の学生が文化センターを訪問し、映画上映会、折り紙ワークショップ、日本に関する質疑応答を実施することで、日本について紹介
87	茶の湯教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 04. 21 ~ 2009. 07. 28	裏千家インドネシアの協力を得て平成20年度より新規開講した教室事業。受講生15名、3ヶ月間の初心者向け茶の湯教室を実施
88	生け花教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 05. 01 ~ 2009. 10. 23	松風花道会流の免状を持つインドネシア人師範による初心者向けの生け花教室を実施すると共に、教室の成果発表の場として生徒の作品の展覧会を実施

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
89	エッセイコンテスト「インドネシア人の目から見た日本」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター		2009. 07. 01 ~ 2010. 01. 15	18歳から23歳のインドネシア人を対象に「インドネシア人の目から見た日本」と題してエッセイコンテストを開催。入賞作品は作品集として発行、インドネシアの各地の日本語学科のある大学等に送付。また、作品集発行記念セミナーでは、上位入賞者に発表を行ってもらい、ディスカッションを行うことで若い世代の更なる日本理解の促進に努めた
90	第6回フレンドシップ囲碁大会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ囲碁将棋クラブ	2009. 07. 05	ジャカルタ囲碁将棋クラブと共催で日本インドネシア親善囲碁大会を開催、囲碁を通じての友好親善を図った
91	第7回国際親善囲碁大会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	ジャカルタ囲碁将棋クラブ 韓国囲碁協会	2009. 11. 22	ジャカルタ在住の日本・韓国・インドネシア人囲碁愛好家による3カ国・国際親善囲碁大会を開催し、囲碁を通じた国際友好親善を図ると共に、地方都市からの囲碁愛好家を招待し、インドネシア国内での囲碁活動の活性化を促す

バンコク日本文化センター

合計額 86,781,212 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	現代日本文化発信スペース展示	バンコク	バンコク日本文化センター・ライブラリー展示スペース		2009.04.01 ~ 2010.03.31	バンコク日本文化センターライブラリーの「現代日本文化発信スペース」において、主にポップカルチャーや現代日本をテーマとして、タイ人や在タイ日本人アーティストによる展示を実施
2	Shunsuke François Nanjyo 個展 <i>LA/PAS LA (Here/Not Here)</i>	バンコク	100 トンソン・ギャラリー (100 Tonson Gallery)	100 トンソン・ギャラリー (100 Tonson Gallery)	2009.11.05 ~ 2009.12.27	シュンスケ・フランソワ・ナンジョウ (Shunsuke François Nanjyo) のアジア初の個展。写真、絵画、ビデオインスタレーションなどの様々な手法・スタイルを用いて「無の中の存在」「存在の中の無」といったテーマに向き合ってきた同氏が、 <i>Here/Not Here</i> をテーマに新作を制作・展示
3	日本・メコン交流年企画展 <i>Twist and Shout</i>	バンコク	バンコク芸術文化センター	バンコク芸術文化センター	2009.11.20 ~ 2010.01.10	「日本・メコン交流年2009」を記念し、現代日本の現代美術作家17名の作品を大規模に紹介した展覧会
4	巡回展「現代日本のデザイン100選」	チェンマイ  バンコク	チェンマイ大学アートセンター・オーディトリウム  サイアム・ディスカバリー	チェンマイ大学  シー・エヌ・エックス・アートコネックス (CNX Art Connex)  サイアム・ディスカバリー  アサヒスーパードライ  アイ・デザイン・マガジン (iDesign Magazine)	2010.01.08 ~ 2010.02.06	現代の日本を代表するプロダクト・デザイン (家具や家電、照明器具、文具、食器、おもちゃなど) 105作品を紹介。バンコク、チェンマイともに、展覧会期間中に、タイ人と日本人デザイナーによるトーク、ワークショップ等を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	「京都の庭園の四季」写真展 in カンボジア	プノンペン (カンボジア)	王立プノンペン大学カンボジア日本人材開発センター	カンボジア日本人材開発センター 王立プノンペン大学 国際協力機構 (JICA) カンボジア事務所	2010. 02. 10 ~ 2010. 02. 27	主催者であるカンボジア日本人材開発センターが、2006年の創設以来毎年開催している日本祭の第5回目の開催にあわせ、バンコク日本文化センター所蔵の日本庭園の写真パネル (写真家・水野克比古が春夏秋冬それぞれに撮影した日本庭園の風景、合計40作品) を展示

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	ピアノ・フルートコンサート & ワークショップ in Myanmar	マンダレー (ミャンマー) ヤンゴン (ミャンマー) ヤンゴン (ミャンマー)	マンダレーセドナホテル ギタメイト音楽センター ストランドホテル	在ミャンマー大使館	2009. 08. 01 ~ 2009. 08. 03	バンコク在住の松島寛 (フルート奏者/マヒドン大学音楽学部講師) 及び松島良美 (ピアニスト/マヒドン大学音楽学部講師) により、日本の民謡・童謡、現代音楽を中心にしたジャズ、西洋音楽、ミャンマー音楽等を織り交ぜたプログラムによるピアノ・フルートアンサンブル公演をマンダレー及びヤンゴンで実施。ヤンゴンでは、ギタメイト音楽センターの生徒を対象としたフルートとピアノの演奏法についてのワークショップもあわせて開催
7	JCDN「踊りに行くぜ!! in アジア」Vol.3	チェンマイ バンコク	チェンマイ大学 パトラワディーシアター	シー・エヌ・エックス・アート・コネックス (CNX Art Connex) Japan Contemporary Dance Network (JCDN) パトラワディーシアター	2009. 08. 03 ~ 2009. 08. 15	日本のダンスNPO「Japan Contemporary Dance Network (JCDN)」による、メコン流域諸国巡回公演&ワークショップ。平成19年度に実施し、好評を博したアジアツアーの第三弾。バンコク・チェンマイでの本公演に加え、チェンマイではオーディションにより選抜した参加者を対象にクリエイション・ワークショップを行い、作品を発表。バンコクではタイ人舞踊家ピチェによるワークショップを開催するなど、一歩踏み込んだ交流イベントを通じ、相互理解を促進

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	パパ・タラフマラ『三人姉妹』公演	バンコク	パトラワ ディーシア ター	Japan Contemporary Dance Network (JCDN)  パトラワ ディーシア ター  東京都（芸術 文化発信事業 助成）	2009. 08. 26	2005年の初演以来、世界30カ国で100回にわたり上演されてきたパパ・タラフマラの『三人姉妹』タイ国内初上演。チェーホフ原作『三人姉妹』を下敷きに、舞台を昭和30年代の日本の地方都市、主人公を日本人の三姉妹に翻案し、コンテンポラリー・ダンス、音楽、美術の要素を取り入れた総合的な舞台芸術作品として上演
9	アート&ミュージックコンサートA <i>Dream at Snowy Night</i>	バンコク	サイアム・ソ サエティ (Siam Society)	Warming Snow Group	2009. 12. 21	クリスマスやお正月など、季節ならではの楽曲の演奏及びソプラノ歌手による歌唱にあわせ、阿部恭子（画家）が歌から得られるイメージを絵という視覚的な表現に落とし込んでいく。季節感溢れる音楽と、即興で描かれる現代アートを一度に楽しんでもらうことを目的とした事業
10	日・タイ現代舞踊共同制作作品『コ ウカシタ』タイ公演	チェンマイ  バンコク	チェンマイ大 学アートセン ター・オー ディトリウム  パトラワ ディーシア ター	チェンマイ大 学芸術学部  パトラワ ディーシア ター	2010. 01. 11 ~ 2010. 01. 31	平成20年度事業としてフェスティバル・トーキョーとの共催で実施した日タイ現代舞踊共同制作作品『コウカシタ』のタイ公演。チェンマイ（10. 01. 24）とバンコク（10. 01. 29）の2都市で公演。振付は演劇作品への振付やステージングなど、幅広いジャンルで活躍する振付家・ダンサーの井手茂太。10日間にわたるリ・クリエーションを経て、東京での初演時よりさらに進化したダンス・パフォーマンスに仕上げ、観客を魅了
11	ユニット・アジア・ジャズ・コン サート 2010 <i>UNIT ASIA JAZZ CONCERT 2010</i>	バンコク	タイ文化セン ター (Thailand Culture Center)	タイ文化セン ター (Thailand Culture Center)	2010. 03. 29	日本のジャズ、フュージョンなど多様な音楽ジャンルで活躍する3人のミュージシャン、三好功郎（ギター）、則竹裕之（ドラムス）、一本茂樹（ベース）と、タイの第一線で活躍するサックス・プレーヤー、コー・ミスター・サックスマン、マレーシアのピアニスト、テイ・チャー・シアン（計5人で編成するグループ「ユニット・アジア（UNIT ASIA）」のバンコク公演

海外事務所

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	U. G. サトー グラフィック・デザイン レクチャー&ワークショップ	チェンマイ  チョンブリ  トンブリー	チェンマイ大 学  ブラパー大 学  キング・モン クット大 学	キング・モン クット大 学  チェンマイ大 学  ブラパー大 学  丸亀市  香川県  香川県うち わ共同組 合連 合  香川県デ ザイン 協 会	2009. 07. 02 ~ 2009. 07. 04	「ユーモアとイリュージョンによるデザイン」と題し、U. G. サトーの過去の作品をスライド及び動画で見せながら、1時間程度レクチャーを実施した後、「エコロジー」をテーマに、日本の伝統工芸品である「丸亀うちわ」にタイ人学生がデザインを施した。日本の最先端のグラフィック・デザインだけでなく、環境に優しい伝統的な涼をとる道具の紹介を通じて日本文化を多面的に紹介
13	セミナー「環境問題と司法－日本の 経験に学ぶ」	バンコク	タイ最高行政 裁判所事務棟 ホール	タイ国研究基 金  タイ最高行政 裁判所	2009. 08. 06 ~ 2009. 09. 10	8月及び9月、計2回開催。8月はわが国の環境問題に係る代表的な訴訟事例に関し、大久保規子（大阪大学教授）が講演。9月は七戸克彦（九州大学教授）が自然の権利訴訟について、また武宮英子（公害問題等調整委員会専門員）が日本の司法制度全般についてそれぞれ講演を行った
14	コシノ・ジュンコ・ファッション レクチャー&デモンストレーション	バンコク	シェラトング ランド・スク ンビットホテ ル	JUNKO KOSHINO INC.,  在タイ大使館  Bunka Fashion Academy	2009. 08. 25	コシノ・ジュンコの最新作10点を展示するとともに、「Mode et Construction（モードと建築）」をテーマとした最新のコレクションを含む映像ショー、および、同氏の「創造」に対する考え方等についてのトークを実施
15	裏千家茶道レクチャー&デモンスト レーション	ビエンチャン (ラオス)	在ラオス大使 公邸	在ラオス大使 館	2009. 09. 08 ~ 2009. 09. 09	文化庁の平成20年度文化交流使、ブーイ文子（茶道裏千家淡交会バンコク協会副会長兼幹事長）をラオス・ビエンチャンに派遣し、ラオス政府要人や文化人を主対象に茶道のレクチャー&デモンストレーションを実施。茶道の歴史や作法についての解説及び質疑応答の時間を設けることで日本伝統文化への理解促進に貢献



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
16	衣裳ワークショップ+発表公演 「結 Yui」	バンコク  チェンマイ  ウボンラチャタニー	サイアム・ソサエティ  チェンマイ大学アートセンター・オーディトリウム  ウボンラチャタニー大学構内オーディトリウム	ニッチ・モール (Niche mall)  チュラロンコン大学  サイアム・ソサエティ  ニッチ・モール (Niche mall)  チェンマイ大学  ニッチ・モール (Niche mall)  ウボンラチャタニー大学	2009. 11. 28 ~ 2009. 12. 04	「日メコン交流年2009」の記念事業として、メコン流域国に共通の産業である服飾・衣裳デザインに着目。時広真吾（衣裳デザイナー）による衣裳ワークショップ。参加者は作成した衣装を纏い、高見亮子（劇作家）のテキストを題材に演技を行い制作発表を行なった。文化庁助成事業。チェンマイ公演は、ランナー・ジープン交流祭の一環として実施
17	環境教育セミナー	バンコク	タマサート大学東アジア研究所	タマサート大学東アジア研究所	2010. 01. 15 ~ 2010. 01. 16	日本から小澤紀美子（環境学／東海大学教授）を招き、タイの環境教育関係者などを対象に、午前はゲスト講師によるレクチャー「持続可能な開発のための教育セミナー～方針から実践へ」を実施。午後はそれを踏まえタイ人専門家をまじえパネルディスカッション「日タイの実践例の共有を目指す」を実施

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	JFシアター	バンコク	バンコク日本文化センターホール		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	毎月テーマを定め、毎週金曜日及び第1・第3土曜日に定期的に開催する日本映画の上映会。原則として、タイ語字幕付きで上映
19	日本映画祭2010 <i>Emerging Japanese Female Directors</i> / 女性監督特集	バンコク	サイアム・パラゴン・シネプレックス	在タイ大使館	2010. 03. 04 ~ 2010. 03. 07	国内外で高い評価を得、日本の映画界を支える活躍を見せる日本の女性監督6名による7作品を上映

海外事務所

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	日本語教育広報誌『タウン』の発行				2009.04.01～2010.03.31	タイにおける日本語教育事情やバンコク日本文化センターの催しなどを記載したニューズレターを年3回（各号1,950部）発行し、タイの日本語教育関係者への広報、情報提供を実施
21	日本語教育通信教育講座	バンコク	バンコク日本文化センター		2009.04.01～2010.03.31	中等学校現職教員日本語教師新規養成講座第12期生を対象に、フォローアップ研修として日本語能力試験3級対策講座を実施し、13名が受講
22	教材普及事業	バンコク	バンコク日本文化センター		2009.04.01～2010.03.31	タイの日本語教育事情に合わせた視聴覚教材開発を実施
23	紀要の発行	バンコク	バンコク日本文化センター		2009.04.01～2010.03.31	タイの日本語教育に関する研究結果を共有するため、タイの日本語教育に特化した紀要を年1回発行。本年度は、9月に『日本語教育紀要第6号』を750部印刷し、タイの日本語教育関係者に配布
24	日本語教育コンサルティング	バンコク	バンコク日本文化センター		2009.04.01～2010.03.31	コース運営やシラバス策定など、日本語教育に関する相談を随時実施
25	北部タイ中等日本語教師研修会	チェンマイ	ユパラートウィッタヤライ校	ユパラートウィッタヤライ校	2009.04.01～2010.03.31	北部タイに派遣中の日本語教育専門家による周辺のタイ人日本語教師向け週末セミナーを実施。受講者の事情に合わせ、金曜日と土曜日の2日開講。通年で各16回実施し、22名が参加
26	派遣専門家定期連絡会	バンコク	バンコク日本文化センター		2009.04.01～2010.03.31	タイ国内で活動する国際交流基金本部派遣の日本語教育専門家及びジュニア専門家が一堂に会し、活動報告と計画を発表するとともに、情報交換や問題共有・解決を図る
27	講師室図書整備	バンコク	バンコク日本文化センター		2009.04.01～2010.03.31	タイ国内の日本語教師への情報提供を目的に、主に日本で発行される日本語教育関連書籍を収集
28	広域活動強化事業				2009.04.01～2010.03.31	管轄する近隣諸国（カンボジア、ラオス、ミャンマー）の日本語教師に対して、招へい及びバンコク日本文化センター専門家の海外派遣により、各国では受講が困難な日本語教育に関する研修の機会を提供
29	日本語教師集中研修会	バンコク	バンコク日本文化センター		2009.04.20～2009.10.23	研修の機会の少ない現職日本語教師を対象とした集中研修会。年2回、各5日間（30時間）実施し、計148名が参加。それぞれ教授法に関するコース及び日本語能力向上に関するコースを設定。バンコク日本文化センター広域活動強化事業の一環として、カンボジア及びラオスから4名の日本語教師を招へい
30	中等学校現職教員日本語教師新規養成講座（第13期）	バンコク	バンコク日本文化センター	タイ国教育省普通教育局基礎教育委員会	2009.05.26～2010.04.02	タイの中等教育機関における日本語教師不足の改善に資するため、バンコク日本文化センターとタイ教育省中等教育局の共催により、公立の中等教育機関の他教科の教師11名に日本語と日本語教授法を10か月間、集中的に教えて日本語教師を養成

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
31	日本語講座の運営 前期	バンコク	バンコク日本 文化センター		2009. 06. 02 ～ 2009. 09. 12	一般の日本語学習者を対象に、中上級コースを開講。計18 コースで、356名が受講。開講コースは、市販教科書に沿って 勉強する総合コース、読み書き会話などの特定技能に特化し た技能別コース、ビジネスなどの特定の目的のための目的別 コースなど
32	日本語教師水曜研修会 前期	バンコク	バンコク日本 文化センター		2009. 06. 03 ～ 2009. 09. 23	バンコク及びバンコク周辺の現職日本語教師対象の研修会 で、18名が参加。水曜研修会前期のテーマは、「話す授業の 展開」で、担当講師のインプットと参加者による情報の交流 を実施
33	日本語教師土曜研修会 前期	バンコク	バンコク日本 文化センター		2009. 06. 06 ～ 2009. 09. 12	バンコク近郊在住で日本語能力3～4級の現職日本語教師の日 本語運用力の維持、向上のために毎週土曜日（終日）に実施 する研修会で、16名が参加
34	平成21年度 第1回日本語教育セミナー	バンコク	バンコク日本 文化センター		2009. 08. 01	主に大学や民間教育機関などのニーズに応えることを目的に 実施する教授法や日本語学などに関する専門性の高いセミ ナーで、54名が参加。今回のテーマは「『ウチ』と『ソト』 を結ぶ体験交流型日本語学習一活動のデザイン」
35	日本語弁論大会	バンコク	エーユーエー (The American University Alumni Association) 講堂	タイ国元日本 留学生協会  タイ国日本人 会  在タイ大使館  盤谷日本人商 工会議所	2009. 08. 23	一般の部、高校の部、大学主専攻の部の3部構成により、日本 留学経験がない日本語学習者を対象とした日本語弁論大会を 実施。今年で第36回目
36	平成21年度 第2回日本語教育セミナー	バンコク	バンコク日本 文化センター		2009. 09. 12	主に大学や民間教育機関などのニーズに応えることを目的に 実施する教授法や日本語学などに関する専門性の高いセミ ナーで、91名が参加。今回のテーマは「発音を教えるときに 役に立つリソース」
37	日本語講座の運営 後期	バンコク	バンコク日本 文化センター		2009. 11. 03 ～ 2010. 02. 27	一般の日本語学習者を対象に、中上級コースを開講。計18 コースで、358名が受講。開講コースは、市販教科書に沿って 勉強する総合コース、読み書き会話などの特定技能に特化し た技能別コース、ビジネスなどの特定の目的のための目的別 コースなど
38	日本語教師土曜研修会 後期	バンコク	バンコク日本 文化センター		2009. 11. 07 ～ 2010. 03. 06	バンコク近郊在住で日本語能力3～4級の現職日本語教師の日 本語運用力の維持、向上のために毎週土曜日（終日）に実施 する研修会で、13名が参加

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
39	日本語教師水曜研修会 後期	バンコク	バンコク日本文化センター		2009. 11. 07 ~ 2010. 03. 06	バンコク及びバンコク周辺の現職日本語教師対象の研修会で、29名が参加。水曜研修会後期のテーマは、「教材作成」で、担当講師のインプットと参加者による情報の交流を実施
40	ビリーバンバンと泰日工業大学の交流イベント	バンコク	泰日工業大学		2009. 11. 28	ビリーバンバンが、日系企業が支援する泰日工業大学を訪問し、タイ人の学生らに歌唱指導したほか、タイと日本の音楽を演奏し合うなどの国際交流を実施
41	平成21年度 第3回日本語教育セミナー	バンコク	バンコク日本文化センター		2010. 01. 23	タイ国内の日本語教育機関のニーズに応えることを目的に実施する教授法や日本語学などに関する専門性の高いセミナーで、62名が参加。今回のテーマは「第2言語習得理論に基づいた会話教授法」
42	平成21年度 第4回日本語教育セミナー	バンコク	バンコク日本文化センター		2010. 03. 18	タイ国内の日本語教育機関のニーズに応えることを目的に実施する教授法や日本語学などに関する専門性の高いセミナーで、120名が参加。今回のテーマは「プロフィシエンシー (Proficiency) 重視の教育をめざすー「使える日本語」を身につけよう！ー」、「新日本語能力試験とタイの日本語教育」

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
43	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	<p>日本に興味関心を有する一般タイ人のためのライブラリー。日本文化全般に関する資料を広く収集提供。とくに日本語教材や日本語教育に関する図書資料のコレクションが充実</p> <p>①所蔵資料合計： 24,211点 (内訳：和書13,503冊、英語5,170冊、タイ語3,229冊、視聴覚資料数2,309点)</p> <p>②登録会員数： 6,956名</p> <p>③利用者数(年間)： 70,620名(開館日数276日)</p> <p>④貸出点数(年間)： 15,879点</p> <p>⑤レファレンス件数(年間)： 77件</p>

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
44	季刊広報誌 <i>Japan Letter</i> 発行	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	バンコク日本文化センターの文化芸術交流事業の告知、活動報告および、日・タイ文化交流に関する寄稿記事を掲載する季刊の広報誌。英語・タイ語。平成21年度は年4回、計4,800部を発行

海外事務所

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
45	さくら中核事業・地方研修会第1回 (全12回)	パッタラン	パッタラン国立公園セミナーハウス		2010.01.23 ~ 2010.01.24	国際交流基金の派遣専門家及びタイの日本語教師を、1年間に渡ってタイ国内6つの地方に定期的に派遣し、その地域で働く高校日本語教師に対し日本語および日本語教授法のワークショップを実施し、20名が参加
46	さくら中核事業・地方研修会第2回 (全12回)	ウボンラーチャターニー	ナーリーヌクーン高校		2010.02.27 ~ 2010.02.28	国際交流基金の派遣専門家及びタイの日本語教師を、1年間に渡ってタイ国内6つの地方に定期的に派遣し、その地域で働く高校日本語教師に対し日本語および日本語教授法のワークショップを実施し、23名が参加
47	さくら中核事業・地方研修会第3回 (全12回)	チェンマイ	ユパラートウィッタヤライ校		2010.03.27 ~ 2010.03.28	国際交流基金の派遣専門家及びタイの日本語教師を、1年間に渡ってタイ国内6つの地方に定期的に派遣し、その地域で働く高校日本語教師に対し日本語および日本語教授法のワークショップを実施し、42名が参加

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
48	小規模助成事業「水の時間・ツアー・プロジェクト ( <i>Water Time Touring Project</i> )」	ライフ・シアター	2009.07.19 ~ 2009.08.02	日本人とタイ人のハーフである脚本家兼俳優、谷川翔吾が、タイ人演出家・俳優・スタッフとともに異文化間の葛藤をテーマに制作した本作品を上演。同時開催のワークショップやアーティストトークを通じて、演劇による異文化交流の経験を今後の日タイ間の文化交流を担う若い学生を中心とした観客と共有。バンコク日本文化センターは実施経費の一部を助成
49	小規模助成事業「日本研究セミナー」	ナコンパトム地域総合大学	2009.08.03 ~ 2009.08.05	著名学者チャイワット・カムチョー (Chaiwat Kamchoo: チュラロンコン大学政治学部教授) が <i>Japanese Studies: Why to Study?</i> の題で基調講演を行ったほか、他の大学の多数の講師が日本に関するレクチャーを実施。バンコク日本文化センターは実施経費の一部 (報告書作成費) を助成
50	小規模助成事業 <i>Exhibition, Lecture and Workshop on Japanese Contemporary Illustration Poster</i>	ランシット大学デザイン美術修士プログラム (Master of Fine Arts Program in Design, Rangsit University)	2009.08.10 ~ 2009.08.23	国際的に評価されている著名なグラフィック・デザイナー、秋山孝及び阿部一博を日本より招へいし、秋山のポスター作品の展覧会を開催。展覧会場 (TKパーク、セントラル・ワールド) における両氏による一般向けレクチャー、チョムビューホテル (ホアヒン) におけるワークショップ開催など付随事業を併せて実施。バンコク日本文化センターは実施経費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
51	小規模助成事業 <i>The Collection of 'Floating Illusion'- Solo Exhibition of Painting and Printmaking Works by Yu Hanabusa</i>	シラパコーン大学PSGアートギャラリー	2009. 08. 28 ~ 2009. 09. 10	2007年11月より2年間シラパコーン大学美術学部に滞在し、制作を続けてきた日本人現代アーティスト・英ゆうによる、タイでの研究成果の集大成としての個展。油彩画10点、水彩画20点、エッチング20数点の、計50点以上を2週間にわたり展示した。バンコク日本文化センターは実施経費の一部を助成
52	小規模助成事業 <i>Sa-by Sa-by Dance Theatre Therapy</i>	i-Thaiporary Crew	2009. 09. 25 ~ 2009. 09. 26	2009年3月の井手茂太（振付家・ダンサー）振付作品『コウカシタ』に出演したタイ人ダンサー6名が、同氏自身が『コウカシタ』にも取り入れたタイ・マッサージの1シーンを発展させ、ダンス・マッサージ・演劇がミックスされた新しいスタイルのパフォーマンスを実施。公演後には、アーティスト・トークを実施。バンコク日本文化センターは実施経費の一部を助成
53	セミナー&写真展 <i>Bond and Beyond</i>	健康促進財団 (Resourcing Public Health Foundation)	2009. 11. 18 ~ 2009. 11. 25	メコン諸国において様々な分野で活躍する日本人に焦点をあて、現地で取材した結果を写真展開催やセミナー実施を通じて紹介。健康促進財団に対し、実施経費の一部（写真プリント、フレーミング費用）を助成
54	ランシット大学日本語コンテスト	ランシット大学	2009. 11. 20	ランシット大学が実施する日本語コンテスト（スピーチコンテストや歌コンテストなど）に対する経費助成を実施
55	小規模助成事業「日本音楽の夕べ（ <i>Japanese Music Night</i> ）」	チェンマイ・フィルハーモニック・オーケストラ財団	2009. 11. 21	タイ初の常設地方オーケストラであるチェンマイ・フィルハーモニックオーケストラと、チェンマイを拠点に国際的に活躍する日本人ピアニスト・瀬田敦子によるコンサートに、経費の一部を助成。在チェンマイ総領事館主催「ランナー・ジープン交流祭」の一環として実施
56	メコンメディアフォーラム <i>Mekong Region through the Cartoonist's Pen</i>	IPS Asia-Pacific Center Foundation	2009. 12. 09 ~ 2009. 12. 12	「第10回アジア漫画展」（アジアの環境問題）に出品した作家の中から各国1名ずつ招へいし、メディアにおいて重要な役割を担う時事漫画に焦点をあて特別セッションを実施。参加者は横田吉昭（共同通信）及びティワワット・パッタラグルワニット（バンコクポスト他）。メコンメディアフォーラムに対し、実施経費の一部（参加者の航空賃と謝金）を助成
57	小規模助成事業「国際舞踏フェスティバル in タイ 2009」	B-Floor シアター	2009. 12. 11 ~ 2009. 12. 24	世界の舞踏ダンサーによるパフォーマンス及びワークショップに加え、舞踏に関する写真展を同時開催することで、歌舞伎や能にルーツを持つといわれる日本の舞踏について総合的に紹介するイベント「国際舞踏フェスティバルinタイ」の実施経費の一部を助成
58	国際会議 <i>Business and Industrial Research</i>	泰日工業大学 (TNI)	2010. 03. 17	品質管理（経営）学の分野において顕著な業績を有する狩野紀昭（東京理科大学名誉教授／品質管理学）が来タイし、基調講演「新時代におけるTQMの研究と実践」を行った。当センターは実施経費の一部（航空賃）を助成

海外事務所

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
59	文化備品貸出し	バンコク市内の高校等計10機関	2009.04.01 ~ 2010.03.31	主に中学・高校などが行う、営利を目的としない日本文化紹介イベント等で必要な文化備品(浴衣など)の貸し出し事業を実施

【その他】

	事業名	期間	事業内容
60	「カワイイ・フェスタ」実施報告書の作成	2009.04.01 ~ 2009.05.31	平成20年度末に実施した「カワイイ・フェスタ～Meet the Kawaii Ambassador～」事業の報告書を作成。タイ語から日本語への翻訳版を作成

マニラ日本文化センター

合計額 27,549,310 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	バギオ世界遺産写真展	バギオ	バギオ・マウンテン州立美術館	在フィリピン大使館 北ルソン日本人会 カケハシ財団 ABONG バギオ市制100周年記念事業実行委員会	2009. 04. 18 ~ 2009. 06. 30	市制100周年を迎えたバギオ市において、バギオ市在住の外国人コミュニティが共催で市内の美術館において、各々の文化を紹介する共同の展示会を実施。日本からは、世界遺産写真展を出品



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	東京／マニラ ストリートファッション展	マニラ	SMモールオブアジア The Block SMメガモール	デザート・パン ディメンション オーネ ビューレット・パッカード カラテ・キッド SMスーパーモールズ SMメガモール SMモールオブアジア チーム・マニラ テンプラ・ジャパニーズ・グリル ザ・ブロック セブ・パシフィック航空 財団法人日本ファッション協会	2010. 02. 22 ～ 2010. 03. 15	日本とフィリピンの若者の服飾文化や日常生活を紹介するための写真展を、メトロマニラ首都圏内の3カ所において実施。また独創性や創造性を競うストリートファッション・コンテストを実施

海外事務所

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	第4回Wifiコンテンポラリー・ダンス・フェスティバル	マニラ	フィリピン文化センター	世界ダンス連盟フィリピン支部  国立フィリピン文化センター  在フィリピン大使館	2009.06.24 ~ 2009.07.05	世界ダンス連盟フィリピン支部、フィリピン文化センターが主催するフィリピン最大のコンテンポラリーダンス・フェスティバルに、森下真樹を招へいし、公演やワークショップなどを実施
4	喜瀬 慎仁・沖縄三線巡回公演及びワークショップ	マニラ  マニラ  マニラ  ダバオ  バギオ	サント・トマス大学  フィリピン女子大学  ペンギン・カフェ (Penguin Cafe)  ミンダナオ国際大学  ヴォーカス	サント・トマス大学  フィリピン女子大学  ペンギン・カフェ (Penguin Cafe)  ミンダナオ国際大学  ヴォーカス  Cordillera Green Network  ダバオ出張駐在官事務所  文化庁  北ルソン日本人会	2009.08.01 ~ 2009.08.16	文化交流使の喜瀬慎仁によるマニラ、ダバオ、バギオ3都市における沖縄三線の巡回公演及びワークショップ

海外事務所

事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5 Jロックコンサート	マニラ	サンミゲル・パイ・ザ・ベイ (マニラ)	デザート・パン ディメンシ オーネ  ヒューレッ ト・パッカー ド  カラテ・キッ ド  SMスーパー モーolz  SMメガモー ル  SMモーolz アジア  チーム・マニ ラ  テンプラ・ ジャパニー ズ・グリル  ザ・ブロッ ク  セブ・パン フィック航空  財団法人日本 ファッション 協会	2010. 02. 27	日本語スピーチコンテストを核に多様な日本語・日本文化紹介事業を実施する日本語フィエスタの目玉事業として、日本のガールズロックバンド・少年ナイフを招へいし、コンサートを実施。フィリピンの若手ロックバンドのダスター、ペディキャブが共演

【講演・シンポジウム】

事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6 サイレント映画講演会・上映会	マニラ	フィリピン大学フィルムインスティテュート	フィリピン大学フィルムインスティテュート  在フィリピン大使館	2009. 07. 31 ~ 2009. 08. 07	ラリー・グリーンバーグ (デジタル・ミーム代表取締役) を招き、日本のサイレント映画の歴史についての講演及び同氏が所有するサイレント映画作品数本を上映

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	講演会「イスラームを知る－フィリピンのイスラームを中心に」	マニラ	国際協力機構（JICA）フィリピン事務所	国際協力機構（JICA）フィリピン事務所  東京外国語大学ISEAプロジェクト	2009. 09. 12	東京外国語大学ISEA（東南アジアのイスラーム）プロジェクトと共催で、「フィリピンのイスラーム」をテーマに、フィリピン在住の邦人を対象とした公開講演会を実施

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	第3回国際サイレント映画祭	マニラ	シャングリラ・プラザモール	アリアンス・フランセーズ  イタリア大使館  インスティテュート・セルバンテス  ゲーテ・インスティテュート  フランス大使館  シャングリラ・プラザモール  在フィリピン大使館	2009. 07. 30 ～ 2009. 08. 27	日独西仏伊の文化交流団体5機関共催によるサイレント映画祭。各国のサイレント映画に、フィリピン人音楽家の生演奏をつけて上映。日本は『御誂治郎吉格子（おあつらえじろさちこうし）』（伊藤大輔監督、1931年）を上映
9	SMグリーンフィルム・フェスティバル	マニラ	SMノースEDSA  SMメガモール  SMモール・オブ・アジア	SMスーパーモールズ  オランダ大使館  フィリピン教育省  フランス大使館	2009. 09. 23 ～ 2009. 10. 21	環境保護の啓発を目的としたショッピングモールチェーンのSMグループの活動の一環として、日本やフランス、オランダ等各国の環境関連の映画を集めたグリーンフィルム・フェスティバルを開催。日本からは『ABONG小さな家』を出品

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	Video Act: Japanese Documentary Film Now	マニラ	シャングリラ・プラザモール  フィリピン大学フィルムインスティテュート	シャングリラ・プラザモール  フィリピン大学フィルムインスティテュート	2010. 03. 06 ~ 2010. 03. 18	若者の失業問題など現代日本の社会問題などをテーマとするドキュメンタリー作品5本を、メトロマニラ首都圏内の2会場にて上映。また、フィリピンのゴミ山で暮らす人々の生活を追った『バスーラ』を上映し、監督によるトークセッションを実施

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	テーマ別日本語教育実習講座 (Practice Teaching Course-Advance1)	マニラ	マニラ日本文化センター会議室		2009. 03. 21 ~ 2009. 04. 04	日本語能力試験3級以上の日本語教師向け教授法講座（有料）。受講料700ペソ。計9時間。受講者5名
12	先生の日本語4	マニラ	マニラ日本文化センター		2009. 03. 25 ~ 2009. 05. 25	日本語能力試験3級以上の日本語教師向け日本語講座（有料）。受講料2,500ペソ。計32時間。受講者7名
13	月例日本語教育研究交流会（第1四半期分）	マニラ	マニラ日本文化センター図書館		2009. 04. 01 ~ 2009. 06. 30	日本語教育およびその周辺領域における分野の実践・研究月例報告会。第1四半期は、4月（第1期JENESYS若手日本語教師派遣プログラムの帰国報告会）と6月（国際協力機構青年海外協力隊（JOCV）正田明子隊員による活動報告）の2回実施
14	ウィークリーワークショップ	マニラ	マニラ日本文化センター図書館		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	週1回（金曜、18:30~20:30）図書館スペースを日本語教師のために開放し、日頃の授業についての問題や悩みを共有し、協働作業や情報交換を行うワークショップ（無料）を計19回実施
15	月例日本語教育研究交流会	マニラ	マニラ日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本語教育及びその周辺領域における分野の実践・研究月例報告会（無料）。計8回実施
16	ニューズレター『みりえんだ』発行	マニラ	マニラ日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	マニラ日本文化センターが発行する日本語教師向けニューズレター。年2回、各2,000部発行
17	先生の日本語1	マニラ	マニラ日本文化センター		2009. 04. 02 ~ 2009. 06. 30	日本語能力試験4級以上の日本語教師向け日本語講座（有料）。受講料4,000ペソ。計50時間。受講者5名
18	「日本語・日本文化紹介授業」のための高校教師養成講座	マニラ	マニラ日本文化センター図書館	フィリピン教育省（広報協力）	2009. 04. 13 ~ 2009. 05. 13	公立高校の現職教員を対象とした、日本語・日本文化に関する教師養成講座（無料）。平成20年度先駆的・創造的事業採用案件の一環。教材費500ペソ。計39時間。受講者19名
19	テーマ別日本語教育実習講座 (Practice Teaching Course-Advance2)	マニラ	マニラ日本文化センター図書館		2009. 05. 17 ~ 2009. 06. 10	日本語能力試験3級以上の日本語教師向け教授法講座（有料）。受講料800ペソ。計10時間。受講者9名

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	第9回日本語教師フォーラム	マカティ	国際協力機構 (JICA) フィリピン事務所 オーディトリウム	国際協力機構 (JICA) フィリピン事務所	2009. 05. 22 ~ 2009. 05. 23	日本語教師のネットワーク強化を目的に年2回開催している日本語教師フォーラムの第9回目。外国語教育に携わる政府機関、外国文化機関の関係者を招き、フィリピンにおける外国語教育の現状や将来の展望について討議。また、桂歌蔵 (落語家) を招き、文化紹介プログラムとして落語の公演を実施
21	日本語教育実習講座 (セブ <i>Practice Teaching Course</i> )	セブ	NEC Telecom Software Phils. Inc.	NECフィリピン (会場提供)  ビサヤ地域日本語教師会 (広報・運営協力)	2009. 06. 12 ~ 2009. 06. 14	教授法を学ぶ機会が少ないビサヤ地域の日本語教師を対象に、3日間の集中実習講座 (有料) を実施。受講料1,300ペソ。計20時間。受講者18名
22	テーマ別日本語教育実習講座 ( <i>Practice Teaching Course-Advance3</i> )	マニラ	マニラ日本文化センター図書館		2009. 06. 17 ~ 2009. 07. 01	日本語能力試験3級以上の日本語教師向け教授法講座 (有料)。受講料800ペソ。計10時間。受講者6名
23	「日本語・日本文化紹介授業」のための高校教師養成講座フォローアップ研修	マニラ	マニラ日本文化センター図書館	フィリピン教育省 (広報協力)	2009. 06. 26 ~ 2010. 03. 27	公立高校の現職教員を対象とした日本語・日本文化に関する教師養成講座受講者のためのフォローアップ研修 (無料) を、毎月最終土曜日に実施。日本文化・日本語を教授する上での課題の共有や、日本語・日本文化に関する理解の向上、教授法の習得が目的。国際交流基金平成20年度先駆的・創造的事業採用案件の一環。教材費200ペソ。受講者16名
24	おしゃべりサロン	マニラ	マニラ日本文化センター図書館		2009. 08. 01 ~ 2010. 03. 31	マニラに派遣されているJENESYS若手日本語教師が、毎週交代でマニラ日本文化センターの図書館において来館者を対象とした、日本文化紹介活動や日本語会話レッスンを実施
25	日本語教育実習講座 (PT1)	マニラ	マニラ日本文化センター会議室		2009. 08. 17 ~ 2009. 09. 28	日本語能力試験3級以上の日本語教師向け教授法講座 (有料)。日本語教授法の基礎を学習。受講料2,000ペソ。計24時間。受講者7名
26	先生の日本語2	マニラ	マニラ日本文化センター会議室		2009. 08. 20 ~ 2009. 12. 15	日本語能力試験4級以上の日本語教師向け日本語講座 (有料)。受講料5,000ペソ。計64時間。受講者4名

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
27	会社キャラバン	マニラ  カビテ	フロレン ティノ・ト レス高校  フィリピン・ オート・コン ポーネツ  グローリー・ フィリピン  トヨタ紡織 フィリピン	フィリピン教 育省  フィリピン・ オート・コン ポーネツ  グローリー・ フィリピン  トヨタ紡織 フィリピン  フィリピン日 本人商工会議 所  富士通フィリ ピン	2009. 08. 24 ~ 2009. 10. 21	フィリピン国内の日系企業4社の協力を得て、日本伝統のものづくりの精神や職人技術を紹介するための出前授業や工場訪問型授業を実施。日本語を学ぶマニラ首都圏の高校6校の生徒246人が参加
28	先生の日本語中級文法	マニラ	マニラ日本文 化センター会 議室		2009. 08. 29 ~ 2009. 11. 10	日本語能力試験3級以上の日本語教師向けの文法に特化した日本語講座（有料）。受講料2,400ペソ。計30時間。受講者8名
29	ダバオ日本語フォーラム	ダバオ	ミンダナオ国 際大学（ダバ オ）	ミンダナオ国 際大学	2009. 10. 01	ミンダナオ地域の日本語教師のネットワーク強化及び、日本語学習者の学習意欲の向上を目的に、ダバオで初めてとなる日本語フォーラムを開催。フィリピン人日本語教師会及びヴィサヤ地域日本語教師会から講師を招き、地域毎の日本語教師のネットワーク化等をテーマに講演、討議等を実施
30	テーマ別教授法実習講座（セブ <i>Practice Teaching Course- Advance</i> ）	セブ	NEC Telecom Software Phils. Inc.	NECフィリピン （会場提供）  ビサヤ地域日 本語教師会 （広報・運営 協力）	2009. 10. 17 ~ 2009. 10. 18	教授法を学ぶ機会が少ないビサヤ地域の日本語教師を対象に、2日間の集中実習講座（有料）を実施。受講料850ペソ。計12時間。受講者11名
31	第10回日本語教師フォーラム	サンタ・クル ス	ラゴス・デ ル・ソル・リ ゾート（カリ ラヤ）	フィリピン人 日本語教師会	2009. 11. 14 ~ 2009. 11. 15	日本語教師のネットワーク強化を目的に、1泊2日の合宿形式で教師フォーラムを実施。「ネットワークの強化：スキル向上による教師のエンパワメント」をテーマに、3つの文型に応じた例文を、研修生、ホテル・レストラン経営、子供などカテゴリ別に作成するワークショップを開催
32	日本語教育実習講座（PT2）	マニラ	マニラ日本文 化センター図 書館		2010. 02. 12 ~ 2010. 03. 23	日本語能力試験3級以上の日本語教師向け教授法講座（有料）。日本語教授法の基礎を学習。受講料1,900ペソ。計24時間。受講者13名

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
33	第2回日本語クイズビー	マニラ	SMモールオブアジア (マニラ)	フィリピン人日本語教師会	2010. 02. 27	フィリピン国内で日本語を学ぶ高校生を対象に、学校対抗の日本語及び日本文化に対するクイズ大会を実施。メトロマニラ首都圏およびダバオ市の高校11校34名が参加
34	第37回日本語スピーチコンテスト	マニラ	SMモールオブアジア (マニラ)	SMモールオブアジア SMスーパーモールズ セブ・パシフィック航空 フィリピン人日本語教師会 フィリピン日本人商工会議所 マニラ日本人会 在フィリピン大使館	2010. 02. 27	日本語フィエスタの中核として、フィリピン人日本語学習者による日本語スピーチコンテストを実施。学生部門、社会人部門、オープン部門の3部門に、マニラ、セブ、ダバオの各地方予選を勝ち抜いた18名が参加

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
35	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	フィリピン最大の日本語教育及び日本文化に関するリソースセンターとしての役割を果たすため、日本語教材に加え、特に昨今関心の高いアニメ関連の雑誌・書籍や漫画といった日本の現代文化に関する蔵書を拡充  ①所蔵資料合計： 4,032点 ②登録会員数： 166名 ③利用者数(年間)： 3,642名 ④貸出点数(年間)： 1,980点 ⑤レファレンス件数(年間)： 1,672件



海外事務所

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
36	ウェブサイト運営	2009.04.01 ~ 2010.03.31	マニラ日本文化センターのイベント、公募事業等を紹介するサイトを運営。年間アクセス数は、29,627件 URL: <a href="http://www.jfmo.org.ph/index.php">http://www.jfmo.org.ph/index.php</a>
37	ニューズレターSUKI発行	2009.04.01 ~ 2010.03.31	マニラ日本文化センターの文化・芸術交流、日本研究・知的交流に関するニューズレター。年3回発行。発行部数は各6,000部

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
38	ハロー・ジャパン・スペシャル	マニラ	在フィリピン大使館	マニラ・グリークラブ  在フィリピン大使館	2009.07.23	NGO「カンルガン・サ・エルマ」が支援するストリートチルドレンを対象とした日本文化紹介事業。相撲大会や日本の唱歌紹介、日本語会話レッスンなどを実施
39	Jポップ・アニメ歌唱コンテスト	マニラ	Market!Market!	Center for Pop  Hero Channel  MAX FM  アヤラ・センターモール  在フィリピン大使館  東映フィリピン  日本語センター財団	2009.07.25	日本のアニメソングやJポップ歌曲を日本語で歌うコンテストと、サイレント・アニメの上映会、移動マンガ図書館を実施。歌唱コンテストについては、85件の応募の中から選ばれた10組が出場

海外事務所

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
40	日本映画祭	マニラ   セブ  ダバオ  バギオ	シャングリラ・プラザモール  フィリピン大学フィルムインスティテュート  アヤラセクター・セブ  ガイサノ・サウス・シティモール  バギオ・シティ・セクターモール	シャングリラ・プラザモール  フィリピン大学フィルムインスティテュート  在フィリピン大使館  セブ出張駐在官事務所  セブ日本人会 セブ日本人商工会議所  ダバオ出張駐在官事務所	2009.07.02 ~ 2009.08.20	『ALWAYS 三丁目の夕日』、『嫌われ松子の一生』などの日本映画8作品を上映。7月の日比友好月間関連行事
41	海外巡回展「未来への回路ー日本の新世代アーティスト」	マニラ	デ・ラ・サール大学セントベニルデ校現代美術とデザイン美術館	デ・ラ・サール大学セントベニルデ校現代美術とデザイン美術館  在フィリピン大使館	2009.07.07 ~ 2009.08.07	7月の日比友好月間関連行事として、デ・ラ・サール大学セントベニルデ校と共催で、「未来への回路ー日本の新世代アーティスト」展を実施。また、フィリピンの若手現代美術家による作品も併せて展示
42	アジア大洋州クラシック音楽公演	マニラ	フィリピン文化センター・リトルシアター  サント・トマス大学音楽学部	フィリピン文化センター・リトルシアター  サント・トマス大学音楽学部	2009.07.14 ~ 2009.07.16	7月の日比友好月間の目玉行事として、日本の若手クラシック音楽家及び邦楽演奏家による公演とマスタークラスを実施

## (2) 助成・協力事業

## 【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
43	小規模助成（文化芸術）日比混血児童のための演劇ワークショップ	女性のための行動ネットワーク（Development Action for Women Network (DAWN)）	2009.03.01～2009.04.30	日比混血児童を対象にした演劇ワークショップ。児童20名程度が参加し、5月にはワークショップの成果を披露するミュージカル公演を実施。実施経費の一部を助成
44	小規模助成（文化芸術）照明ワークショップ	石山朝美	2009.04.16	アジア経営大学院の日本人留学生とシナグ・アーツ財団が実施する、舞台照明技術に関するワークショップ。実施経費の一部を助成
45	小規模助成（文化芸術）第5回ヴァージン・ラブ・フェスト選集出版事業	Tanghalang Pilipino Foundation, Inc.  Writer's Bloc  フィリピン文化センター	2009.06.23～2009.07.05	未発表、未上演の戯曲のみを集めた演劇祭の、過去の上演作品52作品のうち、秀作15作品を集めた選集の印刷・出版経費の一部を助成。秀作15作品のうちのひとつとして、坂手洋二の『三人姉妹』を選出
46	小規模助成（文化芸術）Zensors	Belarmino&Partners	2009.08.11～2009.08.19	日本、フィリピン、その他海外のニューメディアの分野で活躍するアーティストを招き、公演や学生等を対象としたワークショップを実施。実施経費の一部を助成
47	小規模助成（文化芸術）AMBAGAN第5回フィリピン国際舞台芸術祭	Balay na Santiago	2009.09.29～2009.10.02	日本を含む世界各国からアーティストを招へいし、4日間にわたりサンティアゴ市において、舞台芸術や造形美術に関わる発表、ワークショップを実施する、前衛的な国際舞台芸術祭。実施経費の一部を助成
48	小規模助成（文化芸術）Mangaholix 2009 コスプレ写真コンテスト	マンガホリックス (Mangaholix)	2009.11.21～2009.11.22	日本の漫画やアニメに関する祭典、第3回Mangaholixにおいて「クールジャパン」やJ-POPをテーマにしたコスプレの写真コンテストを実施。実施経費の一部を助成
49	小規模助成（文化芸術）第7回フィリピン極真空手選手権	極真会館フィリピン支部	2009.12.05	極真会館フィリピン支部が主催する、空手の全国大会。実施経費の一部を助成
50	小規模助成（文化芸術）TUPADAアクション・メディア芸術祭2009	Tupada Action and Media Art, Inc.	2009.12.07～2009.12.10	ダンス、文学、写真やニューメディアなどの分野に関わるフィリピン国内外のアーティストによるパフォーマンスや作品発表を行うアートの祭典。実施経費の一部を助成
51	小規模助成（文化芸術）ユースエコサミット	Cordillera Green Network Inc	2010.01.21～2010.02.02	フィリピン人環境教育ファシリテーターによる環境教育セミナーの実施及び日本人の吉田智久（演出家）による環境をテーマとして演劇指導ワークショップを実施。実施経費の一部を助成
52	小規模助成（文化芸術）Ganda Asia	Enigmata Creative Circle Inc.	2010.01.27～2010.02.28	国際交流基金の平成21年度東アジアクリエイター招へい事業に参加したロザリー・ゼルド（M. Rosalie Zerrado:映像作家）が主催する環境をテーマにした映像制作事業。実施経費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
53	小規模助成（日本語） <i>SULYAP 3</i> ：日本語ショートフィルム・コンペティション	フィリピン大学トモカイ（UP Tomokai）	2010. 03. 13	フィリピン大学の学生サークルが主催する日本語ショートフィルムのコンペティション。「環境」をテーマにフィリピン大学及びサント・トマス大学の学生グループらが4作品を出品。実施経費の一部を助成

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
54	第8回セブ日本語スピーチコンテスト	セブ日本人会	2010. 01. 31	セブ日本人会主催の第8回セブ日本語スピーチコンテストに対し、後援名義を付与

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
55	照明機材の貸出	シナグ・アーツ財団	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	舞台芸術用照明機材の貸し出し
56	展示用パネルの貸出	フィリピン国際カートゥーン・コミックス・アニメーションズ	2009. 10. 15 ～ 2009. 10. 18	フィリピンにおける漫画、アニメーション文化に関わる情報の国内外への発信を目的に、作品の展示、ワークショップ、アニメーション上映などを実施する事業に、展示用什器20基を貸し出し
57	国際機関展示会	デ・ラ・サール大学芸術学部	2010. 02. 08 ～ 2010. 02. 10	フィリピン国家芸術委員会が定める2月の文化芸術月間を記念し、各国の芸術文化を紹介するために、国際交流基金や他の外国文化機関の協力を得て写真や絵画などを展示。国際交流基金からは、世界遺産写真展の一部を貸し出し
58	トラベル・エキスポ2010	日本航空マニラ支店	2010. 02. 15 ～ 2010. 02. 19	コンベンションセンターSMXで開催されたフィリピン観光省主催の観光産業展に日本航空らが出展する日本紹介ブース展示用として、世界遺産写真展の一部を貸し出し

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
59	<i>J-MTV</i>	フィリピン大学言語学部	2009. 09. 10	フィリピン大学で日本語を専攻する学生を対象に、Jポップ音楽用のプロモーションビデオ制作コンテストを実施。入賞者への賞品を提供
60	移動マンガ図書館	アニメ・オーバーロード、マンガホリックス2009	2009. 11. 08 ～ 2009. 11. 22	センター図書館所蔵のマンガやアニメ雑誌、ファッション雑誌数十冊を、本棚、ソファ等々の什器とともに、日本のポップカルチャー紹介ブースとしてパッケージ化し、外部団体が主催する大規模なマンガ・アニメ・コスプレ関連イベントに移動マンガ図書館として出展
61	大学対抗日本語クイズ大会	アダムソン大学文化交流会	2009. 12. 12	アダムソン大学の学生サークル「文化交流会」が主催する、メトロマニラ首都圏で日本語教育を行う大学対抗のクイズ大会。入賞者への賞品を提供

## 海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
62	第7回外国語歌唱コンテスト	ライセウム大学	2010. 02. 18	日本語、スペイン語、フランス語、中国語を学ぶ学生が、それぞれの学習言語による歌唱能力を競うコンテスト。入賞者への賞品を提供
63	<i>J-Komersiyal</i>	フィリピン大学言語学部	2010. 02. 18	フィリピン大学で日本語を専攻する学生を対象に、日本語を用いたCM制作コンテストを実施。入賞者への賞品を提供

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	日本の「のれん」展	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2009.05.20 ~ 2009.06.30	各月を象徴する絵柄の暖簾12枚をクアラルンプール日本文化センター内ギャラリースペースに展示し、日本の季節の移り変わりを表現
2	「職：WORK 1990～1995」	ペナン	ペナン州立美術館	ペナン州立美術館	2009.07.01 ~ 2009.07.11	クアラルンプール日本文化センター所蔵写真セット「職：WORK 1990～1995」の展示
3	「日本の世界遺産」展	マラッカ	マラッカ歴史博物館（スタダイス）	マラッカ歴史博物館（スタダイス）	2009.07.01 ~ 2009.07.31	マラッカ世界遺産登録1周年を記念し、クアラルンプール日本文化センターが所有する写真パネル「日本の世界遺産」展を実施
4	Tanah Timur (マレーシア・常滑陶芸レジデンシー成果展)	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター	Patisatu studio	2009.07.06 ~ 2009.07.16	マレーシアを代表する現代陶芸作家のUmibaizuraが、常滑で出会った2名の女性陶芸家を自らのスタジオに招へいし2週間のレジデンシー活動を行なった。本展覧会では、そのレジデンス期間に制作された作品と、それぞれの作家の持ち込んだ作品との両方を展示
5	こけしの世界展@Bangsar Village	クアラルンプール	Bangsar Village	Bangsar Village	2009.07.17 ~ 2009.08.02	クアラルンプール内ショッピングセンターを会場に、クアラルンプール日本文化センターが所有する「日本のこけし展」セット、及び文化備品を用いた展覧会を実施
6	日本文化祭2009@マラ工科大学ペラキャンパス	スリ・イスカンダール（ペラ州）	マラ工科大学ペラキャンパス		2009.10.05 ~ 2009.10.19	マラ工科大学ペラキャンパスで教壇に立つ元日本留学生である講師達が発起人となって企画した日本文化祭。クアラルンプール日本文化センターより浮世絵、こけし展セットを貸出
7	浮世絵展@Taylor's College	スバンジャヤ	Taylor's College		2009.10.07 ~ 2009.10.16	テイラーズ・カレッジ (Taylor's College) との共催により、クアラルンプール日本文化センターが所有する浮世絵セット（45作品）の展覧会を開催
8	Chang Yoong Chia The 2nd Seven Years: Quilt of the Dead, Flora & Fauna IV, Narratives	クアラルンプール	The Annexe Gallery, Central Market		2009.11.19 ~ 2009.12.06	チャン・ヨンチア（ビジュアル・アート）のキャリアの8年目から14年目までの間に参加した数々の海外レジデンシーを通して表れた、既存の4つの作品シリーズの変化・発展を発表。平成20年度の東アジアクリエイター招へいで滞在した札幌S-AIRでの活動や作品を中心に、39点を展示
9	「職：WORK 1990～1995」	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2010.03.09 ~ 2010.03.29	クアラルンプール日本文化センター所蔵写真セット「職：WORK 1990～1995」の展示

海外事務所

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	山下 残レジデンシープロジェクト	クアラルンプール	Annexe, Central Market Five Arts Centre  Tenggri, Bangsar	ダンスアジア (Dance Asia) Five Arts Centre  アサヒビール 芸術文化財団	2009. 07. 21 ~ 2009. 08. 28	山下残（ダンサー）をクアラルンプールに招へいし、一般対象に日本の俳句をモチーフにしたダンス作品 <i>It is just me coughing</i> 2回公演（7月25日～26日）を実施。その後、Five Arts Centreにて約1カ月のレジデンシー活動を行い、レジデンシー終了時には、マレーシア舞台関係者に対し、成果報告を実施
11	踊りに行くぜ！！	クアラルンプール	国立芸術文化 遺産大学エク スペリメンタ ル・シアター (Experimenta l Theatre, ASWARA)	マレーシア国 立芸術文化遺 産大学 (ASWARA)  Japan Contemporary Dance Network  在マレーシア 大使館  文化庁	2009. 08. 10 ~ 2009. 08. 21	日本から3組のアーティスト（森下真樹、星加昌紀、P' Lush）を招へいし3作品を披露。更に国立芸術文化遺産大学（ASWARA）学生19名に対し、黒田育世（BATIK主宰／ダンサー／振付家）がミュージシャンの松本じろと共に7日間の集中ワークショップを実施、創作した新作を上演
12	ブルネイ日本週間への和太鼓派遣 (在外日本文化専門家第三国間派遣 事業)	バンドルスリ ブガワン（ブ ルネイ）	ブルネイ大学	在ブルネイ大 使館	2010. 03. 09 ~ 2010. 03. 11	平成21年度在外日本文化専門家第三国間派遣事業にて、クアラルンプール在住の和太鼓チーム（3名）をブルネイに派遣。ブルネイ大学で開催された日本週間で演奏

海外事務所

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	「クリエイティブ エコノミーズ」：アジア-ヨーロッパ エマージング フォトグラファーズ フォーラム (“Creative Economies” Asia-Europe Emerging Photographers’ Forum)	クアラルンプール	Annexe Gallery  National Art Gallery	アジア・ヨーロッパ・ファウンデーション・シンガポール オフィス Asia-Europe Foundation (ASEF) Singapore Office  ゲーテ・インスティトゥート クアラルンプール Goethe-Institut, Kuala Lumpur	2009. 05. 11 ~ 2009. 05. 17	アジア・ヨーロッパ・ファウンデーション (ASEF) シンガポールオフィスとの共催で、「クリエイティブ・エコノミーズ」というテーマでアジアとヨーロッパ各地の若手写真家が集まり、フォトグラフィーの世界からみた「グローバル経済危機」についてのフォーラムを開催。日本から、中村浩美 (東京都写真美術館キュレーター) を基調講演者、ファシリテーターとして招へい。フォーラム参加者による作品の写真展も開催
14	Dr. Ghouse (ASWARA学長) パブリックトーク	クアラルンプール	国立芸術文化遺産大学 (ASWARA) Orchestra Hall	国立芸術文化遺産大学 (ASWARA)	2009. 11. 10	平成21年度文化人招へいスキームのフォローアップ事業として、クアラルンプール日本文化センター在外事業にて Dr. Ghouse (国立芸術文化遺産大学 (ASWARA) 学長) による、同大学でのパブリックトークを実施。日本滞在中の経験談などを、スライドを用いながら学生・教職員らに紹介
15	能パブリックレクチャー、デモンストレーション、ワークショップ	クアラルンプール  プタリンジャヤ	KL Pac  PJ Live Arts	ペンタス・プロジェクト (Pentas Project)	2010. 01. 27 ~ 2010. 01. 31	ペンタス・プロジェクト (Pentas Project) との共催により、リチャード・エマート (武蔵野大学文学部教授) を招へいし、一般人向けレクチャー・デモンストレーション及びワークショップを実施。アメリカ生まれの同氏が英語で能の歴史、テクニック、現在の状況についてプレゼンテーションを行ったほか、日本から持参した衣装、能面、楽器などを使用したデモンストレーションも実施。ワークショップでは参加者と共に歌、踊り、楽器の練習も実施

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
16	定期日本映画上映会	クアラルンプール	マレーシアフィルム開発公社 (FINAS) ミニシアター	マレーシアフィルム開発公社  在マレーシア大使館	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	東アジア・フィルム・ライブラリー所蔵16mm作品の上映。原則第1・第3土曜日の月2回開催で、平成21年度上半期は7回上映 (『野菊の墓』、『私をスキーに連れてって』、『学校II』、『十五才 学校IV』、『曾根崎心中』、『細雪』、『ハチ公物語』)。下半期は9回上映 (『風花』、『風音』、『時雨の記』、『阿修羅のごとく』、『鉄道員』、『恋する女たち』、『男はつらいよ 柴又より愛をこめて』、『大誘拐』、『ガラスのうさぎ』)



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
17	日本映画祭2009	クアラルン プール  ペナン	ゴールデン・ スクリーン・ シネマ (GSC) ミッドバレー  ゴールデン・ スクリーン・ シネマ (GSC) ワンウタマ  ゴールデン・ スクリーン・ シネマ (GSC) ガーニープラ ザ	ゴールデン・ スクリーン・ シネマ (GSC)	2009. 06. 16 ~ 2009. 06. 28	日本で近年公開された比較的新しい作品の特集上映。会場であるゴールデン・スクリーン・シネマ (GSC) との共催で、『おくりびと』をはじめとする8本の映画を上映
18	ヤスミン・アーマッド監督追悼映画 上映会「男はつらいよ」	クアラルン プール	The Annexe Gallery, Central Market	The Annexe Gallery, Central Market	2009. 09. 07	マレーシアの映画監督のお気に入りの外国映画を上映する月1回のThe Annexe Gallery主催事業。7月に急逝したヤスミン・アーマッド監督が亡くなる直前に1番のお気に入りとしてブログに掲載していた「男はつらいよ (第1作)」を東アジア・フィルム・ライブラリー所蔵の作品を用いて上映

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
19	日本語ショートドラマコンテスト	クアラルン プール	クアラルン プール日本文 化センター	在マレーシア 大使館  マレーシア日 本人商工会議 所  クアラルン プール日本人 会	2009. 04. 01 ~ 2009. 09. 25	大学生を対象に実施する日本語スケッチコンテストの2回目。日本語でスキットを演じる様子をビデオやDVDなどで撮影して応募、審査。1グループ4人、応募数6グループ (3大学)
20	クアラルンプール日本文化センター 一般日本語講座運営	クアラルン プール	クアラルン プール日本文 化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	中上級レベルの学習者を対象とした日本語講座を運営。1年間のコース (中級1、中級2、上級) を基本に、平成21年度は「ビジネス場面で学ぶ日本語とマナー」「日本語能力試験1級対策」の2種類の短期コースを実施。受講者数は、①前期：中級1 (20人) 中級2 (20人) 上級 (22人)、②後期：中級1 (16人) 中級2 (18人) 上級 (16人)、③ビジネス日本語講座：20人、④日本語能力試験1級対策講座：19人

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	中等教育副教材作成	クアラルン プール	クアラルン プール日本文 化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	中等学校に導入された新シラバスに準拠した教科書が1年生以外 の学年については用意されていない状況下、新シラバスに 基づく授業を行うための教授用リソースをクアラルンプール 日本文化センターが制作する。平成21年度は2年生用を制作
22	小規模日本語教材寄贈	クアラルン プール	クアラルン プール日本文 化センター	マレーシア教 育省	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	新規に日本語教育を開始した、または開始して間もない中等 教育機関(平成21年度は16校)に対する教材寄贈。書籍・DVD等 計14点のパッケージ
23	高校生日本語弁論大会	クアラルン プール	クアラルン プール日本人 会	在マレーシア 大使館  マレーシア日 本人商工会議 所  クアラルン プール日本人 会	2009. 04. 26	2004年から開始して今年で6回目。全寮制中等学校、一般中等 学校、民間日本語学校などで日本語を学習している15歳から 18歳までの高校生を対象に実施。入賞者のうち、「東京賞」1 名は日本の特定非営利活動法人エデュケーション・ガーディ アンシップ・グループ主催の第14回海外高校生による日本語 スピーチコンテストに、「関西賞」2名は国際交流基金関西国 際センターの「日本語学習者訪日研修(高校生)」プログラ ムに参加。一般中等学校および民間学習者からの原稿審査通 過者7名(応募者16名)に全寮制中等学校からの7名(教育省 からの推薦)を加えて、出場者数14名、来場者数約100名
24	中等教育セミナー	プルリス  クアラルン プール  ヌグリ・スン ピラン  トレンガヌ  サラワク	SMS Tuanku  Syed Putra  SBPI Gombak  SMAP Labu  SMS Sultan Mahmud  SMS Miri	マレーシア教 育省	2009. 04. 27 ~ 2009. 06. 25	中等教育機関教師の日本語能力と教授能力の向上を目的とし て、マレーシア教育省学校局(School Division, Ministry of Education)との協働で、平成19年度より実施している。 平成20年度は教育省の予算不足が生じたことから実施され ず、第2回目となった2009年度は新シラバス理解及び新シラバ スに基づくカリキュラム作成をテーマに実施
25	日本語教師研修コース	クアラルン プール	クアラルン プール日本文 化センター		2009. 05. 16 ~ 2010. 02. 20	日本語能力試験2級程度の日本語力を有するマレーシアの日本 語教師または教師志望者に対し、初級日本語講座で教えるこ とができる程度の教授能力を獲得させることを目標とする講 座。今年度は、コース名を前年度までの「教師養成」から 「教師研修」とし、日本語教師の新規養成から、すでに日本 語を教えている教師の質的向上にシフトするとともに、より 多くの教師に研修の機会を提供できるよう、前年度までの2年 コースを1年コースに改めた

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
26	浦和研修事前オリエンテーション	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2009. 05. 25 ～ 2010. 03. 16	日本語国際センター訪日研修の参加者に対し、研修内容等のオリエンテーションを実施するとともに、クアラルンプール日本文化センターから独自にPersonal Mini Project(PMP：訪日の機会を活用して、自身や所属機関が抱える日本語教育上の課題の解決法を研究)の実施を促し、課題設定を支援。研修中に参加者が実施したPMPの成果は、日本語国際センター研修報告会にて発表
27	マレーシア教育省 国際言語教員養成所 (IPBA) 第3期生JENESYSプログラム不参加者短期研修	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター	マレーシア教育省 国際言語教員養成所 (IPBA)	2009. 06. 20 ～ 2009. 07. 05	マレーシア教育省による中等教育日本語教員養成事業への協力の一環として、養成コース2年目でインターンシップ実施中の第3期生のうち、「東アジア若手日本語教師特別招へいプログラム (JENESYS)」に参加できなかった教員に対し、代替措置としてクアラルンプール日本文化センターにおいて短期集中研修を実施
28	日本語弁論大会 (予備教育の部)	シャー・アラーム	スランゴール産業大学	スランゴール産業大学JADプログラム (Universiti Industri Selangor, JAD Program)  東方政策元留学生同窓会 (ALEPS)  在マレーシア大使館  マレーシア日本人商工会議所  クアラルンプール日本人会	2009. 07. 04	日本語弁論大会一般の部から独立して14回目。日本の大学・高専に留学するための予備教育機関で日本語を勉強している学生 (2年次まで) を対象に実施。各機関から3名選出×4機関の合計12名が出場。優勝者には在マレーシア大使館から大使杯を授与。平成21年度はスランゴール産業大学 (UNISEL) で実施。来場者数約500名
29	日本語弁論大会 (一般の部クアラルンプール大会)	クアラルンプール	クアラルンプール日本人会	在マレーシア大使館  マレーシア日本人商工会議所  クアラルンプール日本人会	2009. 08. 02	1985年の開始以来25回目。最近5年間の滞日経験が90日を超えないマレーシアの日本語学習者を対象とした弁論大会のクアラルンプール地区大会。各地区大会 (クアラルンプール、ペナン、イポー) の上位入賞者は全国大会に進出。応募者17名、一次審査で原稿審査を実施、出場者10名。来場者数、約50名

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
30	日本語弁論大会（ペナン大会）	ペナン	Kompleks Masyarakat Penyayang		2009. 08. 08	1985年の開始以来25回目。最近5年間の滞日経験が90日を超えないマレーシアの日本語学習者を対象とした弁論大会のペナン地区大会。各地区大会（クアラルンプール、ペナン、イポー）の上位入賞者は全国大会に進出
31	日本語弁論大会（イポー大会）	イポー	Ipoh City & Country Club		2009. 08. 08	最近5年間の滞日経験が90日を超えないマレーシアの日本語学習者を対象とした弁論大会のイポー地区大会。各地区大会（クアラルンプール、ペナン、イポー）の上位入賞者は全国大会に進出
32	日本語弁論大会（一般の部全国大会）	クアラルンプール	クアラルンプール日本人会	在マレーシア大使館 マレーシア日本人商工会議所 クアラルンプール日本人会	2009. 08. 16	1985年の開始以来25回目。最近5年間の滞日経験が90日を超えないマレーシアの日本語学習者を対象とした弁論大会の全国大会。地区大会（クアラルンプール、ペナン、イポー）の上位入賞者が出場、優勝・準優勝者は社団法人在外企業協会が招へいする日本研修旅行に参加。優勝者には大使杯授与。出場者数10名（クアラルンプール5名、ペナン3名、イポー2名）。来場者数、約80名
33	日本語教育研究発表会・浦和研修報告会	クアラルンプール	マラヤ大学言語学部		2009. 10. 10	マレーシアにおける日本語・日本語教育（学）に関する研究発表および国際交流基金日本語国際センターの海外日本語教師研修の参加者による報告をおこなうセミナー。年1回開催、平成21年度は6回目。研究発表会では公募による口頭発表2件とポスター発表9件、研修報告会では研修参加者による口頭発表1件およびポスター発表（展示含む）12件を実施した。参加者は研究発表会108名、研修報告会64名
34	日本語教育地域セミナー（北部）	ペナン	ペナン日本語協会		2009. 11. 05	国内を北部、東海岸-南部-中部、東マレーシアの3ブロックに分け、それぞれ年1回実施。クアラルンプール日本文化センター教師研修コースの16のトピックの中から選択した内容で構成。参加者は14名
35	日本語教育地域セミナー（東マレーシア）	コタキナバル	サバ・マレーシア大学知識・言語促進センター日本語研究室 (Makmal Bahasa Jepun, Pusat Penataran Ilum dan Bahasa, Universiti Malaysia Sabah)		2009. 11. 05	国内を北部、東海岸-南部-中部、東マレーシアの3ブロックに分け、それぞれ年1回の実施。クアラルンプール日本文化センター教師研修コースの16のトピックの中から選択した内容で構成。参加者は15名

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
36	マレーシア日本語教育セミナー	クアラルンプール	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース (AAJ)		2010. 03. 06 ~ 2010. 03. 07	毎年1回、マレーシア全域の日本語教師を対象に実施。平成21年度については「新日本語能力試験と日本語教育」をテーマに実施。講師は伊東祐郎（東京外国語大学留学生日本語教育センター教授）、ボイクマン総子（筑波大学留学生センター非常勤講師）、植木正裕（日本語試験センター研究員）及び松浦とも子（日本語国際センター専任講師）。1日目参加者150名、2日目A会場52名、B会場61名

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
37	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本文化・日本語に関する情報提供を目的として図書館を運営 ①所蔵資料合計： 17,812点 （内訳：日本語書籍9,675冊、外国語書籍6,098冊 映像・音声資料2,039点） ②登録会員数： 540名 ③利用者数（年間）： 9,471名 ④貸出点数（年間）： 19,604点 ⑤レファレンス件数（年間）： 492件

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
38	広報誌 <i>TEMAN BARU</i> 発行	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	クアラルンプール日本文化センターのニューズレターを隔月で発行。平成21年度は12,000部を発行
39	日本語教育広報誌『ブンガラヤ』発行	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本語教育専門のニューズレター。季刊を原則としているが、平成21年度は事情により1回のみ1,000部を発行
40	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	クアラルンプール日本文化センター事業を紹介するサイト 年間アクセス件数：79,944件 URL: <a href="http://www.jfkl.org.my/">http://www.jfkl.org.my/</a>

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
41	学校訪問受け入れ	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	通年にわたり、中等学校、大学、国際理解クラブなど学校等教育機関の団体を受け入れ、事務所スタッフによる各種ワークショップなどの日本文化紹介プログラムを実施。平成21年度は3機関計104名を受け入れ

海外事務所

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
42	東アジアクリエイター招へい (JENESYS) プログラム Yap Sau Bin レジデンシー報告会	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2009. 04. 09	平成20年度東アジアクリエイター招へい (JENESYS) プログラムで日本に滞在した、Yap Sau Bin (マルチメディア大学講師/アーティスト兼アートプログラマー) による報告会。日本滞在中に撮影した写真をもとに、大阪電気通信大学でのレジデンシーの様子や、訪問した各美術館や黄金町バザールなどの活動内容を報告・紹介
43	日本文化祭 in クダ	アロー・スター	クダ州立図書館	クダ州立図書館	2009. 04. 28 ~ 2009. 04. 30	マレーシア北部クダ州の州立図書館において『ドラえもん：のびたの恐竜2006』その他日本映画3本の上映と、折り紙ワークショップ、伝統玩具デモンストレーション及び浮世絵展覧会を開催。映画上映には主に近隣の小中学生が、折り紙と伝統玩具には地域図書館スタッフと公立幼稚園の教員が参加
44	染物ワークショップ	クアラルンプール	ナショナル・アート・ギャラリー (National Art Gallery Malaysia)	ナショナル・アート・ギャラリー (National Art Gallery Malaysia)	2009. 06. 01	ナショナル・アート・ギャラリーとの共催による、時友尚子による染物ワークショップ。参加者が実際に布を染める経験をしながら、染め方の技法などを習得
45	いわみ せいじ漫画ワークショップ	クアラルンプール	ナショナル・アート・ギャラリー (National Art Gallery Malaysia)	ナショナル・アート・ギャラリー (National Art Gallery Malaysia) 在シンガポール大使館	2009. 08. 15	いわみせいじ (漫画家) をクアラルンプールに招へいし、主に子どもたちを対象とした漫画の描き方ワークショップを実施。在シンガポール大使館からの実施受入要請に基づき、クアラルンプールでも事業実施したもの
46	齋木 丘董 書ワークショップ	クアラルンプール	ナショナル・アート・ギャラリー (National Art Gallery Malaysia)	ナショナル・アート・ギャラリー (National Art Gallery Malaysia) 在マレーシア大使館	2009. 11. 25	齋木丘董 (さいき・きゅうきん：彫書家) による、書を用いたうちわ作りワークショップ
47	和小物作りワークショップ	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2010. 03. 20	和風の生地を使用した小物作り手芸ワークショップ。毎回新たなものを制作し、6度目を迎えた今回は、置物にもなる香袋を作成

海外事務所

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
48	アジア次世代キュレーター会議	クアラルンプール  シンガポール (シンガポール)	ナショナル・アート・ギャラリー (National Art Gallery Malaysia)  シンガポール・アート・ミュージアム (Singapore Art Museum)	ナショナル・アート・ギャラリー (National Art Gallery Malaysia)  シンガポール・アート・ミュージアム (Singapore Art Museum)	2009. 11. 04 ~ 2009. 11. 09	アジア地域の若手キュレーターが集い、各国、あるいは各所属機関における企画、問題点や課題を発表し合う会議。第5回を迎えた今回は、シンガポールとマレーシアの2カ国をまたいで開催となり、各国にて施設訪問やプレゼンテーション及びディスカッションを実施
49	日本の民謡（本部主催公演）	クアラルンプール	クアラルンプール市役所 (DBKL) ホール	在マレーシア大使館	2009. 12. 15 ~ 2009. 12. 18	民謡歌手2名を中心とした邦楽グループによるクアラルンプール公演（2回公演）
50	現代日本デザイン100選	クアラルンプール	ナショナル・アート・ギャラリー (National Art Gallery Malaysia)	ナショナル・アート・ギャラリー (National Art Gallery Malaysia)	2010. 03. 08 ~ 2010. 04. 11	日本のプロダクトデザインを取り上げた巡回展。日本の製品がデザインの美しさと機能の両方を兼ね備えているという点をより強調するべく、コクヨ社からカドケシの提供を受け、来場者が触って試せるコーナーを設置。また、フィギュアファンの動員を促すべく、マジンガーZの最新版の大型バージョンを、バンダイそしてその当地代理店パッションマーケティングより無料で借用の上、追加で展示

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
51	中等教育シラバス改定	マレーシア教育省	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	マレーシア教育省による日本語教育シラバスの改訂作業に、国際交流基金派遣専門家が協力している。今年度は、Form 1とForm 2の2学年分の新シラバスが施行されるとともに、Form 5までの新シラバス全体が完成した。新シラバスに基づくカリキュラム・授業デザイン、教科書の作成を支援。また、新シラバスにおける日本語能力試験の活用可能性を検討するため、12月の本試験におけるモニター受験に協力
52	中等教育日本語教師養成協力（IPBA）	マレーシア教育省、国際言語 教員養成所（IPBA）	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	国際言語教員養成所における中等教育日本語教員養成プログラムに対する支援を実施。これまでにコースデザイン策定、カリキュラム作成へのアドバイス、試験問題作成、自律学習用教材の作成等の支援を行っており、本年度は定例会議に出席し、コース運営等に関するアドバイス、試験実施への協力、カリキュラム進捗状況の確認と課題解決のための方策のコンサルティング等を行った

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
53	いけばなデモンストレーション、ワークショップ ( <i>Ikebana's Public Demonstration / Workshop: 45 Glittering Sapphire Celebration</i> )	いけばなインターナショナル KL チャプター72 (Ikebana International K.L. Chapter 72)	2009. 05. 21 ~ 2009. 05. 22	埼玉県読売文化センター浦和いけばな草月流講師、小林幽霞をクアラルンプールに招へいしパークロイヤルホテルにて生花のレクチャー・デモンストレーション及び一般人向けのワークショップを実施。クアラルンプールいけばなインターナショナルの50人のメンバーが同氏の指導を受け、会場にはメンバーによる作品も100点以上展示。クアラルンプール日本文化センターは同氏の謝礼、航空運賃及び宿泊費を助成
54	マラ工科大学ペナン校－国際言語会議 ( <i>UPALS ICL 2009 An International Conference of Languages</i> )	マラ工科大学ペナン校(UiTM)	2009. 05. 27 ~ 2009. 05. 29	マラ工科大学(UiTM)ペナン校で開催される初めての言語分野での国際会議。 <i>Rejuvenating the passion for teaching and learning of languages</i> をテーマとし、マレーシア国内ではUiTM、USMなどから、国外ではイラン、インド、オーストラリア、タイ、台湾などから参加があった。基金は、ウォーカー泉(シンガポール国立大学(NUS)日本語主任講師)の招へい費用の一部を助成
55	ダイ・コン ( <i>Dai Con</i> )	マルチメディア大学サイバー ジャヤキャンパス (Universiti Multimedia, Cyberjaya)	2009. 07. 10 ~ 2009. 07. 13	アニメ、PCゲーム、コスプレ等の日本のコンテンポラリーカルチャーを紹介したイベント。日本の、茅原実里(声優)を招へい、一般向けのトークセッション及びミニコンサートを実施。クアラルンプール日本文化センターが同氏の航空運賃及び滞在費の一部を助成
56	ニョバ・カン舞踏フェスティバル(和栗 由紀夫パフォーマンス) <i>Highlight Performance by Mr. Yukio Waguri (Nyoba Kan Butoh Festival 2009)</i>	ニョバ・カン(Nyoba Kan Dance Theatre)	2009. 08. 17 ~ 2009. 08. 25	マレーシアの人々に「舞踏」を、写真展、ワークショップ、パフォーマンス等、様々の形で紹介したイベント。日本の舞踏家、和栗由紀夫を招へいし、一般向けのワークショップを実施。現地の舞踏アーティストとコラボレーションをし、パフォーマンスも披露。クアラルンプール日本文化センターが同氏の謝礼及び航空運賃の一部を助成
57	持続可能な文化発展に関する国際会議(ペナン) ( <i>Penang International Conference on Sustainable Cultural Development - The Economics of Heritage Revi-talisation 8th &amp; 9th October 2009</i> )	ペナン・ヘリテージ・トラスト (Penang Heritage Trust)	2009. 10. 08 ~ 2009. 10. 09	世界遺産として登録されたマラッカ・ペナンにある建物及び文化遺産の保護に関する知識を高めるため、世界中から専門家を招へいし、セミナーを実施。日本からは宗田好史(京都府立大学准教授)を招へいし、京都府における文化遺産保存活動について現地の学者、学生、公務員及び一般人向けのプレゼンテーションを実施。主催者であるペナン・ヘリテージ・トラスト(PHT)メンバー向けのトークセッションも実施。クアラルンプール日本文化センターが同氏の謝金、航空運賃、マレーシア国内交通費、宿泊費及び通訳者謝金の一部を助成
58	アニメーション・ネーション・フェスティバル ( <i>Animation Nation Festival</i> )	シンガポール・フィルム・ソ サエティ(Singapore Film Society)	2009. 10. 14 ~ 2009. 10. 21	シンガポールの人々、特にアニメ業界関係者に日本のアニメを紹介するイベント。日本を代表する作品も幾つか上映。日本からは富岡聡(CGデザイナー/監督)を招へいし、日本のアニメ業界や本人の経験についてのトークセッションを実施。クアラルンプール日本文化センターが同氏の謝金、航空運賃及びフィルムレンタル費の一部を助成



海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
59	キン・シオタニ エキジビション、パフォーマンス、ワークショップ（シンガポール） ( <i>Kin Shiotani Exhibition, Performance &amp; Workshop in Singapore</i> )	ヒッポキャンパス (Hippocampus) (シンガポール)	2009. 10. 16 ~ 2009. 11. 04	日本人詩人・イラストレーター、キン・シオタニをシンガポールに招へいして、一般人・学生向けの個展、ワークショップ及びパフォーマンスを実施。パフォーマンスではdrawing theatreのコンセプトを使用、地元のアーティスト及び音楽家とコラボレーションしつつ、ストーリーを語りながら絵を描いた。クアラルンプール日本文化センターが同氏の航空運賃、宿泊費及び材料（筆記用具）費の一部を助成
60	坂手 洋二・松井 憲太郎 トーク、リーディング、演劇ワークショップ <i>Language, Theatre, Nation: Imagining the Nation--A 3 Day Forum and Workshop with Playwright Sakate Yoji and Dramaturg/Critic Matsui Kentaro</i>	インスタント・カフェ・シアター・カンパニー (The Instant Cafe Theatre Company)	2010. 01. 08 ~ 2010. 01. 10	日本の劇作家坂手洋二及び松井憲太郎をクアラルンプールに招へいし、現地の演劇関係者向けのワークショップを実施。「言語・演劇・国家」というテーマで、日本の演劇の歴史、現状などについて話をし、多民族国家マレーシアの状況と比較。参加者とのディスカッションも行われた。クアラルンプール日本文化センターが2名の謝金と、坂手1名分の日当、航空運賃及び宿泊費の一部を助成
61	3R（リデュース、リユース、リサイクル）展 <i>Exhibition: Reduce, Reuse, Recycle: 3R Culture - Environmental Cartoons from Japan</i>	マレーシア国民大学（UKM）	2010. 03. 15 ~ 2010. 03. 22	漫画を通じて「3R-Reduce, Reuse, Recycle」というテーマで地球環境を守るメッセージをマレーシアの人々に伝えるイベント。京都大学環境保全センター教授及び環境漫画家、高月紘（ペンネーム：ハイムーン）を招へいし、子供・学生向けのワークショップ及び現地の環境保全専門家向けのセミナーを実施。同氏の代表的な作品の展示会も開かれた。クアラルンプール日本文化センターが同氏の謝金、日当、航空運賃及び宿泊費を助成

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
62	文化備品貸出	Sek. Men. Keb. St. John, Kuala Lumpur	2009. 04. 03 ~ 2009. 04. 20	<i>Family Day</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
63	文化備品貸出	Universiti Teknologi MARA (UiTM) Shah Alam, INTEC, Japanese Culture Club	2009. 04. 14 ~ 2009. 04. 24	<i>Cherry Blossom Festival</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
64	文化備品貸出	Ikebana International K.L. Chapter 72	2009. 05. 19 ~ 2009. 05. 22	<i>Ikebana Public Demonstration &amp; Workshop</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
65	文化備品貸出	Chong Hwa Independent High School, Kuala Lumpur	2009. 06. 09 ~ 2009. 06. 29	<i>School 90th Anniversary</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
66	文化備品貸出	Multimedia University (Cyberjaya), Japanese Cultural Society	2009. 07. 03 ~ 2009. 07. 16	<i>Exhibition for Club Member Recruitment</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
67	文化備品貸出	Bangsar Village, Kuala Lumpur	2009. 07. 15 ~ 2009. 08. 05	<i>Kokeshi Dolls and Noren Exhibition</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し

## 海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
68	文化備品貸出	Institut Bahasa Teikyo, Kuala Lumpur	2009.07.16 ~ 2009.07.28	学生への日本文化紹介の一環として、文化備品を貸し出し
69	文化備品貸出	Tunku Abdul Rahman College, Kuala Lumpur	2009.08.07 ~ 2009.08.10	<i>China, Japan and Korea Exhibition</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
70	文化備品貸出	Sek. Men. Keb. Batu Lapan, Puchong, Selangor	2009.08.07 ~ 2009.08.10	<i>Japanese Cultural Day</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
71	文化備品貸出	Universiti Kebangsaan Malaysia, Pusat Kebudayaan	2009.09.02 ~ 2009.11.06	<i>Pesta Tanglung</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
72	文化備品貸出	Taylor's University College, Taylor's Anime Society	2009.09.14 ~ 2009.10.06	<i>Taylor's Asaban Fest 2009</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
73	文化備品貸出	Universiti Malaysia Terengganu, Department of Language and Communication	2009.09.18 ~ 2009.11.06	<i>Modern Language Drama</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
74	文化備品貸出	Universiti Teknologi MARA (UiTM) Seri Iskandar, Perak	2009.09.30 ~ 2009.10.30	<i>Japanese Art Exhibition</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
75	文化備品貸出	Taylor's College Petaling Jaya, The Design School of Taylor's	2009.09.30 ~ 2009.10.30	<i>Japanese Art Exhibition</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
76	文化備品貸出	Multimedia University (Cyberjaya), Japanese Cultural Society	2009.11.06 ~ 2009.11.18	<i>Cultural Workshop</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
77	文化備品貸出	Universiti Teknologi MARA (UiTM) Shah Alam, INTEC, Japanese Culture Club	2009.11.18 ~ 2009.11.26	<i>Ikebana Demonstration</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
78	文化備品貸出	SEGi College, Intercultural Communication, Subangjaya, Selangor	2009.11.24 ~ 2009.12.11	<i>Intercultural Event</i> に対し、文化備品を貸し出し
79	文化備品貸出	Institut Bahasa Teikyo, Kuala Lumpur	2009.11.30 ~ 2009.12.15	学生への日本文化紹介の一環として、文化備品を貸し出し
80	文化備品貸出	Pentas Project Theatre Production	2010.01.12 ~ 2010.02.03	<i>Noh Theatre Workshop</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
81	文化備品貸出	Multimedia University (Cyberjaya), Japanese Cultural Society	2010.02.03 ~ 2010.03.05	<i>Cross Cultural Integration Program</i> に対し、文化備品を貸し出し

## 海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
82	文化備品貸出	Universiti Utara Malaysia, Japanese Cultural Club, Sintok, Kedah	2010.03.01 ~ 2010.05.30	<i>Modern Language Drama</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し
83	文化備品貸出	Multimedia University (Cyberjaya), Japanese Cultural Society	2010.03.19 ~ 2010.04.09	<i>Carnival of Japan</i> イベントに対し、文化備品を貸し出し

ニューデリー日本文化センター

合計額 78,658,089 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	書と能面展	ニューデリー	ニューデリー 日本文化セン ター多目的 ホールおよび ギャラリー		2009.04.06 ~ 2009.04.10	後藤加寿恵（書家）が訪印し、書及び同氏の所蔵する能面を展示。展示点数は書15点、能面5点。またネルー大学芸術専攻の学生によるインド舞踊も披露
2	「日本の世界遺産」写真展 (パキスタン)	イスラマバード (パキスタン)  ムルターン (パキスタン)  ラホール (パ キスタン)	パキスタン国 立美術館  ムルタン芸術 評議会  アルハムラ芸 術センター		2009.10.01 ~ 2010.03.31	ニューデリー日本文化センター所蔵「日本の世界遺産」写真展セットを用いた展覧会をパキスタン3都市に巡回
3	凧・独楽展 (ゴア)	ゴア	インターナ ショナルセン ター・ゴア		2010.02.13 ~ 2010.02.16	ニューデリー日本文化センター所蔵「凧・独楽」展セットを用いた展覧会
4	現代美術At Waste展とダンス・コラ ボレーション	ニューデリー	ニューデリー 日本文化セン ターギャラ リー		2010.02.17 ~ 2010.02.26	現代美術作家長谷川哲の版画作品展。また作品を背景に、野々村明子によるコンテンポラリーダンス公演を実施。長谷川哲はスライドを使用したワークショップも併せて実施

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	ソプラノ・テノール歌曲コンサート	ニューデリー	トリベニカラ サンガム劇場		2009.05.08	インド在住の菊池貴代（ソプラノ歌手／二期会会員）と、本邦から訪印した湯川晃（テノール歌手／二期会会員）による歌曲コンサート。日本歌曲メドレーのほか、ブッチー二等の西洋歌曲アリアを紹介
6	日印交流・インド舞踊公演	ニューデリー	ニューデリー 日本文化セン ター多目的 ホール		2010.01.30	日本神話をテーマに据えて今回のために創作したインド伝統舞踊カタックダンス公演。カタックダンス、佐藤雅子、音楽および振付、マハラジ、作詞、ラジ・ブディラジャと、それぞれの分野で活躍する日印のアーティストが集結し、木花咲耶姫をモチーフに創作公演を実施

海外事務所

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	国際日本文化研究センター主催第16回シンポジウム「アジア新時代の南アジアにおける日本像 -インド・SAARC諸国における日本研究の現状と必要性」	ニューデリー	ジャワハルラル・ネルー大学	ジャワハルラル・ネルー大学  国際日本文化研究センター	2009. 11. 03 ～ 2009. 11. 04	仏教を主軸とする日本との様々な交流をベースとし、経済的関係が深化していることを契機として、南アジアにおける日本研究を活性化することを目指し、日本、インド、ネパール、スリランカ、バングラデシュの日本研究者が一堂に集い、政治・経済、社会、文学、視覚芸術、考古学に関するシンポジウムを実施
8	第5回日印文学セミナー	ニューデリー	ニューデリー日本文化センター多目的ホール	ジャワハルラル・ネルー大学  国文学研究資料館	2010. 02. 12 ～ 2010. 02. 13	日本側研究者として今西祐一郎（国文学研究資料館長）、伊藤鉄也（同資料館教授）、インド側研究者として日本文学研究に携わるウニタ・サチダナンダ（Unita Sachidanandデリー大学助教授）、マンジュシュリ・チョウハン（Manjushree Chauhanネルー大学教授）、及び大学院生数名がそれぞれ研究成果を発表。参加者はデリー大学、ネルー大学の教授、学生およそ50名。また日印研究者間のネットワーク構築も実施
9	国際セミナー「言語教育はことばと文化を結ぶ」	ニューデリー	ジャワハルラル・ネルー大学	ジャワハルラル・ネルー大学  早稲田大学日本語教育研究センター言語文化教育研究会	2010. 03. 12 ～ 2010. 03. 13	日本において日本語教育に携わる研究者及びインド国内の高等教育機関にて活躍する日本語教育関係者、大学院生が一堂に集い、両国の日本語教育に関する研究成果を共有。また日本語教育理論の進展及び研究者間のネットワークを強化

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	DVD映画鑑賞会（定期）	ニューデリー	ニューデリー日本文化センター多目的ホール		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ドキュメンタリー映画並びに劇映画の定期鑑賞会。ドキュメンタリー映画は主に現代日本紹介。劇映画は巨匠監督作品やアニメ作品等。月2回、隔週金曜日に実施

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	日本語教育専門家業務	ニューデリー			2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	インドにおける現地日本語教師への教授法の指導、日本語教育関係者間のネットワーク形成、日本語教育機関のシラバス・カリキュラム、教材、教師養成に関するアドバイスを実施
12	中等教育レベル日本語教育促進	ニューデリー			2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	中等教育レベルの日本語教育に資する図書資料の購入及び貸し出し

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	高等教育レベル日本語教育促進	ニューデリー			2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	高等教育レベルの日本語教育に資する図書資料の購入及び貸し出し
14	日本語教育専門家出張指導（パキスタン）	イスラマバード（パキスタン）	国立近代語大学（NUML）	国立近代語大学（NUML） 在パキスタン大使館	2009. 04. 14 ～ 2009. 04. 16	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーがパキスタンへ出張し、国立近代語大学（NUML）所属の日本語教師6名に対して初級学習者への教授法、日本語教材の活用法、教材作成について指導
15	日本語教育専門家出張指導	ムンバイ	ムンバイ大学 Kalinaキャンパス	ムンバイ日本語教師連盟（TAJ） 在ムンバイ総領事館	2009. 07. 17 ～ 2009. 07. 18	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、ムンバイの大学、民間日本語学校、私塾で教える日本語教師33名に向けて、かなと発音の教授法、文法項目の整理と教材作成方法、DVD『エリンが挑戦！にほんごできます』を用いた文化学習を内容とするセミナーを実施
16	日本語教育専門家出張指導（ネパール）	カトマンドゥ（ネパール）	在ネパール大使館ホール	ネパール日本語教師会（JALTAN） 在ネパール大使館	2009. 07. 18 ～ 2009. 07. 19	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、ネパールの大学、民間日本語学校、私塾に属する日本語教師89名に対して、学習過程理解とそれに基づく授業の実践、会話の評価法の解説等について指導
17	日本語教育専門家出張指導	プネ	S. M. Joshi Hall	プネ日本語教師連盟（JALTAP） 在ムンバイ総領事館	2009. 07. 20 ～ 2009. 07. 21	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、現職日本語教師及び教師志望者計47名に対して、かなと発音の教授法、文法項目の整理と教材作成方法、DVD『エリンが挑戦！にほんごできます』を用いた文化学習を指導
18	日本語教育専門家出張指導	ハイデラバード	アサバヌ日本センター	アサバヌ日本センター 在チェンナイ総領事館	2009. 07. 24 ～ 2009. 07. 26	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、ハイデラバード在住の日本語教師11名に向けて、語彙の指導及び文字の指導を内容とするセミナーを実施
19	日本語教育専門家出張指導（スリランカ）	コロンボ（スリランカ）	ササカワ・メモリアル・ホール	スリランカ日本語教師会 在スリランカ大使館	2009. 08. 17 ～ 2009. 08. 18	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、スリランカの初・中等教育、高等教育、民間日本語学校、私塾で教える日本語教師89名に向けて、学習プロセスに沿った授業設計及び会話の評価と実践を内容とするセミナーを実施
20	日本語教育専門家出張指導	コルカタ	印日福祉文化協会	印日福祉文化協会 在コルカタ総領事館	2009. 09. 11	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、コルカタの高等教育機関、民間日本語学校、私塾で教える日本語教師20名に対して、読解と聴解の指導法についてセミナーを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	日本語教育専門家出張指導	チェンナイ	ABK-AOTS同窓会 (ABK-AOTS DOSOKAI)	ABK-AOTS同窓会 (ABK-AOTS DOSOKAI)  在チェンナイ総領事館	2009. 09. 11	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、チェンナイの高等教育機関、民間日本語学校、私塾で教える日本語教師35名に向けて、インド人学習者の誤用とその教授法及び初級授業の組み立て方を内容とするセミナーを実施
22	日本語教育専門家出張指導	コーチン	Hotel The Mercy	Alumni Society of AOTS, Kerala	2009. 10. 22	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、コーチンの民間日本語学校、私塾で教える日本語教師5名に向けて、インド人学習者の誤用とその教授法、ひらがなカタカナの教え方、初級授業の組み立て方を内容とするセミナーを実施
23	日本語教育専門家出張指導	ムンバイ	ムンバイ大学 Kalinaキャンパス	ムンバイ日本語教師連盟 (TAJ)	2009. 10. 24	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、ムンバイ日本語教師連盟 (TAJ)の要請に基づき、同連盟主催のセミナーに出講。新日本語能力試験のガイドブックと問題例集が公開されたことを受け、新日本語能力試験の紹介と、教師として対応すべきことについてレクチャーを実施
24	日本語教育専門家出張指導 (バングラデシュ)	ダッカ (バングラデシュ)	バングラデシュ日本留学同窓生協会 (JUAAB)	バングラデシュ日本留学同窓生協会 (JUAAB)  在バングラデシュ大使館	2009. 11. 14	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、初級指導法 (学習目標とアセスメント)、中級指導法 (中級話者の特徴とフィードバック)、新日本語能力試験の概要について指導
25	日本語教育専門家出張指導	ムンバイ	ムンバイ大学 Kalinaキャンパス	ムンバイ日本語教師連盟 (TAJ)	2009. 11. 21	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、ムンバイ日本語教師連盟 (TAJ)の要請に基づき、同連盟主催のセミナーに出講。同連盟が所有する視聴覚教材を紹介する「CDセッション」及び関連する文法項目についてレクチャーを実施
26	JALTAIセミナー	ニューデリー	ニューデリー日本文化センター多目的ホール	全インド日本語教師会 (JALTAI)	2009. 12. 18 ~ 2009. 12. 19	日本語教育事情報告 (スリランカ、ネパール、バングラデシュ、インド)、教授法関連の発表 (インド人学習者の誤用分析、新日本語能力試験とJF日本語教育スタンダード (JFスタンダード)、Eラーニング、文字指導・読解指導・翻訳のワークショップ) を実施
27	日本語教育専門家出張指導 (ネパール)	カトマンドゥ (ネパール)  ポカラ (ネパール)	在ネパール大使館ホール  ポカラ日本語日本文化センター	ネパール日本語教師会 (JALTAN)  在ネパール大使館	2010. 02. 19 ~ 2010. 02. 22	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、ネパール・カトマンドゥの日本語教師等に対して、新日本語能力試験に関するアナウンス、読解、発音・文字指導、格助詞の用法に関して指導

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
28	日本語教育専門家出張指導	ムンバイ	ムンバイ大学 Kalinaキャンパス	ムンバイ日本語教師連盟 (TAJ)	2010. 03. 28	ニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザーが出張し、ムンバイ日本語教師連盟 (TAJ)の要請に基づき、同連盟のセミナーに出講。日本語文法に関する質問事項についてレクチャーを実施。また新日本語能力試験についてアナウンス

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
29	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本語教育教材をはじめ、日本に関する図書、参考書籍、視聴覚資料を配架する専門図書館を運営  ①所蔵資料合計： 10,700点 (内訳：日本語6,500冊、 英語およびヒンディー語3,500冊 視聴覚資料数700点) ②登録会員数： 460名 ③利用者数(年間)： 8,243名 ④貸出点数(年間)： 3,313点 ⑤レファレンス件数(年間)： 566件 ⑥図書館用リーフレット作成： 有り

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
30	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	ニューデリー日本文化センターの紹介、主催共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施 URL: <a href="http://www.jfindia.org.in/">http://www.jfindia.org.in/</a>
31	日本文化紹介映像コーナー	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本の伝統的な雰囲気や有する空間を設け、日本文化紹介等に資する映像発信や資料配布を実施
32	ニューズレター『まゆりか』発行	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	インド国内の日本語学習者、教師を主なターゲット層として、インドの日本語教育の現状に関する記事や、日本語学習の演習問題、またニューデリー日本文化センターの活動紹介、スタッフ紹介等を紙面に掲載。平成19年度より発行。年間発行回数2回、発行部数は、1回当たり3,000部。なお21年度は、22年度発行分の和英翻訳についてのみ実施

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
33	日本語教師志望者への教授法コース	ニューデリー	ニューデリー日本文化センター		2009. 05. 01 ~ 2009. 05. 31	日本語教師志望者への教授法コースを実施(毎週火曜、木曜、全8回)。講師はニューデリー日本文化センター付の日本語教育アドバイザー



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
34	中等教育現職日本語教師研修	ニューデリー	ニューデリー 日本文化センター	中央政府中等 教育委員会 (CBSE)	2009. 07. 01 ~ 2010. 01. 31	日本語運用能力及び教授能力の向上を目的として、デリー近郊の初中等教育機関に属する現職日本語教師を対象に、教科書による指導方法や文化紹介の手法等の講義を実施（毎月第2、4金曜日）。研修修了者20名に対し、ニューデリー日本文化センター、中央政府中等教育委員会（CBSE）の連名による修了証書を授与

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
35	折り紙ワークショップ	ニューデリー	ニューデリー 日本文化センター多目的 ホール		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	定期的な折り紙ワークショップの実施。週1回。10月～11月にかけて成果発表の展示会も併せて実施
36	Poetry on Canvas ー小野小町ー	ニューデリー	ニューデリー 日本文化センター多目的 ホール、ギャ ラリー		2009. 04. 24 ~ 2009. 04. 30	在野の研究者菊池智子（翻訳者／インド在住）によるインド文学者マハデヴィ・ヴァルマ評伝図書の出版記念ブックリリース、日印詩の朗読会、さらに小野小町の和歌をモチーフに制作されたインドのアート作品の展示の同時実施。日印の文学を多角的な切り口で紹介するイベント
37	バンガロール日本祭り「ジャパン ハッパ」	バンガロール	バンガロール 大学		2009. 05. 31	バンガロールのインド人および在留邦人による日本祭りの実施。映画上映、カラオケ大会、茶道、華道、折り紙、少林寺拳法、柔道、漫才、盆踊りの各種プログラムを実施
38	生け花ワークショップ	ニューデリー	ニューデリー 日本文化センター多目的 ホール		2009. 11. 11 ~ 2009. 11. 12	内田恵華（池坊師範）が訪印し、ジャワハルラル・ネルー大学の日本研究専攻の学生を対象に生け花ワークショップ（入門レベル）を実施
39	福岡留学フェア	ニューデリー	ニューデリー 日本文化センター多目的 ホール、ギャ ラリー		2009. 11. 13 ~ 2009. 11. 14	福岡県に所在する大学（2校）及び日本語学校（3校）の紹介。福岡県の物産展も併せて実施
40	日印芸術祭 Wall Art Festival	ビハール	ニランジャナ スクール		2010. 02. 20 ~ 2010. 02. 22	日本から浅井裕介、インドからスリージャタ・ロイの参加を得て行われた私立学校ニランジャナスクールの教室の壁を利用した壁画制作。生徒や地元の村人による参加型フェスティバルで、また本邦からも多数のボランティアが参加しサポート。ニランジャナスクールはビハール州地元の篤志家と日本の学生たちの募金によって設立された私立の初・中等教育機関

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
41	石川 啄木歌集出版記念会	ニューデリー	ニューデリー 日本文化センター多目的 ホール		2010. 02. 26	後藤加寿恵（書家）により色紙に写された石川啄木の短歌を、デリー大学助教授ウニタ・サチダナンダ（Unita Sachidanand）が書籍として編集・出版したことを記念して行われたブックリリース。書籍のタイトルは『石川啄木とインドの色（邦題）』で、出版社はインド日本文学文化協会（Indo Japan Association for Literature and Culture）。部数500冊

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
42	JENESYS若手日本語教師派遣 （第2期）	ニューデリー  プネ  チェンナイ	Bluebells School International ティラク・大 学  プネ印日協会  ABK-AOTS同窓 会タミルナド センター  チェンナイ印 日商工会議所		2009. 06. 21 ～ 2010. 04. 20	平成21年度は5名の若手日本語教師が訪印し、それぞれ日本語教育機関に所属して活動
43	海外巡回展「未来への回路」	ニューデリー	ニューデリー 日本文化センター多目的 ホール、ギャ ラリー		2010. 03. 16 ～ 2010. 04. 01	「未来への回路」展の開催に当たり、ニューデリー日本文化センターでは、オープニングレセプションを実施

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
44	五所川原世界薪窯大会	シュルティ・バンサル （Shruti Bansul：陶芸家）	2009. 07. 01 ～ 2009. 07. 31	五所川原世界薪窯大会に招へいされたインド人作家シュルティ・バンサル（Shruti Bansul：陶芸家）に対し、ニューデリー日本文化センターは海外渡航費の一部を助成
45	オーストラリア陶芸トリエンナーレ展	アントラ・シナ（Antra Sinha：陶芸家）	2009. 07. 16 ～ 2009. 07. 31	オーストラリア陶芸トリエンナーレ展へのインド人作家アントラ・シナ（Antra Sinha：陶芸家）の作品出品を支援。ニューデリー日本文化センターは国際輸送費を助成。平成20年度東アジアクリエイター招へい（JENESYS）フォローアップ事業として実施

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
46	折り紙紹介図書出版	Origami Oritai India	2009. 09. 11	和・英・ヒンディーの三言語を併記した折り紙紹介図書の出版。Origami Oritai Indiaでは1,000部を作成、デリー首都圏で販売。ニューデリー日本文化センターは出版印刷費の一部を助成
47	2009アジア・パラアートTOKYOへの参加	M・ラマリングム (M. Ramalingam)	2009. 09. 11 ~ 2009. 09. 16	2009アジア・パラアートTOKYOに招へいされたインド人作家M・ラマリングム (M. Ramalingam : 現代美術家) に対し、ニューデリー日本文化センターは渡航費の一部を助成
48	ダンスと照明のインスタレーション (TILT)	gati (performance practice research)	2009. 09. 24 ~ 2009. 09. 25	gati (performance practice research)を主宰するアヌシャ・ラル (Anusha Lal : 舞踊家)をはじめとするインド若手舞踊家が、照明アーティスト松尾邦彦を迎えてデリー公演を実施。ニューデリー日本文化センターは、松尾邦彦の渡航費を助成
49	日本南アジア研究学会	モハメド・バドルル・アラム (Mohammed Badrul Alam : ジャミア・ミリア・イスラミア 大学政治学部教授)	2009. 10. 03 ~ 2009. 10. 04	日本南アジア研究学会に招へいされたモハメド・バドルル・アラム (Mohammed Badrul Alam : ジャミア・ミリア・イスラミア大学政治学部教授) に対し、ニューデリー日本文化センターは海外渡航費の一部を助成
50	CIPA ( <i>International Committee for Documentation of Cultural Heritage</i> ) シンポジウム	モニカ・ヴィジ (Monica Vij : デリー大学地理学部助教授)	2009. 10. 11 ~ 2009. 10. 15	文化財保護をテーマに開催されたCIPAシンポジウム (京都) に招へいされたモニカ・ヴィジ (Monica Vij : デリー大学地理学部助教授) に対してニューデリー日本文化センターは海外渡航費の一部を助成
51	日印詩の朗読会 MOMIJI	インド日本文化評議会	2009. 11. 06	紅葉をテーマに開催された日印詩の朗読会。会場はIndia Inter-national Centre (デリー)。朗読された詩は、編集・印刷された。ニューデリー日本文化センターは出版印刷費の一部を助成
52	ボンベイ室内オーケストラ公演	ボンベイ室内オーケストラ (The Bombay Chamber Orchestra Society)	2009. 11. 22	ボンベイ室内オーケストラによる、日本人指揮者及び外国人演奏家 (7名) を迎えたムンバイ公演。2008年11月のムンバイ・テロ追悼記念コンサート。ムンバイ日本人会婦人部によるコーラス隊も参加し、日本歌曲を披露。山路譲 (指揮者) および宮田四郎 (ホルン奏者) に対し、ニューデリー日本文化センターは海外渡航費の一部を助成
53	生け花展示会	いけばなインターナショナル・ グルガオン支部	2010. 01. 30	首都デリーに隣接するハリヤナ州グルガオン在住のいけばな・インターナショナルのメンバーによる生け花展示会実施に際し、ニューデリー日本文化センターは会場借料を助成
54	南インド日本語教育セミナー	バンガロール日本語教師会 (BNK)	2010. 02. 27	バンガロール及び周辺地域の日本語教師に対して、新日本語能力試験の内容解説と教材準備に関するワークショップ、国際交流基金の日本語教師研修プログラムの紹介、スカイプを利用したEラーニングについての検討等を実施。ニューデリー日本文化センターは会場借料と懇談会費を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
55	東京パフォーミングアーツ見本市 (TPAM)	Attakkalari Centre for Movement Arts	2010. 03. 01 ~ 2010. 03. 05	TPAMに招へいされた、バンガロールを拠点に活動するコンテンポラリーダンス専門団体Attakkalari Centre for Movement Artsの訪日に関し、ニューデリー日本文化センターは海外渡航費の一部を助成
56	南アジア日本語スピーチコンテスト	文部省留学生協会 (MOSAI)	2010. 03. 17	南アジア5カ国のそれぞれスピーチコンテスト優勝者たちが一堂に会し、インド・デリーにて史上初の南アジア弁論大会を実施 (ジュニア・シニア部門別) ニューデリー日本文化センターは参加者の渡航費を助成
57	ジャワハルラル・ネルー大学日本文化祭	ジャワハルラル・ネルー大学	2010. 03. 20 ~ 2010. 03. 21	ジャワハルラル・ネルー大学を会場に、デリー市内の日本語学習者ら自ら主体となり、日本語劇、歌、踊り等の日本文化を紹介。ニューデリー日本文化センターは、盆踊り会場の屋台出し物に対し助成
58	折り紙ワークショップ	Akriti Creations	2010. 03. 25 ~ 2010. 03. 27	デリーの初・中等教育機関に在籍する生徒、親、教師を対象に、National Bal Bhawan講堂で行われた折り紙ワークショップ。実施に際し、ニューデリー日本文化センターは会場借料と講師謝金を助成

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
59	いけばなインターナショナル・デリー支部	いけばなインターナショナル・デリー支部	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	会員相互の定例会ならびに作品鑑賞会の実施 (隔月1回)
60	生け花草月流デリー支部	生け花草月流デリー支部	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	会員相互の定例会ならびに作品鑑賞会の実施 (毎月1回)
61	生け花小原流デリー支部	生け花小原流デリー支部	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	会員相互の定例会ならびに作品鑑賞会の実施 (隔月1回)
62	デリー盆栽協会	デリー盆栽協会	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	会員相互の定例会ならびに作品鑑賞会の実施 (隔月1回)
63	国際協力機構 (JICA) 帰国同窓会インド支部	国際協力機構 (JICA) 帰国同窓会インド支部	2009. 11. 29	会員相互親睦のための文化イベントを実施

シドニー日本文化センター

合計額 168,980,873 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	<i>Facetnate!</i>	シドニー	シドニー日本文化センター	滋賀県立陶芸の森	2009.05.15 ~ 2009.08.28	ビジュアルアートの分野で日本から影響を受けた若手・新人アーティストを公募により選び、シドニー日本文化センターギャラリーで個展の機会を提供する連続展覧会シリーズ。審査により選ばれたアーティスト3組に、東アジア・クリエイター招へい事業により日本に滞在したアーティストのグループ展を加え、計4回の展覧会を5月～8月に開催。最優秀ユニットPip&Popに <i>Japan Foundation Award</i> を授与
2	奥村 俊道展「日本建築から日本画への展開」	シドニー	シドニー日本文化センター	熊本県	2009.09.11 ~ 2009.09.25	日本の文化財建造物の保存修復を専門とする建築家であり、日本画家でもある奥村俊道による、建築の理論を背景に木材の木目を利用して製作した日本画の展覧会を開催
3	<i>Wa Modern</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2009.10.08 ~ 2009.10.16	柳沢勢津子（フラワーアレンジメント）、れん（書道）、マルコム・グリーンウッド（陶芸）の3名のコラボレーションによる展覧会を開催
4	小路 光男展 <i>Between Language and Forms</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2010.02.01 ~ 2010.02.12	シドニー在住の陶芸家・小路光男の陶芸展を開催
5	<i>Japanese Sumi Art</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2010.03.08 ~ 2010.03.23	シドニー在住の水墨画家、永淵博子とシドニー墨絵会のメンバーによるグループ展を開催

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	第三国間派遣事業／ヒップホップ公演	ウェリントン（ニュージーランド） クライストチャーチ（ニュージーランド）	ウェリントンタウンホール クライストチャーチ教会前広場	在ニュージーランド大使館 ウェリントン市 アジア・ニュージーランド基金	2009.07.10 ~ 2009.07.14	織野聡、菊池正樹、相川直久、Lee Hyungik（いずれもヒップホップダンサー）をニュージーランドに派遣。ウェリントンとクライストチャーチの2都市で公演を実施。ウェリントンでは、同市主催によるジャパン・フェスティバル会場にて公演
7	書道およびダンス	キャンベラ	キャンベラ・ナラ公園	オーストラリア首都特別地域政府	2009.09.26	キャンベラ市と奈良市の姉妹都市交流を記念して開催される「キャンドル・フェスティバル」にれん（書家）を派遣し、デモンストレーションを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	第三国間派遣事業／箏・尺八公演	スバ（フィジー）	タノアプラザホテル	在フィジー大使館	2009.11.26～2009.11.28	大野唄子（琴奏者）、Bronwyn Kirkpatrick（尺八奏者）をフィジーに派遣。スバ、およびナンディの2都市においてコンサートを開催
9	第三国間派遣事業／書家デモンストレーション	オークランド（ニュージーランド）	ASBショウ・グラウンド	在オークランド総領事館 オークランド日本人会	2010.02.27～2010.03.01	れん（書家）をニュージーランドに派遣。オークランドで開催されるジャパン・デイにて書道のデモンストレーション（大書）を実施
10	第三国間派遣事業／津軽三味線公演	ヌクアロファ（トンガ）	クィーンサロテカレッジ・ホール アピフォオウカレッジ・ホール	在トンガ大使館	2010.03.19～2010.03.25	只野徳子（津軽三味線奏者）および坂本敏範（和太鼓奏者）をトンガに派遣。ヌクアロファ市にてコンサートを開催

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	高島 宏之講演会	シドニー	シドニー日本文化センター		2009.07.08	高島宏之（音楽プロデューサー）が <i>Carrying the Beat</i> と題して、戦後日本の歌謡曲の発展やビートルズの来日時のエピソードなど、日本の大衆音楽史についての解説する講演会を開催
12	ロジャー・パルバース講演会	シドニー	シドニー日本文化センター	シドニー日本人会	2009.08.07	劇作家のロジャー・パルバース（東京工業大学世界文明センター長）による講演会を開催。「宮沢賢治は日本人に生まれて損をしたのか」というテーマで、宮沢賢治の作品やその翻訳可能性について解説
13	吉岡 幸雄講演会	シドニー	シドニー日本文化センター	2 TOGETHER	2009.08.07	吉岡幸雄（染織家・染織史家）を招いて講演会を開催。平安時代の日本の染織の古法を再現した同氏が、 <i>History of Japanese Colour - Colour of Tale of Genji</i> と題して、源氏物語に描かれた色彩世界について解説
14	西野 達郎講演会	シドニー	ニューサウスウェールズ州立美術館	ニューサウスウェールズ州立美術館 カルダー・プロジェクト・サービス	2009.10.02	アーティスト、西野達郎の講演会。公共建造物を利用したパブリックアート作品をスライドで紹介するとともに、その製作意図、観客の反応等について解説

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	アーサー・ストックウィン教授講演会	シドニー メルボルン	Blake Dawson 法律事務所 Asialink	Blake Dawson 法律事務所 Asialink	2009. 11. 17 ～ 2009. 11. 20	オックスフォード大学ニッサン日本研究所の初代所長で、平成21年度の国際交流基金賞受賞者であるアーサー・ストックウィンによる講演会。Political Earthquake in Japan: How much of a difference will it make? との演題で、自民党から民主党への政権交代を社会的・政治的な文脈から解説
16	西村 淳講演会	シドニー	紀伊國屋書店	紀伊国屋書店	2009. 12. 02	映画『南極料理人』の原作となったエッセイ『面白南極料理人』の著者、西村淳を招いて講演会を開催。南極・ドーム富士基地で過ごした1年間の体験とそこで学んだことなどについて講演
17	イアン・マッカーサー講演会	シドニー	シドニー日本文化センター		2010. 03. 26	ジャーナリストで『快樂亭ブラック：忘れられたニッポン最高の外人タレント』の著者であるイアン・マッカーサーを招き、講演会を開催。古典落語の解説および同氏自身による英語落語の公演を実施

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	水曜映画会	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	フィルムライブラリー所蔵の作品を利用して、隔週水曜日に英語字幕付き日本映画の無料上映会を開催
19	大洋州フィルムライブラリー				2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	日本映画の16ミリフィルムを所蔵する大洋州フィルムライブラリーの運営。在オーストラリアの大使館・総領事館、大洋州地域各国の大使館・総領事館などに計27件貸し出し
20	第13回日本映画祭	シドニー メルボルン キャンベラ ブリスベン パース	イベント・シネマズ オーストラリア 動画センター (ACMI) オーストラリア 国立フィルム&サウ ンド・アーカイ ブ (NPSA) リージェン ト・シネマ アレキサン ダー図書館		2009. 10. 08 ～ 2009. 12. 08	第13回目となる巡回日本映画祭。シドニー、メルボルン、キャンベラ、ブリスベン、パースを巡回。シドニーとメルボルンの2都市では映画祭の規模を拡大、21作品を上映して約1万人の観客を動員。上映作品は、『南極料理人』、『ハンサム☆スーツ』、『K-20』、『カムイ外伝』、『山桜』など

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	第8回日豪学生映画フォーラム	シドニー	イベント・シネマズ	日本映画学校、シドニー映画学校	2009. 11. 30	日本、オーストラリアの映画学校の学生卒業作品の中から優秀作品を選定し、その上映会および授賞式を開催。第13回日本映画祭の期間中に合わせて実施

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
22	オンライン日本語講座	全オーストラリア及びニュージーランド			2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	オーストラリアおよびニュージーランドの非日本語母語話者である日本語教師を対象に、日本語運用能力の向上を目的としたオンライン講座を開発・運営
23	地方日本語教育研修会支援	全オーストラリア及びニュージーランド			2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	各州の日本語教師会等が主催する日本語教師向けの研修会に、シドニー日本文化センターの日本語教育アドバイザーが出張し、講義等を行う。平成21年度中に10件を実施
24	センタービジット	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	シドニー近郊で日本語を学ぶ中高生の訪問を当センターで受け入れて、日本語の授業や日本文化紹介のセッションなど、学校の要望に応じて実施。平成21年度に開始して23件を実施
25	高等教育支援（共同研究）	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	ニューサウスウェールズ大学と共同で、オーストラリアにおける日本語教育事業と日本語教授法に関する研究を実施。特に各教育段階の間での日本語教育の連携について調査。4年計画事業の3年目
26	日本語賞品寄贈	全オーストラリア各地			2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本語学習奨励の一環として、各地で行われる弁論大会や発表会に対して、図書や文具などの賞品を寄贈
27	ビデオ祭り	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	初・中等から大学までの日本語学習支援を目的に、日本語を使ったビデオ作品を全オーストラリアの学校から募集。小学生、中学生、高校生、大学生の4部門において最優秀賞を表彰するとともに、優秀作品30件をウェブサイト上で公開
28	ニューサウスウェールズ州日本語弁論大会	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 09. 19	ニューサウスウェールズ州の高校生、大学生、一般の約70名が4部門に分かれて競い合う弁論大会の州決勝大会。各部門の優勝者が全オーストラリア決勝大会へ進出
29	日本語教師向け短期集中研修会（9月）	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 09. 28 ~ 2009. 10. 01	全オーストラリア及びニュージーランドの中等教育機関の日本語教師を対象とし、日本語教授技能、教材紹介、情報交換及び日本語運用力の向上を目的とした短期集中研修を開催
30	全オーストラリア日本語弁論大会	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 10. 10	第40回目を迎える全オーストラリア日本語弁論大会。高校、一般初心者、一般（上級）、バックグラウンド・スピーカーの4部門において州大会を勝ち抜いた代表が競い合った。各部門の優勝者に副賞として日本行き航空券等を贈呈



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
31	評価委員会	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 11. 06	オーストラリア各州の教育関係者および大学関係者による、シドニー日本文化センター事業に関する評価委員会を開催。併せて、各州の日本語教育に関する最新情報を報告してもらうとともに、関係者とのネットワークを強化
32	<i>Art Speaks Japanese Comes Alive!</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 11. 24 ~ 2009. 11. 30	シドニー日本文化センターがニューサウスウェールズ州立美術館と共同で刊行した日本美術を題材とした日本語教材 <i>Art Speaks Japanese</i> を参考にしながら、初・中等教育レベルの学校で日本語を学ぶ生徒たちが制作した作品を募集。当センターギャラリーで発表会を行い、優秀作品を表彰
33	日本語教師向け短期集中研修会 (1月)	シドニー	シドニー日本文化センター		2010. 01. 18 ~ 2010. 01. 21	全オーストラリア及びニュージーランドの中等教育機関の日本語教師を対象とし、日本語教授技能、教材紹介、情報交換及び日本語運用力の向上を目的とした短期集中研修を開催

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
34	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	<p>一般市民、日本語教師、日本研究者を対象に、英語による日本についての図書、劇映画・アニメDVD、日本語教材を多く備え、月曜から金曜まで毎日開館。3週に1度、週末（土曜日）開館。図書貸出、レファレンスサービス、Web-OPACなどのサービスを提供</p> <p>①所蔵資料合計： 18,856点 （内訳：蔵書16,384冊、視聴覚資料：2,472点） ②登録会員数： 1,730人 ③利用者数（年間）： 16,852人 ④貸出点数（年間）： 11,602点 ⑤レファレンス件数（年間）： 157件</p>

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
35	メールマガジンの発行	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	Eメールによるニューズレター <i>OMUSUBI</i> を発行。一般向け、日本語教師向けの定期版（月1回発行。HTML版）および新着情報がある都度、随時発信する臨時版（テキスト版）を組み合わせて、年40~50回を発信。登録者数約2,000名（2010年3月末現在）
36	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	シドニー日本文化センターを紹介するウェブサイトを運営管理。組織紹介、事業案内、特集記事、事業アーカイブ等から成る URL: <a href="http://www.jpff.org.au/">http://www.jpff.org.au/</a>

海外事務所

	事業名	期間	事業内容
37	学術ジャーナル <i>New Voices</i> の刊行	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	2006年に第1号を刊行した若手日本研究者育成・支援のための学術ジャーナル <i>New Voices</i> の第3号を刊行。優等学士および修士の学位論文の中から優れた論文を公募し、オンラインと印刷媒体の両方で刊行

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
38	日本語講座運営	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 30	一般向けに日本語講座を運営。平成21年度は初級II、中級I、中級II、上級のクラスを計9コース開講し、198人が受講

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
39	J-シネマプロジェクト	シドニー	シドニー日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本映画を題材として、日本語教育と日本文化・社会紹介の教材を開発し、映画本編とともにDVDパッケージにして販売する。日本の松竹株式会社、オーストラリアの配給会社であるMadman Entertainmentとの共同事業。第1弾の作品として『しあわせ家族計画』を選定し、教材の開発、DVDの製作を行い、2010年3月に完成。販売を開始

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
40	地方日本語研修会	①タスマニア教育省 ②西オーストラリア州日本語教師会	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	オーストラリアの各地で開催される日本語教育に関する学会、研修会、ワークショップなどへの助成。21年度は2件を実施し、タスマニア教育省の実施する <i>Japanese Immersion Seminar 'Honki de Hobaato'</i> 及び、西オーストラリア州教師会の実施する <i>Professional Learning Conference</i> を助成
41	国際貨幣学会	オーストラリア東洋学会	2009. 07. 16 ~ 2009. 07. 18	オーストラリア東洋学会が開催する国際貨幣学会に対する助成。会議のテーマの一つとして日本の古銭流通をとりあげる。プログラムの印刷費を助成
42	日本人移民に関する会議	クイーンズランド大学言語比較文化学部	2009. 09. 25	クイーンズランド大学が開催する <i>Transnationalism and Contemporary Japanese Diaspora in Queensland</i> に対する助成。講師の日当・宿泊料及び謝金を助成
43	後藤 和子バイオリンコンサート	後藤和子バイオリンコンサート実行委員会	2009. 11. 03	シドニー在住のオーストラリア室内楽団所属バイオリニスト・後藤和子のリサイタルへの助成。ゲスト出演者謝金、プログラム印刷費等を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
44	国際会議 <i>Super Human</i>	オーストラリア科学・芸術ネットワーク	2009. 11. 23 ~ 2009. 11. 24	オーストラリア科学・芸術ネットワーク (Australian Network for Art & Technology) が開催する、科学技術と文化芸術の交差する領域に関する国際会議 <i>Super Human: Revolution of Species</i> に対する助成。日本からは、脳波によるコンピュータ操作についての研究者を招へい。日本から招へいする講師の旅費・謝金を助成
45	『女人芸術』に関する会議	シドニー大学日本研究学科	2010. 02. 11 ~ 2010. 02. 12	昭和初期に発行された雑誌『女人芸術』を通して、当時の日本人女性の社会的地位について考察する会議をシドニー大学が開催することに対する助成。英国から招へいする講師の旅費の一部を助成
46	「歌麿」シンポジウム	ニューサウスウェールズ州立美術館	2010. 02. 13	ニューサウスウェールズ州立美術館で開催される展覧会「歌麿展」と合わせて実施されるシンポジウムの開催経費を助成。海外から招へいする講師の旅費を助成
47	日本外交に関する講演会	マコーリー大学 日本経済研究センター	2010. 03. 11	マコーリー大学の主催により開催する日本外交に関する講演会に対する助成。日本から招へいする講師の旅費の一部を助成
48	シンポジウム：変容するオーストラリアの日本人コミュニティ	モナシュ大学言語文化研究科	2010. 03. 13	モナシュ大学が開催するシンポジウム <i>Japanese Communities in Transition: Australia 2010</i> に対する助成。日本から招へいする講師の旅費の一部を助成

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
49	日本の夏祭り	シドニー日本クラブ	2010. 02. 06	シドニー日本クラブ主催による「日本の夏祭り」に対する後援名義の付与。舞台上で音楽、ダンスなどさまざまな出し物が披露されとともに、日本関係団体のブース、日本食の屋台が出店

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
50	JET出発前オリエンテーション	シドニーJET同窓会 (JETAA)	2009. 06. 20	「語学指導等を行う外国青年招致事業 (JET)」プログラム参加者の出発前オリエンテーションのために会場提供
51	名古屋市議会議員団訪問	自治体国際化協会 (CLAIR) シドニー事務所	2009. 10. 08	ニューサウスウェールズ州自治体との交流および視察のために来豪した名古屋市議会議員団のオリエンテーション会場を提供
52	日本経済新聞セミナー	日本経済新聞社	2009. 10. 16	日本経済新聞社シドニー支局長が、日豪関係の現状に関する講演会を行うための会場提供

## 海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
53	JET帰国者のためのキャリア・セミナー	シドニーJET同窓会 (JETAA)	2009. 10. 30	帰国した「語学指導等を行う外国青年招致事業 (JET)」プログラム参加者のオーストラリアでの就職に関するセミナー開催のための会場提供

トロント日本文化センター

合計額 98,375,072 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	本部巡回展 <i>Passage to the Future</i> (未来への回路～日本の新世代アーティスト展) の受入れ	トロント	トロント日本文化センター		2009.03.10 ～ 2009.06.09	国際交流基金制作巡回展「未来への回路～日本の新世代アーティスト展」を3カ月にわたって開催。トロント日本文化センターを会場とすることにより、現代日本のアートに対する幅広い理解を促進することを目的とした大規模な展覧会を、長期間の展示期間を確保して開催することができた。期間中に、トロント市主催の大規模な文化イベント「ドアーズ・オープン」(市内の博物館・美術館など文化施設が週末の2日間、扉を一般市民に開放する文化イベント)に参加
2	日加修好80周年記念写真展 (80 Years of Japan-Canada Relations ~Miles Apart, Minds Together ~)	カルガリー	カルガリー大学マックエヴァンホール  カルガリー日系人協会  ディーンズギャラリー	宮内庁 共同通信社  在カルガリー総領事館  内閣広報室	2009.04.13 ～ 2009.04.19	日加修好80周年記念事業として、日加交流の80年を概観する写真展をトロント日本文化センターで作成し、トロント、オタワ、バンクーバーを巡回後、カルガリーで写真展を開催。3カ所で開催し、計約650名が参加
3	「EXTENSIONS 森にうかぶ家」資料展示会 IN ジャパン・ファウンデーション・トロント・ライブラリー	トロント	トロント日本文化センター	トロント日系文化会館 (Gendai Gallery)	2009.05.15 ～ 2009.06.12	日系カナダ人アーティスト及び建築家の家族が自分たちの力だけでカナダに建築した家についての展覧会「EXTENSIONS 森にうかぶ家」(Gendai Gallery)の関連イベントの一つとして実施された。当センターの図書館スペースを利用し、「森にうかぶ家」が建てられる様子の写真やビデオ、設計図、模型、実際の家に使われた窓枠の一部などを展示
4	写真展「京都庭園の四季～水野 克比古写真展」	トロント	トロント日本文化センター		2009.06.17 ～ 2009.08.27	国際交流基金本部制作購送、トロント日本文化センター所蔵展「京都庭園の四季～水野克比古写真展」を当センターで開催し、日本庭園の美およびそれに関連する文化を紹介。英語版ビデオ『夢想』および『オーダーリー・ヘップバーンの日本庭園探訪』を上映
5	佐藤 晃一ポスター展 <i>Graphics in Bloom</i> (花開くグラフィックス)	トロント	トロント日本文化センター		2009.09.02 ～ 2009.11.07	現代日本を代表するグラフィックデザイナーのひとりで世界的に高い評価を得ている佐藤晃一の作品70点あまりを、大日本印刷文化振興基金及び現代グラフィックアートセンターの協力を得てトロント日本文化センターにて展示

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	折紙建築展 ( <i>Origamic Architecture Exhibition</i> )	トロント	トロント日本文化センター		2009. 11. 16 ~ 2010. 02. 25	国際交流基金制作巡回展「パラレル・ニッポン」建築展の一部を構成していた折紙建築展示16点に、当地トロントの折紙協会会員が現地制作した作品を加え、古今の日本の名建築から世界各地の名所旧跡、また、抽象的なオブジェまで、多彩な内容を、原則として白一色の紙の陰影だけで表現した作品を展示

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	シルバールーツ (カネコ・マリヤ他) 室内楽コンサート	トロント	トロント日本文化センター	在オタワ大使館 在トロント総領事館	2009. 09. 25	日系カナダ人バイオリニストでニューヨークで活躍するカネコ・マリヤのグループ「シルバールーツ」による室内楽コンサート (バイオリン、フルート、チェロ)。カナダの人々が気軽な雰囲気の中で日本の童謡や日本の現代作曲家の作品に、親しむ機会を提供

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	辰巳 ヨシヒロ トーク&レセプション	トロント	トロント日本文化センター	The Beguiling Books and Art Toronto Comic Art Festival	2009. 05. 05	トロント日本文化センター・イベントホールで、第13回手塚治虫文化大賞受賞、辰巳ヨシヒロ (劇画作家) の歓迎レセプションを実施。同氏は、第4回トロント・コミックアートフェスティバル (TCAF : 09. 05. 08~09. 05. 10) に招待され、ハーバー・フロントセンター (HFC) やトロントレファレンスライブラリー (TRL) でブックトークやサイン会を行った。レセプションは、同氏をトロントのTCAF関係者、マンガ家、アーティスト、出版社、メディア、マンガ愛好家などに紹介するために実施
9	パネルディスカッション <i>Natural/Intervention</i>	トロント	トロント日本文化センター	トロント日系文化会館 (Gendai Gallery)	2009. 05. 28	日系カナダ人アーティスト及び建築家の家族が自分たちの力だけでカナダで建築した家をテーマとした展覧会「EXTENSIONS 森にうかぶ家」の関連イベントの一つとして実施。Yam Lau (ヨーク大学教授)、Heather Keung (芸術家/リアルエイジアン映画祭芸術監督)、John McMinn (建築家/2008ベネチア・ビエンナーレ・キュレーター) による作品紹介と建築についてのパネルディスカッションを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	トロント国際映画祭 <i>Asian Film Night</i> レセプション	トロント	トロント日本文化センター	韓国映画振興委員会 (KOFIC)  財団法人日本映像国際振興協会 (UNI JAPAN)	2009. 09. 15	トロント国際映画祭の上映作品の監督のうち、崔洋一監督（日本、『カムイ外伝』）、横浜聡子監督（日本、『ウルトラミラクルラブストーリー』）、BONG Joon-ho監督（韓国、『Mother』）他の監督、俳優の参加を得て、在トロント総領事夫妻をはじめ、世界各国の映画配給会社、映画祭ディレクター、映画製作会社、批評家、トロント映画祭のディレクター、ジャーナリスト等、参加者約280名の交流の場として財団法人日本映像国際振興協会（UNI JAPAN）、韓国映画振興委員会（KOFIC）と共同でレセプションを開催
11	佐藤 晃一ポスター展 オンタリオ州グラフィック・デザイナー協会会員限定レセプション	トロント	トロント日本文化センター	オンタリオ州グラフィック・デザイナー協会	2009. 10. 20	トロント日本文化センターで開催中の展覧会「佐藤晃一グラフィックデザイン展」の関連事業として、当地のグラフィック・デザイナー協会と共催で、協会会員限定のレセプションを開催し、日本のグラフィックデザインの理解を深める機会を提供。併せてトロント日本文化センター図書館のデザイン関連の蔵書の紹介を行ない、施設利用の促進を図る
12	シネマ歌舞伎関連事業 <i>Talk with Slide &amp; DVD Presentation on Cinema Kabuki</i>	トロント	トロント日本文化センター		2009. 11. 05	ナンシー・ジャコビ（和紙研究家）を講師として迎え、青柳俊明（トロント日本文化センター・プログラムオフィサー）と共に、『連獅子』を題材とした歌舞伎における世代間の伝承と、『二人娘道成寺』を題材とした歌舞伎の衣装の色彩・文様等についてのレクチャー・トークを実施
13	池田 哲准教授講演会 <i>Japan and the End of Capitalist World-System - An Exploration of the Emerging Alternatives</i>	トロント	トロント日本文化センター		2010. 01. 29	池田哲（コンコルディア大学社会学・人類学部准教授／カナダリサーチチェアー）による、日本社会及び経済の変化に焦点を当てた講演会を開催。世界経済システムの変化の中で、現在の日本社会のさまざまな変化を説明・分析する試み。学生、社会人など一般カナダ人を対象とし、約120人が参加
14	イヴ・ティーバーギエン・ブリティッシュコロンビア大学准教授による現代日本政治講演会	トロント	トロント日本文化センターイベントホール		2010. 02. 11	イヴ・ティーバーギエン（ブリティッシュコロンビア大学（UBC）政治学科准教授／同大学日本研究センター所属）による、現代日本政治、特に2009年衆議院選挙後の日本の政治の変化について焦点を当てた講演会を開催
15	アジア・フードプリント ～日本再発見 料理のオデッセイを通して～ <i>Asian Food Prints Through a Culinary Odyssey</i>	トロント	トロント大学MUNKセンター、ユニバーシティクラブ		2010. 03. 05	トロント大学アジアインスティテュート及び同大学MUNKセンターとの共催により、日本食をテーマとして日本社会を多角的な観点から議論するシンポジウムを開催。研究者、実務家、ジャーナリスト等のパネリストが日米加から参加し、120名の聴衆を相手にディスカッションを実施したほか、日本食・日本酒紹介を兼ねた夕食会をトロント大学主催で開催し、110名が参加
16	藤田 千恵子講演会 <i>The Job Called Touji: The Life and Culture of Sake Brewers in Japan</i>	トロント	トロント日本文化センター		2010. 03. 06	藤田千恵子（ジャーナリスト）による「杜氏（とうじ）の生活と文化」と題する講演会を開催。日本の発酵食品、酒造りや調味料などの食文化に造詣の深い同氏が、酒つくりの社会的背景や、その方法、及び、杜氏という職業の精神面についても言及し、日本の酒つくり文化を紹介

海外事務所

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
17	DVDスクリーニング <i>Fire and Water: A Dream for Kabul</i>	トロント	トロント日本文化センター	カナダ国立映画制作庁 (NFB) Inform Action社	2009. 08. 12	カナダ人映像作家によるドキュメンタリー作品で、9・11テロで子供を失った日本人の父親がアフガニスタンでの学校建設の夢に向かって活動する姿を描いた作品 <i>Fire and Water: A Dream for Kabul</i> を上映
18	DVDスクリーニング <i>Potters at Work (with Master Gardener and Sake Making)</i>	トロント	トロント日本文化センター	Marty Gross Film Productions社	2009. 08. 13	カナダ国内外で良質の日本映像作品の紹介を行うMarty Gross Film Productions社との共催で、九州の福岡県・小石原（こいしばら）と大分県・小鹿田（おんだ）の陶工達を描いたドキュメンタリー映画 <i>Potters at Work</i> （陶器を創る人々）を上映
19	DVDスクリーニング『折り梅』	トロント	トロント日本文化センター		2009. 08. 19	認知症とその介護に携わる家族の問題を爽やかに描いた松井久子監督の映画『折り梅』を上映
20	『おくりびと』上映会及び滝田 洋二郎監督と観客とのディスカッション	トロント	トロント日系文化会館	トロント日系文化会館	2009. 10. 26	滝田洋二郎（映画監督）がキチュナー市を訪問する機会を捉えて、トロントの日系文化会館で『おくりびと』の上映会及び観客と監督とのディスカッションを開催。また、滝田監督をピアーズ・ハンドリング（トロント国際映画祭ディレクター）に紹介し、当地メディアによるインタビューを実施
21	シネマ歌舞伎トロント上映	トロント	スコシヤバンク・シアター・トロント	Marty Gross	2009. 11. 11 ～ 2009. 11. 15	歌舞伎を大画面高画質ステレオ音声で上映する「シネマ歌舞伎」をトロントで上映。『京鹿子娘二人道成寺』『人情噺文七元結』『連獅子』『怪談牡丹燈籠』『野田版鼠小僧』をのべ6回上映。観客動員数1,241名
22	カナダ巡回日本映画祭（トロント）	トロント ハミルトン	プロアシネマ ウェストデー ル・シアター		2009. 11. 29 ～ 2009. 12. 13	近年発表された日本映画の中から『サイドカーに犬』（2007年）『チルソクの夏』（2004年）『いつか読書する日』（2004年）『鏡の女たち』（2002年）を選び、トロント市で各1回上映したほか、トロント近郊のハミルトン市においても『サイドカーに犬』及び『いつか読書する日』を上映

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	アルバータ州教育省日本語教育専門家派遣	エドモントン	アルバータ州教育省	アルバータ州教育省	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	アルバータ州内及びカナダ全土で日本語教育振興活動を行う日本語教育専門家を国際交流基金からアルバータ州教育省へ派遣



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	アステラス・カナダ日本語教育支援プログラム	トロント	カナダ全域		2009. 05. 01 ~ 2010. 03. 30	アステラス製薬株式会社が米国内に有する「アステラスUSA ファウンデーション」は、企業の社会貢献活動の一環として、日本と米国の文化交流活動に対する支援を行なっている。本年度はその枠をカナダと日本の文化交流活動に広げたことから、トロント日本文化センターへの支援事業の企画、実施依頼があった。当地の日本語教育機関への支援プログラム実施に際し、関係機関と連絡を取りつつ、申請取りまとめ、採否結果の送付等を実施
25	言語教育学会「Languages Without Borders」へのブース出展、日本語教育情報発信	エドモントン	Mayfield Inn and Suites	カナダ第二言語教師会 (CASLT)  エドモントン市教育委員会第二言語教育研究所 (IISLE)	2009. 05. 21 ~ 2009. 05. 23	本年度の言語教育学会は、基金からの日本語教育専門家が派遣されているエドモントン市での開催であり、CASLTとエドモントン市教育委員会の言語教育機関のIISLEの共催事業でもあったため、室屋春光派遣専門家は日本語教育、言語教育のセッション講師としても参加した。この機会を捉え、トロント日本文化センターは、同学会会場にブースを出展し、当センターや同専門家の活動紹介、さらにカナダ各地の日本語教師会や関係団体を紹介
26	カナダ各地の日本語教育事情情報交換、及び、日本語弁論大会についての意見交換会	トロント	トロント日本文化センター	ブリティッシュ・コロンビア、アルバータ、マニトバ、オンタリオ、オタワ、ケベック、アトランティック各地域日本語弁論大会実行委員会	2009. 08. 17	国土が広大なカナダで課題となっている地域を越えた日本語教育の連携と情報共有を目的として、各地の日本語教育全般の情報共有に加え、連携による継続が必要となっている事業の一つである日本語弁論大会について、各地区大会及び全国大会の現状、開催に係る課題及び将来の展望等について、カナダ各地の日本語教育関係者及び各地区弁論大会代表者による意見交換を実施
27	ブリティッシュ・コロンビア州日本語教師夏季セミナー2009	バーナビー	日系ブレース	日本語ブリティッシュ・コロンビア (ブリティッシュ・コロンビア州日本語教師会)	2009. 08. 25 ~ 2009. 08. 27	日本語ブリティッシュ・コロンビア (ブリティッシュ・コロンビア州日本語教師会)、国際交流基金の共催により、8月25日から27日までの3日間、ブリティッシュ・コロンビア州の現職日本語教師のための夏季セミナーを開催。教授法のワークショップ、トピックベースの日本語運用力の授業、教材の紹介と使い方、現代の日本事情とポップカルチャー、DVD リソース『エリンが挑戦！にほんごできます。』の効果的な使い方のほか、参加者のプロジェクトワークやネットワーク構築を目的とした懇談会も実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
28	トロント日本語教育レクチャー&ワークショップ	トロント	トロント日本文化センター	カナダ日本語教育振興会 (CAJLE) 新移住者協会 日本語教育プロジェクト	2009. 08. 29	根津誠（日本語国際センター専任講師）によるトロント近郊の現職日本語教師や日本語教育に関心のある人々を対象としたレクチャー・ワークショップを実施。2つのレクチャー・ワークショップのセッション「いつどのように読むのか？－読むことの教え方について考える－」、「言語と文化を組み合わせた教え方『エリンが挑戦！にほんごできます。』を例として－」及び参加者間の意見交換会を実施
29	トロント日本語教育レクチャー「キューバの日本語教育」	トロント	トロント日本文化センター	ヨーク大学	2009. 10. 23	ノエル・ニエブラ（ハバナ大学外国学部副学部長・日本語教授）がヨーク大学による招へいでトロント滞在の機会を捉え、同氏と太田徳夫（ヨーク大学日本語科・韓国語科主任教授）による日本語教育の講演会を実施。外国語としての日本語教育の実践例として、ニエブラ教授からは、キューバの日本語教育について、太田教授からは、キューバで実施している日本語教授法について、当地の日本語教育関係者に対して講演
30	日本語教育ワークショップ「日本語学習を継続させる－高校から大学・カレッジへ」	トロント	トロント日系文化会館 HOSAKIルーム		2009. 12. 18	オンタリオ州において中等教育、高等教育、継承語としての日本語教育などさまざまな形で日本語教育に携わる日本語教師等約30人に対し、オンタリオの日本語教育の現状の概観を説明し、また参加各機関によるプログラム紹介を行い、今後の連携の可能性に向けてディスカッションを実施

【図書館運営】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
31	図書館運営	トロント	トロント日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	日本語教育教材や日本文学や日本文化についての英語書籍など、カナダ市民のニーズに合わせた蔵書を収集提供するほか、ポップカルチャーコーナーを設置しマンガやアニメ、J-POP、映画などの紹介を行う図書館を運営  ①所蔵資料合計： 17,661点 （内訳：和英書籍等14,372冊 視聴覚資料数DVD等3,289点） ②登録会員数： 12,619名 ③利用者数（年間）： 25,604名 ④貸出点数（年間）： 27,383点 ⑤レファレンス件数（年間）： 1,460件 ⑥図書館用リーフレット作成： ガイド2,500部（年1回） 及び ブックマーク 3,100部（年4回）

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
32	カナダ図書館協会専門図書館部門 トロント支部 (CASLIS Toronto) 図書館ツアー	トロント	トロント日本 文化センター	カナダ図書館協会専門図書館部門 (CASLIS) ト ロント支部	2010. 02. 03	カナダ図書館協会専門図書館部門 (CASLIS) トロント支部の年間プログラムの一環としてトロント日本文化センター図書館のツアーを実施。トロント日本文化センターの主任司書がプレゼンを行い、国際交流基金本部ウェブサイトの <i>Useful Database</i> の紹介およびトロント日本文化センター図書館概要や運営の努力などについて説明。またライブラリアシスタントが、ポップカルチャーコーナーとマンガコレクションを紹介。その後図書館内のツアーを実施
33	図書館開館時間延長広報のための ひな祭りミニイベント	トロント	トロント日本 文化センター		2010. 03. 08	トロント日本文化センター図書館所有の雛人形および総領事館広報文化センター、図書館スタッフ、利用者などから借用した様々な「雛人形」セットを図書館内に展示した。閲覧テーブルやポップカルチャーコーナー横のスペースを利用した抹茶のサービス、筆による名前書き、日本文化紹介グループAssociation for Japanese Cultureによる子供への着物着付け、トロント折り紙ソサエティ ( <i>Origami Society of Toronto</i> ) によるおりがみ教室などを実施

【出版・広報】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
34	『東西交流』出版記念会	トロント	トロント日本 文化センター		2009. 04. 02	Gerald LazareとSetsuko Lazare夫妻 (画家) の作品を収めた書籍『東西交流: <i>East meets West</i> 』の出版記念会。両氏のそれぞれの収録作品についてのプレゼンテーションとレセプションを実施

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
35	トロント折り紙ソサエティへの協力	トロント	トロント日本 文化センター	トロント折り 紙ソサエティ	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	トロント折り紙ソサエティの月例会への会場提供による協力。同協会は折り紙の技術研修及び普及活動を行っており、トロント日本文化センター事業に対しても無償で様々な協力をしてもらっており、良好な協力関係を築いている
36	Lord Dufferin Public School グ ループツアー受入	トロント	トロント日本 文化センター	Lord Dufferin Public School	2009. 04. 23	トロント市内の公立中学校Lord Dufferin Public Schoolで課外授業 <i>Made in Japan</i> を履修する7~8年生 (中学1~2年生) の生徒をトロント日本文化センターで受け入れ、「伝統的な日本/現代的な日本」をテーマに、国際交流基金の文化交流事業および日本紹介を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
37	トロント市主催「ドアーズ・オープン・トロント」への参加			トロント市	2009. 05. 23 ~ 2009. 05. 24	トロント市が主催するドアーズ・オープン・トロントという文化事業（市内の博物館・美術館など文化施設が週末の2日間、扉を一般市民に開放する文化イベント）に、トロント日本文化センターも参加し、「新世代アーティスト展」（イベントホール）、「森に浮かぶ家」資料展（図書館）を一般市民に公開。今回の共通テーマの「文学都市（LIT CITY）」にあわせて、図書館も週末特別オープンを実施
38	トロント大学情報学部(iSchool)学生図書館ツアー	トロント	トロント日本文化センター	カナダ図書館協会専門図書館部門 (CASLIS) トロント支部学生部  トロント大学情報学部 (iSchool)学生	2009. 09. 24	就職活動の参考として、トロント大学iSchoolで学ぶ学生を対象に図書館ツアーを行った。ツアーの企画は、CASLIS Toronto学生部によるもので、日本政府観光局(JNTO)制作の「ようこそJAPAN」鑑賞の後、トロント日本文化センター主任司書から1995年の当センター図書館立ち上げの準備について紹介
39	トロント市主催現代アートフェスティバルNUIT BLANCHEへの参加	トロント	トロント日本文化センター	トロント市	2009. 10. 03 ~ 2009. 10. 04	トロント市が中心となってトロント市内全域で開催する、現代アートフェスティバルNUIT BLANCHEに、トロント日本文化センターも参加、イベントホールにおける展示「佐藤晃一ポスター展」及びDVD『世界の日本建築』上映、図書館の夜間特別開館等により参加し、一晩で2,000人以上の一般カナダ市民に日本文化の紹介を実施
40	癌患者サポート機関「ギルダズ・クラブ」における茶道デモンストレーション	トロント	ギルダズ・クラブ・グレート・トロント(Gilda's Club Greater Toronto)		2010. 01. 08	Anthony Lee (アジア美術専門家) の協力を得、癌患者およびその家族のための施設であるギルダズ・クラブにおいて、同氏所蔵の貴重な器を用いた茶道のデモンストレーションを実施。トロント日本文化センター図書館紹介資料の配布と共に、図書館所蔵の茶道に関する図書および関連の日本文化に関する資料を紹介
41	ミササガ市友好協会「シネマ歌舞伎」紹介及び基金事業紹介	ミササガ	ミササガ市議会会議室A		2010. 02. 23	ミササガ市友好協会の定期会合で、同会の運営に携わるミササガ市民に対して国際交流基金及びトロント日本文化センターの事業を紹介し、当センターで実施している「シネマ歌舞伎」上映の紹介を実施
42	青山学院大学東カナダ研修旅行	トロント	トロント大学アジア研究学部他市内各地		2010. 03. 18 ~ 2010. 03. 23	青山学院大学総合文化政策学部が行なう東カナダの文化及び文化政策を学ぶ研修旅行（教授2名、学生17人が参加）のトロントにおけるプログラムに協力し、トロント大学で日本語を学ぶ学生との交流会、各種文化機関訪問プログラム、トロント日本文化センターの活動の説明等を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
43	語りストーリーテリング：英語による昔話と民話	トロント	トロント日本文化センター		2010. 03. 27	トロント市内で開催されたストーリーテリング・フェスティバル（2010. 03. 25～03. 28）に参加。トロント市内各所で開催された関連イベントの広報協力を行ったほか、トロント日本文化センターでは日系人、カナダ人を交えた5人の「語りストーリーテラー」が、日本の話、日系ハワイに伝わる昔話、韓国の民話なども含めたバラエティに富んだ内容の話を歌やギター演奏やマイムを交えて英語で披露する催しを実施

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
44	トロント・サマー・ミュージックフェスティバル	トロント・サマー・ミュージック・フェスティバル	2009. 06. 26 ～ 2009. 07. 23	世界的に活躍する音楽家をトロントに招き若手音楽家の教育プログラムとコンサートを開催する同フェスティバルに、堤剛（チェロ奏者・桐朋大学学長）、大谷康子（ヴァイオリン奏者）及び川本嘉子（ヴィオラ奏者）を招へいする経費の一部を助成
45	コンコルディア大学及びアルバータ大学アニメDVD購入	コンコルディア大学 アルバータ大学	2009. 07. 01 ～ 2009. 07. 31	日本より専門家を招へいしアニメをテーマとした日本文化講演会を開催したコンコルディア大学（モンリオール）及びアルバータ大学（エドモントン）が研究所蔵資料として収集する日本のアニメDVDの購入費を助成
46	渡辺 貞夫ジャズコンサート	トロント・ジャズフェスティバル	2009. 07. 02 ～ 2009. 07. 05	渡辺貞夫およびバンドのミュージシャン5名が、モンリオールおよびトロントの各ジャズフェスティバルに参加するための渡航旅費の一部を助成
47	<i>Kibatsu Cinema Festival</i>	パウエル・ストリート・フェスティバル事務局	2009. 07. 02 ～ 2009. 07. 23	「キバツ」のタイトルの下、日本のポップカルチャーや現代アートに強く影響された『かもめ食堂』『草間弥生 I Love Me』『Travelling with Yoshitomo Nara』などの映像作品の上映を、毎週1回（計5回）バンクーバー市内にて開催する経費の一部を助成
48	カナダ人監督ドキュメンタリー映画『火と水（旧題：カプールの手品師）』	InformAction Films	2009. 08. 12 ～ 2009. 08. 19	日本とアフガニスタンのかかわりを描きながら文化的背景を乗り越え平和の重要性を訴えるカナダ映画『火と水（旧題：カプールの手品師）』（2008年度日本語字幕作成費を助成）を東京で上映するにあたり、同映画製作関係者の渡航費の一部を助成
49	新世代映画祭（ <i>Shinsedai Cinema Festival: New Generation Japanese Film Festival</i> ）	トロント 日系文化会館（Japanese Canadian Culture Centre: JCCC）	2009. 08. 21 ～ 2009. 08. 23	トロント日系文化会館が、英国及びトロントの日本映画専門家2名の協力を得て、日本の新しい映像作家を紹介する3日間の映画祭を実施。長編・短編映画あわせて約30本の映画を紹介する意欲的な企画であり、トロント日本文化センターは、日本の映像文化のカナダへの紹介の観点から、同映画祭実施経費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
50	日本語教材支援 オタワ日本語学校	オタワ日本語学校	2009. 09. 17	オタワにおいて30年以上非営利団体として日本語教育と日本文化の普及に努めているオタワ日本語学校で入手困難な日本語教育関連図書の購入費を助成
51	坂口 恭平&砂山 典子の現代アートフェスティバルNUIT BLANCHEへの参加	トロント市ヌイブランシュ実行委員会	2009. 10. 03 ~ 2009. 10. 04	トロント市主催によりトロント市内全域で開催する現代アートフェスティバルNUIT BLANCHEに原真紀子（センターAキュレーター）が招へいアーティストとして選んだ坂口恭平（建築家）砂山典子（舞台芸術家）が参加するための渡航経費の一部を助成し、日本の現代アートをトロント市民に紹介。のべ22,400名が二人の作品を鑑賞
52	カナダアジア学会	カナダ・アジア学会	2009. 10. 08 ~ 2009. 10. 11	カナダのアジア研究のネットワーク組織である同学会で先住民族と開発、気候変動をテーマに開催されたラウンドテーブルに日本から専門家を招へいするための旅費の一部を助成
53	グランド・リバー・フィルム・フェスティバル (Grand River Film Festival)	Grand River Film Festival事務局	2009. 10. 23 ~ 2009. 10. 27	キチュナー市及びケンブリッジ市の両市で開催される「グランド・リバー・フィルム・フェスティバル」に、アカデミー賞受賞監督である滝田洋二郎（映画監督）が参加するための渡航経費の一部を助成し、映画『おくりびと』について観客とのディスカッションや日本映画の紹介を実施
54	マウントアリソン大学日本デー「Arashi Daiko」公演	マウントアリソン大学 在モンリオール総領事館	2009. 10. 24	カナダ東部で日本の複数の大学と提携関係を持つマウントアリソン大学が一般市民を対象とした「日本デー」を開催するにあたり、モンリオールで活動する日本の和太鼓グループ「Arashi Daiko」を招へいするための旅費の一部を助成
55	田中 功起展	YYZアーティストアウトレット	2009. 12. 08 ~ 2010. 02. 20	ロサンゼルスを拠点として活動する田中功起（美術家・映像作家）がトロントの主要アートギャラリーの招待によりレジデントとして滞在し作品制作及び展覧会を開催することについて同氏の旅費及び制作費の一部を助成
56	ブリティッシュコロンビア大学阪神大震災関連書籍出版	ブリティッシュコロンビア大学	2010. 01. 01 ~ 2010. 03. 31	デビット・エジントン（ブリティッシュコロンビア大学教授）が阪神大震災関連の書籍を出版するにあたり、出版費用の一部を助成
57	カルガリーOne Yellow Rabbit劇団Kawasaki Exit公演	One Yellow Rabbit劇団	2010. 01. 19 ~ 2010. 01. 23	カルガリーの主要劇団の1つであるOne Yellow Rabbit劇団が、日本の東京と川崎を舞台にした現代創作劇を上演するに当たり、日本語台本の翻訳料の一部を助成
58	ハーバーフロント・センター舞台芸術ディレクター訪日	ハーバーフロント・センター	2010. 02. 19 ~ 2010. 03. 11	ティナ・ラスムッセン（ハーバーフロント・センター舞台芸術ディレクター）が東京舞台芸術見本市（TPAM）に参加するための渡航費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
59	日本語教材支援 <i>D. S. Mackenzie Junior High School</i>	D. S. Mackenzie Junior High School	2010. 03. 01	国際交流基金派遣日本語教育専門家、アルバータ州教育省、エドモントン市教育委員会の働きかけにより、本年度アルバータ州の中学校として初めて新規に日本語講座を開講したアルバータ州エドモントン市のD. S. Mackenzie中学校に対し、日本語教材購入支援を実施。同校は地域内に日本語講座が充実した高校があることから、同中学校の日本語講座開講により同地域において中学校から高校まで日本語を継続学習できる環境が実現
60	トロント・ジャパニーズ・ショートフィルム・フェスティバル	トロント・ジャパニーズ・ショートフィルム・フェスティバル	2010. 03. 18 ~ 2010. 03. 21	トロントで日本の短編映画を紹介する映画祭として2003年から開催されている同映画祭に、笈昌也（映画監督）、真島理一郎（映像作家）、和島香太郎（映画監督）、朴美和（映画監督）を招へいする旅費の一部を助成

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
61	日本書道公募展 <i>Japanese Calligraphy Competition in Canada</i>	SHODO CANADA	2009. 11. 08 ~ 2009. 11. 21	書道カナダが主催する「第2回カナダ日本書道公募展」にトロント日本文化センターの後援名義を付与し、同展覧会の発展及びカナダにおける書道の発展を支援

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
62	カナダ日本協会「サバイビング・イン・カナダ 新規カナダ来訪者へのオリエンテーションセミナー」	カナダ日本協会 (CJS)	2009. 04. 29	ワーキングホリデー、起業、結婚等で来加する邦人を対象として、カナダへの定着についてのオリエンテーションセミナーをカナダ日本協会が開催。同事業に対して会場提供により協力。 カナダに居住する邦人は日加の文化交流の担い手となるグループであることから、同協会と協力して、彼らの定着を支援しつつ、トロント日本文化センターの活動を紹介し、今後のネットワーク作りを実施
63	JETプログラム同窓会 (JETAA: JET Alumni Association) カナダ・ナショナルコンファレンスへの協力	JETアラムナイ・アソシエーション (JETAA) トロント支部 在トロント総領事館	2009. 05. 30 ~ 2009. 05. 31	「語学指導等を行う外国青年招致事業 (JETプログラム)」にカナダから参加した同窓会 (JETAA) の代表者がトロントに集まり、JETAAの活動の現状を報告、今後のあり方について議論を行う活動に対し、トロント日本文化センターは、会場提供を通じて支援。同窓生は、カナダにおける日本文化紹介の担い手として活躍していることから、当センターの事業視察 (現代美術展「未来への回路」、図書館ポップカルチャーコーナー) やネットワーク構築の機会を提供
64	JETプログラム参加予定者に対する事前オリエンテーションセミナー	JETアラムナイ・アソシエーション (JETAA) 在トロント総領事館	2009. 06. 20 ~ 2009. 06. 21	平成21年度にオンタリオ地区から「語学指導等を行う外国青年招致事業 (JETプログラム)」参加予定者に対する3日間のオリエンテーションのうち、2日間についてトロント日本文化センターの会場、機材及びスタッフ1名を提供

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
65	カナダ日本語教育振興会 (CAJLE) 2009年次大会	カナダ日本語教育振興会 (CAJLE)	2009. 08. 15 ~ 2009. 08. 16	カナダで日本語教育に従事する教育者及び研究者による数少ない研究発表、教師研修の機会である同年次大会は、「これからの日本語教育を考えるー教師間・教育機関の連携を目指してー」を今年のテーマとし、渡邊真紀 (国際交流基金ロサンゼルス日本文化センター) による講演の他、深田淳 (パデュー大学教授) による現職教師研修や、研究論文発表会、パネルディスカッションを実施。海外日本語教育ネットワーク形成助成事業である本事業に会場を提供
66	ReelAsian Film Festival プレス・ローンチ	ReelAsian Film Festival 事務局	2009. 10. 13	アジア系映画制作者による映像作品を集めた有力なフィルムフェスティバルである、ReelAsian Film Festival がプレス及び映画関係者向けに行うプレスローンチに、会場提供等の協力を行った。メディア関係者及び映画関係者、計約200名が参加
67	JETAA Job Fair	JETアラムナイ・アソシエーション (JETAA) 在トロント総領事館	2009. 10. 16	「語学指導等を行う外国青年招致事業 (JETプログラム)」にカナダから参加した同窓会 (JETAA) が主催する、JETプログラムで日本に滞在し最近帰国した若者を対象とする就職フェアに対して会場提供により協力。トロント近隣から10社の日系企業が就職説明のためのブースを設置し、帰国したJET参加者たちとの面談を実施
68	朗読ナイト	語りの会 トロント日系文化会館 (JCCC) jpal	2009. 11. 20	語りの会およびトロント日系文化会館の共催事業。同会の朗読者が『ノルウエーの森』、『走れメロス』、『ビルマの豎琴』、『鯛』の4作品の抜粋を朗読する催しに会場を提供
69	Kollaboration プレス・ローンチ	Kollaboration 事務局	2010. 02. 04	日本を含むアジア系および太平洋諸国系のカナダ人・アメリカ人の音楽アーティスト発掘を目的とするコンテスト Kollaboration が、トロントの地元プレス及びアジア系コミュニティ向けに行うプレスローンチに会場を提供。Kollaboration のビデオ紹介、出場予定者の挨拶、過去出場者による演奏等による広報とともに、地元プレスやアジア系コミュニティリーダーとの交流を実施
70	JETAAによるゲームズデーイベント	JETアラムナイ・アソシエーション (JETAA)	2010. 02. 21	「語学指導等を行う外国青年招致事業 (JETプログラム)」にカナダから参加した同窓会 (JETAA) が行なう慈善及び親睦のための活動「ゲームズデー」に対し会場を提供

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
71	映画『電車男』貸し出し上映	在カナダ大使館	2009. 05. 28	在カナダ日本大使館がオタワ・ガティノー地区で実施する日本映画『電車男』 (村上正典監督作品) を上映会にトロント日本文化センター図書館所蔵の映像媒体を貸し出し協力



海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
72	映画『たんぽぽ』貸し出し上映	DRAKE HOTEL	2009. 07. 14	映画『タンポポ』（伊丹十三監督作品）の無料上映及びフランシスコ・アルベレス（ロイヤル・オンタリオ博物館現代文化インスティテュート部長）による同映画作品の解説を通じて日本映画を紹介するプロジェクトに、映像媒体を貸し出し協力
73	「錦絵で見る日本の近代化・産業化」展示貸出協力	在米大使館広報文化センター	2009. 09. 15 ～ 2009. 11. 20	在米国大使館広報文化センター（ワシントンD.C.）がトロント日本文化センター所蔵の渋沢栄一記念財団作成錦絵パネルを展示することについて作品を貸し出し協力
74	The Nippon Club (New York) 「錦絵で見る日本の近代化・産業化」展示貸出協力	ニューヨーク日本クラブ	2010. 01. 28 ～ 2010. 02. 24	日本クラブ（ニューヨーク）がトロント日本文化センター所蔵の渋沢栄一記念財団作成錦絵パネルを展示することについて作品を貸し出し協力
75	シカゴ大学レーゲンシュタイン図書館「横尾 忠則ポスター展」展示貸出協力	シカゴ大学	2010. 03. 29 ～ 2010. 03. 31	シカゴ大学レーゲンシュタイン図書館がトロント日本文化センター所蔵の横尾忠則ポスターを展示することについて作品を貸し出し協力

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
76	トロント大学情報学部インターン生受け入れ	トロント大学情報学部	2009. 04. 26 ～ 2009. 05. 26	トロント大学情報学部の学生をトロント日本文化センター図書館のインターンとして105時間受け入れ、同図書館主催イベント「辰巳ヨシヒロブックトーク&レセプション」や、トロント・コミックアートフェスティバルへの参加などの機会を提供することで、将来の日本関係司書の育成に協力
77	カナジアン（CanAsian）国際ダンスフェスティバル広報協力	CanAsian International Dance Festival 2009	2009. 05. 06 ～ 2009. 05. 09	カナダで活躍するデニーズ・フジワラ（舞踏家）が芸術監督を務めるカナジアン国際ダンスフェスティバルの開催（本年は日本から室伏鴻（舞踏家）が参加）にあたり、同フェスティバルのパンフレットをトロント日本文化センター主催事業「シネマ歌舞伎」パンフレットに同封し3,150通を関係者に郵送し、広報に協力
78	トロント日本語学校日本語弁論大会審査協力	トロント日本語学校	2009. 05. 09	トロント日本語学校が毎年開催している同校の学生による日本語弁論大会にトロント日本文化センター所長が審査員として協力。在トロント総領事夫妻も参加。本年は、同校開設60周年にあたり、この弁論大会も第30回目にあたる。スピーチは、幼稚園から成人クラスまで、約70名により行われ、保護者など計約200名が参加
79	日本映画『おくりびと』上映に対する協力	Kinosmith社	2009. 06. 11 ～ 2009. 06. 18	外国語映画部門で本年度アカデミー賞を受賞した映画『おくりびと』の一般商業館上映がトロント及びバンクーバーで行われるのに際し、日本映画紹介の観点から同映画の広報に協力。具体的には、トロント日本文化センター図書館でのポスター掲示、ビラの配布、メーリングリストやEメールを通じた広報などを行った。また、当センター関係文化人等140名に対し当センターより試写会の招待券を配布

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
80	トロント日本語学校修卒業式への出席及び来賓挨拶	トロント日本語学校	2009. 06. 20	トロント日本語学校の第60回修卒業式にトロント日本文化センター副所長が出席し来賓挨拶。在トロント総領事夫妻も参加。1949年に設立されたトロント日本語学校の60周年の記念の年にあたる本年の修卒業式には、約150名の生徒（幼少～成年）が参加し、来賓、保護者、先生方を含めると200名以上が参加
81	日本映画『東京ソナタ』上映に対する協力	Dシアター El Entertainment	2009. 06. 26 ～ 2009. 07. 23	黒澤清監督作品『東京ソナタ』のトロント市での商業上映に際して、トロント日本文化センターでのポスター掲示、また、当センターの来館者データベースを通じたEメールを送信し、日本および日本映画に関心を有する層に対する広報協力
82	SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2009（さいたま市）長編コンペティション作品海外応募広報協力	SKIPシティ国際Dシネマ映画祭	2009. 07. 10 ～ 2009. 07. 20	トロント日本文化センターよりカナダのデジタル映画製作関係者約100名に向けて同映画祭長編コンペティション部門への参加をメールにて呼びかけ、カナダ国内デジタル映画関連9機関に向けて同映画祭の広報周知について協力を要請
83	トロント大学東アジア学部学生に対する日本紹介および留学情報提供事業	トロント大学	2009. 07. 23 ～ 2009. 07. 30	日本に対する関心の高い学生を有するトロント大学東アジア学部の日本語クラスの学生25名が当センター図書館を訪問する機会を捉えて、日本留学参考情報や語学指導等を行う外国青年招致事業(JET)プログラム情報など、日本に関する情報を提供。あわせて図書館の利用広報を実施。また、翌週にトロント日本文化センター所長が同クラスを訪問、受講学生と意見交換を実施
84	トロント日系文化会館（JCCC）日本映画月例上映会広報協力	トロント日系文化会館（JCCC）	2009. 09. 01 ～ 2010. 03. 31	トロント日系文化会館（JCCC）が月例で開催する日本映画上映会に、メール、ウェブサイトなどにより広報協力
85	カナダ都市研究所（CUI）朝食セミナー「日本から何を学ぶか」	自治体国際化協会（CLAIR） カナダ都市研究所（CUI） 日本貿易振興機構（JETRO）トロント事務所 日本政府観光局（JNTO）トロント事務所	2009. 09. 17	長年にわたりカナダのトロントの地方自治行政などのリーダーを日本に招へいし、日本の都市行政等の視察を行ってきた自治体国際化協会（CLAIR）が、過去の参加者3名による日本の都市計画・都市行政に関する報告及びカナダ社会への提言を行なう事業に会場提供及び広報協力
86	ヨーク大学日本国際学生協会（JISA）Japan Night参加協力	ヨーク大学日本国際学生協会（JISA）	2009. 10. 21	ヨーク大学日本国際学生協会（JISA）が開催するJapan Nightに参加し、基金が主催及び支援する様々な分野での日本関連事業やイベントを紹介
87	安楽 真理子ハーブコンサート	トロント大学音楽学学部	2009. 11. 01	安楽真理子（ニューヨーク・メトロポリタンオペラ常任ハーピスト）がジュディ・ローマン（トロント大学教授／ハーブ奏者）とコンサートを開催するに際し、トロントの音楽ファンや日系コミュニティを対象に広報協力

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
88	日加ビジネスシンポジウム <i>Manufacturing Collaborations in Kanagawa</i>	日本貿易振興機構（JETRO）トロント事務所	2009. 11. 04	日本貿易振興機構（JETRO）トロント事務所が主催する日加ビジネスシンポジウム会場で国際交流基金の事業紹介を実施し、ビジネス関係者への事業広報・ネットワーク作りを実施
89	にほんごアートコンテスト2009 展覧会及び表彰式	日本語アートコンテスト実行委員会	2009. 11. 24 ～ 2009. 12. 12	国際交流基金の日本語教師研修参加者のアイデアをベースに始められ、オンタリオ州の日本語学習者から200を超える応募が寄せられた日本語の文字を絵に織り込んで表現するアート活動である「日本語アートコンテスト」について、コンテストの審査及び表彰式に協力
90	Flower Travellin' Bandコンサート	Flower Travellin' Band	2009. 11. 29	70年代に日本で結成され、カナダのトロントをベースに活動し、北米で人気を博したフラワートラベリン・バンドのコンサートを広報面でサポートすることで、日本のロックミュージックをトロントの一般市民に紹介
91	第28回オンタリオ州日本語弁論大会	オンタリオ州日本語弁論大会実行委員会 ヨーク大学	2010. 03. 13	オンタリオ州日本語弁論大会は、日本語学習者に学習成果の発表の場を与えることを目的とした事業で、各所属校から選抜されたオンタリオ州内の大学生以上の学習者49名が参加。当地のすべての日本語学習者に強いインセンティブを与え、日本語普及、日本語教育関係者ネットワーク強化にも多大な効果を及ぼしている。トロント日本文化センターは、本事業の開催に運営協力
92	第21回全カナダ日本語弁論大会	オンタリオ州日本語弁論大会実行委員会 ヨーク大学（カナダ）	2010. 03. 28	全カナダ日本語弁論大会は、カナダ国内7地区で開催される地区大会のレベル別優勝者による全国大会で、カナダの大学で日本語を学ぶ学生の唯一の全国規模の事業。トロント日本文化センターは、この弁論大会の開催に協力し、次世代の日加の交流を担うキーパーソンの交流及び地域を越えた日本語教育関係者間のネットワーク強化を支援
93	大蔵流狂言山本家トロント公演	トロント日系文化会館	2010. 03. 29	トロント日系文化会館が、ニューヨークのジャパンソサエティと協力し、独自のファンドレイジングを行って実現した狂言のトロント公演に対して広報協力

ニューヨーク日本文化センター

合計額 60,225,417 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	在米日本文化専門家中南米派遣 (生花)	グアテマラシ ティ(グアテ マラ)		在グアテマラ 大使館	2009.08.03 ~ 2009.08.08	在グアテマラ大使館の要請に基づき、グアテマラシティ(グア テマラ)にてアンナ・ナカダ(Anna Nakada: 一葉式いけ花・ 師範)による生花ワークショップ、およびデモンストレーショ ンを実施

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	在米日本文化専門家中南米派遣 (ジャズ)	サンパウロ  レシフェ  ブラジリア  ベレン  マナウス (ブラジル)		サンパウロ日 本文化セン ター  在レシフェ総 領事館  在ブラジル大 使館  在ベレン総領 事館  在マナウス総 領事館	2009.10.07 ~ 2009.10.25	在ブラジル大使館・総領事館及び国際交流基金サンパウロ日 本文化センターからの要請に基づき、三上クニ(ジャズ・ピ アニスト)によるブラジル5都市での公演及びレクチャー&デ モンストレーションを実施

## 【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	在米日本文化専門家中南米派遣 (講演会「サムライ：過去と現在」)	ブエノスアイ レス(アルゼ ンチン)  サンティアゴ (チリ)  リマ(ペルー)	アルゼンチン 国防大学院  カトリカ大学  ペルー・カト リック大学講 堂  日秘文化会館 大ホール	在アルゼンチ ン大使館  在チリ大使館  ペルー日系人 協会  在ペルー大使 館	2009.11.18 ~ 2009.11.30	在アルゼンチン大使館、在チリ大使館、在ペルー大使館の要 請に基づき、池上英子(New School大学院社会学部長・教 授)によるサムライ文化、武士道がどのように日本人の精神 性や文化に影響をおよぼしたかにつき社会学的視点から講演 会を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	在米日本文化専門家中南米派遣 (講演会「サムライ：過去と現在」)	カラカス (ベネズエラ)  キト (エクアドル)  ラパス (ボリビア)	国立シモン・ボリバル大学  国立ロムロ・ガジェゴ文化センター  キト市カトリカ大学文化センター大ホール  国立サン・アンドレス大学人文学部教室(座談会)  国立民俗博物館(講演会)	在ベネズエラ大使館  在エクアドル大使館  在ボリビア大使館	2010. 02. 03 ~ 2010. 02. 13	在エクアドル大使館、在ベネズエラ大使館、在ボリビア大使館の要請に基づき、佐藤紘彰(日本貿易振興機構・上級研究員)によるサムライと日本社会についての講演を行うことにより、日本の歴史、サムライといった基本的な情報と多岐にわたる内容について質疑応答の機会を提供

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	中西部大学巡回映画祭	カラマズー  ローレンス  マディソン	西ミシガン大学  カンザス大学  ウィスコンシン大学	西ミシガン大学  カンザス大学  ウィスコンシン大学	2010. 01. 20 ~ 2010. 03. 10	日本映画を上映する機会の少ない中西部の大学において、日本文化紹介のために基金所蔵の35mmフィルムを使用した映画上映会を実施。New Films from Japanと題したこのフィルムシリーズでは、最近5年間に日本で話題になった日本映画を4作品(『時をかける少女』、『嫌われ松子の一生』など)を上映

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
6	広報資料作成	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	米国内における国際交流基金のプレゼンスを高めるため、ロサンゼルス日本文化センターと協力し、基金の米国における活動を紹介する広報資料 <i>The Japan Foundation in the United States</i> を3,500部作成、配布。また邦楽紹介DVDを700部作成、配布
7	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	米国向けに国際交流基金及びニューヨーク日本文化センターの活動を紹介するため、ウェブサイトを運営。本年度は、ニューズレターを年14回配信 URL : <a href="http://www.jfny.org/">http://www.jfny.org/</a>

海外事務所

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	全米アジア学会	フィラデルフィア	マリオット・ダウンタウンホテル	全米アジア学会	2010. 03. 26	全米アジア学会に参加する日本研究者のネットワーク構築、意見・情報交換を目的として懇談会を開催

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
9	桜祭り	ニューヨーク州立大学ストーン・ブルック校日本センター (Japan Center at Stony Brook)	2009. 04. 05 ~ 2009. 04. 25	ニューヨーク州立大学ストーン・ブルック校日本センター主催、地元ロングアイランドの住民を対象に開催された桜祭りに対して助成。太鼓、生花、箏と三味線公演、日本舞踊と沖縄民謡舞踊、空手や折り紙等、多様な日本文化の紹介を行う。レクチャーでは歴史や文化的概念にも触れた文化紹介が行われる。700名以上が来場
10	茶の旅路：日本の茶文化今昔	イエール大学アートギャラリー (Yale University Art Gallery)	2009. 04. 17 ~ 2009. 04. 18	イエール大学アートギャラリーでの「日本の茶文化展」(09. 01. 20~09. 04. 26) の開催にあわせ、同展覧会のキュレーター、大木貞子の企画により実施。西田宏子(根津美術館副館長)や名児耶明(五島美術館理事)の専門家による公演や武者小路千家15代目千宗屋のデモンストレーションを行い、350人以上の観客を集めた。会議通訳と資料翻訳の経費を助成
11	2009年PEN国際会議	PEN American Center	2009. 04. 27 ~ 2009. 05. 03	日本の劇画の生みのである辰巳ヨシヒロがPEN国際会議に招待され、ニューヨーク日本文化センターは、渡航費を助成。世界41カ国から160名の作家が招待され、1万5千人の参加者が集まった国際会議にて、同氏は2日間にわたり、デヴィッド・ハグラント (PEN America ジャーナル・チーフエディター) とエイドリアン・トミネ (漫画家) とのトークセッション及び質疑応答を実施
12	第4回シルクスクリーンアジア系アメリカ人映画祭	シルクスクリーンアジア系アメリカ人映画祭事務局 (Silk Screen Asian American Film Festival)	2009. 05. 08 ~ 2009. 05. 17	ピッツバーグで行われた第4回シルクスクリーンアジア系アメリカ人映画祭に対して助成。『ノン子36歳 (家事手伝い)』(熊切和嘉監督、2008年)と『ぐるりのこと。』(樋口亮輔監督、2008年)を日本映画として上映
13	落語～ユーモア溢れる語り文化～ メンフィス公演	メンフィス大学 (The University of Memphis)	2009. 05. 11 ~ 2009. 05. 16	三遊亭享楽 (落語家) のテネシー州メンフィスにおける落語講演とワークショップ、および水墨画、寄席文字ワークショップによる日本文化紹介イベントに対して助成。日本語で落語を演じ、パワーポイントでサブタイトルを落語家の背後に写すという方法で言語の障害を取り除く試みにより、4日間で計224名が参加

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
14	「広島からの声」	Crossing Jamaica Avenue	2009. 05. 11 ～ 2009. 05. 25	日本の原爆体験をもとにしたリーディング・シリーズに対して助成。上演作品は井上ひさし『父と暮らせば』、別役実『象』、田中千禾夫『マリアの首』。アメリカ人俳優による英語公演で観客は全3回を通して約150名
15	第25回国際写真センター賞	国際写真センター (International Center of Photography (ICP))	2009. 05. 12	第25回国際写真センター賞で、日本人アーティスト川口倫子と志賀理江子が受賞。両名の渡航費に対し助成。授賞式典には700名の出席者があり、受賞者の作品がビデオ・プレゼンテーションで披露された他、同センターのウェブサイトにも掲載。国際写真センター内でも展示され、観客との交流会も実施
16	バジル・ツイスト作『道具返し』	スポレット祭 (Spoleet Festival USA)	2009. 05. 30 ～ 2009. 06. 07	日本の素材をもとにバジル・ツイスト (演出家/人形師) が独自に演出した芸術作品『道具返し』のサウスカロライナ州チャールストン市で行われるスポレット祭での13回公演に対して助成。田中悠美子 (義太夫三味線奏者) との日米コラボレーション作品でもあり、計2,246名の観客が観劇
17	ジャパンデー @セントラルパーク/川嶋 あい公演	Japan Day Inc.	2009. 05. 31	今回で3回目となる、セントラル・パークで開催される、ニューヨークで最大規模の日本祭。ジャパンデー事業の一環として行われる、川嶋あい (J-POPシンガー) の公演に対して助成
18	ビデオインスタレーション及びダンスパフォーマンス 「伝統・創造・交流」	Danspace Project, Inc.	2009. 06. 04 ～ 2009. 06. 11	山崎広太 (日本)、Steve Paxton, Polly Motley (米国)、Sardono (インドネシア) ら3カ国のアーティストによるビデオインスタレーションとパフォーマンスに対して助成。10年間にわたって制作された作品と、期間中にダンスパフォーマンス公演が1回とアーティストによるディスカッションを実施
19	ニューヨーク アジア映画祭	Subway Cinema	2009. 06. 19 ～ 2009. 07. 05	米国最大規模のアジア映画祭のひとつ、ニューヨークアジア映画祭の日本映画上演部分に対して助成。本映画祭は、毎年日本映画の占める割合も多く、幅広い観客に対する日本映画の紹介に役立っている。映画の背景理解を促進するため、上映作品の詳細な説明付のプログラムが配布される他、映画上映後には作品について質疑応答を実施
20	シカゴ美術館・セントルイス美術館 コレクション 日本の屏風展覧会	シカゴ美術館 (The Art Institute of Chicago)	2009. 07. 09 ～ 2009. 09. 09	シカゴ美術館とセントルイス美術館所蔵の日本屏風コレクションの展覧会及び教育プログラムへの支援。大倉侍朗 (彫刻家)、エリザベス・リレホ (デポール大学美術史准教授) による屏風についてのレクチャー、また佐藤昭三 (日本画家) のデモとギャラリートーク等充実した教育プログラムを実施。計545人が上記レクチャー及びデモ、ワークショップに参加
21	「コンサート～日本の音色を紡ぐ～」	Fractured Atlas	2009. 07. 10	加藤幸子 (ピアニスト) が率いるチェロ、クラリネット、ヴァイオリン、ピアノによる室内楽アンサンブルのコンサート。Yuzuru Sadashigeらニューヨーク在住作曲家を含め、計7名の現代日本音楽作品を取り上げ紹介する事業に対して助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
22	能トレーニング・プロジェクト	Noh Training Project at the Bloomsburg Theatre Ensemble	2009. 07. 20 ~ 2009. 08. 08	ペンシルバニア州ブルームズバーグ劇場では、喜多流能楽師3名を日本から招へいし、20日間のワークショップを行い、プロジェクト最後には成果発表として一般市民向けの公演を開催。同企画は本年で15年目、今回は20名がトレーニングに参加。2日にわたる公演には約400名の現地市民が観客として来訪
23	神田 めぐみ・トロンボーンリサイタル	シカゴ日米協会 (Japan America Society of Chicago)	2009. 07. 25	ミルウォーキー交響楽団プリンシパル・トロンボーン奏者の神田めぐみのリサイタルに対して助成。西洋の曲とともに、日本の『さくらさくら』や『赤とんぼ』等も演奏
24	ポスト・ジェンダー時代のジェンダー問題の再考	ラトガース大学 (Rutgers Uni-versity)	2009. 11. 06 ~ 2009. 11. 08	日本の文学・美術におけるジェンダー問題の研究をテーマに、3日間にわたるシンポジウムの開催に対して助成。スーザン・ネイピア (タフツ大学教授)、水田宗子 (城西大学理事長) による基調講演の他、34の論文が提出され、世界各地から80名以上の研究者が参加
25	リホボスビーチ・インディペンデント映画祭：カントリースポット 日本	リホボスビーチ映画協会 (Rehoboth Beach Film Society)	2009. 11. 11 ~ 2009. 11. 15	デラウェア州のインディペンデント映画祭の関連イベントとして、毎年ひとつの国にスポットを当てる企画で、本年度は日本が取り上げられた。『おくりびと』等、話題の日本映画を6作品上映する事業に対して助成。日本映画産業に関するセミナー、日本酒試飲会、日本民族舞踊公演、観光振興イベント、日本美術展示、日本茶を振舞う等の日本文化紹介も実施
26	「具体」シンポジウム	Pollock-Krasner House and Study Center	2009. 11. 18	ニュージャージー市立大学にて開催された「具体とニューヨーク」展の一環として行われた「具体」に関するシンポジウムに対して助成。パネルにはニューヨーク在住の具体専門家であるジュディス・ローデンベック (サラ・ローレンスカレッジ教授)、富井玲子 (美術史家)、ポール・ジェンキンス (画家)、アレキサンドラ・モンロー (グッゲンハイム美術館キュレーター)、およびミン・ティアンポ (カールトン大学准教授) を招へい。第二次世界大戦後のモダニズム運動における具体美術の位置づけを考察
27	第11回尺八と箏の饗宴	ボストン日系人協会婦人会 (Women's group of Japanese Association of Greater Boston)	2009. 11. 21 ~ 2009. 11. 22	尺八と箏の饗宴の音楽監督を務める小藤隆志が企画した、2日間にわたる箏と尺八の伝統と現代音楽の演奏会とレクチャーデモンストラーション事業に対して助成。ハーバード大学での演奏会は録音されハーバード大学図書館のアーカイブとなることが決定。ブルックライン市立図書館では80名の参加者があり、普段日本の伝統音楽に触れる機会の少ない地域に於いて日本文化紹介を実施
28	『くるみ割り人形』	セント・ルイス・バレエ団 (Saint Louise Ballet)	2009. 12. 20 ~ 2009. 12. 22	セント・ルイス・バレエ団が公演する『くるみ割り人形』に、英国ロイヤルバレエ団のプリンシパルを10年以上務めてきた吉田都を日本から招へいし、ゲスト・バレリーナとして共演する事業に対して助成。地元バレエ・ダンサー対象にマスタークラス (生徒30名) も実施。公演は2,000人以上が鑑賞



海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
29	日本研究強化プロジェクト	ライオン大学 (Lyon College)	2010.01.01 ~ 2010.12.31	日本との接点のない地域にありながら、近年の学生の日本への関心が高まっている状況に因應するため、初・中級日本語コースのインストラクターの雇用や日本文化のデモンストラーションなどを行う事業に対して助成
30	「錦絵で見る日本の近代化・産業化」展示会	日本クラブ (The Nippon Club)	2010.01.28 ~ 2010.02.24	渡米実業団100周年を祝し、渋沢栄一記念財団の実業史錦絵、および文献・史料を1カ月にわたり展示。渋沢を団長とする渡米実業団によって行われた民間経済外交の活動を基に、日米関係の発展を振り返る事業に対して助成
31	日本研究専攻の実現に向けた改革	アルビオン大学 (Albion University)	2010.02.01 ~ 2010.12.15	同校における学生の対日関心の急速な高まりを受け、日本研究の専攻化を目指して、コースの改善や教材購入、アシスタントの雇用を行う事業に対して助成
32	オックスフォード映画祭	ヨクナパトーフア・アーツ・カウンシル (Yoknapatawpha Arts Council)	2010.02.04 ~ 2010.02.06	ミシシッピ州の都市、オックスフォードで行われる7回目の映画祭に、日本から山田篤宏 (映画監督) を招き、『ハッピーエンド (Happy Ending)』を3回上映しトークセッションを実施する事業に対して助成。 3日間にわたり2,200人の観客が訪れ、普段日本文化に接することが少ない地域へ日本の文化を紹介
33	ミュージック・フロム・ジャパン 35周年記念コンサート	Music From Japan, Inc.	2010.02.20 ~ 2010.02.21	日本から雅楽演奏グループ「伶楽舎 (れいがくしゃ)」と柴祐靖 (伶楽舎音楽監督) を招へいする事業に対して助成。 一般公演、新曲発表、大学や小学校生徒を対象にした教育プログラムを実施。ニューヨーク (マーキン・コンサートホール) で2日にわたって行われた後、首都ワシントンD.C. (スミソニアン美術館フリア・ギャラリー) に於いても公演
34	日本研究と日本語の橋渡し事業	デュポール大学 (DePaul University)	2010.03.01 ~ 2011.02.28	高等教育機関における日本研究と日本語の連携強化をテーマにしたシンポジウム <i>Teaching Japan: Pedagogical Possibilities in U.S. Higher Education</i> を開催する事業に対して助成。2日間にわたり8つのパネルを実施し、内外から100名以上の研究者が参加
35	日本研究の強化	ベルモント大学 (Belmont University)	2010.03.15 ~ 2011.03.14	ベルモント大学の日本研究を強化するため、日本関連の授業を受け持つ5名の教員を日本に派遣し、カリキュラム強化のための研修や教材購入を行う事業に対して渡航・滞在費の一部を助成。また客員教授として榊原理智 (近代文学/早稲田大学准教授) を招へいする費用にも助成

海外事務所

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
36	アーバン・アート・インフィル	ドロップ (THE DROP) ・ポップアップギャラリー	2009. 10. 03 ～ 2009. 10. 24	建築家、デザイナー、及びキュレーターにより結成されたボランティア・チームとニューヨークのチェルシーのギャラリー関係者が共催する、パブリック参加型のアート・イベントに後援名義を付与。グローバルな環境問題への意識を高めることが目的。メイン企画の「2012+」展では、オノ・ヨーコの他、新進気鋭の日本人アーティスト24名が環境と都市をテーマにした作品をチェルシーのギャラリーにて展示
37	第10回ニューヨーク国際七五三	神道国際学会 (International Shinto Foundation)	2009. 10. 24 ～ 2009. 10. 25	神道国際学会による七五三の儀式・イベントに後援名義を付与。今回は計387人 (内七五三対象の子供115人) が参加。希望者には着物のレンタルもあり、約1時間ほどの儀式が日本語と英語両方で執り行われた。海外でも家族ぐるみで日本文化を楽しむ事と、国際的に育っていく日系の子供たちに日本の伝統文化を楽しむ機会を提供
38	伝統木版300年の奇跡「牧野 宗則木版画」展	日本クラブ (THE NIPPON CLUB)	2010. 03. 03 ～ 2010. 03. 09	2003年文化庁長官表彰を受賞した、絵師、彫り師、摺師の浮世絵木版制作工程を全て一人で手がける現代木版画家、牧野宗則の展覧会に後援名義を付与。展示作品数38点、日本伝統技術のレベルの高さを示すことにより、日本文化への興味を促進

## (1) 主催・共催事業

## 【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	マゼランチェスト修復についての講演会（南加日米協会 100周年記念事業）	ロサンゼルス	ゲッティセンター		2009. 05. 20 ～ 2009. 05. 23	ゲッティ美術館における「マゼランチェスト（英国V&A美術館所蔵品）」特別展覧に合わせ、南カリフォルニア日米協会100周年事業の一環として同作品を修復した山下好彦（文化財漆器修復師）を招へい（日本文化紹介派遣（助成））し、日本の漆器とマゼランチェストの修復についての講演会を実施。当地の有力美術館と会合したほか、同時期に当地で開催されていた米国歴史物芸術品修復協会の年次総会にも参加し、全米の修復師と交流した
2	<i>Fireside Colloquium</i> シリーズ 「新世代の日本美術学者：20世紀初頭の日本美術における女性表現」	ロサンゼルス	ロサンゼルス日本文化センター	カルチュラル・ニュース	2009. 06. 25	田中圭子（クラーク日本美術センター・アシスタントキュレーター）による、20世紀初頭の日本美術における女性表現に関する講演会を実施。参加者の日本美術に対する理解が深まったと同時に、南カリフォルニアを中心に活動する日本関連分野の方々が一同に集まる機会を提供
3	<i>Fireside Colloquium</i> シリーズ 「マンガ・アニメ革命—手塚治虫と鉄腕アトム」	ロサンゼルス	ロサンゼルス日本文化センター	カルチュラル・ニュース	2009. 07. 13	米国に日本のマンガ・アニメを紹介した功績があるフレデリック・ショット（平成21年度春の外国人叙勲の受賞者）による、米国におけるマンガ・アニメ革命に関する講演会を実施。手塚治虫が米国に与えた影響から社会的意義を検証しマンガ・アニメと当時の日米間の社会関係に対する理解が深まったと同時に日本関連分野の方々の間の交流活動の場となり、レクチャー終了後も活発な意見交換が行われた
4	<i>Fireside Colloquium</i> シリーズ「源氏物語の作者・紫式部の心を探る—作者と同じ中流階級に属する女性の生き方に焦点をあてて」	ロサンゼルス	ロサンゼルス日本文化センター	カルチュラル・ニュース	2009. 09. 25	源氏物語1000年記念事業の一環として世羅博昭（四国大学教授）を迎え、当時の生活・文化から紫式部と同じ身分の女性の立場から検証した新しい形で「源氏物語」講演会を開催。文学の研究に限らず日本文化全体の広い視野から解説し、また敢えて通訳を入れないことで原文の日本語の響きを楽しみ、内容の解釈を試みる手法を導入
5	歌舞伎レクチャー&デモンストレーション	サンフランシスコ シアトル デンバー ポートランド ロサンゼルス			2009. 10. 13 ～ 2009. 10. 25	中村京蔵、中村又之助をはじめ、演者スタッフ合計14名を米国5都市に派遣し、講演及び能楽のデモンストレーションを実施。ロサンゼルスにおいては、「南カリフォルニア日米協会100周年記念事業」のフィナーレ行事として位置づけ。また実施後、記録写真データの中から極めて良質なもので写真パネルを制作

海外事務所

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	リトル東京日本映画祭	ロサンゼルス	日米文化会館	在ロサンゼルス総領事館  日米文化会館	2009. 12. 20	リトル東京の日米文化会館において、日本映画黄金期の作品『ブーサン』『妻の心』『青い山脈』を上映。日系以外の企業の進出が目立ち、集まる人種の多様化が進み変化しているリトル東京において、日本文化の存在感をアピール。同時代に日本映画界で活躍したロサンゼルス在住の俳優、杉葉子による講演会も開催。若い映画ファン層に日本映画史の一部を発信

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	日本語教育アドボカシーキット資料改訂				2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	主に初中等レベルにおける日本語プログラムの増強・新規開設のために有益な情報をまとめた <i>Advocacy Kit, Advocacy Flyer</i> 等の改訂。外部教育専門家による既存のキットの評価調査の結果をもとに資料のビジュアル力、対象者・テーマの厳選、提供方法の電子化を実施
8	ウェブマガジン管理及び編集				2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	全米の日本語教育関係者によるエッセイや、米国における日本語教育事情の調査結果等を報告する情報誌 <i>Breeze</i> (年4回発行頻度) をオンラインで刊行
9	日本語教育リーダー育成研修	ロサンゼルス  サンディエゴ	ロサンゼルス 日本文化センター  サンディエゴ・コンベンション・センター		2009. 08. 03 ~ 2009. 08. 04  2009. 11. 20 ~ 2009. 11. 22	米国日本語教育ネットワークの強化と維持のために、次世代の指導的人材（リーダー）を育成する研修を実施。8月のロサンゼルス研修（講義とディスカッション）、11月の米国外国語教育協会（ACTFL）研修（実践とディスカッション）の2部構成。指導法・研究発表等を主眼とする従来型の研修会とは異なり、関係者との連携強化、組織運営、アドボカシー活動の重要性等をテーマとする研修会
10	米国外国語教育協会（ACTFL）における日本語教育促進活動	サンディエゴ	サンディエゴ・コンベンション・センター	全米日本語教師会	2009. 11. 20 ~ 2009. 11. 22	米国外国語教育協会（ACTFL）年次総会に参加し、各種行事に参加しネットワーキングやアドボカシー活動を実施するとともに、全米日本語教師会（NCJLT）が主催する日本パビリオンにブースを出展。各地から参加する日本語教師の交流及び情報交換の場を提供。同機会は『海外日本語教育機関の現状』調査の回答促進にも貢献
11	日本語教育アドボカシー・ウェブページ事業			全米日本語教師会連合  日本語・日本文学学会  全米日本語教師会	2009. 12. 09 ~ 2010. 03. 31	日本語教育関係者のアドボカシー活動を支援するため、それに必要としている素材、情報リソース、ノウハウや基礎知識等の情報を整理統合した1つの総合ウェブページを設置。全米規模の日本語教育団体、日本語・日本文学学会（ATJ）、全米日本語教師会（NCJLT）、全米日本語教師会連合（AATJ）と協働したタスクフォースの組織、コンテンツ収集・作成、ウェブページ構築を行なった

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	日本語教育専門家会議	ロサンゼルス	日米文化会館		2010. 02. 13 ~ 2010. 02. 14	平成20年度の同事業からテーマを継続し、日頃交流の薄れがちな日本語教育と日本研究の連携を図ることを目的に、両分野に精通する専門家6名を召集し、会議を開催。前年度事業を通じ明らかになった実践報告例や現状の課題を踏まえながら、日本研究の分野の中でもまずは「日本文学」と「日本語教育」の連携について、具体的なストラテジック・プランを立案

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
13	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	国際交流基金ロサンゼルス日本文化センターに併設されている図書館の運営。全米における日本語教育支援のため、日本語教育専門図書館として日本語教育に関する教科書、教材を多く所蔵。一部、日本研究、日本文化・芸術に関する書籍も所蔵。主な利用者層は日本語教師  ①所蔵資料合計： 11,257点 （内訳：書籍9,213冊 視聴覚資料数 2,044点） ②登録会員数： 1,098名 ③利用者数（年間）： 467名 ④貸出点数（年間）： 1,077点 ⑤レファレンス件数（年間）： 90件 ⑥図書館用リーフレット作成： 2,000部

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
14	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	ロサンゼルス日本文化センターのウェブサイトを運営し、主催・共催事業の広報や報告、助成事業の募集、図書館や日本語教育分野における情報の発信、日本語能力試験の案内・申込受付等を行い、事業活動を推進

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	日韓フェスティバル	ロサンゼルス	日米文化会館	日米文化会館 韓国文化院 ロサンゼルス事務所 日韓協会	2010. 02. 06	日韓のそれぞれの映画上映、パフォーマンス・アート公演、食体験に焦点をあてたイベント。日本文化、韓国文化が融合して築かれている現在のロサンゼルスコミュニティと、両国の繋がりをテーマにした文化イベントとして、映画上映の合間にはティナ・ヤナギモト監督のドキュメンタリー作品『ニュービギニング〜リトル東京のカルチュラルハーモニー』（15分）を上映

## (2) 助成・協力事業

## 【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
16	グアム日本語コース共通ガイドラインの改訂プロジェクト	グアム日本語教師会	2009. 04. 01 ~ 2009. 12. 15	グアムにおける高校レベルの日本語コース共通ガイドラインの改訂プロジェクト。既存ガイドラインは約20年前にグアム日本語教師会が地元大学と教育省の協力を得て策定したもので一度も見直しを行っていなかった為、同教師会が中心となり、現状に沿った形で内容の見直しを実施。ロサンゼルス日本文化センターは校閲及び印刷にかかる経費の一部を助成
17	第2回テネシー州日本語弁論大会	バンダービルト大学アジア研究プログラム	2009. 04. 04	バンダービルト大学、テネシー州日米協会、在ナッシュビル総領事館の共催による大学生を対象とした州レベルの日本語弁論大会。テネシー州全域から9大学が参加し、合計49名の学生が3レベルに分かれて日頃の学習成果を発表。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
18	米国中西部日本語教師会 (CATJ) 学会	ミシガン州立大学	2009. 04. 11 ~ 2009. 04. 12	當作靖彦 (カリフォルニア大学サンディエゴ校教授)、田伏素子 (イースタン・ミシガン大学教授)、並びに篠塚保 (在デトロイト総領事) の3名を基調講演者に招き、日本語教育の最新動向を紹介。また、ナショナル・スタンダーズの5Cの1つであるCommunitiesをテーマに、全22名の専門家による各種発表も2日間に亘り実施。ロサンゼルス日本文化センターは、会場費の一部を助成
19	第20回アリゾナ日本語弁論大会	アリゾナ州日本語教師会	2009. 04. 18	アリゾナ州日本語教師会主催の高校生・大学生を対象とした日本語弁論大会。アリゾナ州全域から43名の日本語学習者が集まり、日頃の学習成果を発表。本大会出場という目標を得ることで参加者の日本語学習に対するモチベーション、作文能力や発音等のスキルが向上。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
20	グローバルデゾルブ	ハイウェイズ・パフォーマン ス・スペース	2009. 04. 24 ~ 2009. 04. 25	桂勘 (舞踏家) と米国で活躍する米国人舞踏ダンサーとのコラボレーションパフォーマンス。同氏指導のもと、日本で発展した「舞踏」の素晴らしさを凝縮したパフォーマンスを開催。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
21	第3回ノースカロライナ高校生日本語スピーチコンテスト	ノースカロライナ州日本語教師会	2009. 04. 25	ノースカロライナ州日本語教師会主催による高校生を対象とした州レベルの日本語弁論大会。参加高校12校から合計36名の生徒が4つのレベルに分かれて出場し、日頃の学習成果を発表。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
22	ハワイ日本語話し方大会	ハワイ日系人連合協会	2009. 04. 25	ハワイの日本語学習者を対象とした日本語スピーチ発表会。日本語学校または一般の公立・私立学校 (小・中・高) から21名の生徒が参加。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
23	北カリフォルニア日本語教師会ワークショップ： アメリカにおけるJポップーその過去と現在	北加日本語教師会	2009. 05. 03	北カリフォルニア日本語教師会が昨年か掲げる主要テーマ「日本文化をどう考え、どう教えるべきか」の一環として、Jポップ（アニメ／オタク文化）に焦点を当てたワークショップ。基調講演者にパトリック・マシアスを招き、初期のアニメから最近の作品に至るまでのアメリカにおけるJポップの発展について紹介。ロサンゼルス日本文化センターは、講演者の謝金や資料作成費の一部を助成
24	ニューイングランド日本語教師研修会	米国北東部日本語教師会	2009. 05. 23	高橋悦子（ウェスリアン大学准教授）、Yu Lan-Lin（ボストン公立学校区外国語教育長）、Harumi Baxer（カレッジボードETSアセスメント・スペシャリスト）の3名をゲストに招き、それぞれが「コンテンツベース授業の理論と実践」、「NBPTS教師資格」、「SAT II（アメリカの大学進学者の適性を測るテスト）」についての基調講演を開催。ロサンゼルス日本文化センターは講師謝金及び会場費の一部を助成
25	ジャパンナイト	インディペンデント女子フットボールリーグ	2009. 05. 23	女子アメリカンフットボールプロリーグで唯一の日本人選手が在籍する「カリフォルニアクエイク」の試合会場において、ジャパンナイトを開催。折り紙や書道の紹介ブース、100名の空手子ども選手たちによるハーフタイムショー（型の披露）、寿司屋台の出店等で日本・日本文化紹介を実施。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
26	第6回米国高校生によるオーロラ日本語スピーチコンテスト全米大会	オーロラ日本語奨学金基金	2009. 05. 30	高校生を対象とした全米レベルの日本語弁論大会。ニューヨークやハワイ等の全米各地の日本語弁論大会での上位入賞者等、16名の高校生が集まり、日頃の学習成果を発表。大会出場者はオレンジ郡在住の日本人家庭（ボランティア）でホームステイ体験。優勝者は、東京で開催される世界大会への出場権を獲得。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
27	子ども祭り2009	テメキュラ市姉妹都市会	2009. 06. 06	テメキュラ市と大山町のボランティア市民団体が交流活動のために日本の夏祭りをテメキュラ市で再現し、日本舞踊、いけばな、空手、琴演奏などの日本文化を紹介。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
28	アニメ映画祭	パシフィック・アジア美術館	2009. 06. 11 ～ 2009. 08. 06	パシフィック・アジア美術館において、あらゆる世代を対象にアニメと日本美術の繋がりについて、展覧会と併設してアニメ講演会、弁当クッキングクラスも行われた総合的な文化事業。上映会は村田安司の『桃太郎ー海の神兵』という古典的な作品から山本早苗作品や『るろうに剣心』『ガンダムウィング』などの最新の作品を含めた全7作品を上映。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
29	継承日本語学校教員対象夏期研修会	全米日本語教育学会 (ATJ) 日本語・日本文学	2009. 08. 05 ~ 2009. 08. 12	片岡裕子 (カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授)、ダグラス昌子 (カリフォルニア州立大学ロングビーチ校准教授)、並びに知念聖美 (カリフォルニア州立大学ロングビーチ校助教授) を講師に迎え、継承日本語の教師を対象に1週間の集中研修を実施。児童の成長や言語習得の特徴、外国語教育スタンダードに沿った言語教育、学習目標の立て方、学習活動のデザインの仕方、アセスメント等について講義を実施。希望者は同大学のコースクレジットが取得可能。ロサンゼルス日本文化センターは教材費の一部を助成
30	子どもねぶた祭りイン リトルトーキョー	二世週祭財団	2009. 08. 16	ロサンゼルス・リトルトーキョーで開催される日系人最大のお祭り「二世週祭」のパレードに、青森の「ねぶた祭り」の中から「子どもねぶた」を製作し、参加。跳人 (ダンサー) とお囃子 (ミュージック) のパフォーマンスを通じて日本文化の祭りを紹介。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成するとともに、実行委員会に参加し協力
31	シェアリング・ザ・フリーダム	メトロポリタン州立大学デンバー校	2009. 09. 11	日本人コンダクター今泉ちえが指揮する米国空軍楽団のコンサートを。日本文化からインスピレーションを受けて「平和」をテーマに作曲されたオリジナルを披露。911同時多発テロ追悼の記念コンサートとして日本の「和」の精神を紹介。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
32	アリゾナ州日本語教師会ワークショップ	アリゾナ州日本語教師会	2009. 09. 13	片岡裕子 (カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授) をゲスト講師に招き、「スキャフォールディング (Scaffolding)」 (学習者のタスク達成に向けた教師のサポート) をテーマとした教師養成研修を実施。参加者は教員免許更新時に活用可能な教師養成時間を取得可能。ロサンゼルス日本文化センターは参加者の登録料、講師招へい費用及び会場費の一部を助成
33	スペシャルジャパニーズフィルムナイト	アーツ&フィルム振興協会	2009. 09. 20	20周年を迎えたナパ・ソノマ・ワインカントリー映画祭の特別企画としてジャパンフィルムナイトを実施。中村勘太郎が主演する映画『禅』の上映、及び尺八の演奏。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
34	雷太鼓コンサート	南コロラド日米協会	2009. 09. 26	コロラドカレッジがコロラド州クレストンにある太鼓グループ「雷太鼓」を招いて行ったコンサート&ワークショップイベント。「雷太鼓」は秀明太鼓のエキスパートである西山謙一が率いる太鼓グループであり、コロラド州で活動。コロラドスプリングスでは初めて開催。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成



海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
35	米国北東部日本語教師会 ワークショップ・勉強会	米国北東部日本語教師会	2009. 10. 03 ～ 2010. 02. 14	ワークショップとフォローアップの勉強会を交互に実施する全8回の教師養成研修。當作靖彦（カリフォルニア大学サンディエゴ校教授）がワークショップの講師となり、ナショナルスタンダードに沿った日本語クラスでのテクノロジーの活用法を指導。参加教師は教員免許更新時に活用可能なニューヨーク州立大学のクレジットと教師養成単位を取得。ロサンゼルス日本文化センターは参加者の登録料、講師招へい費用、及び会場費の一部を助成
36	サンディエゴ・アジア映画祭	サンディエゴ・アジアフィルム財団	2009. 10. 15 ～ 2009. 10. 29	米国一般市民向けのサンディエゴ最大の国際映画祭。20カ国から200作品を上映し、アジア文化を紹介。日本映画は11作品上映。ロサンゼルス日本文化センターは日本映画の上映権料等、開催経費の一部を助成
37	クロッカー・シネマティーク	クロッカー美術館	2009. 10. 17	陶芸展「ソーリングボイス：現代日本女性陶芸展」と同時開催となる映画上映会。日本人女性に焦点を当て、日本における女性の立場や活躍をテーマにした『シルクコーン』『ウール100%』『新宿ボーイズ』や女性監督の日本映画『K-20』を上映。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
38	2009コロラド州日本語教育セミナー	コロラド日本語教育会	2009. 10. 24	コロラド州・ワイオミング州の日本語教師（全教育レベル）及び教師志願の大学院生を対象とした日本語教授法セミナー。「日本文化・日本文学を通じた言語教育」をテーマに、日本語教授法関連の5つのプレゼンテーションを実施。ロサンゼルス日本文化センターは講師謝金及び会場費の一部を助成
39	オレゴン州日本語教師会ワークショップ	オレゴン州日本語教師会	2009. 10. 24 ～ 2010. 02. 28	オレゴン州の日本語教師を対象に実施した教科書の勉強会（6回シリーズ、使用教材『ドラえもんどこでも日本語』）。参加教師は教員免許更新時に活用可能なパシフィック大学のクレジットと教師養成単位を取得。ロサンゼルス日本文化センターは参加者の登録料と講師招へい費用の一部を助成
40	第36回日本語弁論大会	北加日米会	2009. 11. 01	カリフォルニア州北部の日本語学習者（中・高・大学生・成人）を対象とした弁論大会。米国で実施されている弁論大会の中では最も歴史が長く、今回で第36回目。午前の中高生の部に17名、午後の大学生・成人の部に18名が出場し、日頃の学習成果を発表。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
41	ニュージャージー州日本語教師会ワークショップ	ニュージャージー州日本語教師会	2009. 11. 05 ～ 2010. 03. 05	2009年に設立されたニュージャージー州日本語教師会が初めての主催事業として実施した教師養成研修（2回実施）。参加者が取得した教師養成時間は教員免許更新時に活用可能。ロサンゼルス日本文化センターは参加者の登録料と講師招へい費用の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
42	デラウェアバレー日本語教師会ワークショップ	デラウェアバレー日本語教師会	2009. 11. 07	中・上級者向け教材『上級へのとびら』に焦点をあて、著者である岡まゆみ（ミシガン大学教授）をゲスト講師に招き、中・上級者の指導テクニック、効果的なアクティビティを紹介。ロサンゼルス日本文化センターは講師謝金及び旅費の一部を助成
43	2009オハイオ日本語教師会ワークショップ	オハイオ日本語教師会	2009. 11. 07	若林ジュディー（ケント州立大学准教授）を講師に招き、外国語教育の中での翻訳の役割をテーマに、文法翻訳メソッドの問題点も含めて講義すると共に、いかに学生に興味を持たせながら指導すればよいかという実践例を紹介。この他、2名の教師会メンバーによる留学プログラム、スマートボードをトピックとした発表も実施。ロサンゼルス日本文化センターは講師謝金を助成
44	コロラド州日本語弁論大会	コロラド大学ボルダー校	2009. 11. 08	コロラド州の日本語学習者（小学生～大学生）を対象とした州レベルの弁論大会。6つのレベルに分かれて計38名の学生が出演し、日頃の学習成果を発表。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
45	南ネバダ日本語弁論大会	南ネバダ日本語教師会	2009. 11. 14	南ネバダ日本語教師会と在サンフランシスコ総領事館が共催で実施しているネバダ州の日本語学習者を対象とした弁論大会。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
46	アドバンスト・プレースメント（AP）日本語教師向けワークショップ	カレッジボード	2009. 11. 19	カレッジボードが高校日本語教師向けに主催したAP日本語プログラムのための教師研修ワークショップ。AP日本語の試験作成委員を務めた片岡裕子（カリフォルニア大学ロングビーチ校教授）をゲスト講師に招き、外国語教育スタンダード（5Cs）に沿ったAP日本語コースの指導テクニックやカリキュラム作成のノウハウについて指導。ロサンゼルス日本文化センターは参加者の登録料及び講師招へい費用の一部を助成
47	お正月イン・リトル東京	南カリフォルニア日系商工会議所	2010. 01. 01	ロサンゼルス地域のコミュニティと合同しての日本のお正月イベント。餅つき、獅子舞、書初め、着物ショー、餅まきなどの伝統的なお正月文化を紹介。お鮎やヤキソバ、甘酒のブースも出店。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
48	事始（初笑顔）	日米文化会館	2010. 01. 03	藤間流の日本舞踊、カルバンスクール、峯岸一水一弦琴と様々なパフォーマンスを行い、最後に鏡割りで新年を祝う文化事業。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
49	ジョージメイソン大学ワークショップ	ジョージメイソン大学	2010. 01. 10	外国語教育リソース・センター（NCLRC）のロビンス副所長を基調講演者に招き、外国語教育スタンダードの5Cに基づいた効果的な教授法ストラテジー習得を目指すワークショップ。参加者が取得するジョージメイソン大学の単位（0.6単位）は教員免許更新時に活用可能。ロサンゼルス日本文化センターは講師招へい費用及び資料作成費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
50	日本語教授法ワークショップ：アセスメント	ワシントン大学	2010. 01. 23	當作靖彦（カリフォルニア大学サンディエゴ校教授）による、効果的なアセスメント（評価）についての研修会。参加者は教員免許更新時に活用可能な教師養成時間を取得。ロサンゼルス日本文化センターは講師招へい費用及び会場費の一部を助成
51	アラスカ州日本語スピーチコンテスト	アラスカ州日本語教師会	2010. 01. 23	アラスカ州内の日本語教育機関（小学校～大学までの全教育レベル）の学生が参加し、日頃の学習成果を発表するスピーチコンテスト。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
52	継承日本語教育ワークショップ	イリノイ州日本語教師会	2010. 02. 07	米国中西部の日本語教育関係者を対象に、「継承語としての日本語教育」をテーマに、ダグラス昌子（カリフォルニア州立大学ロングビーチ校准教授）をゲスト講師に迎えてワークショップを実施。ロサンゼルス日本文化センターは講師の謝金と宿泊費を助成
53	フロリダ州日本語教師会ワークショップ：日本語教育におけるポッドキャストの活用	フロリダ州日本語教師会	2010. 02. 13	フロリダ州の日本語教師（全教育レベル）を対象とした日本語教育テクノロジーワークショップ。シュナイダー恵子（南メソジスト大学教授）をゲスト講師に迎え、日本語クラスでのポッドキャスト（Podcast）の基本活用テクニックを紹介。ロサンゼルス日本文化センターは講演者の謝金と旅費の一部を助成
54	ワイオミング日本映画祭	ワイオミング日米協会	2010. 02. 20 ～ 2010. 02. 27	ワイオミング日米協会が地元のコミュニティカレッジ（ララミーカウンティカレッジ）と共催して開催する日本映画祭。今年で4回目となり、『青い鳥』（中西健二監督、2008年）と『おくりびと』（滝田洋二郎監督、2008年）を2会場（ララミーコミュニティカレッジとワイオミング大学）で無料上映。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
55	第13回CSULA日本語スピーチコンテスト	カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校	2010. 02. 27	ロサンゼルス近隣の高校・大学及び継承日本語学校の学生が参加し、日頃の学習成果を発表。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
56	加州日本語学園協会レクチャー&ワークショップ	加州日本語学園協会	2010. 02. 27	片岡裕子（カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授）が「ナショナルスタンダードに基づいた学習目標の設定」をテーマとした基調講演を実施。午後は教育レベル毎に分科会を設け、午前の講演で学んだ理論の実践方法について討議。ロサンゼルス日本文化センターは講演者の謝金を助成
57	『はりまや橋』上映会	オーロラ日本語奨学金基金	2010. 02. 28	語学指導等を行う外国青年招致事業（JET）プログラムで高知に赴任した経験を持つウルフォーク監督が、主催者であるオーロラ日本語奨学金基金の助成を受けて完成させた映画『はりまや橋』の上映会。商業上映に先立つ開催であり、上映後はウルフォーク監督と主演者ベン・ギロルのQ&Aも実施。日米合作での制作過程裏やJETプログラムでの経験について紹介。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
58	高校生による日本語スピーチコンテスト	ペンシルバニア日米協会	2010. 03. 05	ペンシルベニア州内の高校生を対象とした州レベルのスピーチコンテスト。学習者達が日頃の日本語学習の成果を発表。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
59	テキサス州日本語スピーチコンテスト	テキサス州日米協会連合	2010. 03. 06	テキサス州日米協会連合主催による州レベルの日本語弁論大会。ヒューストン、ダラス・フォートワース、サンアントニオ、オースティンでの地区大会の入賞者が出場し、日頃の学習成果を発表。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
60	日本語スピーチコンテスト	セントラル・オハイオ日米協会	2010. 03. 06	オハイオ州内の日本語教育機関（高校、大学）の学生が日頃の学習成果を発表するスピーチコンテスト。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
61	日本語スピーチ&スキットコンテスト	フロリダ州日本語教師会	2010. 03. 13	フロリダ州内の日本語教育機関（高校・大学）で日本語を学んでいる生徒が参加し、日頃の成果を発表するコンテスト。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代及び会場費の一部を助成
62	『ヒマラヤ杉に降る雪』舞台公演	コミュニティ・アジアンシアター・オブ・ザ・シエラ	2010. 03. 18 ~ 2010. 04. 20	デイヴィッド・グーターソンのベストセラー小説『殺人容疑』をハリウッド映画化した、『ヒマラヤ杉に降る雪』の舞台公演。シアトル郊外に住む日系人と米国人との間の愛が描かれており、日本・日系社会の文化紹介となる作品。15回公演。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
63	米国中南部日本語弁論大会	ルイジアナ州日本語教師会	2010. 03. 20	ミシシッピ、テネシー、ルイジアナ等の中南部地域の日本語学習者（主に大学生）が参加し、日頃の成果を発表する日本語弁論大会。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
64	プロフェッショナル日本語に関するシンポジウム	ペンシルベニア大学	2010. 03. 26	「プロフェッショナル日本語」（JPP:Japanese for Professional Purposes）に焦点をあてたシンポジウム。田伏素子（イースタンミシガン大学教授）及び松田結貴（メンフィス大学教授）が、「JPP教育の現状と展望」、「ビジネス文化習得の必要性」についての基調講演し、5名の専門家が高等教育レベルでの実践例を報告。ロサンゼルス日本文化センターは基調講演者の謝金及び旅費の一部を助成
65	第27回ワシントン州高校生日本語スピーチ&スキットコンテスト	兵庫経済文化センター	2010. 03. 26	兵庫経済文化センター主催による、州レベルの高校生のための日本語弁論大会。スピーチ部門とスキット部門、それぞれ4レベルに分けて実施。ロサンゼルス日本文化センターは会場費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
66	カバイダンスフェスティバル・パフォーマンス	ともだち太鼓	2010. 03. 26 ～ 2010. 03. 28	1989年に始まったカバイダンスフェスティバル（ネイティブアラスカン舞踊や歌や文化を紹介するお祭り）における日本太鼓のワークショップ及びパフォーマンス。3人のインストラクターと11人のパフォーマーが3日間のイベントを行い、日本文化を身近に体験する機会を提供。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
67	ミシガン州日本語弁論大会	ミシガン州日本語教師会	2010. 03. 27	ミシガン州の州レベルの弁論大会。主に高校と大学の学習者が参加し、日頃の学習成果を発表。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
68	2010ジャパン・アカデミック・チャレンジ／日本語弁論大会	ジョージア日米協会	2010. 03. 27	ジョージア州で日本語を学ぶ大学生や高校生が参加し、日頃の学習成果を発表。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成
69	デューク大学日本語スピーチコンテスト	デューク大学	2010. 03. 27	デューク大学主催による、スピーチコンテスト。同大学及びノースカロライナ州内の近隣大学で日本語を学ぶ学生（大学生・大学院生）が参加し、日頃の学習成果を発表。ロサンゼルス日本文化センターは賞品代の一部を助成

メキシコ日本文化センター

合計額 26,428,178 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	木によるリトグラフ (MOKU-RITO) 展	メキシコ市	ホセ・パスコ ンセロス・メ キシコ図書館 展示室	メキシコ国立 自治大学付属 チョポ美術館	2010.01.26 ~ 2010.03.21	浮世絵の技法から発展した独自の版画技法—木版によるリト グラフ—を用いた、19名の日本人作家による新作57点の展示

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	大竹 史郎&カルロス・ラグーナ ギターコンサート	メキシコ市	駐メキシコ大 使公邸  テンプロ・マ ジョール博物 館	メキシコ国家 芸術審議会 (CONACULTA)  メキシコ国立 人類学庁 (INAH)  在メキシコ大 使館	2009.09.21 ~ 2009.09.22	大竹史郎とカルロス・ラグーナによるギターコンサート。 9月21日には駐メキシコ大使公邸、翌22日にはテンプロ・マ ジョール遺跡の一角（博物館敷地内の屋外）にて実施
3	菊の会日本舞踊公演	メキシコ市	メキシコ市劇 場	メキシコ市  日墨協会  在メキシコ大 使館	2010.02.19 ~ 2010.02.20	日本とメキシコの交流400周年を記念した、舞踊集団「菊の 会」による日本舞踊公演
4	伊藤 美由紀現代音楽公演	メキシコ市	メキシコ国立 自治大学音楽 学校	オニキス・ア ンサンブル  メキシコ国立 自治大学音楽 学校	2010.02.26	現代音楽作曲家、伊藤美由紀によるレクチャーと同氏作曲の 楽曲によるコンサート。世界初演となる <i>La Otra Voz</i> 、バス・ フルートによる <i>Sands of Time</i> の演奏の他、同氏による講義と 質疑応答により構成。メキシコ人演奏家のアンサンブル「オ ニキス」による演奏と、コンピュータを用いた映像作家、日 栄一真（ひえい・かずま）の作品投影を同時に実施

海外事務所

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	2009年度日本語教師短期集中講座	メキシコ市	メキシコ日本文化センター	社団法人メキシコ日本語教師会	2009.07.07～2009.07.08	前年度実施したテーマ「日本語授業の進め方」をさらに進め、日本語教育において初級の学習には何が必要か、学習者にどのような授業をすべきかという根本に立返り、「教案作成法」をテーマに、三輪さち子（元スリーエーネットワーク専任講師）による2日間の集中講座を実施。在メキシコ大使館が協力
6	メールによる日本語作文講座	（インターネット上）	（インターネット上）	社団法人メキシコ日本語教師会	2009.08.01～2010.01.31	メキシコ日本語教師会所属の現職日本語教師を対象にしたインターネット・メールの交換による日本語作文講座。事前に受講者をレベル別に振り分け、2週間に1回ずつ、決められたテーマに従って作文を提出。添削者は所定の評価表に基づいて、評価、コメントを明記し受講者に返信
7	日本語教師地方巡回指導 （バハ・カリフォルニア勉強会）	メヒカリ	バハ・カリフォルニア州立大学メヒカリ校	バハ・カリフォルニア州立大学メヒカリ校  社団法人メキシコ日本語教師会	2009.11.26～2009.11.27	バハ・カリフォルニア自治大学外国語センターの日本語教師を主な対象に、バハ・カリフォルニア地域の他の日本語教師をも含め、OPI（Oral Proficiency Interview）の手法・構成・内容・判定基準について確認し、新たな到達度テスト作成への足がかりとするための指導の機会を提供
8	日本語教育事業説明・意見交換会	メキシコ市	日墨文化交流学院	社団法人メキシコ日本語教師会	2010.01.09	国際交流基金の日本語教育事業の見直しと、さくら中核事業の実施についての説明及びメキシコ日本語教師会との協力関係のあり方について意見交換

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
9	図書館運営	2009.04.01～2010.03.31	日本の文化芸術に対する理解を深めること、日本語学習に役立つこと、日本研究のための資料を提供することを目的とする図書館  ①所蔵資料合計： 10,316点 （内訳：日本語資料 6,064冊、外国語資料 3,510冊、視聴覚資料 742点） ②登録会員数： 約1,000名 ③利用者数（年間）： 約3,000名 ④貸出点数（年間）： 8,032点 ⑤レファレンス件数（年間）： 200件

海外事務所

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
10	ウェブサイト運営	2009.04.01 ~ 2010.03.31	メキシコ日本文化センターを紹介するウェブサイトの運営。各種事業案内、日本のアート等を主にスペイン語で紹介。年間アクセス数は、110,388件 URL: <a href="http://www.fjmex.org/">http://www.fjmex.org/</a>
11	広報誌『エルパティオ』の発行	2009.04.01 ~ 2010.03.31	メキシコの日本語教師を対象にした日本語教育ニューズレター。年3回（7月、11月、3月）、各号500部を発行

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	ふろしきデザイン・コンテスト	メキシコ市	メキシコ国立自治大学高等教育学部アラゴン校 (FES ARAGON de UNAM)  モンテレイ工科大学メキシコ市校 (TEC de Monterrey Cd. de Mexico)	メキシコ国立自治大学高等教育学部アラゴン校 (FES ARAGON de UNAM)  モンテレイ工科大学メキシコ市校 (TEC de Monterrey Cd. de Mexico)	2009.06.01 ~ 2009.10.30	国際交流基金の事業広報の一環として、商品性をも兼ね備えたオリジナルふろしきを制作するにあたり、メキシコでデザインを勉強する大学生にデザインを公募し、最優秀作品を国際交流基金が商品化
13	中学高校教員交流（招へい）事業（本部事業）のオリエンテーション	メキシコ市	メキシコ日本文化センター		2009.11.07	中学高校教員交流（招へい）事業により日本を訪問することになった教師3名にオリエンテーションを実施。日程詳細などの説明のほか、日本の家、日本の風呂・トイレなどの解説から、ビデオによる町の様子紹介など、役に立つ生の情報を提供。また前年にこのプログラムで訪日した先生が、写真を見せながら自らの体験を紹介

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
14	第12回 国際映画祭エスプレシオン・エン・コルト2009 ( <i>XII Festival Internacional de Cine "Expresión en Corto" 2009</i> )	エクスプレシオン・エン・コルト基金	2009.07.24 ~ 2009.08.02	国際映画祭エスプレシオン・エン・コルトに際して、グアナファト州内24カ所におけるフィクション、アニメ、ドキュメンタリーフィルム（短編361作品、長編67作品）、日本映画の上映に対してメキシコ日本文化センターが助成



海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
15	SANAA 妹島 和世+西沢 立衛 展	ルイスバラガン建築基金	2009. 08. 06 ~ 2009. 10. 31	メキシコ市美術館、メキシコ国立人類学歴史庁 (Instituto Nacional de Antropologia e Historia) が共催したSANAA展の開催に合わせ西沢立衛 (建築家) が講演。同講演会の実施に対してメキシコ日本文化センターが助成
16	第4回国際デザインフォーラム (IV Foro Internacional de Diseño)	グラフィックアート開発センター	2009. 09. 10 ~ 2009. 09. 11	グッドデザイン賞を始めいくつもの賞を受賞しているデザイナーの清水慶太 (工業デザイナー)、志甫雅人 (工業デザイナー: 石川デザインセンター)、武田尚子 (金沢大学工業デザイン科博士)、他メキシコ人商業デザイナーを招いての講演会。メキシコ日本文化センターは、日本から参加した清水慶太のフォーラム参加旅費を助成
17	第7回ベラクルス州日本語弁論大会	ベラクルス日本語教師会	2009. 10. 24	ベラクルス州の5つの日本語教育機関 (クリストバルコロン大学、ベラクルス工科大学、ベラクルス州立大学オリサバ校、ベラクルス州立大学ハラッパ校、ベラクルス州立大学ベラクルス校ヘスタル学習センター) で日本語を学んでいる学習者による日本語弁論大会の実施に際して、メキシコ日本文化センターが助成。各機関4名、合計20名が、A (初級)、B (中級) の2部門に出場。日本語教師会、日本語教育機関、メキシコ日本文化センターから各1名、合計3名が審査。またメキシコ剣道連盟による剣道デモンストレーションなど、日本の文化紹介も行う。エル・コレヒオ・デ・メヒコ、社団法人メキシコ日本語教師会が実施に協力
18	おりがみ「紙の精神」展	タパルパ市役所	2009. 12. 05 ~ 2010. 01. 08	ブラディミール・アバティン・モントーヤ (折り紙専門家) 製作の大型折り紙によるインスタレーション。キリスト生誕の情景を表した「ナシミアント」を中心とした造形展示に対してメキシコ日本文化センターが助成。元は宗教的な意味合いもあった日本の折り紙についても同氏が解説
19	ミュージック・シアター『逆潮：侍の帰郷』	イレネ・明子・飯田	2010. 02. 01 ~ 2010. 04. 13	元宝塚歌劇団の女優、イレネ・明子・飯田による、一ブレ・ヒスパニック楽器を用いた生演奏との共演による一独り芝居の実施に対してメキシコ日本文化センターが助成
20	剣道講習を通じた日本の世界観の普及	メキシコ剣道連盟	2010. 02. 16 ~ 2010. 02. 28	日本から講師を招いて、メキシコ市、メキシコ州、ヌエボレオン州の各剣道協会、剣道ならびに精神的な研さんのための講習実施に対してメキシコ日本文化センターが助成
21	KK Null 公演	メキシコ市文化フェスティバル	2010. 03. 20	日本人エクスペリメンタル系アーティスト「KK Null (ケー・ケー・ヌル)」によるノイズ・パフォーマンスの実施に対してメキシコ日本文化センターが助成

海外事務所

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
22	第5回メキシコ中部地方日本語弁論大会	モンテレイ工科大学グアダラハラ校 モンテレイ工科大学アグアスカリエンテス校 グアナフアト大学 グアナフアト大学セラヤ校 富士日本語学院 日墨文化交流学院 メキシコ・コミュニケーション学院 (ICI)	2009. 10. 03	ハリスコ州、グアナフアト州、アグアスカリエンテス州の7つの日本語教育機関で日本語を学んでいる学習者による日本語弁論大会。3部門に28名が出場（暗唱の部13名、中級9名、上級6名）。空手のデモンストレーションなど日本文化紹介も実施。メキシコ日本文化センターは、同弁論大会に後援名義を付与したほか、職員が審査員として参加

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
23	メキシコ市文化フェア ( <i>Feria de las CULTURAS AMIGAS de la Ciudad de Mexico</i> )	在メキシコ大使館	2009. 06. 06 ~ 2009. 06. 14	メキシコ市政府が計画した新型インフルエンザ禍からの立ち直りをアピールするための国際文化交流フェア。各国大使館等と並び在メキシコ大使館もスタンドを設置。メキシコ日本文化センターは所蔵の「日本の世界遺産」写真パネルを貸与して協力

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
24	日本メキシコ交流400周年レフォルマ祭	メキシコ市 メキシコ日本商工会議所 在メキシコ大使館 日墨協会 日墨学院	2009. 11. 22 ~ 2009. 11. 23	メキシコ市長、日墨交流400周年実行委員長、駐メキシコ大使による式典や、民芸品、食文化、テクノロジー、観光等のテーマによるスタンド展示、踊りや音楽、ポップカルチャーを演出したパレード、屋外舞台での踊り、音楽、武道等の披露。メキシコ日本文化センターは、折り紙、書道、ふろしきラッピングのワークショップを開催

サンパウロ日本文化センター

合計額 180,025,303 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	第12回ジャパン・フェスティバル	サンパウロ	イミグランテス見本市会場	ブラジル日本都道府県人会連合会  在サンパウロ総領事館	2009.07.17 ~ 2009.07.19	サンパウロ日本文化センターは第12回ジャパン・フェスティバルの敷地内でブースを設けて、風呂敷の展示とデモンストレーションを行い、風呂敷デザイン公募プログラムと風呂敷と環境保護の関係を広報
2	「日本日記・映像と身体の遭遇」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009.11.04 ~ 2009.11.15	レイチェル・ロザレン（平成15年度国際交流基金フェロー）の作品展示と制作過程についての講演会

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	公演『そして、私は述べる』	リベイロン・プレット カタンデウバ アララクアラ カンピーナス ソロカーバ サント・アンドレ サン・ジョゼ・ドス・カンポス サントス リベイラン・プレート	左記各都市所在のサンパウロ州セスキ商業連盟社会サービス（SESC）文化センター	サンパウロ州セスキ商業連盟社会サービス（SESC）	2009.04.16 ~ 2009.06.19	レチシア・セキト（コンテンポラリーダンサー）による公演とワークショップ及び座談会の実施。今回のダンスはサンパウロ州政府文化局優秀企画として推薦され、サンパウロ州主要地方都市を巡回するもの。サンパウロ州セスキ商業連盟社会サービス（SESC）とサンパウロ日本文化センターとの共催事業
4	「セリオ・アミノ マジック公演」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009.09.18 ~ 2009.09.25	セリオ・アミノ（マジシャン）がアメリカで禅仏教を普及した鈴木俊隆の教訓をもとに、マジックを通して日本文化とわびさびの世界を理解する手がかりを紹介する公演を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	三上 クニ ジャズピアノコンサート	サンパウロ	カシュエラ・スタジオ  サンパウロ市立文化センター	カシュエラ・スタジオ  サンパウロ市立文化センター  在サンパウロ総領事館	2009. 10. 09 ~ 2009. 10. 11	本場アメリカで活躍している三上クニ（ジャズピアニスト）を招き、サンパウロ、レシフェ、ブラジリア、ベレン、マナウスでの巡回公演とワークショップを実施。ジャズのスタンダードナンバーのほか、日本の名曲をジャズ風にアレンジして紹介
6	邦楽奏者三橋 貴風・尺八指導およびデモンストレーション公演	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター  サンパウロ日本人学校  日本館（イビラプエラ公園内）		2010. 02. 06 ~ 2010. 02. 24	文化庁の文化交流使派遣事業により、三橋貴風（尺八奏者）が、10. 02. 06から10. 02. 24までサンパウロに滞在し、尺八を紹介する催しを実施。サンパウロ日本文化センターは、同氏の活動に協力するとともに、当センターホールでは上級者を対象としたワークショップ及びリサイタルを実施。同氏は今回の滞在中、小学校や日本人学校でレクチャー・デモンストレーションを行い、また当地の邦楽演奏家と共にイビラプエラ公園内日本館でも演奏を披露

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	日本研究フェロー帰国報告会「日本の教育文化の越境と展開－戦前・戦中期ブラジルにおける日系教育機関－」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009. 05. 05	根川幸男（ブラジリア大学助教授／平成20年度日本研究フェロー）の帰国報告会。研究成果を当地に普及させるとともに同氏が引き続きサンパウロ等で行う聞き取り調査や資料収集等を側面支援。国会図書館所蔵の「聖州義塾・小林美登利関係資料」や移民船内で発行された新聞等、同氏が収集した日本の教育文化の越境に関する資料を分析・発表。田中洋典（サンパウロ人文科学研究所所長）自身も幼少期体験を報告
8	文化講演会「和の食文化」シリーズ（3回）	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	在サンパウロ総領事館	2009. 06. 17 ~ 2009. 07. 01	本シリーズではジョジマール・メロ（フォリャ・デ・サンパウロ紙評論家）、アルナウド・ロレンサート（食文化研究者／平成16年度文化人短期招聘者）、ジュン・サカモト（ブラジルトップすし職人）による講演会。また、各講演会後には和食の試食と日本酒の試飲を実施
9	ブラジル・フランスの日本研究講演会	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ大学（USP）  ブラジル日本研究会（ABEJ）	2009. 08. 24 ~ 2009. 09. 03	日本とフランスの文学及び演劇専門家による連続講演会を実施。2009年のブラジル・フランス交流年を背景に、両国における日本伝統演劇や日本語文学を考察。講演タイトルはそれぞれ「狂言、能、歌舞伎の伝統－日本とフランス」（ジルー村上栄ストラスブール大学教授）、「ブラジル日本人とカボクロ表象」（西成彦立命館大学教授）、「ブラジル一世の文学活動」（細川周平国際日本文化研究センター教授）

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	日本文化講座「日本映画史・アイデンティティの危機」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009. 08. 25 ～ 2009. 08. 27	ジョン・ルイス・ヴィエイラ（フルミネンセ連邦大学映画科教授）による全3回の文化講座。戦後日本映画史に見られる危機とアイデンティティ形成の分析を実施。『死の棘』（小栗康平監督作品）と『カミカゼ・タクシー』（原田正人監督作品）を上映
11	風呂敷・デザインと環境保護・文化講演会・デモンストレーションとワークショップ	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009. 08. 28 ～ 2009. 09. 30	ソフィア南華鎌谷（デザイナー）による日本の風呂敷の歴史、デザインの観点からの応用（パッケージングとして）のほか、プラスチックやポリ袋を使用せずに布を再利用する環境保護の意識を高める運動についての講演会。本部主催「風呂敷」デザイン公募の関連事業として実施。2009年9月30日に追加講演を実施
12	講演会「剣道の歴史と精神」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	ブラジル剣道連盟	2009. 09. 02	サンパウロにおける世界剣道選手権大会ブラジル大会（09. 08. 28～09. 08. 30）の開催を背景に、日本の伝統的武道のひとつである剣道の歴史や伝統的精神性及び流派について数馬広二（工学院大学教授／日本武道学会理事）による講演を実施。ブラジルの剣道に関する古文書（巻物）の紹介や竹刀を使つてのデモンストレーションも実施
13	日本文化講座「もったいないデザイン思考」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009. 10. 14 ～ 2009. 10. 16	ブラジルを代表するデザイナー、ジュン・ナカオ（デザイナー）による講演会とワークショップ。日本の「もったいない」という姿勢に基づいた「モノ」を生産するデザイナーの制作と創造のあり方について講演を実施
14	「動法の型による能舞」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009. 11. 25 ～ 2009. 11. 27	アンジェラ・ナガイ（Angela Nagai：カンピナス大学舞台芸術学科博士課程／元・国際交流基金フェロー）の活動に対するフォローアップ事業の一環として実施。動法一動作作法による「型」の作り方による能楽の表現手法を体験的に指導。『熊野』（室町時代の能舞）のデモンストレーションと若手ダンサーやコレオグラファーを対象にワークショップも実施
15	ポップカルチャー講座	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 03. 10 ～ 2010. 03. 17	アレシャンドレ・ナガド（漫画家）とソニア・ルイテン（日本研究者）、2名のアニメ・漫画研究者による2回連続の講演会。ブラジルにおける日本の漫画の出版事情や文化としての漫画の普及を中心的テーマとして講演を実施
16	カルロス・マラニオン文化講演会	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 03. 15	平成21年度文化人招へい者として2009年11月15日から11月27日まで訪日したカルロス・マラニオン（Veja誌編集長）の対談形式の講演会を実施
17	ボサノバ・イン・ジャパン（DVD上映）と坂尾 英矩文化講演会	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 03. 30	日本におけるボサノバ音楽に関する講演会及びDVD上映。講師は坂尾英矩（ブラジル音楽研究者／演奏家）。本国ブラジルではボサノバは「教養の高い人たちが聴く音楽」として知られ大衆化されなかったが、日本では喫茶店やCMのBGM等でも頻繁に耳にし、古いLP版が日本でのみ再リリースされたりするなど、ボサノバ市場を形成。本講演では外国におけるボサノバという観点から日本を紹介し、日本への親近感を醸成

海外事務所

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	定例日本映画上映会「いつでもシネマ」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009.04.01～2009.08.27	ブラジルフィルムライブラリー所蔵作品の上映会。隔週火曜日と木曜日に実施。09.04.14から09.07.02の期間には時代劇スペシャルを企画。小林正樹監督の名作『切腹』、山田洋次監督の『たそがれ清兵衛』、『隠し剣 鬼の爪』、新作『山桜』（藤沢周平原作）を上映。09.07.14から09.07.30の期間には『ドラえもん のび太の恐竜2006』を、09.08.11と08.13は『パッチギ』、08.25は『死の棘』、08.27は『カミカゼタクシー』を上映
19	「尺八・風の音」シェン・リベイロ公演と試写会	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	在サンパウロ総領事館	2009.05.06～2009.05.08	シェン・リベイロ（尺八奏者）が邦楽とどのように出会ったかを紹介する記録映画『Bambu Rei』の完成を記念して、上映会とコンサートを3日間連続で実施。記録映画の上映のほか、民謡・邦楽関係者や音楽学校の学生を対象にしたワークショップ、尺八とギターデュオも行い、日本の伝統楽器の新しい魅力も紹介
20	展示と映画上映会「中島 逸平・制作と冒険」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009.06.02～2009.06.10	ブラジル初のアニメーション長編映画を制作した日本人マンガ家中島逸平の生涯を描く短編映画（平成20年度日本理解促進映画・テレビ番組制作助成プログラム対象作品）の発表上映会に備えて、中島逸平の制作現場を再現する展示も実施。展示内容は同氏の1コマ、4コママンガ、イラスト、長編『ピコンゼー』のオリジナルセル画、模型、ストーリーボードを紹介。また、専門家を交えてのパネル・ディスカッションを実施

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	CEL・CELEM教師研修（初任者）	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ州教育局 パラナ州教育局	2009.05.19～2009.05.21	サンパウロ州教育局が運営する語学センター（CEL: Centro de Estudos de Linguas）及びパラナ州教育局が運営する現代外語学センター（CELEM: Centro de Linguas Estrangeiras Modernas）が実施している日本語講座への奨励事業として、その教師の定期的研修（初任者レベル）を実施
22	サンパウロ高校生研修	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009.07.17～2009.07.18	サンパウロ及びパラナ両州の日本語講座を受講している中・高校生に対する奨励協力事業として、選抜された生徒への研修を実施
23	公教育日本語支援事業「ポスターコンクール」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009.11.07～2009.11.15	サンパウロ及びパラナ両州教育局運営の日本語講座を中心として、初・中等教育課程で日本語講座を有する学校に対し、日本語講座の広報・学習奨励として、日本語学習呼びかけのポスター・絵のコンクールを行ない、優勝者をはじめとする入賞作品の絵をカレンダーにして、参加校を含め、全国の日本語学校に配布

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	日本語スピーチコンテスト全国大会	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009. 11. 14	ブラジル各州（全8地区）で行われる弁論大会で優秀な成績を修めた者を招き、全国大会を実施
25	サンパウロ大学生研修	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 01. 11 ～ 2010. 01. 22	ブラジル全国23の大学日本語講座から選抜してサンパウロ日本文化センターでのグループ集中講座を実施
26	日本語教育専門家キューバ出張指導	ハバナ	ハバナ大学		2010. 02. 22 ～ 2010. 02. 26	キューバの日本語教師の質的向上を図るため、サンパウロ日本文化センターに派遣されている日本語教育専門家が教授法などに関する研修を実施

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
27	図書館運営	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	<p>ブラジルにおいて日本文化を広く普及させるため、図書館における閲覧、貸し出し、各種リファレンスサービスのほか、文化芸術事業など基金事業の展開に合わせた所蔵資料の展示を実施。蔵書としては、日本文化・社会を広く紹介する資料、日本語学習や日本研究活動をサポートするための参考文献を中心に収集</p> <p>①所蔵資料合計： 19,118点（視聴覚資料数を含む）            ②登録会員数： 1,632名            ③利用者数（年間）： 10,596名            ④貸出点数（年間）： 17,736点            ⑤レファレンス件数（年間）： 439件            ⑥図書館用リーフレット作成： 1,000部</p>

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
28	機関紙TOBIRA発行	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	サンパウロ日本文化センターの事業広報用機関紙TOBIRAを3回（4月、7月、10月）各10,000部発行。2009年10月号を最後に廃刊
29	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ウェブサイトを通じてサンパウロ日本文化センターの事業、図書館ほか各種日本文化関連情報を紹介。ウェブサイト使用言語は、ポルトガル語 URL：http://www.fjsp.org.br/

海外事務所

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
30	研究発表会「新たな日本研究」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009. 10. 28	過去2年間に新しく日本研究論文を発表した大学院修士課程・博士課程・博士後期課程の研究者3名が、当サンパウロ日本文化センターに集い、互いの研究内容発表および情報交換を実施
31	万葉集の世界	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 03. 01 ～ 2010. 03. 09	脇坂ジェニー（元サンパウロ大学教授）が2008年5月に「第一回NARA万葉世界賞」（奈良県万葉文化振興財団主催）を受賞したことを記念して、万葉集の世界を紹介する講演会を実施
32	折り紙ワークショップ	ポルトアレグレ	リオグランデドスル連邦大学		2010. 03. 11 ～ 2010. 03. 14	クリチバ市在住の堀内和子（折り紙専門家）が出版した折り紙教科書を手本に、美術学部等の学生や小中学校の教師、折り紙愛好家を対象とした同氏による折り紙ワークショップを実施
33	「トレンディ・ジャパン・日本ファッションウィーク」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 03. 22 ～ 2010. 03. 26	日本のファッションをテーマとした複合企画として、デザイン学科学生が卒業課題で制作した日本の様式美を意識した作品展示、ジュン・ナカオ、エリカ・イケジリ、ワルテル・ロドリゲスらブラジルの著名なファッション・スタイリストによる講演会、藍染・織物・和服等に関する文化映画の上映、ファッションを意識した風呂敷ワークショップ等を実施。別途行われた風呂敷デザインコンクールの応募作品も併せて展示

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
34	JFオリジナルふろしきデザインコンクール	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2009. 06. 15 ～ 2010. 03. 26	JFオリジナルふろしきデザインコンクールを実施し、応募作品をサンパウロ日本文化センターに展示すると共に、入賞者に対する表彰式を実施
35	「日本の子ども60年展」	サンパウロ	ブラジル日本文化社会福祉協会		2010. 01. 04 ～ 2010. 01. 17	国際交流基金巡回展「日本の子ども60年展」を開催。戦争直後から最近までの60年間、日本の子供たちの表情や生活の移り変わりを、それを取り巻く世相とともに紹介。荒木経惟や土門拳ら日本を代表する写真家の作品100点から構成。また、ブラジルのコロニアでの日系人の子供たちの生活を記録したハルオ・オオハラの高貴な写真61点も、今回特別に会場内の大型モニターでスライドを上映



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
36	放送大学仙田 満講演会	サンパウロ  クリチバ  ポルトアレグレ	サンパウロ大学  パラナ州工業連盟  Uniritter大学		2010. 03. 09 ~ 2010. 03. 21	仙田満（元日本建築学会会長／放送大学教授）による巡回講演。昨今ブラジルでも「持続可能な都市開発」というテーマには大きな関心が寄せられている。こうした背景から、日本の環境配慮型建築や都市空間を紹介。クリチバでは世界各国から建築家を招いて開催された「2010年・革新的な都市に関する国際会議」で講演。サンパウロではブラジルで最も著名な建築家の一人であるルイ・オオタケ（建築家）のゲスト・スピーチも併せて実施

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
37	ジャパン・エキスペリエンス	パウロ・コバヤシ財団（NPO）	2009. 10. 24 ~ 2009. 10. 25	ブラジルにおいて日本文化を体験してもらうことを目的とした事業。助成の対象は折り紙、和太鼓、風呂敷などのワークショップを実施するための経費を一部負担。2日間で19,000人の観客を集め、25のワークショップやデモンストレーションを実施
38	講演「日本語教育と日本文学」	ブラジル日本研究学会（ABEJ）	2010. 03. 23 ~ 2010. 03. 24	日本語教育および日本文学の日本研究者でブラジル日本研究学会（ABEJ）会員のナナ・ヨシダ（サンパウロ大学教授）、セシリア・シオダ（サンパウロ州立大学教授）、モニカ・オカモト（サンパウロ州立大学准教授）をクリチバ市のパラナ連邦大学に派遣し、出張講義を実施。また、学生のみならず派遣先機関の教員も対象とした日本語分野でのワークショップも併せて実施

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
39	第7回よさこいソーラン祭	ブラジルよさこいソーラン協会	2009. 07. 14	ブラジルサンパウロで行われるよさこいソーランに対して後援名義を付与
40	第三回文協総合美術展	ブラジル日本文化福祉協会	2009. 10. 23 ~ 2009. 11. 08	日系社会を中心とした総合美術展に対する後援名義付与
41	豊田 豊50周年記念展		2009. 12. 10 ~ 2010. 01. 15	豊田豊（美術家）がブラジルで美術活動を始めてから50周年となることを記念した絵画と彫刻の展覧会に対する後援名義付与

海外事務所

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
42	よさこいソーラン実務担当者会議	ブラジルよさこいソーラン協会	2009. 07. 14	ブラジルよさこいソーラン協会が実施する実務担当者会議に対する会議室の貸し出し
43	サンパウロ日本人学校PTA総会	サンパウロ日本人学校PTA	2009. 10. 01	サンパウロ日本人学校PTAが実施する総会に対する会議室の貸し出し
44	日系社会セミナー	日伯文化社会統合協会	2009. 10. 26 ～ 2009. 10. 27	日伯文化社会統合協会が主催した日伯移民100周年の記念セミナーに対する会場の貸し出し
45	日本語ブラッシュアップコース	サンパウロ・アルムニAOTS財団	2010. 01. 16 ～ 2010. 01. 28	国際交流基金平成18年度日本語教師短期研修会（夏期）への参加者による日本語の特別コースを実施するための会場の貸し出し

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
46	京都写真展パネル	ACEMA（マリング文化スポーツ協会）	2009. 08. 01 ～ 2009. 08. 31	マリングで実施された日本文化週間に対する京都写真展のパネル貸し出し
47	アニメパネル <i>DreamLand1</i>	在ベレン総領事館	2009. 08. 15 ～ 2009. 08. 25	在ベレン総領事館に対するアニメパネルの貸し出し
48	アニメパネル <i>DreamLand3</i>	在リオデジャネイロ総領事館	2009. 10. 26 ～ 2009. 11. 30	在リオデジャネイロ総領事館に対するアニメパネルの貸し出し
49	浮世絵パネル	在ベレン総領事館	2009. 11. 03 ～ 2009. 11. 20	在ベレン総領事館に対する浮世絵パネルの貸し出し

ロンドン日本文化センター

合計額 128,828,223 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	事務所備付展示セット運営	ロンドン	在英国大使館 広報文化センターロビー  ウォリントン 女子高校 (Wallington High School for Girls)		2009.05.04 ~ 2010.06.05  2010.03.08 ~ 2010.03.15	写真パネルセット「日本の世界遺産」を貸し出し、展覧会を実施

## 【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	<i>The Business, Life and Letters of Frederick Cornes</i> 出版記念講演会	ロンドン	ロンドン日本文化センター	グレート・ブリテンササカワ財団  グローバルオリエンタル出版	2009.05.14	同書に序文を寄せたピーター・マティアス (Peter Mathias オックスフォード大学名誉教授) による同書及び著者の紹介ののち、著者であるピーター・デービス (Peter Davies リバプール大学名誉教授) による出版記念講演会を実施。引続きジェイムズ・ホール (James E. Hoare リバプール大学教授) によりフレデリック・コーンズや同時代の日英間の貿易に関する補足説明が行われ日英関係を貿易面から振り返るイベントを実施
3	<i>Stitch Up! The World of Sashiko</i> (「刺子の世界」)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009.06.30	長年刺子の実地研究を続けたテキスタイルアーティスト兼「日本の刺子」展のキュレーター、ミッシェル・ウォーカー (Michelle Walker) による日本の刺子の講演。講演では、社会の現代化によってほとんどオリジナルの形で存在しない日本の民芸、刺子の技術やその歴史、また社会的意義などに焦点をあて、スライドや動画を使いながらの解説。本事業は、地方都市でのみ開催される海外展助成対象事業「日本の刺子」展の事前広報協力も兼ねた
4	<i>Stitch Up! Manga Cross Stitch</i> ワークショップ (漫画を図案とする刺繍のワークショップと漫画の講演会)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009.07.01	英国在住の日本アニメ研究者であり刺繍の専門家でもあるヘレン・マッカーシー (Helen McCarthy) を講師に、マンガに描かれるグラフィックを原案とするクロス刺繍のワークショップを実施した。またワークショップの前には、講師による日本のアニメ・マンガについての講義の時間を設定

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	<i>Makoto Nomura: The Sound of the Melodica</i> (「野村 誠:メロディカの調べ」)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009. 07. 08	日本では学校教育を通して認知度が高いものの、音楽楽器としては当地ではまだ珍しい鍵盤ハーモニカの特徴ならびに音楽的可能性について、鍵盤ハーモニカ用の作曲やコンサート活動で知られる音楽家兼作曲家 野村誠(鍵盤ハーモニカ奏者/作曲家/ピアニスト)を招へいし、鍵盤ハーモニカについてのレクチャー・デモンストレーション、またミニコンサートを行った。ミニコンサートには、音楽家の片岡祐介(打楽器奏者/作曲家)、アンドリュー・メルビン(Andrew Melvin: 作曲家)も参加
6	<i>Tsubaki's World - An Artist Talk by Noboru Tsubaki</i> (「椿の世界-椿 昇アーティスト・トーク」)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	Pestival	2009. 08. 26	9月にロンドンで開催される国際交流基金海外展助成対象事業フェスティバル(Pestival)と連動し、出品作家椿昇に、これまでの作品や活動内容、作家としてのスタンス、また日本の現代美術とサブカルチャーの関係などについて語ってもらうアーティストトークを実施
7	<i>Community, Art and Engagement-Recent Trends from Japanese Art Projects</i> (「コミュニティ、アート、エンゲージメント:最近の日本のアートプロジェクト事情から」)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009. 10. 01	芹沢高志(P3 art and environment代表)、アンドレア・シュリーカー(Andrea Schlieker:フォークストントリエンナーレ キュレーター)、キース・ウィットル(Keith Whittle:セントラル・セイントマーティン美術大学研究員)の3名をパネリストとして招き、90年代以降に活況を呈した日本のアートプロジェクトの状況を紹介するとともに、地域を拠点とする日英のアートプロジェクトの意義や機能などについて検証するセミナーを実施
8	<i>The Art of Japanese Fans: Past and Present</i> (「日本の扇の美:過去と現在」)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	Japan Society, London	2009. 10. 13	京都の扇メーカー代表であり長年扇の普及と研究に携わってきた石角完爾(いしずみ・かんじ)を講師として、日本の扇に関し、その発祥から現代の用途、また作り方などにつき、ビデオやスライド、実物を見せながら解説。事業の間中、参加者が実際に手にとって扇を鑑賞できるよう、同氏が用意したさまざまな形、絵柄の扇20本程を展示
9	シリーズ:日英交流を動かした人たち 第6回「岩倉遣欧使節団」	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009. 10. 28	第6回 <i>Movers and Shapers: Japan-UK Relations</i> 明治初期に来英した岩倉遣欧使節団に関する講演会。講師はシェフィールド大学グラハム・ヒーリー(Graham Healey・通信教育センター長)
10	<i>Music Beyond Labels: Exploring New Music from Japan</i> (「ラベルのない音楽」)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009. 11. 06	フランク・ストファー(Franck Stofer:音楽エージェント Sonore代表)、DJ スコッチエッグ、(DJ Scotch Egg:テクノアーティスト)、アラン・カミングス(Alan Cummins:The Wire誌ライター)を招へいし、進化を遂げる日本のノンクラシック音楽ジャンルの現状につき、DVDクリップやトークなどを通して紹介するセミナーを実施
11	シリーズ:日英交流を動かした人たち 第7回「陸奥 広吉」	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009. 11. 11	第7回 <i>Movers and Shapers: Japan-UK Relations</i> 陸奥宗光の息子であり、外交官として活躍し、1910年の日英博覧会の中心ともなった陸奥広吉に関する講演会。講師は、アヤコ ホッター=リスター博士

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	<i>Noh Unmasked</i> (能面を知る)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	Japan Society	2009. 12. 01	能面師の北澤秀太を招へいし、能面作りの講演とデモンストラーションを行った。彫りに関しては、実演のかわりに同氏が持参した制作途中の能面などを見せ、過程をわかり易く紹介することに努めた。またビジュアライザーを用いて手元を拡大投影し、参加者にも詳細が伝わるよう工夫した。パフォーミング・アーツ・ジャパン (PAJ) 欧州・助成プログラム対象事業の関連事業のひとつとして実施
13	シリーズ：日英交流を動かした人たち 第8回「南方 熊楠」	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009. 12. 10	第8回 <i>Movers and Shapers: Japan-UK Relations</i> 明治時代、英国に研究に来た学者南方熊楠に関する講演会。講師は、松居竜吾 (龍谷大学准教授)
14	<i>Whiter than White: New directions in Japanese architecture and design</i> (「日本建築とデザインの新潮流」)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2010. 01. 27	日本の現代建築に関し、過去5年間日本建築の特集記事を組んで動向を観察してきたBlueprint誌の編集長ヴィッキー・リチャードソン (Vicky Richardson) の基調講演と、日本人建築家今村創平との対話を通して、日本の現代建築の最新動向を検証するセミナーを実施
15	<i>Girls on Film: Preview Talk by Jasper Sharp</i> (「映画と女性」：ジャスパー・シャープによる講演)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2010. 02. 04	国際交流基金主催映画祭に先立ち、映画祭のアドバイザーを務める当地の日本映画専門家ジャスパー・シャープ (Jasper Sharp) を招いて、同映画祭のラインナップや映画祭のテーマを紹介する講演会を実施
16	<i>The Landscape of Japanese Sound Culture : Sound and Music Instruments Depicted in Ukiyoe</i> (日本の音文化「浮世絵に描かれた楽器」)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2010. 02. 23	茂手木潔子 (音楽学研究者/有明短期教育芸術大学教授) を招へいし、目立たないが実は日本音楽の世界を支えている音楽場面や楽器に焦点を当て、2回連続の講演会を実施した。1回目の本事業では、葛飾北斎が好んで描いた馬の鈴など、かつて日本の庶民の暮らしの中で人々が聴いていた日本の音や楽器を、スライド・DVDを使っての解説の他、茂手木教授が持参した楽器の実物の音を出しながら、描かれた浮世絵とともにその文化背景を交えて紹介した。モデレーターはフィリップ・ニール・マーティン (Phillip Neil Martin: 作曲家/平成16年度内田フェロー)
17	<i>The Landscape of Japanese Sound Culture : Unexpected Gems- Exploring the Sources of Japanese Sound Culture</i> (日本の音文化を探る)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2010. 02. 24	茂手木潔子 (音楽学研究者/有明短期教育芸術大学教授) を講師に迎え、目立たないが実は日本音楽の世界を支えている音楽場面や楽器に焦点を当てた2回連続の講演会を実施した。2回目にあたる本事業では、日本音楽の根幹を成す音、日本人が日常的に大切にしてきた音で1970年代以降消えつつある音などを楽器や映像などと共に紹介。モデレーターはデビッド・ヒューズ (David Hughes: ロンドン大学)
18	大正琴ワークショップ	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2010. 03. 01	日本で発明された唯一の西洋楽器といわれる大正琴という楽器につき、末信赤根 (すえのぶ・あかね) を講師に迎え、そのメカニズムや弾き方を紹介しつつ、簡単な曲を参加者に実際に弾いて楽しんでもらうワークショップを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
19	<i>Cultural Heritage? in East Asia</i> (東アジアにおける文化遺産とは?)	ノリッチ ロンドン	イーストアングリア大学  ユニバーシティカレッジ ロンドン		2010. 03. 12 ~ 2010. 03. 13	日中韓の文化遺産に関する専門家10名、またコメンテーター等合わせて16名の専門家が参加。12日に専門家によるワークショップをイーストアングリア大学(ノリッチ)にて実施、13日に一般公開の会議をユニバーシティカレッジロンドン(ロンドン)にて実施。13日の会議では、共通する5つの質問に対して各参加者がそれぞれの事例をもとに発表を行い、また、一般来場者からの質問も受け付けることにより、議論を活性化
20	アーサー・ストックウィン教授国際 交流基金賞受賞記念講演 <i>Does changing the government mean changing the system? Reflections on Japan's new politics.</i>	ロンドン	在英大使館		2010. 03. 18	アーサー・ストックウィン(Arthur Stockwin・オックスフォード大学教授)の国際交流基金賞受賞を記念した講演会。テーマは、現代日本政治。2009年の民主党政権の成立及び現状について、戦後の自民政権による支配や90年代の連立政権樹立との比較を通じた講演

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	日本映画…入門 ( <i>Introduction to …Japanese Cinema</i> )	ロンドン	プリンス・チャールズ映画館(Prince Charles Cinema)		2009. 04. 28	ロンドンの独立系シネマ、プリンス・チャールズ映画館(Prince Charles Cinema)にて、黒澤明監督の代表作『七人の侍』の上映を行うと同時に、日本映画専門家のジャスパール・シャープ(Jasper Sharp)を招き、黒澤や同作品が後世に与えた影響力について講演

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
22	中等教育試験関連研修会	ロンドン	ロンドン日本文化センター	Asset EDEXCEL	2009. 04. 03 ~ 2010. 01. 29	英国の中等教育終了試験である <i>General Certificate of Secondary Education (GCSE)</i> 、 <i>General Certificate of Education, Advanced Level (GCE)</i> といった全国統一試験では、日本語関係の試験も実施されている。中等教育機関では、これら試験の受験を目的に日本語教育を行うことが多く、日本語教師の試験に対する関心は高い。このような状況を背景に、試験関係機関と共催し、日本語教師研修会を実施
23	国際交流基金/英国日本語教育学会 共催セミナー	ロンドン	ロンドン大学東洋アフリカ学院(SOAS)  ロンドン日本文化センター	英国日本語教育学会(BATJ)	2009. 05. 08 ~ 2010. 01. 30	高等教育機関の日本語教師を主な対象に、日本語教育に関する各種セミナーを英国日本語教育学会(BATJ)と共催し、年度内に5回実施。テーマは次の通り  5月8日「コーパスと日本語・日本語教育」 6月6日「21世紀の日本と日本語における複言語」 10月24日「琉球語を中心とした日本語の歴史」 12月5日「日本語教師研修会(アルザス研修、上級研修)報告」 1月30日「文法項目の習得過程の長期的考察-受身の場合-」

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	StepOutNet ボランティアによる日本語トライアルレッスン	ケント	英国内初等・中等教育機関	英国内初等・中等教育機関	2009.05.28 ~ 2010.03.26	日本語導入を検討している初等・中等教育機関に日本語教育ボランティアを派遣し、トライアルレッスンを行う StepOutNet事業を実施。英国内計23校の初等教育機関・中等教育機関にボランティアを派遣した。また、日本語教育ボランティアに対しトライアルレッスン実施のための研修会を実施し、言語教育を取り入れた授業プランの提示やボランティアの授業体験の紹介を行った。11月の通常の研修会の他に、10月にはボランティアを対象にパワーポイントを使った授業用資料の作成に関する特別研修会を実施
25	日本語で学ぶ日本事情講座 <i>Talking Contemporary Japan</i>	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009.06.04 ~ 2010.03.25	日本語能力試験2級程度以上を対象に、日本の社会や文化を様々な切り口でとらえ、日本語の技能を総合的に向上させることを目指した講座を年度内に3回実施。テーマは、6月は「現代人の心に生きる古典の世界」、11月は「日本のテレビ番組を見て、社会問題を考えよう!」、3月は「日本のビジネス・マナーや日本社会の常識を考えよう!」
26	StepOutNet トレーニング・デイ	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009.06.16 ~ 2011.02.09	日本語導入を検討している初等・中等教育機関に日本語教育ボランティアを派遣し、トライアルレッスンを行う StepOutNet事業の一環として、日本語教育ボランティアに対しトライアルレッスン実施のための研修会を平成21年度内に6月16日、9月15日、10月8日、11月24日、2月9日の5回実施
27	<i>Nihongo Cup</i> (中等教育レベルの日本語スピーチコンテスト)	ロンドン	在英国大使館	Japanese Language Committee of Association for Language Learning 在英国大使館	2009.06.20	中等教育レベルの日本語学習者によるスピーチコンテスト。学習者の学年により、3つのカテゴリーで実施。録音による予選を経て、計19人が大会に出場
28	リフレッシュャー・コース ( <i>Advanced course</i> 及び <i>Intermediate course</i> )	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2009.07.20 ~ 2009.07.31	日本語非母語話者である日本語教師を対象に、日本語のブラッシュアップのための研修を実施。上級コースと中級コースの2コースに分けて研修 (2009年7月20日~22日:Advanced、2009年7月27日~31日:Inter-mediate)
29	JETプログラム同窓会 (JET Alumni Association) <i>Careers Information Day</i> での日本語ブース出展	ロンドン	HMS President (1918)		2009.09.25	JETプログラムの参加者向けの就職支援イベント「JETプログラム同窓会 (JETAA) <i>Careers Information Day</i> 」において、日本語教師に関する情報を提供

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
30	Japan Conference for Schools	ロンドン	ブリティッシュ・カウンシル	ジャパン・ソサエティ（日本協会）  ブリティッシュ・カウンシル  在英国大使館	2009. 10. 16	日本語教育を行っている、ないしは日本文化や日本との交流を授業の中に取り入れている教育関係者がネットワークを築き、情報をシェアするための会議を開催。実際に日本関係活動を行う学校の教師による各種プレゼンテーションや各主催者の支援を紹介する情報提供などから成り、今回で5回目
31	外国語見本市 The Language Show ブース出展	ロンドン	オリンピア	JPT EUROPE	2009. 10. 30 ～ 2009. 11. 01	外国語教育・学習に関する総合見本市The Language Showに、JPT EUROPEと共同してブースを出展し、日本語に関する情報提供（フライヤー配布、教材の展示・紹介、教材の販売（JPT EUROPE））を行った。また、一般来場者の日本語への興味の喚起のために、日本に関するクイズや来訪者の名前をカタカナで書くサービスを行う他、日本語トライアルレッスンも実施
32	第5回大学生のための日本語スピーチコンテスト	ロンドン	ロンドン大学東洋アフリカ学院 (SOAS)	英国日本語教育学会	2010. 02. 27	大学生の日本語学習者を対象に、スピーチ部門とグループ・プレゼンテーション部門の2部門に分け、スピーチコンテストを実施。スピーチ部門には19大学37人から、グループ・プレゼンテーション部門には16大学51グループ、計148名が応募
33	Primary Language Show ブース出展	リヴァプール	リヴァプール ACC		2010. 03. 12	初等教育機関の外国語教師のためのイベントであるPrimary Language Showにブースを出し、国際交流基金の日本語教育支援に関する情報を提供
34	日本語教育導入イベントHead Start	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2010. 03. 17	日本語教育を実施していない学校の校長、教頭や外国語教師主任などを対象に、日本語の特徴についての説明や体験レッスン、英国における日本語教育事情、国際交流基金その他の団体のサポート体制などについて説明し、日本語教育導入を図るイベントを実施
35	Language World でのプレゼンテーション	ヨーク	ヨーク大学		2010. 03. 26	外国語の教師会であるAssociation for Language Learning (ALL)のイベントLanguage Worldにおいて、初等・中等教育機関教師向けにJapanese from Scratchと題した日本語教育実施についてのプレゼンテーションと日本語トライアル授業を実施



海外事務所

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
36	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本語教育関係資料を中心に収集する図書館を運営 ①所蔵資料合計： 約8,100点（視聴覚資料数を含む） ②登録会員数： 838名 ③利用者数（年間）： 約1,600名 ④貸出点数（年間）： 約1,800点 ⑤レファレンス件数（年間）： 852件

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
37	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	ロンドン日本文化センターの各種事業案内、公募事業案内、活動紹介等を行うウェブサイト運営。使用言語は英語 年間アクセス数：161,969件 URL：http://www.jpff.org.uk/
38	e-bulletin 発行	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	国際交流基金事業や公募助成事業実績の案内をはじめ、日本文化紹介事業等を伝えるメールマガジンを発行（毎月1回）。延べ35,678人に送信

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
39	平和と文化に関するラウンドテーブル	ロンドン	ロンドン日本文化センター	青山学院大学	2009. 11. 18	福島安紀子（青山学院大学国際交流共同研究センター研究員）を中心とし、「文化の平和構築における役割」、芸術、音楽、演劇及びスポーツを通じた紛争解決理論、スポーツを通じた紛争解決の理論と実践、「紛争中の文化は武器か道具か」、北アイルランドにおける統合教育などのテーマについて各専門家が報告を行い、約25名の在英有識者と意見を交換
40	在欧日本文化専門家中東派遣（第三国間派遣：塩見 奈々）	テヘラン（イラン）	マレク美術館	芸術アカデミー	2010. 02. 19 ~ 2010. 02. 27	塩見奈々（版画家）をイランに派遣し、テヘランにおいて版画展を開催し、芸術大学において版画ワークショップを実施。またイランにおける木版プリント作家や浮世絵研究家との交流を図った
41	アニメ祭り ANIME Weekend	ダブリン	Irish Film Insititute		2010. 03. 20 ~ 2010. 03. 21	『エヴァンゲリオン新劇場版:序』ほか日本のアニメ作品計6本を2日間で上映。またパリ在住の専門家アンドリュー・パートリッジ（Andrew Patridge）を講師に招き、日本アニメや背景にある日本文化に関する講演会を実施。全体で1,200名が参加

海外事務所

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
42	<i>Japanese Contemporary Dance Today</i>	ロンドン	The Place	Middlesex University	2009. 12. 16	専門家の立木燐子（たちき・あきこ：舞踊評論家）を迎え、日本におけるコンテンポラリーダンスの歴史を概観し、主要なアーティストとその作品を紹介。ロンドン日本文化センターにてレセプション経費を負担

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
43	日本研究者旅費支援プログラム： Philip Shelter-Jones		2008. 01. 08 ～ 2009. 06. 10	調査研究のための訪日旅費の一部を助成 対象者（所属機関）：フィリップ・シェルター＝ジョーンズ （Philip Shelter-Jones・シェフィールド大学） 研究テーマ：The Effects of Globalization on Japan's Security Policy Reform, 1989-2009
44	文化事業協力助成： <i>The School of Sound</i>	The School of Sound	2009. 04. 15 ～ 2009. 04. 18	8年目を迎える <i>School of Sound</i> に鈴木昭男（サウンドアーティスト）を招へいし、演奏とインスタレーションならびに対談をとおして本年は「聴くこと」の意味を探求する事業（会場：ロンドン・Southbank Centre）に対し、ロンドン日本文化センターは鈴木昭男の旅費の一部を助成
45	文化事業協力助成： <i>Human Bridge: 150 Years of Anglo-Japanese Friendship and Commerce</i>	Japanese Residents' Association	2009. 06. 01 ～ 2010. 01. 31	日英外交関係樹立150周年を記念して制作された写真パネルの展示会で、日英間の産業貿易関係を概観し、これにまつわる人的、文化的交流を視野に入れる展示構成となった。グラスゴーとロンドンの両会場で合計約3,850名の来場者があった。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは図録作成費の一部を助成
46	文化事業協力助成： <i>POI: Moving, Mapping, Memory</i>	Greater Manchester Arts Centre (Cornerhouse)	2009. 06. 05 ～ 2009. 06. 28	マンチェスター市のアーツセンター、コーナーハウス（Corner-house）で開催されたグループ展 <i>Moving, Mapping, Memory</i> に、日本より吉川ユカリが招へいされマルチメディア作品を発表する事業に対し、ロンドン日本文化センターは吉川ユカリの旅費の一部を助成
47	文化事業協力助成： <i>Aqua-scape: The Nature Orientated Art of Ryumei Fujiki</i>	Beam	2009. 06. 15 ～ 2009. 08. 28	藤木隆明（建築デザイナー）によるインスタレーション作品『アクアスペース』の展示。Beam Gallery（ウェイクフィールド）での展示期間中に、アーティストトーク、学生を対象としたワークショップ、児童教育プログラムを行い800名の参加を得た。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは広報費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
48	文化事業協力助成： <i>A Yukio Mishima: Double Bill</i>	StoneCrabs Theatre	2009. 06. 18 ~ 2009. 07. 04	三島由紀夫の戯曲『班女』及び『地獄変』（芥川龍之介原作）を日英の役者および日英を含む国際的な演出、美術、技術陣の制作により英国で初上演する事業（会場：ロンドン・Oval House Theatre）に対し、ロンドン日本文化センターは広報費の一部を助成。15公演で750名を動員
49	文化事業協力助成： <i>Performance by Ensembles Okeanos &amp; [rout]</i>	Oxford Brooks University	2009. 07. 01 ~ 2009. 11. 01	笙、琴、尺八、三味線を含む日本の伝統楽器、洋楽器及び電子インストルメントを駆使して日英6名の作曲家が新作を制作し、専門家交流を行った他、「サウンド&ミュージックカッティングエッジ」にて105名の聴衆を得て上演する事業（会場：オックスフォード・Oxford Brooks University, ロンドン・The Warehouse）に対し、ロンドン日本文化センターは会場費の一部を助成
50	文化事業協力助成： <i>A Net of Eels</i>	Film and Video Umbrella	2009. 07. 09 ~ 2009. 10. 04	英国のアーティストJake Tilsonと都築響一による、うなぎをテーマとした写真、オーディオ、オブジェで構成された学際的な日英文化比較考察展。ロンドンとイーリーの両会場で合計6,932名を動員した。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは都築響一の謝金の一部を助成
51	文化事業協力助成： <i>Supersonic Festival</i>	Capsule UK	2009. 07. 24 ~ 2009. 07. 29	7年目を迎えるバーミンガムの「スーパーソニックフェスティバル」に、コラプティッド及び二千年問題のふたつの音楽バンドが日本より招へいされ、それぞれ公演を行った。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは両バンド・メンバーの渡航費の一部を助成
52	日本研究者旅費支援プログラム： Thomas Lowenstein		2009. 07. 24 ~ 2009. 08. 24	調査研究のための訪日旅費の一部を助成 対象者（所属機関）：トム・ローヴェンスタイン（Tom Lowenstein・作家） 研究テーマ：Composition of Haibun and haiku-inspired poetry based visits to gardens and temples in Kyoto
53	文化事業協力助成： <i>Discovering Japan in East Anglia</i>	Interface Learning	2009. 09. 01 ~ 2009. 10. 01	日英外交関係樹立150周年記念事業として、英国3都市にて日本文化の家族若者向け事業を実施した。プロジェクトは様々なトピックの講演会、詩の朗読会、マンガ・ワークショップ、Jポップの視聴会、習字、茶道、着付け、料理、珠算、太鼓、剣道、弓道、居合い、盆栽を含むもので、4,000名を超える参加者があった。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは会場借料費の一部を助成
54	日研・知的事業助成： <i>Animation industry UK and Japan</i>	キングスカレッジ	2009. 09. 01 ~ 2009. 10. 30	キングスカレッジが主催する日本と英国のアニメ産業に関するシンポジウム。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは、謝金およびケータリング費用の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
55	文化事業協力助成： <i>Sci-Fi Surgery: Medical Robots</i>	Royal College of Surgeons	2009. 09. 08 ～ 2009. 12. 23	医学におけるロボット工学とアートにおけるサイエンス・フィクションとの関係を探求するユニークな一連の複合プロジェクトで、手塚治虫が手がけた医学テーマの漫画やアニメ作品の上映、展示を含めた医学とアート両面からアプローチした展示、上映、講演・セミナー、教育ワークショップを実施。参加者は15,000人を超えた。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは手塚治虫の原画借用費の一部を助成
56	日本研究者旅費支援プログラム： Monica Barry		2009. 09. 16 ～ 2009. 11. 19	調査研究のための訪日旅費の一部を助成 対象者（所属機関）：モニカ・バリー（Dr. Monica Barry・ストラスクライド大学） 研究テーマ： <i>Youth Offending and Dessistance in Japan</i>
57	文化事業協力助成： <i>The London Butoh Festival</i>	Theatre Training Initiative	2009. 09. 19 ～ 2009. 11. 15	舞踏の創始者土方巽の舞踏初演50周年を記念したワークショップ、土方アーカイブの記録上映、田中泯に関する講演等からなる複合プロジェクトを実施し、計250名の参加を得た（会場：ロンドン・The Courtyard Theatre）。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは参加アーティスト川本裕子の謝金／旅費の一部を助成
58	文化事業協力助成： <i>Ryoji Ikeda: Exhibition and Musical Performances</i>	Ikon Gallery	2009. 10. 05 ～ 2009. 11. 08	池田亮司（テクノミュージシャン／コンテンポラリーアーティスト）の作品展示とパフォーマンスを現代美術専門のIkon Gallery（バーミンガム）で実施した。展示は700名、コンサートは200名の参加があった。同事業の実施に関しロンドン日本文化センターは池田亮司の旅費の一部を助成
59	文化事業協力助成： <i>Full of Noises Festival</i>	The Octopus Collective	2009. 10. 19 ～ 2009. 10. 24	The Canteen Media Arts Centre（バローインファーマネス）での実験音楽とサウンドアートのフェスティバルに日本からアーティストのHacoを招へい、レジデンシーを通して作品制作と作品発表を行った。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターはHacoの旅費の一部を助成
60	文化事業協力助成： <i>Peach Boy-The Adventures of Momotaro</i>	Oxfordshire Theatre Company	2009. 11. 01 ～ 2010. 02. 01	民話桃太郎を題材にして日英専門家の協力により制作された児童劇を、オックスフォードシャーを中心に45の会場にて51公演実施した。非都市部での公演を意識して村の公民館、コミュニティセンターを会場とした。多数の子供を含む3,200名の来場者があった。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは広報費の一部を助成
61	文化事業協力助成： <i>Sukitooru Yume: Women in Contemporary Japanese Art</i>	University of Dundee	2009. 11. 06 ～ 2009. 12. 07	現代の諸芸術に観られる女性像のテーマでつながった複合事業で、茶道、三味線、芸術と宗教をめぐるシンポジウム、映画上映会から構成され、550名の参加を得た。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは広報費の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
62	文化事業協力助成： <i>Sky, Horse, Death 2009 Lanterns-Quasar</i>	Institute of Contemporary Arts, London	2009. 11. 14	40組を超えるアーティストによる実験音楽フェスティバルにおいて日本から荒川医（あらかわ・えい）が招へいされ、ボランティアや観客を巻き込んだパフォーマンスを実施し、80人の観客を集めた。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは荒川医の旅費／謝金／日当の一部を助成
63	日本研究者旅費支援プログラム： C. J. Mason		2009. 12. 29 ～ 2010. 01. 19	調査研究のための訪日旅費の一部を助成 対象者（所属機関）：クリス・マーソン（Dr. Chris Mason・リバプールジョーンズ大学） 研究テーマ： <i>A comparative review of social enterprises in the United Kingdom and Japan</i>
64	日本研究者旅費支援プログラム： Valerie Henitiuk		2010. 01. 07 ～ 2010. 01. 11	調査研究のための訪日旅費の一部を助成 対象者（所属機関）：ヴァレリー・ヘンニチュック（Dr. Valerie Henitiuk・イーストアングリア大学） 研究テーマ： <i>From National Literature to World Literature: The Tale of Genji and the Pillow Book in Western Translation</i>
65	文化事業協力助成： <i>A Season of Contemporary Japanese Films 2010</i>	Japan Desk Scotland	2010. 02. 05 ～ 2010. 02. 26	グラスゴーにおける日本関連催事として定着したイベントで、今回は『ALWAYS 三丁目の夕日』など劇映画新作4本とともに、映画の舞台となった地域にちなんだ文化映画を同時上映した。学内の劇場を会場にした一般公開の映画祭で一般観客の来場も多く、377名を動員した。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは会場借料の一部を助成
66	文化事業協力助成： <i>Naoko Takahashi</i>	IMT Gallery, London	2010. 02. 05 ～ 2010. 04. 04	高橋尚子（美術作家）によるサイト・スペシフィックなサウンド&オブジェインスタレーションで751名の観衆を動員した。アーティストトークを開催した。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは作品制作費の一部を助成
67	文化事業協力助成： <i>Hiroshi Suzuki: Silver Waves</i>	Goldsmiths Company	2010. 02. 08 ～ 2010. 03. 06	鈴木洋（彫金作家）の作品展をゴールドスミスホール（ロンドン）にて開催した。ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館等世界各地で所蔵される銀を主体とする同氏の作品を一同に集めたもので、春季個展としては最高の来場者があった。また、2回のアーティストトークは満員の500人を数えた。同事業の実施に関しロンドン日本文化センターは広報費の一部を助成
68	日研・知的事業助成： <i>Photographic Exhibition "In the Footsteps of Isabella Bird: Adventures in Twin Time Travel"</i>	ロンドン日英協会	2010. 02. 15 ～ 2010. 03. 12	ジャパンソサエティが主催する、日本を含むアジアへの旅行を行った英国人女性イザベラバードの足跡を訪ねる写真展覧会への助成。金坂清則（京都大学教授）が写真等を提供。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは、会場借料の一部を助成

海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
69	文化事業協力助成： <i>Japan at Glasgow Film Festival 2010</i>	Glasgow Film Theatre	2010.02.18 ~ 2010.02.28	グラスゴーフィルムフェスティバルの日本特集プログラムにおいて『Akira』、『Kakera』、『ゼロの焦点』など多様なジャンル、スタイル、テーマで構成された作品が上映され949名の観客を集めた。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは上映権料とプリント輸送量の一部を助成
70	日研・知的事業助成： <i>Documentary film "Gift of Beate"</i>	津田塾大学同窓会	2010.03.09 ~ 2010.03.11	英国津田塾大学同窓会が運営する、ドキュメンタリーフィルム『ベアテの贈り物』の上映及びシロターゴードン・ベアテ (Beate Sirota Gordon) による講演会。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは、同氏の旅費の一部を助成
71	文化事業協力助成： <i>Atsuhiko Ito UK Tour</i>	No-Fi Live	2010.03.09 ~ 2010.03.12	伊東篤宏 (ノイズミュージックアーティスト) の初の英国ツアーを4都市 (ニューカッスル、パーミンガム、ケンブリッジ、ロンドン) で実施した。ニューカッスルでは <i>AV10 Festival</i> に参加し、堀尾寛太 (実験音楽アーティスト) と共演した。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは伊東篤宏の旅費の一部を助成

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
72	初等教育機関教員向け日本語教育導入セミナー (グラスゴー)	セルティック・ラーニング・センター ジャパン・デスク・スコットランド 在エディンバラ総領事館	2009.09.09	初等教育レベル教員対象の日本語教育導入のためのレクチャーおよび日本語体験学習の模擬授業、教材紹介。ロンドン日本文化センターは、同センターの日本語教育専門家を講師として派遣
73	<i>Translating Japanese Poetry: A discussion on the occasion of the re-publication of the Penguin Book of Japanese Verse</i>	ロンドン大学 東洋アフリカ学院 (SOAS)	2009.10.14	ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院が主催する、Geoffrey Bownas教授他による著作 <i>The Penguin Book of Japanese Verse</i> の再販記念講演会に対して協力。編集者であるAnthony Thwaite (詩人・作家) 及びJoshua Mostow (ブリティッシュ・コロンビア大学教授) が同書を紹介

マドリッド日本文化センター

合計額 18,527,783 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	「能と禅の美」展	マドリッド	ポンス財団	ポンス財団	2010.03.15 ~ 2010.03.24	当地において関心の高い「禅宗」と関連付け、能と同様に禅宗の影響を受けた茶道具、生け花、水石を展示し、日本の伝統文化のルーツとそのつながりについて総合的に紹介する展示会を行った。日本研究講演会のために来訪した山口憲（山口能装束研究所所長）に能装束の実物を持参いただくことで展示品に重みが増した

## 【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	日本研究講演会	サラゴサ バルセロナ マドリッド リスボン (ポルトガル)	サラゴサ大学 リセウ高等音楽院 ポンス財団 オリエント博物館	サラゴサ大学 リセウ高等音楽院 ポンス財団 オリエント博物館	2010.02.22 ~ 2010.03.26	日本から山口憲（山口能装束研究所所長）を招へいし、サラゴサ、バルセロナ、マドリッド、リスボンにて能装束に関する講演会を実施した。同氏の講演内容は、専門分野である能装束の修復と保存にとどまらず、能の歴史や日本人の美意識との関連性、能装束に使われる文様の世界共通性に至り、そのグローバルな話の展開と同氏が能装束に注ぐ情熱に観客は聞き入った
3	日本研究連続講演会	バルセロナ マドリッド リスボン (ポルトガル)	リセウ高等音楽院 ポンス財団 オリエント博物館	リセウ高等音楽院 ポンス財団 オリエント博物館	2010.03.03 ~ 2010.03.27	当国を代表する日本研究者を中心に、「能のテキストから見る日本の伝統文学」（高木香世子マドリッド・アウトノマ大学助教授）、「能と禅の関係性」（フェルナンド・グティエレス元上智大学教授）、「能と日本の芸術と美意識の関係性」（エレナ・バルレス（サラゴサ大学教授）、ダビッド・アルマサン（サラゴサ大学教授）、「能が現代日本文化に与える影響」（フェルナンド・シッド・バジャドリード大学研究員）という多種多様な方向性から能を取り上げた講演会を各地にて実施した。さらにマドリッド州文化局主催による「演劇の夜（Noche de teatros）」が開催される機会を捉え、能に関するレクチャー・ワークショップを実施

## 【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	マドリッド白夜祭日本映画上映	マドリッド	オリエント広場	マドリッド市場	2009.09.20	マドリッド市が市の中心部にある王宮前広場に設置した大スクリーンに、山田洋次監督の『学校』、『学校II』、『学校III』をオールナイト上映

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	第19回マドリード実験映画祭 日本映画特集	マドリード	シネ・ゴレム (Cine Golem)	マドリード実 験映画祭	2009. 11. 20 ～ 2009. 11. 27	第19回を迎える短編映画のコンテストである「マドリード実験映画祭」においては、招待国（本年度はシェラ・レオネ）の作品を中心に長編映画の特集上映も実施している。本年度は「60年代生まれの監督作品特集」を同映画祭と共催で実施し、河瀬直美、是枝裕和ら7人の監督の計12作品を上映
6	黒澤 明と能のインスピレーション 映画会	バルセロナ  マドリード  リスボン (ポルトガ ル)	リセウ高等音 楽院  ペケーニョ・シ ネ・スタジオ  オリエント博 物館	リセウ高等音 楽院  ペケーニョ・シ ネ・スタジオ  オリエント博 物館	2010. 03. 18 ～ 2010. 03. 26	3都市において黒澤明監督作品で能の影響がもっとも強く見られる『影武者』『乱』『蜘蛛の巣城』3本を基本に上映し、マドリードではさらに『赤ひげ』、『虎の尾を踏む男たち』、『七人の侍』の3作品を上映。同監督生誕100周年というニュース性も利用し、広報を実施

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	スペイン日本語教師会設立総会兼研 修会	マドリード	マドリード日 本文化セン ター	スペイン日本 語教師会	2010. 02. 12	スペイン日本語教師会設立総会では、総会規約の承認・役員 の選出が行われた。続く研修会では日本から招へいた熊野 七絵（関西国際センター専門員）やベルギーから招へいた 櫻井直子（ベルギー日本語教師会会長）の講義のほか、教師 会会員による報告・ワークショップも実施

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	多読ワークショップ	マドリード	マドリード日 本文化セン ター	スペイン日本 語教師会	2010. 03. 05	英語多読の第一人者である酒井邦秀（電気通信大学准教 授）、栗野真紀子（特定非営利活動法人日本語多読研究会会 長）を講師に、多読について説明したあと、日本語を例に、 参加者が実際に多読を経験してみるワークショップを実施



海外事務所

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	剣道指導・デモンストレーション	マドリード         バルセロナ	カサ・アジア 講演会場  マドリード工 科大学体育館  国際観光見本 市会場  バルセロナ日 本人学校	カサ・アジア  マドリード工 科大学  在スペイン大 使館  バルセロナ日 本人学校	2010.01.19 ～ 2010.01.23	日本の剣道専門家を招へいし、国際観光見本市におけるデモンストレーション（一般市民向け日本文化紹介）、剣道を学ぶスペイン人や子どもへの技術指導、カサ・アジアにおける一般市民向けの講演会を実施

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	事務所展示セット巡回展 「凧・独楽」、「日本人の日常生活」	ソンバトヘイ	アゴラ (AGORA) 子供 の家 (ソン バトヘイ)	アゴラ (AGORA) 子供の家	2009.04.22 ~ 2009.05.22	ソンバトヘイの文化センター「アゴラ子供の家」にて、ブダペスト日本文化センターが所蔵する凧・独楽の展示セット及び写真パネルセット「日本人の日常生活」を展示
2	事務所展示セット巡回展 「凧・独楽」、「日本の世界遺産」	ブダペスト	バユザ小学校	バユザ小学校	2009.05.25 ~ 2009.05.27	ブダペスト市にあるバユザ小学校にて、「凧・独楽」及び写真パネル「日本の世界遺産」を展示
3	事務所展示セット巡回展 「凧・独楽」	エンドレ ファールバ	エンドレ ファールバ	メーネシュ川 協会	2009.06.05 ~ 2009.06.27	ハンガリーの地方都市エンドレファールバにて開催された「第4回メーネシュ川フェスティバル」で、ブダペスト日本文化センターが所蔵する凧・独楽を展示
4	事務所展示セット巡回展 「日本の現代建築1986-1995」	ティミショアラ (ルーマニア)	ティミショアラ文化センター	アルテ・ファクツム文化協会  在ルーマニア 大使館	2009.07.03 ~ 2009.07.19	ルーマニア・ティミショアラの文化センターにて、ブダペスト日本文化センターが所蔵する写真パネルセット「日本の現代建築1986-1995」を展示
5	事務所展示セット巡回展 「凧・独楽」、「日本人形展」	タリアヌドロ グド	タリアヌドロ グド文化センター	モジョロー ク・ハーザ文 化協会	2009.07.30 ~ 2009.08.10	タリアヌドログドにて開催された文化フェスティバルにおいて、ブダペスト日本文化センター所蔵の凧・独楽及び日本人形を展示
6	民族学博物館 日本の日	ブダペスト	国立民族学博 物館	国立民族学博 物館  在ハンガリー 大使館	2009.09.05	国際交流基金巡回展「武道の精神」との連携企画として、同展会場内の国立民族学博物館ホールにて、J-CAT(日本文化発信ボランティア)による日本文化紹介のワークショップ(書道、いけばな、おもちゃ等)や武道のデモンストレーション、「武道の精神」展のガイドツアーや武道マンガのパネル展示を実施
7	事務所展示セット巡回展 「日本の世界遺産」	ブダペスト	ブダペスト都 市保護協会	ブダペスト都 市保護協会	2009.10.20 ~ 2009.11.13	ブダペスト都市保護協会において、日本の世界遺産を紹介するブダペスト日本文化センター所蔵の写真パネルを展示

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	琉球芸能グループ 「琉神」公演	ブダペスト	メルリン劇場	メルリン劇場	2009.10.21 ~ 2009.10.22	エイサーチーム「琉神」が、エイサーや舞踊、古武術など、琉球の伝統芸能を幅広く紹介

## 【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	文化講演会「漆について」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009. 04. 19	日本で漆工芸の技術を習得したバログ・ガブリエラ (Balogh Gabriela)を講師として、日本の漆の歴史、漆工芸の技法等を紹介する講演会を実施
10	講演会「日本の教育」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009. 05. 08	エトヴェシ・ロラント大学の比較教育学専門家ジュリ・ヤーノシュ (Gyuri Janos)を講師として、日本の教育に関する講演会を実施
11	知的交流フェロー講演会「機械に対する日本人の心理」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009. 06. 19	平成20年度知的交流フェローであるラウフェル・ラスロー (LAUFER, Laszlo、ブダペスト工業経済大学講師)が、機械の使用に対する日本人の心理について、訪日研究の成果を発表
12	講演会「オランダ東インド会社と日本」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009. 09. 25	平成20年度日本研究フェローのソメル・ガーボル (Szommer Gabor、アレクサンドラ出版社)を講師に迎え、オランダ東インド会社の日本における活動について研究報告を実施
13	講演会「『食育』について」	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009. 11. 27	平成20年度日本研究フェローのヴルシュ・ミハーイ (Voros Mihaly、現代経営大学)が、自身の滞日研究をもとに、日本の「食育」についての一般向け講演を実施

## 【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	日本映画クラブ	ブダペスト	ウルクモズゴ映画館	ハンガリー国立フィルムアーカイブ	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	原則として月に2回、ハンガリー国立フィルムアーカイブ傘下のウルクモズゴ映画館にて、一般市民を対象とした現代日本映画の上映を実施

## 【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	ブダペスト日本文化センター日本語講座運営	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	初級から中級までの学生・一般日本語学習者、延べ153名を対象とした日本語講座 (2学期制、各8クラス) を開講  【講座内訳】 1. 前期 (2009年9月~2010年1月) 初級前期3クラス37名、初級後期2クラス10名、 初中級1クラス8名、中級2クラス24名、合計79名 2. 後期 (2010年2月~2010年6月) 初級前期3クラス31名、初級後期2クラス9名、 初中級1クラス7名、中級2クラス27名、合計74名

## 海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
16	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 日本語教育研修会	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ハンガリーで活動する日本語教師を対象に、異文化間理解の研修、また日本語教師が持つ環境の多様性を反映し、実践的な教授法に関するセミナーを年間で6回実施
17	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 教材開発プロジェクト	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	年々増加するハンガリーの日本語学習者に向けた日本語教材の作成を実施。平成19年度から作成準備が開始され、2011年春の完成に向け、原稿執筆及び編集作業、及び試用を実施
18	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 「教科書をつくろう」ハンガリー語版作成	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	現場教師が使えるハンガリー語版教材の拡充を目的に、国際交流基金日本語国際センターが開発した初級日本語教材素材集をブダペスト日本文化センター監修のもと翻訳、CD-ROM100部を作成しハンガリーの日本語教師に無料配布
19	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 日本語教育シンポジウム論集作成	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	2008年9月に「ハンガリー日本語教育のこれからを考える」と題して開催されたシンポジウムのフォローアップとして、発表原稿をまとめた論集を作成
20	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 日本語キャンプ	ブダペスト	法門仏教大学	ハンガリー日本語教師会 (MJOT)	2009. 07. 20 ～ 2009. 07. 24	ハンガリー日本語教師会との共催により、ハンガリーとその周辺諸国の成人（高校生以上）を対象とした日本語を学び日本文化に触れる5日間のキャンプを実施

## 【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
21	図書館運営	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ブダペスト日本文化センターに併設された図書館において、図書収集、公開および貸出、レファレンス等の図書館運営業務を実施  ①所蔵資料合計： 約11,000点(うち視聴覚資料：約100点) ②登録会員数： 3,705名 ③利用者数(年間)： 約7,000名 ④貸出点数(年間)： 約5,000点 ⑤レファレンス件数(年間)： 約300件

## 【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
22	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ブダペスト日本文化センター・ウェブサイト(ハンガリー語、日本語、英語で閲覧可能)を整備、拡充し、幅広い対象に向けた事業の広報を実施 URL：http://www.jfbp.org.hu

## (2) 助成・協力事業

## 【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
23	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 日本語教育機関支援	右記の11機関	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日・ハンガリー首脳会談で設置が合意された有識者会合「日本・ハンガリー協力フォーラム」の具体的なアクションプランとして、平成19年から6年間行われている、ハンガリーにおける日本語教育促進のための特別事業。ハンガリーの日本語教育機関で、日本語講座の維持・拡大のために教員を新たに雇用する学校・大学など計11機関に対し、教員の給与の一部、及び使用教材の寄贈を通じた支援を実施。助成対象機関名及び各機関への助成金額は以下の通り  1) ニーレギハーザ大学 1, 134, 000Ft. 2) ヨーロッパ2000高校 710, 400Ft. 3) アラニー・ヤーノシュ小学校 600, 000Ft. 4) コルビン・マーチャーシュ高校 761, 900Ft. 5) セント・ラスロー高校 648, 000Ft. 6) バーロシュマヨール高校 1, 386, 000Ft. 7) ティサケチュケ小中高校 640, 000Ft. 8) ティサパルティ高校 1, 206, 400Ft. 9) ゲーザ・キラライ小中高校 440, 000Ft. 10) ハンガリー日本語教師会 300, 000Ft. 11) アニメ協会日本語講座 270, 000Ft.
24	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 国際会議出席旅費支援	在ハンガリー日本語教育関係者	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	日本語教育研究の奨励と、国外からのハンガリー日本語教育に対する認識の向上を目的に、国内外で開催される日本語教育や言語学等の国際学会に参加・発表する日本語教育関係者に対して旅費を支援
25	日本・ハンガリー協力フォーラム事業 プロジェクトサポート	ハンガリー日本語教師会 (MJOT)	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	ハンガリー日本語教師会 (MJOT) が実施する日本語教育推進のための活動 (大学入学資格試験対策問題集作成、外国語見本市へのブース出展等) に対し、経費の一部を支援
26	日本研究学生国際ワークショップ	ヤゲヴォ大学 東洋学研究所 日本・中国学科 (ポーランド)	2009. 04. 15 ~ 2009. 04. 19	ポーランド、チェコ、スロバキアの日本研究学生を対象として、中東欧の若手日本研究者及び日本語教育関係者を講師に迎えて行われた日本語・日本研究ワークショップに関し、参加者宿泊費の一部を助成
27	音響芸術レクチャー・デモンストレーション	ハンガリー美術大学	2009. 05. 06 ~ 2009. 05. 08	ハンガリー美術大学の招へいに応じ、フィンランド在住の邦人、菅木真治 (現代音響芸術専門家、フィンランド国立美術大学) が実施するレクチャー・デモンストレーションについて、専門家のヘルシンキ〜ブダペスト往復航空賃を助成
28	アニフェスト CZ2009	Brno Otaku(ブルノ・オタク) (チェコ)	2009. 05. 08 ~ 2009. 05. 10	チェコの地方都市、ブルノ所在の日本アニメ・ポップカルチャー愛好団体、ブルノ・オタクが行う、チェコ最大規模のアニメ・フェスティバルに関し、会場借料の一部を助成

## 海外事務所

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
29	邦楽バンド「パンゲア」バルカンツアー	在ブルガリア大使館 在ボスニア大使館 ボスニア日本友好協会 在セルビア大使館	2009. 05. 18 ～ 2009. 05. 25	邦楽バンド「パンゲア」のバルカン3カ国（ブルガリア、ボスニア、セルビア）巡回公演について、公演団移動経費の一部を助成
30	<i>Relative Cross Hearings</i> - 国際現代音楽フェスティバル	Artus Contemporary Arts Association	2009. 05. 30 ～ 2009. 05. 31	ブダペストで行われる国際現代音楽フェスティバルでの日本人グループ「裏道トリオ」の演奏について、公演団の旅費の一部を助成
31	第20回国際折り紙コンファレンス・展覧会	ハンガリー折り紙協会	2009. 08. 01 ～ 2009. 08. 02	ハンガリー国内外の折り紙専門家により行われる一般向けの折り紙ワークショップや作品展示、日本文化紹介イベントに対する助成
32	アニメコン2009	ハンガリーアニメ協会	2009. 08. 21	ハンガリー最大のアニメイベント「アニメコン」の一環として行われる、かりん（箏演奏家）のコンサートに対して演奏家の旅費の一部を助成
33	<i>J-Cult</i> フェスティバル	ハンガリー・日本学生友好協会	2009. 09. 26	食文化、書道、映画、漫画等、様々な日本文化を紹介する学生主催のイベントに対して広報経費の一部を助成
34	盆栽・水石展覧会	大学盆栽クラブ	2009. 09. 26 ～ 2009. 09. 27	ハンガリー国内外からの盆栽・水石の作品を集めた展示会に対して広報経費の一部を助成
35	マリアン・ポルガール (Marianne Polgar) によるグラフィックアート展覧会「菊と日本の物語」	ハンガリー歴史サロン	2009. 10. 09 ～ 2009. 10. 31	ハンガリー人グラフィックアーティストによる、日本の童話・民話、日本の風物を題材にした作品の展覧会に対して広報経費の一部を助成
36	ソンバトヘイ日本の日	ハンガリー・日本友好協会ソンバトヘイ支部	2009. 10. 17	地方都市のソンバトヘイで行われた折り紙やアニメ制作、書道、着付け等の日本文化紹介事業に対して、俳句についての講演者、ヴィハル・ユディット（日本文学専門家）のブダペスト～ソンバトヘイ間の旅費を助成

モスクワ日本文化センター

合計額 66,871,456 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	巡回写真展「日本の世界遺産」	イルクーツク  モスクワ	イルクーツク 州立美術館  外国文献図書 館3階展示ホー ル	イルクーツク 州立美術館  外国文献図書 館	2009.12.15 ~ 2010.02.28	モスクワ、イルクーツクの2都市にて「日本の世界遺産」写真をセットにした巡回写真展を実施

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	日露若手演奏家公演会	モスクワ	モスクワ市カルチャーセンター「ドム」		2010.03.25	河崎純(コントラバス奏者)、ウラジーミル・ヴォルコフ(コントラバス奏者)、アントン・シラエフ(トランペット奏者)、ミハイロワ・アリーナ(ダンサー)による、ソロ、デュオ等のインプロビゼーション及び舞台小品の上演
3	『鶴の恩返し』コンサート	モスクワ	モスクワ市劇場「旧アルパート」	「アバルテ」劇場	2010.03.30	民話『鶴の恩返し』をモチーフに、「アバルテ」劇場にて、モスクワ在住の折田智水(俳優)、モスクワの邦楽グループ「和音」が出演し、日本舞踊、邦楽、劇の断片からなるコンサートを実施

## 【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	日本理解講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009.04.22 ~ 2009.06.24	様々な分野から講師を依頼し、日本に関する講演会を実施 2009年04月22日「大きな人形劇文楽：世界演劇の軌跡」ニーナ・アナリナ(芸術学博士)；5月19日「生け花・茶の湯の作法と礼儀」山田みどり(池坊ロシアCIS支部長)；5月20日「日本の都市の過去未来」ニーナ・コノワロワ(建築理論・都市建設科学研究所)；6月23日「お茶の和装」原厚子(NP茶の湯会員)；6月24日「浮世絵の6人の巨匠」アイヌーラ・ユスポワ(プーシキン美術館上級学芸員)
5	文化デモンストレーション(生け花)	モスクワ	外国文献図書館大ホール		2009.05.26	山田みどり(池坊CIS支部長)による生け花デモンストレーションを実施
6	文化デモンストレーション(書道)	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009.06.17	モスクワ在住の石嶋かおり(書道師範)による書道デモンストレーションを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	日本文学セミナー	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009.09.04～2009.09.25	『源氏物語』の翻訳者、タチヤナ・ソコロヴァ＝デリュシナ（日本文学者／日本語教師）を講師に迎え、伊勢物語、枕草子、古事記などの古典から、太宰治、芥川龍之介、夏目漱石などの近・現代作家まで、さまざまな文学テキストを購読
8	漫画ワークショップ	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム	RUMANGA誌編集部	2009.09.17	日本の外務省が主催する第2回国際漫画賞優秀賞（2008年）を受賞したスヴェトラナ・チェジナを講師に迎え、漫画ワークショップを実施
9	日本理解講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009.09.23	セルゲイ・チュグロフ（モスクワ国立国際関係大学教授）を迎えて、「現代日本の思考における伝統と近代化」というテーマで講義を実施
10	日本文化出前授業	エレクトロスタリ	エレクトロスタリ市新人文大学付属外国語学校	エレクトロスタリ市新人文大学付属外国語学校	2009.09.26	生け花の池坊の講師、書道の講師に依頼し、要望のあった学校に出向き、ワークショップを実施
11	アニメワークショップ	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム	学校法人片柳学園 株式会社ライセンスアカデミー	2009.10.02	1クラス20名、計3クラスの参加者を集め、篠崎優（片柳学園日本工学院専門学校講師）による、アニメワークショップを実施
12	若手研究者セミナー	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2009.10.04～2009.12.20	さまざまな研究発表会などでネットワークを築いた、日本を研究する若手研究者たちが、所属にこだわらず自発的に企画して行う研究発表会、討論会を以下の通り実施 ①発表者：ステパン・ロジン、テーマ「日本の墓誌」（09.10.04） ②発表者：ディアナ・コンドラシナ、テーマ「戦後日本の芸術生活」（09.11.08） ③発表者：クセーニャ・レシェンコ、テーマ「都市の文化空間における橋の意味形象の発展」（09.12.20）
13	日本の歌講座	モスクワ	第1535番学校	第1535番学校	2009.10.07～2010.03.15	モスクワ在住の曾又ひとみ（オペラ歌手）による、日本の歌講座を実施するとともに、3月15日には、演劇学校の子供たちの協力を得て、コンサートを実施
14	日本文学セミナー	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009.10.09～2009.12.18	『源氏物語』の翻訳で著名なタチヤナ・ソコロヴァ＝デリュシナ（日本文学者／日本語教師）を講師に迎え、伊勢物語、枕草子、古事記などの古典から、太宰治、芥川龍之介、夏目漱石などの近・現代作家まで、さまざまな文学テキストを購読



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	日本文化出前授業	モスクワ及びモスクワ近郊都市	初・中等教育機関等		2009.10.17～2009.12.17	将来を担う子供たちに、日本文化に親しむ機会を提供し、親日家の育成を目指すため、初・中等教育機関の応募に応じ、以下の学校でデモンストレーション、ワークショップを実施  第1786番学校：書道・折り紙（09.10.17）、第418番学校：折り紙（09.10.20）、第368番学校：邦楽（09.10.21）、エレクトロスタリ市専門学校：剣道・茶道（09.11.07）、第1995番学校：折り紙（09.11.20）、第1525番学校：生け花・茶道（09.11.26）、折り紙・合気道（09.12.16）、第1840番学校：空手（09.12.17）
16	若手研究者ジャパン・レポート	モスクワ	モスクワ大学 付属アジア・アフリカ諸国大学  モスクワ日本文化センター 内セミナー ルーム	モスクワ大学 付属アジア・アフリカ諸国大学  日本研究者協会	2009.10.17～2009.10.18	インターネットサイトで公募したさまざまな分野（文学、語学、歴史、経済、政治など）の若手研究者の研究発表会を2日間にわたって実施し、その研究内容を出版
17	日本理解講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター 内セミナー ルーム		2009.10.28～2009.12.16	10月28日にイリーナ・チホツカヤ（モスクワ国立大学地理学科准教授）による「現代日本社会における若者」、11月25日にエレナ・ゴロソヴァ（日本庭園園長）による「18～19世紀の私邸庭園」、12月16日にナウム・クレイマン（国立中央映画博物館館長）による「エイゼンシュタインは日本芸術になにをどのように学んだか？」を実施
18	鹿島田 真希座談会 （公開インタビュー）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2009.12.06	リニャーエフ（モスクワ国立大学アジア・アフリカ諸国大学講師）をインタビュアー（司会）に迎え、鹿島田真希（作家）と参加者による公開自由討論を実施
19	日露研究者意見交換会	モスクワ	極東研究所	ロシア日本研究者協会  極東研究所  東洋学研究所	2009.12.10	ロシアの日本研究者と日本の国際政治研究者等約30名が一堂に会し、アジア太平洋地域における日本とロシアの協力をテーマとした研究成果の発表及び日露共同研究の将来の展望について意見交換を実施
20	日本文学セミナー	モスクワ	モスクワ日本文化センター 内セミナー ルーム		2010.01.15～2010.03.26	『源氏物語』の翻訳者、タチヤナ・ソコロヴァ＝デリュシーナ（日本文学者／日本語教師）を講師に迎え、伊勢物語、枕草子、古事記などの古典から、太宰治、芥川龍之介、夏目漱石などの近・現代作家まで、さまざまな文学テキストを購読

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	日本文化の日	モスクワ	プーシキン美術館付属青少年美術教育センター（ムセイオン）	プーシキン美術館付属青少年美術教育センター（ムセイオン）	2010. 01. 16	一般公募で集まった子供たちを対象に、生け花、茶道、折り紙、書道、邦楽のデモンストレーション及びワークショップを実施
22	日本美術専門家シンポジウム	モスクワ	プーシキン美術館 東洋美術館		2010. 02. 01 ～ 2010. 02. 03	日本美術を所蔵するロシア各地の美術館の担当キュレータ及び日本美術研究者が一堂に会し、日本の伝統美術及び現代美術（建築を含む）に関する学会を開催。併せて後継者育成等の問題点を議論
23	日本文化出前授業	モスクワ	モスクワ及びモスクワ近郊都市		2010. 02. 18 ～ 2010. 03. 30	将来を担う子供たちに、日本文化に親しむ機会を提供し、親日家の育成を目指すため、初中等教育機関の応募により、各学校で出前講座を実施  第1397番学校：生け花（10. 02. 18）、第1517番学校：空手（10. 02. 20）、第1043番学校：折り紙（10. 02. 25）、第528番学校：折り紙（10. 03. 04）、第5番リツエイ：伝統の遊び（10. 03. 05）、オジンツォヴォ市立第10番リツエイ：書道（10. 03. 12）、第1353番学校：書道（10. 03. 17）、第1716番学校：日本人形作り（10. 03. 18）、第199番学校：空手（10. 03. 19）、第1534番学校：空手（10. 03. 20）、国立教育センター第1421番学校：小物作り（10. 03. 24）、第1143番学校：日本人形作り（10. 03. 30）で、デモンストレーション、ワークショップを実施
24	日本理解講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2010. 02. 28 ～ 2010. 03. 24	2月28日に「日本の政治、経済、社会における最新の変化とその特徴について」河東哲夫（元駐ウズベキスタン大使）、3月3日に「美しい日本の四季・街・建築」牧野啓二（駐ロシア大使館参事官）、3月24日に「北海道とまりも祭り」ドミートリー・リニャーエフ（モスクワ大学付属アジア・アフリカ諸国大学講師）を実施
25	日本経済セミナー	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2010. 03. 04 ～ 2010. 03. 18	日本経済専門家であるエレナ・レオンチエヴァ（ロシア科学アカデミー世界経済国際関係研究所主任研究員）を講師に迎え、日本経済を専門とする若手研究者及び日本経済に関心を寄せる若手日本研究家を対象に、第1回「1990年代の日本の経済危機 - 失われた10年」、第2回「2007年から2009年の日本の経済と世界の経済危機」、第3回「2007年から2009年の経済危機からの脱出と日本経済の見通し」というテーマで3回連続でセミナーを実施

海外事務所

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
26	日本映画上映会	モスクワ	外国文献図書館大ホール		2009. 04. 28 ～ 2009. 06. 26	月に一度、外国文献図書館大ホールにて、ビデオ『日本無声映画名作館』より1作品ずつ上映（ロシア語弁士つき）。 上映作品は4月28日『坂本龍馬』（枝正義郎監督、1928年）、5月22日『渋川伴五郎』（築山光吉監督、1922年）、6月26日『雄呂血』（二川文太郎監督、1925年）
27	映画の中の20世紀日本文学	モスクワ	中央芸術家会館コンサートホール	国立中央映画博物館（ムゼイ・キノ）	2009. 06. 11 ～ 2009. 06. 14	第4回モスクワ国際オープンブックフェスティバル会場にて、映画上映会『映画の中の20世紀日本文学』を実施。上映作品は、露語フィルムライブラリーより『細雪』『剣』『それから』、ムゼイ・キノの所蔵作品『砂の女』
28	日本映画上映会	モスクワ	外国文献図書館大ホール		2009. 09. 15	月に一度、外国文献図書館大ホールにて、ビデオ『日本無声映画名作館』より1作品ずつ上映（ロシア語弁士つき）。 上映作品は、『江戸怪賊傳 影法師』（二川文太郎監督、1925年）
29	日本映画上映会	モスクワ	外国文献図書館大ホール		2009. 10. 23 ～ 2009. 12. 18	月に一度、外国文献図書館大ホールにて、ビデオ「日本無声映画名作館」より毎月1作品ずつ上映（ロシア語弁士つき）。 上映作品は10月23日『鞍馬天狗』（山口哲平監督、1928年）、11月20日『放浪三昧』（稲垣浩監督、1928年）、12月18日『実録忠臣蔵』（マキノ省三監督、1928年）
30	日本映画上映会	モスクワ	外国文献図書館大ホール		2010. 01. 29 ～ 2010. 03. 26	月に一度、外国文献図書館大ホールにて、ビデオ『日本無声映画名作館』より1作品ずつ上映（ロシア語弁士つき）。 上映作品は1月29日『沓掛時次郎』（辻吉郎監督、1929年）、2月26日『右門六番手柄 仁念寺奇談』（仁科熊彦監督、1930年）、3月26日『鯉名の銀平 雪の渡り鳥』（宮田十三一監督、1931年）
31	日本映画上映会	モスクワ	国立東洋美術館レクチャーホール	国立東洋美術館 国立中央映画博物館（ムゼイ・キノ）	2010. 03. 01 ～ 2010. 03. 08	露語フィルムライブラリーの作品から、3月1日は『天国と地獄』（黒澤明監督、1963年）、3月8日は『櫻の園』（中原俊監督、1990年）を上映

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
32	CIS日本語教師会ウェブサイト作成				2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	CIS諸国の日本語教師を対象とした、日本語教育関連情報や教育マテリアルの共有、情報交換の場を提供するためのWEBサイト ( <a href="http://www.japaneseteacher.ru/">http://www.japaneseteacher.ru/</a> ) を作成

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
33	日本語講座運営	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009. 04. 03 ～ 2009. 06. 27	『源氏物語』の翻訳者、タチヤナ・ソコロヴァ＝デリューシナ（日本文学者／日本語教師）を講師に迎えて、主に初級者を対象に日本語講座を実施。初級前期、初級中期、初級後期、初中級の4クラス、各クラス週1回2時間
34	日本語学生学習者発表会（第1回日露学生交流会）	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009. 04. 26	日本語を学ぶロシアの大学生・大学院生、ロシアで学ぶ日本人学生が対象。第1部はテーマを決めて討論。テーマは「歴史は漫画で学ぶことができるか」「ロシアと日本、どちらの国が外国人にとってすみやすいか」「ロシア（日本）から自分の国に取り入れたいものは何か」。歌の発表会（日本人学生がロシア語で歌い、ロシア人学生が日本語で歌う）をはさんで、第2部では、ゲームなどで交流
35	日本語講座運営	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009. 09. 04 ～ 2009. 09. 29	『源氏物語』の翻訳者、タチヤナ・ソコロヴァ＝デリューシナ（日本文学者／日本語教師）および新規にユリヤ・グリゴローヴィッチを講師に迎えて、主に初級者を対象に日本語講座を実施。初級前期3クラス（グリゴローヴィッチ）、初級中期1クラス（以下デリューシナ）、初級後期1クラス、初中級1クラスの計6クラス、各クラス週1回1時間半
36	日本語講座運営	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009. 10. 03 ～ 2009. 12. 22	『源氏物語』の翻訳者、タチヤナ・ソコロヴァ＝デリューシナ（日本文学者／日本語教師）および新規にユリヤ・グリゴローヴィッチを講師に迎えて、主に初級者を対象に日本語講座を実施。初級前期3クラス（グリゴローヴィッチ）、初級中期1クラス（以下デリューシナ）、初級後期1クラス、初中級1クラスの計6クラス、各クラス週1回1時間半
37	ロシア初中等教育日本語弁論大会	モスクワ	モスクワ市第1535番リツェイ	CIS日本語教師会 モスクワ市オープン教育大学	2009. 10. 17	モスクワとノヴォシビルスクから参加した16名の児童・生徒の日本語スピーチ、および13組の歌・演劇の出し物を行い、入賞者にはジャパンプラブ（当地日系商工会議所）より寄付された賞品を授与
38	CIS日本語教師研究交流会	モスクワ	モスクワ大学アジア・アフリカ諸国大学	CIS日本語教師会 モスクワ国立大学附属アジア・アフリカ諸国大学	2009. 10. 23	在ロシア大使館広報文化部職員及び国際交流基金派遣専門家より、新しい日本語能力試験に関する説明を行った後、9名の日本語教師による研究発表および参加教師による意見交換会を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
39	日本語講座運営	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2010.01.12～2010.03.30	『源氏物語』の翻訳者、タチヤナ・ソコロヴァ＝デリューシナ（日本文学者／日本語教師）および新規にユリヤ・グリゴローヴィッチを講師に迎えて、主に初級者を対象に日本語講座を実施。初級前期3クラス（グリゴローヴィッチ）、初級中期1クラス（以下デリューシナ）、初級後期1クラス、初中級1クラスの計6クラス、各クラス週1回1時間半
40	第2回シベリア日本研究・日本語教育シンポジウム	ノボシビルスク	「シベリア・北海道」文化センター		2010.03.26～2010.03.28	シベリア地域の日本語教育機関の代表者がノヴォシビルスクに集合し、3日間にわたり、教師・学生による発表会、ワークショップ、円卓会議、交流会、モスクワから招へいする講師によるレクチャー等を実施
41	ロシア日本語教師会総会	モスクワ	1535リセ		2010.03.27	ロシア国内の日本語教師がモスクワに集合し、研究発表会を実施
42	日本語学生学習者発表会（第2回日露学生交流会）	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2010.03.28	日本語を学ぶロシア人大学生・大学院生、ロシアで学ぶ日本人学生が対象。「文化のグローバル化はポジティブな影響をもたらすか?」「現代文学の役割は娯楽だけか?」「日本の社会ではまだ家族に対する伝統的な考え方が残っているか?」「ロシア（日本）のイメージをどのように改善できるか?」「日露関係を発展させるために最適な分野はどれか?」などあらゆるテーマで、ディベート、ディスカッションを実施し、その後、ゲーム、懇談会を実施

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
43	図書館運営	2009.04.01～2010.03.31	日本語及び日本文化全般に関心を持つ幅広い層のロシア人の利用を想定した集書と運営 ①所蔵資料合計： 7,900点 （内訳：図書7,000冊、視聴覚資料数900点） ②登録会員数： — ③利用者数（年間）： 1,913名 ④レファレンス件数（年間）： 588件

【出版・広報】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
44	出版関係者交流会	モスクワ	モスクワ市外国文献図書館楕円形ホール	月刊文芸誌「新世界」編集部	2010.02.26	日本を特集した月刊文芸誌「新世界」の2月号のプレゼンテーションに合わせて出版関係者、翻訳者、日本研究者を招き、交流会を実施
45	ロシア国立人文大学日本学会報告書出版	モスクワ	ロシア国立人文大学		2010.03.24	ロシア国立人文大学で行われたロシア日本学会（10.02.15～10.02.17）の報告書を出版

海外事務所

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
46	生け花講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009.04.01～2009.06.18	草月、池坊各流派の講師が生け花講座を実施。草月は毎月第1水曜日、池坊は毎月第2、3木曜日に実施
47	折り紙講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2009.04.04～2009.06.27	モスクワの折り紙クラブより講師を招き、毎週土曜日に折り紙講座を実施
48	将棋講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム	ロシア棋士連盟	2009.05.23～2009.06.27	モスクワ在住の菊田裕司(全日本アマチュア名人)を講師に迎えロシア棋士連盟と共催で、毎週土曜日に将棋講座を実施
49	書道講座(前期①)	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009.06.10～2009.06.24	モスクワ在住の石嶋かおり(書道師範)を講師に迎え、登録制、半年で5回の講習会を実施。受講希望者を4クラス(1クラス12人)にわけ、2クラスを前期(6月～10月)に実施。第1四半期には、2回開講
50	生け花講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009.09.02～2009.09.30	草月、池坊各流派の講師が生け花講座を実施
51	将棋講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム	ロシア棋士連盟	2009.09.05～2009.09.26	モスクワ在住の菊田裕司(全日本アマチュア名人)を講師に迎えロシア棋士連盟と共催で、毎週土曜日に将棋講座を実施
52	日本の歌講座	モスクワ	第1535番リツェイ	第1535番リツェイ	2009.09.14～2009.12.21	モスクワ在住の曾又ひとみ(オペラ歌手)に依頼し日本の歌講座を実施
53	折り紙講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内図書館		2009.09.19～2009.09.26	モスクワの折り紙クラブより講師を招き、毎週土曜日に折り紙講座を実施
54	書道講座(前期②)	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009.09.30	モスクワ在住の石嶋かおり(書道師範)を講師に迎え、登録制、半年で5回の講習会を実施。受講希望者を4クラス(1クラス12人)にわけ、2クラスを前期(6月～10月)に実施。第2四半期には1回開講
55	将棋講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム	ロシア棋士連盟	2009.10.03～2009.12.12	モスクワ在住の菊田裕司(全日本アマチュア名人)を講師に迎えロシア棋士連盟と共催で、毎週土曜日に将棋講座を実施
56	折り紙講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2009.10.03～2009.12.19	モスクワの折り紙クラブより講師を招き、毎週土曜日に折り紙講座を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
57	生け花講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009. 10. 07 ～ 2009. 12. 23	草月、池坊各流派の講師が生け花講座を実施
58	書道講座（前期③及び後期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009. 10. 14 ～ 2009. 12. 16	モスクワ在住の石嶋かおり（書道師範）を講師に迎え、登録制、半年で5回の講習会を実施。受講希望者を4クラス（1クラス12人）にわけ、2クラスを前期（6月～10月）、残り2クラスを後期（11月～3月）に実施。第3四半期には、前期の5回コースのうち2回（10月14日、28日）と、後期の5回コース（11月11日、18日、25日、12月9日、16日）を開講
59	茶道講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2009. 12. 08 ～ 2009. 12. 20	モスクワにある表千家、裏千家の講師が茶道講座を実施
60	茶道講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2010. 01. 12 ～ 2010. 03. 21	モスクワにある表千家、裏千家の講師が茶道講座を実施
61	生け花講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2010. 01. 14 ～ 2010. 03. 24	草月、池坊各流派の講師が生け花講座を実施
62	折り紙講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010. 01. 16 ～ 2010. 03. 27	モスクワの折り紙クラブより講師を招き、毎週土曜日に折り紙講座を実施
63	将棋講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム		2010. 01. 16 ～ 2010. 03. 27	モスクワ在住の菊田裕司（全日本アマチュア名人）を講師に迎えロシア棋士連盟と共催で、毎週土曜日に将棋講座を実施

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
64	第3回児童読書フェスティバル	モスクワ	ウクライナ並木通り（屋外）	「キエフスカヤ」地区図書館組合 第19番児童図書館	2009. 06. 11 ～ 2009. 06. 14	「キエフスカヤ」地区図書館組合が実施している「第3回児童読書フェスティバル」に参加し、屋外で折り紙、生け花、書道のワークショップを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
65	第1回大使杯将棋大会	モスクワ	モスクワ日本文化センター内セミナールーム	ロシア棋士連盟 在ロシア大使館	2009. 10. 31 ~ 2009. 11. 01	2日間にわたり、将棋大会を実施。初心者部の部、経験者の部の2部に分け、それぞれ1位から3位までを決定、賞状を授与

(2) 助成・協力事業

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
66	日本舞踊ロシア公演	日本舞踊振興協会	2010. 03. 10 ~ 2010. 03. 14	西川流日本舞踊関係者33名がモスクワ、サンクトペテルブルグにて2日間ずつ公演を実施するに際し、モスクワ日本文化センターは、公演の準備段階から現地受入業務実施団体の斡旋、通訳の斡旋、在ロシア大使館との調整等に協力



カイロ日本文化センター

合計額 40,454,275 円

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	ヘリオポリス・ピースイベント	カイロ	ヘリオポリス・バグダード通り	カイロ日本人会 スーザン・ムバラク女性協会	2009.05.15	ヘリオポリス地区のストリートを歩行者天国にして実施する文化と平和の祭典において各国の文化機関や大使館がブース出店するなか、日本文化紹介ブースとして、日本紹介写真パネル展示、折り紙ワークショップ、J-POPオンエア、日本関係アラビア語図書展示、オセロ対局などを実施。また日本人会の協力を得て鯉幟掲揚を実施
2	伊部 京子個展	カイロ	ギャラリーDARB 17 18	ギャラリーDARB 17 18 文化庁	2010.02.06 ~ 2010.02.27	文化交流使としてエジプトに派遣された伊部京子（和紙造形家）の個展を通関等で側面支援。同氏は個展のほか、紙作り工房EL NAFEZA及びアシュート大学での和紙ワークショップを実施し、文化交流だけでなく技術指導にも尽力

## 【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	東京シンフォニエッタ公演	カイロ	アレキサンドリア図書館 カイロオペラハウス コンセルバトワール	アレキサンドリア図書館 カイロオペラハウス コンセルバトワール	2009.04.28 ~ 2009.05.01	国際交流基金の海外公演助成を受けて第1回アレキサンドリア現代音楽ビエンナーレに参加した東京シンフォニエッタの活動を、カイロ日本文化センターとしても支援した。公演はアレキサンドリア図書館で2回、カイロオペラハウスで1回。その他、湯浅譲二（作曲家）によるレクチャー3回、同氏と板倉康明（東京シンフォニエッタ音楽監督）参加のラウンドテーブル1回、カイロのコンセルバトワールにおける学生向けマスターコース1回を実施し、エジプトの音楽家たちと様々な交流と対話を繰り広げた
4	Yaser Serafyコンサート	カイロ	在エジプト大使館 多目的ホール	在エジプト大使館	2010.03.08	過去に国際交流基金芸術家フェローとしてスズキ・メソッドを学び、現在はカイロシンフォニーオーケストラのコンサート・マスターをつとめるヴァイオリニスト、ヤセル・セラフィ（Yaser Serafy）が、スズキ・メソッドの記念行事のために再来日する機会を捉え、エジプト人と在留邦人の音楽愛好家を招待して、コンサートを開催。日本人の児童・大人の演奏もあわせ実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	カイロジャズフェスティバル Tokyo Freedom Soul公演	カイロ	サウイー文化センター  ヘルワン大学音楽教育学部  クラブ Rithmo、インターコンチネンタルホテル	カイロジャズフェスティバル実行委員会	2010. 03. 14 ~ 2010. 03. 15	クリヤ・マコト（ピアニスト）率いるジャズトリオ、Tokyo Freedom Soulを第2回カイロジャズフェスティバルに招致し、サウイー文化センターでの一般公演、クラブRithmoでの小公演及びヘルワン大学音楽教育学部でのマスターコースを実施

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	凧ワークショップ	アレクサンドリア	アレキサンドリア図書館	アレキサンドリア図書館 Arts Center	2009. 07. 28	アレキサンドリア図書館Arts Centerの要請により、同センター工作教室に登録している児童を対象にエジプト凧と日本凧（インペーダー凧）作成ワークショップを共同開催。2008年に引き続き2回目の開催
7	カイロ中東研究会（第1回）	カイロ	カイロ日本文化センター		2009. 11. 12	在エジプト大使館、国際協力機構（JICA）、マスコミ、エジプト人有識者を集め、国際交流基金の対中東事業について概要報告を行い、参加者との意見交換を行う。発表者は黒田壽郎アインシャムス大学客員教授
8	お茶会（秋）	カイロ	カイロ日本文化センター日本語教室	カイロ茶道同好会	2009. 11. 24	カイロ茶道同好会メンバーが、カイロ日本文化センター日本語履修学生を中心とする日本文化愛好者を招待してのお茶会を開催
9	森美術館館長講演会	カイロ	Palace of Arts, Cairo	Fine Arts Sector, Ministry of Culture	2009. 12. 13	南條史生（森美術館館長）がアレキサンドリア地中海諸国ビエンナーレ審査員長としてエジプトを訪ねる機会を活用して、文化発展基金傘下のギャラリーPalace of Artsと共催で、セミナーを実施。同氏によるシンガポールビエンナーレ、横浜トリエンナーレ等アジアの国際美術展と作品・作家の紹介、質疑応答等を実施
10	第2回中東研究会	カイロ	カイロ日本文化センター		2010. 01. 28	在エジプト大使館、国際協力機構（JICA）、マスコミ、エジプト人有識者を集め、国際交流基金の対中東事業について概要報告を行い、参加者との意見交換を行う。発表者はカイロ日本文化センター
11	お茶会（春）	カイロ	カイロ日本文化センター日本語教室	カイロ茶道同好会	2010. 03. 02	カイロ茶道同好会メンバーが、カイロ日本文化センター日本語履修学生を中心とする日本文化愛好者を招待してのお茶会を開催

海外事務所

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	エジプト日本語スピーチ大会2009	カイロ	カイロオペラハウス小ホール	エジプト日本語スピーチ大会実行委員会	2009. 06. 27	カイロ日本文化センター、カイロ日本人会及び現地日本語教育従事者によって実行委員会を組織。書類選考を経た初級11名、上級7名が本選に出場。全員に参加賞として辞書を贈呈。ストリートチルドレンをテーマにした寸劇、アインシャムス大学有志のコーラス、カイロ日本文化センター日本語講座学生有志の歌と踊り等文化プログラムをあわせて実施。審査員は日本人学校教員や日本語教育アドバイザーなど7名

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
13	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	カイロ日本文化センター内で図書館を運営。週5日間開館（金・土曜日休館）。日本に関心のある人々にとって魅力的な図書館を目指し、日本語学習教材、人文・社会科学関連書籍および現代日本文化関連書籍を集書 ①所蔵資料合計： 3,060点 （内訳： 和書1,215冊、洋書1,242冊、視聴覚資料数603点） ②登録会員数： 252名 ③利用者数（年間）： 3,346名 ④貸出点数（年間）： 521点 ⑤レファレンス件数（年間）： 49件

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
14	ウェブサイト運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	カイロ日本文化センターのウェブサイトを定期更新し、イベント情報の広報、講座の募集などを掲載 URL: <a href="http://jfcairo.org/">http://jfcairo.org/</a>
15	広報誌 WAVES 第11号発行	2009. 08. 17	年2回発行の機関紙第11号の発行。3,000部。英語・アラビア語併記で、エジプトのみならず在外公館を通じてアラビア語圏全体に発信。今号は、日本文化紹介派遣でのマンガ・アニメ専門家派遣の前広報として、日本のアニメ紹介を特集
16	広報誌 WAVES 第12号発行	2009. 12. 31	年2回発行の機関紙第12号の発行。3,000部。英語・アラビア語併記で、エジプトのみならず在外公館を通じてアラビア語圏全体に発信。今号は、第11号で特集したマンガ・アニメをさらに発展させ、10月に実施した永井豪（漫画家）講演会のレポートとアラブ各国におけるマンガ・アニメ受容の状況報告を掲載

海外事務所

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
17	カイロ日本文化センター初級日本語講座	カイロ	カイロ日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	3年間で6つのレベルを修了する設計で、初級レベルの日本語講座を運営
18	カイロ日本文化センター中級・上級日本語講座	カイロ	カイロ日本文化センター		2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	初級修了者のために、更に高い日本語運用能力の修得を目的とした中級及び上級の日本語講座を運営
19	アレキサンドリア日本語講座	アレクサンドリア	ファロス大学	アレキサンドリア名誉総領事館	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	エジプト第二の都市アレキサンドリアにおいて、アレキサンドリア名誉総領事館との共催で、ファロス大学の施設を借用して初級及び入門の日本語講座を実施
20	折り紙講座（平成21年度第1回）	カイロ	サウィー文化センター	サウィー文化センター	2009. 04. 22 ～ 2009. 05. 20	一般成人向けの折り紙教室を、サウィー文化センターのアクティビティコースのひとつとして実施。カイロ日本文化センターは、現地スタッフを講師として派遣。39名の参加者を得た。第一回：4月22日、第二回：5月6日、第三回：5月20日
21	生け花コース（第16回初級）	カイロ	カイロ日本文化センター図書室		2009. 06. 01 ～ 2009. 06. 29	初級コース第1回目。期間中、毎週月曜日の午後6時～7時、計5回実施。講師は、エジプト在住の町田一枝（町田一甫：未生流中山文甫会師範）
22	折り紙講座（平成21年度第2回）	カイロ	サウィー文化センター	サウィー文化センター	2009. 10. 18 ～ 2009. 11. 15	一般成人向けの折り紙教室を、サウィー文化センターのアクティビティコースのひとつとして実施。カイロ日本文化センターは、現地スタッフを講師として派遣。31名の参加者を得た。第一回：10月18日、第二回：11月1日、第三回：11月15日
23	生け花講座（第17回初級）	カイロ	カイロ日本文化センター図書室		2009. 10. 19 ～ 2009. 11. 16	初級コース第2回目。期間中、毎週月曜日の午後6時～7時、計5回実施した。講師は、エジプト在住の町田一枝（町田一甫：未生流中山文甫会師範）
24	生け花講座（第18回中級）	カイロ	カイロ日本文化センター図書室		2010. 01. 18 ～ 2010. 02. 15	中級コース。期間中、毎週月曜日の午後6時～7時、計5回実施。講師は、エジプト在住の町田一枝（町田一甫：未生流中山文甫会師範）
25	囲碁講座（平成21年度第4四半期）	カイロ	カイロ日本文化センター図書室		2010. 02. 04 ～ 2010. 03. 04	第2四半期（2009年7、8月）に実施した一日囲碁入門講座に関心をもった人を中心として、第1・第3木曜日夕刻に定期的に基会所を開設し、日本人による指導を実施
26	折り紙講座（平成21年度第3回）	カイロ	サウィー文化センター	サウィー文化センター	2010. 02. 24 ～ 2010. 03. 24	一般成人向けの折り紙教室を、サウィー文化センターのアクティビティコースのひとつとして実施。カイロ日本文化センターは、現地スタッフを講師として派遣。第一回：2月24日、第二回：3月10日、第三回：3月24日

海外事務所

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
27	一日囲碁入門講座（第1回）	カイロ	カイロ日本文化センター図書室		2009. 07. 29	基金日本語講座学生を対象に広報を行い、基本ルールの指導と9路盤を用いての体験対局を実施。囲碁指導歴をもつ在留邦人による指導
28	一日囲碁入門講座（第2回）	カイロ	カイロ日本文化センター図書室		2009. 08. 06	基金日本語講座学生を対象に広報を行い、基本ルールの指導と9路盤を用いての体験対局を実施。囲碁指導歴をもつ在留邦人による指導。7月29日の講座が好評を得たため、2回目を追加実施

(2) 助成・協力事業

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
29	サキア・フェスティバル	サウイー文化センター	2010. 02. 22 ～ 2010. 02. 24	サウイー文化センターの開設7周年記念フェスティバル。同センター内会場に、日本やフランス、オーストリアなど約20カ国がブースを出し、それぞれの催しを提供。カイロ日本文化センターは折り紙ミニ講座とオセロ対戦を提供し協力

## (1) 主催・共催事業

## 【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	いわさき ちひろ絵本展	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター多目的ホール	ちひろ美術館	2009.04.28 ~ 2009.05.22	ちひろ美術館所蔵のいわさきちひろ作品ビエゾグラフ（精密複製画）35点と同氏の挿絵絵本を展示。こどもを独特のタッチで描き、ベトナム戦争を題材にした絵本もある同氏の作品を紹介。オープニングには、ベトナム人初の「ACCU野間絵本原画展コンクール」入賞者ター・ファイ・ロン（Ta Huy Long：キムドン出版社）、竹迫祐子（安曇野ちひろ美術館副館長）によるギャラリートーク「絵本の世界：日本とベトナム」を実施
2	いわさき ちひろ絵本展(ホアビン省総合病院)	ホアビン	ホアビン省総合病院	国際協力機構（JICA）ベトナム事務所 ちひろ美術館 ホアビン省総合病院	2009.09.07 ~ 2009.09.16	国際協力機構（JICA）ベトナムがホアビン省保健医療サービス強化プロジェクトを実施しているホアビン省総合病院の施設（玄関及び待合ロビー）を会場として、安曇野ちひろ美術館から借用した、いわさきちひろ作品の精密複製画「ビエゾグラフ」35点と、寄贈絵本（11冊）を展示。観客は、病院関係者・来診者のほか、周辺の学校の生徒も来観
3	FUNFAN IN VIETNAM展	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター多目的ホール ベトナム民族学博物館	香川県デザイン協会 日本グラフィックデザイナー協会（JAGDA） 香川県うちわ協同組合連合会 ベトナム民族学博物館	2009.09.24 ~ 2009.10.16	日本人には親しみ深い伝統的なうちわに、故福田繁雄をはじめ日本および各国のアーティスト作品、また公募によるグラフィック・デザインをあしらった200点ものユニークなうちわをベトナム日本文化交流センターにて展示。2009.09.25から2009.09.27には、うちわ職人による実演・うちわ製作ワークショップをベトナム民族学博物館の「仲秋フェスティバルベトナムー日本まつり」の催しとして実施
4	Phi Phi Oanh漆絵画展 <i>Make Shift</i>	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター多目的ホール		2009.12.17 ~ 2009.12.25	漆を使い抽象的な作品を創作するグエン・フィ・フィ・オアイン（Nguyen Phi Phi Oanh）の作品を展示。オープニングには、Oanhとハノイ在住日本人漆作家・安藤彩英子との漆絵をめぐるトークセッションを実施

海外事務所

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	ホイアン-日本祭り2009	ホイアン	ホイアン市世界遺産保護地区、チャム島	ホイアン市 ホイアン日本祭り実行委員会 在ベトナム大使館 国際協力機構（JICA）ベトナム ベトナム日本人材協力センター（VJCC） ベトナム日本人商工会 ダナン日本人商工会 ヒサミツ・ベトナム製薬株式会社 九州ベトナム友好協会 堺市 昭和女子大学 長崎経済同好会 東洋大学 サイゴンインベストグループ	2009. 08. 14 ～ 2009. 08. 17	2003年よりホイアン市で行われている日本祭り。ステージ公演には、和太鼓高富青雲組、Gypsy Queen、ミーリン、リズムコネクション、グローバルミュージックネットワーク、樋口あゆ子が出演。アオザイと着物のファッションショー、日本もちつき大会、縁日など日本文化紹介イベントやベトナム文化紹介イベント、またホイアン市世界遺産10周年シンポジウム、国際協力機構（JICA）が実施している環境プロジェクトなど、各種多様な催しを実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	JCDN「踊りに行くぜ！」公演	ハノイ	青年劇場	Japan Contemporary Dance Network(JCDN)  UNESCO Center for Cultural and Sport Development  文化庁	2009. 08. 27	Japan Contemporary Dance Network (JCDN)が主催するアジア巡回プロジェクトとして、文化庁の支援も受け、ハノイで実施。公演内容は、黒田育世、P' Lush（日本人女性3人のグループユニット）、ベトナム人ダンサーによるコンテンポラリーダンス上演のほか、3日間のワークショップを通じて当地で作られた、耳の不自由なベトナム人ダンスグループ「Together Higher」と黒田育世、P' Lushの共同作品の上演
7	日本の伝統と未来がやってきた！和太鼓&ロボットパフォーマンスショー	ハノイ	越ソ文化宮付属展示会場	日本大使館	2009. 11. 24	日本のハイテク（ロボット）と伝統芸能（和太鼓）を同時に見せることで、日本文化の厚みを子供から大人まで楽しんでもらう企画。株式会社テムザック提供の人工知能搭載ロボット「テムザック4号」と4足歩行お留守番ロボット「番龍」の舞台上での操作実演と観客体験、和太鼓はOTO座による公演。外務省が企画した日メコン交流年事業の実施に協力
8	「寄席 in ハノイ」公演	ハノイ	キムマー劇場	社団法人落語芸術協会  ベトナムチェオ協会  文化庁	2009. 11. 28 ～ 2009. 11. 29	文化庁より文化交流使に指名された桂歌丸を始め、三笑亭茶楽と桂歌若による落語のほか、紙切りの林家今丸、俗曲の桧山うめ吉による2日間の寄席公演。日本語教師や日本語を学ぶ大学生、日本文化に関心の高い文化人や日系企業社員、一般市民が来場。落語の噺と俗曲の歌詞のベトナム語字幕をスクリーンに映写、質疑応答セッションも設けるなど観客の理解を深めた。好評を博し、伝統の重みを実感させた催し

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	中等学校日本語教師巡回指導	ハノイ  フエ  ダナン  ホーチミン	チュー；ヴァン・アン中学、レー・クイ・ドン高校 他の中学校・高校、合計22校	ハノイ教育訓練局  フエ教育訓練局  ダナン教育訓練局  ホーチミン教育訓練局	2009. 04. 01 ～ 2010. 03. 31	ベトナム日本文化交流センター派遣専門家（ハノイ、ホーチミン）が中学・高校の各校を訪問し、授業を見学して授業のしかたについて巡回指導を行う。フエ、ダナンでもそれぞれ複数回実施



海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	教科書制作支援	ハノイ		教育訓練省 教育科学院 (VNIES)	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	ベトナム側教科書執筆委員に協力する形で、高校2年生用教科書『にほんご11(試行版)』の制作と中学2年生用教科書『にほんご7』改訂作業を同時に進めた。『にほんご11(試行版)』『日本語11-教師用指導書』の第一稿を完成させた。『にほんご7(市販版)』『にほんご7-教師用指導書』、また中学1年生用教科書『にほんご6(改訂版)』が市販された
11	エリン教材制作DVD教材出版	ハノイ		三菱商事株式会社 ベトナムテレビ	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	三菱商事株式会社の全面的な資金提供により、ベトナムテレビで放映された国際交流基金制作『エリンが挑戦!にほんごできます』の映像素材に、ベトナム語翻訳等を追加し、ベトナム人日本語学習者のためのテキストと付属DVDを作成。ベトナムの中等学校、大学、関係機関に寄贈。テキスト制作・編集にはハノイ貿易大学日本語学部講師が協力。2010. 03. 10~18にハノイ、ホーチミン、フエ、ダナンで寄贈式を実施
12	中等学校日本語教師向け研修会	ハノイ フエ ダナン ホーチミン	ベトナム日本文化交流センター 各中学・高校	ハノイ教育訓練局 フエ教育訓練局 ダナン教育訓練局 ホーチミン教育訓練局	2009. 04. 11 ~ 2010. 03. 21	中等教育段階の日本語教育を担うベトナム人日本語教員に対して、各地でベトナム日本文化交流センター派遣専門家が中心となり、教授法等に関する研修を実施。実施地は、ハノイ(09. 04. 11、08. 29、09. 26、10. 25、11. 21、11. 27、12. 28、10. 02. 05、02. 27、03. 19)フエ(10. 01. 23~24)、ダナン(09. 09. 19~20)、ホーチミン(09. 10. 11、10. 03. 21)
13	中学日本語生徒交流会「日本語で遊ぼう」	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター	ハノイ市教育訓練局	2009. 05. 26	「ベトナム中等教育における日本語教育試行プロジェクト」を実施している中学校4校で日本語を学ぶ生徒が各校10名ずつ、40名が参加。日本語を使ったゲーム大会を実施。ゲーム終了後は、ベトナムでも有名な『ドラえもん』の「どら焼き」を試食しながら、お互いの交流を図った
14	ベトナム中等教育教師向け全国研修会	ニャチャン	Hai Au Hotel セミナー室	ベトナム教育訓練省(MOET) ベトナム教育訓練省教育科学院(VNIES)	2009. 06. 15 ~ 2009. 06. 20	「ベトナムの中等教育における日本語教育プロジェクト」のもと、ハノイ、ホーチミン、フエ、ダナンの全4都市の中学校で日本語が教えられており、中等教育にたずさわる全国のベトナム人日本語教師を対象に、研修を実施。本年度から高校でも日本語教育が実施されることから、新たに発行された高校一年生用教科書『日本語10』について、コンセプトの理解、および各パートでどのような活動を行うかという実践的な指導法を教授し、意見を交換

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	ベトナム「中等日本語教育試行プロジェクト」全国評価セミナー	ニャチャン	Hai Au Hotel 会議ホール	ベトナム教育 訓練省 (MOET)  ベトナム教育 訓練省教育科 学院 (VNIES)	2009. 06. 16	2003年から開始した「ベトナムの中等教育における日本語教育試行プロジェクト」のもと、ハノイ、ホーチミン、フエ、ダナンの4都市で日本語が教えられているが、同プロジェクトにたざさわる教育訓練省、各都市の教育行政部門、学校長等の関係者及びベトナム日本文化交流センター所長ほか日本語専門家が一堂に会し、プロジェクトの進捗状況と今後の課題について検討するための評価会議を開催
16	日本語教師向けセンター講座	ハノイ	ベトナム日本 文化交流セン ター多目的 ホール		2009. 07. 02 ~ 2010. 03. 31	ベトナム日本文化交流センター派遣専門家が、大学・民間学校のベトナム人若手日本語教師向けに、教授法や日本語を指導する連続講座（週1日、各8回）を年3コース開講。教授法講座「初級を教える」（09. 07. 02～09. 08. 20、09. 10. 10～09. 11. 28）、教師のための短期会話コース（10. 02. 27～10. 04. 17）
17	日本語専門家全国会議	ハノイ	ベトナム日本 文化交流セン ター		2009. 07. 24	ベトナムに派遣されている国際交流基金日本語専門家と職員との間で、事業進捗状況の確認、問題点の検討、課題の討議を実施。当ベトナム日本文化交流センター派遣専門家4名（うち、1名はホーチミン常駐）及びベトナム日本人材協力センター（VJCC）派遣専門家2名（ハノイ、ホーチミン）
18	日本語教育指導者養成プログラム修了者帰国報告会	ハノイ	ベトナム日本 人材協力セン ター（VJCC）	ベトナム日本 人材協力セン ター（VJCC）	2009. 10. 05	国際交流基金日本語国際センターの平成20年度日本語教育指導者養成プログラム（修士課程）を修了したグエン・ソン・ラン・アイン（ハノイ大学講師）が帰国報告を兼ね「ベトナムの高等教育機関における授業活動の実践」について報告
19	日本語フェスティバル2009	ハノイ	ベトナム日本 人材協力セン ター（VJCC）	ベトナム日本 人材協力セン ター（VJCC）  在ベトナム大 使館  ベトナム日本 商工会  キャノン・ベ トナム  富士吉原ライ オンズクラブ  ベクラムバン ク LOGITEMベトナ ム	2009. 11. 02	「スピーチ部門」と「パフォーマンス部門」から成る催し。「スピーチ部門」は、ベトナム北部の応募者から書類審査と2次審査を通過した9名と、ベトナム中部日本語スピーチコンテスト優勝者1名の計10名が参加。優勝者、準優勝者にはキャノン・ベトナムと富士吉原ライオンズクラブが訪日の機会を提供。多くの関係者、機関が賞品の提供や審査等に協力。キャノンの招待者は、国際交流基金関西国際センターの研修に参加。「パフォーマンス部門」では、選抜された4組が日本語に関係した演技を競った

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	日本語教育セミナー	ハノイ フエ ダナン ホーチミン	ベトナム日本人材協力センター (VJCC) フエ外国語大学 ダナン外国語大学 ホーチミン日本人材協力センター (VJCC)	ハノイ教育訓練局 フエ教育訓練局 ダナン教育訓練局 ホーチミン教育訓練局 VJCC(ハノイ、ホーチミン)	2010. 11. 08 ~ 2010. 03. 20	大学、民間学校の日本語教師（ベトナム人、日本人）を対象に、最新の教授法等に関するセミナーを実施。村上吉文派遣専門家（ハノイ、09. 11. 08、ダナン09. 12. 21～25、フエ10. 03. 08～09）、川口義一（早稲田大学教授）（ハノイ、09. 12. 13）、有馬淳一派遣専門家（ハノイ09. 11. 15、ダナン09. 12. 21～22、フエ10. 03. 07～11、ホーチミン10. 03. 20）、杉本妙子（茨城大学教授）（10. 03. 14）

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
21	図書館運営	2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	2008年に当センターが開設され、平成20年度末に改装を行い、図書室の稼働を開始。現代日本を紹介する書籍、雑誌、マンガを開架方式で配架。当初の月曜日～金曜日の開館日を火曜日～土曜日開館に変更。また、会員制度を設け、会員には館外貸出しも可能とした  ①所蔵資料合計： 999点（内訳：図書988冊、DVD11点） ②登録会員数： 42名 ③利用者数（年間）： 1,906名 ④貸出点数（年間）： 482点 ⑤レファレンス件数（年間）： 30件

【出版・広報】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
22	ウェブサイト運営	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター		2009. 04. 01 ~ 2010. 03. 31	ベトナム日本文化交流センターの文化・芸術、日本語事業、日本研究・知的交流の各種イベント、事業案内のほか、文化人に対するインタビューや告知記事をベトナム語、日本語、英語で掲載 URL: <a href="http://jpf.org.vn/">http://jpf.org.vn/</a>

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	『世界の中心で、愛をさけぶ』ベトナム語翻訳本出版記念交流会	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター多目的ホール・中庭	ニャーナム文学出版社	2009. 06. 27	片山恭一著『世界の中心で、愛をさけぶ』の翻訳出版を記念した交流会を翻訳出版元のニャーナム文学出版社と共催で実施。同書の読者層であるベトナム人の若者を中心に約100人が参加。一般公募されたベトナム語版の表紙の応募イラスト作品を会場内に展示すると共に、日本での映画化やテレビドラマ化など作品に関連する情報を提供。翻訳者によるトーク、日本現代文学にまつわるクイズを実施

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	ハノイ囲碁イベント	ハノイ	クアングア競技場内囲碁クラブ部室	財団法人日本棋院 東京大学教養学部	2009. 04. 05	午前是一般市民向けの囲碁の講演会を実施。午後にはハノイにある囲碁クラブと東京大学教養学部の共催で、予選を勝ち抜いた各選手によるハノイ市囲碁マッチを実施。決勝戦では黒瀧正憲七段（日本棋院）が解説を行った
25	「結 yui」（衣装ワークショップ＋発表公演＋衣裳展示）	ハノイ	ハノイ演劇映画大学	ハノイ演劇映画大学	2009. 12. 07 ～ 2009. 12. 24	高見亮子（シナリオライター）、時枝真吾（衣装デザイナー）ほかによる、日本の民話を題材にした、演劇・衣装・舞踊の複合ワークショップ。ハノイ演劇映画大学の学生が参加。ワークショップの成果を同大学教員・学生に披露

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
26	アジア欧州会合（ASEM）フィルム・フェスティバルにおける日本映画の上映	ハノイ	ベトナム国立映画センター	ベトナム外務省 ベトナム文化・スポーツ・観光省 在ベトナム大使館	2009. 05. 16 ～ 2009. 05. 22	ハノイでのアジア欧州会合（ASEM）教育大臣会合・外相会合開催に合わせて、ベトナム国立映画センターで実施されるASEMフィルムフェスティバルにおいて、日本映画『リンダ リンダ』（山下敦弘監督、2005年）を上映。1回目はオリジナルの日本語版に英語字幕、2回目はベトナム語吹き替えに英語字幕での上映

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
27	日本映画祭	ハイフォン   ハノイ  ホーチミン	ハイフォン市映画センター   国家映画センター  タンロン映画館	ベトナム文化スポーツ観光省  ハイフォン市外務局  ハイフォン市映画センター  国立映画センター  在ホーチミン総領事館	2009. 07. 11 ～ 2009. 11. 29	『東京タワー』『ALWAYS 三丁目の夕日』『魂萌え!』『どら平太』『紙屋悦子の青春』『嫌われ松子の一生』（『松子』のみ15歳以下、鑑賞禁止）の6作品をハイフォン、ハノイで上映。ホーチミンでは、『嫌われ松子の一生』を除く5作品を上映。3都市、のべ36回の上映で13,000人近い来場者があるなど、日本映画が紹介される機会の少ない当地では、予想以上の反響があった。なお、字幕でなく、ベトナム語のナレーションによる上映
28	日本文学巡回セミナー	ハノイ  フエ  ダナン  ホーチミン		ベトナム社会科学院（ハノイ）  フエ大学（フエ）  ダナン大学（ダナン）  ホーチミン国家大学人文社会科学大学日本研究センター  在ホーチミン総領事館	2009. 09. 16 ～ 2009. 09. 28	沼野充義（東京大学教授）が書き下ろしたテキスト『日本文学の歴史と特徴』『日本の詩と小説の世界』に沿って日本文学に関する講義を行い、当地の日本研究者、文学研究者等と意見交換

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
29	「現代日本デザイン 100選」展	ハノイ  ハイフォン  ホーチミン	Viet Art Center  ハイフォン展示・美術センター  ホーチミン市博物館	Viet Art Center  在ベトナム大使館 ハイフォン市外務局 ハイフォン市越日友好協会 ホーチミン市博物館 在ホーチミン総領事館	2009. 10. 02 ~ 2009. 11. 24	巡回展 <i>Japan Design Today 100</i> を3都市で受入れ実施
30	日本語能力試験（新試験）の実施説明会	ハノイ  ホーチミン  ダナン		ハノイ大学 ハノイ国家大学 外国語大学 ホーチミン人文社会科学大学 在ホーチミン総領事館 ダナン外国語大学	2009. 12. 06	本年度から、ハノイ、ホーチミンに加えて、ダナンで新規に日本語能力試験を開始した。また、日本語能力試験の改訂にともない、日本語教育関係者を対象に新試験の説明会を実施
31	ふろしき紹介事業	ハノイ  ホーチミン	ベトナム日本文化交流センター多目的ホール ベトナム国立美術大学 ホーチミン市友好組織連合(HUFO) ホーチミン市友好組織連合(HUFO)	ベトナム国立美術大学 ホーチミン市友好組織連合(HUFO) ふろしき研究会	2010. 03. 09 ~ 2010. 03. 12	ふろしきのワークショップ及びレクチャー・デモンストレーション。ふろしきの由来や文様、包み方の講義を聞くだけでなく、参加者のほぼ全員が実際にふろしきの包み方を実習。伝統的、現代的なふろしきの活用法を実感し、参加者満足度のきわめて高い事業となった

## (2) 助成・協力事業

## 【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
32	ベトナム・ホイアン歴史遺産国際シンポジウム	昭和女子大学 国際文化研究所	2009. 08. 12 ~ 2009. 08. 17	昭和女子大学国際文化研究所、ベトナム歴史学会、ホイアン市の三者により開催された世界遺産10周年記念シンポジウム。同市の歴史遺産の保全と活用に向けて、歴史・観光・文化の観点から、ベトナム各界と日本からの学者・研究者・実務家が参加し、幅広く討議。坪井善明（早稲田大学教授）がパネリストとして参加するための旅費を一部支援
33	中等学校日本祭り	グエン・チー・フオン中学 (フエ市)	2009. 11. 02	日本語を学ぶフエ市の3校（グエン・チー・フオン中学、チュー・ヴァン・アン中学、ファン・サオ・ナム中学の生徒が中心となり、七夕の飾り付けや、盆踊り、折り紙、日本の遊びなど日本文化祭りを実施。フエ市に派遣されている国際交流基金派遣のJENESYS若手日本語教師が実務的支援を行い、ベトナム日本文化交流センターが経費を助成
34	第3回ハノイ・サウンド・スタッフ・フェスティバル (The 3rd Hanoi Sound Stuff Festival 2010 GREEN SPACE)	ベトナム音楽アカデミー	2010. 03. 26 ~ 2010. 03. 28	第3回ハノイ・サウンド・スタッフ・フェスティバル 2010 (The 3rd Hanoi Sound Stuff Festival 2010) に際し、日本から参加したスパーキー・クワノ（ギタリスト）の渡航費を一部支援

## 【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
35	NASIC北澤カップ日本語スピーチコンテスト	財団法人学生サポートセンター (NASIC)	2009. 09. 06	「日本・ベトナム学生交流会」の一環で開催された日本語スピーチコンテスト（第3回）に対して後援名義を付与した。ハノイ大学、ハノイ工科大学、ハノイ貿易大学、ハノイ国家大学外国語大学の学生が参加し、入賞者数名が日本に招待された。当地では、在ベトナム大使館、ベトナム教育訓練省、ハノイ貿易大学も後援
36	福岡留学フェア	福岡県留学生サポートセンター	2010. 01. 24	福岡県留学生サポートセンター主催。福岡県の4大学、6民間学校が留学説明会を開催。ベトナム日本文化交流センターは同事業に対して後援名義を付与。在ベトナム大使館、ベトナム日本人材協力センター (VJCC) も後援名義を付与

## 【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
37	越南写真クラブ写真展 「ベトナムの、今」	越南写真倶楽部	2009. 10. 24 ~ 2009. 10. 31	ハノイを中心に活動する「越南写真クラブ」のメンバー（ハノイ在住邦人のほか、ベトナム人、韓国人）が撮影した写真35点を展示。現代のベトナム人の生活やベトナム社会の今をおさめた写真展を開催。ベトナム日本文化交流センターは、本催しを後援、施設を提供し、所要経費の一部を支援

海外事務所

	事業名	対象機関	期間	事業内容
38	フレンズ・オブ・ヘリテージ歴史セミナー	フレンズ・オブ・ヘリテージ	2009. 11. 10	ハノイ在住の歴史家である大西和彦（宗教史、民間信仰史）によるベトナムの歴史に関する講演会に会場を提供
39	合気道クラブ	Genki Club	2010. 01. 01 ～ 2010. 01. 31	毎週土曜日に合気道の練習場所として施設を提供
40	茶道クラブ	竹葉茶道クラブ	2010. 01. 01 ～ 2010. 01. 31	ベトナム人で構成されるグループが隔週土曜日午後に茶道の練習を行う活動に施設を提供

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
41	尚友倶楽部日本研究論文コンテスト	社団法人尚友倶楽部	2010. 02. 01 ～ 2010. 03. 31	若手研究者・大学院生を対象に、日本研究論文の公募コンテストを行い4名が入賞。この4名は、平成22年度に尚友倶楽部の資金支援をうけ、7週間日本語・日本文化研修を実施する予定



# 文化交流施設等協力事業に必要な経費

## 文化交流施設等協力事業費

### 1. 文化交流施設等協力事業費

- (1) 人物交流特定寄附
- (2) 日本研究特定寄附
- (3) 日本語特定寄附
- (4) 催し等特定寄附
- (5) 文化紹介特定寄附
- (6) 文化交流施設等特定寄附

文化交流施設等協力事業費

1. 文化交流施設等協力事業費

海外の公益団体等が実施する国際文化交流事業に対して寄附を計画している場合に、当基金の業務目的に合致するものに限り当基金が寄附金を受入れ、対象となる機関に援助する。

合計額 469,719,584 円

	事業名	寄附申込者	対象機関	対象国	期間	事業内容
(1) 人物交流特定寄附						
1	日米交流財団フェロシッププログラム		日米交流財団	米国	2007.07.01 ~ 2010.06.30	米国から日本への留学生数を増加させ、将来の日米友好関係の増進を目指すため、日本への留学を希望する米国人大学生に奨学金を支給
2	ロータリー国際親善奨学支援事業	日本ロータリー奨学金委員会	ロータリー財団	全世界区分困難	2008.07.01 ~ 2012.06.30	①相異なる国民間の理解と友好関係の増進に寄与することを目的とする者を対象とした「ロータリー国際親善奨学金」、②世界平和や紛争解決等の国際問題研究を行う社会人を対象とした「世界平和フェロシップ」の支給事業を実施
3	ロータリー国際親善奨学支援事業	日本ロータリー奨学金委員会	ロータリー財団	全世界区分困難	2009.07.01 ~ 2013.06.30	①相異なる国民間の理解と友好関係の増進に寄与することを目的とする者を対象とした「ロータリー国際親善奨学金」、②世界平和や紛争解決等の国際問題研究を行う社会人を対象とした「世界平和フェロシップ」、③新たに発足する2種類の補助金（グローバル補助金、新地区補助金）の支給事業を実施
(2) 日本研究特定寄附						
4	「故石川吉右衛門教授記念・比較日本法基金」の設立	ハーバード・ロースクール・アソシエーション・オブ・ジャパン	ハーバード・ロー・スクール	米国	2007.01.01 ~ 2009.12.31	故石川吉右衛門東京大学名誉教授の功績を記念する日本研究促進のための恒久基金を設置し、その運用益にて①日本法の客員教授の招へい、②日本法の学生・研究者への資金援助、③日本法の図書等拡充、④日本の若手法学研究者の同校への留学費用助成を実施
5	ウェスタンミシガン大学曾我道敏日本センター宛基金増資事業	カラマズー会	ウェスタンミシガン大学 曾我道敏日本センター	米国	2008.12.30 ~ 2010.03.31	ウェスタンミシガン大学曾我道敏日本センターの事業を拡大するため、“The WMU Friends in Japan Endowment Fund”を増資し、その運用益にて①教員及び学生の日本研究の為の留学支援、②大学近郊地域での日本クラブ設立及び日本文化・経済交流、③永井荷風居住家屋の記念家屋指定及び保存を実施
6	日米研究インスティテュート	日米研究インスティテュート	日米研究インスティテュート	米国	2009.04.14 ~ 2012.03.31	京都大学、慶應義塾大学、東京大学、立命館大学、早稲田大学が米国ワシントンに共同で設立した日米研究インスティテュートにおいて、日米間の現実的な問題について学術研究を基盤とした政策的含意を持つ研究を実践し、その成果の発信やコミュニティの形成、将来の日米の意思決定を担う人材の育成等を実施
7	ミシガン大学ロー・スクール日本法研究プログラム	弁護士法人大江橋法律事務所	ミシガン大学ロー・スクール	米国	2009.07.01 ~ 2010.06.30	ミシガン大学ロー・スクールにおいて、教職員及び学生が日本法に対する理解を深めるため、①日本法に関連する教職員の研究活動支援、②日本法に関連する蔵書の収集、③日本法研究部門の客員教授派遣及び招へいを実施

文化交流施設等協力事業費

	事業名	寄附申込者	対象機関	対象国	期間	事業内容
8	コロンビア・ロー・スクール日米交流事業	コロンビア・ロー・スクール在日同窓生寄付実行委員会	コロンビア・ロー・スクール	米国	2010.06.01 ~ 2013.05.31	コロンビア・ロー・スクールにおいて、①東京でのセミナー、②日本人同窓生向け行事、③客員教授として招へいする日本法専門家の旅費等補助、④日本のNGO活動に参加する学生への奨学金支給、⑤日本法研究センターにおけるワークショップ開催、⑥日本法研究センター所長の日本への調査旅行、を実施
9	長島・大野・常松法律事務所奨学金(コロンビア・ロー・スクール)	長島・大野・常松法律事務所	コロンビア・ロー・スクール	米国	2010.07.01 ~ 2011.06.30	コロンビア・ロー・スクールにおいて、日本法への関心や日本語の知識を持ち、将来的に日米間の協力や日本法学に関連する経歴を積み明確な意欲を示す学生に対し、奨学金を支給
10	長島・大野・常松法律事務所：日本法・文化プログラム(デューク・ロー・スクール)	長島・大野・常松法律事務所	デューク・ロー・スクール	米国	2010.07.01 ~ 2011.06.30	デューク・ロー・スクールにおいて、日本法・文化の研究と理解を促進するため、①JD(3年制)課程日本法紹介コースへの日本からの客員教授招へい、②日本法関連図書購入、③夏期国際法講座への日本法教授招へい補助、④夏期国際法講座参加学生への奨学金支給、⑤同校教授の日本派遣補助、を実施

(3) 日本語特定寄附

11	エルエスエイチアジア奨学金	特定非営利活動法人エルエスエイチアジア奨学会	特定非営利活動法人エルエスエイチアジア奨学会	アジア地域区分困難	2008.04.01 ~ 2011.03.31	平成13年に新大久保駅の事故で亡くなった韓国人青年李秀賢氏の勇気ある行動を讃え、同氏の国際交流の理念を実現するため、国内の日本語教育機関に在籍するアジア諸国からの就学生に奨学金を支給
12	ドイツ社団法人日本語普及センターの事業資金	日本語普及センター国内募金委員会	ドイツ社団法人日本語普及センター	ドイツ	2009.04.01 ~ 2010.03.31	ドイツでの日本語普及と日独の文化交流促進のため、①ドイツ社団法人日本語普及センターからフランクフルト大学東アジア研究所法律用語コースへの日本語担当講師の派遣及び、同大学教授による日独の社会や教育等に関する講義の開講、②書道展の開催、高校生作文コンクール開催等の日本文化紹介事業を実施
13	ジャパン・リターン・プログラム2008年日本語サミット	特定非営利活動法人ジャパン・リターン・プログラム	ジャパン・リターン・プログラム募金委員会	全世界区分困難	2007.10.01 ~ 2009.05.31	世界で日本語を学ぶ青少年をパネリストとして招へいし、日本代表パネリストと共に「ことばと平和」をテーマとした日本語でのディスカッション・ディベートを行う「日本語サミット」を長崎県、北海道(洞爺湖)及び東京都にて開催
14	ジャパン・リターン・プログラム2009年日本語サミット・ニッポン新発見塾	特定非営利活動法人ジャパン・リターン・プログラム	ジャパン・リターン・プログラム募金委員会	全世界区分困難	2008.10.01 ~ 2010.04.30	過去10回実施した「日本語サミット」の総括として、これまでに招へいした延べ128カ国162名のパネリストから海外在住10名・日本在住5名の塾生を選抜し、企業研修、日本企業若手社員とのディスカッション、各種ワークショップ、講師講演等を実施するとともに、福岡及び東京にてプレゼンテーション発表会を実施

(4) 催し等特定寄附

15	日韓交流おまつり2009	日韓共同開催文化交流事業「日韓交流おまつり」実行委員会	日韓共同開催文化交流事業「日韓交流おまつり」実行委員会	韓国	2009.04.01 ~ 2009.12.31	2005年の日韓友情年に開催された「日韓交流おまつり」以来、継続的に毎年ソウルにて開催されている日韓合同のおまつりを、2009年は東京とソウルで同時開催し、日本と韓国の市民交流、若者交流、地方交流を促進するため、日韓文化ステージ公演やパレード公演、自治体等の展示ブース出展等を実施
----	--------------	-----------------------------	-----------------------------	----	-------------------------	--

文化交流施設等協力事業費

	事業名	寄附申込者	対象機関	対象国	期間	事業内容
16	メコンフェスティバル2009	日本メコンフェスティバル実行委員会	日本メコンフェスティバル実行委員会	東南アジア地域区分困難	2009.03.01 ~ 2010.02.28	日本とメコン川流域諸国間の特に青少年の相互理解・交流促進のため、東京芸術劇場で行う野田秀樹作品とタイ演劇人との強い絆のもとに実現する演劇公演を中心に、メコン地域の気候や文化を紹介する展示、カンボジアの大型影絵芝居等を行うメコンフェスティバル2009を開催
17	第16回ホノルルフェスティバル	ホノルル・フェスティバル財団	ホノルル・フェスティバル財団	米国	2009.04.01 ~ 2010.05.31	日本とハワイ及び環太平洋諸国の人々の親善と相互理解のため、各国の伝統的なお祭り・音楽・踊り等のステージやパレード、民芸・物産展等の展示会、書道や生け花等の実演、日米友好に貢献した人物をテーマとしたセミナー等を行うフェスティバルを実施
18	ミュージック・フロム・ジャパン創立35周年記念音楽祭	ミュージック・フロム・ジャパン・インク	ミュージック・フロム・ジャパン・インク	米国	2009.04.01 ~ 2010.06.30	雅楽師・作曲家等として活躍する芝祐靖の活躍に焦点を当てたコンサート「芝祐靖 雅楽の宇宙」及びミュージック・フロム・ジャパン創立以来の委嘱曲と新委嘱曲をまとめて演奏する「ミュージック・フロム・ジャパン委嘱曲ハイライトⅡ」を開催
19	2009年日本・ハンガリー国交回復50周年記念事業	2009年日本・ハンガリー国交回復50周年記念事業実行委員会	2009年日本・ハンガリー国交回復50周年記念事業実行委員会	ハンガリー	2007.09.19 ~ 2010.09.18	日本とハンガリーの国交樹立140周年及び国交回復50周年を記念し、①日本側デザインによる「ブダペスト・エリザベート橋ライトアップ事業」、②日本国内にて全国交流のつどい、美術展、写真展、音楽公演等を開催する「2009年ハンガリーフェスティバル」、③「日本ハンガリー交流史」の編纂事業を実施
20	2010年トルコにおける日本年	2010年トルコにおける日本年実行委員会	2010年トルコにおける日本年実行委員会	トルコ	2010.01.01 ~ 2011.06.30	「2010年トルコにおける日本年」を記念し、日本とトルコの交流を促進するため、日本年実行委員会が①オープニング式典、②日本・トルコ友好祝賀式典、③カマン式典、④エルトゥールル号120年慰霊式典、④クロージング式典等を開催
21	四天王寺ワッソ	特定非営利活動法人大阪ワッソ文化交流協会	特定非営利活動法人大阪ワッソ文化交流協会	全世界区分困難	2009.04.01 ~ 2010.03.31	古代に「なにわの津」と呼ばれ、東アジアの国際交流の拠点であった大阪・四天王寺において、古代衣装での1,000名の大巡行や古代楽器の演奏、特設ステージでの交流儀式的再現等により古代の国際交流を現代に再現する市民参加型の祭りを開催

(5) 文化紹介特定寄附

22	日本音楽紹介ラジオ番組制作事業	三菱商事株式会社	ラジオ番組制作委員会	中国	2008.09.15 ~ 2009.09.14	中国の若者にJ-POPとして人気の高い日本の最新流行音楽と、日本の最新若者文化に関する情報を、中・高・大学生から社会人にいたる中国の若い世代の人々に紹介するためのラジオ番組を制作し、広東衛星ラジオ及び北京外語ラジオにて放送
----	-----------------	----------	------------	----	-------------------------	---

(6) 文化交流施設等特定寄附

23	日中平和友好条約締結30周年記念「南京・平和友好桜花園」建設事業	特定非営利活動法人日中文化交流促進会	特定非営利活動法人日中文化交流促進会	中国	2008.09.01 ~ 2009.09.30	日中両国民の交流の場として、江蘇省南京市に「南京・平和友好桜花園」を開園し、桜の植樹等の交流イベントを実施するとともに、園内で開館予定である「中国書法博物館」建設のための地質調査、基礎工事を実施
24	アジア女子大学	アジア女子大学支援財団	アジア女子大学の設立を支援する会	バングラデシュ	2006.11.01 ~ 2009.10.31	アジア各国の優秀な女性を対象に、将来的に地域のリーダーに育成する教育を提供する大学をバングラデシュのチッタゴン市に設立し、多様な文化、宗教、社会、地域的背景を持つ学生や教員を集め、文化の多様性を尊重しながら共通のテーマや問題に取り組む教育を実施

## 文化交流施設等協力事業費

	事業名	寄附申込者	対象機関	対象国	期間	事業内容
25	アジア女子大学	アジア女子大学支援財団	アジア女子大学の設立を支援する会	バングラデシュ	2009. 11. 01 ~ 2012. 10. 31	アジア各国の優秀な女性を対象に、将来的に地域のリーダーに育成する教育を提供する大学をバングラデシュのチッタゴン市に設立し、多様な文化、宗教、社会、地域的背景を持つ学生や教員を集め、文化の多様性を尊重しながら共通のテーマや問題に取り組む教育を実施
26	日英博覧会日本庭園修復事業	特定非営利活動法人環境再生	特定非営利活動法人環境再生	英国	2009. 01. 01 ~ 2011. 08. 31	1910年5月の日英博覧会に出展され、ロンドン市ハマースミス・フラム区のハマースミス公園の一部として保存されている日本庭園の修復を日英共同で行う計画のうち、日本側が担当する基本設計及び実施設計・工事の技術指導を実施

## プログラム名索引 (五十音順)

あ	アジア・ユースフェローシップ高等教育奨学金訪日研修	210	国内展 (企画展)	57
	アニメ文化大使	131	国内連携促進	325
	安倍フェローシップ	314	さ	
い	Eラーニング開発事業	217	在日外交官日本語研修	212
う	ウェブサイト・メールマガジン	326	在米日米協会支援	311
	内田奨学金フェローシップ (招へい)	69	サンパウロ日本文化センター	507
え	映像出版情報交流 (文化資料)	138	し	
	映像出版情報交流 (催し)	130	JFIC 事業	327
か	海外公演 (主催)	70	JF サポーターズクラブ	327
	海外公演 (助成)	78	事業開発 (文化資料)	43
	海外公演 (PAJ 欧州・助成)	108	事業開発 (催し)	42
	海外公演 (PAJ 北米・助成)	104	事業評価 (企画評価)	343
	海外展 (企画展)	47	指導的日本語教師の養成 (海外日本語教師上級研修)	184
	海外展 (巡回展)	49	指導的日本語教師の養成 (日本語教育指導者)	183
	海外展 (助成)	58	シドニー日本文化センター	461
	海外日本映画祭 (主催)	118	市民交流支援 (日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI)	315
	海外日本映画祭 (助成)	123	市民青少年交流 (主催/招へい)	30
	海外日本語教育機関等調査	146	市民青少年交流 (主催/派遣)	29
	海外日本語教師研修 (国別)	189	市民青少年交流 (助成) [アジア・大洋州]	279
	海外日本語教師研修 (短期)	186	市民青少年交流 (助成) [欧州・中東・アフリカ]	304
	海外日本語教師研修 (長期)	185	市民青少年交流 (助成) [生活文化]	31
	開高健記念アジア作家招へい	29	市民青少年交流 (助成) [造形美術]	66
	外国理解促進国内映画祭 (主催)	129	市民青少年交流 (助成) [日米センター]	323
	カイロ日本文化センター	545	市民青少年交流 (助成) [舞台芸術]	115
	カルコン事業費	225	ジャカルタ日本文化センター	400
き	機関連携事業	347	受託研修 (関西国際センター)	213
	教育アウトリーチ支援小規模助成	307	受託研修 (関西国際センター) [アセアン]	213
	京都支部	350	受託研修 (関西国際センター) [サーク]	215
く	クアラルンプール日本文化センター	438	受託研修 (日本語国際センター)	189
け	ケルン日本文化会館	363	受託研修 (日本語国際センター) [アセアン]	191
こ	後援名義の付与	329	受託研修 (日本語国際センター) [サーク]	191
	高校生等招へい事業	221	受託事業 (アセアン)	22
	国際交流顕彰事業 (基金賞)	328	受託事業 (アセアン)	45
	国際交流顕彰事業 (地球市民賞)	328	受託事業 (アセアン)	251
	国際展 (国際展参加)	47	受託事業 (アセアン 第一期)	147
	国際図書展参加	136	受託事業 (アセアン 第二期)	149
	国際舞台芸術共同制作	111	受託事業 (日中交流センター)	221
	国際漫画賞	130	人物交流特定寄附	562
	国内公演 (主催)	112	せ	
	国内大学連携 (関西国際センター)	215	専門日本語研修 (外交官)	198
	国内大学連携 (派遣・助成)	164	専門日本語研修 (公務員)	200
			専門日本語研修 (文化・学術専門家)	201
			そ	
			造形美術情報交流 (招へい)	47
			造形美術情報交流 (催し)	64

	ソウル日本文化センター	379		日本研究フェローシップ (学者・研究者) [アジア・大洋州]	257
ち	地域草の根交流小規模助成	306		日本研究フェローシップ (学者・研究者) [欧州・中東・アフリカ]	287
	地域交流研修 (関西国際センター)	210		日本研究フェローシップ (学者・研究者) [米州]	231
	地域交流研修 (日本語国際センター)	192		日本研究フェローシップ (高砂熱学工業)	263
	知的交流会議 (企画参画助成) [アジア・大洋州]	274		日本研究フェローシップ (短期) [アジア・大洋州]	262
	知的交流会議 (主催) [アジア・大洋州]	277		日本研究フェローシップ (短期) [欧州・中東・アフリカ]	290
	知的交流会議 (主催) [欧州・中東・アフリカ]	296		日本研究フェローシップ (短期) [米州]	235
	知的交流会議 (主催) [米州]	237		日本研究フェローシップ (論文執筆) [欧州・中東・アフリカ]	288
	知的交流会議 (助成) [アジア・大洋州]	265		日本研究フェローシップ (論文執筆者) [アジア・大洋州]	259
	知的交流会議 (助成) [欧州・中東・アフリカ]	298		日本研究フェローシップ (論文執筆) [米州]	232
	知的交流会議 (助成) [米州]	237		日本語学習者訪日研修 (各国成績優秀者)	204
	知的交流小規模助成	306		日本語学習者訪日研修 (高校生)	209
	知的リーダー交流 (招へい) [アジア・大洋州]	264		日本語学習者訪日研修 (大学生)	206
	知的リーダー交流 (招へい) [欧州・中東・アフリカ]	291		日本語教育企画連携型事業	168
	知的リーダー交流 (派遣) [アジア・大洋州]	265		日本語教育機関支援 (現地講師謝金助成)	170
	知的リーダー交流 (派遣) [欧州・中東・アフリカ]	295		日本語教育情報交流	146
	知的リーダー交流 (派遣) [米州]	237		日本語教育専門家派遣 (JF ボランティア・指導助手)	179
	中学高校教員交流 (招へい)	26		日本語教育専門家派遣 (ジュニア専門家)	160
	中学高校教員交流 (派遣)	29		日本語教育専門家派遣 (専門家)	153
	中国「ふれあいの場」事業 (主催)	221		日本語教育プロジェクト支援 (ネットワーク形成助成)	176
	中国「ふれあいの場」事業 (助成)	222		日本語教育プロジェクト支援 (弁論大会助成)	171
	調査研究	343		日本語教材寄贈	194
	調査研究	348		日本語教材・教授用等開発・普及	193
て	定期刊行物	326		日本語特定寄附	563
	テレビ番組交流促進	131		日本語能力試験実施	180
と	図書館運営 (関西国際センター)	197		日本文化紹介派遣 (主催)	9
	図書館運営 (日本語国際センター)	195		日本文化紹介派遣 (助成)	14
	図書寄贈 [アジア・大洋州]	281		日本理解促進映画・テレビ番組制作 (助成)	139
	図書寄贈 [企画調整]	219		日本理解促進出版・翻訳 (助成)	140
	トロント日本文化センター	469		ニューデリー日本文化センター	452
に	日米交流支援 (主催)	321		ニューヨーク日本文化センター	484
	日米交流支援 (助成)	316	ね	ネットワーク整備事業 (文化資料)	223
	日本研究機関支援 [アジア・大洋州]	246		年次報告	326
	日本研究機関支援 [欧州・中東・アフリカ]	284	は	バリ日本文化会館	368
	日本研究機関支援 [米州]	228		バンコク日本文化センター	413
	日本研究巡回セミナー [米州]	230	ひ	評価開発	181
	日本研究特定寄附	562	ふ	フィルムライブラリー充実 (海外)	135
	日本研究ネットワーク強化 (主催) [アジア・大洋州]	240		フィルムライブラリー充実 (本部)	134
	日本研究ネットワーク強化 (主催) [欧州・中東・アフリカ]	283		舞台芸術情報交流 (催し)	112
	日本研究ネットワーク強化 (主催) [米州]	227		ブダペスト日本文化センター	530
	日本研究ネットワーク強化 (助成) [アジア・大洋州]	249		文化協力 (主催)	2
	日本研究ネットワーク強化 (助成) [欧州・中東・アフリカ]	284		文化協力 (助成)	3
	日本研究ネットワーク強化 (助成) [米州]	228		文化交流施設等特定寄附	564

	文化事情調査	345
	文化紹介特定寄附	564
	文化人招へい	6
へ	北京日本学研究センター研究支援（北京外国語大学）	245
	北京日本学研究センター研究支援（北京大学）	245
	北京日本学研究センター招へい（北京外国語大学）	244
	北京日本学研究センター招へい（北京大学）	245
	北京日本学研究センター派遣（北京外国語大学）	242
	北京日本学研究センター派遣（北京大学）	243
	北京日本文化センター	391
	ベトナム日本文化交流センター	550
ま	マドリッド日本文化センター	527
	マニラ日本文化センター	424
め	メキシコ日本文化センター	502
も	モスクワ日本文化センター	535
	催し等特定寄附	563
ろ	ローマ日本文化会館	354
	ロサンゼルス日本文化センター	491
	ロンドン日本文化センター	515